岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第429集

大中田（おおなかた）遺跡発掘調査報告書

伊手川河川改修事業関連遺跡発掘調査

岩手県水沢地方振興局土木部
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

大中田遺跡発掘調査報告書

伊手川河川改修事業関連遺跡発掘調査

遺跡遠景

出土した土器

玦状耳飾りと有孔石製品（未製品含む）

滑石製垂飾具（未製品）と素材剥片

序

岩手県には旧石器時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財包蔵地があり、平成15年度の岩手県教育委員会のまとめでは12,000箇所を超えております。これら先人たちの創造してきた文化遺産を保存し後世に伝えていくことは、我々県民に課せられた重大な責務であります。

一方、広大な面積を有する県土の大半は山地であり、地域開発に伴う社会資本の充実もまた、県民の切実な願いであることは言うまでもありません。このような埋蔵文化財の保護・保存と開発との調和は今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団では、埋蔵文化財センターの創設以来、岩手県教育委員会の調整のもとに、開発事業によって破壊され消滅する運命にある遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は伊手川河川改修事業に関連して平成14年度に発掘調査を実施した大中田遺跡の調査結果をまとめたものであります。大中田遺跡は、江刺市にあり、今回の調査により縄文時代前期末葉～中期初頭を中心とする集落跡であることがわかりました。注目すべき点は、玦状耳飾りをはじめとする滑石製垂飾具の未製品が多量に出土したことです。

そして、これらの資料の整理・分析をへて、このたび、ここに報告書を刊行する運びとなりました。この報告書が広く活用され、斯学の研究のみならず埋蔵文化財に対する理解の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、これまで発掘調査および報告書作成に多大なご援助・ご協力を賜りました岩手県水沢地方振興局土木部、ならびに江刺市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、衷心より謝意を表します。

平成16年 2 月

財団法人岩手県文化振興事業団
理事長　合田　武

例　言

1．本書は、岩手県江刺市伊手字小中田4番地の1ほかに所在する大中田遺跡の調査成果を収録したものである。

2．本遺跡の発掘調査は、伊手川河川改修事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は、岩手県教育委員会と水沢地方振興局土木部との協議をへて、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが担当した。

3．岩手県遺跡登録台帳に記載されている遺跡番号はOF00－2003、遺跡略号はONT－02である。

4．発掘調査および室内整理の期間／調査面積／調査担当者は以下のとおりである。

〈野外調査〉平成14年4月9日～7月17日／1,100㎡／　中村絵美・長洞ひかり
　　太田代一彦（6月1日～6月17日）

〈室内整理〉平成14年11月1日～平成15年3月31日／　中村絵美・長洞ひかり

5．本報告書の執筆・編集は中村が担当した。

6．遺物の分析鑑定は次の方に依頼した。（敬称略）
　火山灰分析：パリノ・サーヴェイ株式会社
　石質鑑定　：花崗岩研究会
　炭化材同定：早坂松次郎（社会法人岩手県木炭協会）

7．本報告書作成にあたり、次の方々・機関にご協力・ご指導いただいた。（50音順・敬称略）
　稲野裕介（北上市立埋蔵文化財センター）、高木　晃（岩手県立博物館）、千葉正彦（岩手県立盛岡商業高等学校教諭）、江刺市教育委員会

8．野外調査では、岩手県水沢地方振興局土木部、江刺市教育委員会、遺跡周辺の住民の方々にご協力いただいた。

9．土層の観察は、「新版標準土色帖」（小山・佐竹：1989）によった。

10．遺跡内の基準点測量は、（株）アクト技術開発に委託した。

11．調査成果の一部は、現地説明会資料や調査略報にその時点の概略を公表しているが、本書との記載事実が異なる場合は、すべて本報告書優先する。

12．本遺跡の出土遺物及び諸記録等については、岩手県立埋蔵文化財センターが保管・管理している。

目　次

巻頭カラー
序
例言

[本　文　目　次]

Ⅰ　調査に至る経過……1
Ⅱ　遺跡の立地と環境
　1．遺跡の立地と環境……1
　2．地形・地質……4
　3．基本土層……4
　4．周辺の遺跡……8
Ⅲ　野外調査と室内整理の方法
　1．野外調査……15
　2．室内整理……17
Ⅳ　検出された遺構と出土遺物
　1．概要……21
　2．竪穴住居跡……21
　3．炉跡・焼土・柱穴状土坑……27
　4．土坑……41
　5．出土遺物……59
Ⅴ　まとめ……65
付篇　分析・鑑定
　火山灰分析……214
報告書抄録

[表　目　次]

表1　周辺の遺跡一覧……13
表2　基準杭・区画割付杭一覧……15
表3　柱穴一覧……105
表4　遺物一覧……170

[図　版　目　次]

第1図　岩手県における遺跡の位置……2
第2図　遺跡の位置……3
第3図　周辺地形と調査範囲図……5
第4図　周辺の山稜と水系、地形地質分類図……7
第5図　周辺の遺跡……11
第6図　凡例……18
第7図　グリッド・遺構配置図……19
第8図　1号住居跡（1）……67
第9図　1号住居跡（2）……68
第10図　2号住居跡……69
第11図　3号住居跡（1）……70
第12図　3号住居跡（2）……71
第13図　4～7号住居跡（1）……72
第14図　4～7号住居跡（2）……73
第15図　5dグリッド周辺（1）……75
第16図　5dグリッド周辺（2）……76
第17図　4dグリッド周辺……77
第18図　2fグリッド周辺……79
第19図　4iグリッド周辺……81
第20図　B区……82
第21図　A区南西部……83
第22図　炉跡・焼土遺構（1）1～6号焼土……85
第23図　炉跡・焼土遺構（2）7～10・12号焼土86
第24図　炉跡・焼土遺構（3）
　11・13・14・23号焼土……87
第25図　炉跡・焼土遺構（4）15～21号焼土……88
第26図　炉跡・焼土遺構（5）
　22・24・30・32号焼土……89
第27図　土坑（1）1～4号土坑……90
第28図　土坑（2）5～8号土坑……91
第29図　土坑（3）9～13・15・16号土坑……92
第30図　土坑（4）14・17～20号土坑……93
第31図　土坑（5）21～26号土坑……94
第32図　土坑（6）27～29号土坑……95
第33図　土坑（7）30・32号土坑……96
第34図　土坑（8）33・34・36・37号土坑……97
第35図　土坑（9）35号土坑①……98
第36図　土坑（10）35号②・39・40号土坑・
　28号焼土……99
第37図　土坑（11）38号土坑……100

第38図　土坑（12）41～45号土坑・29号焼土 …101
第39図　土坑（13）46～48号土坑 ……102
第40図　土坑（14）
　　49～51・54号土坑・31号焼土……103
第41図　土坑（15）52・53・55号土坑 ……104
第42図　遺構内出土土器（1）1号住居跡① …117
第43図　遺構内出土土器（2）1号住居跡② …118
第44図　遺構内出土土器（3）
　　2・3号住居跡① ……119
第45図　遺構内出土土器（4）3号住居跡② …120
第46図　遺構内出土土器（5）3号住居跡③ …121
第47図　遺構内出土土器（6）5号住居跡 ……122
第48図　遺構内出土土器（7）6号住居跡 ……123
第49図　遺構内出土土器（8）7号住居跡 ……124
第50図　遺構内出土土器（9）4～7号住居跡 125
第51図　遺構内出土土器（10）1～6号土坑 …126
第52図　遺構内出土土器（11）7号土坑 ……127
第53図　遺構内出土土器（12）
　　8～10・12・13号土坑 ……128
第54図　遺構内出土土器（13）
　　12・13・14①号土坑 ……129
第55図　遺構内出土土器（14）
　　14②・18～20・22号土坑 ……130
第56図　遺構内出土土器（15）
　　23・24・27・28・30号①土坑 ……131
第57図　遺構内出土土器（16）30号土坑② ……132
第58図　遺構内出土土器（17）32・35号①土坑 133
第59図　遺構内出土土器（18）35号土坑② ……134
第60図　遺構内出土土器（19）36・38号①土坑 135
第61図　遺構内出土土器（20）38号土坑② ……136
第62図　遺構内出土土器（21）
　　38号③～42号土坑 ……137
第63図　遺構内出土土器（22）43～45号①土坑 138
第64図　遺構内出土土器（23）
　　45号②・46・48号①土坑 ……139
第65図　遺構内出土土器（24）48号土坑② ……140
第66図　遺構内出土土器（25）
　　49～51・54号土坑・柱穴① ……141
第67図　遺構内出土土器（26）柱穴② ……142
第68～78図　遺構外出土土器（1）～（11）…143～153
第79～80図　土製品（1）～（2）……154～155
第81～91図　石器（1）～（11）
　　石製品（1）……156～166
第92～94図　石製品（2）～（4）……167～169

［写真図版目次］

写真図版1　遺跡遠景 ……217
写真図版2　調査区全景・調査前風景 ……218
写真図版3　遺構検出・基本層序 ……219
写真図版4　1号住居跡 ……220
写真図版5　2号住居跡 ……221
写真図版6　3号住居跡 ……222
写真図版7　4～7号住居跡 ……223
写真図版8　5dグリッド周辺 ……224
写真図版9　2f・3gグリッド周辺 ……225
写真図版10　2fグリッド周辺 ……226
写真図版11　A区南西部 ……227
写真図版12　炉跡・焼土遺構（1）……228
写真図版13　炉跡・焼土遺構（2）……229
写真図版14　炉跡・焼土遺構（3）……230
写真図版15　土坑（1）……231
写真図版16　土坑（2）……232
写真図版17　土坑（3）……233
写真図版18　土坑（4）……234
写真図版19　土坑（5）……235
写真図版20　土坑（6）……236
写真図版21　土坑（7）……237
写真図版22　土坑（8）……238
写真図版23　土坑（9）……239
写真図版24　土坑（10）……240
写真図版25　土坑（11）……241
写真図版26　土坑（12）……242
写真図版27～45　遺構内出土土器（1）～（19）
　　遺構外出土土器（1）…243～261
写真図版46～56　遺構外出土土器
　　（2）～（12）……262～272
写真図版57　土製品 ……273
写真図版58～79　石器（1）～（22）……274～295
写真図版80～84　石製品（1）～（5）……296～300

Ⅰ　調査に至る経緯

大中田遺跡の発掘調査は、「一級河川伊手川筋上伊手地区ほ場整備関連河川改修事業」の実施に伴い、事業区間内に所在する埋蔵文化財が破壊され消滅することになったことをうけ、これを記録として保存し後世に遺すことを目的として実施された緊急発掘調査である。

本事業は、江刺市伊手地区において、県営伊手西部地区土地改良総合整備事業と一体となって、ほ場整備するとともに高水時の田畑等への冠水を防ぐため、平成10年度に着手されており、両事業により地区の生産基盤及び社会基盤を整備し、より良い生活環境の確保を目指すものである。

水沢地方振興局は事業区間内における埋蔵文化財包蔵地の試掘調査を岩手県教育委員会に依頼し、その結果、当該計画予定箇所は埋蔵文化財包蔵地であり、現状保存できない場合別途記録保存を図る発掘調査が必要である旨の回答がなされた。これをうけ、岩手県教育委員会と水沢地方振興局の間で協議が重ねられ、大中田遺跡の発掘調査は財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの受託事業とされることとなった。埋蔵文化財センターは、平成14年４月１日付の委託契約に基づき同年４月９日から現地の発掘調査に着手した。

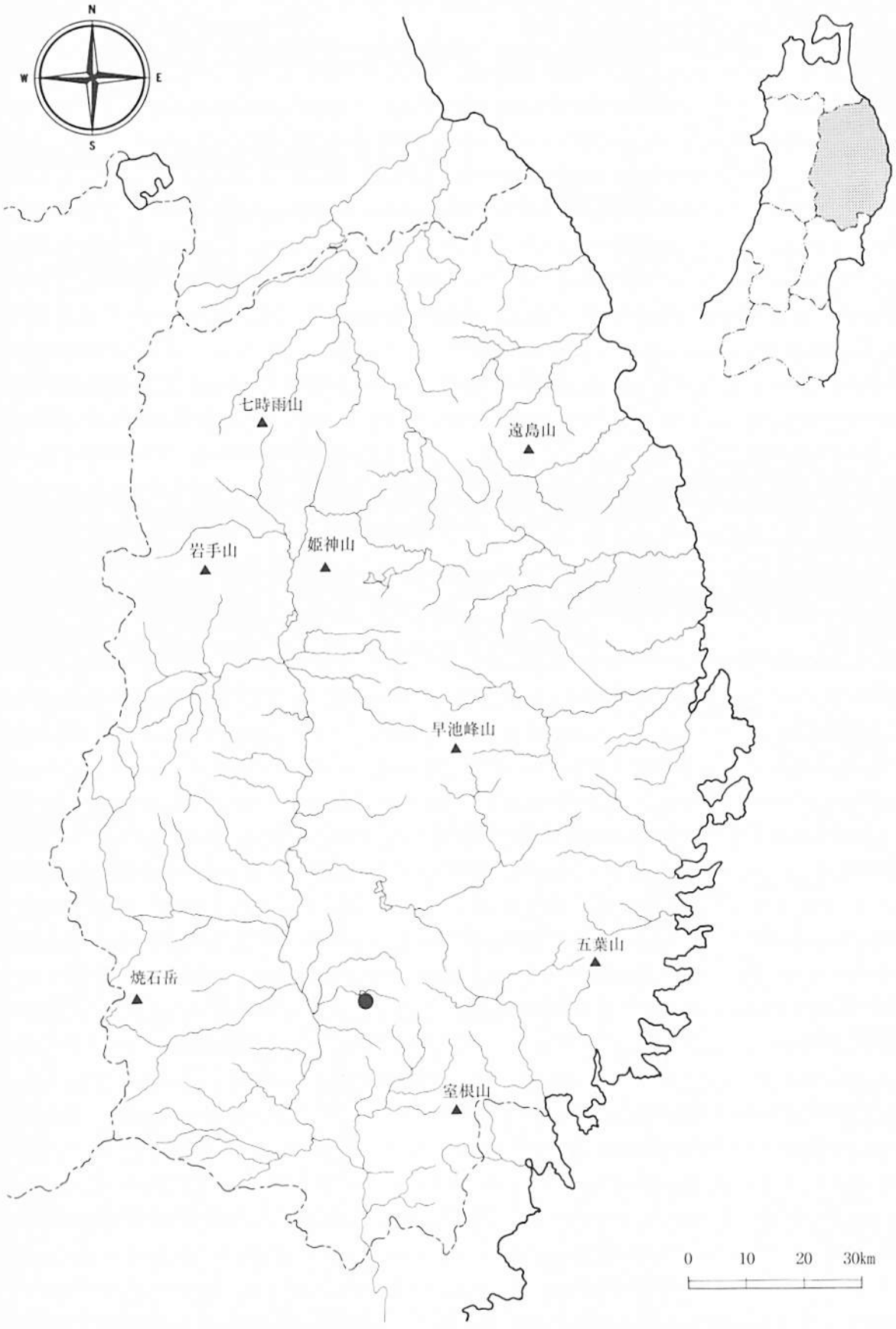
（岩手県水沢地方振興局土木部）

Ⅱ　遺跡の立地と環境

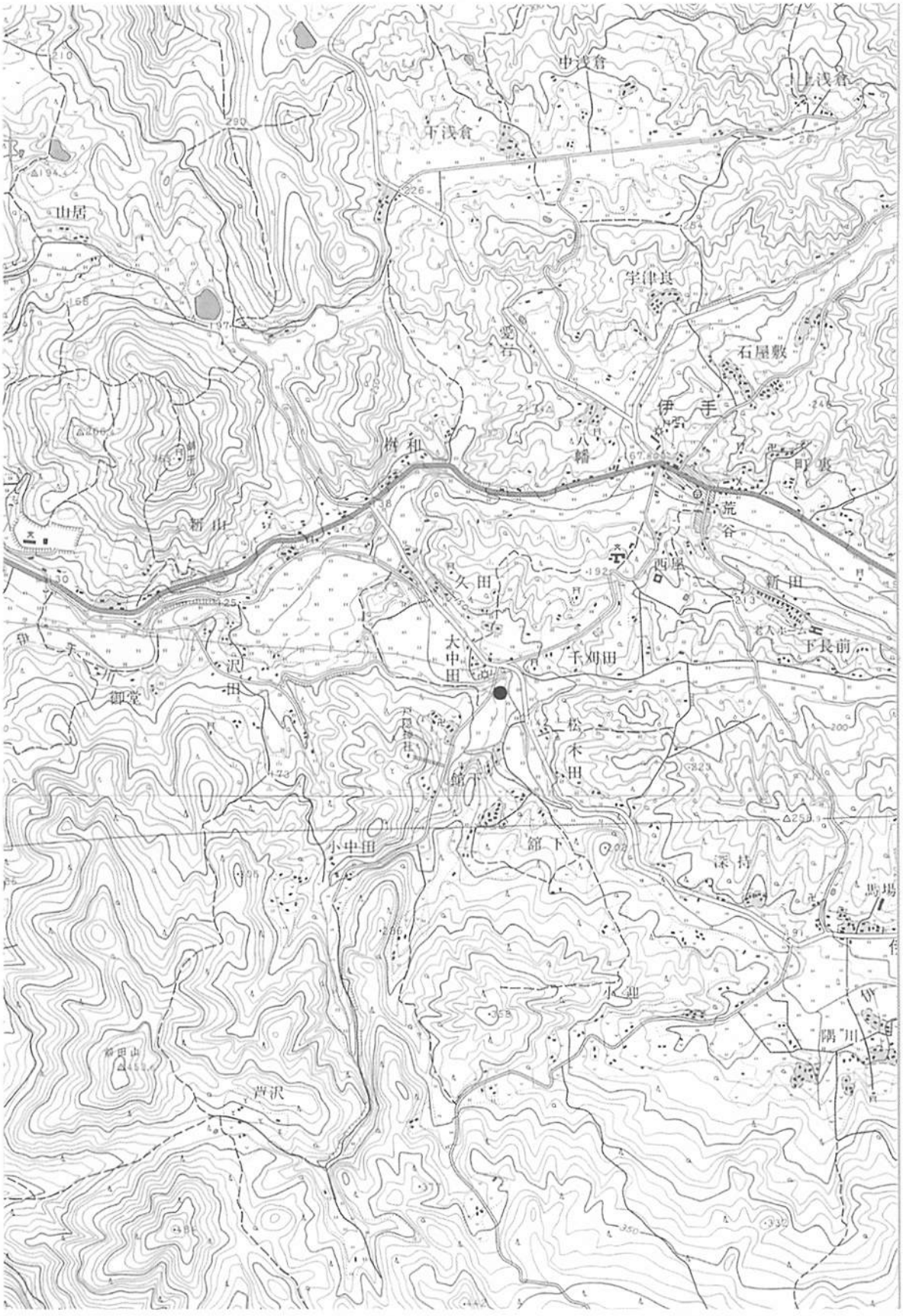
１．遺跡の位置と環境

大中田遺跡は、岩手県内陸南部の江刺市に所在し、JR東北新幹線水沢江刺駅から東へ約９kmのところに所在する。国土地理院発行１/50,000地形図「人首」NJ－54－14－９の図幅に含まれ、北緯39°10′24″、東経141°17′42″（世界測地系）付近である。遺跡は、北上山地丘陵地帯に位置し、付近を西流する伊手川上流部の谷底平野に広がっている。調査区の現況は階段状に造成された水田で、地形改変を受けており、調査区内において遺構の一部または全部が削平を受けていると推測される部分が比較的多く存在した。

江刺市は昭和30（1955）年に岩谷堂町と愛宕・田原・藤里・伊手・米里・玉里・梁川・広瀬・稲瀬の９村が合併し、昭和33（1958）年に市制施行した。総面積は362.50㎢で、東は遠野市・気仙郡住田町、南は東磐井郡大東町、西は水沢市・胆沢郡金ヶ崎町、北は北上市・和賀郡東和町という３市４町村と境を接している。総人口は33,958人（2003年10月31日現在）である。江刺市はその東半分が北上山地の山間部であり、遠野市ならびに住田町との行政区境をなす山々が聳えている。北から、金成山（541m）、笠根山（521m）、明神山（623m）、大森山（820m）、物見山（種山：871m）、立石山（751m）、鷹ノ巣山（792m）を結ぶラインが両市町との行政区境をなす。さらに主要な山稜を列挙すれば、阿茶山（533m）、鳥堂山（553m）、阿原山（782m）、大鉢森山（733m）、天狗岩山（775m）、蓬莱山（789m）といった標高500m以上の山稜が連なっている。これらの多くは頂部一帯が侵食により平坦化したいわゆる準平原（侵食起伏面）である。一方、西半分はさらに２分され、西の北上川流域低地帯、東の漸移的な中間地帯となっている。市域西端を北上川が区切っており、東部の山稜から発する広瀬川、人首川、伊手川等の支流が東から西へと横断し、江刺平野において北上川に合流する。これらの支流が山稜を下刻・侵食した結果、流域には狭隘な谷底平野が断続的に形成されている。江刺市の主要産業は農業であり、農家戸数約4,800戸、農家人口約21,000人と人口比60％を超える。農業生産の中心は北上川流域の沖積平野（江刺平野）であり、水稲、果樹（りんご）、ホップ、野菜栽培が行



第１図　岩手県における遺跡位置（●印）


中浅倉
上浅倉
下浅倉
山居
宇津良
石屋敷
伊手
八幡
桝和
町裏
荒谷
新山
西屋
新田
久田
大中田
千刈田
下長前
沢田
御堂
松木田
館下
小中田
深持
馬場
小迎
隅川
芦沢

第２図　遺跡の位置

われている。とりわけ「江刺金札米」や「江刺りんご」のブランド名で親しまれる良質米と矮化りんごの栽培が盛んである。また東部丘陵地帯では種山高原を中心とした馬産地であったが、乳・肉牛飼育や養鶏等が増加している。一方、現在においては就業人口の２％に過ぎないものの、江刺市における鉱業の歴史は古く、江刺市東部の山岳地帯には金・銅・鉄等の鉱床が人首川水系と伊手川水系に囲まれる地域に分布している。その起源が奥州藤原氏時代にまで遡るとの説もある金山は、米里・伊手地区に点在しており、昭和初期まで操業していた。また、天明年間に生産が開始され、民芸家具として著名な「岩谷堂箪笥」は国の伝統的工芸品として指定されている。市域西端付近を東北新幹線が南北に縦貫しているが鉄道駅はなく、人や物資の移動ならびに流通は市域中心部の岩谷堂地区を経由して縦横に延びる道路網に頼らざるを得ない。国道456号および県道14号（主要地方道一関北上線）が稲瀬～岩谷堂地区を縦貫しており、これと交差して国道397号が田原～伊手地区を横断し、県道８号が愛宕～玉里～米里地区を経由して物見山（種山）付近で国道397号に合流する。

遺跡の位置する伊手地区は、江刺市東部の北上山地南部山稜に立地している。地区の中央付近を伊手川が西流して流域に谷底平野を形成しており、本遺跡はこの谷底平野東側にあたる。伊手は元来、盛街道（現在の国道397号）の要衝の地であり、宿駅が置かれたことで町場が形成された。藩政時代には仙台伊達藩と盛岡南部藩との藩境となっていた。この地区の気候は内陸性の特徴を示しており、昼夜ならびに季節の寒暖の差は比較的大きい。年平均気温は10℃前後と比較的低温で、年間降水量は1,100～1,300㎜である。

２．地形・地質

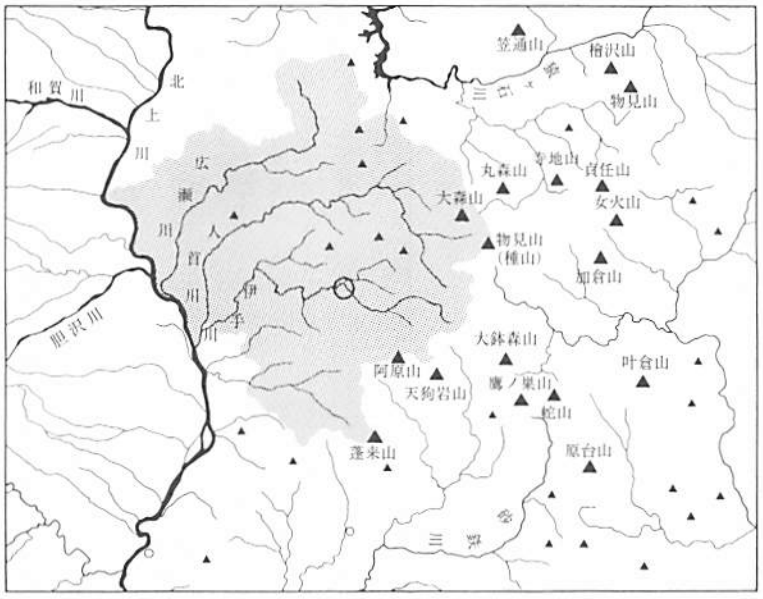
前述のように江刺市一帯の地形は、北上山地から北上川流域低地帯へと連続する漸移的な様相を示しており、西部の北上川左岸の沖積平野部（江刺平野）、東部の北上山地山岳部、およびその中間の丘陵部という３地帯に区分される。伊手地区はこの３地帯のうちの丘陵部分にあたるが、東側と西側では極端に様相が異なる。すなわち東側においては「中起伏山脈」を主にその山裾部分に「山麓地・緩斜面」や「丘陵地」が張り付くのに対し、西側では「砂礫段丘」や「谷底平野」といった比較的平坦な地形となる。概ね梁川と岩明を結ぶラインが両者の境界となっている。伊手川及びその支流の流域には狭隘で複雑に入り組んだ谷底平野が形成され散る。うち、本遺跡周辺の伊手～岩明～藤里付近には比較的広い盆地上の谷底平野が広がっており、現況では水田が連なる平坦面である。本遺跡の拓りはその平坦な谷底平野および丘陵部にあたり、調査区は平坦面に張り出す丘陵の北東部である。前述のとおり現況は階段状の水田で、調査区北側は一段低い水田面へ続く急斜面となっているが、これは後世の造成で削平されたもので、地形改変前の原地形は丘陵頂部から低位平坦面へと続く緩斜面である。

地質について、表層地質区分図に即して概観すると、盛岡～早池峰～五葉山を結ぶラインよりも南部の北上山地では、礫岩に富む古生層が広く分布しているが、江刺市東部付近では古生層を南北に貫く形で中生代の花崗岩・超塩基性岩体が分布している。遺跡周辺部はほぼ後者である貫入する花崗岩質岩石および超塩基性の蛇紋岩質岩石の分布範囲に含まれる。蛇紋岩は遺跡周辺の露頭などで観察することができた。また、伊手川の流路に対応するように砂礫・砂泥等の未固結の沖積層が確認される。以上から、地質的には調査区周辺は中生代の岩体によって構成されている。

３．基本土層

本遺跡周辺は、斜面を利用して段状に水田がつくられていた。そのためＡ区北東部及びＢ区では旧表土で

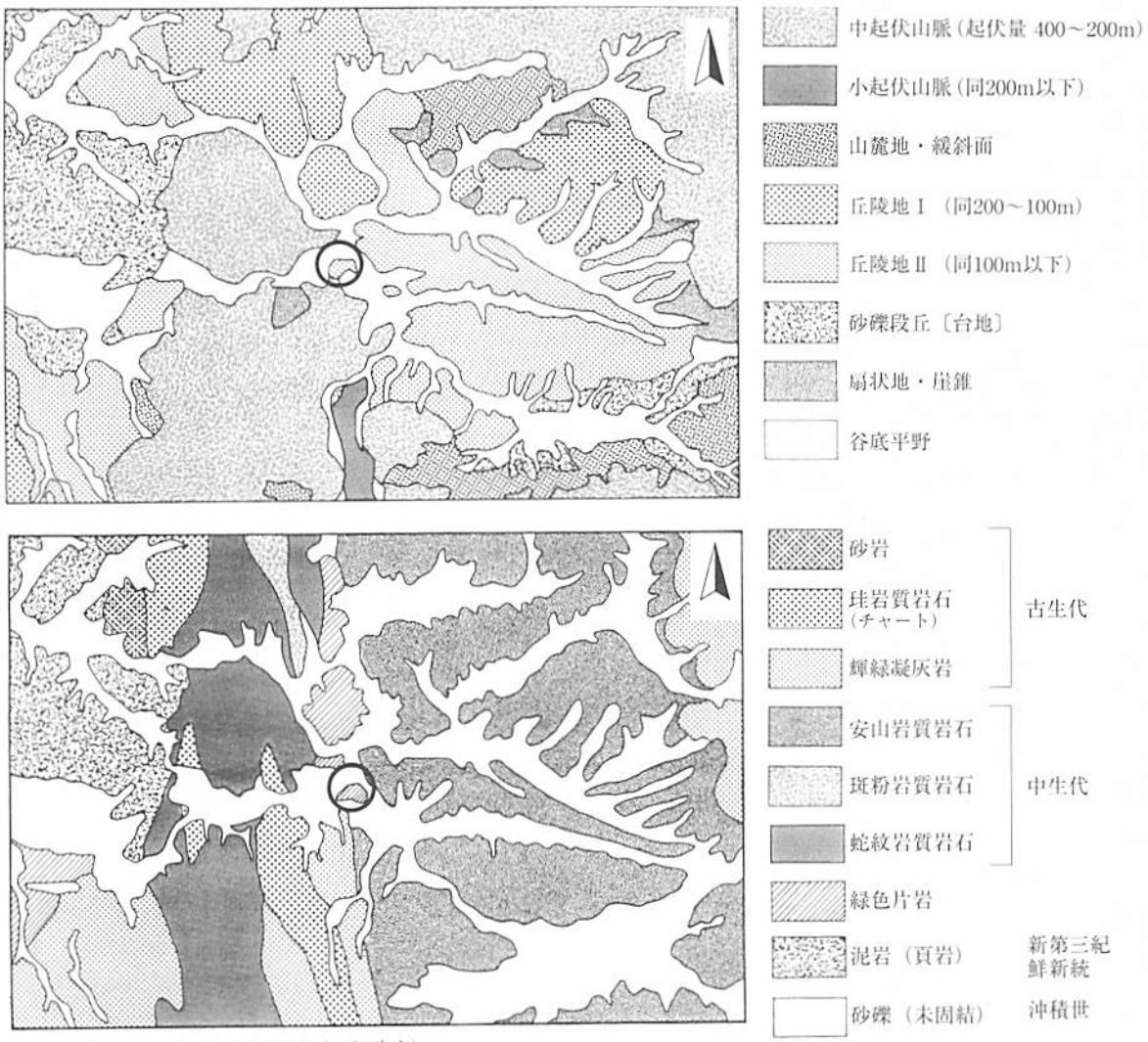
第3図　周辺地形と調査範囲図



〈江刺市周辺の山稜と水系〉
(1：500,000)

▲ 山頂（標高700m超）
▲ 山頂（標高700m以下）

〈地形分類図（上）表層地質分類図（下）〉(1：500,000)



岩手県1970・1973より引用（一部改変）

第4図　周辺の山稜と水系、地形地質分類図

あるⅡ・Ⅲ層が残っているものの、調査区のほとんどは地山面（Ⅳ層）まで削平されてしまっている。各層の詳細は次のとおりである。

Ⅰａ　10YR3/1黒褐色粘土質シルト　現水田土。グレー味強く10YR4/1褐灰色に近い。調査区全体にあり。

Ⅰｂ　10YR3/2黒褐色シルト　旧水田土。黄褐色ブロック・炭微量。Ⅰａ層よりしまりあり、Ⅲ層に似る。調査区南部　及び北部に一部あり。

Ⅰｂ' 10YR3/2黒褐色シルト　旧水田畦畔。Ⅰｂ層よりやや暗い。

Ⅰｃ　10YR2/2黒褐色シルト　Ⅱ層より暗い。Ａ区北西部にあり。下位層より遺構の立ち上がりが確認できるため、本層までが削平層。本層下面が検出面１。

（Ⅰｄ）10YR1.7/1黒色シルト　遺構の埋土にのみ存在。直径10cm程度の柱穴及び遺構の最上層に部分的に確認。柱穴は単一層。遺物等は含まず規模はほぼ同じ。Ⅰａ～Ⅰｃ層に切られ、縄文の遺構より新しい。規則性はありそうだが見いだせず、すべて記録できなかった。縄文の遺構の埋土を構成する土には含まれないことから、削平層もしくは遺構形成後に堆積した層。

（Ⅰｅ）10YR2/1黒色シルト遺構（住居・土坑）埋土の上層にブロックで混じる。５ｄ住では皿状に堆積。Ⅰｄ層よりは明るい。削平層の可能性あり。

Ⅱ　10YR3/2黒褐色粘土質シルト　遺構の埋土主体土となる土。Ａ区南西部及びＢ区に部分的に残存する。

Ⅲ　10YR3/3暗褐色粘土質シルト　黄褐色ブロック、地山ブロック微量。炭極微量。下位層の影響により小礫を含む箇所あり。しまりあり、粘性ややあり。本層下面が検出面３。

Ⅳ①　10YR4/6褐色粘土質シルト　地山層。黄褐色ブロック微量。小礫多く含みジャリジャリいうためきれいに検出できない。Ａ区南東部に広がる。

Ⅳ　10YR5/6明褐色粘土質シルト　茶味強く10YR4/6褐色に近い。明黄褐色ブロック含む。

Ⅳ②　Ⅳ層に比べシルトに近くやや暗くなる

Ⅳ③　砂礫層

Ⅳ④　砂層

４．周辺の遺跡

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が作成している県の遺跡台帳・地図には、江刺市内288箇所の遺跡が登録されている。大中田遺跡近隣の伊手川上流～中流域の遺跡分布状況は、江刺平野部に比べて遺跡数が極端に少ない。その上、北上山中ということで近年の開発が及ばなかったため発掘調査例がほとんどなく、本遺跡以外に新田（２）、久田、下醍醐を数えるに過ぎない。

今回の調査で発見された遺構・遺物は、一部中期末も含まれるものの、縄文時代前期末～中期初頭のものがほとんどを占める。岩手県南部の縄文時代前期後半には大木３～６式土器が分布するが、この時期の遺跡は県内では調査例が少なく、その実態はよくわかっていない。しかし、江刺市を含むいわゆる胆江地区（金ヶ崎町、水沢市、胆沢町、前沢町、衣川村）の場合は、伊藤鉄夫、陽夫両氏の詳細な分布調査によって、ある程度知ることができ、その成果も公表されている（文献１、２）。特に、金ヶ崎町、胆沢町の場合は非常に多くの遺跡が押さえられている。さらに、金ヶ崎町の北に隣接する北上市は、開発が多く、また開発に伴う事前調査を古くから行っていたこともあって、該期の調査例も多い。そこで、この地域を中心に大木３～６式期の遺跡を見ていくことにする。極めて広い範囲で、周辺の遺跡という主旨からは外れるかも知れないが、実態が掴めていないこの時期の遺跡分布を把握することは十分意義あることと考える。作成の元になったの

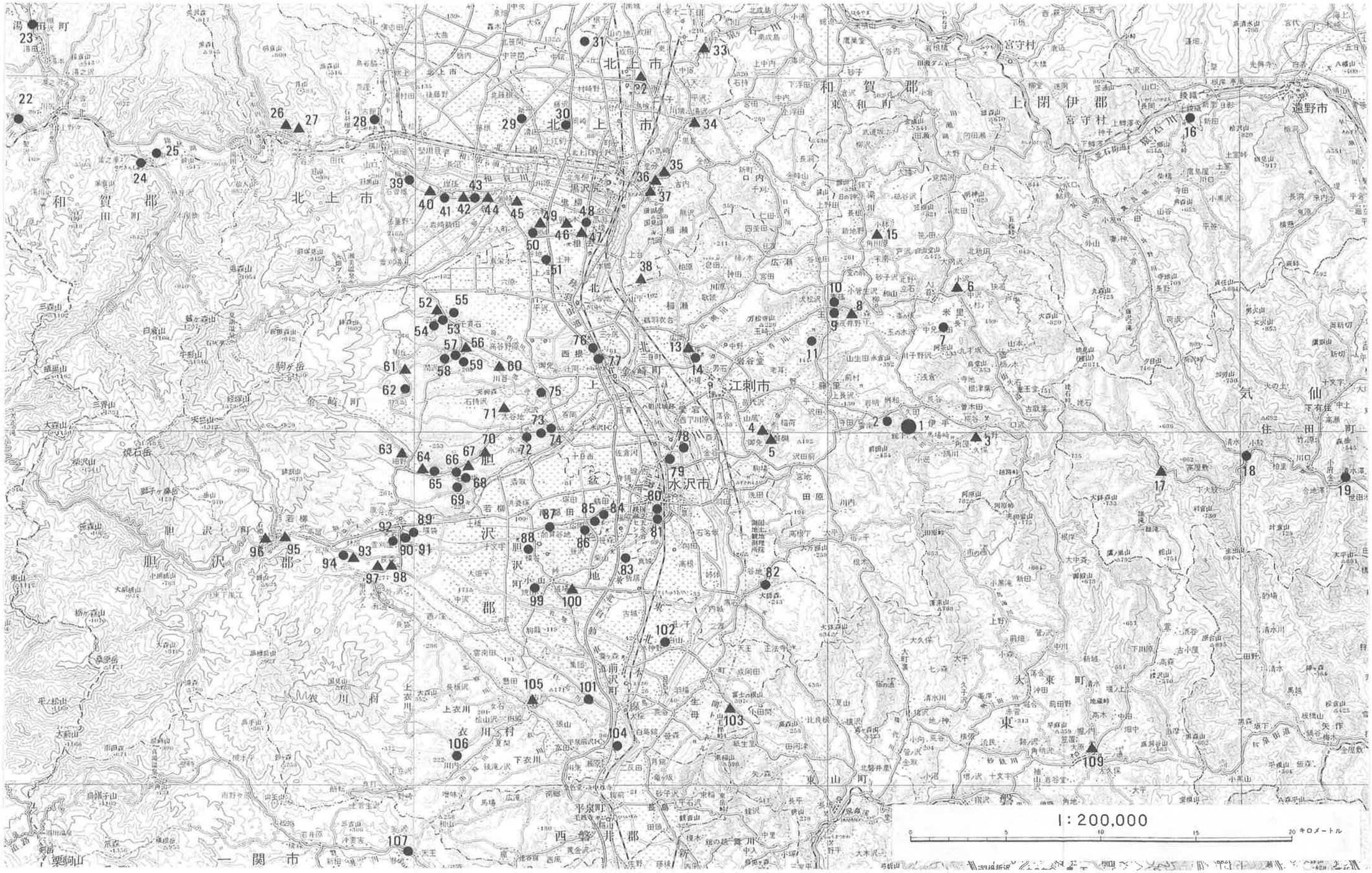
は、当センターの図書室にあった文献である。古い市町村（特に胆沢町）の報告書は見ることができなかったので、落としがあるかも知れない。県内の該期の遺跡を概観すると、６式から顕著に増え画期になっていると思われるので、第４図では、３～５式を含む遺跡を●、６式以降のみの遺跡を▲と、分けて示した。土器片が５式か６式か迷った場合には６式と判断した。表に示した以外に、千厩町奥玉町下から完形に近い大木６式土器が出土している（文献81）。しかし、出土地点が特定できず県の遺跡台帳にも登録されていないので、今回は扱わなかった。

この結果を見ると、該期の遺跡は、地形の変化点、それも段丘縁に立地することが多く（文献82：p.13）、和賀川、胆沢川流域では特に顕著で線状に連続してみられる。これらの遺跡では礫石錘が顕著に出土する。比較的高い所に立地することが多いが、低位段丘にも見られる（78、79）。同時期の遺跡が近接して群をなし、それが点在分布することが多いようである。●と▲の遺跡に顕著な違いは見出せなかった。

参考文献（括弧内の数字は第１表の文献番号も示す）

（１）法政大学文学部考古学研究室1990「法政大学所蔵　伊藤鉄夫・陽夫考古学資料目録Ⅰ－伊藤陽夫収集資料編－」
（２）法政大学文学部考古学研究室1996「法政大学所蔵　伊藤鉄夫・陽夫考古学資料目録Ⅱ－伊藤鉄夫収集資料編－」
（３）相原康二1981「江刺市史第五巻　資料編　考古資料」江刺市史編纂委員会
（４）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002「岩手県埋蔵文化庁発掘調査略報（平成13年度）」（第397集）
（５）佐藤浩彦1999「岩手県遠野市新田Ⅱ遺跡」「考古学ジャーナル」451ニューサイエンス社
（６）住田町史編纂委員会1997「住田町史第一巻　自然考古編」
（７）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002「小松Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（第392集）
（８）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994「白木野Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡発掘調査報告書」（第200集）
（９）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「塚野Ⅰ・塚野Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（第199集）
（10）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001「清水ヶ野遺跡発掘調査報告書」（第351集）
（11）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996「耳取Ⅰ遺跡Ａ地区発掘調査報告書」（第232集）
（12）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996「耳取Ⅰ遺跡Ｂ地区発掘調査報告書」（第292集）
（13）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996「峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区範囲確認調査報告書」（第233集）
（14）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1999「峠山牧場Ⅰ遺跡Ａ地区発掘調査報告書」（第291集）
（15）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000「峠山牧場Ⅰ遺跡Ｂ地区発掘調査報告書」（第320集）
（16）和賀町教育委員会1990「和賀町内遺跡分布調査報告書Ⅱ（山口・岩沢・仙人地区）」（第23集）
（17）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「人当Ⅰ遺跡発掘調査報告書」（第193集）
（18）北上市教育委員会1993「蟹沢館遺跡発掘調査既報」（北上市埋蔵文化財調査報告第14集）
（19）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1985「新平遺跡発掘調査報告書」（第91集）
（20）草間俊一1971「岩手県江釣子村新平遺跡」「日本考古学年報19（昭和41年度）」日本考古学協会編　誠文堂新光社
（21）岩手県教育委員会1982「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書　ＸＶ」（第70集）
（22）江釣子村教育委員会1983「江釣子遺跡群－昭和57年度発掘調査報告－（鳩岡崎上の台遺跡・蔵屋敷遺跡）」
（23）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995「鳩岡崎上の台遺跡発掘調査報告書」（第240集）
（24）北上市史刊行会1968「北上市史第一巻　原始・古代（1）」
（25）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1998「唐戸崎・唐戸崎「遺跡発掘調査報告書」（第279集）
（26）北上市教育委員会1998「唐戸崎遺跡」（北上市埋蔵文化財調査報告第35集）
（27）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1990「物見崎遺跡・監物館跡発掘調査報告書」（第157集）
（28）北上市教育委員会1985「高畑遺跡発掘調査報告」「北上市立博物館研究報告」５
（29）北上市教育委員会1995「横町遺跡発掘調査既報」（北上市埋蔵文化財調査報告第21集）
（30）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996「横町遺跡発掘調査報告書」（第236集）
（31）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「館、遺跡発掘調査報告書」（第187集）
（32）（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001「岩手県埋蔵文化財略報（平成12年度）」（第370集）
（33）岩手県教育委員会1952「江刺郡稲瀬村樽山遺跡調査予報」（第２集）＜今回未見＞
（34）岩手県教育委員会1954「江刺郡稲瀬村樽山遺跡調査報告」（第３集）
（35）北上市教育委員会1968「北上市稲瀬町樽山遺跡緊急調査中間報告（昭和42年度）」（北上市文化財調査報告第３集）＜今回未見＞
（36）北上市教育委員会1969「北上市稲瀬町樽山遺跡緊急調査報告（昭和43年度）」（北上市文化財調査報告第７集）

(37) 北上市教育委員会1990「樺山遺跡（1989年度）」（北上市文化財調査報告第59集）
(38) 北上市教育委員会1996「樺山遺跡（1992・1993年度）」（北上市埋蔵文化財調査報告第25集）
(39) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1992「石曽根遺跡発掘調査報告書」（第165集）
(40) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「法量野Ⅰ遺跡・中屋敷遺跡発掘調査報告書」（第182集）
(41) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1994「煤孫遺跡発掘調査報告書」（第196集）
(42) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「兵庫館跡・梅ノ木台地Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（第180集）
(43) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1991「梅ノ木台地Ⅰ遺跡発掘調査報告書」（第162集）
(44) 岩手県教育委員会1981「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書－Ⅸ－」（第58集）
(45) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1990「岩崎城西遺跡発掘調査報告書」（第148集）
(46) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1992「岩崎台地遺跡群発掘調査報告書」（第176集）
(47) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995「岩崎台地遺跡群発掘調査報告書」（第214集）
(48) 北上市教育委員会1975「鹿島館遺跡調査報告書Ⅰ」（北上市文化財調査報告第14集）＜今回未見＞
(49) 北上市教育委員会1973「北上市丸子館調査報告書」（北上市文化財調査報告第12集）
(50) 岩手県立博物館1982「岩手の土器」
(51) 北上市教育委員会1983「滝ノ沢遺跡（1977～1982年度調査）」（北上市文化財調査報告第33集）
(52) 北上市教育委員会1990「滝ノ沢遺跡Ⅱ（1989年度調査）」（北上市文化財調査報告第60集）
(53) 北上市教育委員会1991「滝ノ沢遺跡Ⅲ（1984・86・87・88・90年度調査）」（北上市文化財調査報告第63集）
(54) 北上市教育委員会1999「滝ノ沢遺跡Ⅴ（1997年度調査）」（北上市埋蔵文化財調査報告第40集）
(55) 北上市教育委員会1998「成沢Ⅱ遺跡」（北上市埋蔵文化財調査報告第32集）
(56) 金ヶ崎町教育委員会1973「千貫石・長根前遺跡」
(57) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1987「和光６区遺跡発掘調査報告書」（第114集）
(58) 金ヶ崎町教育委員会1994「上原遺跡」（第31集）
(59) 岩手県教育委員会1981「東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書－Ⅹ－（金ヶ崎地区）」（第59集）
(60) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1996「沢田・仙人東遺跡発掘調査報告書」（第230集）
(61) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1999「佐野原遺跡発掘調査報告書」（第327集）
(62) 草間俊一1971「第三編第三章　中島遺跡」「水沢の原始・古代遺跡」水沢市教育委員会
(63) 胆沢町教育委員会1988「浅野遺跡調査報告書」（第17集）
(64) 小原正治1981「第三章縄文文化時代」「第四章縄文文化時代の町内遺跡」「胆沢町史Ⅰ　原始古代編」胆沢町史刊行会
(65) 胆沢町教育委員会1994「尼坂遺跡－第四次緊急発掘調査報告書－」（第25集）
(66) 胆沢町教育委員会1996「石行遺跡」（第27集）
(67) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001「大清水遺跡発掘調査報告書」（第373集）
(68) 胆沢町教育委員会1985「大清水上遺跡調査報告書」（第15集）
(69) 佐藤淳一2002「大清水上遺跡－縄文時代前期後葉の環状集落－」「考古学ジャーナル」487ニューサイエンス社
(70) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成12年度）」（第370集）
(71) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1998「下屋前Ⅳ遺跡発掘調査報告書」（第269集）
(72) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000「屋前Ⅱ遺跡Ｂ地区発掘調査報告書」（第343集）
(73) 前沢町教育委員会1999「町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ　前沢地区」（第８集）
(74) 前沢町教育委員会1997「田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書」（第４集）
(75) 前沢町教育委員会2000「町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅲ　生母地区」（第10集）
(76) 衣川村教育委員会1987「上衣川地区遺跡詳細分布調査報告書」（第２集）
(77) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2000「上寺田遺跡・本巻遺跡発掘調査報告書」（第328集）
(78) 一関市教育委員会1977「庄司合遺跡発掘調査概要（第二次調査）」（第10集）
(79) 遠藤郁夫1978「第二章　原始時代」「一関市史第１巻通史」一関市史編纂委員会
(80) 大東町教育委員会1999「龍願寺遺跡発掘調査報告書」（第22集）
(81) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1986「考古遺物資料集」第６集
(82) 佐々木彰1983「遺跡にみる拡散化現象について」「法政考古学」８法政考古学会
(83) （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002「新田遺跡発掘調査報告書」（第405集）


1 伊手
2
3
4
5
6 米里
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
北上市
和賀郡
和賀町
江刺市
水沢市
胆沢郡
胆沢町
金ケ崎町
西根町
前沢町
衣川村
一関市
東和町
宮守村
上閉伊郡
遠野市
住田町
気仙
大東町
東山町
西磐井郡
平泉町
1：200,000
0 5 10 15 20 キロメートル

第5図　周辺の遺跡

表１　周辺の遺跡一覧（１）　　（（　）は出土地名で、遺跡名ではない）

No	遺跡名	所在地	遺跡の性格・遺構・遺物	調査の有無	備考	文献
1	大中田	江刺市	5~7a式土器集落跡・土坑、玦状耳飾	報告遺跡		
2	新田	江刺市	5a~6式期集落跡・土坑・前初~7b式土器、土偶	セH13年(1,600㎡)		83
3	(地の神)	江刺市	6~7式土器片？		地ノ神遺跡とは位置ずれる	1
4	(醍醐)	江刺市	6~7a式土器片	調査では出土せず	下醍醐遺跡に相当	2
5	(上醍醐)	江刺市	6~8a式土器片		醍醐寺跡に相当	1
6	野里	江刺市	6~7b式土器片			1
7	(阿茶山Ｉ)	江刺市	3式土器片？		県遺跡台帳相当遺跡なし	1
8	(元町)	江刺市	6~8a式土器片		県遺跡台帳相当遺跡なし	1
9	守林寺	江刺市	5~6式？土器片			1
10	(釜渕)	江刺市	「5、6式？」		県遺跡台帳相当遺跡なし	3
11	(大塚)	江刺市	「5、6式」		県遺跡台帳相当遺跡なし	3
12	(合ノ沢)	江刺市	5a式？土器片		県遺跡台帳相当遺跡なし	3
13	根岸	江刺市	6式土器片			2、3
14	宝性寺跡	江刺市	5~7式期集落跡・ロングハウス、墓壙、捨て場・玦状耳飾、ヒスイ装飾	セ今年度報告予定		4
15	(落合)	江刺市	6式土器片		県遺跡台帳相当遺跡なし	1
16	新田Ⅱ	遠野市	2~4式集落、ロングハウス30環状・墓域、貯蔵穴、道路跡？・玦状耳飾45点、カツオブシ形石製品	確認調査継続中		5
17	落合	住田町	6式土器片			6
18	館	住田町	３～５式期集落跡・ロングハウス	セ今年度報告予定		4
19	赤畑	住田町	5a~5b式土器片			6
20	小松Ⅱ	住田町	6~8b式土器（6極少）	セH12年（2000㎡）	図幅外、東約４km	7
21	白木野Ｉ	湯田町	土器埋設遺構（円筒下層d式と6式との折衷）・6~7a式土器	セH４年（3,000㎡）	図幅外、西約２km	8
22	塚野Ｉ	湯田町	1~3式土器片？	セH４年（7,755㎡）		9
23	清水ヶ野	湯田町	6式期集落跡・ロングハウス・5a~7a式土器、鳥尾形石製品、玦状耳飾、磔石錘338点	セH11年（1,200㎡）		10
24	耳取Ｉ	湯田町	5~6式期集落跡・住居４？・5a~6式土器	セH5,6年（34,300㎡）		11、12
25	峠山牧場Ｉ	湯田町	円筒下層d式埋設土器・磔石錘39（所属時期不明）	セH5,6年（43,000㎡）		14
	峠山牧場Ｉ	湯田町	5~7a式？環状集落・ロングハウス、墓？・4土器、岩偶、鳥尾、玦状耳飾、磔石錘566	セH８年（6,120㎡）	セH6年確認調査	13、15
26	人首Ⅲ	北上市	6式土器片			16
27	人首Ｉ	北上市	6？式土器片	セH３年（400㎡）		17
28	蟹沢館	北上市	2a?~5式期環状集落跡・ロングハウス住居、貯蔵穴、集石?・岩偶、鳥尾形、カツオブシ形、玦状耳飾、磔石錘6571点	市S63~H２年（？）	約3,000㎡？・調査時は町	18
29	新平	北上市	6~7a式集落跡？・フラスコ状土坑・4？~7a式土器、磔石錘7	セS59年（1,572㎡）	調査は他にS41年等３回	19、20
30	鳩岡崎	北上市	6~8b？式期集落・ロングハウス、フラスコ状土坑多・5b式土器、土偶、玦状耳飾	県S48~51年（？）	約5,000㎡？	21
	鳩岡崎上の台	北上市	6式土器片	村S57年（235㎡）	中期ほとんど、調査時は村	22
	鳩岡崎上の台	北上市	5a~8b式期集落跡・ロングハウス、フラスコ状土坑多・磔石錘65点	セH5,6年（3,969㎡）	県調査より古い時期主	23
31	館石崎	北上市	5~8a式土器（前期極少）、磔石錘	セH９年（2,641㎡）	市の調査の際には前期出土なし	24~26
32	物見崎	北上市	6式？竪穴住居跡・6式土器、磔石錘	セH１年（1,945㎡）		27
33	高畑	北上市	6~7a式期集落跡・住居、フラスコ・5b式土器、玦耳飾、石剣、磔石錘	市S46年（トレンチ）		28
34	神行田	北上市	6~8b式土器（6極少）			24
35	横町	北上市	5~7a？式集落跡・ロングハウス	市H４~６年（21,000㎡）		29
	横町	北上市	土坑3？・6~7a式器	セH６年（1,980㎡）		30
36	館Ⅳ	北上市	6式土器片	セH１~３年（8,952㎡）		31
37	館Ⅱ	北上市	6？式土器片	セH12年（400㎡）		32
38	樺山	北上市	6~8b？式期集落・6式住居・土偶、玦状耳飾	市S42, 43年他	市H1年(?)、H4,5年確認調査	33~38
39	石曽根	北上市	5~7b式土器（前期少）、磔石錘50（所属時期不明）	セH1,2年（3,150㎡）		39
40	法量野Ｉ	北上市	6~7a式土器片	セH2,3年（9,990㎡）		40
41	煤孫	北上市	6~7a式期集落跡・竪穴住居、フラスコ・遺物多、5式土器、土偶多、玦状耳飾、石冠、男根状石、磔石錘2230点	セH2,3年（15,560㎡）		41
42	梅ノ木台地Ⅱ	北上市	6式土器	セH３年（3,890㎡）		42
43	梅ノ木台地Ｉ	北上市	5a~7b式土器	セH1,2年（9,000㎡）	県S50（2,000㎡）でも5式土器	43、44
44	岩崎城西	北上市	6式土器片	セH１年（5,550㎡）		45
45	岩崎台地	北上市	6式期住居、土坑？	セS63~H２年（15,047㎡）		46
	岩崎台地	北上市	6式土器片	S63~H３年（16,267㎡）	センター調査	47
46	鹿島館	北上市	6式土器？	市調査	今回報告書未見	48
47	丸子館	北上市	6式土器	市S47年（不詳）	滝ノ沢遺跡？	49、50
48	滝ノ沢	北上市	5~7b式集落（5、7b土器極少）？・遺物多、土偶、玦状耳飾、磔石錘2,600以上	市S52~H1,9年（？）	7,500㎡程度？・報告書未刊？	51~54
49	(成沢)	北上市	6式土器片		下成沢Iと二十人町I遺跡の間	2
50	成沢Ⅱ	北上市	5式？住居２？・土器小片	市H９年（2,000㎡）		55
51	(大谷地)	北上市	4？、5a~6式土器片		上大谷地遺跡の北西	2
52	千貫石Ｉ	金ヶ崎町	6~8a式土器片			1
53	千貫石Ⅱ	金ヶ崎町	2b~3式土器片	町S48年（1,314㎡）		56

表1　周辺の遺跡一覧（2）

No	遺跡名	所在地	遺跡の性格・遺構・遺物	調査の有無	備考	文献
54	千貫石Ⅲ	金ヶ崎町	1、4、7a式土器・玦状耳飾	町S48年（1,908㎡）		56
55	（吉田沢西）	金ヶ崎町	5a～6式土器片、土偶		吉田沢遺跡の西	1
56	（和光北下）	金ヶ崎町	6式土器片		和光6区遺跡の北	1
57	和光6区	金ヶ崎町	6～7a式集落跡・住居2ほか・5a～b式土器、土偶、玦状耳飾、礫石錘5	セS59年（1,500㎡）		57、1
58	（和光6区西）	金ヶ崎町	3?、6式土器片		和光6区遺跡の範囲内	1
59	（天ヶ森牧場）	金ヶ崎町	2a～3式土器片		天ヶ森遺跡に相当	1
60	（稲沢）	金ヶ崎町	6～7a式土器		少しずれるが稲沢遺跡？	1、2
61	（駒ヶ岳山麓D-1）	金ヶ崎町	6～7式土器片		潤沢奥遺跡に相当??	1
62	（駒ヶ岳山麓R3-2）	金ヶ崎町	1～3式土器片		県遺跡台帳に相当遺跡なし	1
63	（細野中の股）	金ヶ崎町	6式土器片		細野北遺跡のそば	1
64	（細野二ノ鳥戸館西）	金ヶ崎町	6式土器片		県遺跡台帳に相当遺跡なし	1
65	（旧細野小学校西）	金ヶ崎町	5a～7式土器片		鳥ノ海西遺跡に相当？	1
66	鳥ノ海	金ヶ崎町	4～6式土器片			1
67	鳥ノ海東	金ヶ崎町	6～中期前半土器片			1
68	（女夫坂高橋宅付近）	金ヶ崎町	3？式土器片		県遺跡台帳に相当遺跡なし	1
69	（女夫坂松長根）	金ヶ崎町	3？式土器片		相当遺跡、古い遺跡台帳にある？	1
70	（野崎）	金ヶ崎町	6式土器片		少しずれるが野崎遺跡に相当？	2
71	上原	金ヶ崎町	6式土器片	町H5年（？）		58
72	平林後	金ヶ崎町	5b～6式土器片			1
73	（笹森東）	金ヶ崎町	1～3式土器片		笹森遺跡に相当	1
74	（不動沢）	金ヶ崎町	1～3式土器片		不動沢遺跡に相当	1
75	滑利	金ヶ崎町	5～7a式土器片			1、2
76	中荒巻	金ヶ崎町	6～7b式土器片	県S47、48、50年（3,000㎡）	文献1には5a式土器片掲載	59、1
77	（中荒巻東）	金ヶ崎町	4？、6～7a式土器		荒巻遺跡に相当	1
78	沢田	水沢市	5a、6？式土器片	セH5、6年（1,320㎡）		60
79	佐野原	水沢市	6式期竪穴住居跡・5a式土器？	セH9、10年（2,347㎡）		61
80	梨畑	水沢市	4？、5a～中期前半土器片			2
81	（大鐘）	水沢市	3？、4？、5a～6式土器片		県遺跡台帳に相当遺跡なし	2
82	（谷地）	水沢市	5～中期前半土器片		下長田遺跡に相当	1
83	中島	水沢市	2b～8a?式土器	市S38年（トレンチ）	土偶表採	62、1、2
84	浅野	胆沢町	6式期？住居2・5a？～7a式土器（5極少）	町S60年（約600㎡？）	土偶、玦状耳飾表採	1、2、64
85	片子沢	胆沢町	「4式前後土器片」			64
86	糀谷田	胆沢町	「4式前後土器」片			64
87	尼坂	胆沢町	4or5a式土器片	町H5年（793㎡）	前3次の調査では出土せず？	65
88	石行	胆沢町	4or5a式土器片	町H7年（550㎡）		66
89	宮沢原成沢	胆沢町	4式土器			1
90	（宮沢原D）	胆沢町	6式土器片		宮沢原遺跡の範囲内	64
91	（宮沢原E）	胆沢町	4？、6式土器片、5a式輪積土器		宮沢原遺跡の範囲内	1
92	萱刈窪	胆沢町	5～6式土器片、玦状耳飾、石剣			1、64
93	大清水	胆沢町	6式土器片	セH12年（9,120㎡）		67
94	大清水上	胆沢町	5a～6式期集落跡・ロングハウス、住居・土偶、玦状耳飾、礫石錘	町S58、59年（7,600㎡）	セの調査範囲に含まれる	68
	大清水上	胆沢町	5式期ロングハウスによる環状集落・墓壙？＝土玉130点出土・6式土器、イチジク形土製品	セH12年～継続		4、69、70
95	下尿前Ⅳ	胆沢町	6式土器片	セH8年（8,000㎡）		71
96	尿前Ⅱ	胆沢町	6式土器	セH11年（7,500㎡）		72
97	（上萩森北東下）	胆沢町	6～9式土器片		県遺跡台帳に相当遺跡なし	1
98	（萩森）	胆沢町	6～7？式土器片		萩森北遺跡に相当	1
99	恩俗長根	胆沢町	5b式土器片			64
100	（小山大畑）	胆沢町	6～7式土器片		大畑遺跡とは離れている	2
101	合ノ沢B	前沢町	5a、6式土器片			73
102	田高Ⅱ	前沢町	5b～7a式土器（6式主）、岩偶、玦状耳飾	町H8年（4,500㎡）		74
103	上木	前沢町	遺物包含層、フラスコ状土坑？・6式土器、土偶	町H11年（？）	報告書未刊？	75
104	照井館	前沢町	1～3式土器片			1
105	古戸	衣川村	6式土器片			76
106	本巻	衣川村	5a～6式土器片	セH10年（510㎡）		77
107	庄司合	一関市	6式期配石遺構？・5a～6式土器	市S34、46年	一次調査の結果未見	78
108	石蔵	一関市	「6式土器」		図幅外、南約1km	79
109	龍願寺	大東町	6～7a式土器片	町H10年（136㎡）		80

Ⅲ　野外調査と室内整理の方法

1．野外調査

（1）調査区

調査区は、東西に約80m、南北幅は4～22mと変化が激しい。

（2）グリッドの設定・区割

①グリッドの設定

グリッドの設定については、平面直角座標第Ⅹ系（日本測地系）を用いた。一辺5×5mのグリッドを設定し、北から南へ算用数字の1・2…西から東にアルファベット小文字のa・b・c…として「1a」「2b」と表した。実際の区画設定は、下表の通り調査区内に基準点・区画割付杭を打設しこれを用いた。なお世界測地系に変換した座標値も一部併記した。

表2　基準杭・区画割付杭一覧

	X（日本測地系）	Y（日本測地系）	H	グリッド	X（世界測地系）	Y（世界測地系）
基1	−91955.000	40200.000	146.750	6e	−91646.8972	39899.6123
基2	−91955.000	40230.000	146.533	6k	−91646.8976	39929.6124
補1	−91940.000	40200.000	146.636	3e	−	−
補2	−91940.000	40215.000	146.300	3h	−	−
補3	−91955.000	40215.000	147.172	6h	−	−
補4	−91965.000	40250.000	146.639	8o	−	−
補5	−91965.000	40260.000	146.518	8q	−	−
補6	−91965.000	40253.000	146.447	−	−	−

②区割

調査区西側と東側の間に低位の水田面への斜面部を挟むため、便宜的に西側を「A区」、東側を「B区」と呼称した。

（3）粗掘り・遺構検出

調査区内に任意に試掘トレンチを設定し人力掘削を行い、土層の堆積状況と遺構検出面を観察した。その結果基本層序Ⅱ～Ⅳ層上面まで後世の掘削が及んでいることが判明し、これを重機で除去した。表土除去後、鋤簾・両刃鎌・移植ベラを用いて遺構検出作業を行った。尚、調査区北側の急斜面部は後世の造成によって地山層以下まで削平されていることが判明したため、トレンチによる確認調査のみとした。

（4）遺構名のつけ方

①野外調査

遺構には検出時に仮名称を付けた。竪穴住居跡の可能性があると判断したものは付近のグリッド名を用い（「3e住」「2d住」など）、それ以外の土坑・焼土・柱穴状土坑に関してはそれぞれ1から順に通し番

号を付した。

②報告書掲載

野外調査時および室内整理時には、検出時に命名した名称を変更することなく（遺構種類が異なっていた場合も含めて）使用した。報告書掲載時に竪穴住居跡についてのみ新たに掲載名称をつけ、その他の遺構に関しては、野外調査時の名称をそのまま用いた。そのため欠番が生じているものもある。

（5）遺構精査・遺物の取り上げ

精査は、遺構の規模に応じて2分法・4分法を用いて断面を残し埋土の堆積状況を記録した。遺構内遺物は層別に取り上げることはできず、上層（・中層）・下層・埋土一括と区分した。床面～下層にかけて出土したものおよび遺物が集中している箇所に関しては可能な限り出土地点を記録し番号をつけて取り上げた。遺構外出土の遺物に関しては、グリッドごと、または遺物の広がるまとまりごとに取り上げた。

（6）実測

遺構の実測は平面図及び断面図の作成を行った。平面実測は、1m方眼を基準にした簡易遣り方測量を主に採用したが、遺構が密集している区域でも、平面実測と周辺遺構の掘り下げ作業が同時に進められるという利点から、光波トランシットによる実測も積極的に行った。また遺構配置図・柱穴などの記録は平板実測を併用した。縮尺は1/20を基本としたが、竪跡断面図は1/10を用いる等、必要に応じて任意の縮尺で実測した。

（7）写真撮影

写真撮影は、メインカメラとして中判カメラ（モノクロ）、サブカメラとして35 判カメラ（モノクロ・リバーサル）、メモ用にデジタルカメラを使用した。これらのカメラでは、各遺構の全景・断面・遺物出土状況を中心に撮影を行い、遺跡全体は小型飛行機により空中からの俯瞰写真を撮影した。

（8）野外調査の経過

4/9	中村絵美・木村ひかり調査員、作業員約20名で調査開始。
4/10・11	試掘。
4/12～	重機による表土掘削、遺構検出開始。
4/15	基準点測量。
4/18	遺構精査開始。
4/22	調査区境北側に防護柵設営。
5月上旬	当初予定より遺構数が増加した上に検出面が2面あることが判明し月末終了予定が不可能となる。調査延長を検討。
6/3～17	太田代調査員支援。
6/12	岩手日報 江刺支局取材。
6/17	現地説明会。100名を超える一般参加。
6/25	伊手小学校児童（4～6年生）遺跡見学。
7/4	小型飛行機による空中写真撮影。
7/8	終了確認。
7/10	台風6号による大雨。調査区は水没し、ベルト倒壊、地割れなど被害を受ける。
7月上旬	天候不順続く。調査終了間近のため、雨具を着用して作業を継続。
7/17	調査終了。

2．室内整理

（1）遺物の処理

①選別基準

〈土器〉

a－1．立体に復元可能な個体で口縁部が残存しているもの。

a－2．立体に復元可能な個体で地文以外の文様帯が見られるもの。

a－3．立体に復元可能な固体で胴部から底部にかけて残存し地文のみのもの。

b－1．口縁部破片資料

b－2．胴部破片資料で文様帯が見られるもの。

土器は大コンテナで約35箱出土し、この中から上記の基準で一次選別をした結果、約1600点登録された。しかし予定整理期間内でこれらすべて実測・掲載することは不可能なため、さらに第二次選別を行い、a－1・2は全点、a－3・bは、遺構・グリッドごとに代表される資料のみを選んだ。そして第2次選別した資料のうち、遺構内出土土器に関しては、全点実測・掲載したが、遺構外出土土器は、aを実測・掲載し、bは写真掲載のみとした。但し、遺構外出土の破片資料（b）でも、室内整理開始当初に遺構内出土と判断したものに関しては実測を行っている。以上のような方法を採用した結果なお予定期間内での終了が困難であったため、地文及び凹凸少ない文様帯に関しては積極的に拓影を採用した。

〈石器〉

いわゆる定形石器及び不定形石器、二次加工・微細剥離を有する剥片を選別し約800点登録した。これらのうち定形・不定形石器の分類を行い、各種類・分類された資料のうち代表的なものに関してのみ実測・掲載し、それ以外のものは写真・表掲載とした。また不連続な二次加工・微細剥離を有する剥片に関しては細分をせず、表掲載のみとした。

〈土製品・石製品〉

基本的に全点実測・掲載した。但し粘土塊及び二次加工のない滑石に関しては写真・表掲載のみとした。

②遺物番号・掲載順序

遺物登録時に土器・土製品を一緒に1から仮番号を付した。石器・石製品は器種を示すアルファベットと数字を組み合わせて表現した。室内整理作業時はこの仮番号を用い、掲載順序決定後に新たに番号を付した。なお、土器は遺構・グリッドごと、その他の遺物は器種ごとに掲載している。

（2）遺構の処理

遺構の実測図は整理及び点検を行った後に、必要に応じて図面を合成し第二原図を作成し、これをもとにトレースを進めた。

（3）図版について

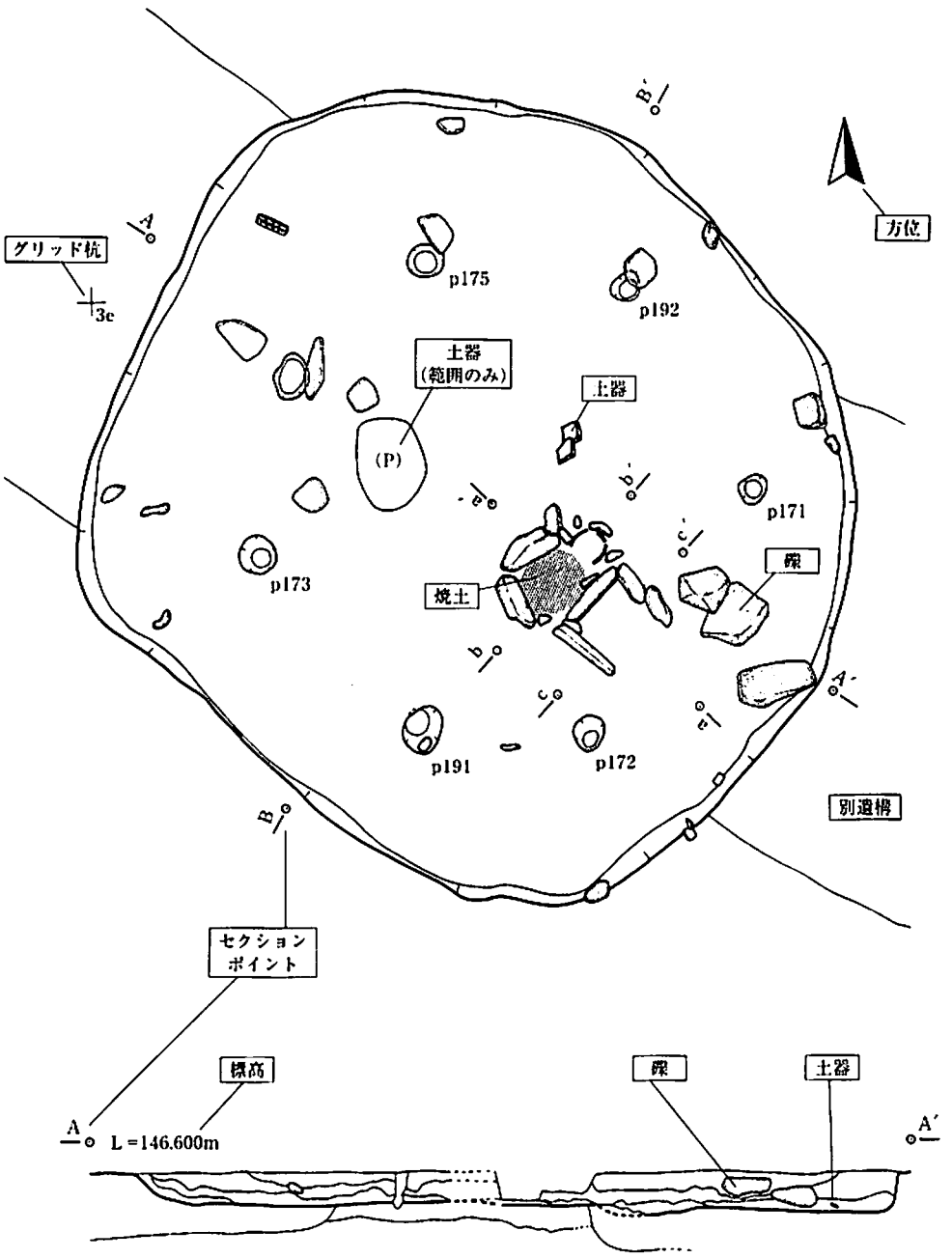
竪穴住居跡・土坑・焼土遺構（炉跡）は、遺構ごとに平面・断面図を作成し図示した。焼土遺構（炉跡）に関しては他遺構（住居跡・土坑）に伴うものは個別の平面図は省略しそれらと一緒に掲載した。縮尺率は1/40を基本とするが遺構の規模に応じて変更し、遺構図版には縮尺率を表すスケールと方位を付した。

遺物の縮尺は、土器・礫石器1/3、剥片石器2/3、土製品・石製品1/2を基本とするが、極端に大小の

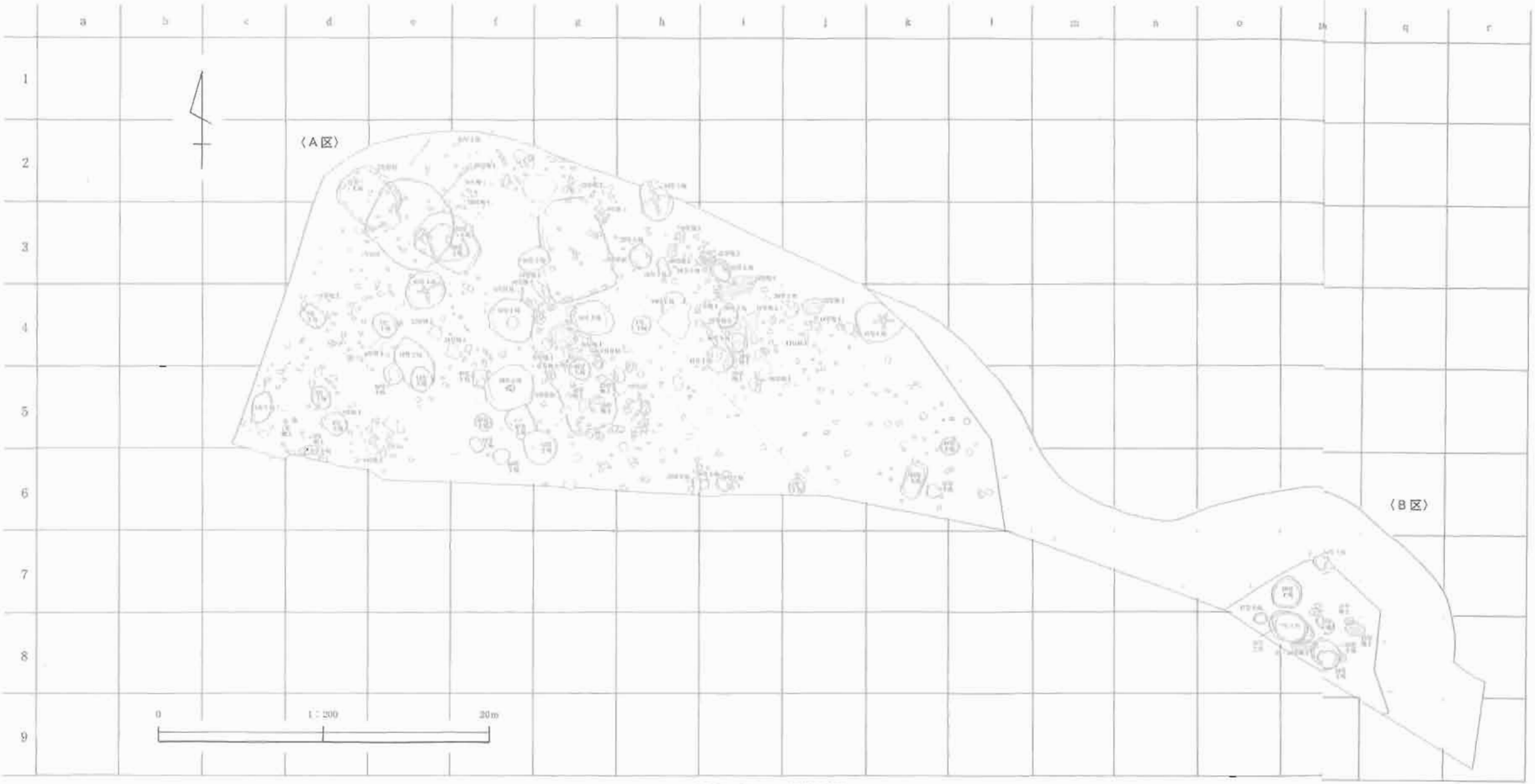
あるものに関しては縮尺を変えた。

（4）室内整理経過

調査員1名、整理員5名体制で11月1日から室内整理を開始した。出土遺物の洗浄はほぼ野外作業の雨天時に済ませ、土器接合・復元作業から始めた。しかし、この作業大半を調査員不在の中（他遺跡の野外調査中）進めたため当初予定よりも時間を費やしたうえに再度復元作業を行わなければならない個体が多々あり以後の整理計画に支障をきたした。そのため登録した個体数をすべて実測することは不可能となり再度選抜を行ってから立体土器・土製品の実測を開始した。同時に土器の立体及び破片資料の採拓も行った。遺構は第2原図の作成進め、3月31日に室内整理期間を終了した。



第6図　凡　例



第7図　グリッド・遺構配置図

Ⅳ．検出遺構と出土遺物

1．概要

大中田遺跡は縄文時代前期後葉～中期初頭の集落跡であることが判明した。竪穴住居跡７棟、土坑52基、焼土遺構33基、柱穴状土坑約400基が検出された。

遺物は大コンテナで45箱出土した。このうち土器は35箱で縄文時代前期後葉～中期初頭の土器が大半を占める。その他石器、滑石製垂飾具・石棒などの石製品、土偶などの土製品が合計900点程出土している。

2．竪穴住居跡

おおよその平面形状を確認できたものは７棟である。うち１棟は縄文時代中期末葉の住居跡で、直径約５mの円形を呈し複式炉を持つ。これを除く６棟は縄文時代前期後葉～中期初頭に該当する。概ね方形で一辺３～５m、すべて地床炉を伴い、壁際に周溝を持つものが多い。

１号住居跡（第８・９図、写真図版４）

〈位置・検出状況〉A区、３eグリッド付近に位置する。トレンチを設定し掘り下げたところ、炭化物・焼土ブロックが散在していた。そのため、Ⅲ層上面で検出を試みた結果、炭化物・焼土ブロックを含む黒～黒褐色土の広がる円形プラン確認した。

〈規模・形状〉平面形は5.3×4.9mのほぼ円形を呈する。検出面からの深さは35cm程度である。

〈埋土〉埋土上部（１・２層）は黒色土、下部（３層以下）は黒褐色土を主体とする。住居中央部床面及び炉上面には炭片が貼り付いた状態で検出された（５層）。中央以外の床面上も炭化物・焼土ブロック層（４・６・８層）に覆われ、その上には炭化物・焼土ブロックを微量含む黒褐色土層（３層）が堆積する。埋土上部は黒色土を主体とし、やはり炭化物・焼土ブロックを含む。１層は下位層を切っており、別遺構（柱穴）もしくは新期盛土の可能性が高い。以上の堆積状況から故意または事故により焼失・倒壊したものと判断される。

〈床面〉Ⅲ層、及び他遺構（２号住、50・54土坑）の埋土を床とする。中央はほぼ平坦な床面だが、壁際は外側に行くに従って緩やかにあがる浅皿状を呈する。

〈壁〉床面が中央から壁に向かって緩やかに上がりその延長で外傾して立ち上がる。

〈土坑・柱穴〉柱穴はp171～175・191・192の７基が検出された。p171とp172、p191とp192、p173とp175が炉を中心にして対称に配置され、p173・175を底辺とした２等辺三角形の頂点にp172を有する。規模は径20～30cm程度、深さは51～66cmである。埋土は炭化物・焼土ブロックを含む黒褐色土で構成される。

〈炉跡〉東側ほぼ中央に複式炉が検出された。２基の石囲炉が東西に並んでおり（西側をa、東側をbとする）、長軸110cmとなる。両者とも北側には斜位に土器を埋設する。aは、東西70cm、南北95cm、底面が皿状にくぼみ被熱する。北側の土器内の埋土は焼土ブロックを含み、炉使用時は開口していたものと思われる。しかし、土器の器面は、剥落等がみられず比較的きれいなため、あまり火を受けていないと考えられる。bの石組は、西側をaと共用し東側にはみられない。北東部に被熱した礫が散在しているため、抜き取られた可能性も考えられるが、床面にそのような痕跡は確認できなかった。規模は、東西60cm、南北75cm、底面は皿状にくぼみ被熱せず焼土ブロック層が堆積する。石組の礫の被熱の有無を確認しなかったため、焼成が行われていたかわからないが、埋設された土器の東側（14層）が被熱しているようにも見える。土器内には炭

化物・焼土ブロックが混入し、この埋土上面に石組の礫が設置されることもあわせて考えると、土器埋設と北側の石組には時期差があるかもしれない。２基の石囲炉の東側は、周囲の床面と同じ高さに焼失に伴う炭片が散在し、断ち割ったが前庭部は確認できなかった。

〈重複〉２号住居跡、35・50・54号土坑と重複し、本遺構の方が新しい。

〈遺物〉土器は炉内に設置されたもの２点（１・２）、炭化物・焼土ブロック層上面のもの１点（３）以外はすべて周囲から流れ込みと思われる。土器（１～45：第42・43図、写真図版27・28)。土偶・円盤状土製品・粘土塊（447・460・481：第79・80図、写真図版57)。石鏃５点（ａ－１～５：第81図、写真図版58)、石錘（ｂ－１：第81図、写真図版60)、石匙２点（ｃ－１・２：写真図版60)、不定形11点（ｄ－６～８・20・41～43・61・69～71：第83図、写真図版63・65・67・68)、篦状石器（ｅ－13：第86図、写真図版71)、敲磨器類６点（ｈ－１・26・35・49・54・55：第89・90図、写真図版74～77)、石錘（ｉ－２：写真図版79)、滑石製垂飾具（ｋ－９：第92図、写真図版80)、有孔礫（ｍ－１：写真図版84)。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代中期末葉のものと推定される。

２号住居跡（第10図、写真図版５）

〈位置・検出状況〉Ａ区、２ｄグリッド付近に位置する。１号住居跡の範囲を把握するためにサブトレンチを入れたところ西側が本遺構と重複することが判明した。

〈規模・形状〉平面形は隅丸方形を呈し、南東壁側に張出し部を持つ。規模は3.7×3.1ｍ、張出し部いれると北西・南東方向は4.3ｍとなる。検出面からの深さは50cm程度である。

〈埋土〉下部（９層以下）は黒褐色土を主体とし、炭化物・焼土ブロックを含む層（９～12・14層）と含まない層（13・15・16層）の互層となる。その上に暗褐色土層（８層）を挟み上部は再び炭化物・焼土ブロックを含む黒褐色土層となる。

〈床面〉Ⅳ層（地山）を床とする。床面はほぼ平坦である。

〈壁〉やや外傾して立ち上がる。

〈土坑・柱穴〉柱穴はｐ251～256の６基検出された。ｐ251と252、ｐ255と256は炉を中心として南北対称に位置するが、ｐ253とｐ254は対応しない。規模は、径15～20cm、深さは31～54cm、ｐ253のみ15cmと浅い。埋土は黒褐色土を主体とし、全体的にしまりが弱い。炭化物が微量混入する。

〈周溝〉壁際には周溝がまわるが、北西壁には検出されなかった。張出し部との接続部は北側のコーナーで一端途切れるものの、南側では連続して巡っている。周溝の幅は10～25cm、20cm程度のところが多く、深さは５cm以下である。埋土は10YR2/2 黒褐色シルトを主体とし地山ブロックを微量含む。主体土は、住居埋土よりもやや暗い。

〈付属施設〉南東壁際に1.2×0.6ｍの張出部を持つ。床面まで掘り下げてから存在を確認したため住居埋土の堆積状況から住居跡との関係は把握できなかった。そのため他の遺構（土坑等）が重複している可能性も考えられるが、住居内から張出部へと周溝が連続していることから同一遺構と判断したい。

〈炉跡〉ほぼ中央に地床炉を設ける。焼成は悪く、範囲は30×18cmの楕円形を呈する。被熱のおよぶ深さは３cm程度である。

〈重複〉１号住居、27号土坑と重複しこれらに切られる。

〈遺物〉土器（26～41：第44図、写真図版27・28)。石鏃（ａ－７：写真図版58)、不定形（ｄ－72：写真図版68)、滑石製垂飾具２点（ｋ－28・56：第93図、写真図版81)。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

3号住居跡（第11・12図、写真図版6）

〈位置・検出状況〉A区、3gグリッド付近に位置する。試掘トレンチ底面（Ⅳ層）に黒褐色土の広がりが認められた。本来の検出面はⅢ層上面である。

〈規模・形状〉6.2×3.9mの隅丸方形を呈する。検出面からの深さは40cmである。

〈埋土〉床面直上は黒味のある黒褐色土が堆積する（7・8・10・12層）。壁際に厚い。その上は茶味のある黒褐色土が主体となり、赤味のある（被熱？）2層を境に上下に大別される。下部は炭化物・焼土ブロックの混入量が微量、上部では多くなる。また上部は遺物も多量に包含する。D-D'21～26層は他層よりも黒味が強い。堆積状況から判断すると、別遺構（〔新期〕住居跡）が重複しているという解釈も可能である。この場合〔新期〕住居跡の平面形は4.7×3.9mとなる。しかし、A-A'などでは、埋土がほとんど残存していないためこのような堆積状況は把握できなかった。柱穴も中央部に集中して見られるものの、〔新期〕住居跡と想定される壁よりもかなり内側に位置する。

〈床面〉Ⅳ層（地山）を床とし、平坦である。

〈壁〉やや外傾して立ち上がる。

〈土坑・柱穴〉柱穴は、20基検出された。住居壁際・周溝内及び、中央部に集中している。このうちp196は、本遺構埋土上面で検出したp138とプランが重なるため、これと同一遺構の可能性が高い（掘り残しか？）。開口部径は、p193が50cm、それ以外は25～30cmに収まる。深さは30cm前後の浅いものが大半を占め、50cm以上の深いものは5基のみで東側に多い（p195・198・200・210・601）。埋土は黒褐色土を主体とするが、茶味のあるものと黒味のあるものに分かれる。前者は南西部に位置し掘込みが浅く、後者は北部から東部にかけて分布し比較的深い掘込みを持つ。

〈周溝〉西壁以外の壁際に断続的に検出された。掘込みが浅いところが多く、北壁では深さ2～3cm、西壁では底面の痕跡が認められる程度である。一方南壁際では、幅20cm前後、深さ15cm程度と明瞭な掘込みを持つ。埋土は、10YR2/2 黒褐色土を主体とする。地山ブロック・炭化物を微量含んだやや粘土質な層が、地山ブロックの多い層に挟まれ、周溝の中央部、縦に細長い断面形状で堆積する。一部分のみでなく南壁際で連続して確認されたことから、壁板などが埋め込まれていた可能性が考えられる。

〈炉跡〉中心よりやや南側に地床炉が設けられている。平面形は30×16cmの楕円形を呈する。焼成が悪く、深さも1～2cm程度でほとんど被熱していない。

〈重複〉7号住居、36号土坑と重複しこれらに切られる。また24号焼土が何らかの遺構（住居跡？）に伴うものとすれば、これよりも本遺構の方が新しい。

〈遺物〉埋土中から比較的多く遺物が出土したが、その中でも土器の器形が復元できたものは埋土上部に多い。大木5～6式の土器が混在しており、47・61など比較的古い様相の土器は、床面から近いところから出土、新しいもの（44・45）は上層に含まれる傾向が見られるが、本遺構は、2f（3）の遺物集中範囲（住居跡か？）を切っており、古い様相のものはそちらからの流れ込みの可能性もある。土器（42～79：第44～46図・写真図版28～30）土偶（449・453）・耳飾（458）・円盤状（461～463）：（第79・80図、写真図版57）。石鏃2点（a－72・73：写真図版60）、石匙5点（c－3～5・42・43：写真図版60・62）、不定形7点（d－9・21・22・44～47：写真図版64・65）、篦状石器2点（e－1・14：写真図版70・71）、敲磨器類2点（h－36・66：写真図版76・78）、石製品2点（j－1・2：第91図、写真図版80）、滑石製垂飾具2点（k－

54・55：第93図、写真図版81)、滑石２点（ｋ－101・102：写真図版82)。また、本遺構検出以前に取り上げた遺物があるが、遺物の集中する範囲が遺構内に収まることから、本遺構埋土に含まれる可能性が高い（第18図、写真図版９)。土器（397～402：第74図、写真図版50)。敲磨器類（ｈ－53：第89図、写真図版76)。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代後葉のものと推定される。

４号住居跡（第13・14図、写真図版７）

〈位置・検出状況〉Ａ区５ｇグリッド、住居群の南端に位置する。Ⅲ層上面で周溝及び焼土（炉跡）を検出し住居跡と判断した。

〈規模・形状〉後世の造成により床面近くまで削平を受けているため規模・形状とも把握できない。掘方の範囲（破線部）から推定すると概ね１辺が６ｍ程度、周溝の範囲からは５ｍ程度と考えられる。

〈埋土〉埋土はほとんど残存していないが、焼土の上位層等から判断すると黒褐色土を主体とするものと思われる。

〈床面〉Ⅲ層及び５号住居跡埋土を床とし、床面上には礫が散在している。周溝の外側には掘方が見られ、この範囲が概ね住居跡のプランと推定される。掘方埋土は暗褐色土に近い10YR3/2 黒褐色粘土質シルトを主体とし、地山ブロック・明黄褐色ブロックを微量含んでいる。掘方は、恐らく５号住居重複部にも存在していたものと思われる（ｐ648？等）が確認できなかった。

〈壁〉削平され残存していない。

〈周溝〉南～東部にかけて検出された。幅10～20cm、深さ２～３cm程度である。周溝内には小穴がみられる。

〈土坑・柱穴〉推定される遺構範囲内に柱穴は35基検出された。埋土は大半が黒褐色土を主体とし、深さは10～20cm程度の浅いものと30cm以上の深いものとに分かれる。後者は、掘方の範囲（ｐ374・289・453・142・46・145・451）と周溝の範囲（ｐ375・424・597・287・452）に沿って２重に配置され、西側のｐ284・372はいずれかに対応または共用したものと思われる。

〈炉跡〉25・26号焼土（炉跡）が検出された。両者とも５号住居跡埋土上面にほぼ同じ高さで形成されている。25号焼土は北西端をｐ160によって切られ消失するが、径60×47cmの楕円形を呈する。焼成は普通、被熱のおよぶ深さは最大７cmである。26号焼土も北端はｐ164に壊されているものの、径80×60cmのほぼ楕円形を呈する。焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大10cmである。焼土層の西側には礫が出土しているが、被熱した痕跡は見られなかった。

〈重複〉５号住居跡と重複する。重複遺構埋土上面に炉が設置されていることから、本遺構の方が新しい。また上記のように、炉跡が２基検出されており、掘方の範囲（外側）と周溝（内側）に沿って柱穴が２重に配置されていることから本遺構自体が２棟重複している可能性もある。この場合25号焼土が掘方の範囲に、26号焼土が周溝の範囲に伴うものと思われる。

〈遺物〉土器（109：第50図、写真図版32・57)。土偶（448・450：第79図、写真図版57)。石匙（ｃ－６：写真図版60)

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

５号住居跡（第13・14図、写真図版７）

〈位置・検出状況〉Ａ区５ｇグリッド、住居群の南から２棟目に位置する。Ⅲ層上面で長方形を呈する黒色土の広がりが検出され、周囲に礫及び遺物も散在することから大形住居跡を想定して調査を開始した。

〈規模・形状〉4.6×3.4mの隅丸長方形を呈する。検出面からの深さは20cm程度である。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする単層である（1層）。明黄褐色ブロック・炭化物を含み、遺物が多く混入する。
〈床面〉検出時に重複を把握できず各住居床面まで同時に掘り下げてしまったため、6号住居跡との重複部の床面の形状は不明である。断面形から判断すると、床面は炉を中心として浅皿状に窪んでいる。
〈壁〉北壁は上記の理由で掘り下げてしまい、東・南壁は後世の削平を受け消失しているため西壁の南側のみ確認した。残存している壁の高さは10cm程度で、ほぼ直立している。
〈周溝？〉東壁中央部に幅10cm、深さ5cm程度の溝状のプランが部分的に検出された。
〈土坑・柱穴〉柱穴は17基検出された。埋土は暗褐色土及び黒褐色土を主体とする。4号住居と同様10～20cm程度の浅いものと、約30cm以上の深いものとに分かれる。後者は住居の壁際に多く見られる。
〈炉跡〉38号焼土が検出された。平面形は80×70cmの隅丸方形を呈しており、焼成面は床面より低く皿状に窪む。焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大10cmである。
〈重複〉4号・6号住居跡、46号土坑とする。本遺構は7号住居跡及び46号土坑より新しく、4号住居跡よりは古い。
〈遺物〉土器（80～85・109・114：第47・50図、写真図版30～32）。土偶（450：第79図、写真図版57）。石鏃（a－8：写真図版58）、石匙2点（c－6・33：第82図、写真図版60～61）、篦状石器（e－15・写真図版71）、敲磨器類4点（h－2・28～30：写真図版74・75）、滑石製垂飾具（k－15：第92図、写真図版80）、有孔礫（m－1：写真図版84）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

6号住居跡（第13・14図、写真図版7）
〈位置・検出状況〉A区4gグリッド、住居群の北端に位置する。Ⅲ層上面で長方形を呈する黒色土の広がりが検出され、礫及び遺物が散在することから大形住居跡を想定して調査を開始した。
〈規模・形状〉試掘トレンチ及び他遺構によって遺構の大半を消失する。南壁も上記の理由で同時に掘り下げてしまい平面形を確認できたのは、西壁の一部分のみである。そのため形状は不明で、規模は南北3.0m以上、東西3.5m以上と推定される。南側の住居（5・7号住居）とはやや主軸方向がずれる。
〈埋土〉上部（23層）は暗褐色土、下部（24・25層）は黒褐色土を主体とする。主体土は南側の6号住居跡埋土と類似するが、炭化物・焼土ブロックの混入量、及び粒径（本遺構の方が大きい）が明瞭に異なっていた。
〈床面〉Ⅳ層を床とする。ほぼ平坦で、7号住居跡北側の床面より僅かに低くなる。
〈壁〉西壁の一部を検出した。ほぼ直立しており、残存している壁高は5～10cmである。
〈周溝〉西壁に部分的に幅10cm、深さは2～3cm程度の周溝が検出された。埋土はグレー味を帯びる10YR2/2黒褐色粘土質シルトを主体とし、地山ブロック、炭化物を微量含む。
〈土坑・柱穴〉柱穴は8基検出された。柱穴配置は不明である。埋土は暗褐色土及び黒褐色土を主体とする。
〈炉跡〉33・34号焼土が検出された。2基とも同一床面上に形成されるが、34号焼土の方がやや窪んでいる。33号焼土は96×42cmの楕円形を呈する。焼成は普通で、被熱のおよぶ深さは最大2cm程度である。34号焼土は44×32cmのほぼ円形を呈する。焼成は33号焼土よりもやや良く、被熱のおよぶ深さは最大3cmである。
〈重複〉3・7号住居跡、28・30号土坑と重複する。本遺構は、住居跡よりも新しく、土坑よりは古い。
〈遺物〉土器（95～108・110～114：第49・50図、写真図版31・32）。石鏃2点（a－6・8：写真図版58）、石匙（c－34：写真図版61）、不定形4点（d－10・23・48・73：第84図、写真図版61・64・65・68）、篦状石器2

点（e－2・15：写真図版70・71）、両面加工石器（g－5・6：第88図、写真図版74）、敲磨器類（h－4～6：第88図、写真図版74）、石錘（i－3：第91図、写真図版79）、滑石製垂飾具（k－15：第92図、写真図版80）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

7号住居跡（第13・14図、写真図版7）
〈位置・検出状況〉A区5gグリッド、住居群の南から3棟目に位置する。Ⅲ層上面で長方形を呈する黒色土の広がりが検出され、礫及び遺物も散在することから大形住居跡を想定して調査を開始した。
〈規模・形状〉南北壁は他遺構に壊され消失するが、南側は東西コーナー部分が僅かに残存し、北側では周溝が検出された。これらから壁を推定すると、5.0×3.3mの方形を呈する。検出面からの深さは40cm程度である。
〈埋土〉上下2層に大別される。上部は黒褐色土を主体とし、明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロックを微量混入する。下部は暗褐色土を主体とし、地山ブロックの多い層を挟み上下に地山ブロック・炭化物を微量含む層が堆積する。
〈床面〉Ⅳ層を床とするが、部分的に貼床（11層）を施している。貼床は暗褐色土を主体とし、横につぶれたような地山ブロックを含む。床面は北側に向かって緩やかに低くなっている。
〈壁〉残存するのは西壁と東壁南側のみで、その他は新期住居・土坑によって消失する。壁の高さは30cm程度でやや外傾して立ち上がる。
〈土坑・柱穴〉柱穴は25基検出された。このうち深さ35cm以上のものが6基あり、西側にp294・359・365、東側にp390・363が南北線状に並ぶ。しかし東西が対応するものはp294と390のみである。またこれらの外側の壁際には、深さ20cm台の柱穴が配置されている。埋土は暗褐色土及び黒褐色土を主体とする。
〈周溝〉東壁の南側及び北壁にまわる。西壁でも僅かに痕跡が認められたが記録できなかった。幅20cm前後、深さは10cm程度である。埋土は東西壁が、地山ブロック・炭化物を微量含む10YR3/2 黒褐色粘土質シルトを主体とし、南側はややグレー味を帯びる10YR3/3 暗褐色粘土質シルトを主体とした地山ブロックを少量、炭化物を微量含む。
〈炉跡〉35～37号焼土が検出された。35号焼土は130×120cm不整形を呈している。この範囲を断面で観察すると、中央部に焼土ブロック層（4層）が存在し、焼成面が南北に分かれることから2基以上が重複している可能性がある。両側とも焼成は良く、被熱のおよぶ深さは5cm程度である。36号焼土は南端を46号土坑により消失するが、東西120cm、南北72cm以上の不整形を呈する。焼成は普通、被熱のおよぶ深さは最大3cmである。焼成面は僅かに皿状に窪みその上には焼土ブロック層が堆積する。36号焼土も南端部を46号土坑により消失する。そのため平面形は南北55cm以上、東西30cmの楕円形を呈する。焼成はやや良く、被熱のおよぶ深さは最大7cmである。焼成面は僅かに皿状に窪む。35号焼土の上位には暗褐色土が薄く面的に貼り付いており（7もしくは11層）、この上面が36・37号焼土の焼成面となる。そのため、床面が2枚あり本遺構は新旧2時期に細分される可能性がある。
〈重複〉5・7号住居跡、38・46号土坑と重複し、いずれも本遺構よりも新しい。
〈遺物〉住居跡ほぼ中央部、検出面に礫及び遺物が集中していた。土器（86～94・110～114・第48・50図、写真図版31・32）。土偶・円盤状土製品（454・464：第79・80図、写真図版57）。石鏃（a－8：写真図版58）石匙（c－7・第81図、写真図版60）、不定形（d－36：写真図版66）、篦状石器（e－15：写真図版71）、敲磨器類（h－3・50：写真図版74・76）、滑石製垂飾具（k－15：第92図、写真図版80）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

3．焼土遺構(炉跡)・柱穴状土坑

焼土遺構のうち検出時に住居跡内に位置し、炉跡と判断したものには、個別に番号は付けず住居跡と併記した。しかし、焼土遺構が多数重複するため各遺構との対応関係が把握できなかったもの（4～7号住居炉跡）や、遺構に付属するものと断定できないものを一括して「○○号焼土」として扱った。これらは、調査区内で39基検出された。このうち、調査・整理過程において4～7号住居炉跡と判断した33～38号焼土は、「2．竪穴住居跡」に図示及び本文を記載、土坑内焼土の可能性がある27～29・31号焼土は、土坑と一緒に図示、本文は本項目に記載した。それ以外の焼土遺構は、平面形及び埋土堆積状況から所属遺構の存否を確認することできなかった。しかし、周囲に柱穴状土坑が分布し、周溝と思われる溝が部分的に認められること、焼土と同じ高さで遺物が面的に広がることなどから、住居跡に伴う炉跡の可能性がある。そのため住居跡と想定される範囲の柱穴・周溝・焼土遺構を一括して図示し、本文中にはこれら全体の関連性及び、個々の遺構別の記載を行った（柱穴は表掲載）。出土遺物は、調査時においては住居跡と想定される範囲ごとに遺物集中地点として取り上げてきたが、これを各グリッドに当てはめ、遺構外出土遺物として取り扱った。

なお、便宜上、炉跡・焼土遺構にかかわらず「焼土」という遺構名称は変更せずに使用した。

（1）焼土遺構（炉跡）とその周辺

5dグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（第15・16図、写真図版8）

〈位置・検出状況〉5c～5e、6c～6eグリッドを範囲とする。Ⅲ層上面で北西－南東方向に長軸をもつ黒色土の広がりが認められた。試掘トレンチ内からも焼土（3・4号焼土）を検出していたため住居跡を想定して調査を開始した。

〈埋土〉下部（a）は黒褐色土（9～17層）、上部（b）は黒色土（3層）を主体とする。(b) はさらに上下2層に大別される。下部（13～17層）は、下面の凹凸が激しいこと、柱穴状土坑に切られること、上面に焼土が形成されることから掘方埋土で、これより上（9～12'層）は遺構埋土と想定される。(a) は、層中から下面にかけて遺物・礫を多く含む。(b) の埋土よりも広範囲に堆積しており、南・西側は調査区外へと延びる。主体土は他の遺構の埋土最上部に含まれるものとよく似る。以上の堆積状況から (a) (b) は別遺構の重複または (a) が後世の削平層の可能性が考えられる。

〈床面〉焼土の形成面、及び柱穴の掘込み面から考えると、10～12'層下面を床とする。一部掘方がみられる。床面は平坦だが、南西部より北東部が10cmほど低くなる。傾斜した床面をもつものか、異なる面をもつ遺構が重複している可能性があるが、中央部を3層及び3号土坑に削平されているため、詳細は不明である。

〈壁〉断面でのみ確認された。壁高は、最大で10cm程度、直立もしくはやや外傾して立ち上がる。

〈周溝〉北西部及び西側で断続的に検出された。幅10cm前後、深さ5cm以下である。明黄褐色ブロックを含んだ10YR3/3 暗褐色粘土質シルトが堆積する。(b) の遺構に付属するものと思われる。

〈炉跡・焼土遺構〉1～5号焼土が検出された。1・2号焼土、3～5号焼土がそれぞれ斜面の等高線に沿って南西－北東方向に並んでいるが、両者の軸はややずれる。1号と2号焼土間および、3・4号焼土と5号焼土間は各1.5m程である。3～5号焼土形成面は、1・2号焼土より5～10cmほど低くなる。またA-A'・B-B'交差点付近にも被熱の痕跡（15層）が見られたが、平面形で把握することはできなかった。

〈土坑・柱穴〉柱穴は多数検出された。3～5号焼土に伴うもの（1）と、1・2号焼土に伴うもの（2）と2種類の柱配置が想定される。（1）は、p53・68～70・72・76・79・81・89・96・98を使用する。南東部

は調査区外に位置するものの、柱間は東西が約2.7～2.8m、南北が3.0m。約60cm東へずれて同様の配置が見られるため、2時期ある可能性がある。（2）は3～5号焼土に伴いp57・83・67・91・603を使用する。南側は調査区外に位置するため南北の対応関係は不明であるが、柱間は南北3.0mと2.0m、東西は3.0mである。北側はこの他p93・102・104が東西軸線状に位置する。多角形の柱配置を想定すれば、p61・54もそれぞれ北側の柱穴（p57・91）からの距離が約2mと揃う。

〈解釈〉本遺構は竪穴住居跡の可能性が高いと考えられる。周溝の位置、埋土堆積状況から見ると（a）（b）1～2遺構の存在が想定される。（b）の平面形は、東西9m以上、南北5.3mの楕円形を呈する。（a）はこれよりも東西・南側が広がる。新旧関係は（a）新（b）古となる。一方、焼土・柱配置からは、（1）（2）の少なくとも2遺構の重複が想定される。両者は、切りあう柱穴がないことから直接の新旧関係は不明である。北東－南西の床面の差及び焼土形成面の高低差を考慮すると、高位の焼成面が残存する（1）が新しいと判断される。しかし、この場合床面が高くなる南西側において低位の床面がはっきりとしない（16・17層か？）ため、傾斜する床面をもつ可能性もある。（a）（b）と（1）（2）の関係を単純に新旧関係から対応させると、（a）と（1）、（b）と（2）となるが、柱配置と埋土の広がる範囲が合わない。（b）は（1）（2）のいずれかに伴い、（a）はこれらとは別の遺構、もしく後世の掘削の及んだ層と考えられる。（2）の柱穴配置は、（b）の平面形とほぼ一致するものである。これらの住居跡は規模から大形住居跡になる可能性が考えられるが、4～7号住居跡群のようにほぼ同じ軸で床面の高低差もほとんど見られずに重複している例もあるため、上記の事実のみでは判断できなかった。

〈他遺構との重複〉3～6・8号土坑と重複する。新旧関係は6号土坑より新しく、3・4号土坑より古い。8号土坑との新旧は不明である。また上記の3層（a）が遺構埋土と判断した場合、3号土坑内の4層が3層と同一層の可能性があるため、両遺構の新旧関係がはっきりしなくなる。

〈遺物〉遺物は3層（黒色土層）下面から層中に多く含む。住居プラン想定範囲に含まれる遺物は以下の通りである。土器（403～414・417～437・439～441：第74～76図、写真図版51・52）。石鏃2点（a－51・65：第81図、写真図版59）、石匙（c－26：写真図版61）、不定形（d－31・57・58・85：写真図版65・69）、篦状石器4点（e－8・9・19・20：第86図、写真図版70～72）、敲磨器類11点（h－17～22・27・40・42・43・63：第89図、写真図版74～77）、石錘（i－16：写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

4eグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（1）（第17図）

〈位置・検出状況〉3d～e・4d～e・5cグリッドを範囲とする。Ⅲ層上面で6・7号焼土を検出し竪穴住居跡の可能性があると判断し調査を開始した。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈埋土〉黒褐色シルトを主体土とする。後世の造成によって削平を受けているため埋土は北側で僅かに残存しているのみであった。

〈床面〉焼土形成面から考えるとⅢ層上面を床とする。6・7号焼土より南側は後世の水田面が一段低くなっており、南半は床面下まで削平を受けていると判断される。

〈壁〉確認されなかった。

〈周溝〉南側で断続的に検出された。幅10～20cm、深さは数cm程度である。明黄褐色ブロック・焼土ブロックを微量含む10YR2/3 黒褐色シルトが堆積する。前述の通り南側は削平されてしまっており、北側とは20cm

ほど高低差があるため、周溝は消失してしまった可能性がある。
〈炉跡・焼土遺構〉6・7号焼土が検出された。両者は斜面の等高線に沿って南西－北東方向に並んでおり、ほぼ同一の高さに形成される。両者の間隔は約4mである。
〈土坑・柱穴〉焼土形成面（床面？）からの深さ30cm前後のものが多い。周溝の北側（住居内側）に同溝と平行して柱穴が並ぶ。検出されない箇所はあるものの、柱間の距離はほぼ90cmの間隔を持つ（西からp106・108・444・110・417・454・112）。一方焼土をはさんだ北側にもこれに平行する柱穴列（西からp120・354・323・406）が見られる。しかし南側のものと位置が対応しない。上述の通り南北の高低差が20cm程度あるために、消失または、数cm～数10cmの掘込みしか残存しておらず見逃してしまったものもあると思われる。
〈解釈〉本遺構は竪穴住居跡の可能性が高い。焼土・周溝・柱配置から東西10.5m以上、南北3.5m以上のプランが想定されるが、5d周辺のものと同様に、単独遺構（大形住居跡）もしくは2棟以上が重複したものと推定される。
〈重複〉想定される平面形内には5・9・12・13・16号土坑が重複する。新旧関係がはっきりするものは6号焼土と切りあう5号土坑のみで、本遺構より新しい。
〈遺物〉床面近くまで削平されているため遺物はほとんど出土しておらず、本遺構に伴うと判断できるものはない。
〈時期〉重複関係から縄文時代前期末葉～中期初頭以前のものと推定される。

4eグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（2）（第17図）
〈位置・検出状況〉4d～eグリッドを範囲とする。Ⅲ層上面で焼土を検出し、竪穴住居跡の可能性があると判断し調査を開始した。
〈規模・形状〉平面形は不明である。
〈炉跡・焼土遺構〉18・32号焼土が検出された。両者の間隔は約60cmで、斜面の等高線に沿って南西－北東方向に並ぶ。ほぼ同一面に形成されており、規模・形状、被熱の状態、上位に焼土ブロック層が堆積するなど両者の類似点は多い。
〈埋土〉床面付近まで後世の削平が及んでおり、埋土は確認できなかった。
〈床面〉焼土形成面から考えるとⅢ～Ⅳ層を床とする。
〈壁〉残存していない。
〈周溝？〉18号焼土北西に長さ100cm、幅15cm、深さ15cmの溝状のプランが検出された。地山ブロックを微量含む10YR2/3黒褐色粘土質シルトが堆積する。
〈土坑・柱穴〉周溝の南側（住居内側）にこれとほぼ平行して柱穴が並ぶ（北からp389・386・385・384・441・442）。北側の並びとほぼ平行して南側にも柱穴が集中するが（北からp328・326・325・331）、両者は対応しない。
〈解釈〉本遺構は竪穴住居跡の可能性が高い。焼土・周溝・柱配置から東西7m以上、南北3.2m以上のプランが想定される。単独遺構（大形住居跡）か2棟以上が重複したものと判断される。
〈重複〉推定平面形内には12・45号土坑が重複するが新旧関係は不明である。
〈遺物〉床面近くまで削平されているため遺物はほとんど出土しておらず、本遺構に伴うと判断できるものはなかった。
〈時期〉出土遺物はないが、周囲の様相から縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

２ｆグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（１）（第18図、写真図版９）

〈位置・検出状況〉２ｆ～ｇグリッドを範囲とする。Ⅲ層上面で19・20号焼土を検出し、周囲に遺物も広がることから住居跡の可能性があると判断して調査を開始した。

〈炉跡・焼土遺構〉19・20号焼土が検出された。ほぼ同じ高さに形成され、両者の間隔は約２ｍである。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈埋土〉床面近くまで削平されているために確認できなかった。

〈床面〉焼土形成面と同じ高さに遺物が広がることから床面を想定した。

〈壁〉残存していない。

〈周溝〉確認できなかった。

〈土坑・柱穴〉周囲に柱穴が存在するものの、焼土形成面（床面？）から掘込まれているものか確認できなかった。

〈解釈〉２ｆ（２）と共に検討することとし、次項に記載する。

〈重複〉２ｆ（２）・（３）と重複し、前者より新しく、後者との新旧は不明である。また、１号住居跡、35・50・54号土坑と重複すると思われるが、１号住居跡が本遺構より新しいと判断される以外、新旧関係は不明である。

〈遺物〉19号焼土形成面に焼土を中心として南北に遺物・礫が散在している（破線範囲）。但し２ｆ（３）のプラン内から出土している351、ｈ－39は、２ｆ（３）が新、（１）が古の場合は本遺構に伴わない可能性がある。土器（342～353・386～388：第68・69・73・74図、写真図版45・46・49・50）。石鏃２点（ａ－64・71：第81図、写真図版59・60）、不定形（ｄ－63：第85図、写真図版67）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

２ｆグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（２）（第18図、写真図版９）

〈位置・検出状況〉２ｆ～ｇグリッドを範囲とする。ベルトを設定し、周囲をⅣ層上面まで掘り下げたところ、断面に39号焼土がみられ、焼土形成面を下面としてほぼ平らに遺物を含む層が堆積していることから、遺構（住居跡？）と判断し記録した。

〈炉跡・焼土遺構〉39号焼土が検出された。２ｆ（１）の19号焼土とは斜面の等高線に沿うようにならぶが、形成面に10cmほど高低差があるため、恐らく別遺構に伴うものであると思われる。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。焼土上位層及び壁際には明黄褐色火山灰を含む。

〈床面〉Ⅲ層を床とする。断面形でのみ確認したが、やや凹凸があり、北側が低くなる。

〈壁〉断面から北壁のみ確認した。残存する壁溝は15cm、外傾して立ち上がる。

〈周溝〉確認されなかった。

〈土坑・柱穴〉Ⅳ層上面までさげて検出したため、掘込み面は不明である。39号焼土形成面（床面？）からの深さが30～40cmほどのものが大半をしめる。柱はｐ279・299・363・399が1.7×2.4ｍで方形に配置されるが、さらに展開するものかどうか不明である。多角形を想定すれば北西側のｐ273もｐ274・299から1.3ｍとほぼ同間隔となる。この場合柱配置は南東方向に展開するものと思われる。掘込み面を把握していないため、２ｆ（１）に伴う可能性があるものの、20号焼土が柱穴南側へはみ出してしまう。

〈解釈〉２ｆ（１）は、19・20号焼土・焼土形成面に遺物が広がる（床面か？）。一方２ｆ（２）は39号焼

土形成面を下面として埋土がほぼ水平に堆積する。両者の高低差は約10cmあり、別遺構と判断される。この場合埋土6層は、上部（2f（1）埋土。下面が床面。）と下部（2f（2）埋土）に分層できるはずだが確認できなかった。また2f（1）と（3）の新旧関係は、遺物出土状況・型式から判断すると2f（1）の方が新しいと判断されるが、上記の通り（1）の埋土を認識できなかった。2f（2）の平面形は、その柱配置から、北西－南東方向に展開するものと思われる。2f（1）は、焼土および遺物出土状況により、南西－北東方向に展開する可能性が考えられる。しかし（1）の方向に軸を持つ住居跡は調査区内では見られず疑問が残る。

〈重複〉2f（1）（3）と重複し、いずれも本遺構よりも新しい。また、想定される平面形の範囲は35号土坑と重複するが新旧関係は不明である。

〈遺物〉39号焼土形成面に伴う遺物は確認できなかった。

〈時期〉埋土の様相から縄文時代前期後葉以前のものと推定される。

2fグリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（3）（第18図、写真図版10）

〈位置・検出状況〉2f～gグリッドを範囲とする。Ⅲ層上面で24号焼土を検出し、焼土形成面で周囲に遺物が広がることから、竪穴住居跡の可能性があると判断し調査を開始した。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈炉跡・焼土遺構〉24号焼土が検出された。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。地山ブロックは壁際に少量、埋土下部に微量含み、上部には認められない。また炭化物・焼土ブロックを全体に混入するが、下部が最も多く含む。

〈床面〉焼土形成面に遺物が広がることから床面と判断した。一部黒褐色土を主体とした掘方埋土が見られた（4・5層）。

〈壁〉断面でのみ確認された。残存する壁高は25cm（1層が別遺構の場合10cm程度）、外傾して立ち上がる。

〈周溝〉南壁よりも50cm程内側に断続的に見られる。地山ブロックを少量含む10YR3/3 暗褐色粘土質シルトが堆積する。

〈土坑・柱穴〉24号焼土形成面（床面？）から深さ20cm程度のものが大半を占める。北側が調査外へとのびることもあり、柱配置は不明である。

〈解釈〉本遺構は住居跡の可能性が高い。しかし範囲が明確なのは南西側のみで、北側は調査区外、南東側では確認できなかった。南壁を東へ延長させて行くと24号焼土までの距離が約3mあり、炉が中央に設置されていると仮定すると、やや幅広な感じがする。また巨大な礫が露出しており、この礫が遺構想定範囲内に含まれてしまう。以上のことから、ほぼ同じ床面を持つが、単一の遺構ではなく2棟以上が重複している可能性も考えられる。

〈重複〉2f（1）・（2）、3号住居跡と重複し、2f（2）より新しく、3号住居跡より古い。2f（1）との重複関係は確認できなかったが、出土遺物より本遺構の方が古いものと思われる。

〈遺物〉24号焼土形成面（埋土2層下面）に礫・遺物が散在している（破線部分）。土器（354～372：第71～73図、写真図版47～49）。石鏃5点（a－30～34：写真図版58）、不定形2点（d－53・62：写真図版67）、磨製石斧3点（f－5・6：写真図版73）、敲磨器類10点（h－10～13・38・44・51・52・58・71：第89・90図、写真図版74・76～78）、滑石製垂飾具（k－58：第93図、写真図版81）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

４ｉリッド周辺の焼土遺構（炉跡）と柱穴（第19図）

〈位置・検出状況〉３ｈ～ｉ、４ｈ～ｊ、５ｉ～ｊグリッドの範囲に位置する。

〈炉跡・焼土遺構〉９～14・22・23・30号焼土が検出された。22号焼土が他より10cmほど低くなる以外は、ほぼ同じ高さに形成されている。また、27～29・31号焼土も検出するが、上述の理由で土坑と一緒に掲載することとする。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈埋土〉床面近くまで削平されているため確認できなかった。

〈床面〉焼土形成面が床面と考えられる。12・30号焼土付近では床面上に遺物及び礫が散在する。

〈壁〉残存していない。

〈周溝〉確認されていない。

〈土坑・柱穴〉焼土の周囲に柱穴がたくさん検出されたが、明確な配置はみられない。特に図示した北側調査区境から内側に１～1.5mほど調査不可能な区域があったため、柱穴をすべて検出することができなかった。

〈解釈〉本遺構は竪穴住居跡の可能性があるが平面形・規模、柱配置など不明な点が多い。柱穴・焼土の検出状況、周囲の竪穴住居跡の配置をふまえて考慮すると、13・14号焼土（８号焼土も含むか？）、11・12・23・30号焼土、13・14・22号焼土と大きく３つのまとまりに分かれるように見える。

〈重複〉平面形推定範囲に土坑が多く重複する。39～41・51号土坑は検出面に焼土が形成されており、同一遺構もしくは、焼土が新しく、それ以外の新旧関係は不明である。

〈遺物〉30号焼土形成面付近に礫が散在し、上位層から遺物が出土している。特に４ｉ～５ｉグリッドに多く見られ、30号焼土上面には横に押しつぶされた形で438が貼りついていた。土器（416・483・547・563・564・566・567：第75図、写真図版51・55）。円盤状土製品（476：第80図・写真図版57）。石鏃３点（ａ－46～48：写真図版59）、石匙４点（ｃ－20・24・25・36：第81・82図、写真図版61・62）、不定形６点（ｄ－15・28～30・82・84：第82図、写真図版64・65・69）、篦状石器（ｅ－17：写真図版71）、両面加工石器（ｇ－３：第88図、写真図版74）、敲磨器類４点（ｈ－33・62・67・68：第89・90図、写真図版75・77・78）、石錘（ｉ－14：写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

Ｂ区の焼土遺構（炉跡）と柱穴（第20図）

〈位置・検出状況〉７ｐ・８ｏ～ｑを範囲とする。表土除去後遺構を確認しながら掘り下げていったところ、焼土と遺物の広がる面が検出された。

〈炉跡・焼土遺構〉15～17・21号焼土が検出された。15号焼土東側、16・17・21号焼土はほぼ同一面に形成される。

〈規模・形状〉平面形は不明である。

〈埋土〉確認できなかったが、焼土と切り合っている７号土坑・14号土坑土坑の１層が遺構外の土と類似していて立ち上がりがはっきりしなかった。そのため、新旧関係を誤り、遺構外の層及び土坑１層が焼土に伴う遺構の埋土になる可能性がある。

〈床面〉焼土がほぼ同じ面に形成されており、なおかつ同一面に礫・遺物が散在することから、床面の存在が推定される。

〈壁〉確認されなかった。

〈土坑・柱穴〉p501～504が検出された。このうち、p503と504は15・21号焼土と16・17号焼土の柱間に南北に配置されている。柱間は約3mである。
〈解釈〉焼土・柱穴の検出・遺物の出土状況から本遺構は竪穴住居跡の可能性がある。しかし、調査範囲が狭いこともあり平面形、規模、柱配置など不明な点が多い。また15号焼土と21号焼土が重複していることから、2棟以上の重複も考えられる。
〈重複〉焼土の位置から考えるとB区の土坑すべてが本遺構と重複していると考えられるが、新旧関係が不明なものが大半である。16・17号焼土との切り合いから、本遺構は7号土坑よりも古く、14・55号土坑よりも新しいと判断される。
〈遺物〉焼土形成面に礫・遺物が散在する。土器（441～445・585～593：第77・78図、写真図版52・53・56）石匙（c－47：写真図版63）
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

（2）焼土遺構（炉跡）

1号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、5dグリッドに位置する。5d付近黒褐色土の広がりを除去したころ、グレー味の強い黒褐色土上面（住居床面？）に形成されていた。
〈規模・形状〉30×25cmの不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は悪く、被熱の及ぶ深さは1～2cm程度ではっきりとしない。焼失など何らかの理由で部分的に被熱した可能性もある。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。5d付近の住居（？）床面に形成されており、地床炉もしくは被熱を受けた部分（焼土）と考えたい。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

2号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、5dグリッドに位置する。5d付近の黒褐色土の広がりを除去したころ、グレー味の強い黒褐色土上面（住居床面？）に形成されていた。
〈規模・形状〉30×20cmの不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は悪く、被熱の及ぶ深さは1～2cm程度ではっきりとしない。焼失など何らかの理由で部分的に被熱した可能性もある。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。5d付近の住居（？）床面に形成されており、地床炉もしくは被熱を受けた部分（焼土）と考えたい。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

3号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、5eグリッドに位置する。試掘トレンチ内Ⅳ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉110×72cmの不整形を呈する。断面形は、中心部がやや窪み浅皿状となる。

〈焼成・埋土〉焼成は良い。被熱が及ぶ深さは最大7㎝である。焼成面上位には炭化物・焼土ブロックを大量に含む層が覆う。南側には礫が埋め込まれおり、石囲炉の可能性がある。
〈重複・帰属遺構〉平面形では4号焼土と重複するが、断面で被熱の範囲を確認したところ重なってはいない。周囲には遺物を多く含む黒褐色土が堆積し、5d周辺の住居（？）床面に形成された炉の可能性が高い。またp87・88と重複しこれに切られている。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

4号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、6eグリッドに位置する。トレンチ内Ⅳ層及び暗褐色土層（住居掘方埋土？）上面に形成されていた。
〈規模・形状〉80×70㎝のほぼ円形を呈する。断面形は、中心部がやや窪み浅皿状となる。
〈焼成・埋土〉焼成は良い。被熱およぶ深さは最大6㎝である。北側には礫が埋め込まれおり、石囲炉の可能性がある。
〈重複・帰属遺構〉平面形では3号焼土と重複するが、断面で被熱の範囲を確認したところ重なってはいない。周囲には遺物を多く含む黒褐色土が広がりっており、5d周辺住居（？）床面に形成された炉の可能性が高い。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

5号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、5eグリッドに位置する。5d周辺黒褐色土の広がりを除去したころ、Ⅳ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉一辺が40㎝以上の円形～楕円形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は普通。被熱のおよぶ深さは確認できなかった。
〈重複・帰属遺構〉焼土上位には遺物を多く含む黒褐色土が広がりっており、5d周辺住居（？）床面に形成された炉と推定される。一方で、4号土坑とも重複しており、土坑内焼土がほぼ同じ高さで広がっている。土坑内で焼土が形成され、その影響で周囲にも被熱が及んだ可能性も考えられる。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

6号焼土（第22図、写真図版12）
〈位置・検出状況〉A区、4eグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉北端を他遺構と重複し消失するが、南北が110㎝以上、東西幅74㎝の不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱の及ぶ深さは最大6㎝である。北側では焼土層の上に、固くしまる焼土ブロック層、焼土ブロックを含む黒褐色土層が堆積する。南部は旧耕作土によって削平されてしまっているため、焼土の上位層は残存していない。
〈重複・帰属遺構〉5号土坑と重複する。重複部の土坑埋土が被熱しておらず、土坑開口時に焼土が形成さ

れたか、土坑の方が新しいか、いずれかの可能性が考えられる。しかし、両遺構重複部付近が最も深く被熱が及んでおり、焼土が下方へ向かって皿状に形成される性質を考えると、恐らくそこが中心と思われる。そのため、土坑によって本遺構の一部が壊されたものと判断したい。本遺構は4e周辺の住居（？）に伴う炉跡の可能性が高いと思われる。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

7号焼土（第23図、写真図版12）

〈位置・検出状況〉A区、4dグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉58×50cmのほぼ円形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは7cmである。焼土の上には固くしまる焼土ブロック層が覆う。焼成具合・堆積状況とも6号焼土と似る。

〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。本遺構は4e周辺の住居（？）に伴う炉跡の可能性が高いと思われる。

〈遺物〉遺物は検出されていない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

8号焼土（第23図、写真図版12）

〈位置・検出状況〉A区、3gグリッドに位置する。Ⅱ層・4層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉東西80cm、南北50cm以上の不整形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成は弱く、被熱のおよぶ深さは最大8cmである。西端部では焼成面の上に焼土ブロック層が堆積している。

〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はないが、3号住居跡北壁と近接している。焼土の上位の堆積土が削平されていしまっているため両者の新旧関係は不明であるが、住居の方が新しい場合、本遺構南端は消失しているものと思われる。4i周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

9号焼土（第23図、写真図版12）

〈位置・検出状況〉A区、3hグリッドに位置する。Ⅲ層・5層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉80×60cmの不整形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成はやや悪く、被熱のおよぶ深さは最大9cmである。

〈重複〉p702と重複しこれに切られる。南に30cmの間隔で10号焼土が位置する。焼成面の高さはほぼ同じで、焼成具合も類似している。焼土の上位層が削平されているため詳細は不明だが、4i周辺遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

10号焼土（第23図、写真図版12）

〈位置・検出状況〉A区、3hグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉90×58cmの楕円形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成はやや悪く、被熱のおよぶ深さは最大5cmである。

〈重複・帰属遺構〉p135と重複しこれに切られる。北側に9号焼土が近接している。焼土の上位層が削平されているため詳細は不明だが、4i周辺遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土してない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

11号焼土（第24図、写真図版13）

〈位置・検出状況〉A区、4iグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉平面で確認した範囲は140×120cmの不整形を呈する。断面から、北端部は7層により壊されていることが判明した。

〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大7cmである。焼成面の上には焼土ブロック層が点在する。

〈重複・帰属遺構〉23号焼土と重複するが、同じ高さに焼成面を持つ土に、重複部を7層によって壊されているため新旧関係は不明である。4i周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

12号焼土（第23図、写真図版13）

〈位置・検出状況〉A区、4iグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉200×80cmの不整形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成の良い箇所が北側（6層）と南側（3層）にあり両者の間は被熱が弱くなる（5層）ため、2基重複している可能性が高い。被熱のおよぶ深さは両者とも最大8cmである。南側の焼土層の上位には焼土ブロック層と、炭化物・焼土ブロックを含む暗褐色土層が堆積する。

〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はないが、本遺構自体が2基の重複であると考えられる。4i周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉縄文時代のものと推定される。

13号焼土（第24図、写真図版13）

〈位置・検出状況〉A区、4jグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。

〈規模・形状〉南北80cm以上、東西50cm以上の不整形を呈する。南側は1層により壊されており、14号焼土と同一遺構の可能性がある。

〈焼成・埋土〉焼成はやや悪く、被熱のおよぶ深さは1～2cm程度ではっきりしない。

〈重複〉重複する遺構はない。14号焼土と近接している。4i周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

14号焼土（第24図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉A区、4ｊグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉東半部が新期耕作土によって壊されているため、南北80cm以上、東西20cm以上の馬蹄形状を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は弱く、被熱のおよぶ深さは最大3㎝である。東側は新期耕作土によって削平されており、13号焼土と同一遺構であった可能性が考えられる。
〈重複・帰属遺構〉重複する遺構はないが、13号焼土と近接している。4ｉ周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

15号焼土（第25図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉B区、8ｐグリッドに位置する。Ⅱ層上面、または、21号焼土に伴う遺構埋土中に形成されていた。
〈規模・形状〉125×90cmの楕円形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は弱く、被熱のおよぶ深さは1～2㎝程度とはっきりしない。
〈重複・帰属遺構〉上記のとおり、21号焼土と重複し、本遺構のほうが新しい。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

16・17号焼土（第25図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉B区、8ｐグリッドに位置する。Ⅲ層中、23号土坑1層・55号土坑埋土上面で形成されていた。
〈規模・形状〉東西境界ははっきりとしないため、両遺構あわせて170cm、南北は16号焼土が52cm、17号焼土が82cm、いずれも不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は普通、被熱のおよぶ深さは16号焼土が最大10cm、17号焼土が7㎝である。
〈重複・帰属遺構〉16・17号焼土と重複するが焼成面が同じ高さのため新旧関係は不明である。同一遺構に伴う可能性が高い。また7・23・55号土坑と重複する。23・55号土坑よりは新しく、7号土坑との新旧関係は不明である。21号焼土とほぼ同一面に形成され、何らかの遺構（住居跡？）に伴う可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

18号焼土（第25図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉A区、4ｆグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉100×105cmの不整形を呈する。

〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大10cmである。焼成面は皿状に窪みその上には焼土ブロック層が堆積する。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。４ｅ（２）住居跡（？）に伴う可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

19号焼土（第25図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉Ａ区、２ｆグリッドに位置する。２ｆ（２）埋土中（６層？）に形成されていた。
〈規模・形状〉東西30cm、南北20cm以上の円形～楕円形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は弱く、やや赤変している程度で明黄褐色ブロックを確認できる。被熱のおよぶ深さは最大10cmである。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。２ｆ（１）住居跡（？）に伴う可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

20号焼土（第25図、写真図版13）
〈位置・検出状況〉Ａ区、２ｆグリッドに位置する。２ｆ（２）埋土中（６層？）に、形成されていた。
〈規模・形状〉60×30cmの不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は非常に弱く、断面では深さを確認できなかった。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。２ｆ（１）住居跡（？）に伴う可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

21号焼土（第25図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉Ａ区、８ｐグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉54×32cmの楕円形を呈する。
〈焼成・埋土〉被熱のおよぶ深さは最大２cmである。
〈重複・帰属遺構〉15号焼土と重複し、これよりも古い。16・17号焼土と同一面に形成され、何らかの遺構（住居跡？）に伴う可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

22号焼土（第26図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉Ａ区、４ｊグリッドに位置する。Ⅲ・Ⅳ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉130×100cmの楕円形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱がおよぶ深さは最大７cmである。焼成面は皿状に窪んでおり、その上に焼土ブロック層が堆積する。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。４ｉ周辺の遺構（住居跡？）に伴う可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

23号焼土（第24図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉A区、4ｉグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉110×110cmの不整形を呈する。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大8cmである。
〈重複・帰属遺構〉11号焼土と重複するが、同じ高さに焼成面を持つ上に、重複部を7層によって壊されているため新旧関係は不明である。4ｉ周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

24号焼土（第26図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉A区、2ｇグリッドに位置する。Ⅲ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉南北70cm以上、東西85cmのほぼ円形を呈する。焼成面は中央部が若干窪み浅皿状となる。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大11cmである。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はないが、本遺構上位は遺構埋土と思われる堆積状況を示すことから何らかの遺構（2ｆ（3）住居跡？）に伴う可能性が高い。この焼土上位の遺構埋土は3号住居跡に切られている。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

27号焼土（第36図、写真図版23）
〈位置・検出状況〉A区、4ｉグリッドに位置する。39号土坑5層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉平面形は南北120cm以上、東西110cmの不整形を呈する。断面から見た焼成の範囲は120×60cm、焼成の及ぶ深さは10cm程度である。
〈焼成・埋土〉焼成は良い。焼土中に色調の異なる焼土ブロックを含むが、恐らく混入物を含む土坑埋土が焼成したためと思われる。
〈重複・帰属遺構〉39号土坑と重複するが、焼成の範囲が土壙内に収まることから、本遺構の方が新しいか、土坑内に形成されたものと考えられる。詳細は土坑の方に記載する。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

28号焼土（第36図、写真図版23）
〈位置・検出状況〉A区、4ｉグリッドに位置する。40号土坑4層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉平面形は径70cmの不整円形を呈する。焼成の及ぶ深さは6cm程度である。
〈焼成・埋土〉焼成は非常によい。下部（2層）はやや焼成が弱くなり、色調の違う焼土ブロックが認められる。

〈重複・帰属遺構〉40号土坑と重複するが、焼成の範囲が土壙内に収まることから、本遺構の方が新しいか、土坑内に形成されたものと考えられる。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

29号焼土（第38図、写真図版23）
〈位置・検出状況〉A区、4iグリッドに位置する。41号土坑3・4層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉平面形は104×84cmの不整形を呈する。焼成の及ぶ深さは10cm程度である。
〈焼成・埋土〉焼成は非常によい。下部（2層）はやや焼成が弱くなり、色調の違う焼土ブロックが認められる。
〈重複・帰属遺構〉41号土坑と重複するが、焼成の範囲が土壙内に収まることから、本遺構の方が新しいか、土坑内に形成されたものと考えられる。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

30号焼土（第26図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉A区、4iグリッドに位置する。Ⅳ層上面に形成されていた（3～5層）。
〈規模・形状〉200×110cmの楕円形を呈する。断面形は皿状に窪む。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱のおよぶ深さは最大6cmである。焼成面の上には、焼土ブロック層、炭化物・焼土ブロックを含む黒色土が堆積する。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。4i周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。
〈遺物〉焼土層上面に遺物がのる。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

31号焼土（第40図、写真図版26）
〈位置・検出状況〉3iグリッドに位置する。51号土坑2層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉平面形は70×60cmの不整形を呈する。焼成の及ぶ深さは4cm程度である。
〈焼成・埋土〉焼成は普通で色調の違う焼土ブロックが見られる。
〈重複・帰属遺構〉51号土坑と重複するが、焼成の範囲が土壙内に収まることから、本遺構の方が新しいか、土坑内に形成されたものと考えられる。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

32号焼土（第26図、写真図版14）
〈位置・検出状況〉A区、4eグリッドに位置する。Ⅲ～Ⅳ層上面に形成されていた。
〈規模・形状〉90×80cmのほぼ円形を呈する。断面は皿状に窪む。
〈焼成・埋土〉焼成は良く、被熱がおよぶ深さは8cmである。焼成面の上には、焼土ブロック層が堆積する。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。4e周辺の遺構（住居跡？）に伴う炉跡の可能性がある。

〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代のものと推定される。

39号焼土（第18図）
〈位置・検出状況〉A区、2fグリッドに位置する。Ⅳ層上面まで掘り下げたところ、断面中に焼土層が確認された。Ⅲ層上面に形成されている。
〈規模・形状〉断面でのみ確認したため形状は不明、径は50cm程度である。断面形は、皿状に窪む。
〈焼成・埋土〉焼成は普通、被熱のおよぶ深さは6cmである。
〈重複・帰属遺構〉重複する他の遺構はない。2f（2）住居跡（？）に伴う炉跡の可能性がある。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉縄文時代前期後葉のものと推定される。

4．土坑

1号土坑（第27図、写真図版15）
〈位置・検出状況〉A区4hグリッド付近に位置する。試掘トレンチ底面のⅣ層中で黒褐色土の円形プランが明瞭に検出された。
〈規模・形状〉開口部径118×110cmの円形を呈する。検出面からの深さは90cmである。断面形は開口部から底部に向かってフラスコ状に広がり、底面はほぼ平坦であるが、地山層中の礫が露出している。
〈埋土〉黒褐色土を主体とし、地山ブロックの混入量で上部（1～6層）と下部（7～11層）に大別される。底面の直上には地山ブロックを全体に細かく含む層が堆積し、その上及び壁際には壁の崩落に伴う大量の地山ブロックが層中に含まれる。上部は、最下層に遺物を多く含む層が堆積し、埋土中に炭化物・焼土ブロックが混入する。以上の堆積状況から下部は自然堆積、上部は人為堆積と推定される。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉土器（115～118：第51図、写真図版32）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

2号土坑（第27図、写真図版15）
〈位置・検出状況〉A区、6jグリッド付近に位置する。試掘トレンチ底面のⅣ層中で黒褐色土の円形プランが明瞭に検出された。
〈規模・形状〉開口部径104×100cmの円形を呈する。検出面からの深さは40cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立する。
〈埋土〉黒褐色土を主体とし、底面直上に地山ブロックを微量含む。自然堆積と推定される。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉土器（119：第51図、写真図版32）。不定形（d－74：第85図、写真図版68）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

3号土坑（第27図、写真図版15）
〈位置・検出状況〉A区5dグリッドに位置する。5d付近の黒色土の広がりをさげていったところ、黒褐

色土上面で黒色土の円形プランが検出された。
〈規模・形状〉開口部径152×112cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは40cmである。底面はほぼ平坦、壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉上部（4層）は黒色土、下部（5層以下）は黒褐～暗褐色土が主体となる。4層は主体土と、層中に遺物を多く含む点で、上位層である3層と類似している。そのため本遺構に伴わない新期盛土（別遺構？）の可能性がある。下部は底面から黒褐・暗褐・黒褐色と互層になっており、6層上面では焼土の広がりが認められた。本遺構以外にも調査区内には埋土中に焼土が広がる土坑が多く検出されている。これらの焼土は①明瞭な平面範囲が認められる、②炭片を含まない、③断面形は皿状であるが上部から下部に向かって被熱が弱くなるという現象が（a）認められるものと（b）はっきりと確認できないもの、④主体土（焼土）より色鮮やかな焼土粒を含む、という特徴があげられる。①・②・③（a）からは土壙内で焼成された可能性が考えられるが、③（b）でそれを否定する現象がみられた。④に関しては、焼土がブロック状に再堆積したものと思われるが、埋土中の地山ブロックや明黄褐色土粒が被熱した場合、主体土である黒褐色土とは均一な色調にならない可能性がある。Ⅲ層上面に焼土が形成された場合、層中に混入する明黄褐色土粒が、被熱後も周囲とは異なった色調となる例が認められる。以上、土壙内での焼成または廃棄・流入のいずれかに決定する明確な根拠をみいだせなかった。そのため、焼土が形成されているという表現は避け、焼土が広がっていると記載していくこととする。いずれにせよ、人為堆積の可能性が高い。
〈重複〉5d付近の住居跡（？）と重複し、本遺構のほうが新しい。
〈遺物〉土器（120～125：第51図、写真図版33）。石鏃（a－68：第81図、写真図版59）、石匙（c－8：写真図版60）、石錘（i－4：写真図版79）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

4号土坑（第27図、写真図版15・16）
〈位置・検出状況〉5dグリッドに位置する。5d付近の黒色土の広がりをⅣ層上面までさげたところ、暗褐色土の円形プランが確認された。
〈規模・形状〉開口部径162×136cmの円形を呈する。検出面からの深さは42cmである。底面には凹凸がみられ、壁は直立する。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする。上部には炭化物・焼土ブロックを混入するが下部にはほとんど含まれない。底面直上には黒褐色土が堆積し、埋土上部には114×55cmの焼土（3層）が広がる。厚さは8cm程度で、上下位層には炭化物を含むのに対し、本層には炭化物を含まない。全体的にしまりはやや弱い。埋土上部は人為堆積の可能性が高い。
〈付属施設？〉北壁際にp704が検出された。開口部径55×38cm、底面からの深さは13cmである。埋土は土坑下部のものと似るが、よくしまる。他の土坑底面でみられるものより規模が大きく、周囲には住居跡に伴う柱穴が多く検出されていることから、本遺構に伴う付属施設または、土坑より古い住居の柱穴の可能性が考えられる。
〈重複〉5d付近の住居跡（？）と重複するが、新旧関係は不明である。
〈遺物〉土器（126～128：第51図、写真図版33）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

5号土坑（第28図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉A区、4cグリッドに位置する。Ⅲ層上面で不明瞭な暗褐色土の広がりが検出されたため、サブトレンチをいれⅣ層上面までさげたところ、平面プラン・立ち上がりがはっきりと確認できた。

〈規模・形状〉開口部径160×140cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは55cmである。底面はほぼ平坦、壁は直立する。

〈埋土〉暗褐色土を主体とし、地山ブロックの混入量で上下2層に大別される。下部（8層以下）は地山土を多く含み全体的にしまりが弱い。上部は、地山土は少なく炭化物・焼土ブロックが混入する。5・7層上面には100×74cmの焼土が広がる。焼土層の厚さは10cm程度で、上下位層が炭化物を含むのに対し本層にはみられない。また焼土上位層は遺物を多く包含する。以上の堆積状況から、埋土上部は人為堆積の可能性が高い。

〈重複〉6号焼土と重複し、本遺構の方が新しい。

〈遺物〉4層（焼土）上位から多く出土している。土器（129～141：第51図・写真図版33）。石鏃3点（a－9・10・62：第81図、写真図版58・59）、石錘（i－5：第91図、写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代後葉のものと推定される。

6号土坑（第28図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉A区、6dグリッドに位置する。5d付近の黒色土の広がりを掘りさげていったところ、Ⅳ層上面で暗褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉南半は調査区外、東西を柱穴状土坑に壊されているため全体の形状は把握できないが、開口部径120cm以上、円形～楕円形を呈すると思われる。底面は北側で一端平場を形成してから南側が落ち込み低くなっている。2基重複していた可能性があるが、検出時に平面形からは認識できず、切り合いを確認することはできなかった。壁は直立する。

〈埋土〉暗褐色土を主体とし、地山土・炭化物・焼土ブロックを混入する。

〈重複〉5d付近の住居跡（？）、p85・100と重複し、すべて本遺構より新しい。

〈遺物〉土器（142：第51図、写真図版33）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

7号土坑（第28図、写真図版16）

〈位置・検出状況〉B区、8pグリッドに位置する。Ⅲ層上面で検出した。

〈規模・形状〉開口部径222×173cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは42cmである。底面はほぼ平坦で、地山層中の礫が露出している。壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉底面直上に黒褐色土を主体とする層が南側から流入、その後北側から暗褐色土を主体する層が堆積する。暗褐色土には炭化物・焼土ブロックを含む。両者とも検出面より上は立ち上がりを認識できなかった。

〈重複〉16・17号焼土、55号土坑と重複する。いずれも本遺構調査後に重複していることが判明したため、平面形及び堆積状況からの切り合い関係は把握できていない。焼土は土坑に切られた状態で検出されているものの、本遺構を掘り下げる際に焼成面を見逃した可能性もあり、新旧を判断できない。また本遺構の検出面より上の立ち上がりが不明瞭なことは、焼土を有する遺構（住居跡等）が本遺構を切っているためかもしれない。16・17号焼土は55号土坑埋土上面に形成されており、本遺構が焼土を切っていると仮定すれば、新

しいものから順に、本遺構、16・17号焼土、55号土坑となる。しかし焼土が最も新しい場合は、本遺構調査後に55号土坑との重複を確認したこと、平面形が南北ほぼ同じ幅で東西に拡張する入れ子状になっていること、底面の高さがほぼ同じことから、本遺構の方が新しいか、もしくは同一の遺構である可能性も考えられる。

〈遺物〉遺物は1層中から多く出土している。土器（143～150：第52図、写真図版33）。敲磨器類（h－46：写真図版76）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

8号土坑（第28図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、5cグリッドに位置する。5d付近の黒色土の広がりを暗褐色土上面までさげていったところ黒褐色土の広がりが検出された。

〈規模・形状〉開口部径208×118cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは38cmである。底面は西側に向かって低くなっている。壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉黒褐色土を主体とするが、西側は茶味の強い層（1・3・4層）、東側は黒味の強い層（2・5～7層）が堆積する。地山土をほとんど含まず、炭化物が微量混入する。

〈重複〉5d付近の住居跡（？）と重複するが、新旧関係は不明である。

〈遺物〉土器（151：第53図、写真図版34）。石錘（i－6：第91図、写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

9号土坑（第29図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、4dグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径159×110cmの隅丸方形を呈する。検出面からの深さは18cmである。底面はほぼ平坦で、壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする単層である。明黄褐色ブロック・炭化物が混入している。

〈重複〉p106と重複しこれに切られる。

〈遺物〉土器（152・153：第53図、写真図版34）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

10号土坑（第29図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、6fグリッドに位置する。Ⅳ層上面で暗褐色土の広がりが検出された。

〈規模・形状〉開口部径100×96cmの円形を呈する。検出面からの深さは48cmである。底面はほぼ平坦で壁は直立する。

〈埋土〉暗褐色土を主体とする。地山ブロック・炭化物を混入し、上部には明黄褐色ブロックを含む。土坑内には底面に巨大な礫が2個体、その上（1層中）に礫が散在している。これらの礫は、地山層中に含まれるものと同質の石材であるが、床面や壁から露出しているものではないため、開口時に故意または自然現象によって土坑内にはいったものと推定される。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉土器（154：第53図、写真図版34）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

11号土坑（第29図）

〈位置・検出状況〉A区、6fグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりが検出された。

〈規模・形状〉開口部径99×68cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは17cmである。断面形は浅皿状を呈しており、中心部はやや窪む。

〈埋土〉黒褐色土を主体とし、炭化物・焼土ブロックを微量含む。

〈付属施設？〉断面形からみると中心部が底面より数cmの深さで小穴状にやや窪む。しかし、底面を掘りすぎてしまったため、平面形状は記録できず、詳細は不明である。埋土は黒褐色土を主体とし、地山ブロックを含む。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉埋土様相から縄文時代に属するものと想定される。

12号土坑（第29図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、5eグリッドに位置する。トレンチを設定しⅣ層上面まで掘りさげたところ、明瞭な黒褐色土の範囲が認められた。そのため周囲を検出したところⅢ層上面で楕円形のプランを確認した。

〈規模・形状〉南東部はトレンチで底面下までさげてしまったため形状は不明であるが、長軸が320cm以上、短軸が210cm、平面形は楕円形を呈する。検出面からの深さは30cmである。壁は直立し、壁際は緩やかに傾斜し底面はほぼ平坦となる。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。地山ブロックをほとんど含まないが、壁際にはやや多くなる。1層は遺物、炭化物・焼土ブロックを他層より多く含む。

〈重複〉13・16号土坑と重複し、本遺構の方が新しい。

〈遺物〉土器（155～162・165～169：第53・54図、写真図版34）。不明土製品（455）、円盤状土製品（465）（第79・80図、写真図版57）。石鏃（a－11：第81図、写真図版58）、石匙2点（c－9・35：第81図、写真図版60・62）、敲磨器類2点（h70・72：第90図、写真図版78）、滑石（k－103：写真図版82）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

13号土坑（第29図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、5eグリッドに位置する。12号土坑南東部の底面に黒褐色土の円形プランが広がり、土坑が重複していることが判明した。

〈規模・形状〉開口部径160×130cmの楕円形を呈する。12号土坑底面からの深さは53cmである。壁は直立し、底面は北側が若干低くなっており、地山層中の礫が露出している。

〈埋土〉西側は茶味の強い黒褐色土（a：1～7層）、東側は黒味の強い黒褐色土（b：9～12層）を主体とする。b、aの順で堆積しており、両者の主体土が異なること、aが堆積する箇所の底面がbよりも若干低くなることを合わせて考えると、abは別遺構の可能性がある。この場合a（新）、b（古）という関係になる。しかし平面形状からは壁が張り出すような重複が認められないため、同一遺構と解釈した。

〈重複〉12号土坑と重複し、本遺構の方が古い。

〈遺物〉土器（163～170：第53・54図、写真図版34）。不明土製品（455）、円盤状土製品（465）（第79・80、写真図版57）。石鏃（a－11：第81図、写真図版58）、石匙（c－9：第81図、写真図版60）、滑石（k－103：写真図版82）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

14号土坑（第30図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉B区、8pグリッドに位置する。Ⅲ層中で検出したが、本来の検出面はⅢ層上面である。

〈規模・形状〉開口部径146×111cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは17cmである。底面はほぼ平坦で、壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉底面直上に黒褐色土、その上に暗褐色土が堆積する。最上層は遺物を多く含む黒褐色土を主体とする層（1層）となるが、明瞭な立ち上がりがみられず、本遺構に伴うかものか不明である。1層下面が本遺構西側に位置する16・17号焼土の焼成面とほぼ高さが一致することから、焼土を伴う遺構（住居跡など）埋土の可能性も考えられる。

〈重複〉23号土坑と重複する。平面及び堆積状況からの切り合いは把握できていないが、本遺構調査後に重複していることが判明しているため、恐らく本遺構の方が新しいものと推定される。

〈遺物〉土器（172～178：第54・55図、写真図版35）。両面加工石器（g－1：第88図、写真図版73）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

16号土坑（第29図、写真図版17）

〈位置・検出状況〉A区、5cグリッドに位置する。12号土坑を掘り下げたところ西壁の一部が地山ではなく黒褐色土のままであったため、別遺構が重複していることが判明した。

〈規模・形状〉平面形は122×110cmのやや歪んだ楕円形を呈するが、東壁上半は12号土坑によって削平されているため、本来は円形に近いものと推定される。底面はほぼ平坦で、地山層中の礫が露出している。壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉西壁際にはⅢ・Ⅳ層の混土が堆積するが、埋土全体は地山土をほとんど含まない黒褐色土を主体とする。上部より下部の方が地山ブロックの混入量が多い。

〈重複〉12号土坑と重複し、本遺構の方が古い。

〈遺物〉土器（171：第54図、写真図版35）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

17号土坑（第30図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉B区、8oグリッドに位置する。Ⅲ層上面で暗褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径79×67cmのほぼ円形を呈する。検出面からの深さは12cmである。断面形は浅皿状に窪んでいる。

〈埋土〉底面を薄く黒褐色土が覆いその上に暗褐色土が堆積する。炭化物は底面付近に微量含む。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

18号土坑（第30図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉A区、5ｆグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径120×97cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは52cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立する。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。地山ブロックは下部（7層）に少量、上部（1～6層）にはほとんど含まない。炭化物・焼土ブロックは埋土全体でみられ、遺物は上部に多い。以上の堆積状況から埋土上部は人為堆積の可能性がある。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉1～6層中に遺物を多く出土する。土器（179～185：第55図、写真図版35）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

19号土坑（第30図、写真図版18）

〈位置・検出状況〉B区、7ｐグリッドに位置する。Ⅳ層上面で暗褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径193×180cmの円形を呈する。検出面からの深さは52cmである。底面は中心部に若干凹凸がみられるが既ね平坦で、壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉暗褐色土を主体とする。壁際と底面の低くなっている所は地山ブロックの多く含む層（3層）に覆われ、その上に焼土ブロックを含む層（2層）、礫・遺物を混入する層（1層）の順で堆積する。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉土器（186・187：第55図、写真図版36）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

20号土坑（第30図、写真図版19）

〈位置・検出状況〉A区、4ｈグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉南側に巨大な礫があるため東西140cm、南北80cmの半円状を呈する。巨礫は地山土から露出しており、土坑使用時も現在の場所に存在していたものと思われる。この巨礫の北側にも大きな礫が露出している。底面はほぼ平坦、壁は直立するが、西側は一部袋状に張り出している。

〈埋土〉黒褐色土を主体とし、地山ブロックを有無で上下2層に大別される。下部（4層以下）は地山ブロックを含み、混入量が底面から多・少・多と互層になっている。上部（1～3層）は遺物・礫、炭化物・焼土ブロックを含む。以上の堆積状況から埋土上部は人為堆積の可能性がある。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉埋土上部から多く出土している。土器（188・190：第55図、写真図版36）。円盤状土製品（466：第80図、写真図版57）。敲磨器類（ｈ－37：写真図版76）、石錘（ｉ－7：写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

21号土坑（第31図、写真図版19）

〈位置・検出状況〉A区、3ｈグリッドに位置する。Ⅲ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径121×64cmの楕円形～隅丸方形を呈する。検出面から深さは30cmである。底面は平坦で、壁は直立する。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする単層である。地山ブロック・炭化物を含む。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

22号土坑（第31図、写真図版19）
〈位置・検出状況〉B区、8ｐグリッドに位置する。Ⅳ層上面で暗褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部122×92cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは22cmである。断面形は浅皿状に窪む。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする単層で、遺物・炭化物を含む。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉土器（191～193：第55図、写真図版36）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

23号土坑（第31図、写真図版19）
〈位置・検出状況〉B区、8ｐグリッドに位置する。Ⅲ層中で暗褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径190×180cmの円形を呈する。検出面からの深さは50cmである。底面はほぼ平坦で、地山層中の礫が露出している。壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする。壁際には黒褐色土が堆積する。床面直上層と埋土最上部に炭化物を含む。
〈重複〉16・17号焼土、14号土坑と重複しいずれも本遺構より新しい。
〈遺物〉土器（194：第56図、写真図版36）。石錐（ｉ－８：第91図、写真図版79）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

24号土坑（第31図、写真図版19）
〈位置・検出状況〉B区、7ｐグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉東半はｐ502と重複するため本来の形状は不明であるが、開口部径は東西106cm以上、南北88cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは30cmである。底面は南側に低く傾斜している。壁は外傾して立ち上がるが、南壁は袋状を呈し張り出している。
〈埋土〉底面最深部は地山土を多量に含む暗褐色土に覆われ、その上に炭化物が混入する黒褐色土が堆積する。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉黒褐色土中に遺物を含む。土器（195：第56図、写真図版36）。粘土塊（478：写真図版57）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代中期末葉と想定される。

25号土坑（第31図、写真図版20）
〈位置・検出状況〉A区、6ｉグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉南側が調査区外に位置するため全形を把握することはできないが、長軸116cm以上、幅48cmの細長い形状を呈する。検出面からの深さは26cmである。底面はほぼ平坦だが、南側へ向かって若干低くなっ

ている。壁はやや外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とするが、地山ブロックを下部に多く上部に少量混入する。また炭化物を含む。
〈重複〉26号土坑、p157と重複する。本遺構は、土坑よりも新しく柱穴よりも古い。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

26号土坑（第31図、写真図版20）
〈位置・検出状況〉A区、6iグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉25号土坑と重複するため西端を欠くが、開口部径60×46cmの不整円形を呈する。検出面からの深さは34cmである。底面はほぼ平坦で、壁は袋状にやや外側に張り出す。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする。壁際には焼土ブロック、地山ブロックを含む層が堆積する。
〈重複〉25号土坑と重複する。本遺構の方が古い。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

27号土坑（第32図）
〈位置・検出状況〉A区、2dグリッドに位置する。2d・3eグリッド付近にトレンチを入れ堆積状況を観察したところ、黒褐色土の掘込みが確認された。
〈規模・形状〉平面から遺構のプランを確認することができなかったため、断面形から把握すると、開口部径105×72cmの楕円形を呈するものと思われる。残存している掘込みの深さは34cmである。底面の全体の形状は把握できなかったが、断面形から判断するとほぼ平坦、壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉東壁側に黒味の強い黒褐色土が流入、その後底面直上に暗褐色土が覆いその上に再び黒褐色土、さらに黒色土が堆積する。埋土は東側から流入しており、炭化物・焼土ブロックを含む。
〈重複〉2号住居跡と重複し、本遺構の方が新しい。
〈遺物〉土器（196：第56図、写真図版36）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

28号土坑（第32図、写真図版20）
〈位置・検出状況〉A区、4fグリッドに位置する。試掘トレンチ内のⅣ層中で黒褐色土の半月状の広がりを検出した。本来の検出面はⅣ層上面である。
〈規模・形状〉開口部径267×215cmの楕円形を呈するが、北東側は南西側と比べ検出面が30cm下がってしまっているため径が小さくなりやや歪んだ形状となる。底面は北側がやや低くなっており、地山層中の礫が露出している。壁は直立、南側は下部が外側に張り出し袋状を呈する。また住居跡と重複する部分はやや外傾する。
〈埋土〉a．黒味の強い黒褐色を主体とする層（1～3層）と、b．茶味の強い黒褐色土を主体とする層（4層以下）に大別される。bは地山ブロックが多い層と少ない層が互層となり壁際から堆積する。上部はよくしまるが、下部は弱い。aはbを切るように堆積しており、地山ブロックをほとんど含まないほぼ単一に近い層で埋没する。1～3層で明黄褐色ブロック・焼土ブロックの混入量が若干異なる。両者の主体土は明

らかに異なり特異な堆積状況を示す。別遺構の可能性も考えられるが、ａの断面形がＶ字状を呈しており、他に例を見ないため、１遺構と解釈したい。また、本遺構底面からは玦状耳飾り、埋土中からは棒状礫が出土していることを考えると、墓壙の可能性がある。

〈重複〉６・７号住居跡と重複し本遺構の方が新しい。

〈遺物〉土器（197～204：第56図、写真図版36)。鐸形土製品（456：第79図、写真図版57)。石鏃（ａ－12：写真図版58)、石匙（ｃ－10：写真図版60)、不定形２点（ｄ－24・75：第84・85図・写真図版65・68)、篦状石器（ｅ－16：写真図版71)、磨製石斧（ｆ－１：写真図版73)、玦状耳飾（ｋ－59：第93図、写真図版81)、棒状礫（ｌ－２・３：第94図、写真図版84)。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

29号土坑（第32図、写真図版20)

〈位置・検出状況〉Ａ区、３ｈグリッドに位置する。Ⅳ層上面で検出したが、本来の検出面はⅢ層上面である。

〈規模・形状〉開口部径150×139cmのほぼ円形を呈する。Ⅲ層上面からの深さは50cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。地山ブロックを下部（２～５層）に含み、上部（１層）には含まない。

〈付属施設？〉底面南端に小穴が検出された。開口部径25cm、底面からの深さは10cmである。堆積状況から本遺構に付属するもの、もしくはこれよりも古いものと考えられる。埋土は黒褐色土を主体とし、７層は地山ブロックが多いが、８層にはほとんど含まない（柱痕？)。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉遺物は出土してない。

〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

30号土坑（第33図、写真図版20・21)

〈位置・検出状況〉Ａ区、２ｈグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉北東部を削平され消失する。開口部径は、南北252cm以上、東西190cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは30cmである。底面はほぼ平坦、壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉底面直上に東側から黒味のある黒褐色土（９層)、その上に暗褐色土（２・８層）が堆積した後、西側からは炭化物・焼土ブロックを多く含む黒褐色土層（３～７・10層）が入り、これらの上面に遺物がのる。そして遺物を黒褐色土層（１層）が覆う。以上の状況から人為堆積と推定される。

〈付属施設〉底面中央に小穴有し、これを中心として十字に溝が走る。小穴は径55×40cmの楕円形で、深さは５cm程度、溝は幅15cm前後、深さは５cm以下である。両者とも炭化物・焼土ブロックを微量含む黒褐色土が堆積する。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉１層下面に横位に押しつぶされた状態で出土している。土器（205～216：第56・57図、写真図版36・37)。石鏃（ａ－13：写真図版58)、不定形（ｄ－88：写真図版69)、磨製石斧（ｆ－２：第87図、写真図版73)。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

32号土坑（第33図、写真図版21）

〈位置・検出状況〉A区、5gグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径211×189cmほぼ円形を呈する。検出面からの深さは94cmである。底面はほぼ平坦、地山層中の礫が僅かに露出している。壁上半は直立するが、下半は袋状に外側へ張り出す。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。下部（6層以下）には地山ブロックを多く含む。壁が外側に張り出している範囲とほぼ一致するため壁崩落土と考えられる。上部（1～5層）は炭化物・焼土ブロックが目立ち、人為堆積の可能性がある。

〈重複〉47号土坑と重複し、本遺構の方が新しい。

〈遺物〉土器（217・218：第58図、写真図版37）。石錘（i－9：写真図版79）。

〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

33号土坑（第34図、写真図版21）

〈位置・検出状況〉A区、6iグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径125×98cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは19cmである。底面はほぼ平坦で礫が散在している。壁は直立、もしくはやや袋状にはりだして立ち上がる。

〈埋土〉黒褐色土を主体とするが、西側（2層）はやや黒味が強い。炭化物を含む。

〈重複〉p162と重複するが、本遺構の方が新しい。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

34号土坑（第34図、写真図版21）

〈位置・検出状況〉A区、4jグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径106×112cmのほぼ円形を呈する。検出面からの深さは40cmである。断面形は椀状を呈する。

〈埋土〉底面に炭化物・焼土ブロックを含む茶味の強い黒褐色土層（3・4層）が僅かに堆積し、その上に黒味の強い黒褐色土層（1層）が覆う。

〈付属施設？〉北側にp165、南東部にp214を有する。p165は径46cm、深さ30cm、茶味と黒味の強い黒褐色土が交互に堆積する。p214は径18cm、深さ25cm、埋土は黒褐色土を主体とする。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉遺物は出土していない。

〈時期〉埋土の様相から縄文時代に相当すると推定される。

35号土坑（第35～36図、写真図版22）

〈位置・検出状況〉A区、2cグリッドに位置する。トレンチを設定し掘り下げたところ土器及び多量の滑石製垂飾具が出土したため、遺構の存在を認識した。検出面はⅢ層上面である。

〈規模・形状〉埋土が周囲の基本層序Ⅲ層と類似しており、掘込みもⅣ層（地山）まで達していないため、平面形でプランを把握することはできなかった。断面から推定した形状は概ね隅丸方形を呈する。南西部を住居跡と重複するため消失しており、開口部径は南北305cm以上、東西286cmである。底面はほぼ平坦、南西

部は若干低くなるようである。壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とし、炭化物・焼土ブロックを含む。上部（3層）はやや赤味を帯びる。
〈付属施設？〉8基の小穴を有する。p704は径70×60cmと大きいが、深さ20cmと浅い。それ以外は、径20～30cm、深さ30～50cm程度である（p281は浅い）。すべて10YR2/2 黒褐色粘土質シルトが堆積する。p278・704は、埋土の堆積状況から、p276・278・280は遺物の下位から検出されたことから、本遺構に伴う可能性が高い。特にp276の埋土中からは滑石小片が出土している。その他の新旧関係は不明である。以上遺構の規模・形状、複数の柱穴を有することから竪穴状の遺構の可能性もある。
〈重複〉1号住居跡と重複し、これに切られる。
〈遺物〉滑石製垂飾具を多量に出土するという特異性から、遺物の出土状況の把握に努めた（第35図）。滑石製垂飾具は、出土地点を記録し遺物にK1～遺物出土地点番号を付した。小破片、及び土器片、その他の石器類は、1×1mの小グリッドを設定し25の小区域に分けて取り上げた（2e-11、2f-3等）。また出土した高さも測定し、これをドットで表した（第35図A-A'）。滑石製垂飾具は、未製品44点（223.35g）、二次加工なしの原石・チップ類207点（610.633g）で、2e-19・23・24、2f-4で特に多く出土している。層位は、4層にも若干含まれるものの大半は埋土上部の3層中に含まれ、断面観察時には3層下面に貼り付く例が特に目立った。土器は4層上面（3層下面）～4層中に含まれ、器形を復元できた個体のうち、222（底部）が正位で出土した以外はすべて横位に倒れ押しつぶされている。その上位に石器・石製品が多く含まれており、土器と石製品の集中地点は概ね一致する。以上の堆積状況から、土器及び滑石製垂飾具は、本遺構に伴うものではなく、土坑内に廃棄されたものと判断される。土器（219～233：第58・59図、写真図版38・39）。石鏃7点（a-14～18・63・74：第81図、写真図版58・59）、石匙（c-11：第81図、写真図版60）、不定形2点（d-49・76：写真図版68）、磨製石斧（f-3：第87図、写真図版73）、敲磨器類3点（h-31・56・76：第91図、写真図版75・77・78）、滑石製垂飾具44点（k1～7・10・12～14・16・18～27・29～40・42・43・45～52：第92・93図、写真図版80・81）、滑石207点（k-107～171：写真図版82・83）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

36号土坑（第34図、写真図版22）
〈位置・検出状況〉A区、3gグリッドに位置する。試掘トレンチ底面のⅣ層中にて方形プラン（3号住）の西壁に半月状の張出部（本遺構）を検出したため、2つ以上の遺構の重複を想定して調査を開始した。南西側の検出面はⅢ層上面である。
〈規模・形状〉開口部径186×131cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは94cmである。底面は、北東側はほぼ平坦、南西側はやや窪んでおり、地山層中の礫が露出している。壁下半は直立、上半は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉ややグレー味のある黒褐色土を主体とする。床面直上より、黒味の強い黒褐色土層（7層）、地山ブロック層（5層）、炭化物・焼土ブロックを含む層（2～4・6層）、炭化物を含む層（1層）の順に西側から堆積している。
〈重複〉3号住居跡と重複しており本遺構の方が新しい。
〈遺物〉土器（234～236：第60図、写真図版39）。敲磨器類（h-7：写真図版74）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

37号土坑（第34図、写真図版22）

〈位置・検出状況〉A区、4kグリッドに位置する。試掘トレンチ底面のⅣ層中で検出した。本来の検出面はⅣ層上面である。

〈規模・形状〉東端は削平され消失している。開口部径は東西241cm以上、南北250cm、楕円形を呈すると推定される。底面はほぼ平坦、壁はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉黒色～黒褐色土を主体とする。地山ブロックを多く含む層（2・4・6層）とあまり含まない層（1・3・5・7・8層）が交互に堆積する。底面付近はやや黒味が強い（7・8層）。

〈付属施設〉底面ほぼ中央小穴を有し、これから放射状に5条溝が走る。小穴は径30cm、深さ15cm、溝は10～30cm、深さは5cm程度である。両者とも地山ブロック・炭化物・焼土ブロックを含む10YR3/2 黒褐色粘土質シルトが堆積する。また西壁側にも径22×14cm、深さ24cmの小穴を1基有する。

〈重複〉重複する他の遺構はない。

〈遺物〉縄文土器片が出土している。石錘（i－10：写真図版79）。

〈時期〉埋土の堆積状況及び遺構の形状、出土遺物より縄文時代と想定される。

38号土坑（第37図、写真図版23）

〈位置・検出状況〉A区、4fグリッドに位置する。Ⅲ層上面に黒褐色土の広がりを検出した。

〈規模・形状〉開口部径298×260cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは158cmである。底面はほぼ平坦で、地山層中の礫が露出している。壁下半は袋状に外側へ張り出し、上半はやや外傾して立ち上がる。

〈埋土〉埋土の堆積状況は大きく3段階に分かれる（底面直上からa→b→c）。a．14～21・26～35・37～41・44層。暗褐色土を主体とする層で、地山ブロックが大半を占める層（地山ブロック層）と、少量の地山ブロックを混入する層（暗褐色土層）の互層となる。西側から薄い暗褐色土層と厚い地山ブロック層が交互に流入した後、東側から両層が薄く何層も重なって堆積する。b．（3）～13・22～25・36・42・43層。黒褐色土を主体とする層で、炭化物・焼土ブロックを多く含む。9・12・22層に特に多く混入している。各方向から遺構全体にレンズ状に堆積する。c．1～3層。黒褐色土を主体とし、炭化物・焼土ブロック・白色小礫等を微量含む。2層下位（b上面）、土坑のほぼ中央部に焼土層（3層）が広がる。平面形状は記録できなかったが、断面から測定した規模は径50cm、厚さ4cm程度である。焼土層は炭化物を含まないが、色調の異なる焼土粒子が混入するという他の土壙内焼土と同じ特徴を示し、本層からは土壙内で形成されたものか否かは判断し難い。しかし、3層の下位層である4層の上部が被熱したように僅かに赤味を帯びていることから本遺構内での焼成の可能性が考えられる。また、b下部の遺構中央部には、礫や大量の遺物が投棄されている。これらの土器集中部の下、cの19層中には玦状耳飾りが出土しており、本遺構は何らかの意図によって、人為的に埋められたものと考えられる。

〈付属施設〉底面に、径80×74cm、深さ5cm程度の円形プランが検出された。検出時平面形からみた埋土は地山ブロックを微量含みややグレー味を帯びる10YR3/3 暗褐色粘土質シルトが、中心部径15cmの範囲で確認され（柱痕か？）、その周囲にはやわらかい地山砂礫層が堆積する。北半の外側には地山ブロック少量、炭化物を多く含む10YR2/2 黒褐色粘土質シルト層が馬蹄形に広がっていた。これらの層はレンズ状に堆積するのではなく、下方も平面で確認した範囲内にのみ認められた。

〈重複〉6・7号住居と重複しており本遺構の方が新しい。

〈遺物〉土器（237～262：第60～62図、写真図版40・41）。円盤状土製品（467）・粘土塊（479・480）（第

80図、写真図版57)。石鏃（a－19：写真図版58)、石匙（c－46：写真図版63)、磨製石斧（f－4：第87図、写真図版73)、玦状耳飾（k－53：第93図、写真図版81)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

39号土坑（第36図、写真図版23)
〈位置・検出状況〉A区、4iグリッドに位置する。Ⅳ層上面で焼土の広がりを検出し、平面範囲を記録後断ち割ったところ土坑が重複していることが判明した。
〈規模・形状〉開口部径162×117cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは34cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立する。底面及び西壁には地山層中の礫が露出している。
〈埋土〉壁際に僅かに黒褐色土が堆積するが、大半は地山砂を多量に含む暗褐色土で埋没する。炭化物・焼土ブロックを含む。上面に27号焼土が形成されており、断面形からみた焼成範囲は土壙内に収まっている。
〈重複〉27号焼土と重複するが、焼土の平面範囲が本遺構より外側へ広がることから、土坑を壊して焼土を伴う遺構（住居跡？）がつくられたと考えられる。しかし、焼土上位は新期盛土によって削平されているため、埋土堆積状況から両遺構の重複関係を判断することはできない。その上、焼土の平面形は厳密に焼成を受けた部分のみではなく、焼土ブロック層の範囲も含んでおり、造成時に下位層（焼土）を巻き込んで削平・掘削したため、周囲に焼土ブロックが広がった可能性がある。断面を記録した箇所での焼成範囲は土坑内に収まっている。以上のことから、土坑埋没後、住居跡等焼土を伴う遺構がつくられた、もしくは土坑埋没途中に遺構内で焼成が行われた、という二通りの解釈が考えられる。そのため、図上では土坑・焼土を一緒に掲載することとした。
〈遺物〉土器（263・264：第62図、写真図版42)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

40号土坑（第36図、写真図版23)
〈位置・検出状況〉A区4iグリッドに位置する。Ⅳ層上面で焼土（28号）と黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径105×72cmの不整楕円形を呈する。検出面からの深さは34cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする（4・5層)。両層とも地山ブロックを少量、炭化物・焼土ブロックを極微量含むが、5層の方がやや黒味が強い。
〈重複〉4層上面に28号焼土が形成される。焼成範囲が土坑内に収まることから、本遺構の方が古いか、土壙内に焼土が形成されたものと考えられる。
〈遺物〉土器（265・266：第62図、写真図版42)。石鏃（a－20：写真図版58)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

41号土坑（第38図、写真図版23)
〈位置・検出状況〉A区4iグリッドに位置する。Ⅳ層上面で焼土の広がりを検出し、平面範囲を記録後、断ち割ったところ土坑が重複していることが判明した。
〈規模・形状〉開口部径164×155cmのほぼ円形を呈する。検出面からの深さは28cmである。底面はほぼ平坦、壁は直立し、東壁では地山層中の礫が露出している。

〈埋土〉黒褐色土を主体とする。東側から地山ブロックを含まない層が流入した後、地山ブロックを含む層が遺構全体に堆積する。
〈重複〉3・4層上面に29号焼土が形成される。平面から把握した焼土の広がりは土坑の外側へのびるが、断面で確認した焼成の範囲は本遺構内に収まる。そのため、29号焼土の方が本遺構よりも新しいか、土坑埋没途中に焼土が形成されたかいずれかの可能性が考えられる。またp213と重複し、これに切られる。
〈遺物〉土器（267～270：第62図、写真図版42)。土偶（452：第79図、写真図版57)。石鏃（a－21：写真図版58)、敲磨器類（h－8：写真図版74)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

42号土坑（第38図、写真図版24)
〈位置・検出状況〉A区、6kグリッドに位置する。Ⅳ層上面で検出した。
〈規模・形状〉北側を撹乱によって消失するが、開口部径93cmの円形を呈する。検出面からの深さは28cmである。底面はほぼ平坦、壁はやや外傾して立ち上がる。
〈埋土〉地山ブロックを含む暗褐色土の単層である。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉土器（271：第62図、写真図版42)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代のものと推定される。

43号土坑（第38図、写真図版24)
〈位置・検出状況〉A区、6kグリッドに位置する。Ⅳ層上面で検出した。
〈規模・形状〉開口部径220×120cm楕円形を呈する。検出面からの深さは30cmである。底面はほぼ平坦で、壁はやや外傾する。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする。上下2層に分かれ、下部には地山ブロック、上部には炭化物を含む。
〈重複〉p623と重複するが新旧関係は不明である。
〈遺物〉土器（272～274：第63図、写真図版42)。敲磨器類（h－25：第88図、写真図版75)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

44号土坑（第38図、写真図版24)
〈位置・検出状況〉A区、6kグリッドに位置する。Ⅳ層上面で検出した。
〈規模・形状〉開口部径110×100cmのほぼ円形を呈する。検出面からの深さは29cmである。底面は平坦で、壁は直立する。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする。下部には地山ブロックを多く含む。
〈重複〉重複する他の遺構はない。
〈遺物〉土器（275・276：第63図、写真図版42)。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

45号土坑（第38図、写真図版24～35)
〈位置・検出状況〉A区、4cグリッドに位置する。トレンチを設定しⅣ層上面までさげたところ、黒褐色

土の広がりが明瞭に確認された。本来の検出面はⅢ層上面である。
〈規模・形状〉開口部径243×220cmの楕円形を呈する。底面はほぼ平坦、壁下半は直立し、上半は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする。堆積状況は大きく3段階に分かれる。地山ブロック層（断面観察時は本層を壁と誤認した）が北側から流入後、南側から地山ブロック層と黒褐色土層が交互に堆積する（10～14層）。次に遺物・炭化物・焼土ブロックを含む層がはいる（6～9層）。特に最下位層（9層）にこれらの混入物が多い。この段階の埋土上面に焼土（4・5層）が広がる。平面形を記録することはできなかったが断面では径約100cm、深さ15cm程度である。焼土層は、他の土壙内に広がるものと同様に、炭化物は含まないが、赤味の強い焼土ブロックを含むが、下面は皿状を呈しており、下部へ行くにしたがって赤味が弱くなることから、本遺構内で形成された可能性が高い。焼土の色調の違いは、混入物の多い層が被熱した影響と考えたい。焼土層の上位には、炭化物・焼土ブロックを僅かに含んだ層が堆積する。以上の埋土の堆積・遺物出土状況、及び土壙内焼土と、38号土坑と類似しており、同様の性格を持つものと考えられる。
〈付属施設〉底面ほぼ中央に小穴を有し、これを中心として十字に溝が走る。小穴は径20cm、深さ7cm、地山ブロック・炭化物を含む10YR3/3暗褐色粘土質シルトが堆積する。溝は幅10～15cm、深さ5cm以下である。埋土は南・西側に地山砂を多く含む10YR3/4暗褐色粘土質シルト、東側に地山ブロックを含むややグレー味のある10YR3/3暗褐色粘土質シルトが堆積する。
〈重複〉p348と重複するが新旧関係は不明である。
〈遺物〉9層中に多く含む（遺物出土状況：写真図版24）。土器（277～289：第63・64図・写真図版42・43）。環状土製品（459：第79図、写真図版57）。敲磨器類（h－73：第90図、写真図版78）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

46号土坑（第39図、写真図版25）
〈位置・検出状況〉A区、5gグリッドに位置する。住居跡の床面までさげたところ黒褐色土の広がりが検出され、土坑が重複していることが判明した。
〈規模・形状〉開口部径133×130cmの円形を呈する。検出面からの深さは72cmである。底面はほぼ平坦で地山層中の礫が露出している。壁は袋状にやや外側に張り出す。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする。地山ブロック・炭化物を微量～極微量含む層が床面直上（9層）と上部（1～4層）に堆積し、地山ブロックの多い層（5～8層）がこれに挟まれる。全体的にしまりが弱い。
〈重複〉4・5号住居跡と重複する。本遺構は4号住居跡より古く、5号住居跡より新しい。
〈遺物〉土器（290：第64図、写真図版43）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

47号土坑（第39図・写真図版25）
〈位置・検出状況〉A区、5fグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉南北両端を重複遺構によって消失する。南北192cm以上、東西152cmの楕円形を呈するものと推定される。底面はほぼ平坦で、壁は直立する。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする。南方向から流入しており、地山ブロックをほとんど含まない層と少量含む層が交互に堆積する。また下部には炭化物・焼土ブロックを混入する。

〈付属施設〉底面中央、やや北寄りに小穴を有するが、検出状況及び埋土の様相を確認できなったため、本遺構に伴うのか否かは不明である。
〈重複〉32・48土坑と重複し、両遺構の方が新しい。
〈遺物〉敲磨器類3点（h－32・57・69：写真図版75・77・78）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉以前のものと推定される。

48号土坑（第39図、写真図版25）
〈位置・検出状況〉A区、5fグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径310×262cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは102cmである。底面はほぼ平坦で地山層中の礫が露出している。壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とし、上下2層に大別される。下部（11層以下）は、底面に地山ブロック層が堆積後、黄味の強い黒褐色土が南側から流入する。上部（1～10層）は茶味が強い黒褐色土を主体とする。上部最下層（10層）は混入物をほとんど含まず、非常によくしまる。本層下面は埋土がベリベリと剥がれ下位層との境界を明瞭に把握でき、土坑中央付近では下面に平らな礫がのる。上位の8・9層は遺物を大量に含み、8層は地山ブロックを大量に含む。その上に地山ブロック・炭化物・焼土ブロックを微量含む層（5～7層）を挟み再び遺物を含む層（3層）、地山ブロック層（2層）の順に堆積する。以上のことから、埋土上部は人為堆積の可能性が高い。
〈付属施設〉底面中央部に小穴を有する。開口部径、南北35cm、東西60cm、底面からの深さは18cmと14cmで西側の方がやや浅くなる。埋土は東側が地山ブロックを多く含む暗褐色土、西側が黒褐色土を主体とする。形状及び埋土の状況から2基重複している可能性がある。
〈重複〉47・49号土坑と重複する。本遺構は前者よりは新しく後者より古い。
〈遺物〉8・9層から多量の遺物が出土している。土器（291～306：第64・65図、写真図版43・44）。石匙2点（c－12・13：写真図版60）、石錘（i－11：写真図版79）、棒状石製品（石棒）（i－1：第94図、写真図版84）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

49号土坑（第40図、写真図版25）
〈位置・検出状況〉A区、5fグリッドに位置する。Ⅳ層上面で黒褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径112×92cmの隅丸方形を呈する。底面はほぼ平坦で壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉明黄褐色ブロック・炭化物を含む黒褐色土の単層である。
〈付属施設？〉底面南側に径60cm、深さ17cmの柱穴状の掘込みを有する。検出時に重複は確認できず、本遺構に伴うかどうかは不明だが、主体土は概ね同じである。
〈重複〉48号土坑と重複し、本遺構の方が新しい。
〈遺物〉土器（307～310：第66図、写真図版44）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

50・54号土坑（第40図、写真図版26）
〈位置・検出状況〉A区、3eグリッドに位置する。1号住居跡床面に黒色土の円形プランが検出され、本

遺構が重複していることが判明した。
〈規模・形状〉50号土坑は開口部径263×194cmの概ね楕円形を呈する。埋土上面からの深さは78cmである。54号土坑は、開口部径400×300cmの楕円形を呈する。埋土上面からの深さは34cmである。両遺構とも底面はほぼ平坦、壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉黒褐色土を主体とする。埋土下部は南側から地山ブロック層（11層）が堆積し、その上に地山ブロック・炭化物を含む層（5～10層）が、混入物の量を変え各方向から流入する。埋土上部はややしまりのある層が堆積する（4・14～16層）。14～16層は4層と似るが、混ざりものが少ない。最上部は火山灰のブロックを含む層が堆積する（1～3層）。以上の堆積状況から、調査時には1～3層は別遺構、4～13・17層が50号土坑、14～16層が54号土坑と判断した。しかし50号土坑4層と14～16層が非常によく似ており、下面の高さがほぼ同じことから、1～4・14～16層が54号土坑、5層以下が50号土坑の可能性も考えられ、新旧関係を把握することができなかった。また、東西ベルト断面に焼土の広がりが認められたが、記録前に崩落してしまった。50号土坑が土坑内焼土を持つものか、もしくは1～3層の別遺構に伴うもの、または規模から考えて、54号土坑が住居跡であった可能性もある。しかし上記の通り新旧関係が不明のため、いずれの遺構に伴うものかは不明である。
〈付属施設〉50号土坑底面に径75×38cm、楕円形の小穴を有する。深さは25cm程度である。埋土は地山砂質ブロックを含む暗褐色土が堆積する。
〈重複〉50・54号土坑が重複するが上記のとおり新旧関係は不明である。また1号住居と重複し、これに切られる。
〈遺物〉土器（311～317：第66図、写真図版44）。石匙（c－14：写真図版60）、敲磨器類（h－9：写真図版74）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉のものと推定される。

51号土坑（第40図、写真図版26）
〈位置・検出状況〉A区、3iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で焼土とその周囲の暗褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径98×84cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは23cmである。床面はほぼ平坦で壁は外傾して立ち上がる。
〈埋土〉地山ブロック・炭化物・焼土ブロックを含む暗褐色土の単層である。
〈重複〉2層上面に31号焼土が形成される。焼成範囲が土坑内に収まることから、本遺構の方が古いか、土壙内に焼土が形成されたものと考えられる。p212とも重複しこれに切られる。
〈遺物〉土器（318・319：第66図、写真図版44）。石匙（c－15：写真図版60）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期末葉～中期初頭のものと推定される。

52号土坑（第41図、写真図版26）
〈位置・検出状況〉A区、3iグリッドに位置する。Ⅲ層上面で暗褐色土の広がりを検出した。
〈規模・形状〉開口部径113×110cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは22cmである。断面形は皿状に窪み、中央部がやや高くなる。
〈埋土〉暗褐色土を主体とする。白色小礫・地山ブロック・炭化物・焼土ブロックを含む。

〈付属施設？〉底面東部に径45×20cm、深さ7cmの小穴（p293）を有する。埋土は暗褐色土を主体とする。
〈重複〉柱穴状土坑が数基重複するが、いずれも新旧関係は不明である。
〈遺物〉滑石製垂飾具（k－57：第93図、写真図版81）。
〈時期〉埋土の様相及び出土遺物から縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

55号土坑（第41図、写真図版26）
〈位置・検出状況〉B区8pグリッドに位置する。Ⅳ層上面で検出した。
〈規模・形状〉開口部径281×177cmの楕円形を呈する。検出面からの深さは22cmである。底面はほぼ平坦で、地山層中の礫が露出している。壁はやや外傾して立ち上がる。
〈埋土〉炭化物・焼土ブロックを含む暗褐色土を主体とする。
〈重複〉16・17号焼土、7号土坑と重複する。前述の通り16・17号焼土より古く、7号土坑との関係は、本遺構の方が古いもしくは同一遺構の可能性が考えられる。
〈遺物〉遺物は出土していない。
〈時期〉埋土の様相及び重複状況から判断すると縄文時代前期後葉～中期初頭のものと推定される。

5．出土遺物

今回出土した遺物は、縄文土器（30×40×30cmのコンテナ）35箱、土製品38点、石器812点、石製品68点（この他滑石233点あり）である。

（1）土器

縄文土器がコンテナ（30×40×30cm）で35箱出土した。

前述（Ⅲ章2．室内整理（1）遺物の処理）の選別基準により、約1600点登録し、このうち580点掲載した。残存部位別にみると、口縁～底部18点（一次登録数：20点）、口縁～胴部86点（98点）、胴部～底部17点（31点）、口縁部295点（673点）、胴部145点（513点）、底部145点（265点）となる。2次選別を行う上で、口縁部破片資料で地文のみのもの、及び口縁・胴部破片で類似した資料が複数個体あるものを不掲載としたが、各文様の型式・時期を筆者がはっきりと理解せずに選別したため、少数例も不採用となった可能性がある。また観察表は、調査員の力量不足と時間的制約上の理由から、器形の復元可能な個体のみ記載した。そのため、詳細な遺物の分類を行うことができなかった。

掲載土器のうち、完形個体（口縁から底部まで残存する個体）に復元できたものは僅か11点のみである（小形品を除く）。これ以外で器形をある程度把握できたものは、底部中央が欠損（外周数cmのみ残存）するもの（240・342他）と、胴部下端が欠損する例（86・90・208・242・278他）が目立つ。一方で底部と胴部の接合状況が観察できる資料は、円板状の底部に胴部がつくもの（224他）、底部厚みより数cm程度の高さで輪積痕が認められるもの（81他）とがある。底部破片資料はこれらの底部と同形状のものが大量に存在するが、輪積みで剥離している上に、摩滅しているため胴部との接合箇所を把握できないものが多かった。このため、上記の底部を欠損する土器は遺構から出土した際には完形を保っていた可能性がある。そしてこの、胴部と接合しない底部資料の大半は、図示しづらいという点から上記の一次登録からも除外してしまった。

遺構内出土遺物（第1～78図、写真図版27～45）・遺構外出土遺物（第68～78図、写真図版45～56）とも、大木5～7a式、特に大木6式のものが大半を占める。遺構外出土遺物に関しては、遺構に伴うと判断でき

ない遺物をグリッドごとに取り上げた。しかし、２ｆ周辺、４ｉ周辺、５ｄ周辺、B区周辺は、焼土遺構（炉跡）・柱穴が散在し住居跡の可能性が高い範囲からの遺物出土例が多く、これらは本来遺構に伴うものであった可能性が高い。

器種は深鉢が多く、口縁部が外傾し胴張長胴形のもの、口縁が外傾し胴部は直線的開くもの（やや内湾するものも含む）、口縁が直立気味に開く胴部円筒形のもの、底部付近が円筒形でその上が金魚鉢形をなすものなどがある。この他浅鉢・小形品も若干存在する。

隆帯状に粘土を貼付けて口縁部を肥厚させる例が顕著である。文様は、口縁部に刻目列が施されるものが多く、縦位の粘土紐を貼付（90・155：以下代表的なもののみ記載）、円形の凹（72・131・334・444）、山形突起（28・44・199）などもみられる。口縁～頸部にかけて沈線（442）、半截竹管状工具による文様（沈線・刺突・押引き等）（44・111・221・240）も多用される。これらの文様帯が胴部にまで及ぶ例は比較的少ないが、沈線のみの施文、またはその交点にボタン状貼付（144）・円形沈線（290）・棒状の沈線（305）・貼付（306）が存在する。以上、これらはおおむね大木６式に比定される。口唇部にも刻目列を施すものも多く、全周するものと、波頂部など一部にのみ刻まれる場合がある。356は４単位に刻目列が施されこれらの中でも古い様相をしめすと思われる（大木５式～）。前後に波状縁となるもの（359・365）も若干存在する。また、頸部に隆帯状の粘土貼付、これに刻目列を施す例も顕著である。胴張形（110：大木６式）と直線的に開く器形（224・225：大木５式～）があり、後者は、頸部隆帯状（刻目列）のみで他の文様を持たない傾向がある（沈線・口縁刻目列はあり）。同じく胴部が直線的に開く器形には、山形の沈線のみが施される例（357）もみられる。また小破片だが細い粘土紐に刻みのはいるもの（229）、円盤状の突起（剥落している）（47）も認められる（大木５式～）。一方、38号土坑・48号土坑・５ｄグリッド周辺出土土器はやや新しい様相（大木６～７a式）を示し、口縁部が内湾し、波頂部に渦巻状・楕円形の粘土貼付（238・239・242・439）や、縦位の隆帯（404・405）が施される。縦位の隆帯をもつものはこの他、ｐ414（339）でも出土している。金魚鉢形の深鉢は上半もしくは下半のみの出土が多く器形を復元できたものは少ない。いずれも下半の円筒状の部分は短く、長いものは認められなかった。地文は縄文が多く、撚糸文・綾絡文・結節縄文などもみられる。地文を施さずナデ調整のみの個体もやや小形の深鉢に存在する。胎土はいずれも非常に粗く、粗雑なものが多く、接合・実測等を行っているとボロボロと剥落してくる。以上のようにあまり文様を持たない土器においては古い様相（大木５式～）がみられるが、文様をもつものは大木６式に相当する土器が大半を占めるようである。

この他、大木10式土器も少数認められる。遺構内からは、１号住居（１～３）、24号土坑（195）、遺構外では４ｄ・５ｄグリッドで１点（414）出土している。胎土は前期後葉から中期初頭のものより緻密である。

（２）土製品（第79～80図、写真図版57）

土製品は全点（38点）を登録、粘土塊は写真掲載、その他はすべて図示した。土偶８点、鐸形土製品・土錘・耳栓・環状土製品が各１点、円盤状土製品18点、粘土塊８点出土している。

①土偶（447～454：第79図、写真図版57）

８点登録し、全点図示した。447～452は板状の土偶である。447と451・452はいずれも胴と腕部の境に穿孔が施されている。しかし、前者は両腕が僅かに張り出すものに対し、後者は明確な腕部を持つ。452は448の文様・胴部と厚さ・胎土・焼成具合等類似するが、接合箇所はなかった。文様は、沈線文、竹管刺突文が施される。453・454は腕の可能性があるが、はっきりしない。

②その他の土製品（455～459：第79図、写真図版57）

455は不明土製品である。土偶の腕に似るが、頂部ではなく側面上部が剥離している。なんらかのものに接合すると思われるが、詳細は不明である。256は鐸形土製品で下半は欠損している。457は土錘、458は耳栓、459は環状土製品である。

③円盤状土製品（460～477：第80図、写真図版57）

18点登録し、すべて図示した。4～5cm程度の小形のものと、7cm前後の大形のものとがある。いずれも、無文もしくは地文のみで、文様がある箇所を使用しているものはない。

④粘土塊（写真図版57）

8点出土し、このうち5点を写真掲載した。479は手のひらで握りしめたような形状・指痕跡がみられる。

（3）石器・石製品（第81～94図、写真図版58～84）

石器・石製品あわせて1113点を登録した。このうち石器は812点で、いわゆる定形石器及び不定形石器は、器種ごとに細分し代表的なものを実測、それ以外は写真掲載した。但し、不定形石器のうち連続しない二次加工・微細剥離のみのものは表掲載とし、一括して扱った。石製品は68点、全点登録し実測を行ったが、2次加工のない滑石（粗割のみのもの233点）は写真・表掲載とした。以下には、主に各器種の概要と特記事項について述べる。

a．石鏃（a－1～78：第81図、写真図版58～60）

78点登録した。遺構内から31点、遺構外から47点出土している（但し住居跡の可能性のある範囲から出土したものも遺構外として登録）。以下のように分類したうえで、分類不明な6点を除く72点を写真掲載とし、うち12点を図示した。

1．無茎で基部に抉入のあるもの

2．無茎で基部が直線的なもの

3．基部が尖っているもしくは、丸みを持つ物

1が60点と大半占め、ついで2が6点、3が3点出土している。

b．石錐（b－1～3：第81図、写真図版60）

遺構内から1点、遺構外から2点出土、計3点登録した。全点を写真掲載し、うち1点図示した。数点のみのため分類は行わなかった。

c．石匙（c－1～47：第81～82図、写真図版60～63）

遺構内から21点、遺構外から26点出土し、計47点登録した。全点を写真掲載し、うち12点図示した。分類は以下のとおりである。

1．摘み部軸線と石器長軸がほぼ平行するもの。「縦型石匙」

2．摘み部軸線と石器長軸がほぼ直交するもの。「横型石匙」

3．摘み部軸線と石器長軸が斜行するもの。

4．摘み部を持つが特殊な形状を呈するもの。

1が32点、2が9点、3が3点、4が1点と縦長のものが大半を占める。

d．不定形石器・石核（d 1～89・101～299・301～397・399～561：第83～86・写真図版63～69）

定型的な形状は持たないが、二次加工・微細剥離のあるもの及び石核を一括した。遺構内から181点、遺構外から367点、計548点登録した。これらのうち連続的な剥離がみられるもの89点は分類および写真掲載（一部、欠損のため分類不可能なものは表掲載のみ）、不連続な二次加工・微細剥離のみのもの459点は分類を行わず一括して表掲載とした。前者89点のうち12点を図示した。分類は以下の通りである。

1．片面調整で、刃部・打面以外全周に調整がみられるもの（石篦に近い）。

2．片面または両面調整で、連続した調整が一辺以上みられるもの。以下のようにさらに細分される。但し欠損している場合は細分を行わず、表掲載のみとした。

①片面一辺

②片面二辺以上

③両面一辺以上

④片面に粗割を施す

3．剥片の一部を加工して尖突部を作り出しているもの。

4．比較的粗い剥離を両面に施しているもの（尖頭器様）。

5．不連続な調整または微細剥離がみられるもの。

6．石核

1が5点、2①が14点、2②が16点、2③が3点、2④が2点、3が9点、4が18点、5が459点、6が2点出土している。

e．篦状石器（e－1～25：第86～87図、写真図版70～72図）

上方が狭く、下方が広がる台形様で下方に調整剥離による明瞭な刃部をもつものを一括した。

遺構内6点、遺構外19点、計25点登録した。全点写真掲載し、うち5点図示した。

1．片面調整のもの。

2．両面調整のもの。（片面は剥離を一部しか施さないものも含む）

1が12点、2が12点出土している。両者はさらに片面に外皮を持つものと持たない物に細分され、前者は比較的大きい傾向がある。

f．磨製石斧（f－1～8：第87図、写真図版73）

遺構内4点、遺構外4点、計8点登録した。f－8は表掲載のみ、それ以外は写真掲載し、うち3点図化した。いずれも欠損しており完形のものは出土していない。f－2には黒い付着物がみられ、装着痕の可能性がある。

g．その他の両面加工石器（g－1～7：第88図、写真図版73～74）

両面に微細な調整剥離のあるものを一括した。遺構内3点、遺構外4点、計7点登録した。全点写真掲載し、うち5点図化した。これらは1．尖頭器（4点・1～4）と2．その他（3点・5～7）に細分される。

h．敲磨器類（h－1～77：第88～91図、写真図版74～78）

遺構内35点、遺構外42点、計77点登録した。全点写真掲載し、うち10点図示した。スリ、凹、タタキなど

の使用痕が重複することが多いため、それぞれを細分しこれを組み合わせて分類した。

〈スリ〉
Ⅰ．稜部一辺のみ
Ⅱ．稜部二辺以上
Ⅲ．表面部
Ⅳ．稜部と表面部

〈凹〉
a．一面・一箇所
b．二面・各一箇所
c．一面・二箇所以上
d．2面・各二箇所以上
e．不明

〈タタキ〉
1．剥離
2．つぶれ

スリがみられるものは54点、Ⅰ．28点、Ⅱ．6点、Ⅲ．17点（うち1点Ⅳの可能性あり）、Ⅳ．4点（うち1点Ⅲの可能性あり）で、ⅠとⅡが多い。Ⅲは円礫、それ以外は細長い形状を呈する。凹がみられるものは24点、a．5点、b．14点、c．2点、d．2点、e．1点に細分される。円～楕円形のものと細長い滴状・棒状を呈するものとがあり、後者の場合窪みが片方に偏る（滴状の場合は幅が広い方）。タタキは1が9点、2が2点、計11点である。使用痕の重複は、スリ稜部一辺のみ（Ⅰ）とタタキ・剥離（1）の組み合わせ、スリ表面部（Ⅲ）と凹の組み合わせが多い。h－53はスリ・凹・タタキ（剥離）すべての使用痕がみられる。

i．石錘（i－1～19：第91図、写真図版79図）

遺構内11点、遺構外8点、計19点登録した。他の石器と比べて、遺構内から出土が目立つ。i－12は表掲載、それ以外はすべて写真掲載とし、うち4点図化した。

j．石製品（j－1～4：第91図、写真図版80）

遺構内2点、遺構外2点、計4点登録し、全点図示した。1は斧形石製品、2・3は石剣類、4は独鈷石である。

k．滑石製垂飾具（k－1～59・101～174：第92～94図、写真図版80～83）

滑石に二次加工の痕跡が認められるものが59点、361.13g（k－1～59）、原石・粗割のみ・チップが233点、639.543g（k－101～174）、計292点、955．67g出土した。これらは35号土坑から出土したものが大半を占め（未製品44点、二次加工なし・チップ207点）、これ以外（35号土坑の可能性があるものも含む）からの出土は、前者が15点、後者は26点のみである。完形及び完成品は少なく、ほとんどが未製品となる。製作途中のため、完成形態を把握できないものが多いため器種分類は困難であった。そのため、加工痕による分類を試みた。

a．板状を呈し、表裏に擦痕がみられるもの。
b．板状を呈し、表裏及び側面に擦痕がみられるもの。
c1．板状を呈し、表裏・側面に擦痕がみられ、穿孔が施してあるもの。（玦状耳飾または玉類の未製品？）
c2．薄い板状を呈し、表裏・側面に擦痕がみられ、穿孔・切目がみられるもの。（玦状耳飾の未製品？）
c3．円柱状を呈し、上下・側面に擦痕がみられ、中央に穿孔が施されるもの。（管状玉の未製品）
d．穿孔が施され、表面が研磨されているもの。（完成品）
e．原石・粗割・チップ（小破片）

a．5点、b．22点、c1．17点、c2．7点、c3．3点、d．5点、e．233点出土している。

l．棒状礫・棒状石製品（l－1～3：第94図、写真図版84）

すべて土坑内からの出土で3点登録・図示した。1は石棒で下半は欠損している。2・3は柱状節理の礫を利用した棒状礫である。

m．有孔礫（m－1～2：写真図版84）

住居内から2点出土し、登録・写真掲載とした。

V．まとめ

今回の調査では、竪穴住居跡７棟、土坑52基、焼土遺構33基、柱穴状土坑約400基が検出された。縄文時代前期後葉～中期初頭の遺構が大半を占め、一部中期末葉の住居跡・土坑も含まれている。

調査区内の遺構の分布状況は、Ｂ区及びＡ区の南西部から北部にかけて集中する。一方、削平されている可能性はあるものの、Ａ区南東側は住居跡・土坑等のあまりみられない遺構が希薄な区域となる。本調査に先行して行われた試掘調査及び平成14年度に岩手県教育委員会生涯学習文化課によって行われた発掘調査では、調査区外南側の斜面上部においても住居跡・土坑等が確認されており、集落の範囲は調査区周辺を含む緩斜面一帯に広がるものと推定される。

竪穴住居跡は、平面形状を確認できたものは７棟である。うち１棟（１号住居跡）は縄文時代中期末葉の住居跡で、直径約５ｍの円形を呈し複式炉を持つ。これを除く６棟（２～７号住居跡）は縄文時代前期後葉～中期初頭に該当する。概ね方形で一辺３～６ｍ、すべて地床炉を伴い、壁際に周溝を持つものが多い。このうち２号住居跡には南東側に張り出し部が認められ、周溝もこれに沿うように連続している。遺構の重複関係からみた新旧は、（新）１号住→２号住、４号住→５号住→６号住→７号住、６号住→３号住となる。出土遺物からは、住居・他の遺構（土坑など）との重複が激しいため時期の異なる土器が混入するものの、２号住居はやや古く、４～７号住居は新しい様相がみられる。

焼土遺構は、斜面の等高線に沿うように並んで33基検出されている。周囲に柱穴状土坑が分布し、周溝と思われる溝が部分的に確認できること、焼土遺構と同じ高さで遺物が面的に広がることなどから、上掲のもの以外にも住居跡は複数存在していたものと思われる。特に５ｄ周辺、４ｅ周辺（１）（２）、２ｆ周辺（１）～（３）は住居跡の可能性が高い。その柱穴配置・周溝・焼土の並びから、大形住居跡の存在も想定できるが、４～７号住居のように４～５ｍ程度の方形の住居が等高線に沿って数棟重複する例もみられるため、埋土が確認できないこれらの遺構においてはいずれかの判断は難しい。

土坑は52基検出された。出土遺物から判断される時期は24号土坑が中期末葉、それ以外は住居跡同様おおむね前期後葉から中期初頭であるが、重複関係では住居跡を切るものが多い。平面形状は円形または楕円形を呈し、隅丸方形も若干認められる。開口部径は１～３ｍほどである。一部には底面中央に小穴や、放射状の溝を持つものが含まれる（４？・29？・30・34？・35・38・37・45・47？・48・50・52？・55号土坑）。特徴的な堆積状況として、埋土下半が、壁の崩落もしくは人為的堆積による地山褐色土で埋没し、その上位には土器などの遺物及び焼土ブロック・炭化物等を多く含む土層が堆積していくという例が挙げられる。また、埋土中に焼土が広がる土坑が５基検出された（３～５・38・45号土坑）。これらは、上記と同様の堆積状況を示し、埋土上半の炭化物・焼土ブロックの多い層に挟まれ焼土が広がっている。今回の調査ではっきりと断定はできなかったものの、土坑内での焼成が行われた可能性が高いと考えられる。39～41・51号土坑においても検出面に27～31号焼土が形成されており、前掲のものと同様の性格を持つものかもしれない。35号土坑では、滑石製垂飾具の未製品がまとまって出土した。底面からやや浮いた位置より出土することから、これらは堆積過程の途上で流入あるいは廃棄されたものと考えられる。28・38号土坑は底面および底面付近より玦状耳飾が出土している。玦状耳飾は欠損しているものの、35号土坑出土のものとは異なって表面が良く研磨されている完成品である。いずれも円形を呈する土坑で、本来貯蔵穴などに使用していたものが墓壙に転用された可能性が高い。

遺物はコンテナ（30×40×30cm）で45箱出土した。このうち土器は35箱で縄文時代前期後葉～中期初頭の

土器が大半を占める。その他、石器、滑石製垂飾具・石棒などの石製品、土偶、耳栓などの土製品は919点を数える。中でも滑石製垂飾具は、未製品を含め加工痕のあるものが調査区全体で59点、このうち前述の35号土坑から出土したものは未製品44点、2次加工痕のない破片は207点出土した。玦状耳飾の未製品が最も多く、穿孔途中に破損したもの、未穿孔のもの、加工時に生じた小破片、原石など製作工程各段階のものが含まれる。しかし、滑石製垂飾具の加工に用いたと考えられる石錐・砥石等は出土していない。未製品には、剥片石器で削られたような擦痕が認められることから、不定形石器などを使用した製作が想定される。一方で、他の遺構内（上記の墓壙等）から出土した玦状耳飾は、研磨等、仕上げ加工を終えた製品（完成品）が出土している。今回の調査では製作地点の特定はできなかったが、本遺跡における玦状耳飾をはじめとする滑石製垂飾具の製作を示唆する資料として注目される。

引用・参考文献

岩手県教育委員会2000『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成13年度）』（第114集）

岩手県教育委員会2001『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成14年度）』（第116集）

㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1982『東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書ⅩⅤ』（第70集）

㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1995『鳩岡崎上の台遺跡発調査報告書』（第240集）

㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2001『清水ヶ野遺跡発掘調査報告書』（第351集）

㈶岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター2002『新田遺跡発掘調査報告書』（第405集）

北上市教育委員会1983『滝ノ沢遺跡（1977～1982年度調査）』（北上市文化財調査報告書第33集）

北上市教育委員会1990『滝ノ沢遺跡Ⅱ（1989年度調査）』（北上市文化財調査報告書第60集）

北上市教育委員会1991『滝ノ沢遺跡Ⅲ（1984・86・87・88・90年度調査）』（北上市文化財調査報告書第63集）

稲野彰子1991「大木式土器にみられる球胴形深鉢について」『北上市立博物館研究紀要』第8号　北上市博物館

興野義一1969「大木式土器理解のために（Ⅴ）」『考古学ジャーナル』32号　ニュー・サイエンス社

興野義一1969「大木式土器理解のために（Ⅵ）」『考古学ジャーナル』48号　ニュー・サイエンス社

興野義一1984「大木式土器について」『宮城県の研究　第1巻　考古学篇』

白鳥良一1989「前期大木式土器様式」『縄文土器大観』小学館

丹波茂1981「大木式土器」『縄文文化の研究』雄山閣

丹波茂1989「中期大木式土器様式」『縄文土器大観』小学館

中村大2000「土器の出土状況からみた土坑墓の認定について―縄文時代の北日本を中心として―」
『國學院大學考古学資料館紀要』第16輯

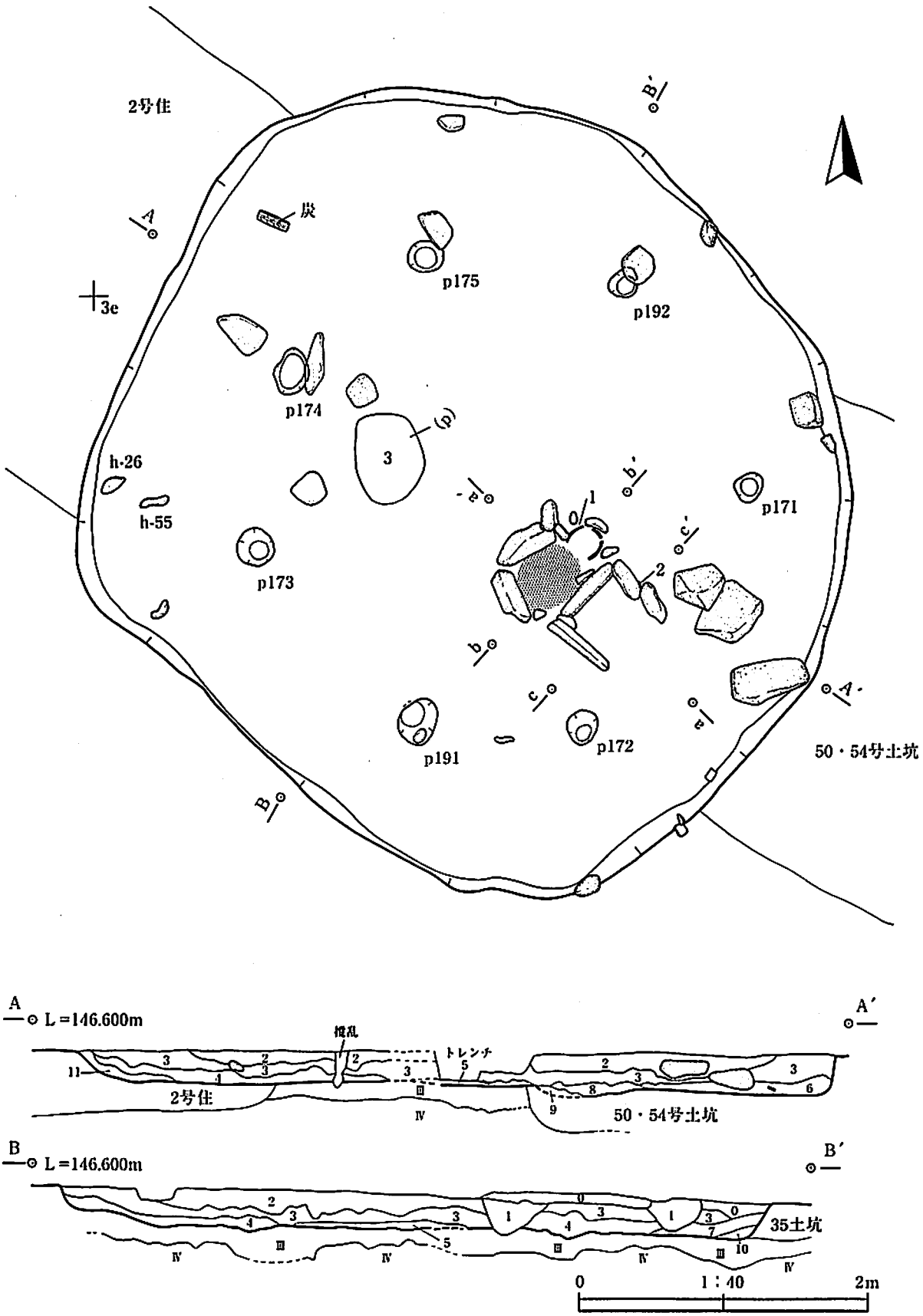
西口洋一1983「耳飾からみた性別」『季刊考古学』第5号　雄山閣出版

福田友之1999「本州北端の玦状耳飾」『研究紀要』第4号　青森県埋蔵文化財調査センター

藤田富士夫1983「縄文～古墳時代の玉製装身具―生産と流通―」『季刊考古学』第5号　雄山閣出版

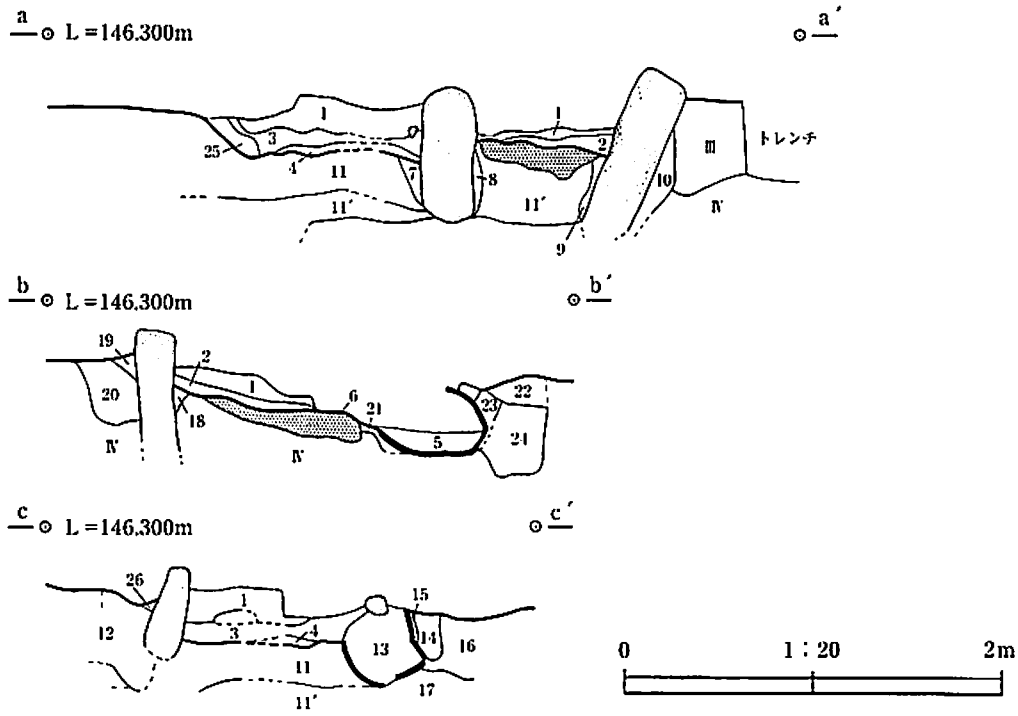
藤田富士夫1989『玉』考古学ライブラリー52　ニュー・サイエンス社

堀江武史1992「玦状耳飾の分類と製作工具に関して」『國學院大學考古学資料館紀要』第8輯


2号住
炭
3e
p175
p192
p174
h-26
h-55
3
p171
p173
p191
p172
50・54号土坑
A
A'
B
B'
a
a'
b
b'
c
c'
1
2
L=146.600m
撹乱
トレンチ
2号住
50・54号土坑
35土坑
0
1:40
2m

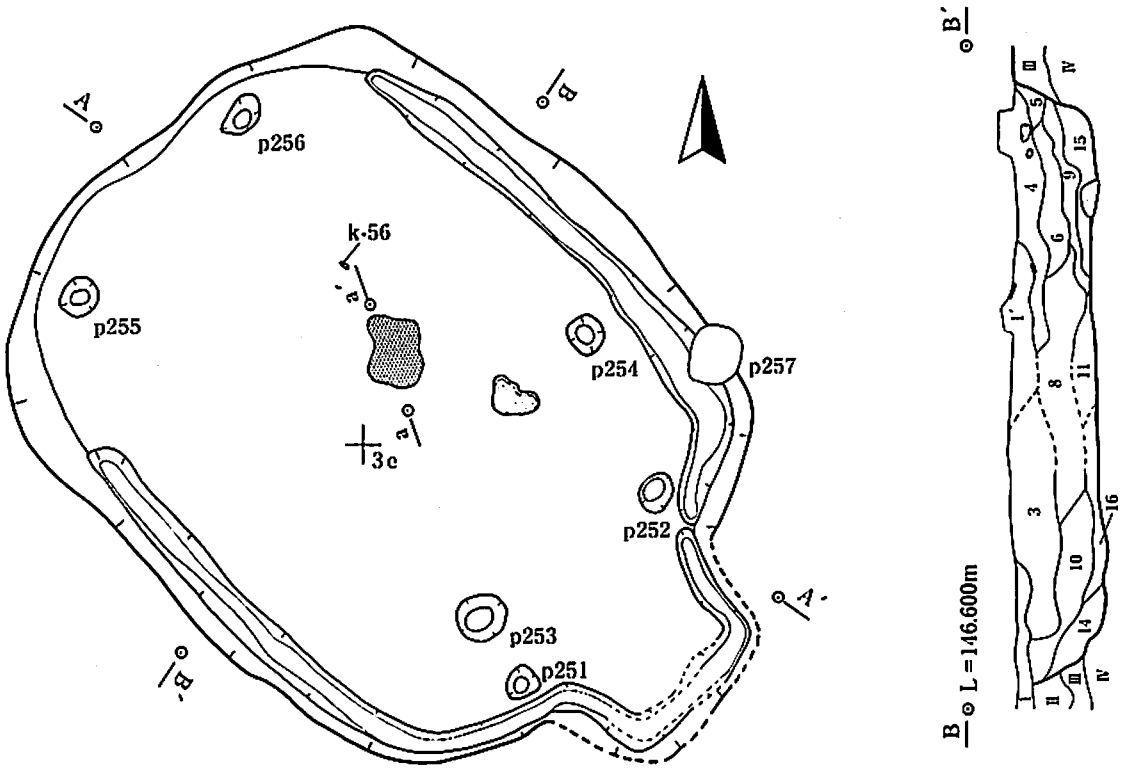
第8図　1号住居跡（1）

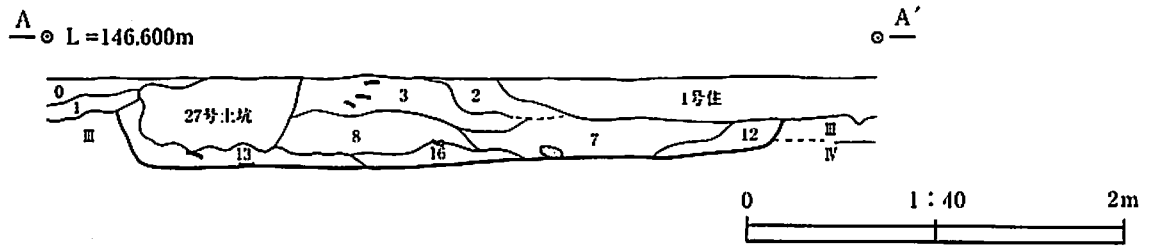
1号住居跡（A-A′・B-B′）
3層以下しまり、粘性あり。
0．1a層
1．10YR2/1 黒色 シルト しまりなし、ボロボロ。2層より黒い。炭化物・焼土ブロック微量。
1′．1層より焼土ブロック少ない。
2．10YR2/1 黒色 シルト しまりなし、ボロボロ。粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック1層より多い。
4．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック層。全体に含む。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物が下面に貼り付く。
6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物下面に部分的に貼り付き、上部にも少量含む。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック3層より多く4層より少ない。4層より粒径細かい。
8．4層に似る。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 焼土ブロック多量。炭化物微量。炉に伴うものか？
10．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。上位層よりやや黒い。
11．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 下面に明黄褐色ブロック含む。



1号住居炉跡（a-a′～c-c′）
1．10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック全体。（＝A-A′8層？）
2．（＝A-A′5層）
3．10YR2/1 黒色 粘土質シルト 焼土ブロック層。しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物微量。
4．10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。焼土ブロック全体に細かく含む。1層より多い。
5．10YR2/1 黒色 粘土質シルト 焼土ブロック含む。粒径1層より大きい（径～1cm）。
6．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。炉石掘方？。
8．7層に似るが炭化物少ない。炉石掘方？
9．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック極微量。炉石掘方？
10．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。粘性ややあり。9層に似る。
11．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。地山ブロック・炭化物・焼土ブロック極微量含む。50・54号土坑埋土。
11′．10YR5/6 黄褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。地山よりやややわらかい。50・51号土坑埋土。
12．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 11層に似るがしまりややあり。炉石掘方もしくは50・54号土坑埋土。
13．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック全体。
14．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土ブロック層？
15．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 13層と似るがやや焼土ブロック少ない。
16．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。焼土ブロック微量。土器埋設掘方もしくは50・54号土坑埋土。
17．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 16層と似る。炭化物微量。土器埋設掘方もしくは50・51号土坑埋土。
18．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 9・10層に似る。炉石掘方。
19．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
20．12層と似る。
21．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック少量、炭化物微量。土器埋設掘方。
22．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。10YR6/8 明黄褐色シルトブロック微量。
23．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土ブロック層。10YR3/3 暗褐色粘土質シルトブロック微量。
24．12層と似る。
25．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物少量。焼土ブロック微量。
26．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。炉石掘方？

第9図　1号住居跡（2）

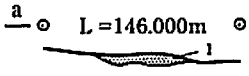




0　1：40　2m

2号住居跡（A-A'・B-B'）

0．10YR2/1 黒色 シルト
1．10YR2/1 黒色 シルト しまり、粘性やや弱い。10YR2/2 黒褐色シルトブロック多量。炭化物・焼土ブロック微量。
1'．1層よりやや黒いか？
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
3．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性やや弱い。黒味強い。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック少量。
4．10YR2/2 黒褐色 シルト 3層と同一層？やや炭化物多いか？
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック微量。
6．4層に似るが焼土ブロック多くしまり強い。やや明るい。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック微量。炭化物・焼土ブロック極微量。8層より暗い。
8．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック微量。炭化物極微量。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 4層に似るがやや炭化物・焼土ブロック少ない。
10．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性やや弱い。炭化物極微量。
11．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック微量。
12．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック極微量。
13．15層と似るが地山ブロックやや少ない。
14．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック極微量。
15．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 11層に似るが地山ブロックやや少ない。炭化物・焼土ブロックは含まない。
16．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 13層と似るがやや暗い。

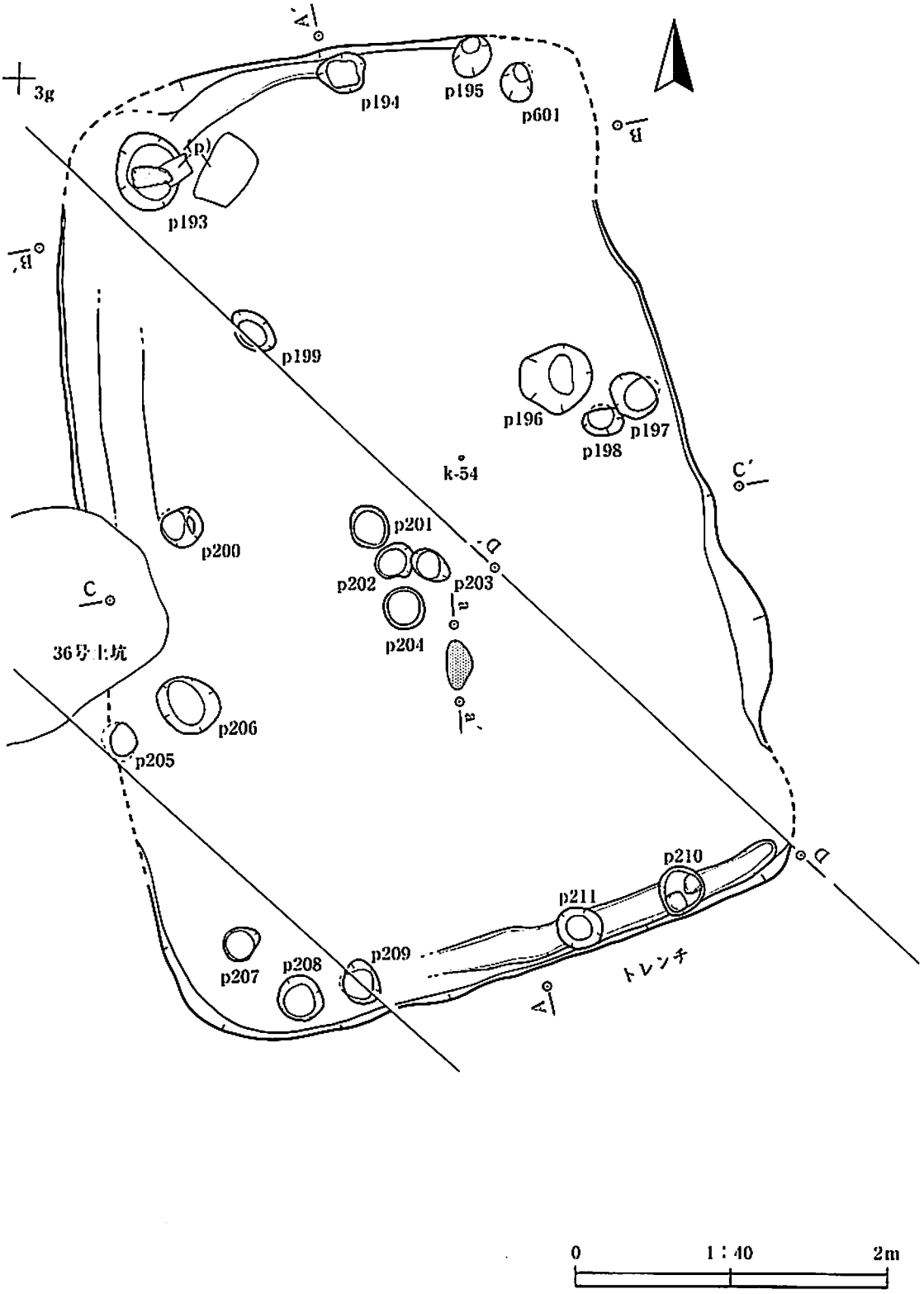


2号住居炉跡（a-a'）

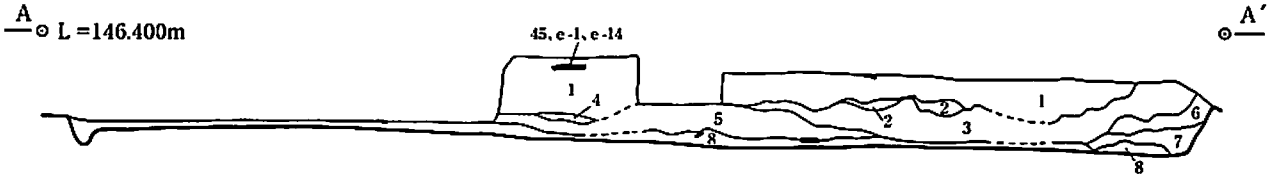
1．　5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成不良。

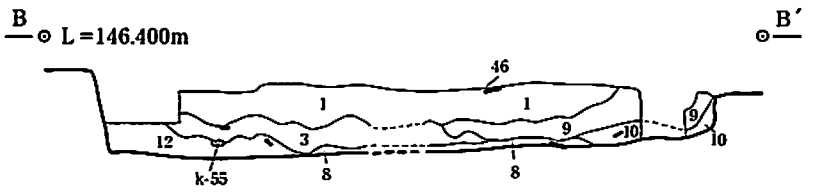
0　1：20　1m

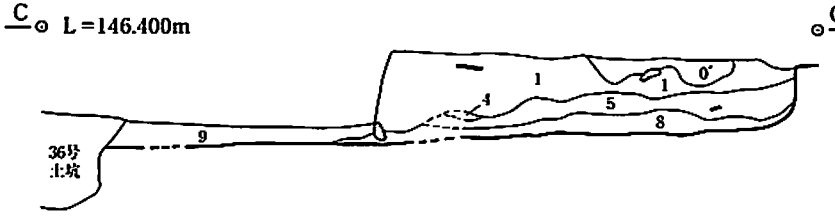
第10図　2号住居跡

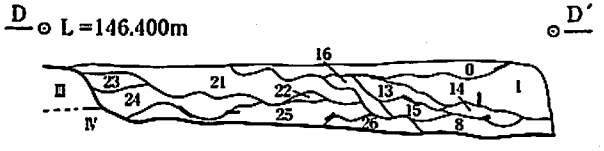

3g
p194
p195
p601
p193
p199
p196
p197
p198
k-54
p200
p201
p202
p203
p204
36号土坑
p206
p205
p210
p211
p207
p208
p209
トレンチ
0
1：40
2m

第11図　3号住居跡（1）

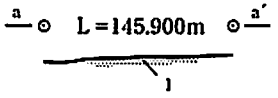




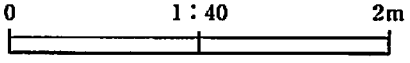


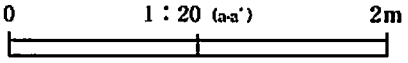


3号住居跡（A-A′～D-D′）
全体的にしまり、粘性ややあり。
0・0′．新期盛土？
1．10YR2/3 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック・明黄褐色ブロック少量。
2．7.5YR3/3 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック・明黄褐色ブロック微量。赤味あり。
3．10YR2/3 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
4．10YR2/3 黒褐色 シルト 地山ブロック多量。
5．10YR2/3 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック3層より少ない。明黄褐色ブロック3層より多い。1・3層より明るい。
6．10YR2/3 黒褐色 シルト 4層と似るが地山ブロックやや少ない。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。暗い。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。上面に遺物多くのる。
9．10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック・明黄褐色ブロック微量。色は5層に似るがややグレー味帯びる。
10．7層と似る。
11．欠番
12．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 7層と似るがやや炭化物・焼土ブロック多いか？
13．6層と似る。
14．10YR2/3 黒褐色 シルト 1層に似るが明黄褐色ブロック多い。地山ブロック含む。
15．3層と似る。
16．10YR2/3 黒褐色 シルト 地山ブロック少量。炭化物極微量。
17～20．欠番
21．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。
22．10YR2/2 黒褐色 シルト 明黄褐色ブロック少量。
23．10YR2/3 黒褐色 シルト 明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
24．10YR2/2 黒褐色 シルト 21層に似るが地山ブロックやや多い。
25．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。上位層よりやや暗い。
26．10YR2/2 黒褐色 シルト 25層に似るが地山ブロックやや多く、しまり弱い。



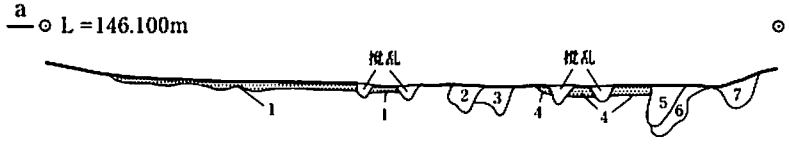
3号住居炉跡（a-a′）
1．5YR4/8 赤褐色 焼土層。焼成不良のため範囲はっきりとしない。



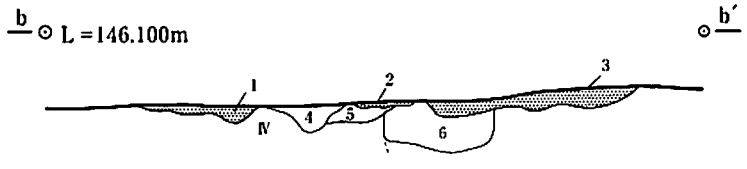


第12図　3号住居跡（2）

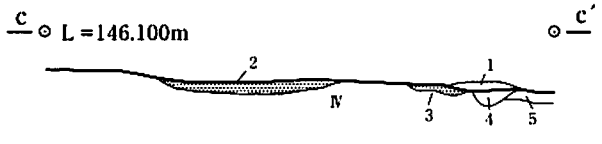
4～7号住居（A-A′～D-D′）
全体的にしまり、粘性ややあり（異なる時のみ記載）。グレー味強い。
1．10YR3/2 黒褐色 シルト しまりやや弱い。明黄褐色ブロック・炭化物微量。やや暗い。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。地山ブロック少量。掘方？
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。p431
4．欠番
5．10YR3/2 黒褐色 シルト しまり弱い。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
6．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりあり。明黄褐色ブロック・炭化物微量。
7．6層に似る。6層よりやや明るく、地山ブロック多いが、炭化物少ない。
8．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。炭化物微量。
9．10YR3/3 暗褐色粘土質シルト 地山ブロック多量。
10．5層に似るがしまりやや弱く炭少ない。
11．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。地山ブロック横につぶれた感じ。貼床？
12．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック微量。炭化物・焼土ブロック微量。
13．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。
14．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物極微量。
15．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 13層より地山ブロック多い。炭化物・焼土ブロック微量。
16．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物微量。12層より明るい。
17．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。明黄褐色ブロック微量。
18．6層より明黄褐色ブロック少なく、やや暗い。
19．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。炭化物極微量。
20～22．欠番
23．10YR3/3 暗褐色 シルト しまり弱い。ボロボロ。10YR2/1 黒色シルトブロック含む。
24．5層とよく似るが炭化物・焼土ブロック多い。しまりやや弱い。
25．10YR3/2 黒褐色 シルト しまりやや弱い。炭化物・焼土ブロック24層より多く粒径も大きい。
26．10YR3/2 黒褐色 シルト 24層と似るが炭化物・焼土ブロック少なく、明黄褐色ブロック多い。
27．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック微量。炭化物極微量。
28．10YR2/1 黒色 シルト 新期柱穴？



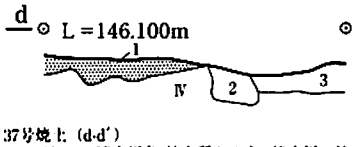
33·34号焼土（a-a′）
1．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成普通。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・被熱した地山ブロック少量。
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。
4．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土層。1層よりやや焼成良いか？
5．10YR5/8 黄褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物微量。
6．3層に似るがやや明るい。
7．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト グレー味あり。



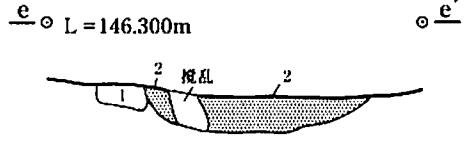
35号焼土（b-b′）
全体的にしまり粘性ややあり。
1．7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成悪い。僅かに被熱する程度。
2．7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 1層より焼成良い。
3．5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト ややグレー味あり。焼土ブロック多量。
5．4層に似るが焼土ブロック含まない。
6．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト グレー味あり。地山ブロック全体。焼土ブロック4層より少ない。



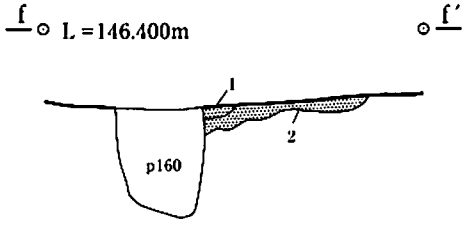
36号焼土（c-c′）
全体的にグレー味あり。
1．5YR4/6 赤褐色 シルト 焼土ブロック層。10YR3/3 暗褐色シルトブロック含む。
2．5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。しまり、粘性ややあり。焼成普通。
3．2層に似る。
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・炭化物微量。他層より黒い。
5．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・炭化物微量。住居掘方埋土？



37号焼土（d-d′）
1．5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成やや良い。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・炭化物・焼土ブロック少量。上面に炭化物・焼土ブロック広がる。
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・炭化物微量。住居掘方埋土？

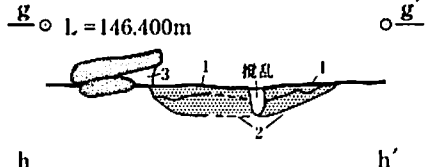


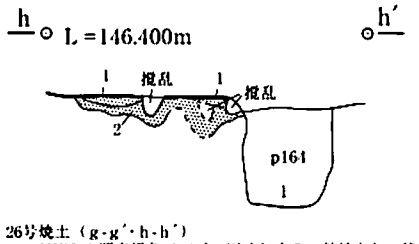
38号焼土（e-e′）
1．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 焼土ブロック全体。
2．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。



25号焼土（f-f′）
1．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。焼成やや悪い。
2．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。焼成普通。

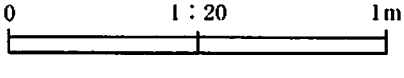
p160
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 粘性あり。やわらかい。地山ブロック微量。





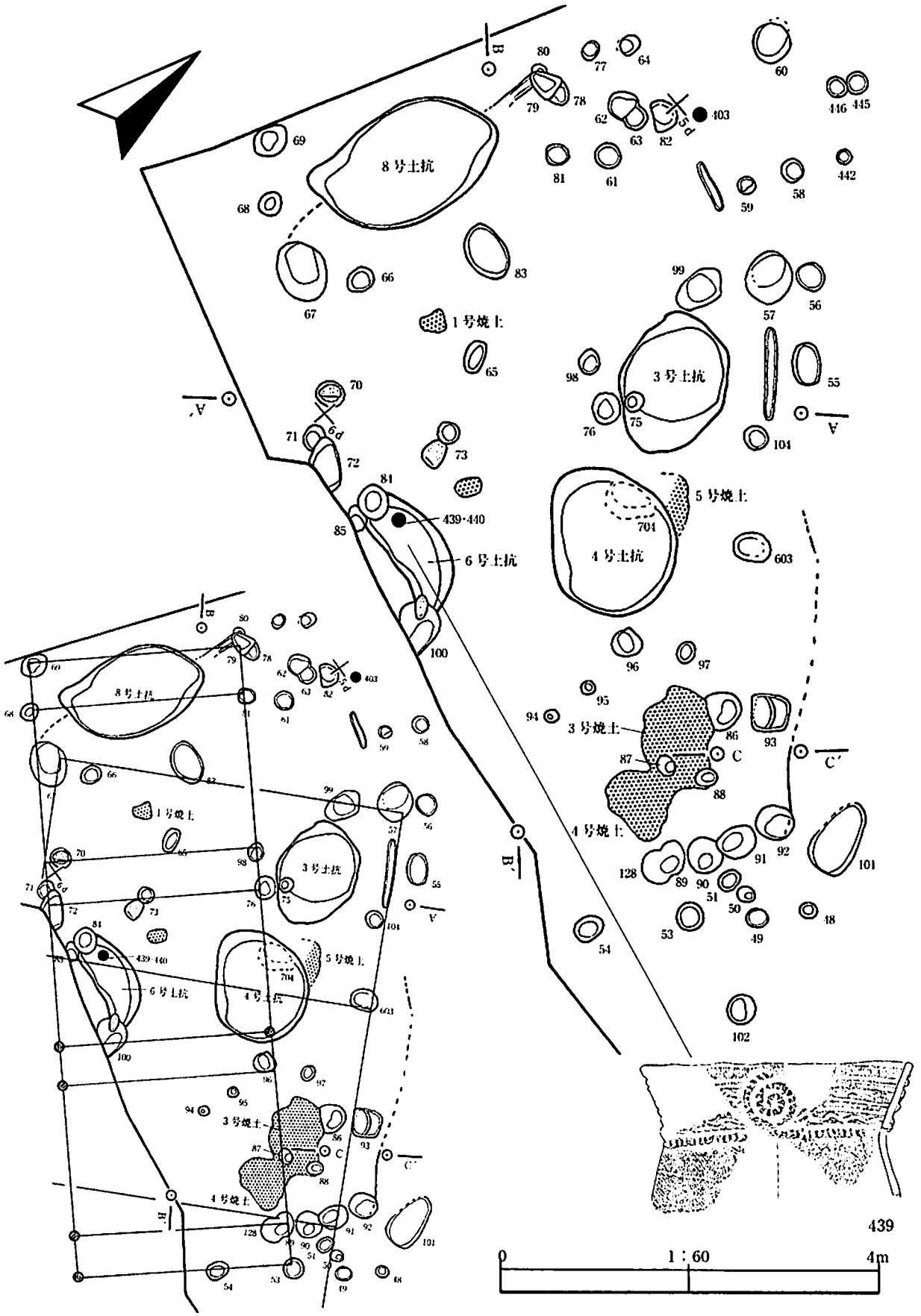
26号焼土（g-g′·h-h′）
1．5YR5/8 明赤褐色 シルト 固くしまる。粘性なし。焼土層。焼成良い。
2．5YR4/6 赤褐色 シルト 固くしまる。粘性ややあり。焼土層。焼成良い。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりややあり。粘性あり。炭化物（径～3㎜）極微量。

p161
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 粘性・しまりあり。炭化物・焼土ブロック(径～3㎜)極微量。地山ブロック（径～1㎝）微量。

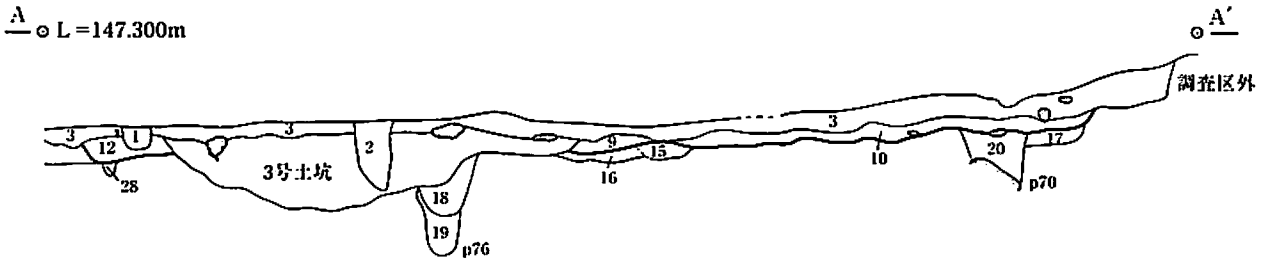


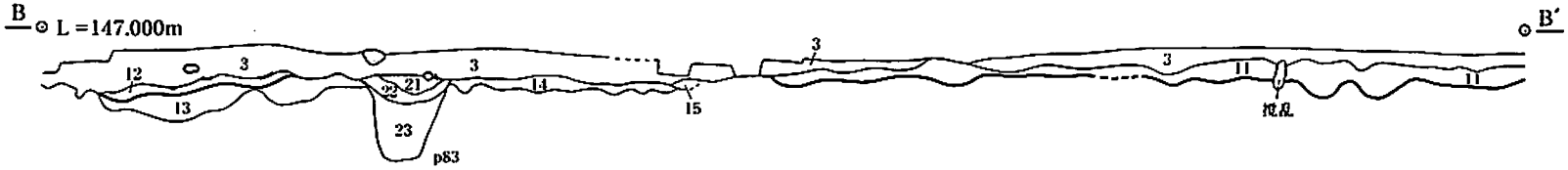
第13図　4～7号住居跡（1）

第14図　4～7号住居跡（2）



第15図　5ｄグリッド周辺（1）

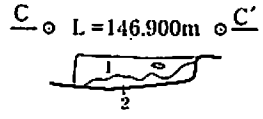




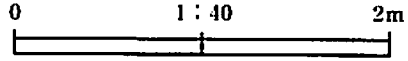
第16図　5dグリッド周辺（2）

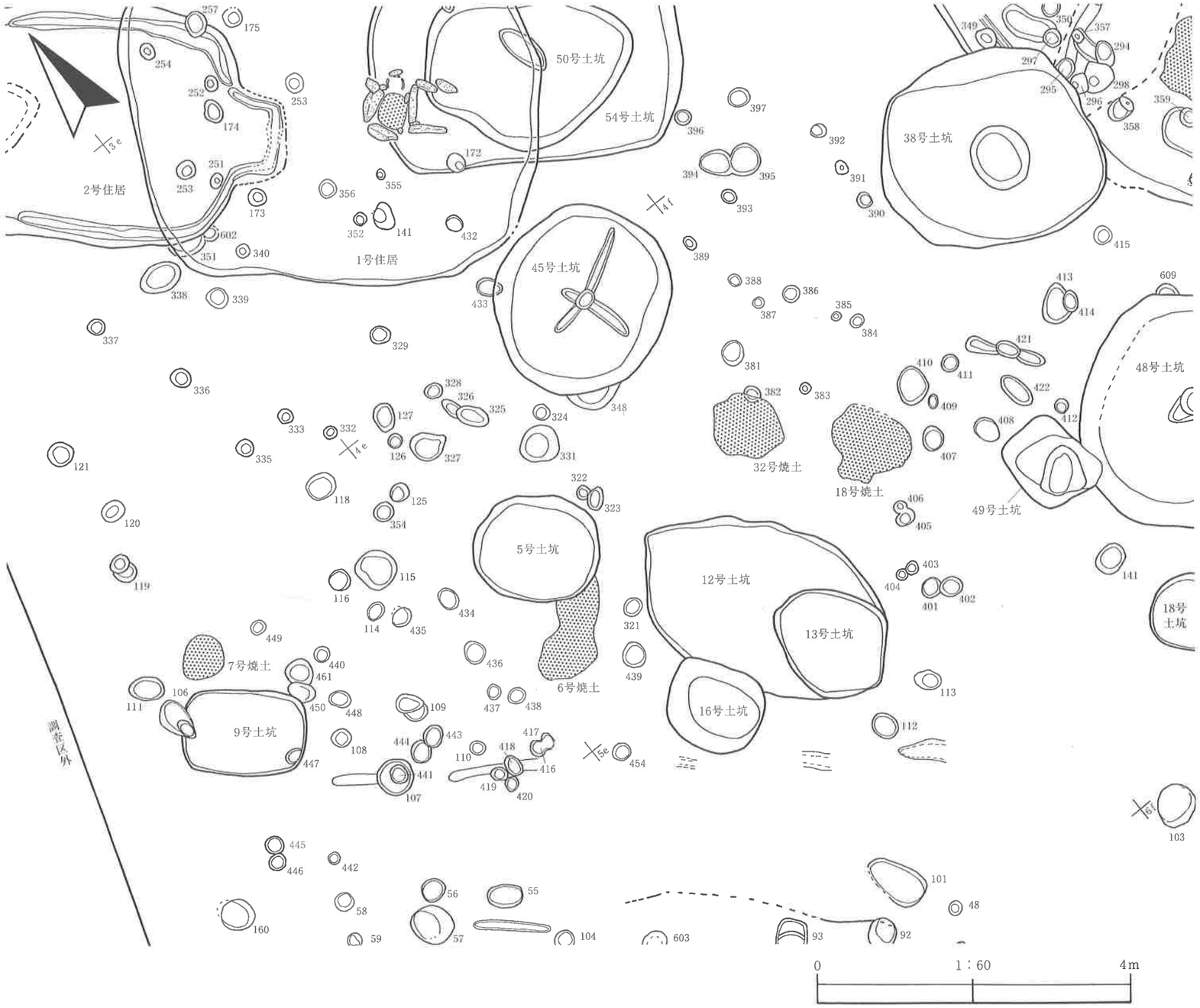
5dグリッド周辺（A-A′・B-B′）
1＝新期柱穴、2＝p75、3＝新期盛り土もしくは別遺構、4～8＝3号土坑、9～12′＝住居埋土？、13～17＝住居掘方？、18＝p76、20＝p70、21～23＝p83、24～27＝欠番、28＝住居周溝？

1．　10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 混ざりものなくやわらかい土。新期柱穴。
2．　10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 1と同じ
3．　10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。下位の層との境界付近に多く遺物含む。
4～8．欠番（3号土坑）
9．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物微量。
10．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 9層に似るがやや明るい。
11．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 10層に似るがしまり粘性やや弱いか？
12．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。9～11層より明るくグレー味強い。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック少量。
12′．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。3層との境界はっきりとしない。
13．　10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 12層より明るい。
14．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物微量。
15．　7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 14・16層が被熱したもの？
16．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 14層よりやや黒い。
17．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 14層より明るくグレー味強い。12層に似る？
18．　10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物極微量。p76
19．　地山層 混りすぎ
20．　17層に似る。立ち上がりはっきりしない。p70
21．　10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 12′層に似る。p83
22．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 21・23層より明るく、21層より混ざりもの少ない。p83
23．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 混ざりもの22層より少ない。p83
24～27．欠番
28．　10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 12層に主体土は似るが、混ざりものないきれいな層。周溝？

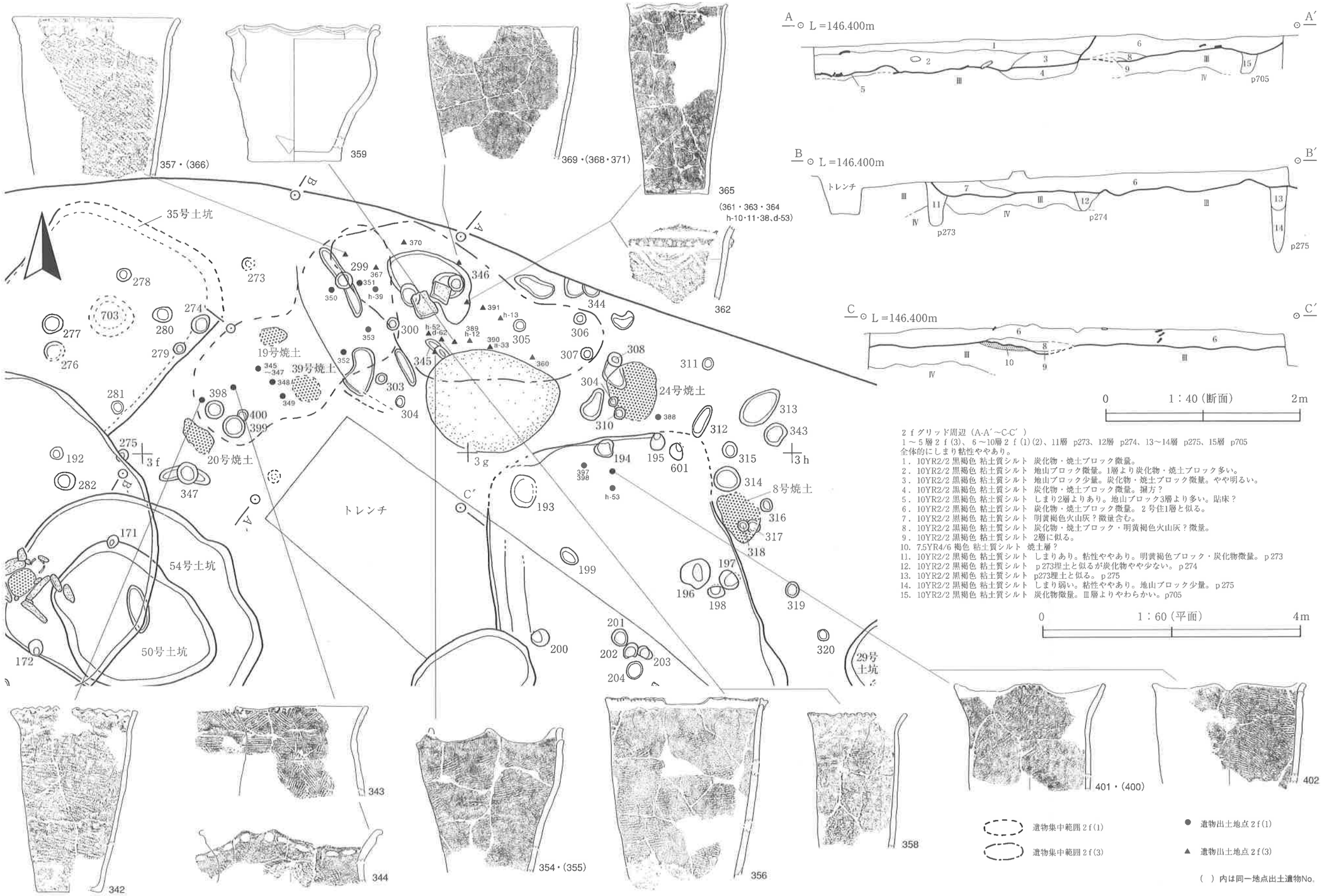


5dグリッド付近（C-C′）
1．（＝A-A′ 11層？）
2．　10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。

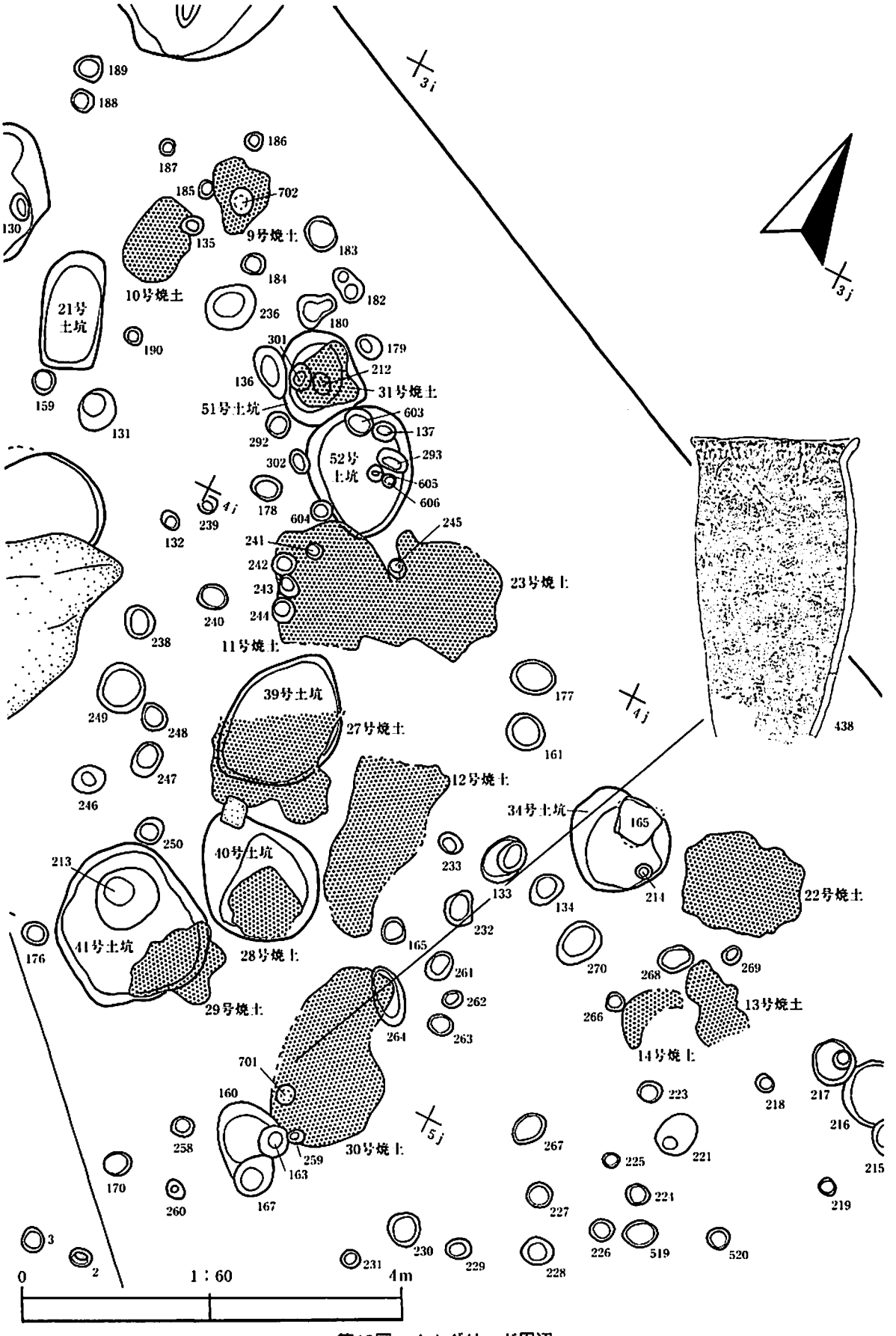




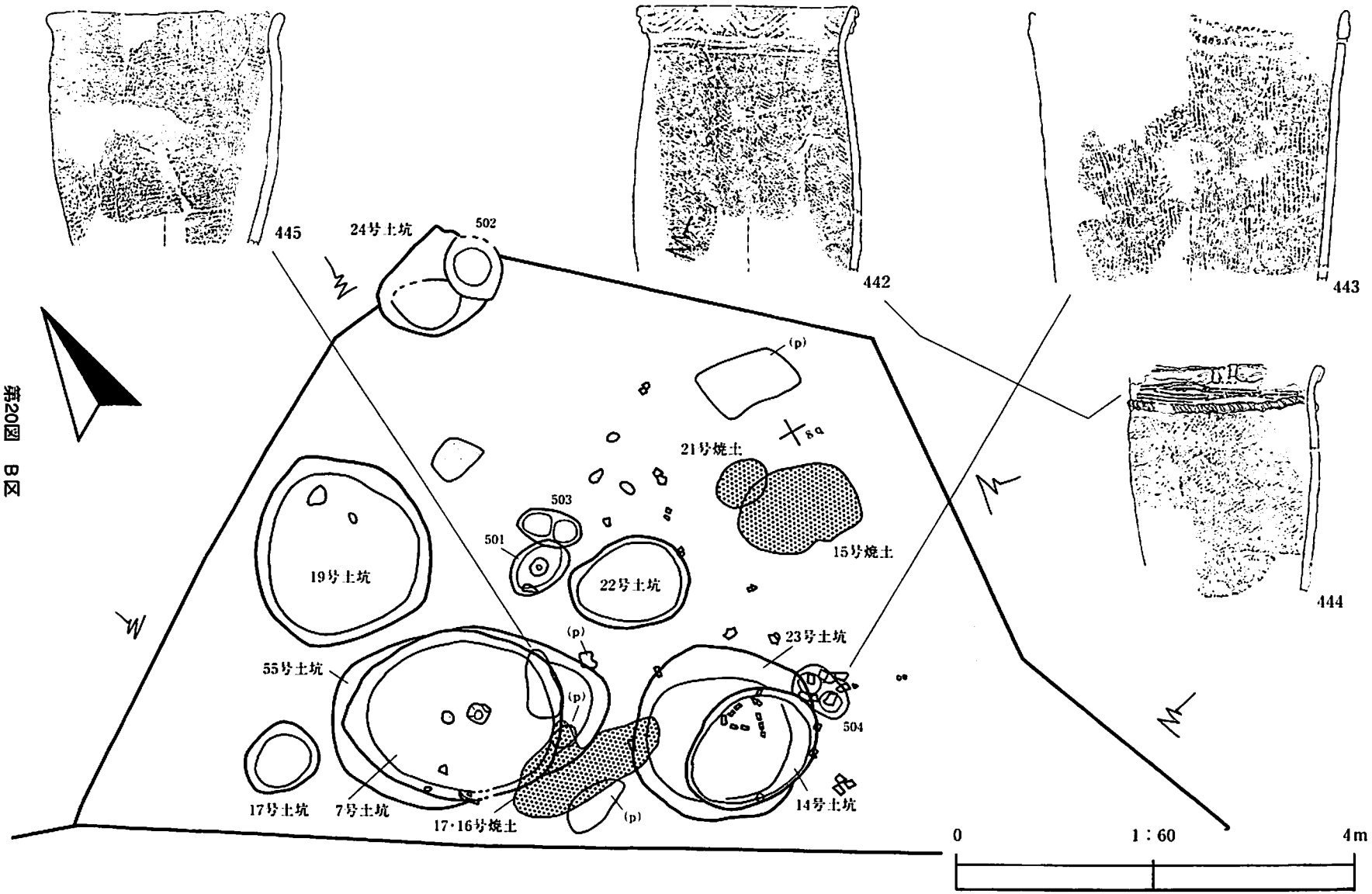
第17図　4dグリッド周辺



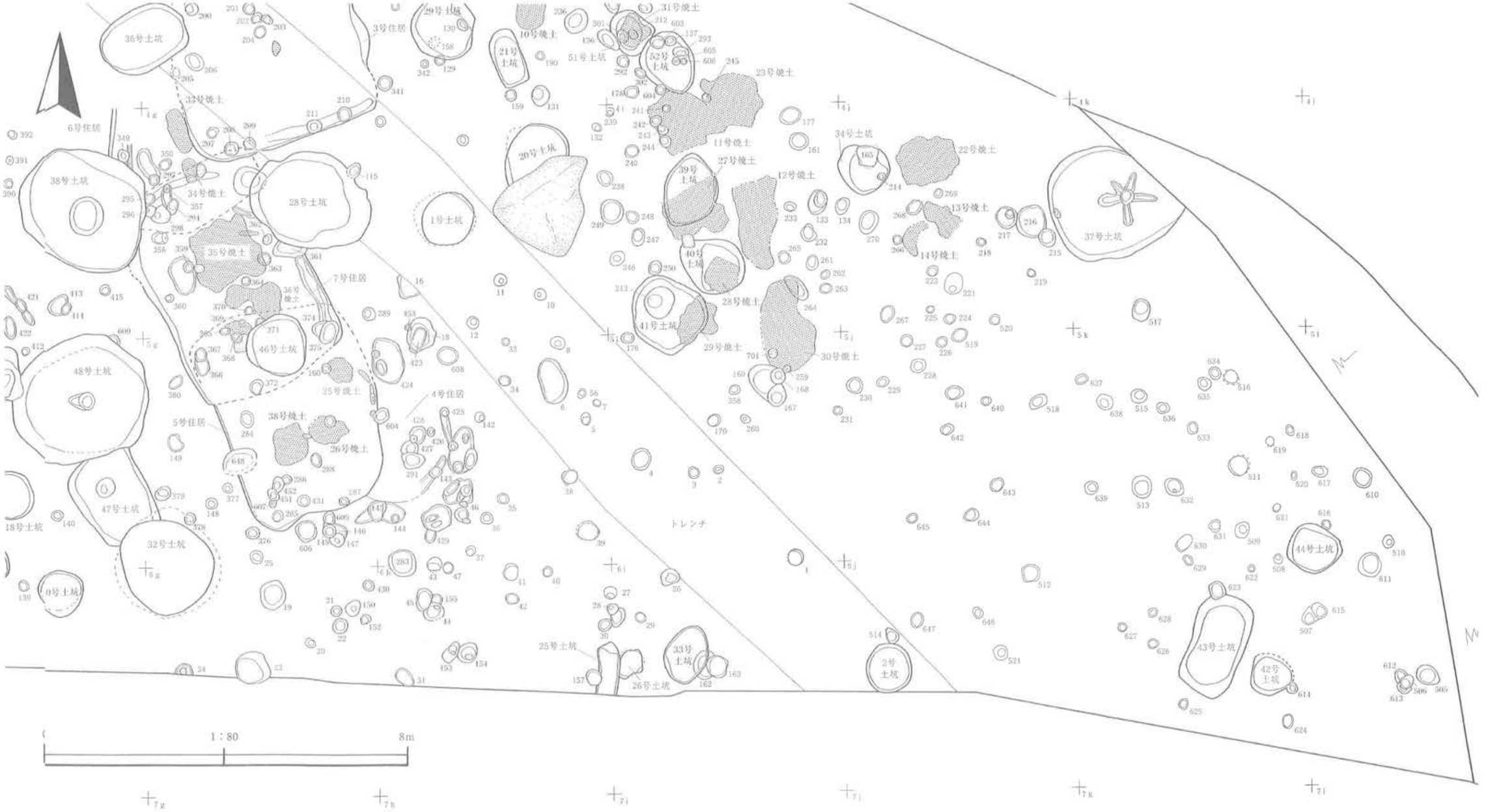
第18図　2ｆグリッド周辺



第19図　4 i グリッド周辺


445
24号土坑
502
442
443
444
(p)
21号焼土
sa
503
501
19号土坑
22号土坑
15号焼土
23号土坑
55号土坑
504
17号土坑
7号土坑
17・16号焼土
14号土坑
0
1：60
4m

第20図　B区


36号土坑
38号土坑
28号土坑
35号焼土
46号土坑
48号土坑
47号土坑
32号土坑
0号土坑
18号土坑
6号住居
7号住居
5号住居
4号住居
3号住居
1号土坑
20号土坑
21号土坑
29号土坑
10号焼土
51号土坑
52号土坑
31号焼土
23号焼土
11号焼土
27号焼土
39号土坑
12号焼土
40号土坑
28号焼土
41号土坑
29号焼土
30号焼土
34号土坑
22号焼土
13号焼土
14号焼土
37号土坑
44号土坑
43号土坑
42号土坑
2号土坑
33号土坑
25号土坑
26号土坑
トレンチ
1：80
8m

第21図　A区南西部

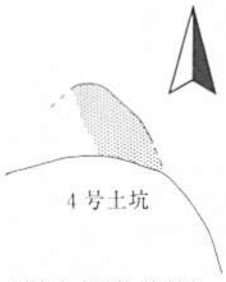
1・2号焼土

1号焼土（A-A′）断面なし
1．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層？焼成不良のため範囲がはっきりしない。

2号焼土（A-A′）断面なし
1．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層？焼成不良のため範囲がはっきりしない。

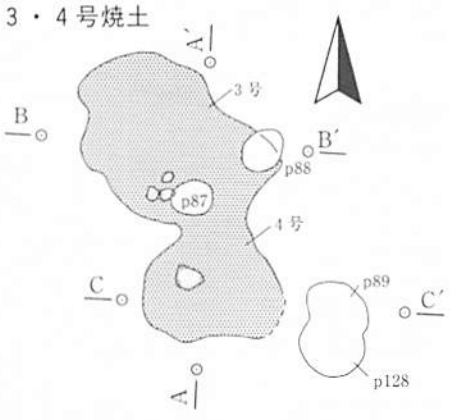
6 d

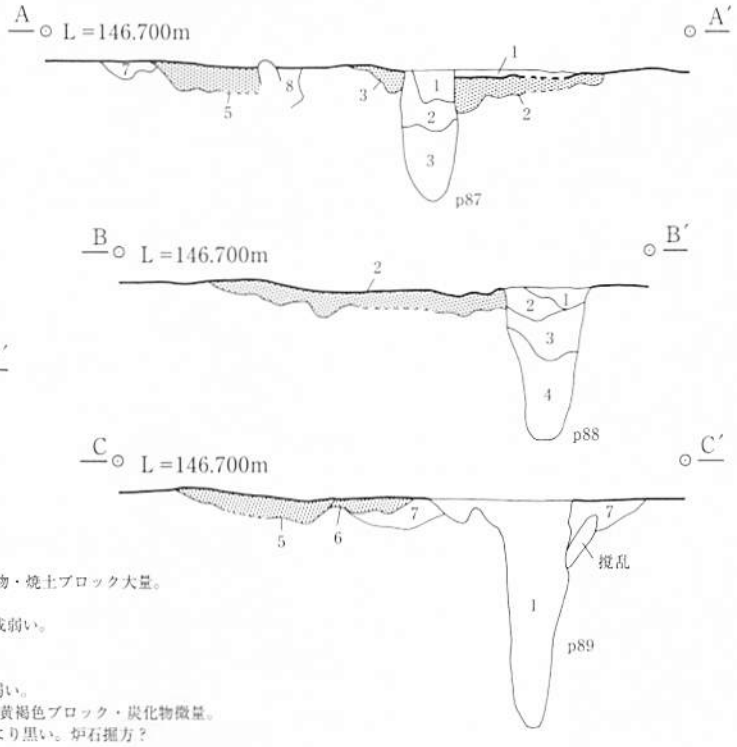
5号焼土



5号焼土（A-A′）断面なし
1．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層？

3・4号焼土





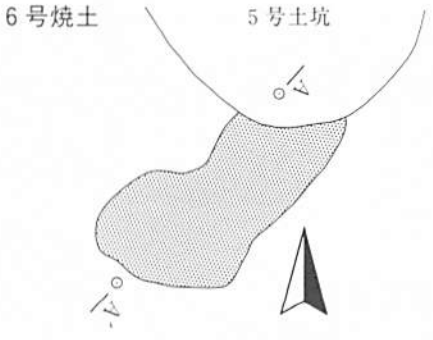
3・4号焼土（A-A′～C-C′）
1．7.5YR5/8 明褐色 シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック大量。
2．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 焼土層
3．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層 。2層より焼成弱い。
4．欠番
5．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。
6．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。5層より焼成弱い。
7．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。明黄褐色ブロック・炭化物微量。
8．10YR3/3 暗褐色 シルト 地山ブロック極微量。4･9層より黒い。炉石掘方？

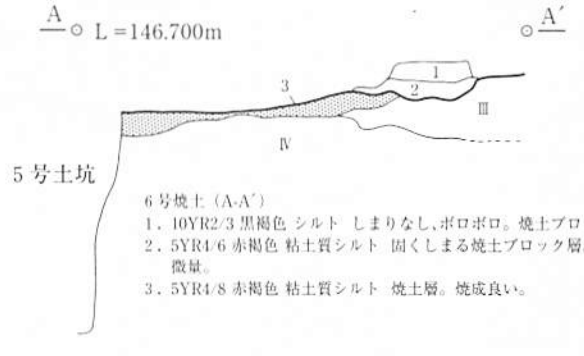
p87
1．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
2．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 焼土ブロック多量。
3．10YR3/4 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック1層より少ない。地山ブロック極微量。

p89
1．10YR3/3 暗褐色 シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。明黄褐色ブロック微量。

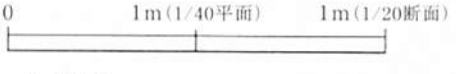
p88
1．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック極微量。
2．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 焼土ブロック多量。
3．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 焼土ブロック・地山ブロック微量。炭化物極微量。
4．10YR3/3 暗褐色 シルト 地山ブロック3層より多い。

6号焼土



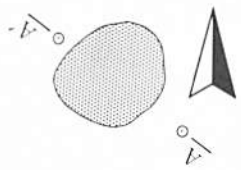


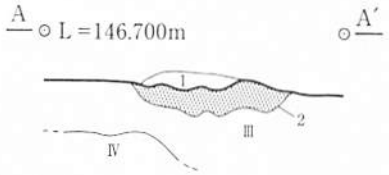
6号焼土（A-A′）
1．10YR2/3 黒褐色 シルト しまりなし、ボロボロ。焼土ブロック少量。
2．5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト 固くしまる焼土ブロック層。炭化物微量。
3．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。



第22図　炉跡・焼土遺構（1）1～6号焼土

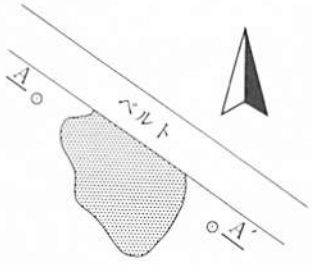
7号焼土

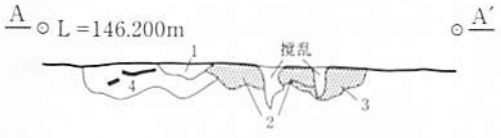




7号焼土（A-A′）
1．5YR5/8 明赤褐色 シルト 固くしまる焼土ブロック層。炭化物微量。
2．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。

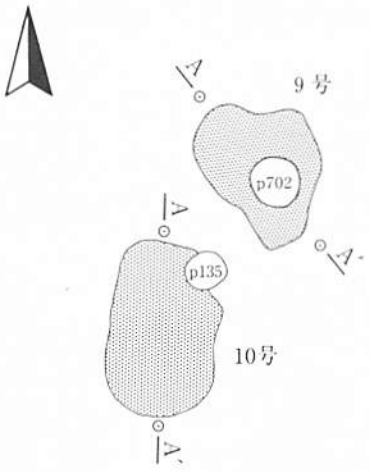
8号焼土

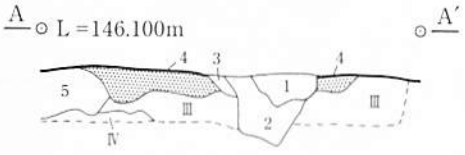




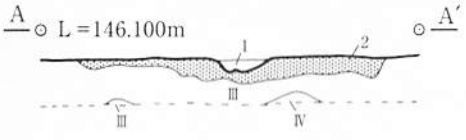
8号焼土（A-A′）
1．5YR4/4 にぶい赤褐色 シルト 焼土ブロック多量。炭化物少量。
2．5YR4/4 にぶい赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成弱い。明黄褐色ブロック含む。
3．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。2層より焼成弱い。
4．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック・明黄褐色ブロック極微量。

9・10号焼土



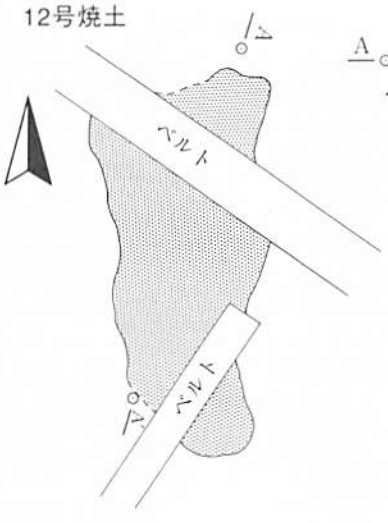


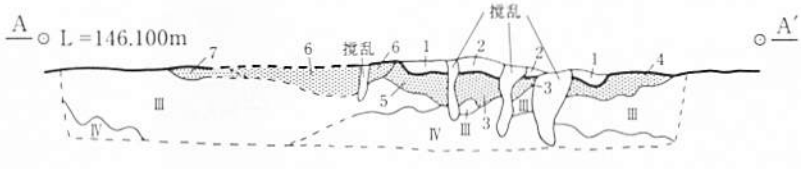
9号焼土（A-A′）
1～3層 p702
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりややあり。焼土ブロック多量。炭化物微量。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
3．10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりない。明黄褐色ブロック含む。
4．7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 焼土層
5．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト



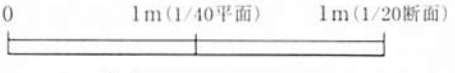
10号焼土（A-A′）
1．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり弱い。焼土粒微量。
2．7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト 焼土層

12号焼土



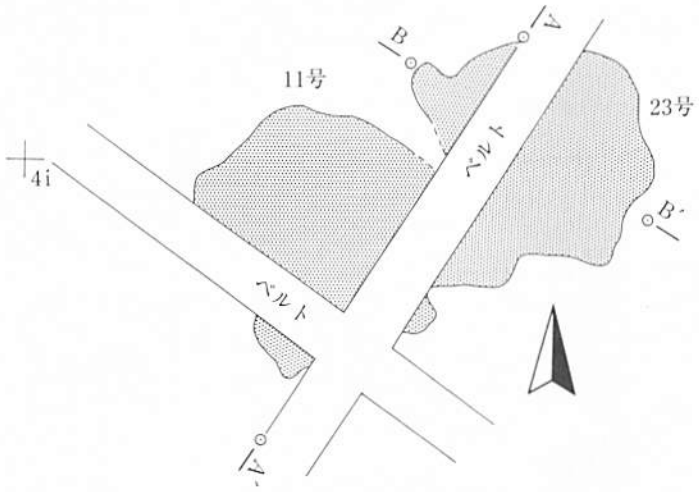


12号焼土（A-A′）
全体にしまりややあり。
1．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック少量。
2．7.5YR5/8 明褐色 シルト 固くしまる焼土ブロック層
3．5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。
4．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成弱い。明黄褐色ブロック含む。
5．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。4層に似る。
6．5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。3層に似る。
7．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。4層と似る。

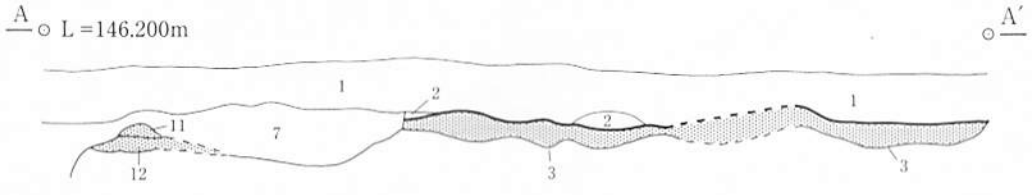


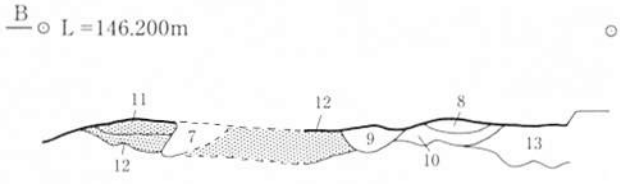
第23図　炉跡・焼土遺構（2）7～10・12焼土

11・23号焼土

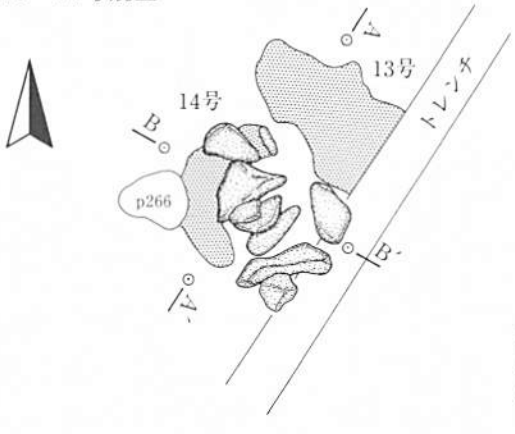


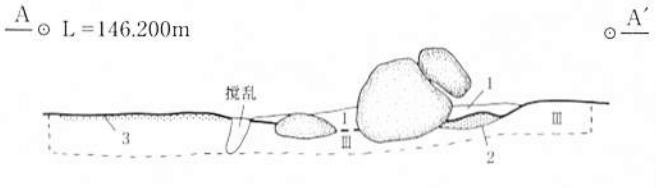
11･23号焼土（A-A'・B-B'）
1．10YR3/3 暗褐色 シルト しまり・粘性やや弱い。
明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。新期耕作土？
2．10YR3/2 黒褐色 シルト 焼土ブロック層(径～2cm)
3．5YR3/6 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成普通。
明黄褐色ブロック含む。
4 層～6層欠番
7．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり弱くボロボロ。
明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
8．7.5YR3/4 暗褐色 シルト 焼土ブロック層。細かい焼土ブロック。
9．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック少量。
10．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 焼土層？ブロック状にも見える。
11．5YR4/8 赤褐色 シルト 焼土層。焼成良い。
12．7.5YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成弱い。
明黄褐色ブロック含む。
13．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 黒褐色土と暗褐色土の混土層。Ⅱ層・Ⅲ層の混土層。漸移層または他遺構埋土。

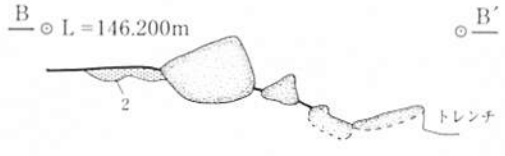




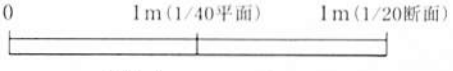
13・14号焼土





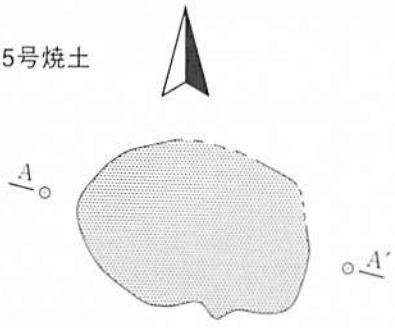


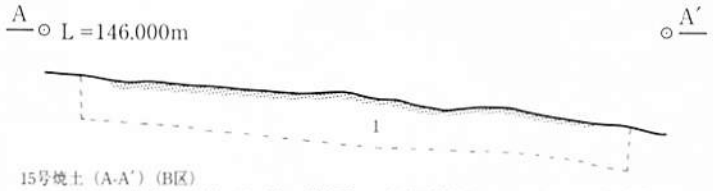
13・14号焼土（A-A'･B-B'）
1．10YR2/1 黒色 シルト 上面に礫含む。新期耕作土？
2．5YR4/6 赤褐色 シルト 焼土層。焼成弱い。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 上面僅かに被熱している。



第24図　炉跡・焼土遺構（3）11・13・14・23号焼土

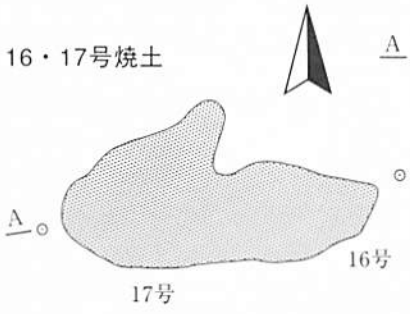
15号焼土

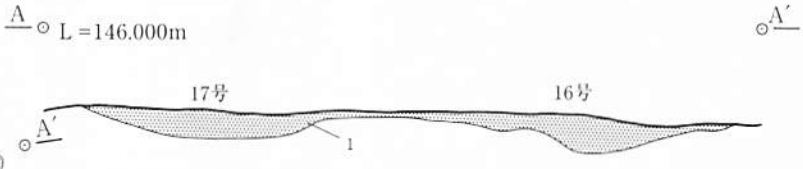




15号焼土（A-A′）（B区）
1．10YR2/3 黒褐色 しまりややあり。粘性弱い。上面が被熱している（5YR2/3 極暗赤褐色）。

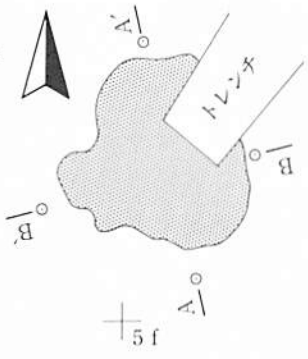
16・17号焼土

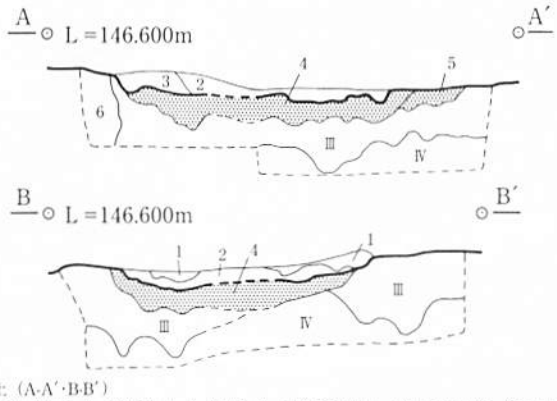




16・17号焼土（A-A′）（B区）
1．2.5YR4/6 赤褐色 焼土層。

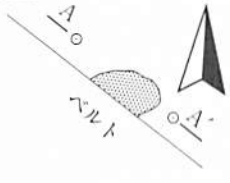
18号焼土



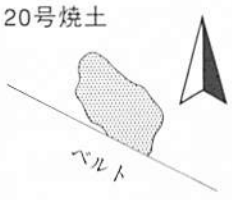


18号焼土（A-A′·B-B′）
1．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性やや弱い。焼土ブロック（径～1cm）少量。
2．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土ブロック層（径～2cm）
3．10YR4/4 褐色 粘土質シルト 焼土ブロック1層より少ない。
4．5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。
5．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト 焼土層。4層より被熱弱い。
6．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・明黄褐色ブロック微量。柱穴？

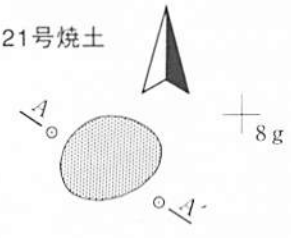
19号焼土

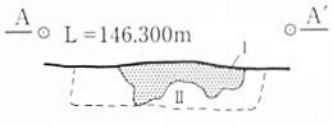


20号焼土

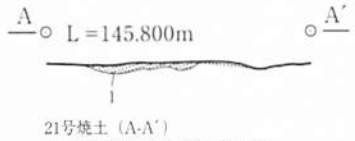


21号焼土

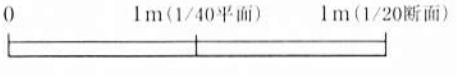




19号焼土（A-A′）
1．10YR3/3 暗褐色 シルト 焼土層？やや赤変している程度。
明黄褐色ブロック含む。

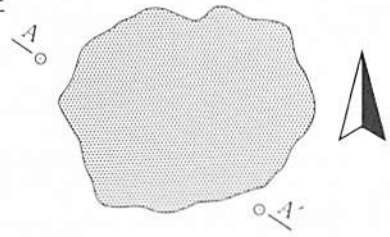


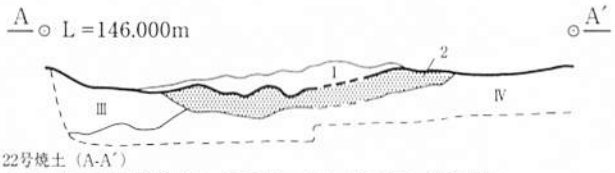
21号焼土（A-A′）
1．2.5YR3/6 暗赤褐色 焼土層



第25図　炉跡・焼土遺構（4）15～21号焼土

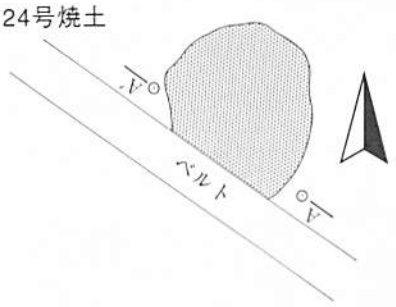
22号焼土

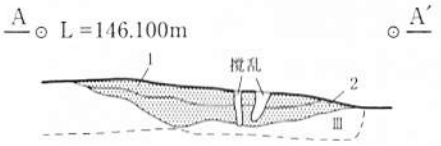




22号焼土（A-A'）
1．5YR5/8 明赤褐色 シルト 焼土ブロック層。サラサラ。粒径大きい。
10YR3/3 暗褐色シルトブロック微量。
2．5YR4/8 赤褐色 シルト 焼土層。焼成良い。

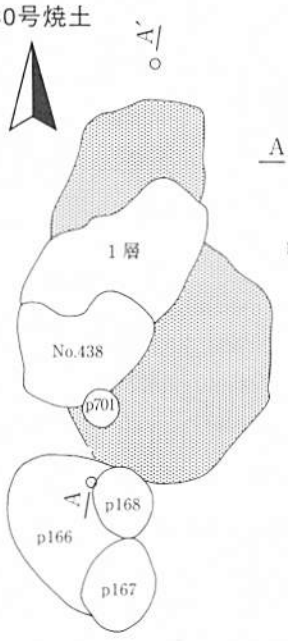
24号焼土

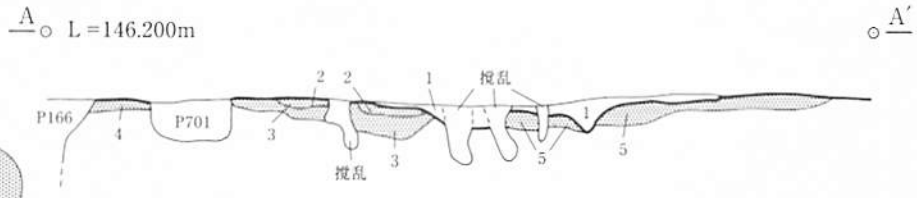




24号焼土（A-A'）
1．5YR4/6 赤褐色 シルト 焼土層。焼成良い。
2．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト 焼土層。やや被熱する程度。

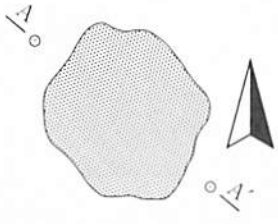
30号焼土

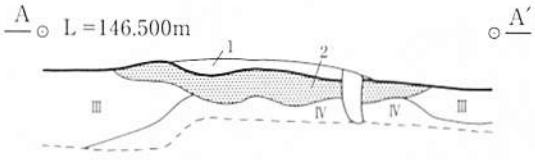




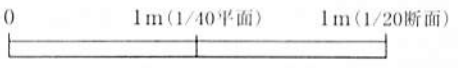
30号焼土（A-A'）
1．10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまり・粘性あり。グレー味あり。炭化物（径～3㎜）・5YR5/8明赤褐色焼土ブロック（径～5㎜）極微量。
2．5YR5/8 明赤褐色 シルト 固くしまる。粘性なし。焼土ブロック層？
3．5YR4/6 赤褐色粘土質シルト 固くしまる。粘性ややあり。焼土層。焼成良い。
4．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性なし。焼土層。3層より焼成悪い。
5．7.5YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性ややあり。焼土層。焼成4層より悪い。白色礫（径～5㎜）極微量。

32号焼土

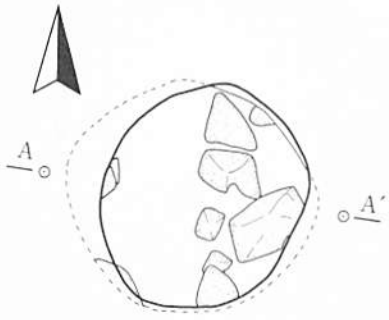




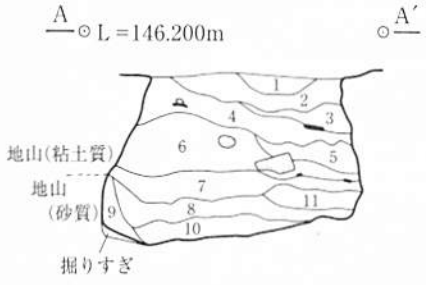
32号焼土（A-A'）
1．10YR3/2 黒褐色 シルト しまり・粘性やや弱い。焼土ブロック層。炭化物含まない。
2．5YR5/8 明赤褐色 粘土質シルト 焼土層。焼成良い。

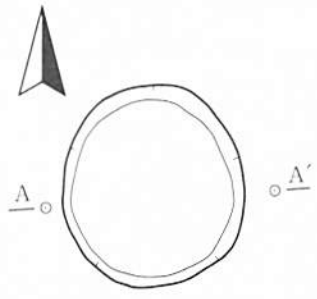


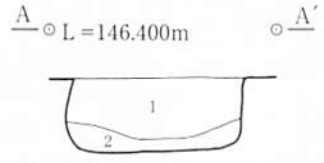
第26図　炉跡・焼土遺構（5）22・24・30・32号焼土



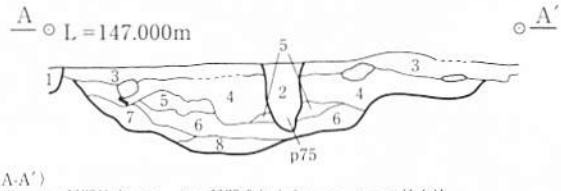
1号土坑（A-A′）
1～2層しまりあり。3～11層しまり弱い。
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック少量（径～3cm）。炭化物・焼土ブロック微量。白色小礫極微量。
2．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック微量（径～5mm）。炭化物・焼土ブロック1層より多い。明黄褐色ブロック・白色小礫極微量。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック少量（径～3cm）。1層よりやや多いか？炭化物・焼土ブロック1より少ない。白色小礫極微量。
4．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック2層より多い。炭化物・焼土ブロックは2層より少ないが粒径大（径～5mm）。
5．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック全体（径～2cm）。炭化物微量。
6．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック2・4層より多い。粒径は1・3層に近い。炭化物・焼土ブロック微量。
7．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック多量（径～5cm）。
8．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック全体に細かく含む。7層より少ないが1～6層よりは多い。
9．10YR2/3 黒褐色 砂質シルト　地山ブロック大量。地山（砂質）壁の崩落層？
10．10YR2/3 黒褐色 砂質シルト　地山ブロック全体に細かく含む。8層と似るがやや砂質。
11．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト　地山ブロック大量。地山（粘土質）ブロックの壁崩落層？



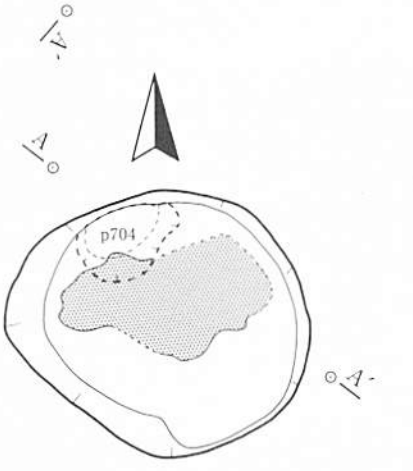




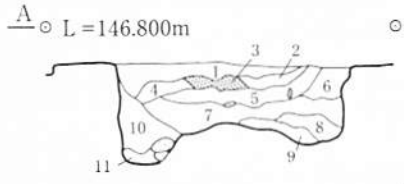
2号土坑（A-A′）
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト　固くしまる。粘性あり。小礫含む（上部に多い）。炭化物極微量（径5～20mm）。
2．10YR3/2 黒褐色　粘土質シルト　しまりややあり。粘性あり。地山ブロック微量。炭化物極微量（径5mm程）。1層より黒い。

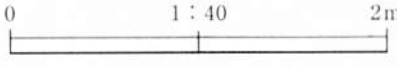


3号土坑（A-A′）
1＝新期柱穴・2＝新期柱穴p75・3＝新期盛り土？・4～8＝3号土坑
1．10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 混ざりものなくやわらかい土。新期柱穴。
2．10YR1.7/1 黒色 粘土質シルト 1と同じ
3．10YR2/1 黒色　粘土質シルト　しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。
4．10YR2/1 黒色 粘土質シルト 3層に似るが混ざりもの少なくやわらかい。色もやや黒い。埋土もしくは新期盛り土。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
6．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック少量。被熱した土含むため赤味強い。
7．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 5層に似るが明黄褐色ブロックやや少ない。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。

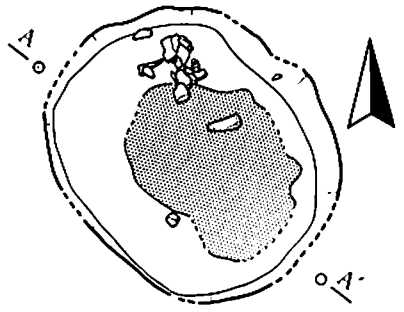


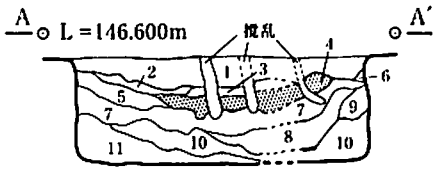
4号土坑（A-A′）
10･11層＝p704。古期pitもしくは底面施設。
1．10YR3/3 暗褐色　粘土質シルト　しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物・焼土ブロックやや多量。2～6層よりやや暗い。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック1層より多い。
3．5YR5/8 明赤褐色 焼土（ブロック？）層。炭化物含まない。しまり弱い。
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 2層と似る。
5．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
6．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック少量。
7．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック微量。
8．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。2～7層より暗い。地山ブロック・炭化物微量。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック極微。
10．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 7層に似るがしまりあり。
11．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 8層に似るがしまりあり。



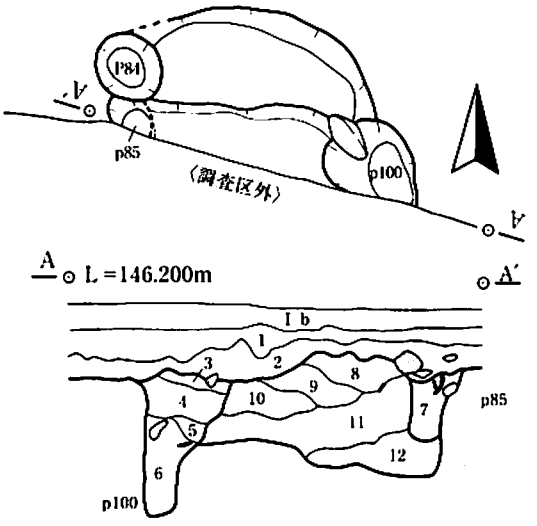


第27図　土坑（1）1～4号土坑

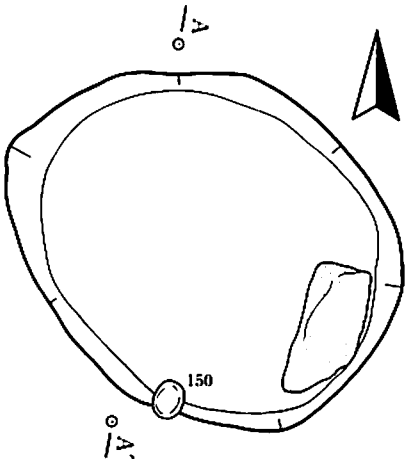


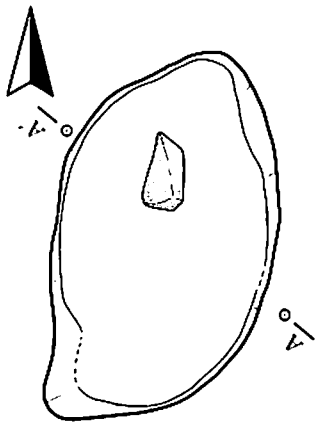


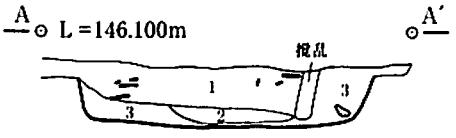
5号土坑（A-A'）
1．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック少量。
2．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量（径～1cm）。炭化物極微量。
3．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 1層に似るがややわらかい。
4．5YR4/6 赤褐色 シルト 焼土（ブロック？）層。10YR3/4 暗褐色粘土質シルトブロック少量。
5．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 3層に似る。
6．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。焼土ブロック多量。
7．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック5層より多く粒径大（径～1cm）。6層までの上位層よりやや暗い。
8．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性あり。地山ブロック多量。
9．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性あり。地山ブロック10層より少ない。焼土ブロック極微量。
10．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性あり。地山ブロック8層より少ない。
11．10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性あり。地山ブロック大量。



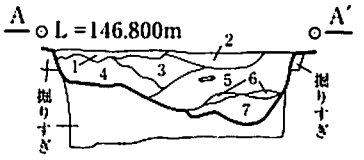
6号土坑（A-A'）
1・2層＝他遺構（5d住）、3～6層＝p100、7層＝p85、8～12層＝規土
3～6層 しまり、粘性弱い。7～12層 しまり、粘性やや弱い。
1．10YR2/1 黒色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト
3．10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。～6層p100
4．10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック微量。炭化物・焼土ブロック極微。
5．10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 地山ブロック多量。
6．10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 地山ブロック・炭化物微量。4・5層より黒味強い。
7．10YR3/4 暗褐色 シルト 地山ブロック少量。炭化物微量。p85
8．10YR3/3 暗褐色 シルト 地山ブロック7層より少ない。
9．10YR3/3 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック微量。10層より暗い。
10．10YR3/3 暗褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック9層より多い。
11．10YR3/3 暗褐色 シルト 地山ブロック・炭化物微量。9層より明るい。
12．10YR3/3 暗褐色 シルト 炭化物微量。8～11層より暗い。



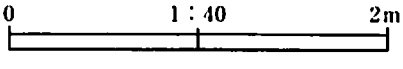




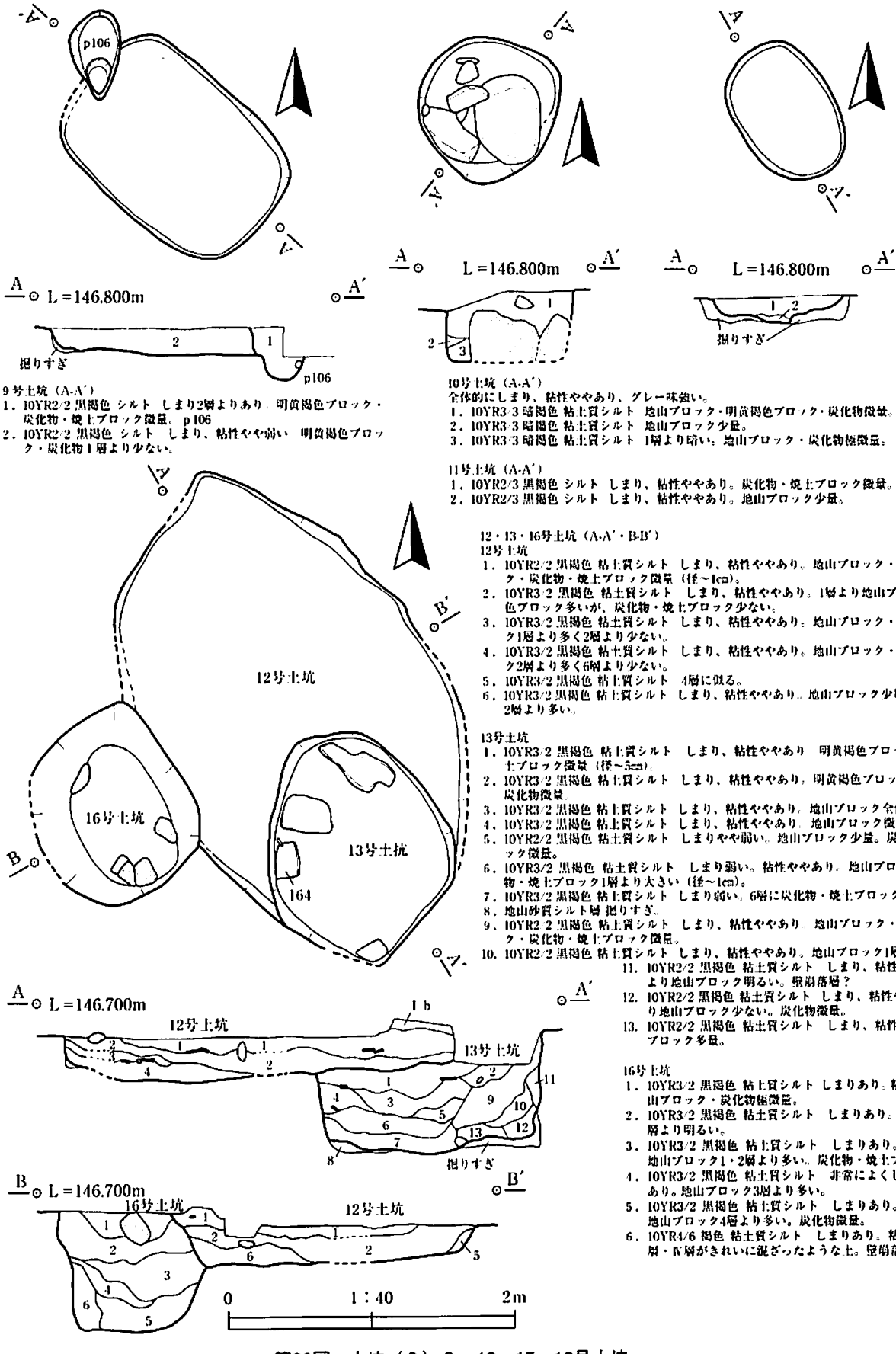
7号土坑（A-A'）
1．10YR3/3 暗褐色 しまりやや弱い。粘性ややなし。炭化物・遺物多く含む。
2．7.5YR3/3 暗褐色 しまりやや弱い。粘性ややなし。焼土ブロック含む。
3．10YR3/2 黒褐色 しまりやや弱い。粘性ややなし。黄褐色土ブロック含む。



8号土坑（A-A'）
すべてしまり、粘性ややあり。
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物微量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物微量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 3層より暗く、混ざりもの3層より少ない。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 混ざりものの量4層と同じくらい。2・7層より暗い。
6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物極微量。5層より明るく2層より暗い。



第28図　土坑（2）5～8号土坑



9号土坑（A-A′）
1．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり2層よりあり。明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。p106
2．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性やや弱い。明黄褐色ブロック・炭化物1層より少ない。

10号土坑（A-A′）
全体的にしまり、粘性ややあり、グレー味強い。
1．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 1層より暗い。地山ブロック・炭化物極微量。

11号土坑（A-A′）
1．10YR2/3 黒褐色 シルト しまり、粘性ややあり。炭化物・焼土ブロック微量。
2．10YR2/3 黒褐色 シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック少量。

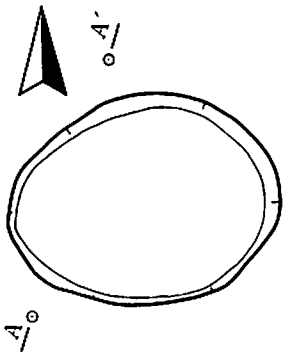
12・13・16号土坑（A-A′・B-B′）

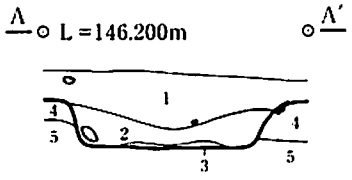
12号土坑
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量（径～1cm）。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。1層より地山ブロック・明黄褐色ブロック多いが、炭化物・焼土ブロック少ない。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック1層より多く2層より少ない。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック2層より多く6層より少ない。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 4層に似る。
6．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック少量。炭化物微量。2層より多い。

13号土坑
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり 明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量（径～5cm）。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック1層より多い。炭化物微量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック全体。炭化物微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック微量。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック微量。
6．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。粘性ややあり。地山ブロック微量。炭化物・焼土ブロック1層より大きい（径～1cm）。
7．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。6層に炭化物・焼土ブロック含まない層。
8．地山砂質シルト層 掘りすぎ。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
10．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック1層より多い。
11．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。他層より地山ブロック明るい。壁崩落層？
12．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。1層より地山ブロック少ない。炭化物微量。
13．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック多量。

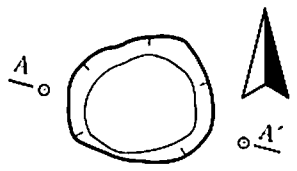
16号土坑
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性ややあり。地山ブロック・炭化物極微量。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性ややあり。1層より明るい。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性ややあり。地山ブロック1・2層より多い。炭化物・焼土ブロック極微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 非常によくしまる。粘性ややあり。地山ブロック3層より多い。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性ややあり。地山ブロック4層より多い。炭化物微量。
6．10YR4/6 褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性ややあり。Ⅲ層・Ⅳ層がきれいに混ざったような土。壁崩落？

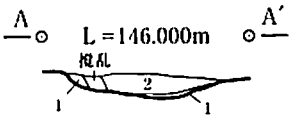
第29図　土坑（3）9～13・15・16号土坑



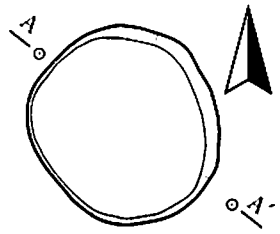


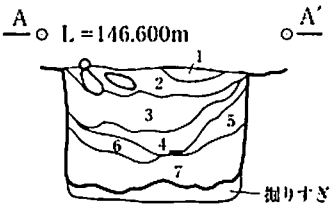
14号土坑（A-A′）
1．10YR2/2 黒褐色　しまりあり。粘性なし。遺物多く含む。
2．10YR3/3 暗褐色　しまりややあり。粘性なし。炭化物含む。遺物少量。
3．10YR2/3 黒褐色　しまりややあり。粘性なし。風化礫含む。
4．10YR3/3 暗褐色　しまりややあり。粘性なし。
5．10YR3/4 暗褐色　しまりややあり。粘性なし。



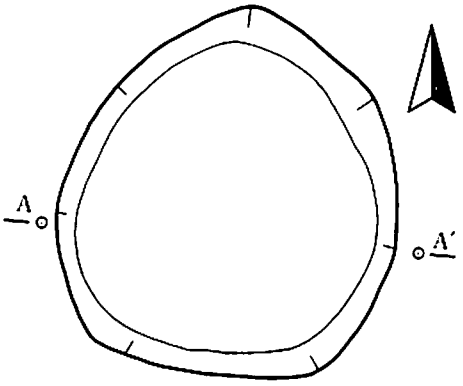


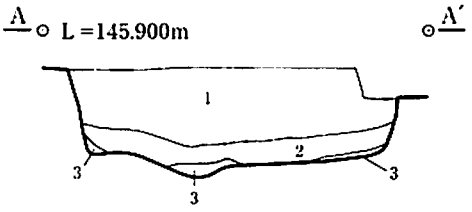
17号土坑（A-A′）
1．10YR3/4 暗褐色　しまりややあり。粘性なし。黒色土含む
2．10YR2/2 黒褐色　しまりやや弱い。粘性なし。炭化物微量。



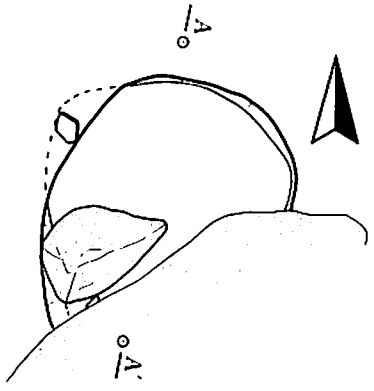


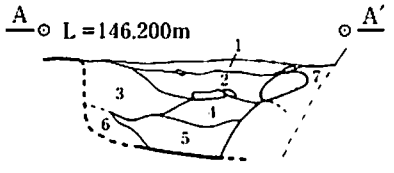
18号土坑（A-A′）
1～3層 しまり、粘性ややあり。4～7層 しまりやや弱い。粘性ややあり。
1．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック全体。炭化物微量。
2．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
3．10YR2/2 黒褐色 シルト 混ざりもの2層より多く、粒径大きい（径～5㎝）。
4．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
5．10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック極微量。
6．10YR2/2 黒褐色 シルト 5層に地山ブロック微量含む層。
7．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック微量。



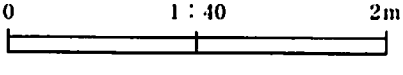


19号土坑（A-A′）
1．10YR3/3 暗褐色　しまりややあり　粘性なし。礫・遺物少量。
2．10YR3/4 暗褐色　しまりややあり　粘性なし　焼土ブロック含む。
3．10YR4/6 褐色　しまりややあり　粘性ややあり。暗褐色土・礫含む。

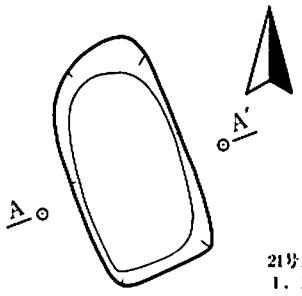


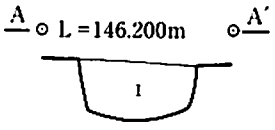


20号土坑（A-A′）
1･2層はしまりあるが、それ以外はしまりやや弱い。全体粘性ややあり。
1．10YR2/2 黒褐色 シルト 10YR2/1 黒色シルトブロック・明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
2．10YR2/2 黒褐色 シルト 1層に10YR2/1 黒色シルトブロックを含まない層。
3．10YR2/2 黒褐色 シルト 2層に似るが炭化物・焼土ブロック2層より多く、やや暗い。
4．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック多量。
5．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック少量。
6．10YR2/2 黒褐色 シルト 地山ブロック多量。4層より多い。

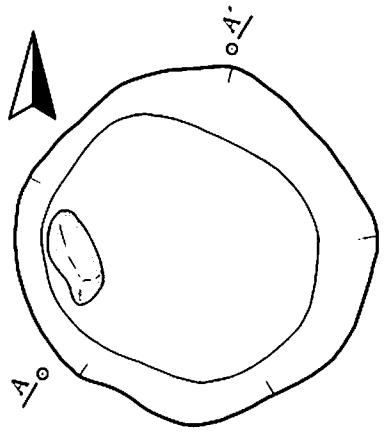


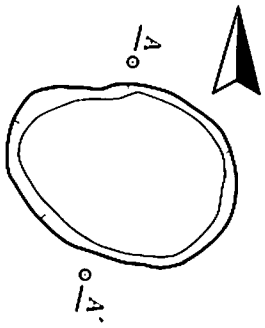
第30図　土坑（4）14・17～20号土坑

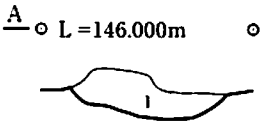




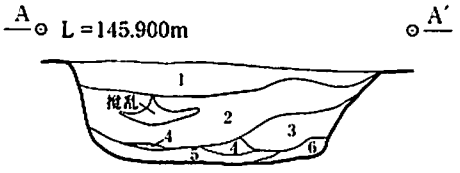
21号土坑（A-A'）
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。
地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物微量。



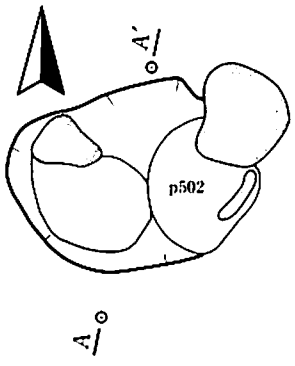


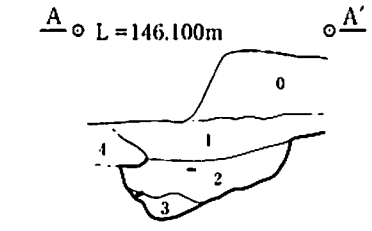


22号土坑（A-A'）
1．10YR3/3 暗褐色 しまりややあり。
粘性なし。炭化物・遺物まばらに
含む。

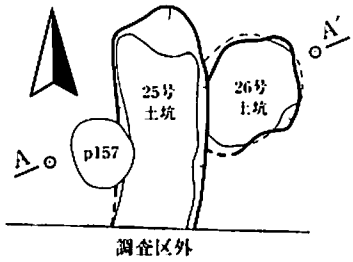


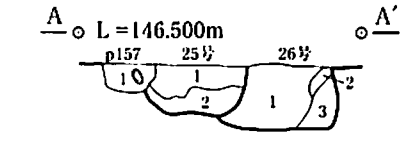
23号土坑（A-A'）
1．10YR3/3 暗褐色 しまりややあり。粘性なし。炭化物・風化礫含む。
2．10YR3/3 暗褐色 しまりややあり。粘性なし。礫・遺物まばらに含む。
3．10YR3/4 暗褐色 しまりややあり。粘性なし。金雲母混入。
4．10YR4/4 褐色 しまり、粘性ややあり。黄褐色土と暗褐色土の混合
土。
5．10YR3/4 暗褐色 しまりややあり。粘性なし。礫含む。
6．10YR3/2 黒褐色 しまり、粘性ややあり。炭化物微量。





24号土坑（A-A'）
0．10YR3/2 黒褐色 しまりややあり。粘性なし。耕作土。植物根多い。
1．10YR2/3 黒褐色 しまりややあり。粘性なし。炭化物多量。
焼土ブロック含む。
2．10YR3/2 黒褐色 しまりややあり。粘性なし。炭化物少量。遺物含む。
3．10YR5/6 黄褐色 しまりややあり。粘性なし。暗褐色土含む。
4．10YR5/8 黄褐色 しまりややあり。粘性なし。Ⅳ層？





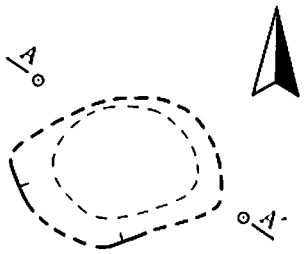
25・26号土坑（A-A'）
25土坑
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック少量。炭化物（径～3㎜）
・礫（径～5㎜）極微量。
2．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性強い。地山ブロック（径5～20㎜）多量。
炭化物（径～5㎜）極微量。

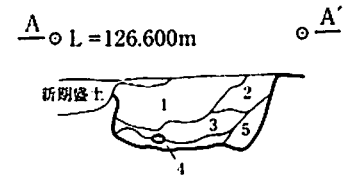
26土坑
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト p157よりやや黒い。
2．主体土は1層に似るが、地山ブロック大量。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり（1・2層より軟らかい）。
焼土ブロック（径～2㎜）・礫（径～2㎜）極微量。

p157
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山がブロック極微量混入。p157

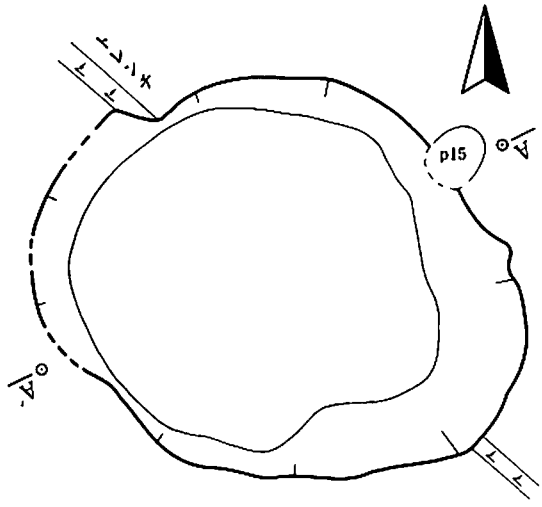
0 1：40 2m

第31図 土坑（5）21～26号土坑

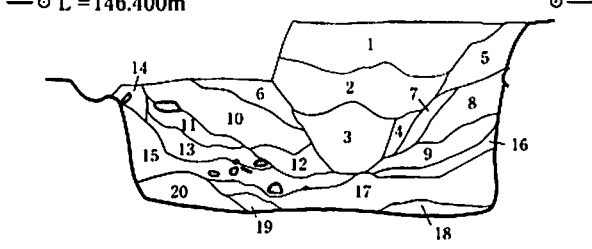


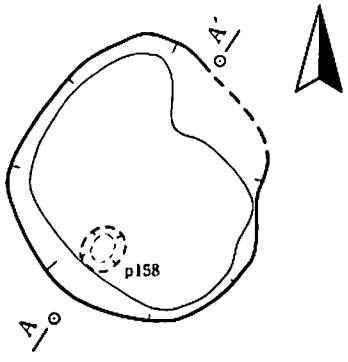


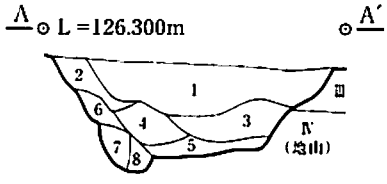
27号土坑（A-A'）
全体的にしまり、粘性あり。
1．10YR2/1 黒色 シルト 明黄褐色ブロック少量。炭化物微量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
細かい礫含む。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 2層に似るが礫を含まない。
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
最も黒い層。



28号土坑（A-A'）
1～14層 しまり、粘性ややあり。15～20層 しまりやや弱い。粘性ややあり。
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック微量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・焼土ブロック極微量。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 2層より混ざりもの少ない。
4．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 3層に地山ブロック微量。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。
6．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック極微量。
7．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック全体。
8．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。炭化物少量。
9．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 8層より炭化物少なく地山ブロック多い。
10．8層と似る。
11．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 被熱した土含む。炭化物微量。
12．10層と似るがやや混ざりもの少ない。
13．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
14．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。
15．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。
7層より多い。礫含む。
16．15層と似るが礫を含まない。
17．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物微量。
18．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 炭化物17層より多い。
19．15層と似る。小礫含む。
20．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物微量。



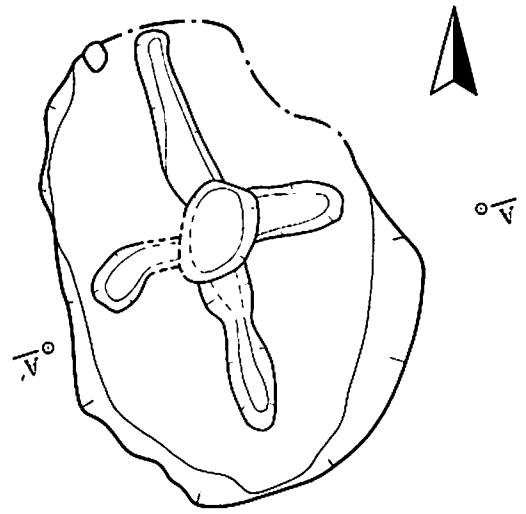


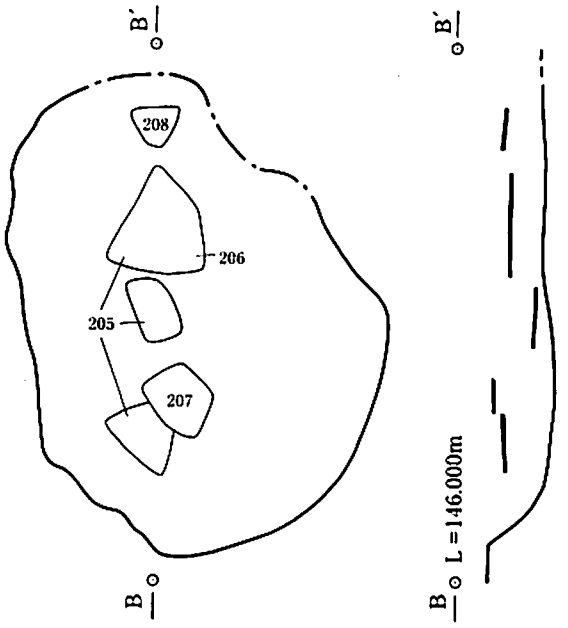


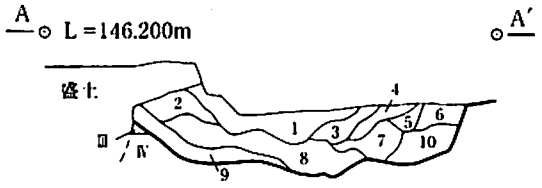
29号土坑（A-A'）
1～6層＝29号土坑、7～8層＝p158
全体的にしまり、粘性ややあり。
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・赤褐色粒子微量。
2．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。1層より明るい。
4．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物極微量。
1層より暗い。
5．3層と似る。
6．2層と似るがやや明るい。
7．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック全体。
8．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック極微量。

0　1：40　2m

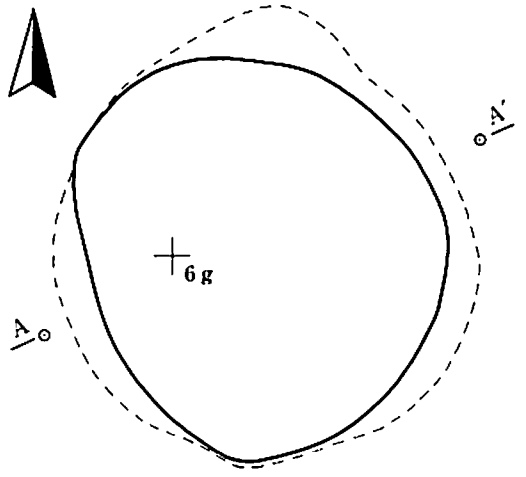
第32図　土坑（6）27～29号土坑

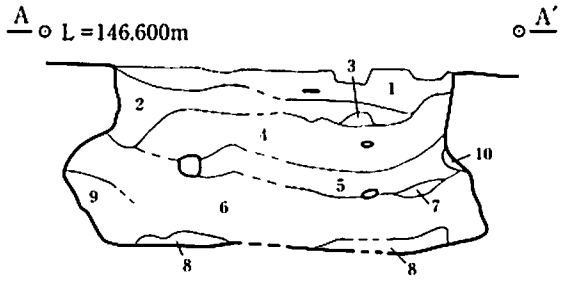




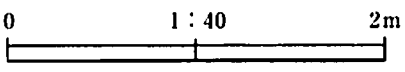


30号土坑（A-A'）
全体的にしまり、粘性あり。
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック少量。炭化物微量。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック少量。被熱したような土含む。
4．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック少量。
5．2層と似る。
6．4層と似る。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 炭化物・焼土ブロック微量。1層より多い。
8．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 2層と似るが明黄褐色ブロックやや少ない。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック微量。やや暗い。
10．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。

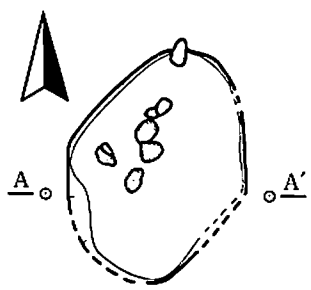


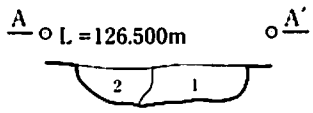


32号土坑（A-A'）
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。炭化物・砂礫微量（径～1cm）、地山ブロック極微量。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 固くしまり1層より粘性あり。炭化物・砂礫微量（径～5mm）。
3．10YR2/2 黒褐色 シルト しまりあり。粘性ややあり。炭化物やや多量（径～1cm）、焼土ブロック極微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。炭化物（径～1cm）・焼土ブロック極微量。地山ブロック含む。砂礫少量上部に多い。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。炭化物（径～1cm）・砂礫・地山ブロック極微量。
6．10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック含む。炭化物極微量（径～5mm）。
7．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 他層に比べやわらかい。粘性あり。
9．10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性弱い。
10．10YR4/4 褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性弱い。地山ブロック層。

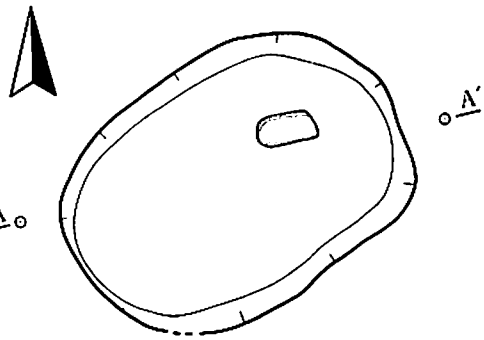


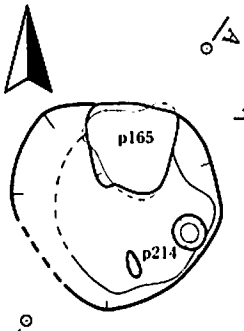
第33図　土坑（7）30・32号土坑

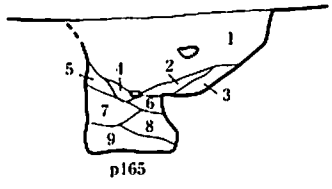


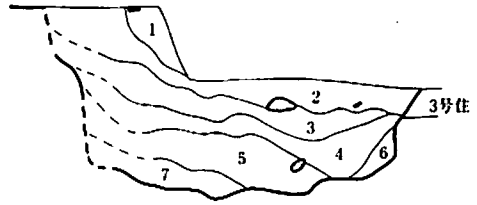


33号土坑（A-A′）
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり・粘性あり。地山ブロック（径～15㎜）少量。炭化物（径～10㎜）極微量。礫（径～5㎝）少量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性強い。炭化物（径～2㎝）・礫（径～3㎝）極微量。



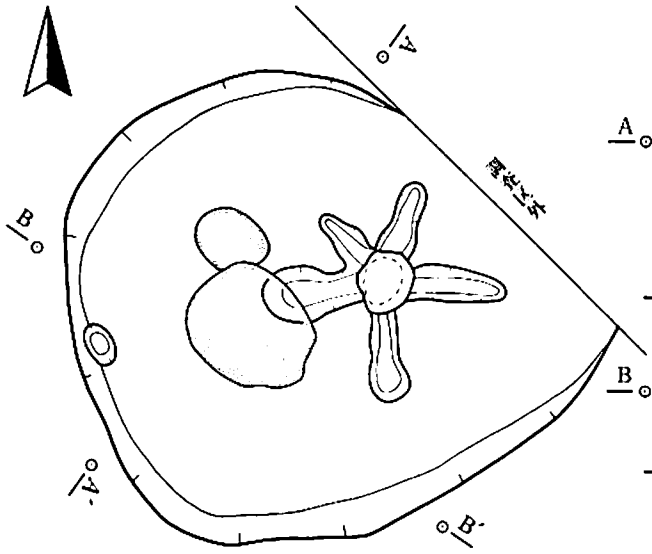


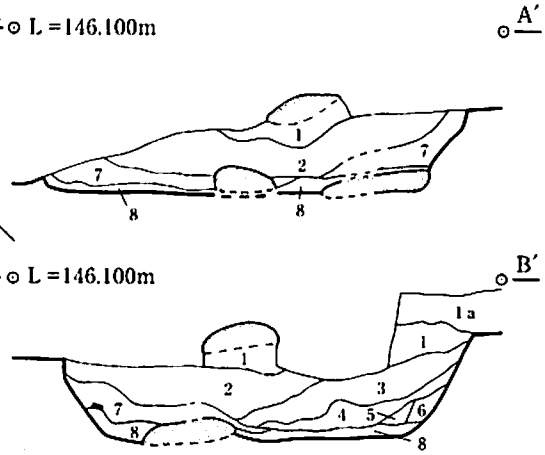




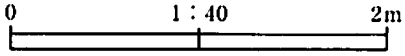
34号土坑・p165（A-A′）
1～3層＝34号土坑，4～9層＝p165
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。炭化物極微量（径～5㎝）。礫微量（径～5㎝）。
2．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。炭化物・焼土ブロック微量（径～2㎝）。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。炭化物（径～2㎝）・焼土ブロック（径～5㎜）微量
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック微量（径～1㎝）。2・3層より黒味強い。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック多量（径～1㎝）。
6．1層に似るが黒味弱い。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック少量（径～5㎝）。
8．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性あり。地山ブロック多量（径～3㎝）。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト やわらかい。粘性あり。

36号土坑（A-A′）
全体的にややグレー味あり。
1．10YR2/3 黒褐色 シルト しまり、粘性ややあり。明黄褐色ブロック・炭化物微量。
2．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック・明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック微量。
4．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。炭化物（径～1㎝）・焼土ブロック微量。地山ブロック極微量。
5．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック大量。炭化物極微量。
6．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。5層と似るが焼土ブロック微量含む。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。地山ブロック少量。炭化物微量。グライ化。

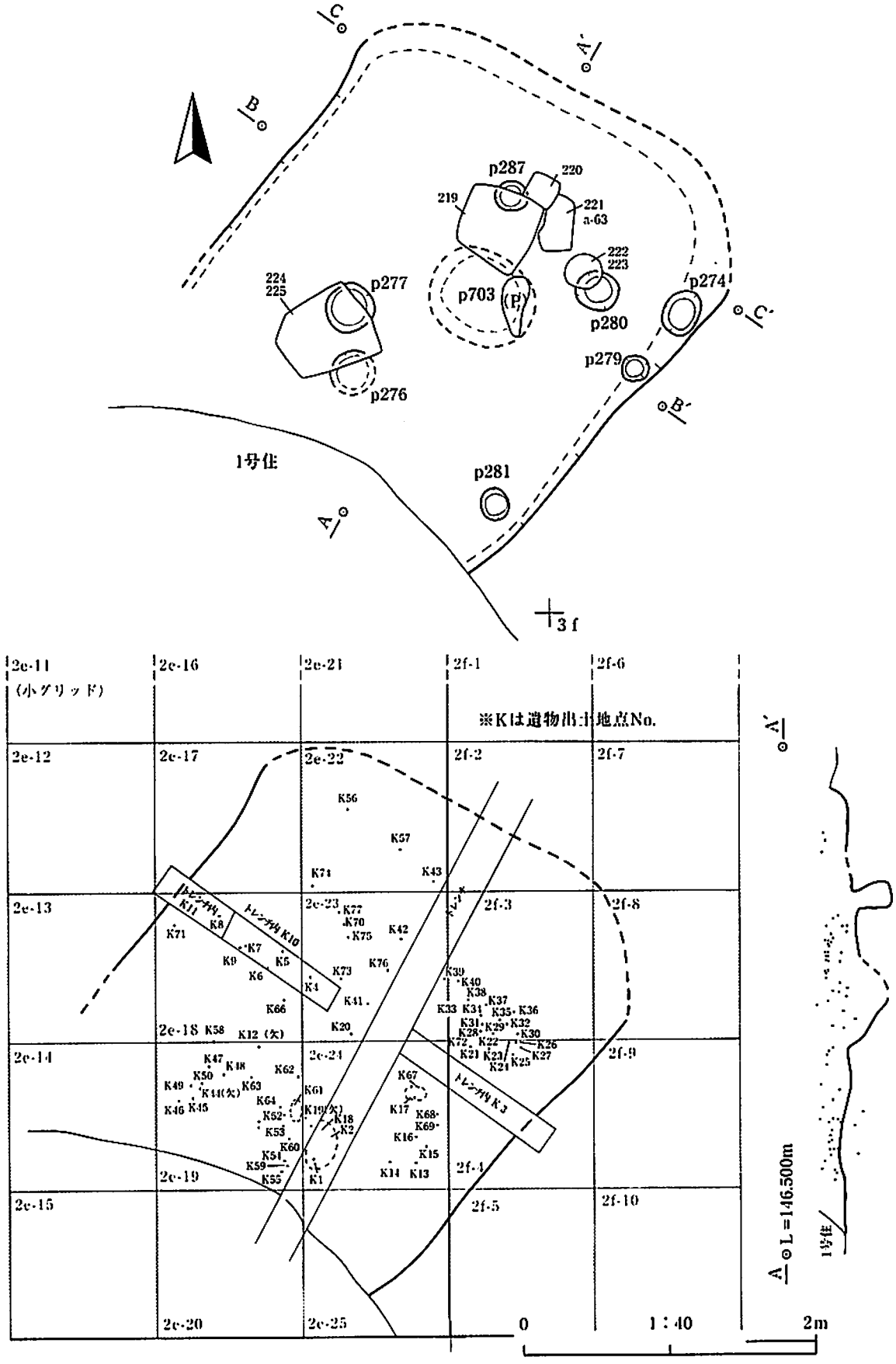




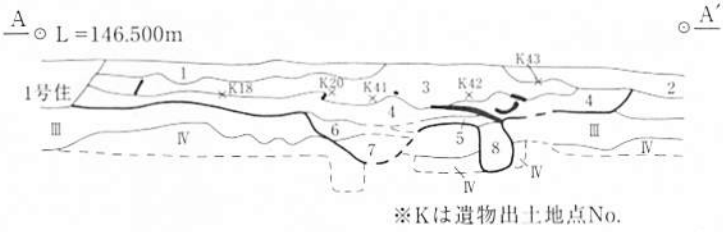
37号土坑（A-A′・B-B′）
1．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～5㎝）微量。炭化物（径～5㎝）・焼土ブロック（径～2㎝）極微量。礫（径～1㎝）少量。
1′．1層に似る。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～2㎝）やや多量。炭化物（径～5㎜）・焼土ブロック（径～1㎝）・白色礫（径～5㎝）極微量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。2層よりやや黒い。地山ブロック（径～1㎝）少量。炭化物（径～5㎝）・焼土ブロック（径～5㎝）。白色礫（径～5㎝）極微量。
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～5㎝）多量。焼土ブロック（径～2㎜）・白色礫（径～5㎝）極微量。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘土質シルトあり。地山ブロック微量。
6．10YR4/4 褐色 粘土質シルト 固くしまる。地山ブロック大量。
7．10YR2/1 黒色 粘土質シルト 他層よりしまり弱い。地山ブロック（径～1㎝）・炭化物（径～2㎝）・焼土ブロック（径～5㎜）極微量。下面に土器が入る。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～10㎝）少量。炭化物（径～5㎝）・焼土ブロック（径～2㎜）・礫（径～1㎝）極微量。

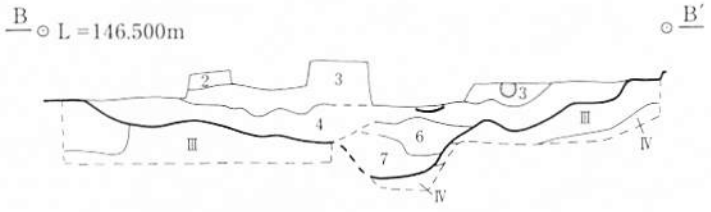


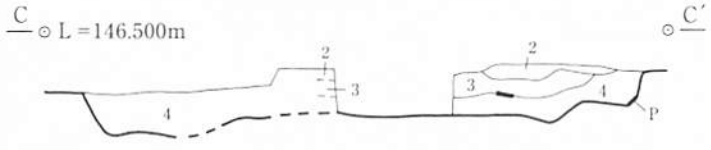
第34図　土坑（8）33・34・36・37号土坑



第35図　土坑（9）35号土坑①

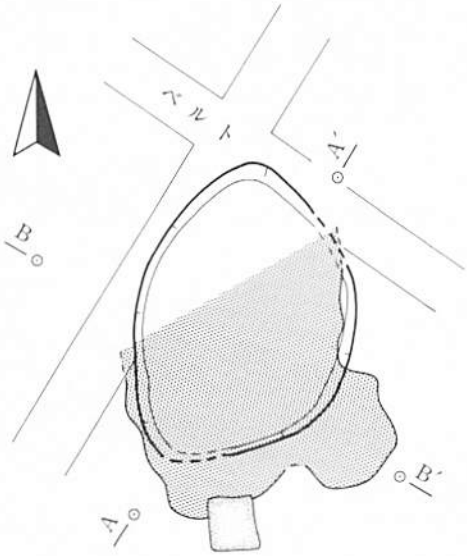


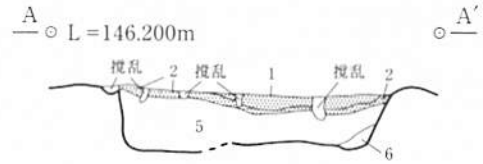


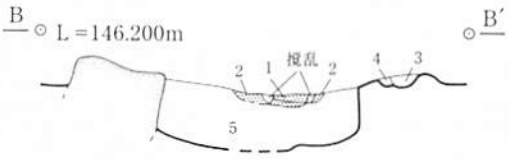


35号土坑（A-A′・B-B′・C-C′）

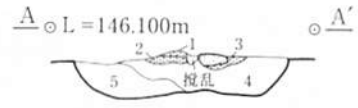
0．1a層
1．10YR2/1 黒色 シルト しまり、粘性やや弱い。
10YR2/2 黒褐色シルトブロック多量。炭化物微量。
2．1層と似る。
3．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性やや弱い。炭化物・焼土ブロック少量。やや赤味あり。
4．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性やや弱い。炭化物・焼土ブロック少量。3層より黒い。
5．10YR2/2 黒褐色 シルト しまり、粘性あり。炭化物・焼土ブロック微量。
6．5層に似るがしまり強い。土坑埋土もしくはp703。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。p703
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 7層と似るがやや地山ブロック少ない。p278
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 主体土は3層とよく似るが炭化物・焼土ブロック極微量。別遺構？
10．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。Ⅲ層によく似る。別遺構？

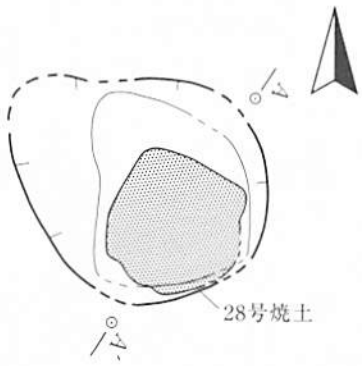




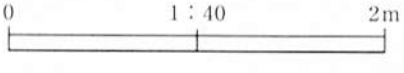


39号土坑・27号焼土（A-A′・B-B′）
1～4層＝27号焼土、5～6層＝39号土坑
1．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性ややあり。
2.5YR4/6赤褐色焼土ブロック（径～1mm）極微量。焼成非常に良い。
2．7.5YR4/4 褐色 粘土質シルト しまり・粘性あり。1層と同じ焼土ブロック極微量。
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 焼土ブロック少量。撹乱層？
4．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 撹乱層？
5．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりあり。粘性強い。砂を多量。地山ブロック（径～5mm）微量。炭化物・焼土ブロック（径～2mm）極微量（植物根による撹乱？）。
6．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト やわらかく、粘性強い。炭化物・焼土ブロックを極微量。

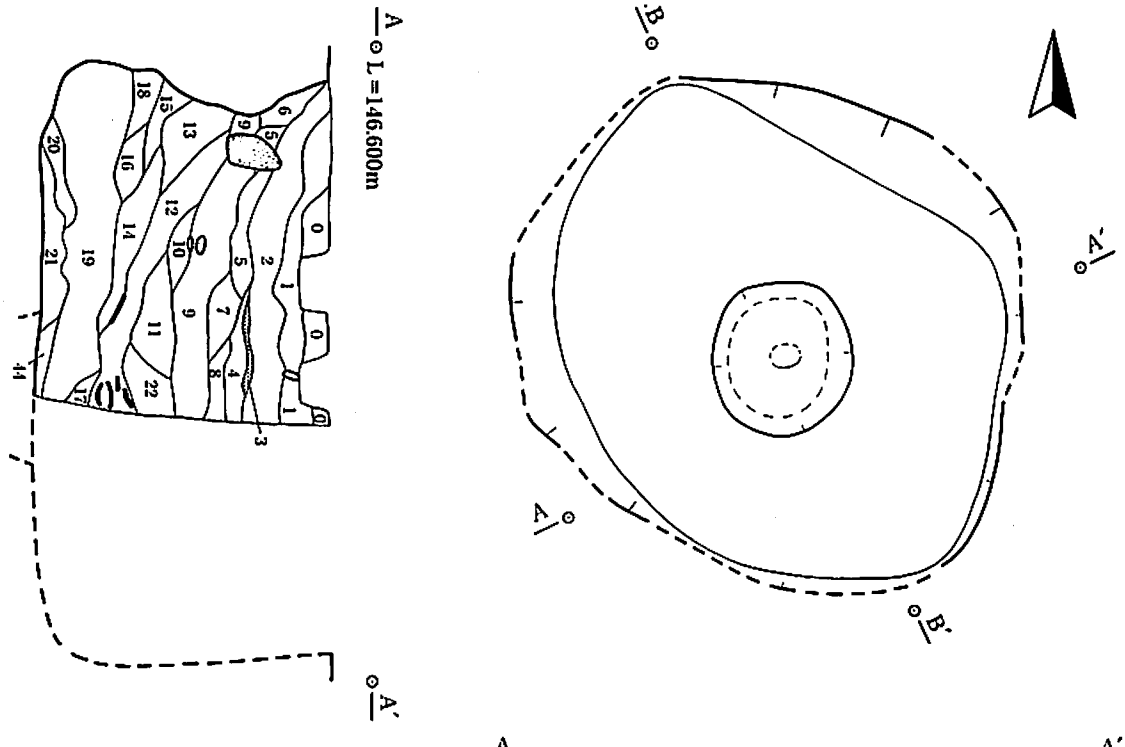




40号土坑・28号焼土（A-A′）
1～4層＝28号焼土、5～6層＝40号土坑
1．5YR5/8 明赤褐色 シルト 焼土層。固くしまる。粘性なし。焼成非常に良い。
2．5YR3/4 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。固くしまる。粘性ややあり。
焼土ブロック（径～3mm）・白色礫（径～5mm）極微量。焼成良い。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。焼土ブロック（径～2mm）少量。白色礫（径～2mm）極微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山がブロック少量。焼土ブロック（径～3mm）・炭化物（径～2mm）極微量。白色礫（径～1cm）少量。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。1層よりやや黒い。地山がブロック少量。焼土ブロック（径～2mm）・白色礫（径～5mm）極微量。



第36図　土坑（10）35号②、39・40号土坑・28号焼土



38号土坑（A-A'・B-B'）
全体的に粘性ややあり。

0．10YR2/1 黒色 シルト しまりややあり。白小礫やや多量。
明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。

1．10YR2/2 黒褐色 シルト 0層に似るが色が異なる。

2．10YR2/2 黒褐色 シルト 1層に白小礫を含まない層。
炭化物・焼土ブロックやや多いか？

3．5YR3/6 暗赤褐色 シルト しまりややあり。
焼土（ブロック？）層。炭化物含まない。

4．10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック微量。
上部やや被熱しているか（7.5YR3/2 黒褐色）？

5．10YR2/2 黒褐色 シルト 2層に似るがしまりやや弱い。

6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 明黄褐色ブロック・炭化物極微量。

7．10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化物・焼土ブロック極微量。5層よりしまり弱い。

8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 7層に似るがしまりあり。

9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。明黄褐色ブロック微量。
炭化物・焼土ブロック多量。

10．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。炭化物・焼土ブロック微量。
他層の10YR3/3 暗褐色土より暗い。

11．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。地山ブロック・焼土ブロック極微量。

12．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 9層に似るが焼土ブロック少ない。

13．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック微量。

14．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック少量。

15．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりあり。14層より地山ブロック多い。

16．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 固くしまる。地山ブロック極微量。

17．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。

18．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック大量。ほとんど地山ブロックが占める。

19．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック多量。炭化物微量。焼土ブロック極微量。

20．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりあり。地山ブロック微量。炭化物極微量。

21．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。

22．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。炭化物全体。9・12層より少ない。

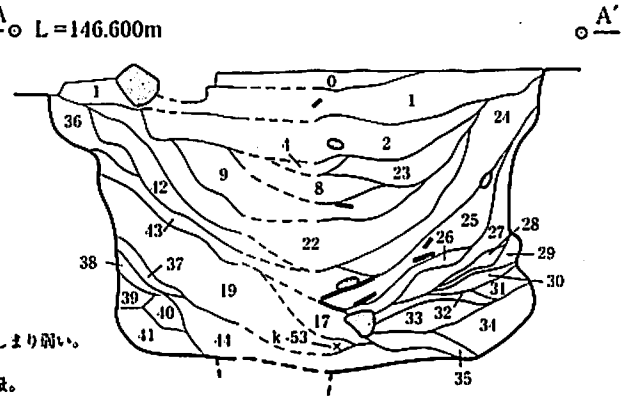
23．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 4層に似るが被熱していない。

24．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック多量。炭化物微量。

25．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック少量。

26．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック多量。24層より少ない。

27．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。



28．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック多量。24層より少なく26層より多い。

29．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック・炭化物極微量。

30．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 28層に似る。

31．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 29層に似る。

32．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 31層に似るがしまりあり。

33．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりあり。 地山ブロック層。

34．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。33層よりやや砂質でくらい。しまりも弱い。

35．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック多い。

36．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。地山ブロック・炭化物微量。

37．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック・炭化物微量。

38．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック多量。

39．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック少量。

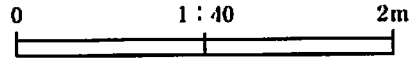
40．33層に似る。

41．34層に似る。

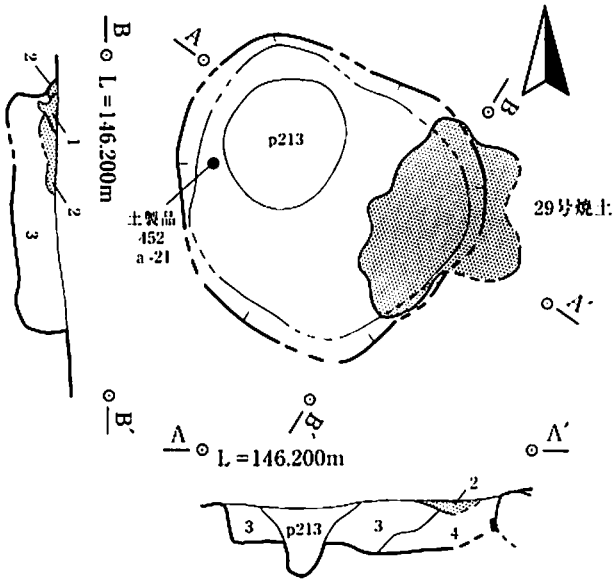
42．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりややあり。地山ブロック少量。炭化物微量。

43．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりややあり。42層より地山ブロック少ない。炭化物極微量。

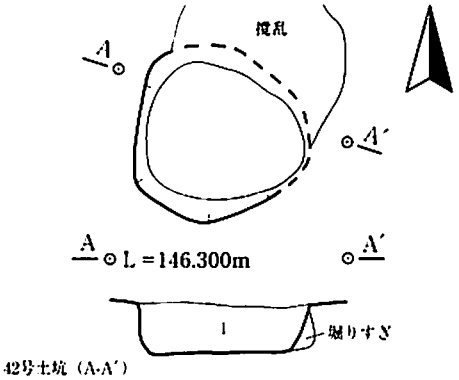
44．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト しまりやや弱い 地山ブロック少量。炭化物微量。



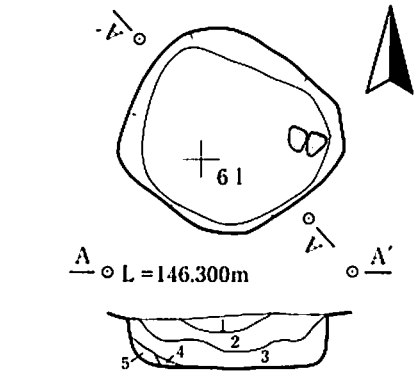
第37図　土坑（11）38号土坑



41号土坑・29号焼土（A-A′・B-B′）
1～2層 29号焼土・3～4層 41号土坑
1．5YR4/8 赤褐色 シルト 焼土層。固くしまる。粘性なし。焼成非常に良い。
2．7.5YR4/6 褐色 粘土質シルト 焼土層。しまり・粘性あり。
焼土ブロック（径～2㎜）・白色礫（径～5㎜）極微量。焼成良い。
3．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山がブロック少量。
焼土ブロック（径～3㎜）・炭化物（径～5㎜）極微量。白色礫（径～1㎝）少量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。
焼土ブロック（径～2㎜）・炭化物（径～3㎜）・白色礫（径～5㎜） 極微量。

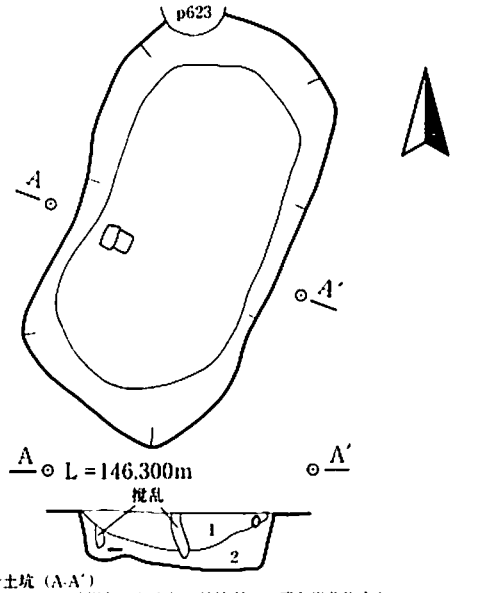


42号土坑（A-A′）
1． 10YR3/3 暗褐色 しまりややあり。粘性弱い。地山ブロック含む。

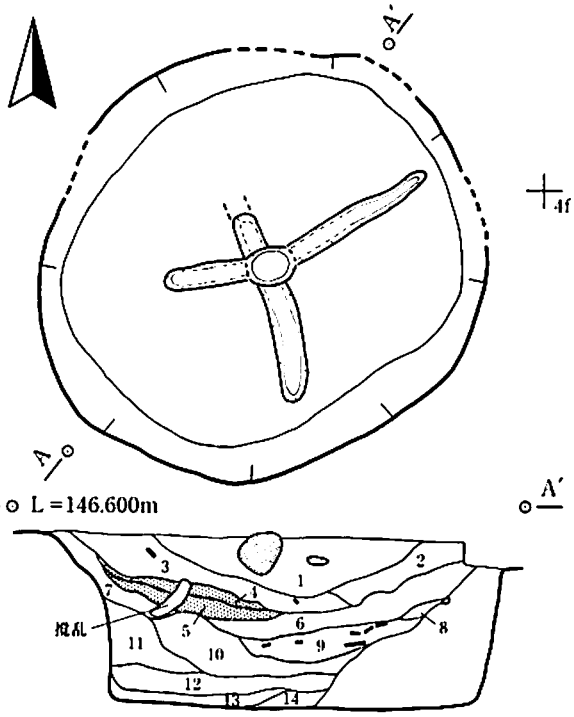


44号土坑（A-A′）
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。
砂・礫（径～5㎝）を極微量含む。
2．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性強い。
炭化物（径～5㎜）極微量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性強い。
地山砂をやや多量。炭化物（径～5㎜）極微量。
4．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性強い。地山砂少量。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性強い。地山を多量。

0 1：40 2m

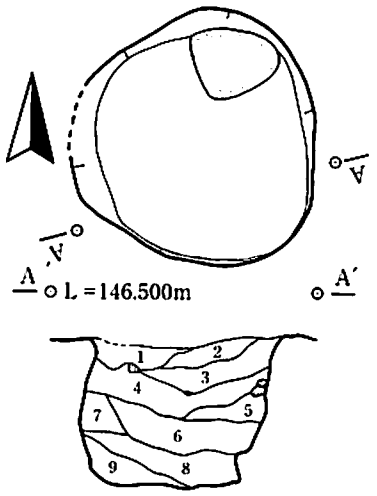


43号土坑（A-A′）
1．10YR3/3 暗褐色 しまり、粘性弱い。礫と炭化物含む。
2．10YR3/4 暗褐色 しまり、粘性弱い。明黄褐色ブロック・土器片含む。

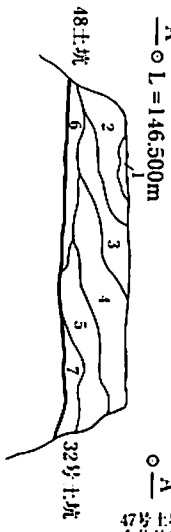


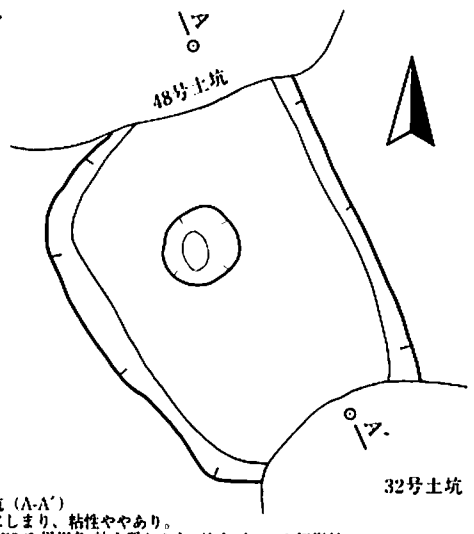
45号土坑（A-A′）
1．10YR3/2 黒褐色 シルト しまりややあり。粘性やや弱い。
明黄褐色ブロック・白小礫少量。炭化物・焼土ブロック微量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。
明黄褐色ブロック少量。炭化物・焼土ブロック少量。
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 2層に似るが炭化物・焼土ブロック多い。
4．5YR4/8 赤褐色 粘土質シルト しまり、粘性やや弱い。焼土（ブロック？）層。
炭化物含まない。10YR2/2 黒褐色シルト極微量（草木撹乱か？）。
5．5YR4/6 赤褐色 粘土質シルト しまり、粘性やや弱い。4層に似る。
6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。
3層に似るがやや炭化物・焼土ブロック多い。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。
明黄褐色ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。
地山ブロック多量。壁崩落土？
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。
6層より炭化物・焼土ブロック多い。遺物多く含む。
10．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。粘性ややあり。
地山ブロック多量。炭化物・焼土ブロック極微量。本層以下土位層よりやや明るい。
11．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。
地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
12．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック多量。
13．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック極微量。
14．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。

第38図　土坑（12）41～45号土坑・29号焼土

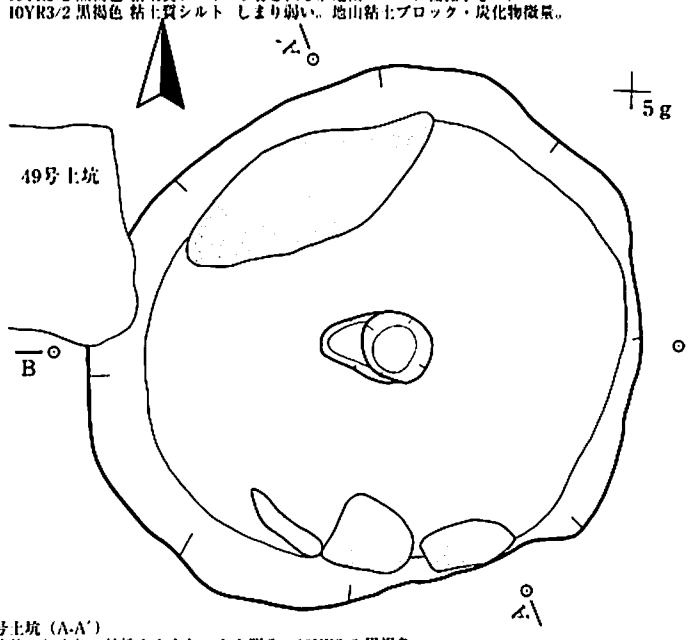


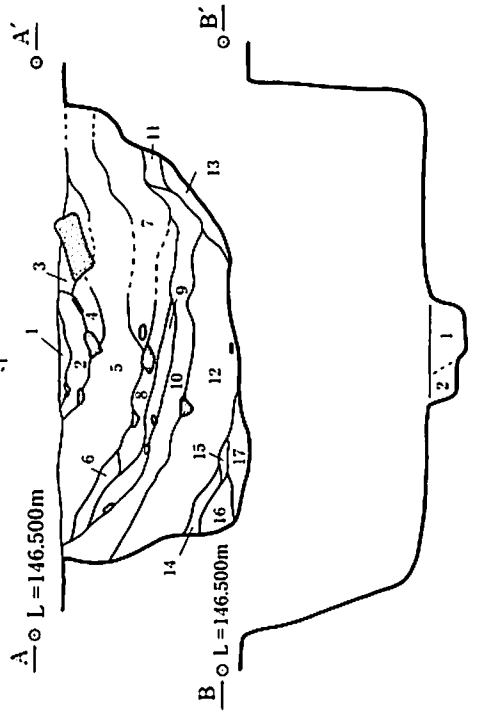
46号土坑（A-A'）
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり、粘性ややあり。地山ブロック少量、炭化物微量。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト やや粘性あり。
　1層に似るが地山ブロック・炭化物極微量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。やや粘性あり。
　上・下面=地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりやや弱い。やや粘性あり。
　地山ブロック極微量。炭化物微量。
5．やや粘土質の地山ブロック層
6．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。やや粘性あり。
　地山（やや砂質）ブロック全体（径～5cm）。
7．地山ブロック層　5層より明るく黄味強い。やや砂質。
8．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト　6層と似るが地山ブロック粒径小さい。
9．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山粘土ブロック・炭化物微量。





47号土坑（A-A'）
全体的にしまり、粘性ややあり。
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック極微量。
2．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック細かく（径～2㎜）少量。
3．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック細かく（径～2㎜）微量。
4．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック（径～1cm）少量。
　炭化物・焼土ブロック極微量。遺物含む。
5．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック4層より多い（径～1cm）。
　炭化物・焼土ブロック極微量。
6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量（径～1cm）。
　炭化物・焼土ブロック極微量。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック極微量。



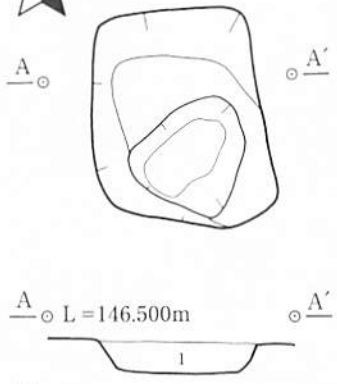


48号土坑（A-A'）
全体的にしまり、粘性ややあり。やや明るい10YR2/2 黒褐色。
1．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。
2．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。黒褐色土の多い層よりややしまっているか？
3．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック細かく微量。
　他層よりややしまり弱い。
4．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 5層より炭化物・焼土ブロック多く、粒径大きい（径～1cm）。
5．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物・焼土ブロック微量。
6．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 5層に似るが地山ブロック多い。
7．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 6層に似る。
8．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック層。2層よりやや砂質で主体土多い。しまりも弱い。
9．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・焼土ブロック含む。炭化物少量。しまり弱い。
10．10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 固くしまりきれいな層。炭化物極微量。
11．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり弱い。地山ブロック層。やや砂質。
　10YR3/2 黒褐色粘土質シルト少量。
12．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。炭化物5層より少ない。
13．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 11層と似るが地山ブロック少ない。
14．13層に似る。
15．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 12層に似るが地山ブロックやや少なく、しまりは12層よりある。
16．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト 14層より地山ブロック少量。
17．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまりあり。地山ブロック層。
　10YR3/2 黒褐色粘土質シルトブロック少量。

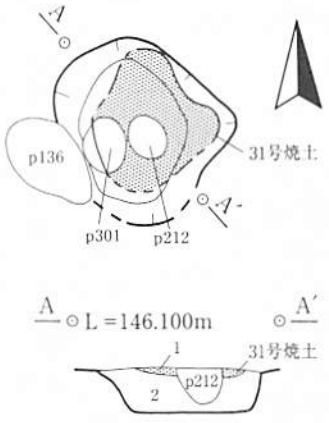
48号土坑（B-B'）
1．　10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック多量。
2．　10YR2/2 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物微量。

0　1：40　2m

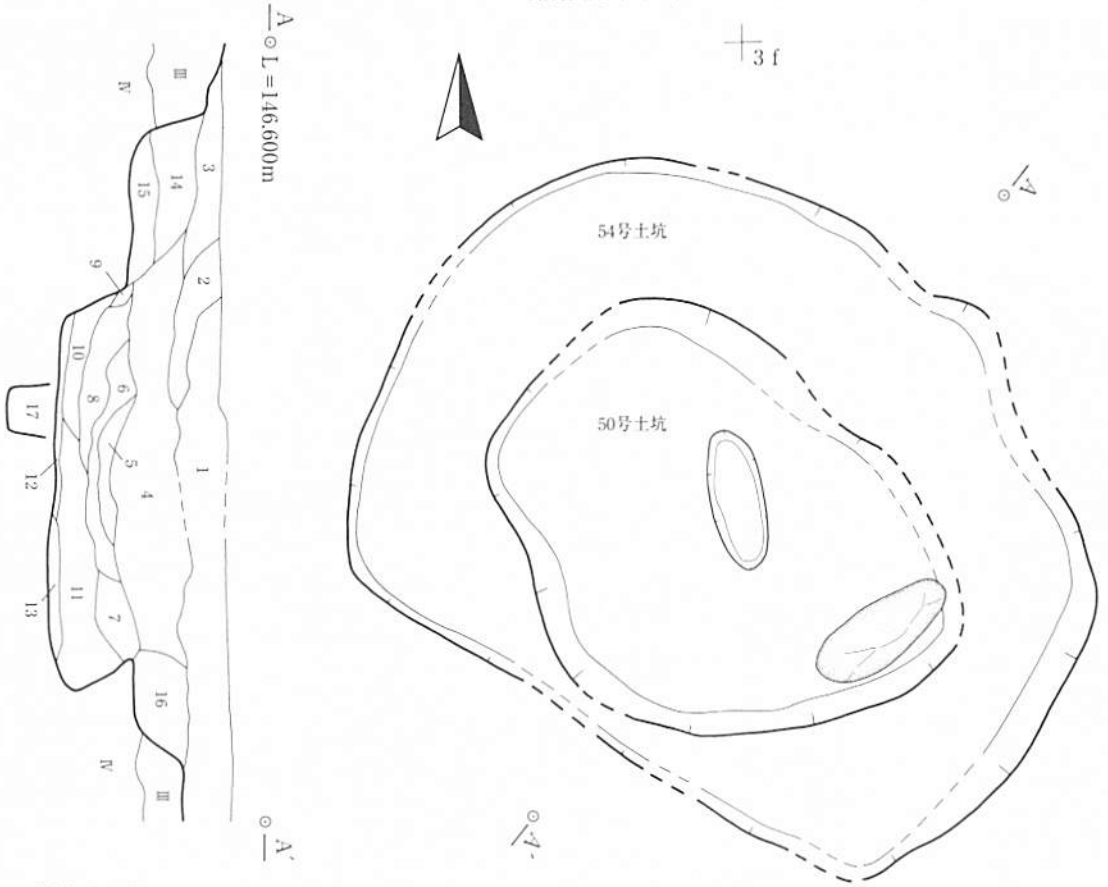
第39図　土坑（13）46～48号土坑



49号土坑（A-A′）
1．10YR3/2 黒褐色 粘土質シルト しまり，粘性ややあり。
明黄褐色ブロック・炭化物極微量。



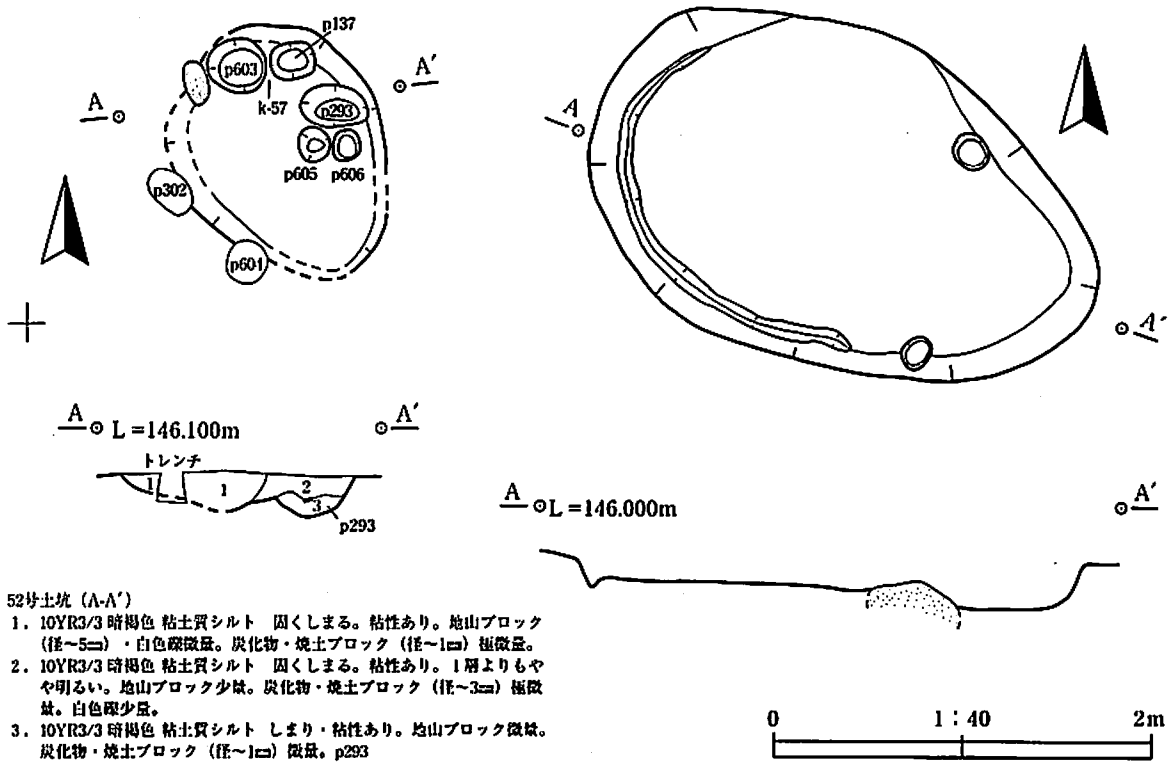
51号土坑・31号焼土（A-A′）
1．5YR3/4 暗赤褐色 粘土質シルト 焼土層。固くしまる。粘性あり。
炭化物（径～2mm）・焼土ブロック（径～1mm）・白色礫（径～3mm）ごく微量。焼成ふつう。
31号焼土
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～1cm）微量。
炭化物（径～3mm）・焼土ブロック（径～3mm）・白色礫（径～3mm）極微量。51号土坑



50・54号土坑（A-A′）
1～3層 しまりやや弱い。粘性ややあり。その他しまり、粘性ややあり。
1．10YR2/2 黒褐色 シルト 炭化物少量。下部に多い。
2．10YR2/3 黒褐色 シルト 下面に明黄褐色火山灰でブロック入る（径～10cm）。
炭化物微量。
3．10YR2/3 黒褐色 シルト 1層と似るがやや明るい。
4．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック・明黄褐色ブロック微量。
炭化物・焼土ブロック極微量。他層よりしまりやや強い。
5．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。炭化物極微量。
6．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 4層に似るがやや暗く，しまりも弱い。
7．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック少量。焼土ブロック微量。
8．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 7層と似るが地山ブロックやや多く明るい。
9．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。
炭化物極微量。15層とよく似る。崩落層？
10．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック・炭化物（径～1cm）少量。
11．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 地山ブロック全体。
炭化物微量。10層より明るい。
12．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 地山ブロック微量。炭化物10層より多い。
13．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 12層よりやや明るく炭化物含まない。
14．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 4層と似るがやや明黄褐色ブロック多いか。
15．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト 9層と似る。
16．10YR2/3 黒褐色 粘土質シルト 4層と似るが混ざりものやや少なくしまり強いか。
17．10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 地山ブロック（砂質）含む。

0 1：40 2m

第40図 土坑（14）49～51・54号土坑・31号焼土



52号土坑（A-A′）

1．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト　固くしまる。粘性あり。地山ブロック（径～5㎝）・白色礫微量。炭化物・焼土ブロック（径～1㎝）極微量。
2．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト　固くしまる。粘性あり。1層よりもやや明るい。地山ブロック少量。炭化物・焼土ブロック（径～3㎝）極微量。白色礫少量。
3．10YR3/3 暗褐色 粘土質シルト　しまり・粘性あり。地山ブロック微量。炭化物・焼土ブロック（径～1㎝）微量。p293

第41図　土坑（15）52・53・55号土坑

表3　柱穴一覧（1）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
1	5 i	145.950	10YR3/2 黒褐色シルト			微量			
2	5 i	145.872	10YR2/1 黒色シルト						底面に礫あり
3	5 i	146.020	10YR3/1 黒褐色粘シル						
4	5 i	145.675	10YR3/2 黒褐色シルト		極微	極微	△		
5	5 h	146.034	10YR3/2 黒褐色粘シル						
6	5 h	146.027	10YR3/2 黒褐色粘シル						
7	5 h	145.994	10YR3/2 黒褐色粘シル						
8	5 h	145.884	10YR3/2 黒褐色粘シル						
9	*	0.0	-						
10	4 h	145.947	10YR3/2 黒褐色粘シル						
11	4 h	145.895	10YR3/2 黒褐色粘シル						
12	4 h	145.645	10YR3/1 黒褐色シルト	微量					
13	*	0.0	-						
14	4 h	145.865	10YR3/3 暗褐色シルト						
15	4 g	145.880	10YR2/2 黒褐色シルト		極微	極微		>28号土坑	
16	4 h	146.086	10YR2/2 黒褐色シルト	やや多		極微	△		
17	*	0.0	-						
18	4 h	146.139	10YR2/1 黒色粘シル	微量	極微			=4号住	
19	6 g	146.336	10YR3/2 黒褐色粘シル						
20	6 g	145.961	10YR3/2 黒褐色シルト	含む					
21	6 g	146.308	10YR3/2 黒褐色粘シル						
22	6 g	146.334	10YR3/2 黒褐色粘シル						
23	6 g	146.110	10YR3/1 黒褐色粘シル		極微				
24	6 g	146.211	10YR3/2 黒褐色粘シル		極微		△		
25	5 g	146.139	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
26	6 i	146.075	10YR2/2 黒褐色粘シル				△		
27	6 h	146.002	10YR2/2 黒褐色粘シル						
28	6 h	146.026	10YR3/2 黒褐色粘シル						底面に礫
29	6 i	146.130	10YR3/2 黒褐色粘シル						
30	6 h	146.147	10YR3/2 黒褐色粘シル						
31	6 h	146.325	10YR3/2 黒褐色粘シル						
32	*	0.0	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微					
33	5 h	145.932	10YR2/1 黒色	極微					
34	5 h	145.931	10YR3/2 黒褐色粘シル						
35	5 h	146.167	10YR3/2 黒褐色粘シル						
36	5 h	146.112	10YR3/3 黒褐色粘シル						
37	5 h	146.082	10YR3/4 黒褐色粘シル		極微				
38	5 h	145.952	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	極微				
39	5 h	145.934	10YR2/2 黒褐色粘シル						
40	6 h	0.0	10YR3/2 黒褐色粘シル	含む					
41	6 h	146.140	10YR3/2 黒褐色粘シル		極微				
42	6 h	146.199	10YR3/2 黒褐色粘シル						
43	5 h	146.098	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
44	6 h	146.130	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微				
45	6 h	146.166	10YR2/3 黒褐色粘シル		極微				

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　=帰属遺構　<新　>旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（2）

番号	位置	底面標高(m)	埋　　土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備　　考
46	5 h	145.983	10YR3/2 黒褐色粘シル		極微	極微	△	＝4号住	
47	5 h	146.224	10YR3/2 黒褐色粘シル						
48	5 e	146.499	10YR3/3 暗褐色粘シル						
49	5 e	146.563	10YR3/3 暗褐色粘シル	極微	極微				
50	5 e	146.456	10YR3/2 黒褐色粘シル		極微	極微			
51	5 e	146.606	10YR3/2 黒褐色粘シル		極微				
52	*	0.0	10YR3/2 黒褐色粘シル						
53	6 e	146.477	10YR3/2 黒褐色粘シル						
54	6 e	146.292	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量	極微		△		
55	5 d	146.497	10YR2/2 黒褐色粘シル				△		
56	4 d	146.508	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	極微		d-77		第86図・写真図版68
57	5 d	146.021	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量			△・d-50		
58	4 d	146.506	10YR2/1 黒色粘シル						
59	4 d	146.472	10YR1.7/1 黒色シルト						
60	4 c	146.052	10YR2/2 黒褐色シルト	極微	微量	微量			p57よりやや黒い。
61	5 d	146.154	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			p57に似る。
62	5 c	146.504	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微		△		
63	5 c	146.483	10YR2/1 黒色シルト				△		
64	4 c	146.458	10YR2/3 黒褐色粘シル						p79と似る。
65	5 d	146.191	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量	微量	微量			
66	5 c	146.295	10YR2/2 黒褐色粘シル		微量		△		
67	5 c	146.078	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量		320		第66図・写真図版44
68	5 c	146.194	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p67と似る
69	5 c	146.333	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p67と似る
70	5 c	146.492	10YR2/2 黒褐色粘シル		微量				p66と似る
71	6 d	146.472	10YR2/2 黒褐色粘シル		含む				
72	6 d	146.377	10YR3/2 黒褐色シルト						
73	5 d	146.170	10YR3/3 暗褐色シルト	微量					
74	*	0.0	10YR3/2 黒褐色シルト	多量					
75	5 d	146.254	10YR1.7/1 黒色シルト					＞3号土坑	
76	5 d	146.132	5dA－A'					＜3号土坑	
77	5 c	146.382	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
78	5 c	146.364	10YR1.7/1 黒色シルト						
79	5 c	146.210	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					p77と似る
80	5 c	146.460	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					p77と似る
81	5 c	146.309	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	微量				
82	5 c	146.444	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					p77と似る
83	5 c	146.191	5dB－B'				321～322		第66図・写真図版44
84	6 d	146.378	10YR3/2 黒褐色シルト					＞6号土坑	
85	6 d	146.196	10YR3/2 黒褐色シルト	含む				＞6号土坑	
86	5 e	146.080							
87	5 e	146.280	3・4号焼土A－A'					＞3号焼土	
88	5 e	146.200	3・4・6号焼土B－B'					＞3号焼土	
89	6 e	145.988	3・4号焼土C－C'				△		
90	5 e	146.594	10YR3/2 黒褐色粘シル		微量		△		

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（3）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
91	5 e	146.015	10YR3/2 黒褐色粘シル		少量	微量	323		第66図・写真図版44
92	5 e	146.345	10YR3/2 黒褐色シルト		極微		a-22		写真図版58
93	5 e	0.0	10YR3/2 黒褐色粘シル		微量				p91に似る
94	6 d	146.460	10YR3/3 暗褐色		微量				
95	5 d	146.285	10YR3/3 暗褐色		微量				p94に似る
96	5 d	146.127	10YR3/3 暗褐色		微量				p94に似る
97	5 d	146.235	10YR3/3 暗褐色		微量				
98	5 d	146.543	10YR3/3 暗褐色粘シル						
99	5 d	146.370	10YR3/3 暗褐色		微量				
100	6 d	145.932	6号土坑A－A'					＞6号土坑	
101	5 e	146.482	10YR3/3 暗褐色粘シル	極微					
102	6 e	146.178	10YR3/3 暗褐色粘シル		極微				
103	6 f	146.414	10YR2/3 黒褐色粘シル	含む					
104	5 d	146.410	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	少量		△		
105	*	0.0	10YR2/2 黒褐色粘シル		微量		324~325·h-18		第66図・写真図版44·76
106	4 d	146.212	10YR2/2 黒褐色粘シル		微量	微量	△·h-77	＞9号土坑	写真図版78
107	4 d	146.496	10YR2/3 黒褐色粘シル						
108	4 d	146.191	10YR2/2 黒褐色シルト	微量	微量				
109	4 d	146.049	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量		326·457		第66·79図・写図44·57
110	4 d	146.314	10YR2/2 黒褐色	極微	極微				
111	4 d	146.279	10YR2/3 黒褐色粘シル		微量				
112	5 e	146.155	10YR3/2 黒褐色シルト	少量	少量	少量			
113	5 e	146.145	10YR2/3 黒褐色シルト	少量	微量				
114	4 d	146.286	10YR2/1 黒色シルト	含む			△		
115	4 d	145.975	10YR2/2 黒褐色シルト	微量		微量	△		
116	4 d	146.183	10YR2/2 黒褐色シルト	微量	極微	極微			
117	4 d	0.0	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
118	4 d	146.192	－						
119	3 d	145.891	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微				
120	3 d	145.816	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微				119に似る
121	3 d	145.994	10YR2/3 黒褐色粘シル		微量				
122	*	0.0	10YR2/2 黒褐色シルト		微量				
123	*	0.0	10YR2/2 黒褐色シルト	微量	微量				122に似る
124	*	0.0	10YR3/3 暗褐色シルト		微量				
125	4 e	146.279	10YR2/3 黒褐色シルト	微量			△		
126	4 e	146.194	10YR2/3 黒褐色粘シル				△		
127	3 e	145.972	10YR2/2 黒褐色シルト	少量	微量	微量			
128	6 e	146.084	－						
129	3 h	145.935	10YR3/2 黒褐色粘シル						
130	3 h	145.678	10YR2/2 黒褐色シルト			微量		≠29号土坑	
131	3 h	145.622	10YR2/1 黒色シルト	微量	極微	極微	330·331·a-23		第67図・写真図版44·58
132	4 h	145.824	10YR2/1 黒色シルト	少量					
133	4 i	145.397	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	微量		△·h-74		第91図・写真図版78
134	4 i	145.772	10YR2/1 黒色シルト	微量					礫はいる
135	3 h	145.784	10YR2/1 黒色シルト	微量				＞10号焼土	

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（4）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
136	3 h	145.740	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量			△	≠51号土坑	
137	3 i	145.631	10YR2/2 黒褐色シルト	微量		極微	327		第66図・写真図版44
138	3 g	145.585	10YR2/1 黒色シルト			極微			
139	6 f	146.427	10YR3/2 黒褐色粘シル		微量				
140	5 f	146.283	10YR2/3 黒褐色シルト	微量					
141	5 f	146.213	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
142	5 h	145.908	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量		極微		＝4号住	
143	5 h	146.160	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量				＝4号住	
144	5 h	146.189	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微			＝4号住	
145	5 g	146.213	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微			＝4号住	
146	5 g	146.081	10YR2/3 黒褐色粘シル		極微			＝4号住	
147	5 g	146.194	10YR2/2 黒褐色粘シル					＝4号住	
148	5 g	146.250	10YR2/3 黒褐色粘シル			極微			
149	5 g	146.220	10YR2/2 黒褐色シルト					＝4号住	
150	6 g	146.096	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微	極微			
151	*	0.0	10YR3/1 黒褐色粘シル	極微					
152	6 g	146.237	10YR3/4 暗褐色粘シル						
153	6 h	145.835	10YR2/2 黒褐色シルト						
154	6 h	145.999	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					柱痕・底面に礫あり
155	6 h	146.161	10YR3/2 黒褐色シルト	微量	極微				
156	5 h	145.997	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微			△		
157	6 h	146.183	25号土坑A－A'					＞25号土坑	
158	3 h	145.500	29号土坑A－A'					＝29号土坑	断面図45より
159	3 h	145.613	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量			332・333		柱痕・第67図・写図45
160	5 g	145.910	25号焼土F－F'					＞25号焼土	
161	4 i	145.636	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量		極微	a-24		写真図版58
162	6 i	145.792	10YR3/3 暗褐色粘シル	やや多量				＜33号土坑・p163	
163	6 i	145.771	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量		極微		＞p162	
164	5 g	146.206	26号焼土h－h'					＞p26焼土	
165	4 j	145.122	34号土坑A－A'					＝34土坑	
166	5 i	145.190	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	微量	328・d-25	＞30焼土	第66・84図・写図44・65
167	5 i	145.875	p166似る						
168	5 i	146.028	10YR2/1 黒色粘シル				329		第66図・写真図版44
169	*	0.0	－						
170	5 i	145.906	10YR2/3 黒褐色粘シル						
171	3 e	145.588	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量		微量		＝1号住	
172	3 e	145.687	10YR2/2 黒褐色粘シル		極微	極微		＝1号住	
173	3 e	145.696	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量		＝1号住	
174	3 e	145.845	10YR2/2 黒褐色粘シル		少量	少量		＝1号住	
175	2 e	145.645	10YR2/2 黒褐色粘シル		少量	少量		＝1号住	p174に似る
176	4 i	145.816	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量			△		
177	4 i	145.277	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	極微	極微			
178	3 i	145.698	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	極微	極微			
179	3 i	145.400	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
180	3 i	145.454	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	極微	極微			

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（5）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
181	3 i	145.543	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	極微				
182	3 i	145.531	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	極微				
183	3 h	145.592	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
184	3 h	145.724	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p181に似る
185	3 h	145.742	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量		極微			
186	3 h	145.719	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量		極微			
187	3 h	145.777	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量		極微			p185に似る
188	3 h	145.562	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		極微			
189	3 h	145.781	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		極微			p185に似る
190	3 h	145.826	－						
191	3 e	0.0	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	少量	少量		＝1号住	
192	2 e	145.549	10YR2/2 黒褐色粘シル	やや多	微量	微量		＝1号住	
193	3 g	145.473	10YR3/2 黒褐色粘シル	多量	極微	極微		＝3号住	
194	2 g	145.639	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	極微	極微		＝3号住	
195	2 g	145.306	10YR2/2 黒褐色粘シル	多量	微量		334	＝3号住	第67図・写真図版45
196	＊	0.0	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			p138と同一	
197	3 g	145.510	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	少量		a-25	＝3号住	写真図版58
198	3 g	145.268	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量				＝3号住	
199	3 g	145.407	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	微量	微量		＝3号住	
200	3 g	145.130	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			＝3号住	
201	3 g	145.456	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量				＝3号住	
202	3 g	145.487	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微			＝3号住	
203	3 g	145.501	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量				＝3号住	p202と似る
204	3 g	145.494	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量				＝3号住	p202と似る
205	3 g	145.611	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量			＝3号住	
206	3 g	145.467	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量				＝3号住	
207	4 g	145.578	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量			＝3号住	
208	4 g	145.166	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量			＝3号住	
209	4 g	145.564	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量			＝3号住	
210	4 g	145.315	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	極微	極微		＝3号住	
211	4 g	145.549	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量				＝3号住	
212	3 i	145.670	10YR2/3 黒褐色粘シル		極微	極微		<31号焼土	
213	4 i	145.306	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微		>41号土坑	
214	4 j	145.171	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微				＝34号土坑	
215	4 j	145.605	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			
216	4 j	145.564	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			
217	4 j	145.409	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
218	4 j	145.805	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			
219	4 j	145.436	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量	△		p215に似る
220	＊	0.0	－						
221	4 j	145.667	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
222	＊	0.0	－						
223	4 j	145.684	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			p215に似る
224	4 j	145.726	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
225	4 j	145.881	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（6）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
226	5 j	145.779	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微	微量			p224に似る
227	5 j	145.708	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	極微				p217に似る
228	5 j	145.861	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
229	5 j	145.853	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			p224に似る
230	5 j	145.840	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					p228に似る
231	5 i	145.863	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					
232	4 i	145.703	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			p218に似る
233	4 i	145.700	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					p231に似る
234	4 h	145.850	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
235	*	0.0	−						
236	3 h	0.0	10YR3/3 暗褐色粘シル	多量	極微	極微			柱痕あり
237	*	0.0	−						
238	4 h	145.841	−						
239	4 i	145.806	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					p234に似る
240	4 i	145.906	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	極微	極微			
241	4 i	145.668	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	多量			
242	4 i	145.590	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					p234に似る
243	4 i	145.368	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		極微			p242に似る
244	4 i	145.615	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量		極微			
245	3 i	145.625	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
246	4 i	145.632	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
247	4 i	145.556	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			p246に似る
248	4 i	145.715	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
249	4 h	145.805	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
250	4 i	145.567	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量	微量			
251	3 e	145.365	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量			= 2号住	
252	3 e	145.911	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量			= 2号住	
253	3 e	145.796	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量			= 2号住	
254	2 e	145.688	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量			= 2号住	
255	2 d	145.415	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量				= 2号住	
256	2 d	145.445	−					= 2号住	
257	2 e	145.754	10YR2/2 黒褐色粘シル		微量				
258	5 i	145.861	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			
259	5 i	145.854	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
260	5 i	145.800	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			
261	4 i	145.328	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量	335～337		第67図・写真図版45
262	4 i	145.734	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
263	4 i	145.818	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
264	4 i	145.820	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
265	4 i	145.396	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			
266	4 j	145.414	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微		>14号焼土	
267	4 j	145.733	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			p266に似る
268	4 j	145.738	10YR3/2 黒褐色粘シル	多量	極微	極微			
269	4 j	145.668	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			
270	4 j	145.760	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量		微量			

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　=帰属遺構　<新　>旧　*新旧不明

表3　柱穴一覧（7）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
271	*	0.0	−						
272	*	0.0	−						
273	2 f	145.724	2 f B−B'						
274	2 f	145.772	2 f B−B'					=35号土坑	
275	2 e	145.406	2 f B−B'						
276	2 e	145.795	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量		△·k-172	=35号土坑	写真図版83
277	2 e	145.570	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			=35号土坑	
278	2 e	145.588	35号土坑A−A'					=35号土坑	
279	2 f	145.725	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量				=35号土坑	
280	2 f	145.722	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			=35号土坑	
281	2 e	145.634	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			=35号土坑	
282	3 e	145.410	p275　2層と似る						
283	5 h	145.773	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量	微量			柱痕あり
284	5 g	145.778	10YR3/3 暗褐色粘シル	やや多				=4・5号住	柱痕あり
285	5 g	145.873	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量		=4・5号住	
286	5 g	146.088	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量		=4・5号住	p185に似る
287	5 g	146.000	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量		=4・5号住	p185に似る
288	5 g	146.106	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量		=4・5号住	p185に似る
289	4 g	145.661	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	微量	微量		=4号住	
290	4 g	145.620	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微		=6・7号住≠28土坑	
291	5 h	145.732	10YR2/3 黒褐色粘シル		微量			=4号住	柱痕あり
292	3 i	145.531	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					
293	3 i	145.600	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量	極微	極微	△		
294	4 g	145.427	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	微量			=6・7号住	
295	4 g	145.785	10YR3/3 暗褐色粘シル	やや多				=6・7号住	
296	4 g	145.739	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	微量			=6・7号住	p294に似る
297	4 g	145.800	−					=7号住	
298	4 g	145.611	−				△	=6・7号住	
299	2 f	145.740	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
300	2 f	145.693	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量		極微			
301	3 i	145.447	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量				31号焼土	
302	3 i	145.728	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	極微				p301に似る
303	2 f	145.750	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
304	2 f	145.631	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p303に似る
305	2 g	145.729	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微				
306	2 g	145.715	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
307	2 g	145.734	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量					
308	2 g	145.675	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
309	2 g	145.690	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量					
310	2 g	145.695	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
311	2 g	145.659	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
312	2 g	145.500	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
313	2 g	145.667	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
314	3g	145.631	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量			△		
315	2 g	145.476	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　=帰属遺構　<新　>旧　≠新旧不明

表3　柱穴一覧（8）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
316	3 g	145.660	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p315に似る
317	3 g	145.757	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量		△		p315に似る
318	3 g	145.727	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				p315に似る
319	3 g	145.656	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量	微量	△		
320	3 h	145.713	-						
321	4 e	146.282	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量			△		
322	4 e	146.047	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
323	4 e	146.077	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
324	4 e	146.018	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p323に似る
325	4 e	146.000	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p324に似る
326	4 e	145.990	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
327	4 e	146.076	10YR3/2 黒褐色粘シル	やや多					
328	4 e	146.009	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
329	3 e	146.061	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	極微	極微			
330	*	0.0	-						
331	4 e	145.918	10YR3/2 黒褐色粘シル	やや多					
332	3 d	146.146	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
333	3 d	146.096	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					p332に似る
334	3 e	0.0	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					p332に似る
335	3 d	146.158	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					p332に似る
336	3 d	146.065	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微		極微			
337	3 d	145.901	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微		極微			p336に似る
338	3 d	145.949	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量		極微			
339	3 d	145.915	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量		極微			
340	3 e	145.937	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
341	3 h	145.692	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微		極微			
342	3 h	145.841	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微		極微			p341と似る
343	2 g	145.729	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量		極微			
344	2 g	145.518	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量				
345	2 f	145.284	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
346	2 f	145.580	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
347	3 f	145.715	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
348	4 e	146.148	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
349	4 f	145.702	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量				= 7 号住	先が細くなる
350	4 g	145.620	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量				= 7 号住	先が細くなる
351	3 d	146.035	10YR3/3 暗褐色粘シル	やや多					
352	3 e	145.876	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量					
353	3 e	145.745	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
354	4 d	146.167	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
355	3 e	145.996	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量					
356	3 e	145.904	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微					
357	4 g	145.738	10YR2/2 黒褐色粘シル						
358	4 g	145.739	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量				= 6 号住	p350と似る
359	4 g	145.573	10YR3/3 暗褐色粘シル	やや多				= 6 号住	
360	4 g	145.705	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量				= 6 号住	

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　=帰属遺構　<新　>旧　+新旧不明

表3　柱穴一覧（9）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
361	4 g	145.875	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量	微量			＝6号住＊28号土坑	
362	4 g	145.786	10YR3/3 暗褐色粘シル	多量				＝6号住	
363	4 g	145.613	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微	極微			＝6号住	
364	4 g	145.724	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微	極微			＝6号住	
365	4 g	145.650	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量				＝5・6号住	
366	5 g	145.922	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量				＝5・6号住	
367	5 g	145.701	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量				＝5・6号住	
368	4 g	145.702	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量				＝5・6号住	
369	4 g	145.711	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量	微量	微量		＝5・6号住	
370	4 g	145.719	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量				＝6号住	p368に似る
371	4 g	145.714	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量	微量			＝5・6号住＊46号土坑	
372	5 g	145.805	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量	微量			＝4～6号住	
373	＊	0.0	－						
374	4 g	145.833	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量				＝4～6号住	
375	4 g	145.802	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	極微			＝4～6号住	
376	5 g	146.287	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
377	5 g	146.172	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
378	5 g	146.226	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p377に似る
379	5 g	146.132	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
380	5 g	146.135	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
381	4 e	145.915	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					
382	4 e	146.195	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
383	4 f	146.215	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量					p381に似る
384	4 f	146.123	10YR3/2 黒褐色粘シル	極微					
385	4 f	146.121	10YR3/1 黒褐色粘シル	微量					
386	4 f	146.166	10YR3/1 黒褐色粘シル	微量					p385に似る
387	4 f	146.160	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
388	4 f	146.152	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微					
389	4 f	146.150	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
390	4 f	146.015	10YR3/1 黒褐色粘シル	微量					
391	4 f	146.130	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微					
392	4 f	146.089	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
393	4 f	146.094	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					p392に似る
394	4 f	146.037	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
395	4 f	146.093	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
396	3 f	145.945	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
397	3 f	146.025	10YR3/1 黒褐色粘シル	少量					
398	2 f	145.740	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
399	2 f	145.815	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
400	2 f	145.729	10YR2/2 黒褐色粘シル	極微	極微	極微			
401	5 e	146.346	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
402	5 e	146.366	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量			△		p401に似る
403	5 e	146.360	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
404	5 e	146.346	10YR3/1 黒褐色粘シル	微量					
405	5 e	146.281	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微	極微				

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　＊新旧不明

表3　柱穴一覧（10）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
406	4 e	146.261	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					
407	4 f	145.942	10YR3/1 黒褐色粘シル	少量	極微				
408	4 f	145.892	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	微量		338		第67図・写真図版45
409	4 f	146.116	10YR3/1 黒褐色粘シル		極微				
410	4 f	146.093	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
411	4 f	146.120	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
412	5 f	146.257	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
413	4 f	146.221	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
414	4 f	146.041	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微			339		第67図・写真図版45
415	4 f	145.849	10YR3/1 黒褐色粘シル	少量					
416	4 d	146.250	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
417	4 d	146.250	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p416に似る
418	4 d	146.354	10YR3/1 黒褐色粘シル	微量					
419	4 d	146.405	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p416に似る
420	4 d	146.411	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p416に似る
421	4 f	146.138	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量				
422	4 f	146.247	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量					
423	4 h	145.985	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量				＝4号住	
424	5 g	145.872	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量			△	＝4号住	
425	5 h	145.972	10YR2/2 黒褐色粘シル					＝4号住	
426	5 h	145.876	10YR2/2 黒褐色粘シル					＝4号住	p425に似る
427	5 h	0.0	－				△	＝4号住	
428	5 h	145.837	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	微量			＝4号住	
429	5 h	145.947	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
430	6 g	146.178	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量				
431	5 g	146.077	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量			＝4・5号住	
432	3 e	145.865	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微					
433	3 e	145.884	10YR2/2 黒褐色粘シル	少量	微量				
434	4 d	146.205	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
435	4 d	146.017	10YR2/3 黒褐色粘シル	極微	極微	極微			
436	4 d	146.259	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量				
437	4 d	146.296	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
438	4 d	146.274	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量					
439	4 e	146.102	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量			△		
440	4 d	146.192	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					
441	4 d	146.406	10YR3/1 黒褐色粘シル	少量					
442	4 d	146.260	10YR3/1 黒褐色粘シル	少量					
443	4 d	146.364	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
444	4 d	146.325	10YR3/2 黒褐色粘シル	少量					
445	4 d	146.379	10YR3/3 暗褐色粘シル	少量					
446	4 d	146.291	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					
447	4 d	146.184	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量					p446に似る
448	4 d	146.285	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			
449	4 d	146.250	10YR3/2 黒褐色粘シル	微量	極微	極微			
450	4 d	146.335	10YR2/3 黒褐色粘シル	少量					

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　＋新旧不明

表3　柱穴一覧（11）

番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
451	5 g	145.965	10YR2/2 黒褐色粘シル	微量				＝4・5号住	
452	5 g	145.963	10YR3/3 暗褐色粘シル	微量				＝4・5号住	
453	4 h	145.916	10YR3/3 暗褐色粘シル	極微	極微			＝4号住	
454	5 e	146.289	10YR3/3 暗褐色粘シル	極微					
461	4 d	146.325	10YR2/3 黒褐色粘シル	微量	微量	微量			p448に似る
501	7 p	145.725	10YR2/3 黒褐色	含む			482		写真図版57
502	8 o	145.314	10YR3/3 暗褐色	含む	含む				
503	7 p	0.0	－				△		
504	8 p	0.0	－				340		第67図・写真図版45
505	6 l	145.702	10YR3/3 暗褐色						
506	6 l	145.655	10YR3/3 暗褐色	含む					
507	6 k	145.800	10YR3/3 暗褐色	含む					
508	5 k	145.488	10YR3/3 暗褐色						
509	5 k	145.702	10YR3/4 暗褐色	含む					
510	5 l	145.466	10YR3/2 黒褐色						
511	5 k	145.832	10YR3/4 暗褐色				△		
512	6 j	145.836	10YR3/3 暗褐色						
513	5 k	145.720	10YR3/3 暗褐色						
514	6 j	145.658	10YR3/3 暗褐色						
515	5 k	145.657	10YR3/4 暗褐色						
516	5 k	145.640	10YR3/3 暗褐色	含む			△		
517	4 k	145.607	10YR3/4 暗褐色	含む					
518	5 j	145.665	10YR3/3 暗褐色						
519	4 j	145.637	10YR3/3 暗褐色						
520	4 j	145.706	10YR3/4 暗褐色						
521	6 j	145.860	－						
601	2 g	145.189	－					＝3号住	
602	3 e	146.048	－						
603	5 d	0.0	－						
604	5 g	145.855	－					＝4・5号住	
605	5 g	146.222	－					＝4号住	
606	5 g	146.265	－					＝4号住	
607	5 g	146.113	－					＝4・5号住	
608	5 h	146.131	－					＝4号住	
609	4 f	146.082	－						
610	5 l	145.786	－						
611	5 l	145.835	－						
612	6 l	145.857	－						
613	6 l	145.773	－						
614	6 k	145.723	－					＊42号土坑	
615	6 l	145.747	－						
616	5 l	145.822	－						
617	5 l	145.835	－						
618	5 k	145.752	－						
619	5 k	145.896	－						

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　＝帰属遺構　＜新　＞旧　＊新旧不明

表3　柱穴一覧（12）

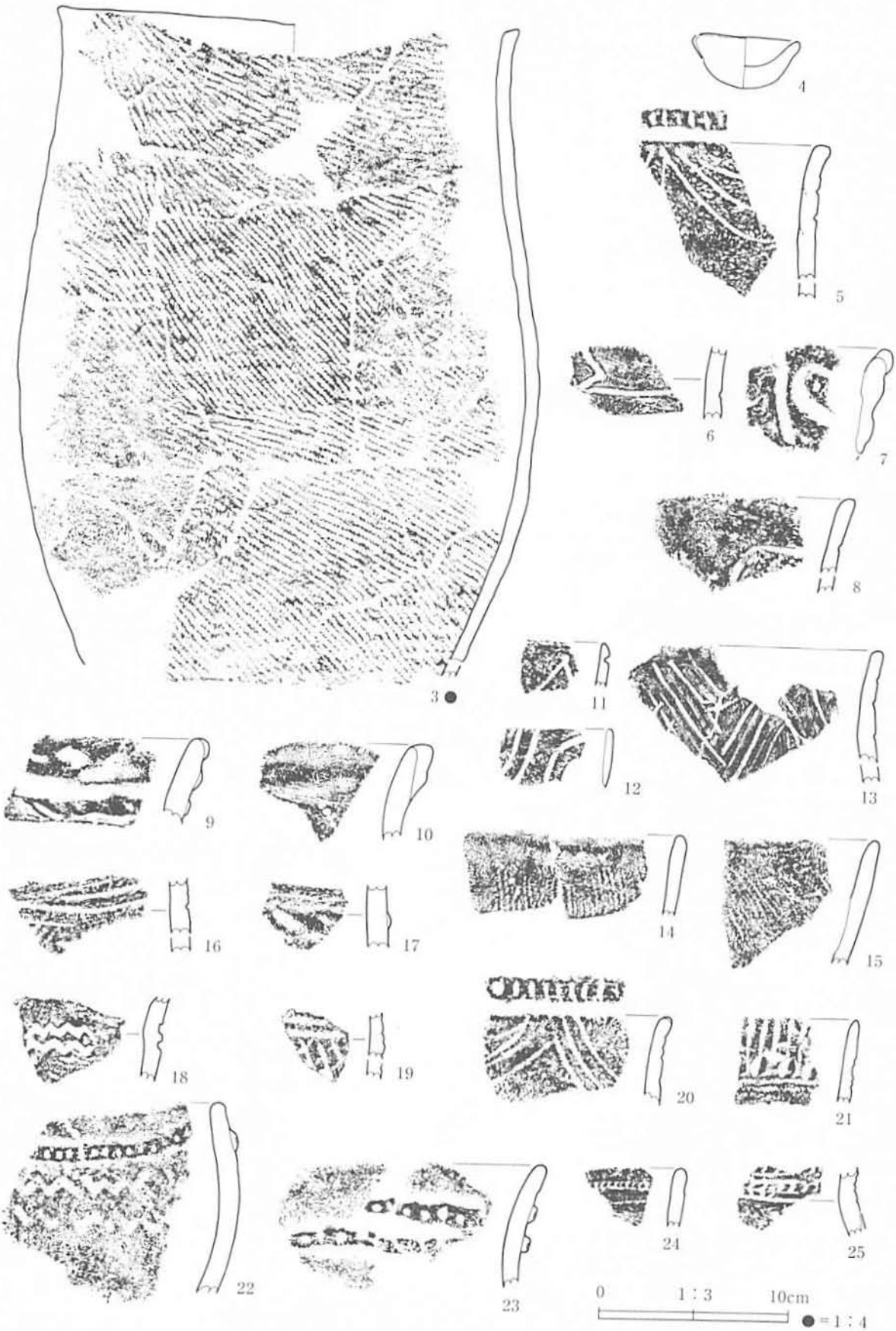
番号	位置	底面標高(m)	埋土	地山	炭	焼土	遺物 ※1	帰属遺構・重複 ※2	備考
620	5 k	145.886	-						
621	5 k	145.945	-						
622	6 k	145.914	-						
623	6 k	146.022	-						
624	6 k	145.964	-						
625	6 k	145.955	-						
626	6 k	145.944	-						
627	6 k	145.919	-						
628	6 k	145.948	-						
629	5 k	145.943	-						
630	5 k	145.925	-						
631	5 k	145.921	-						
632	5 k	145.780	-						
633	5 k	145.880	-						
634	5 k	145.754	-						
635	5 k	145.600	-						
636	5 k	145.696	-						
637	5 k	145.752	-						
638	5 k	145.753	-						
639	5 k	145.950	-						
640	5 j	145.866	-						
641	5 j	145.843	-						
642	5 j	145.916	-						
643	5 j	145.955	-						
644	5 j	145.926	-						
645	5 j	145.990	-						
646	6 j	146.005	-						
647	6 j	146.055	-						
648	5 g	146.210	-					=4・5号住	
701	5 i	145.910	-					>30号焼土	
702	3 h	145.800	9号焼土A－A'					＞9号焼土	
703	2 e	146.055	35号焼土A－A'					=35号土坑	
704	5 d	146.070	4号焼土A－A'					=4号土坑？	
705	3 f	145.910	-						

※1　△土器片あり（不掲載）　※2　=帰属遺構　<新　>旧　≠新旧不明

1号住居跡①

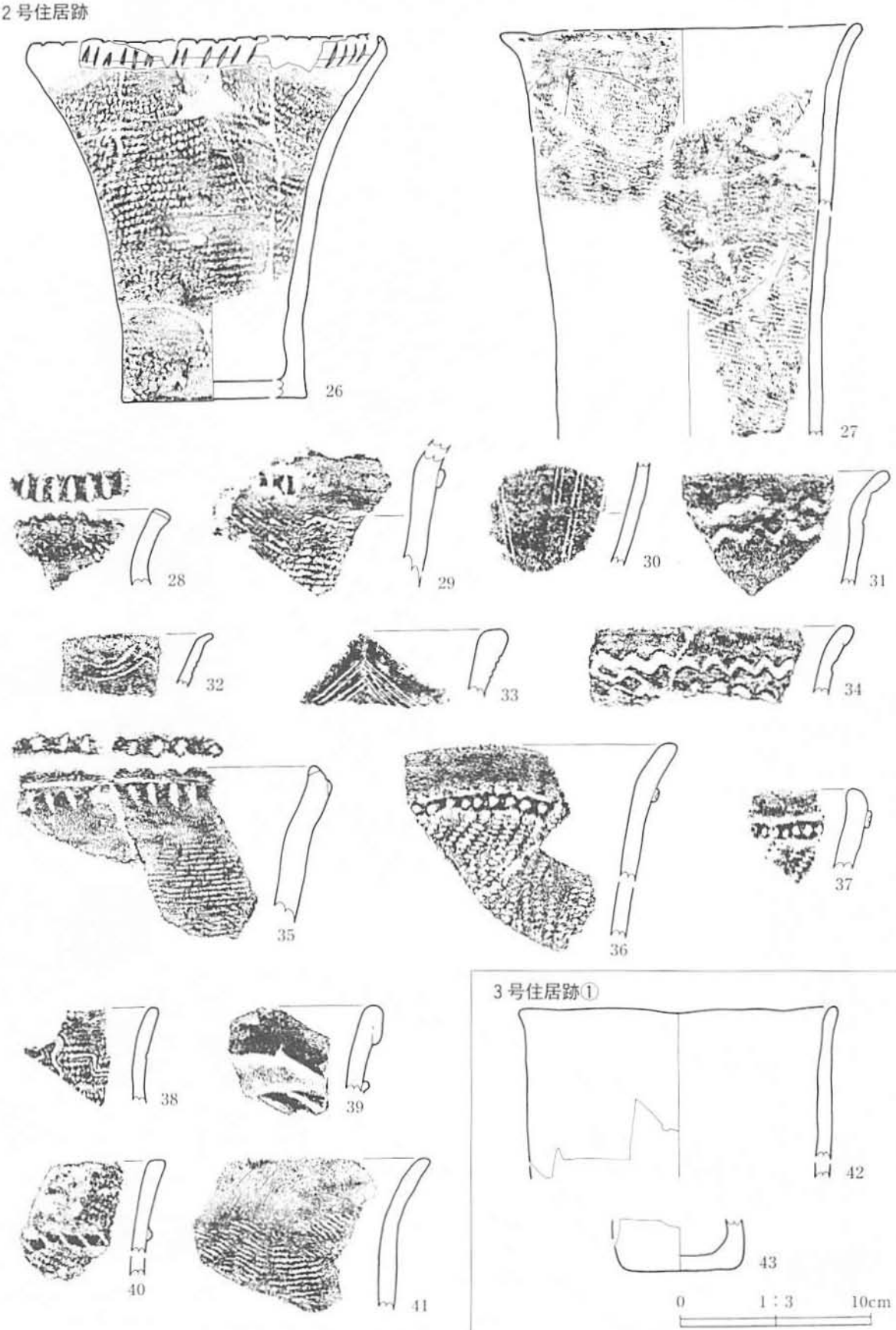
第42図　遺構内出土土器（1）　1号住居跡①

1号住居跡②



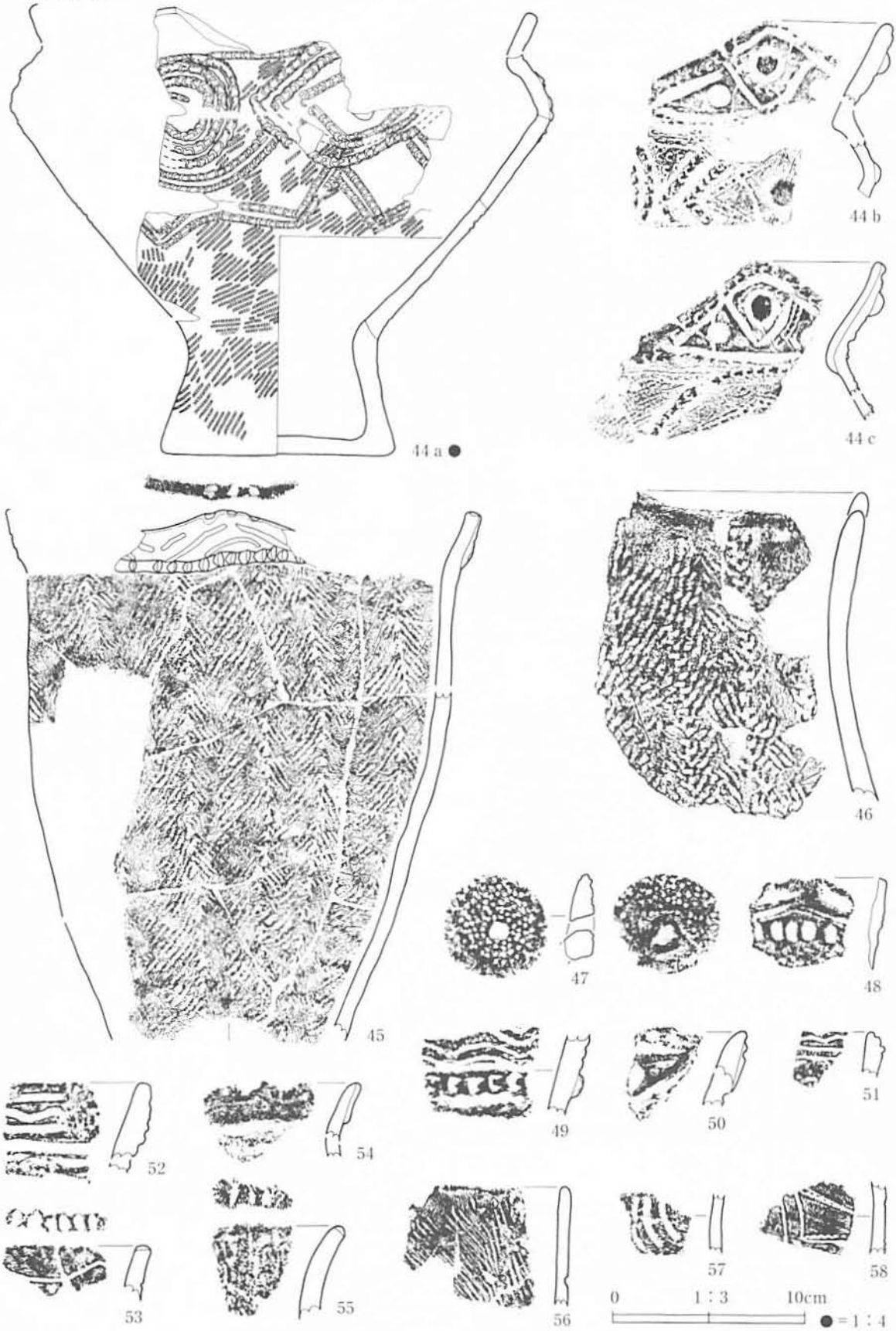
第43図　遺構内出土土器（2）　1号住居跡②

2号住居跡



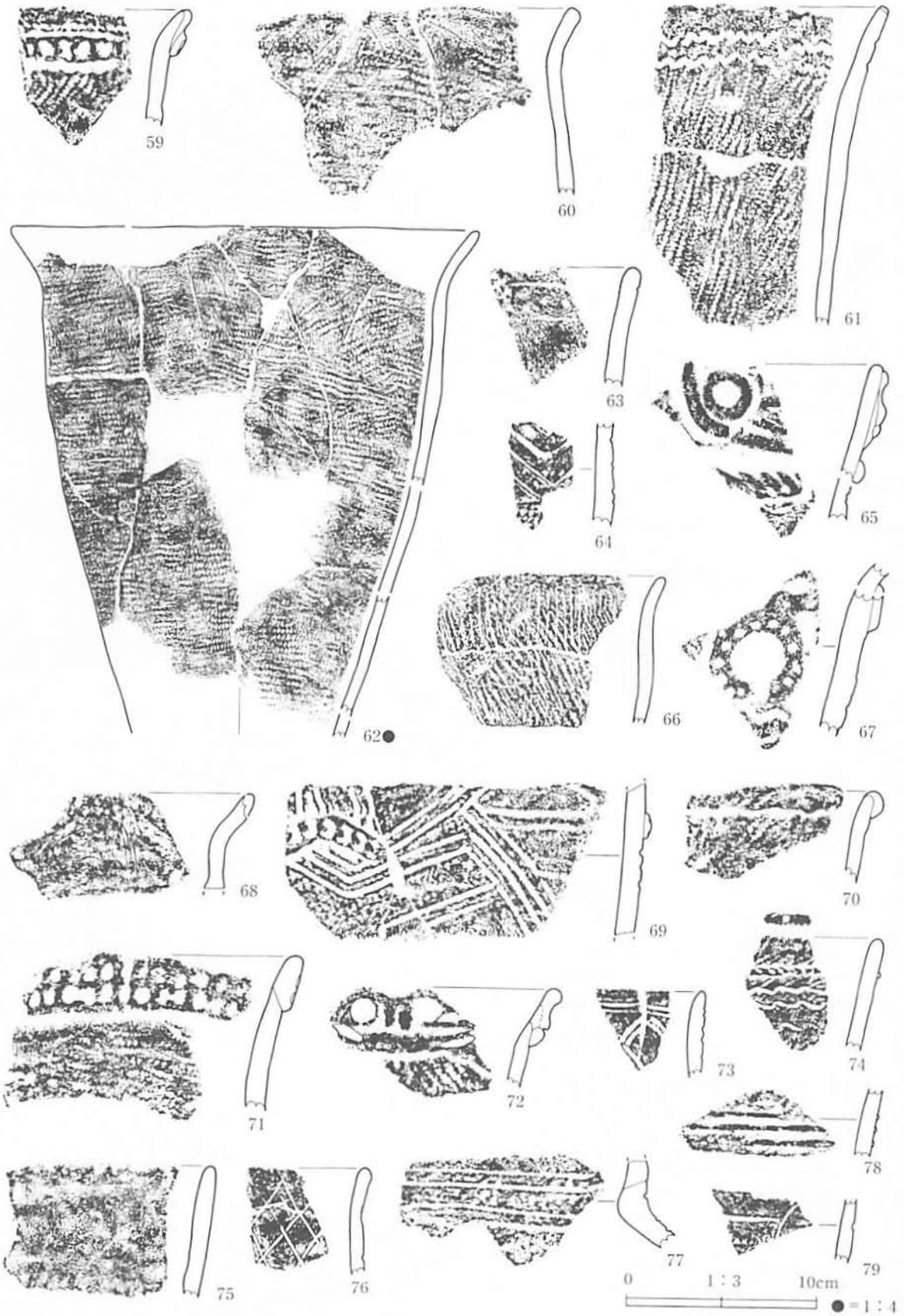
第44図　遺構内出土土器（3）　2・3号住居跡①

3号住居跡②



第45図　遺構内出土土器（4）　3号住居跡②

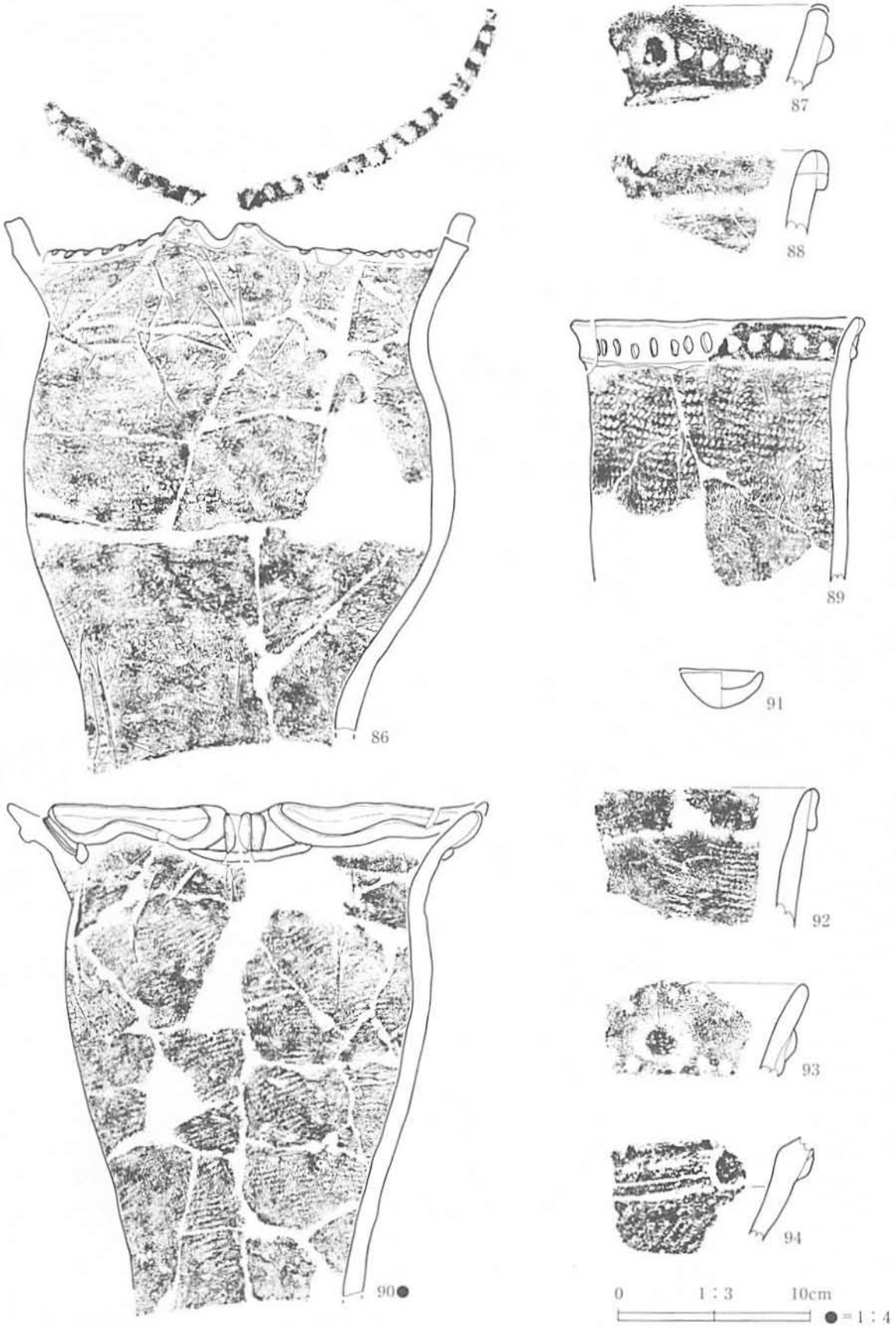
3号住居跡③



第46図　遺構内出土土器（5）　3号住居跡③

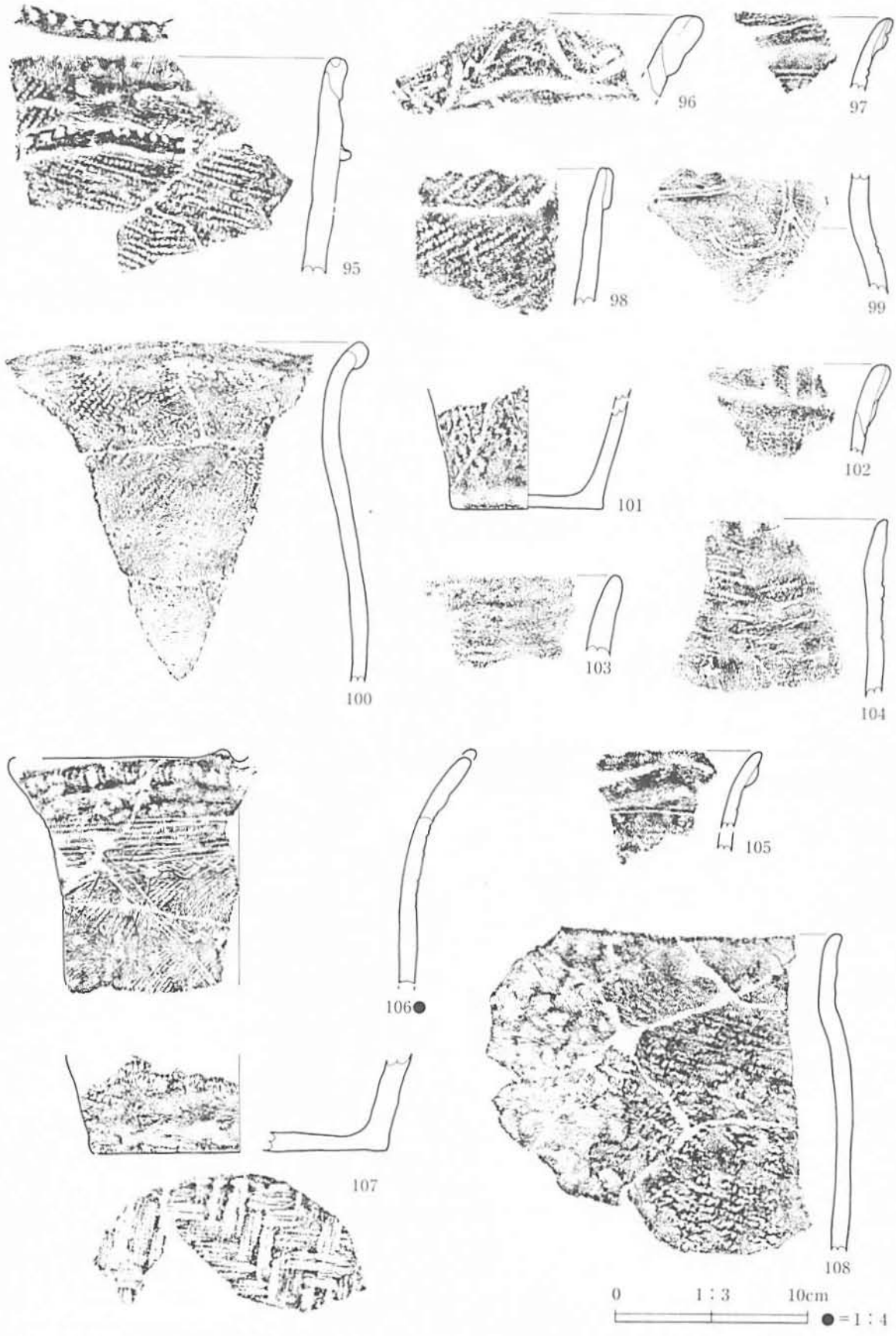
5号住居跡

第47図　遺構内出土土器（6）　5号住居跡



第48図　遺構内出土土器（7）　6 号住居跡

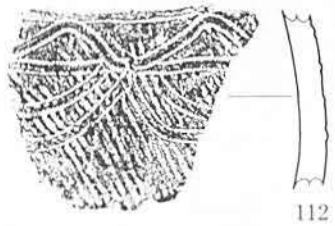
7号住居跡



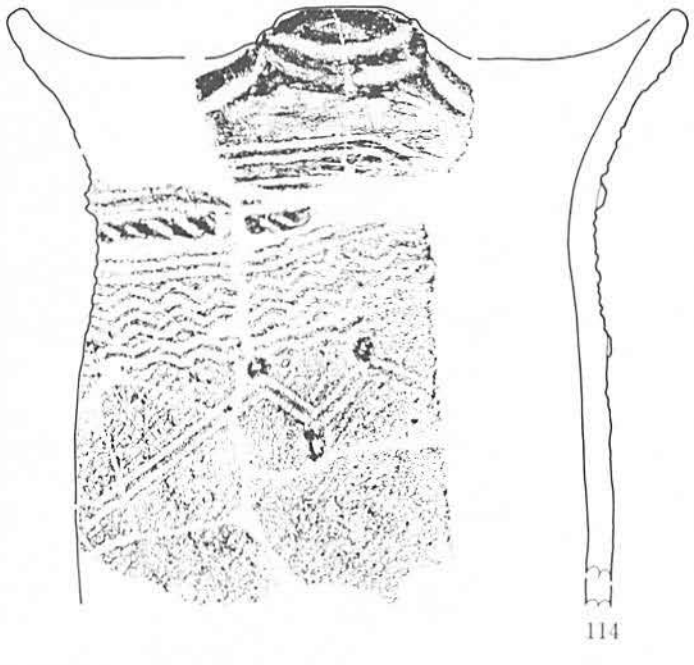
第49図　遺構内出土土器（8）　7号住居跡

4・5号住居跡

6・7号住居跡

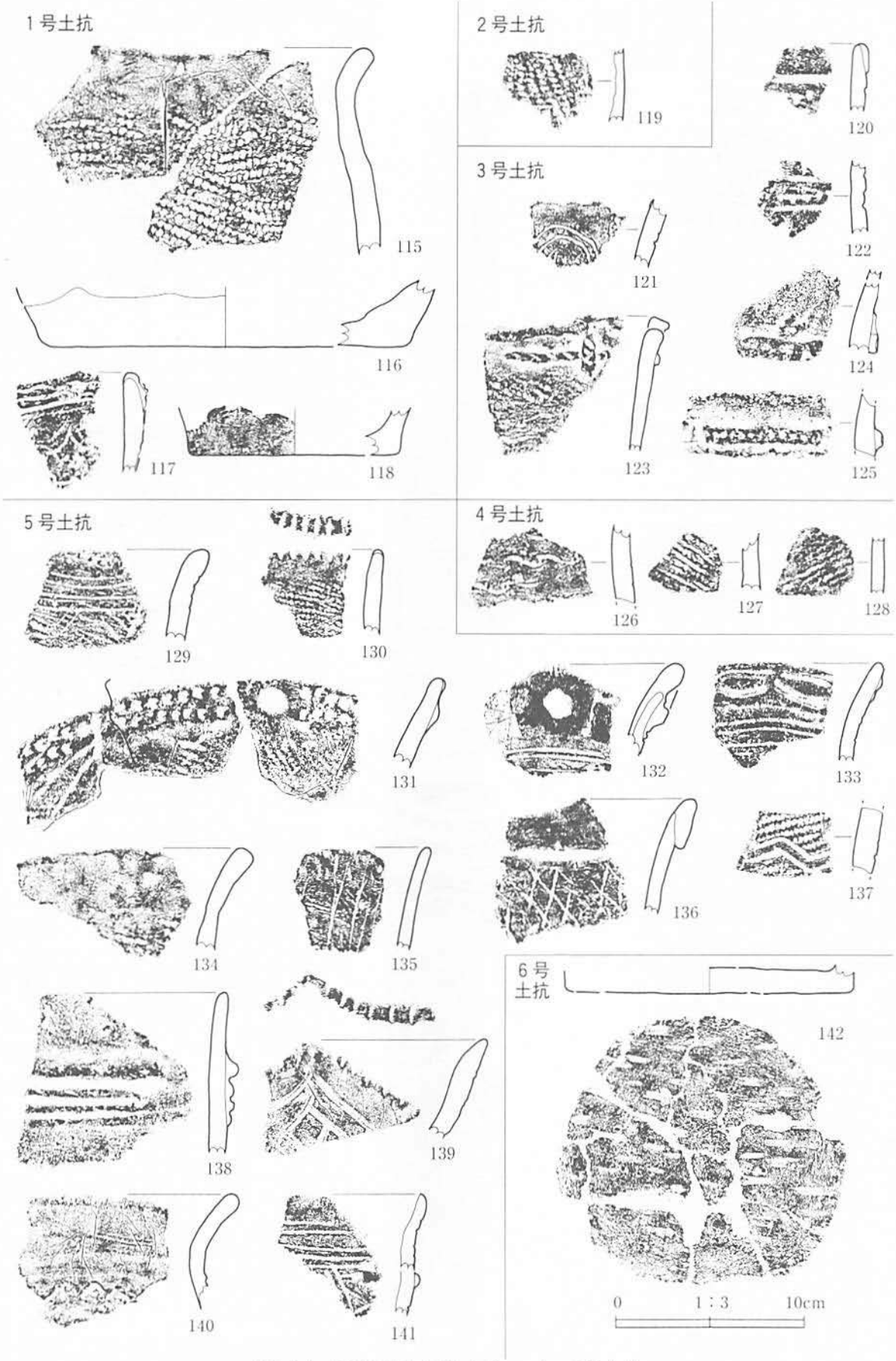


5～7号住居跡



0　1：3　10cm
●＝1：4

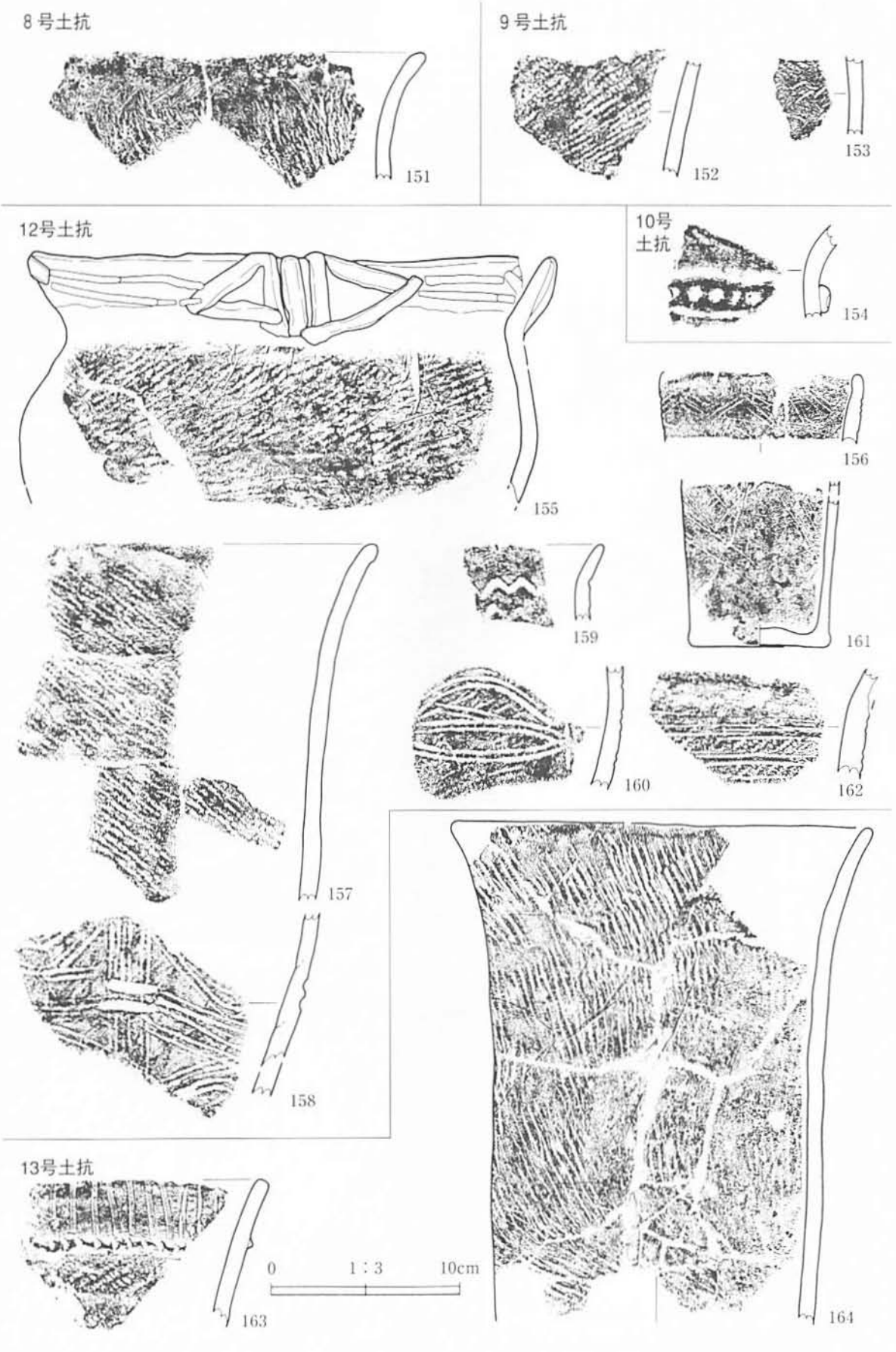
第50図　遺構内出土土器（9）　4～7号住居跡



第51図　遺構内出土土器（10）　1～6号土坑

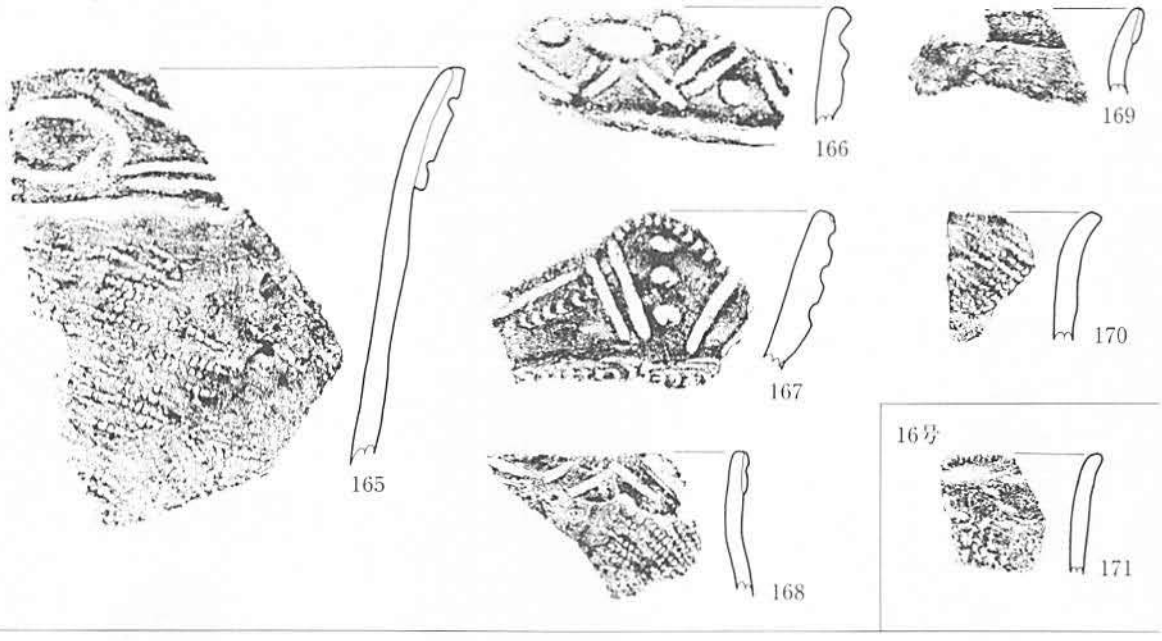
7号土抗

第52図　遺構内出土土器（11）　7号土抗

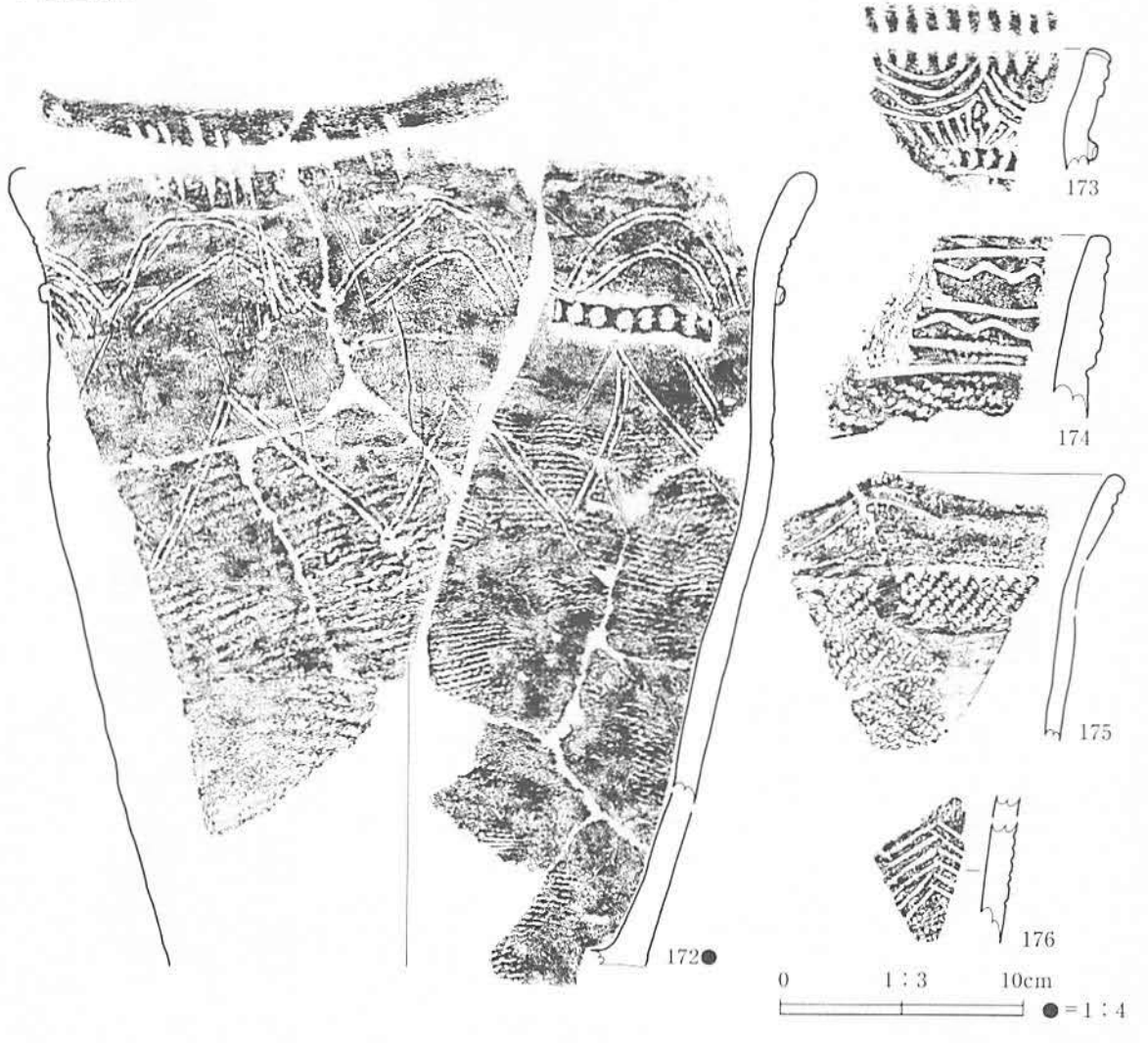


第53図　遺構内出土土器（12）　8～10・12・13土抗

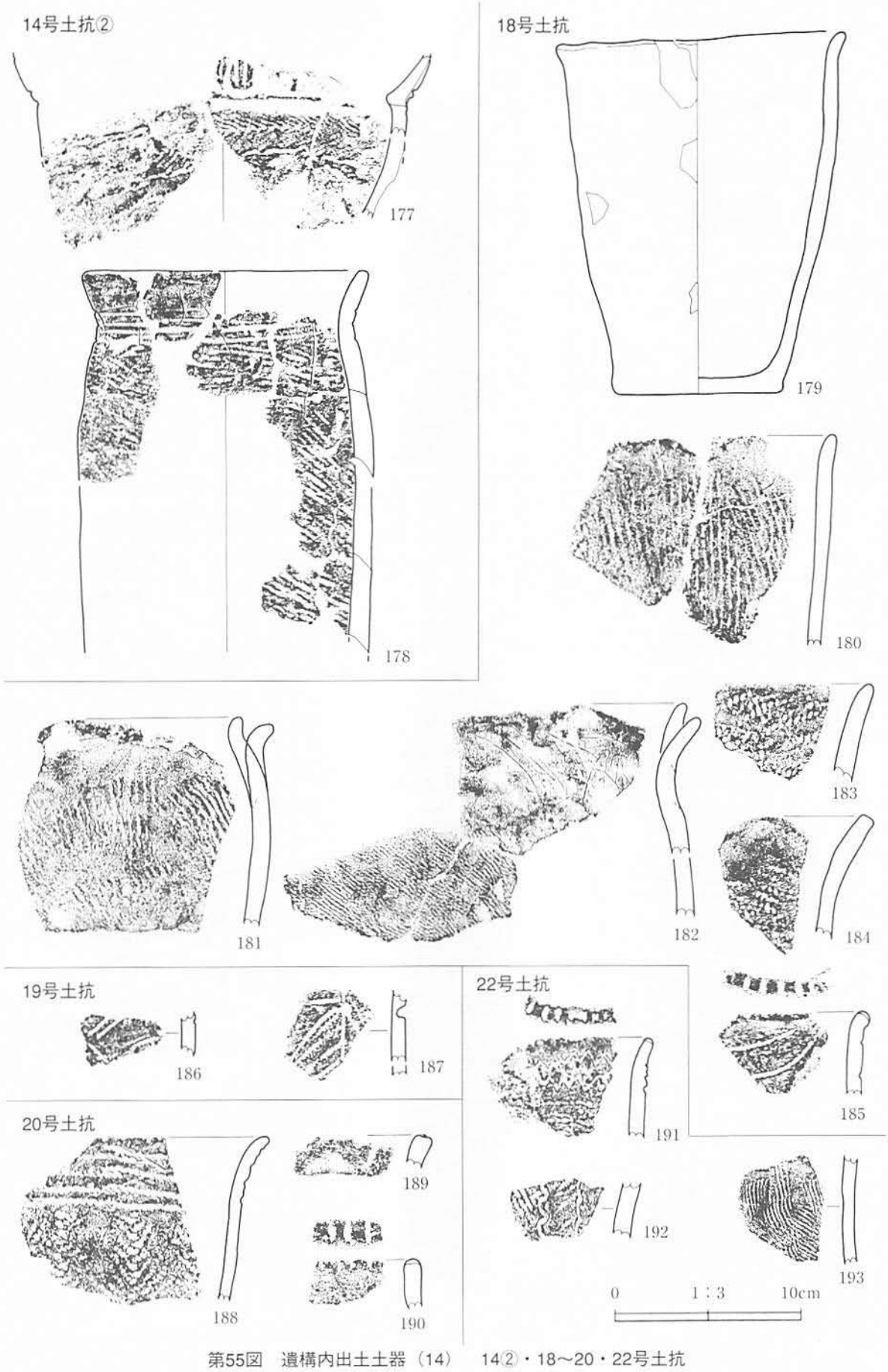
12・13号土坑



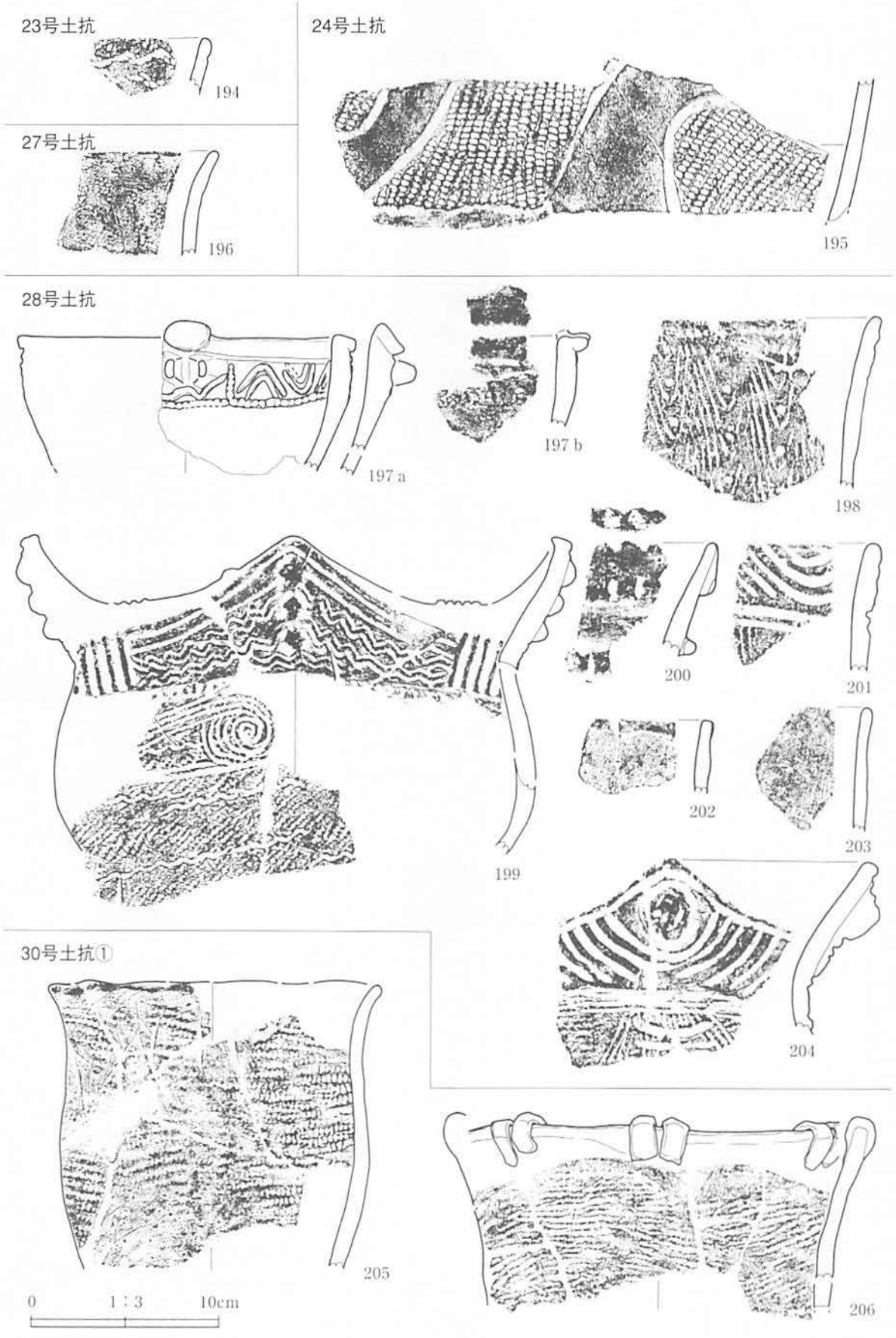
14号土坑①



第54図　遺構内出土土器（13）　12・13・14号①土坑

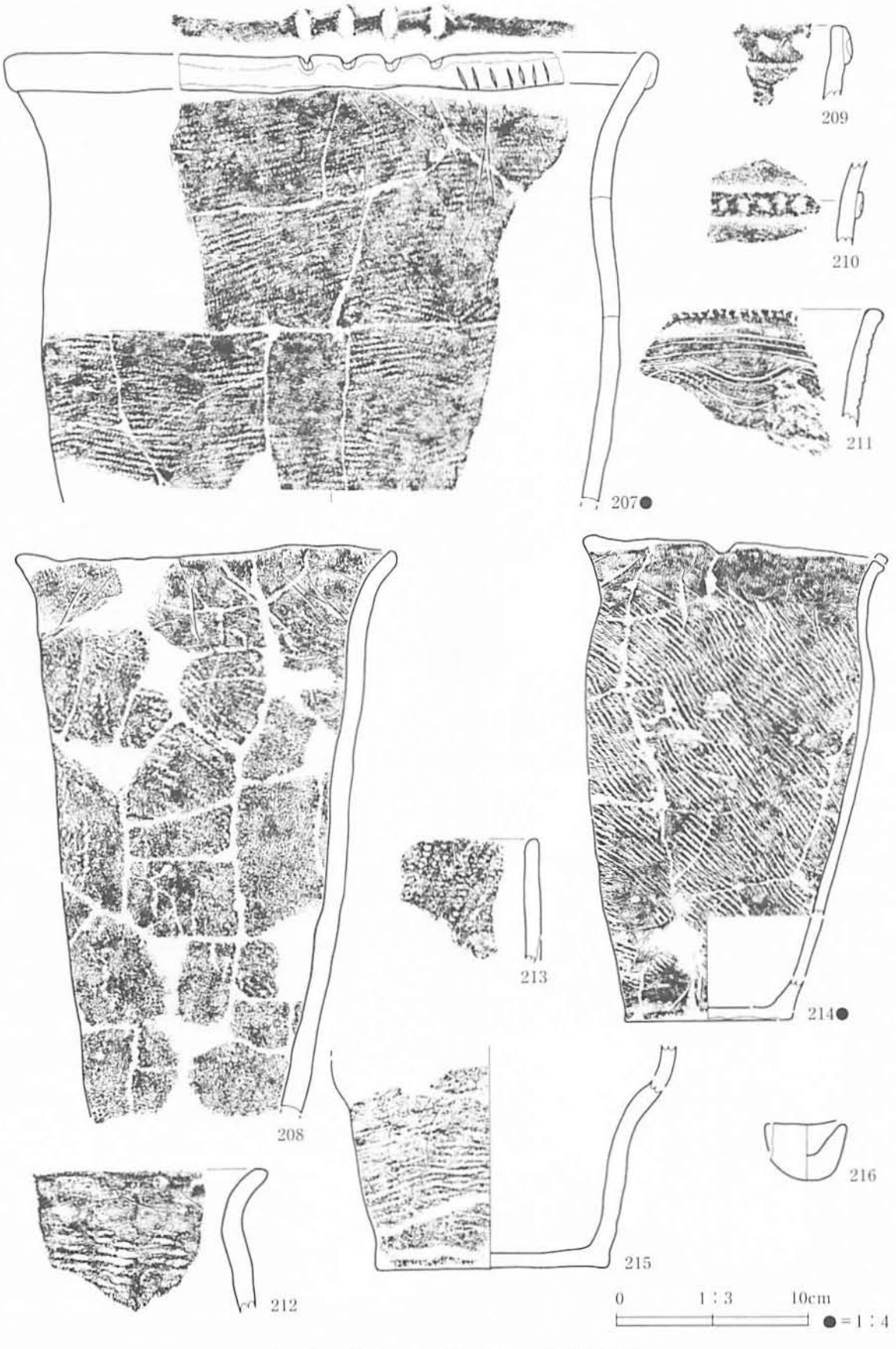


第55図　遺構内出土土器（14）　14②・18～20・22号土抗



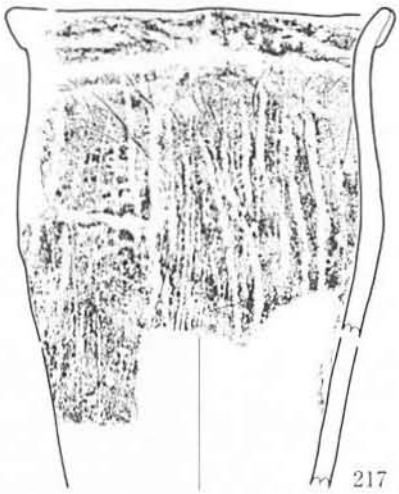
第56図　遺構内出土土器（15）　23・24・27・28・30号①土坑

30号土抗②

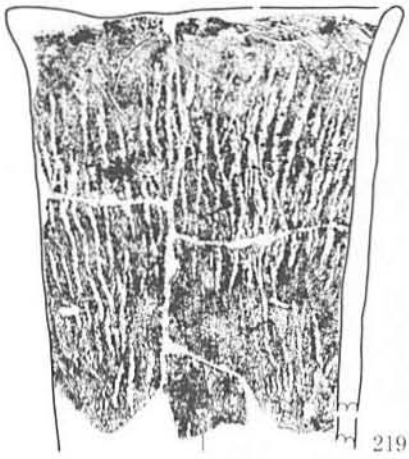


第57図　遺構内出土土器（16）　30号土抗②

32号土抗


217

218


219

35号土抗①

220●

221●

222●

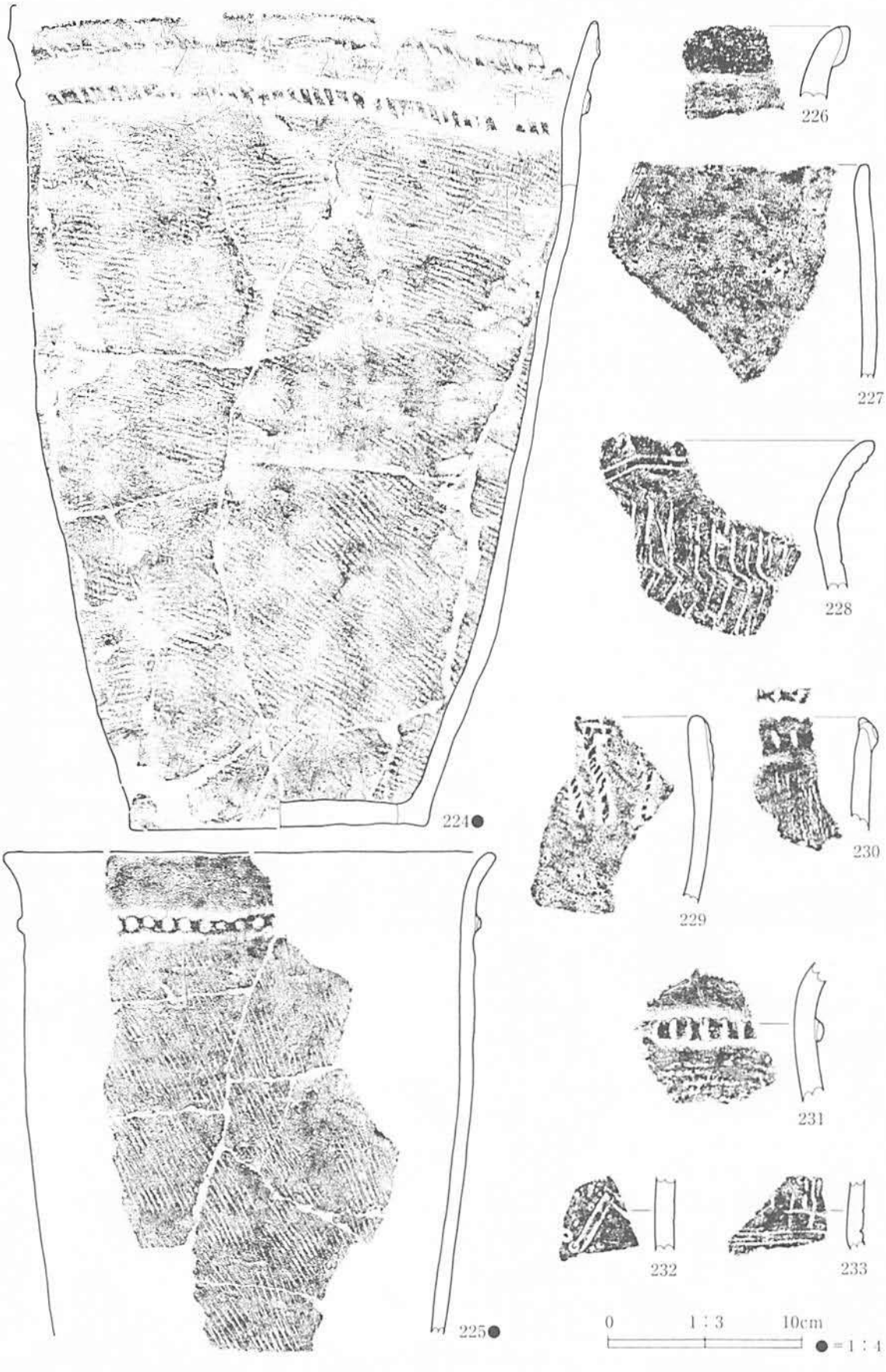
223●

0　1：3　10cm

●＝1：4

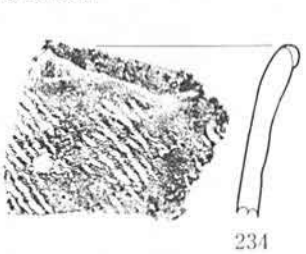
第58図　遺構内出土土器（17）　32・35号①土抗

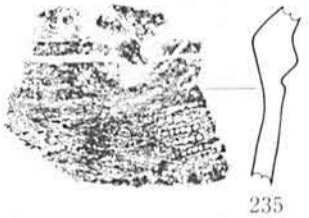
35号土抗②

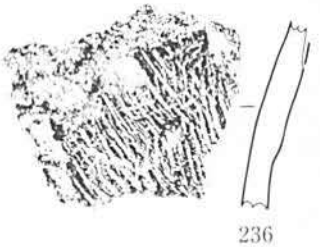


第59図　遺構内出土土器（18）　35号土抗②

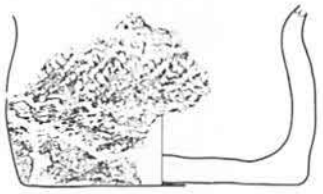
36号土抗


234


235

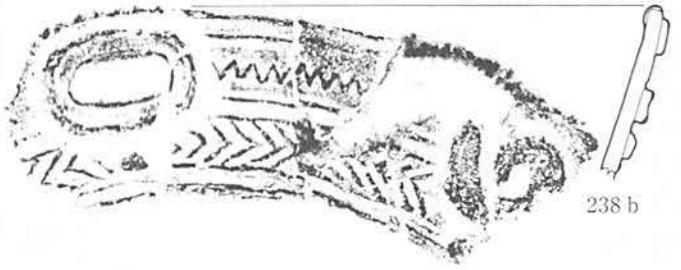

236

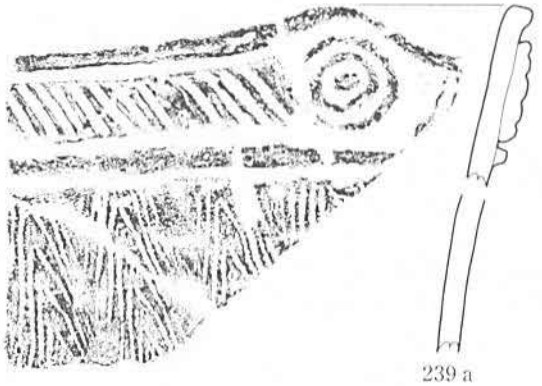
38号土抗①

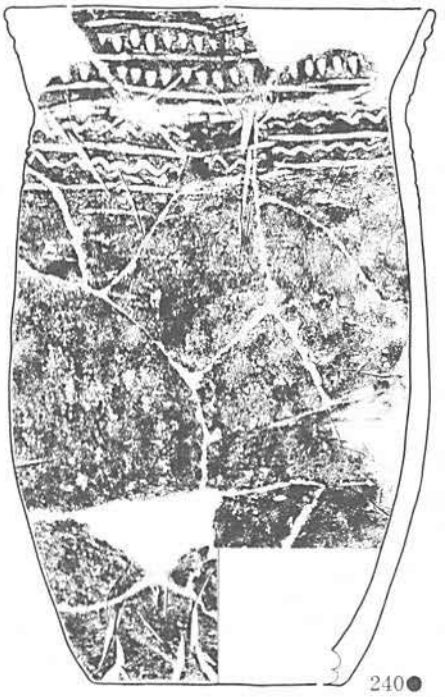


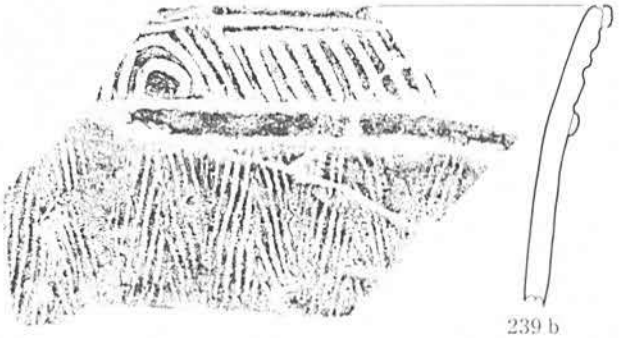
238 a

237


238 b


239 a

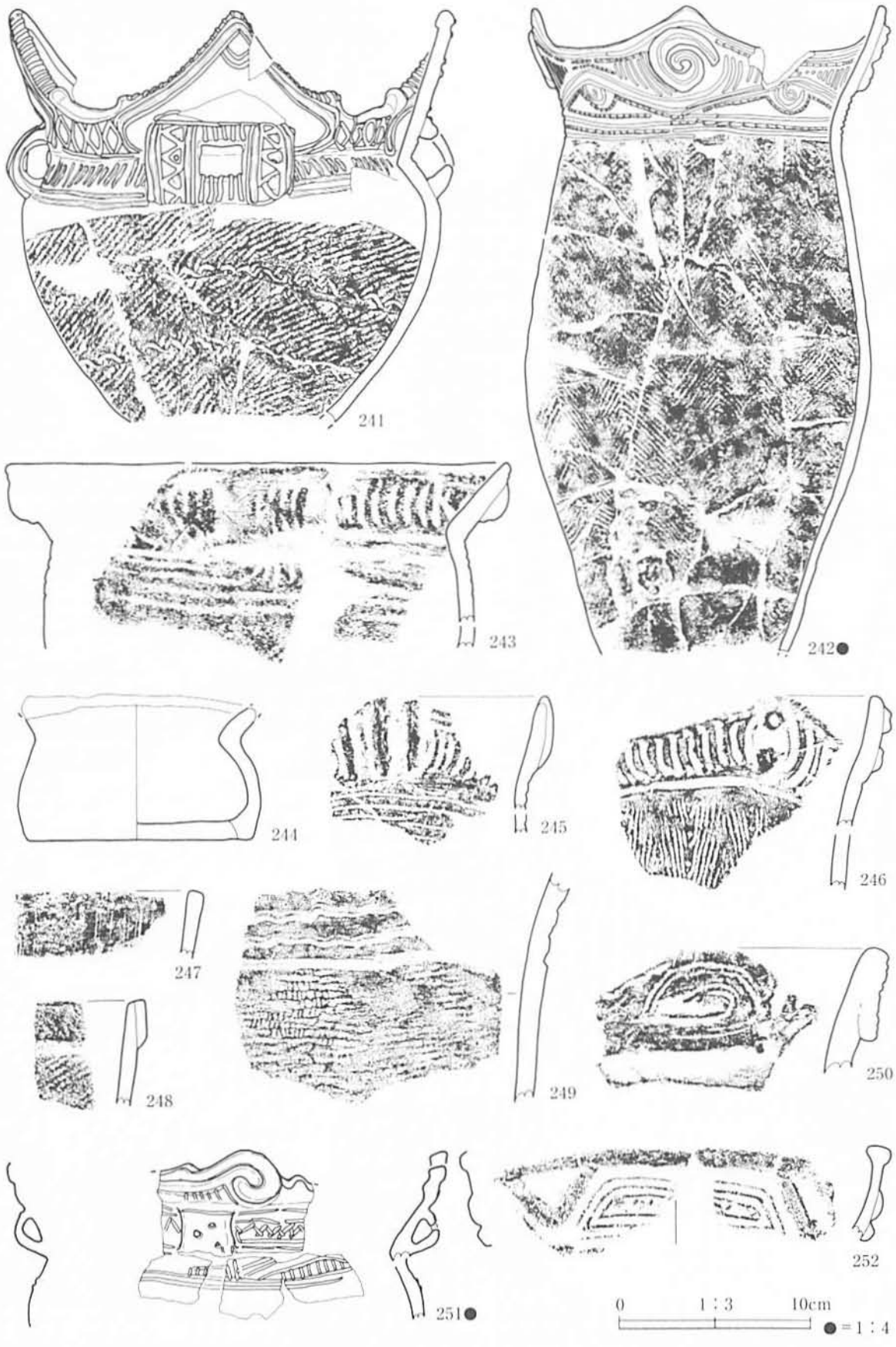

240●


239 b

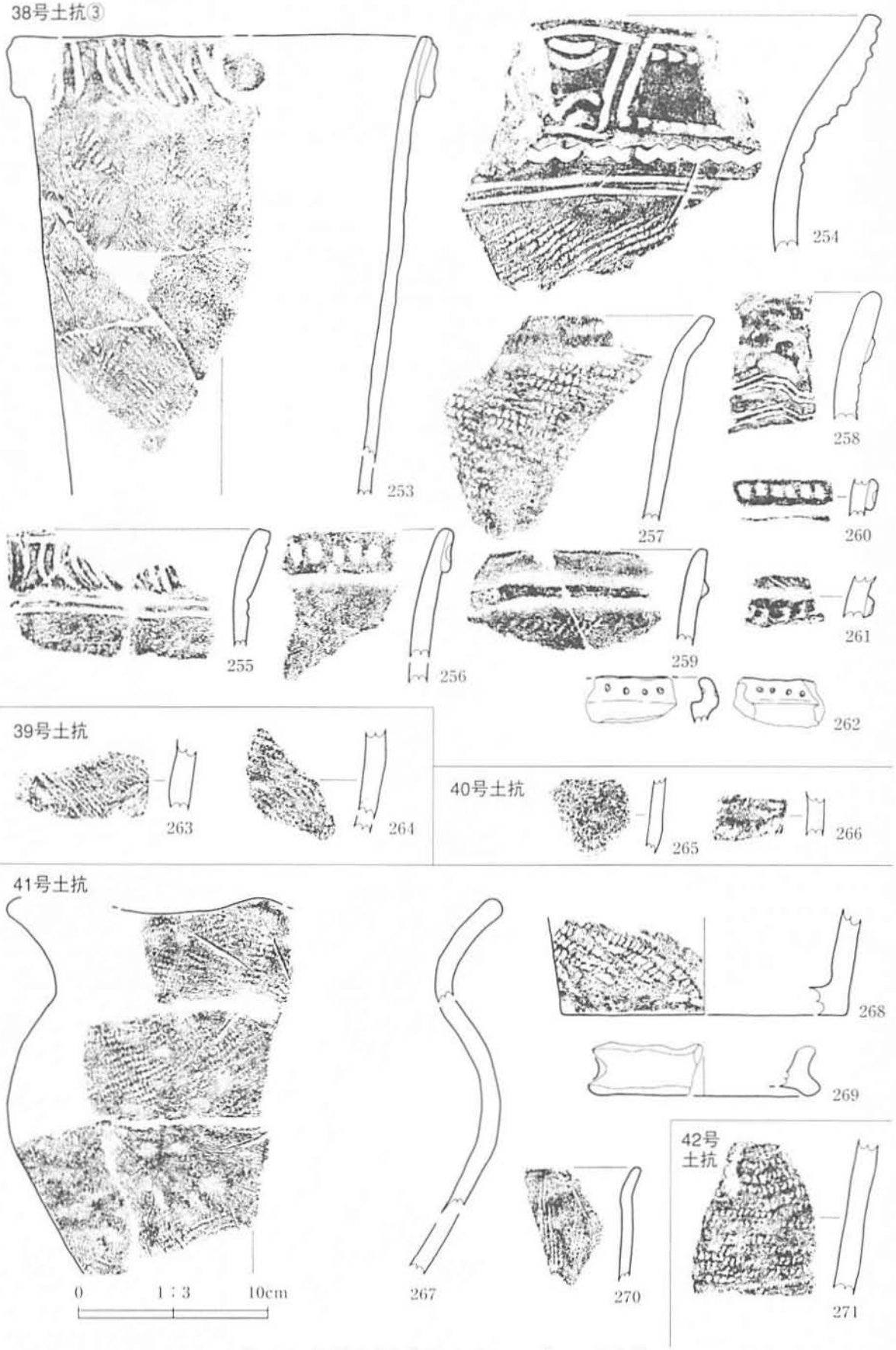
0　1：3　10cm
●＝1：4

第60図　遺構内出土土器（19）　36・38号①土抗

38号土抗②

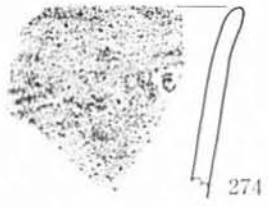


第61図　遺構内出土土器（20）　38号土抗②

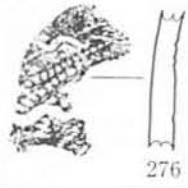


第62図　遺構内出土土器（21）　38③～42号土坑

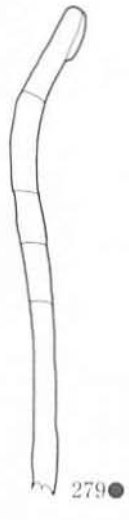
43号土抗

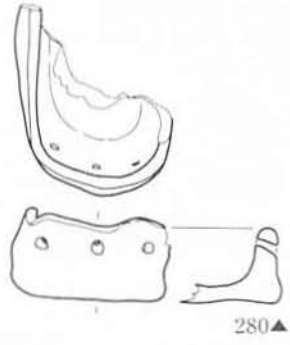


44号土抗



45号土抗①



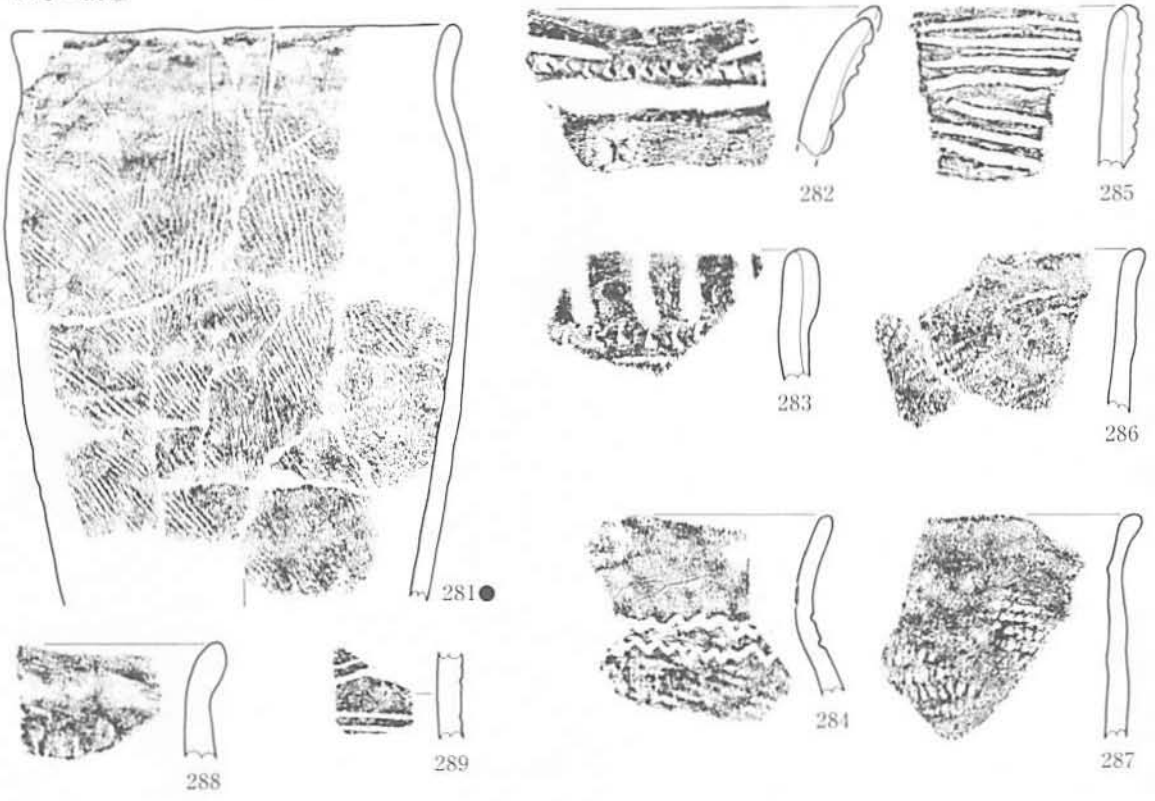


0 1：3 10cm

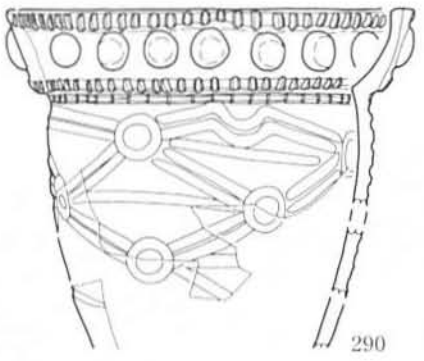
▲＝1：2 ●＝1：4

第63図　遺構内出土土器（22）　43～45号①土抗

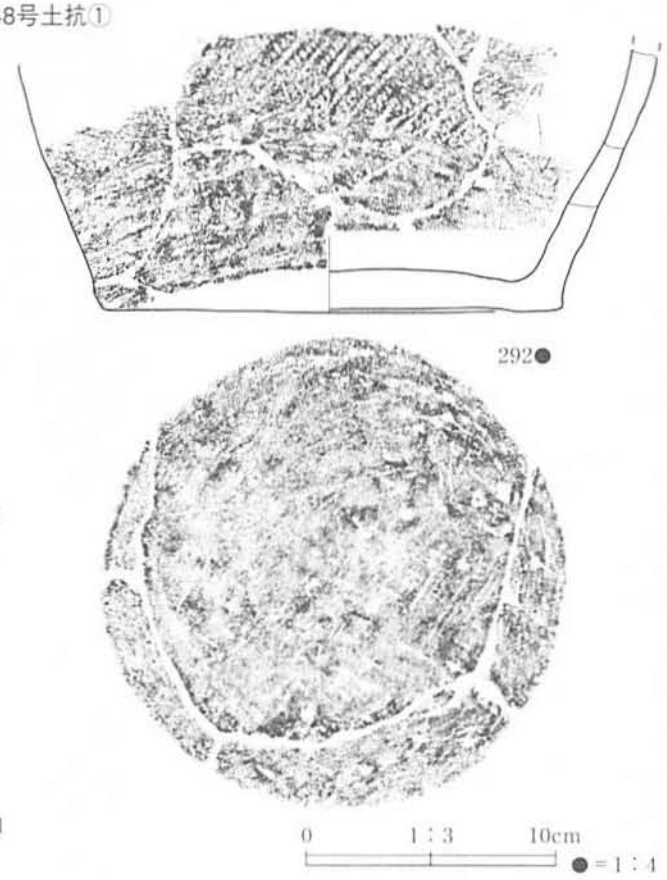
45号土抗②



46号土抗

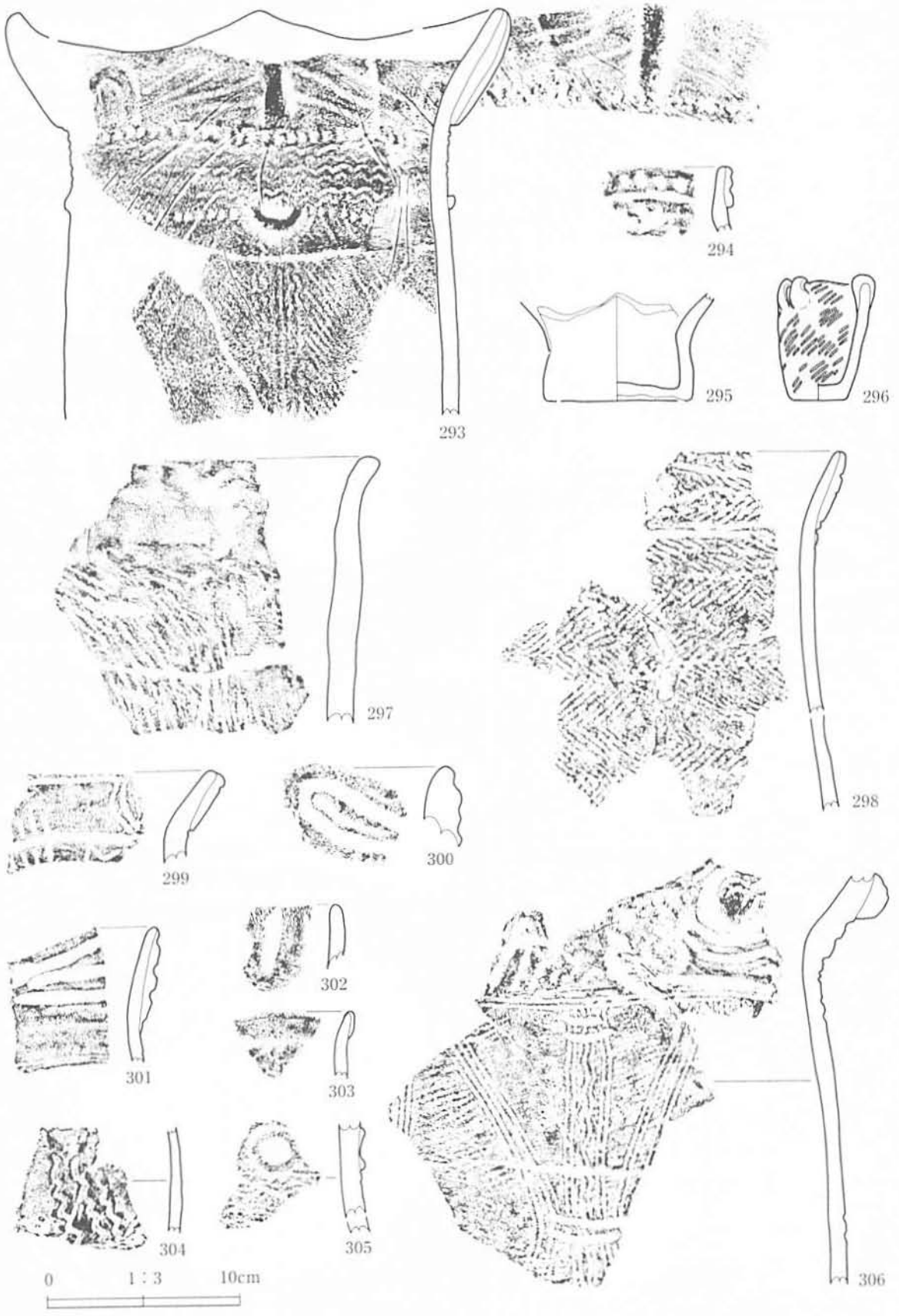


48号土抗①

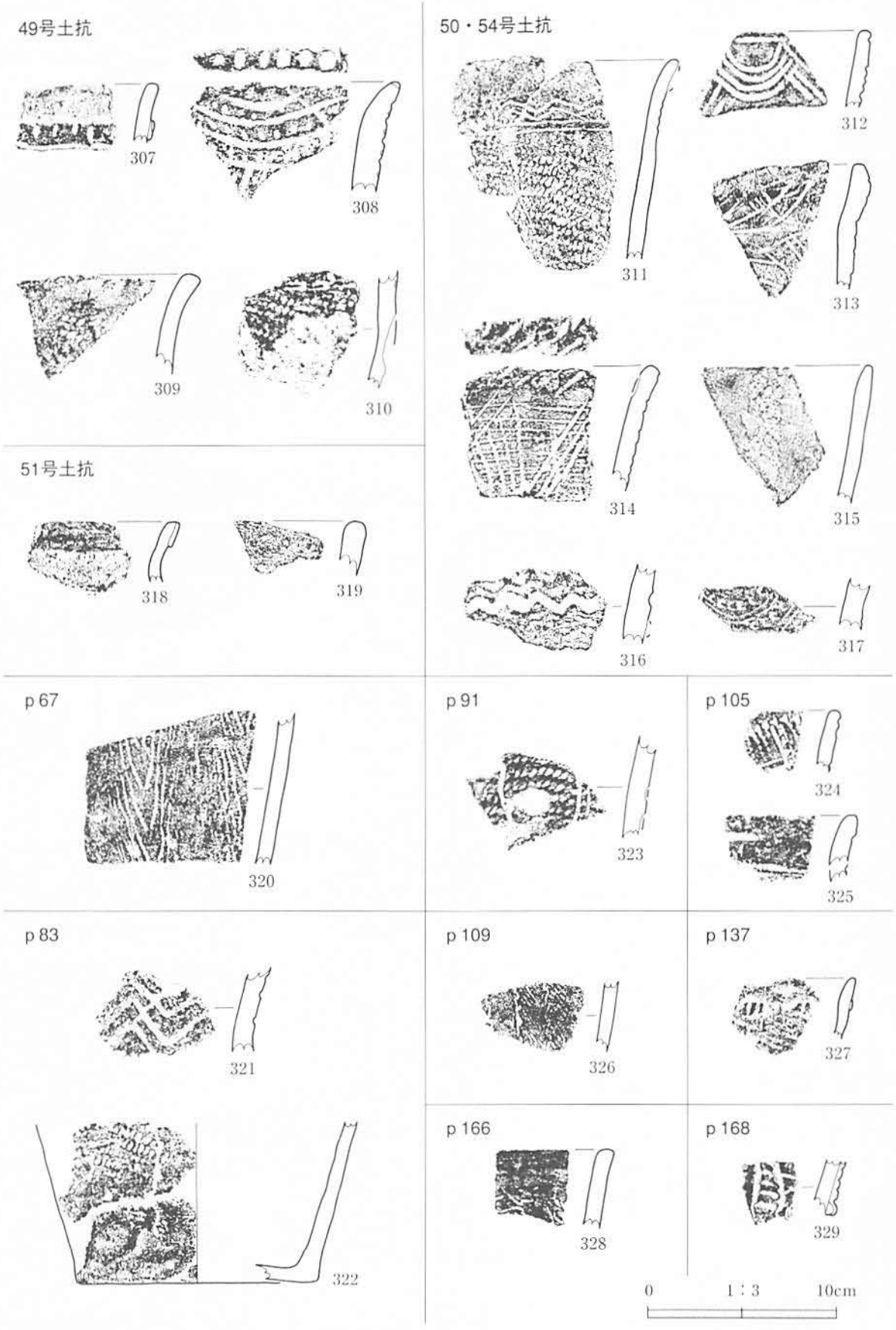


第64図　遺構内出土土器（23）　45号②・46・48号①土抗

48号土抗②

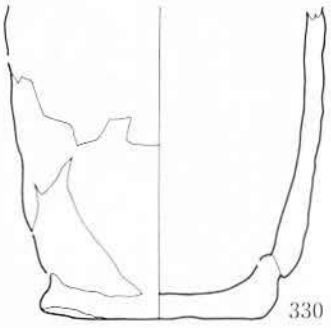


第65図　遺構内出土土器（24）　48号土抗②

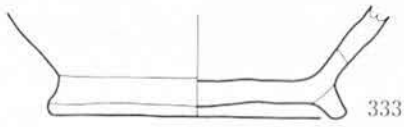


第66図　遺構内出土土器（25）　49～51・54土抗、柱穴①

p 131

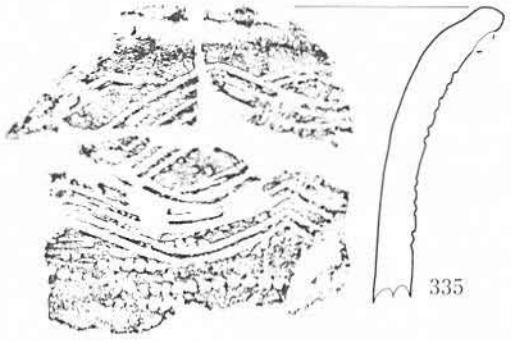


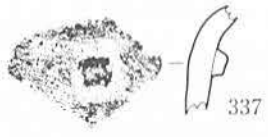
p 159



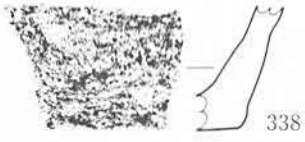
p 195

p 261



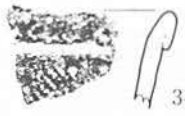


p 408

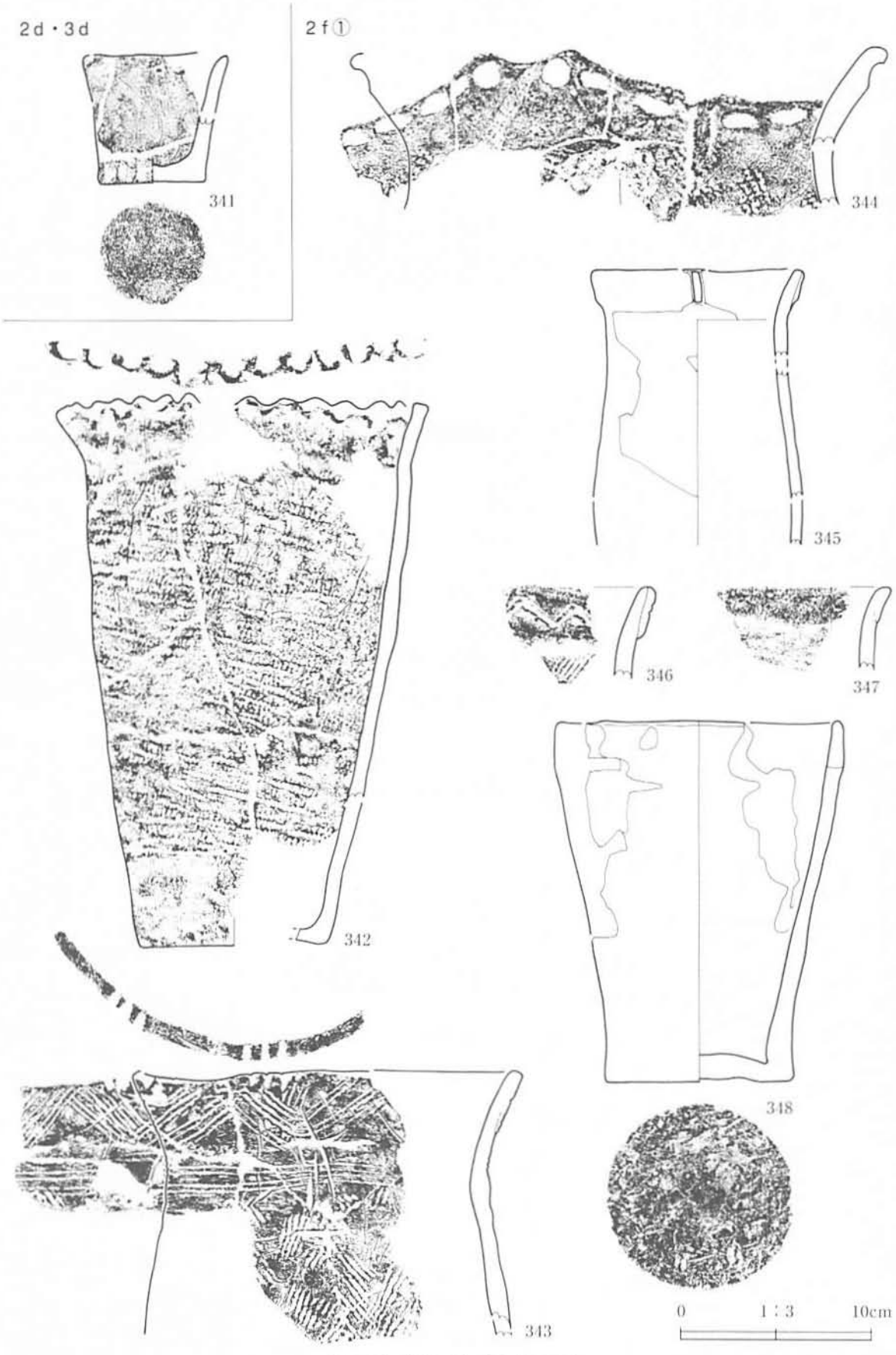


p 414

p 504



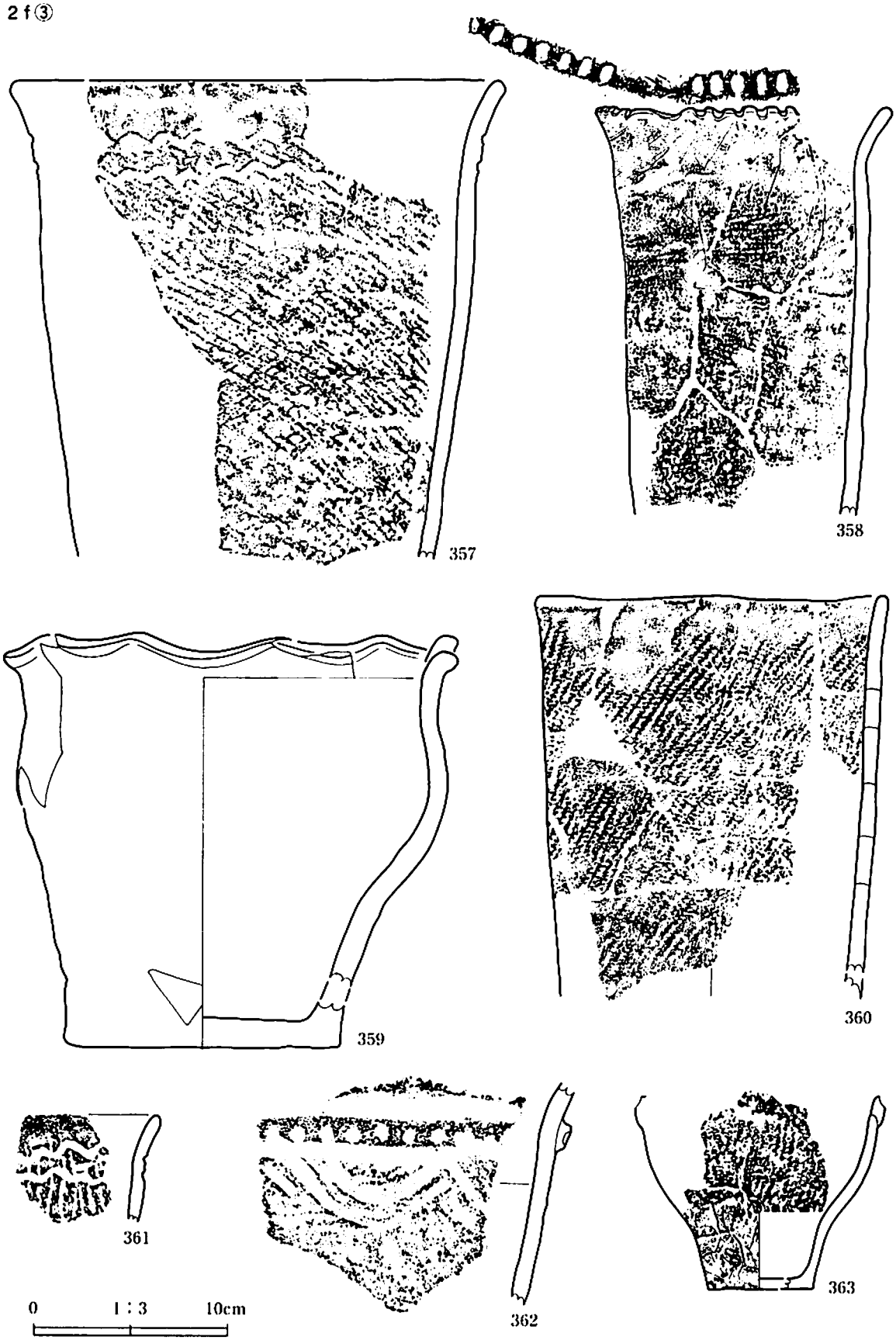
第67図　遺構内出土土器（26）　柱穴②



第68図　遺構外出土土器（1）

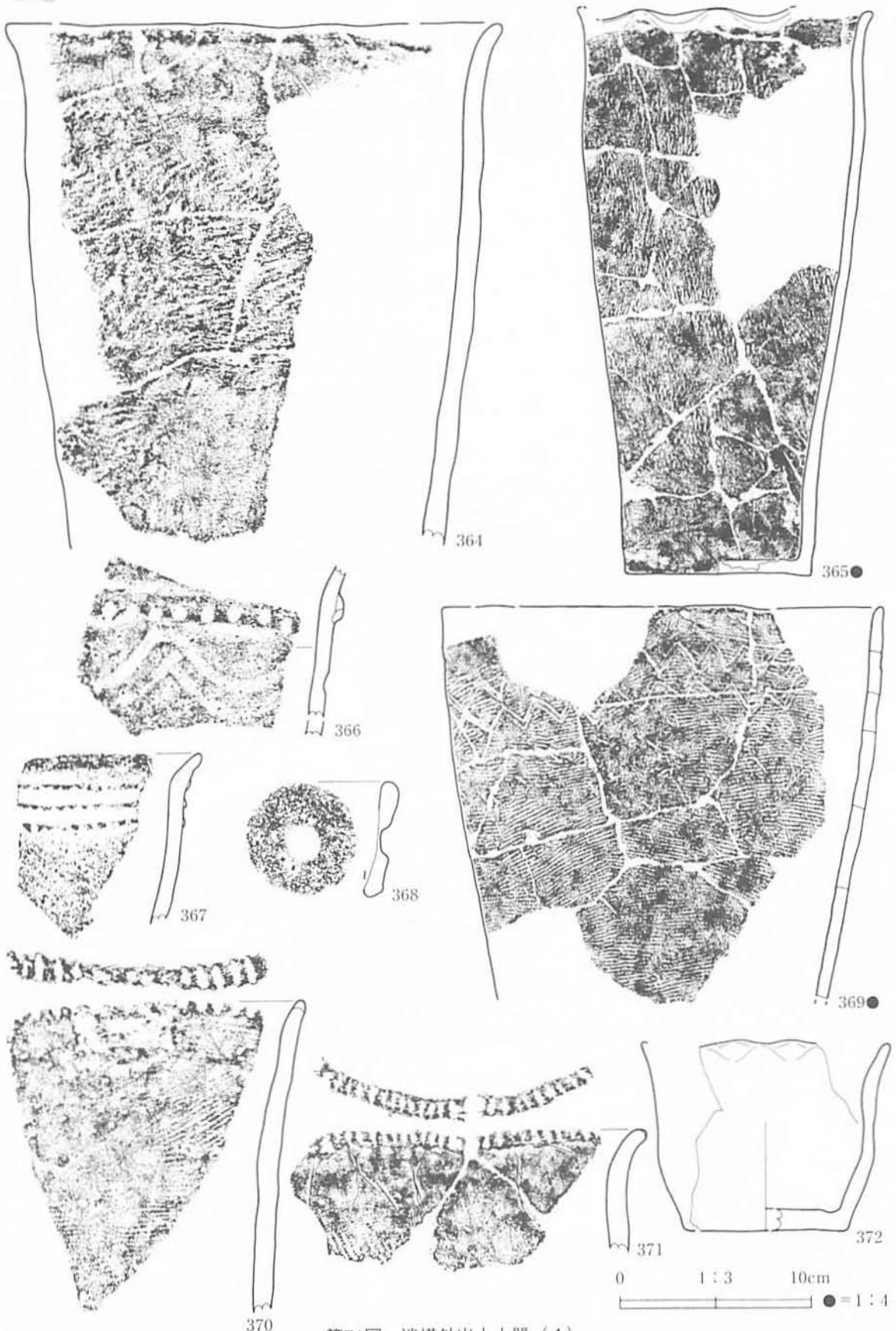
第69図　遺構外出土土器（2）

2f③



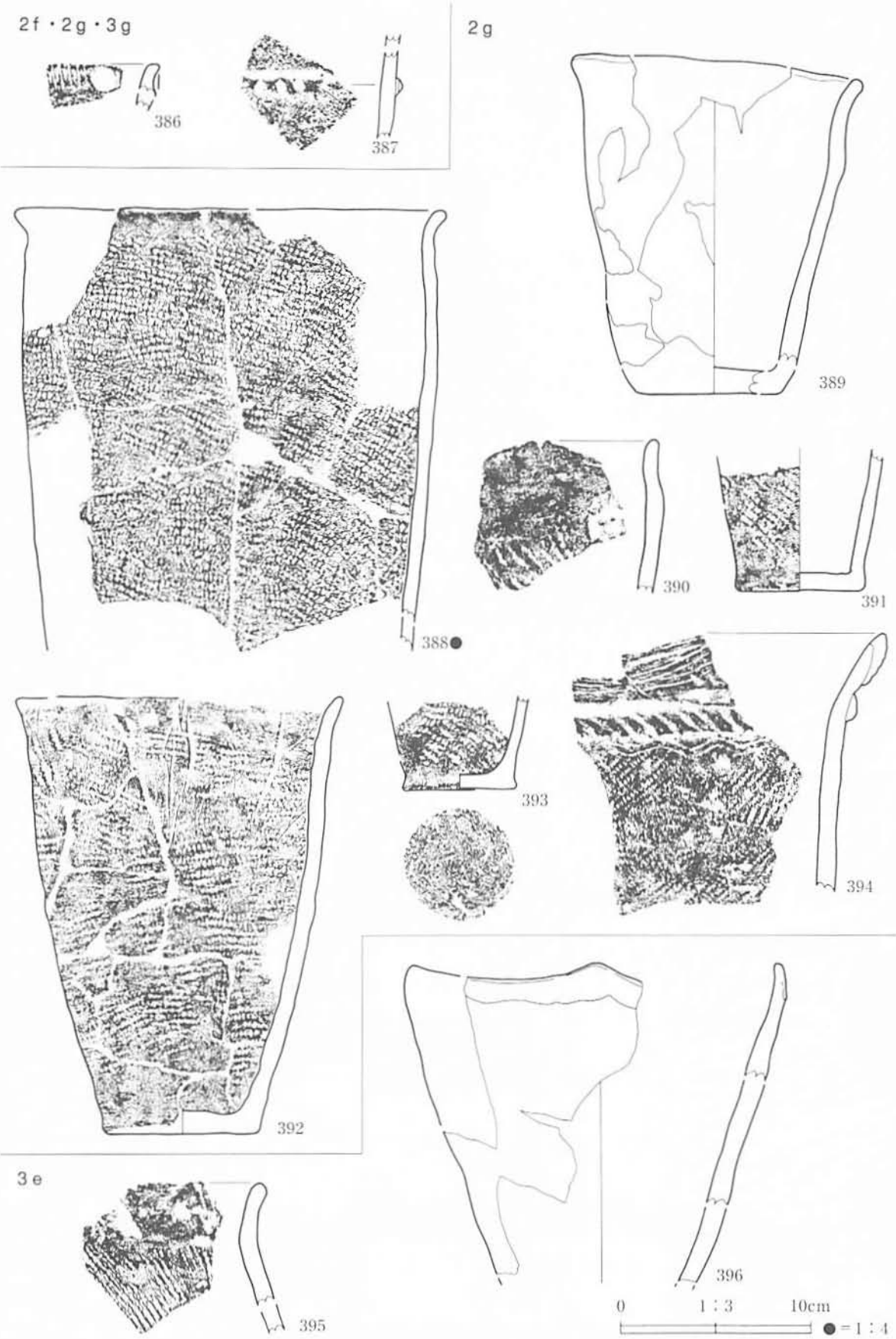
第70図　遺構外出土土器（3）

2f④

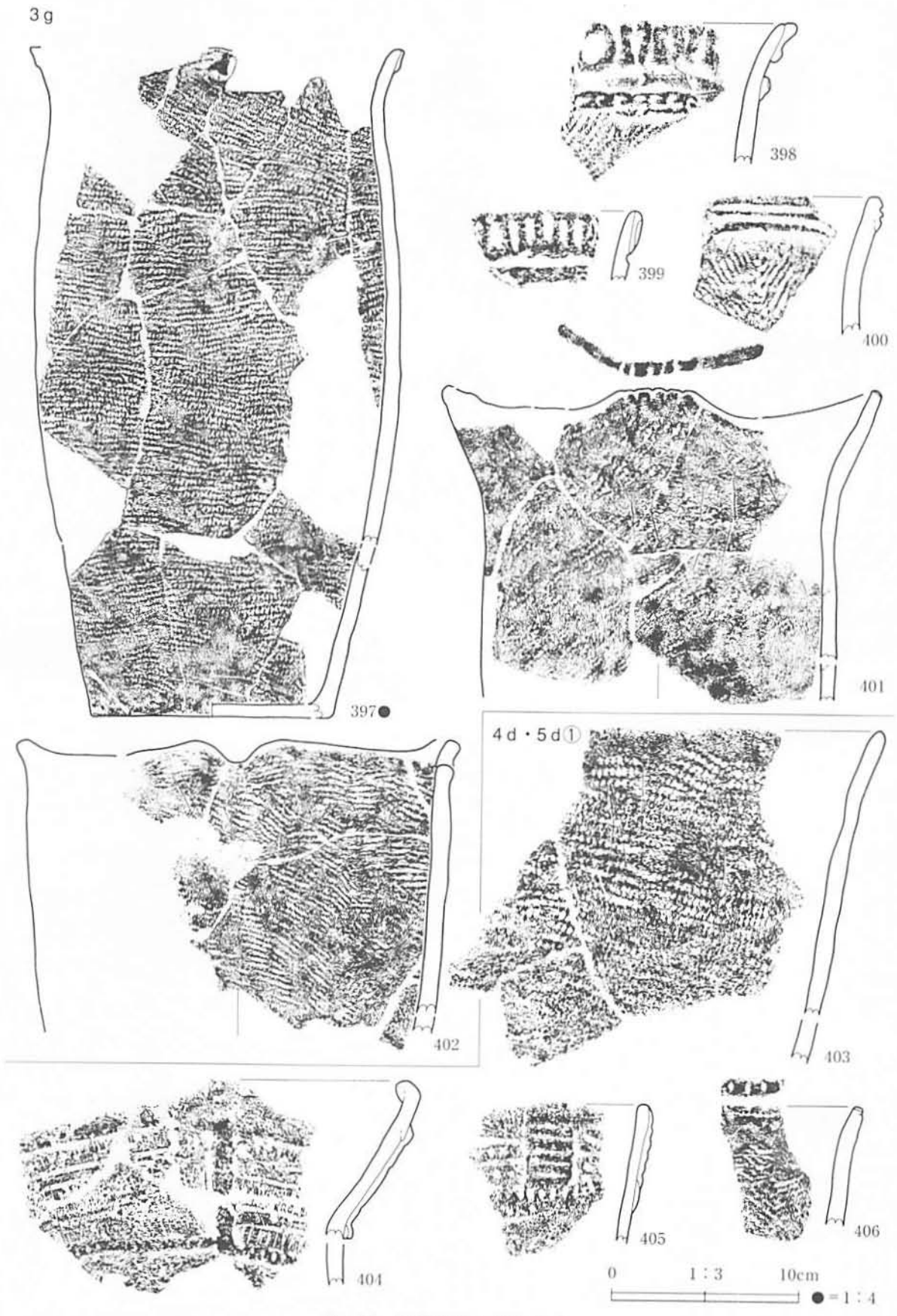


第71図　遺構外出土土器（4）

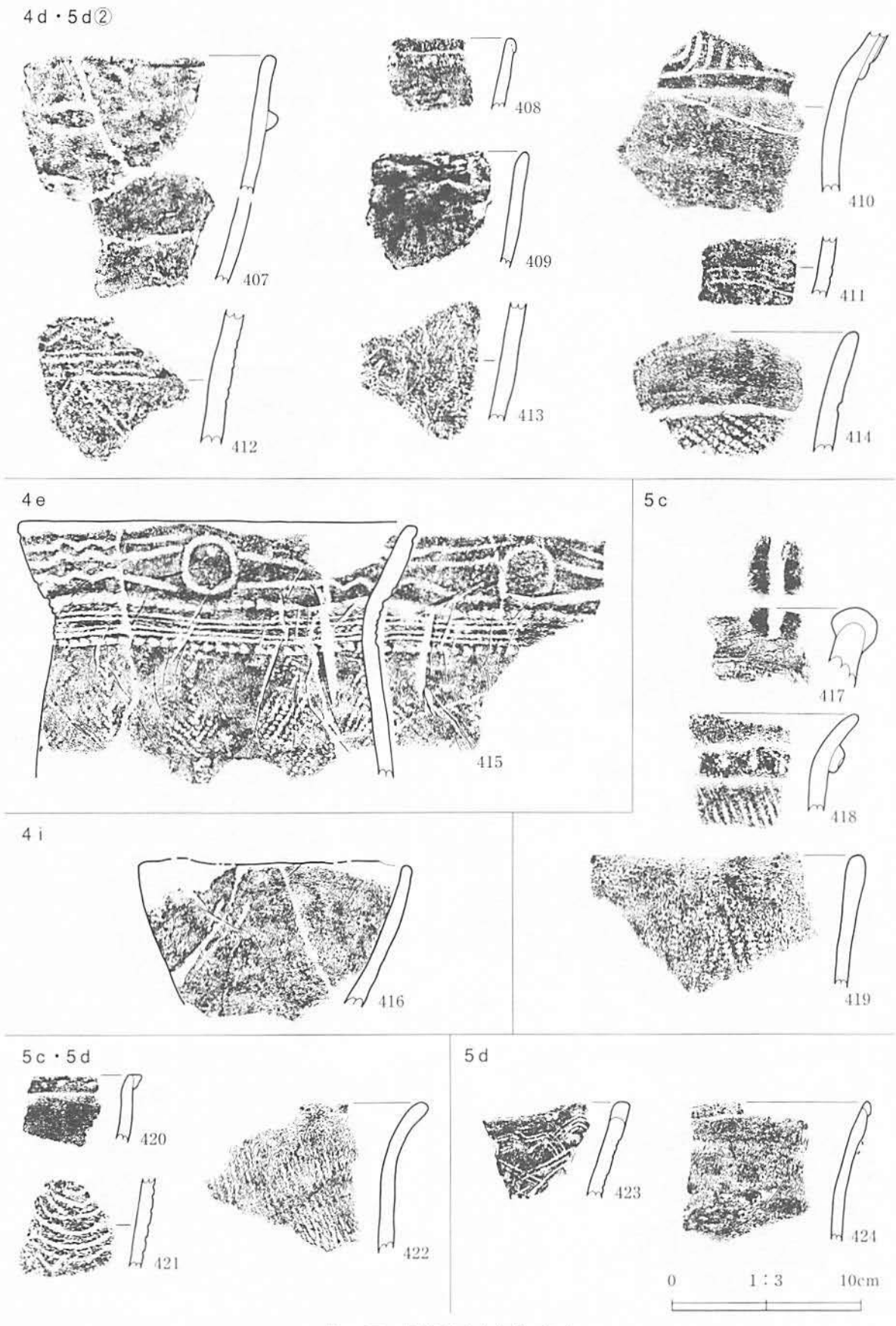
第72図　遺構外出土土器（5）



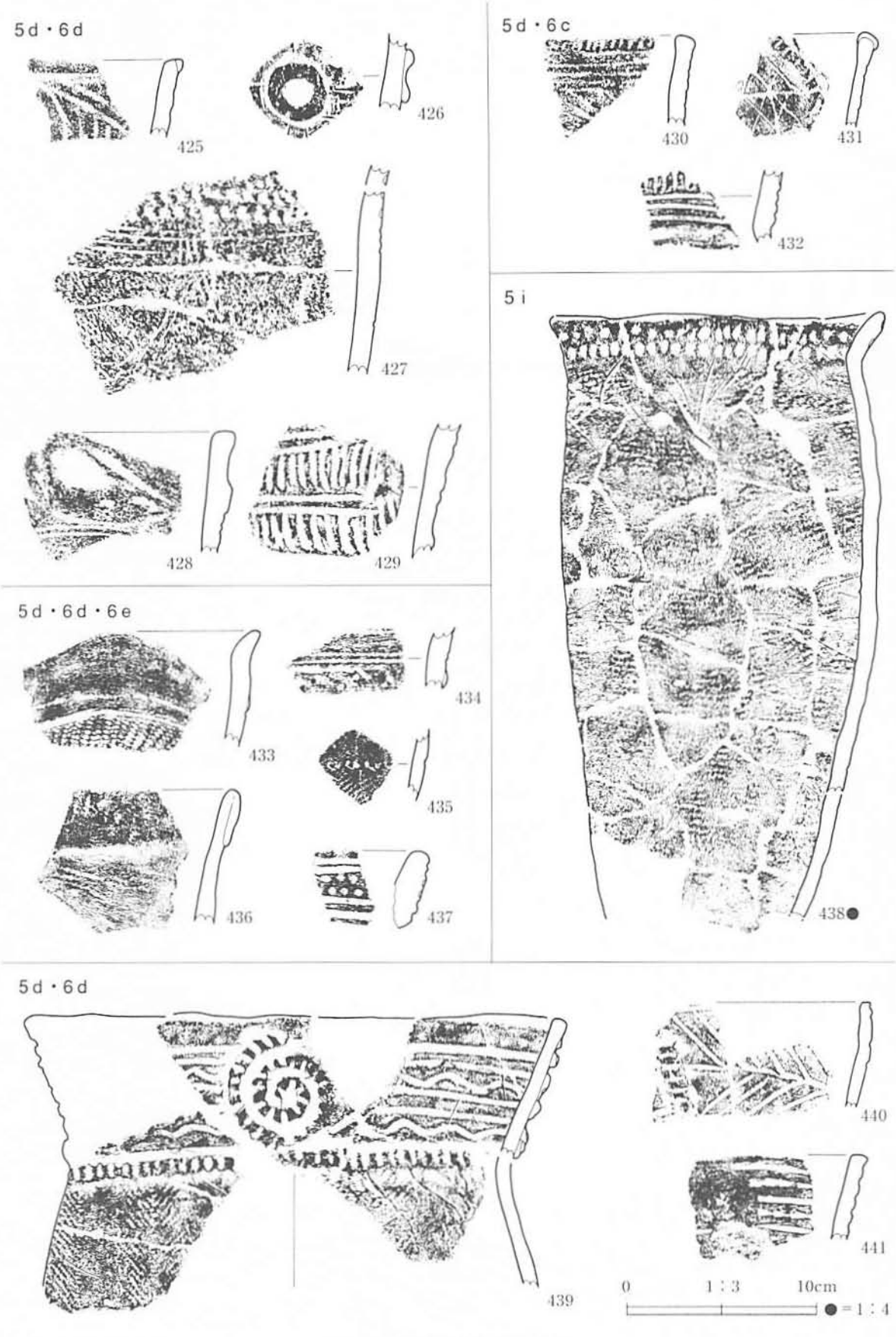
第73図　遺構外出土土器（6）



第74図　遺構外出土土器（7）

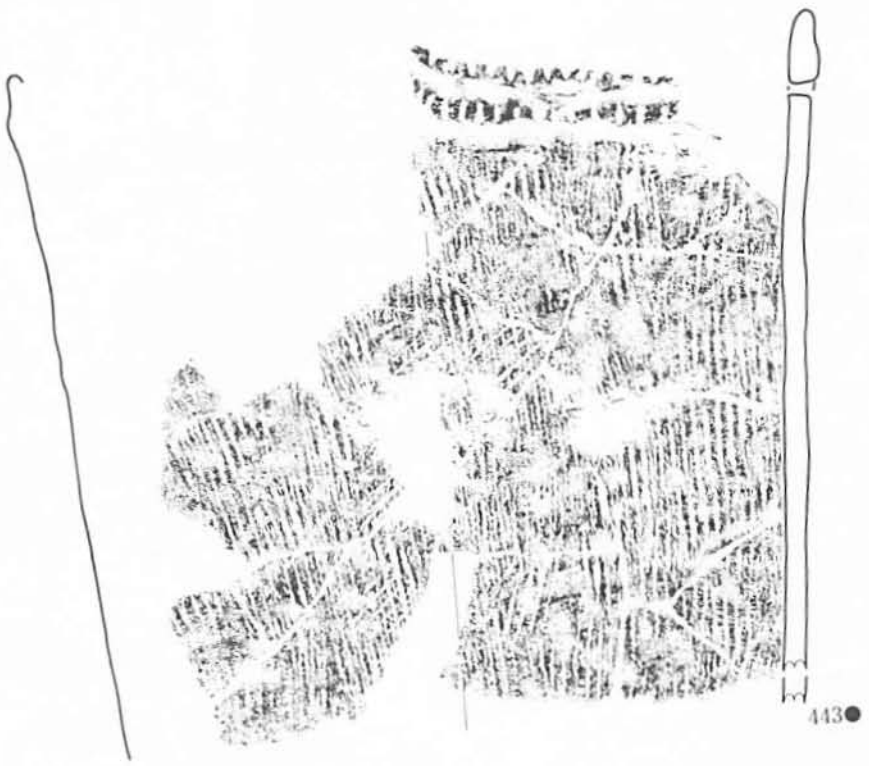


第75図　遺構外出土土器（8）



第76図　遺構外出土土器（9）

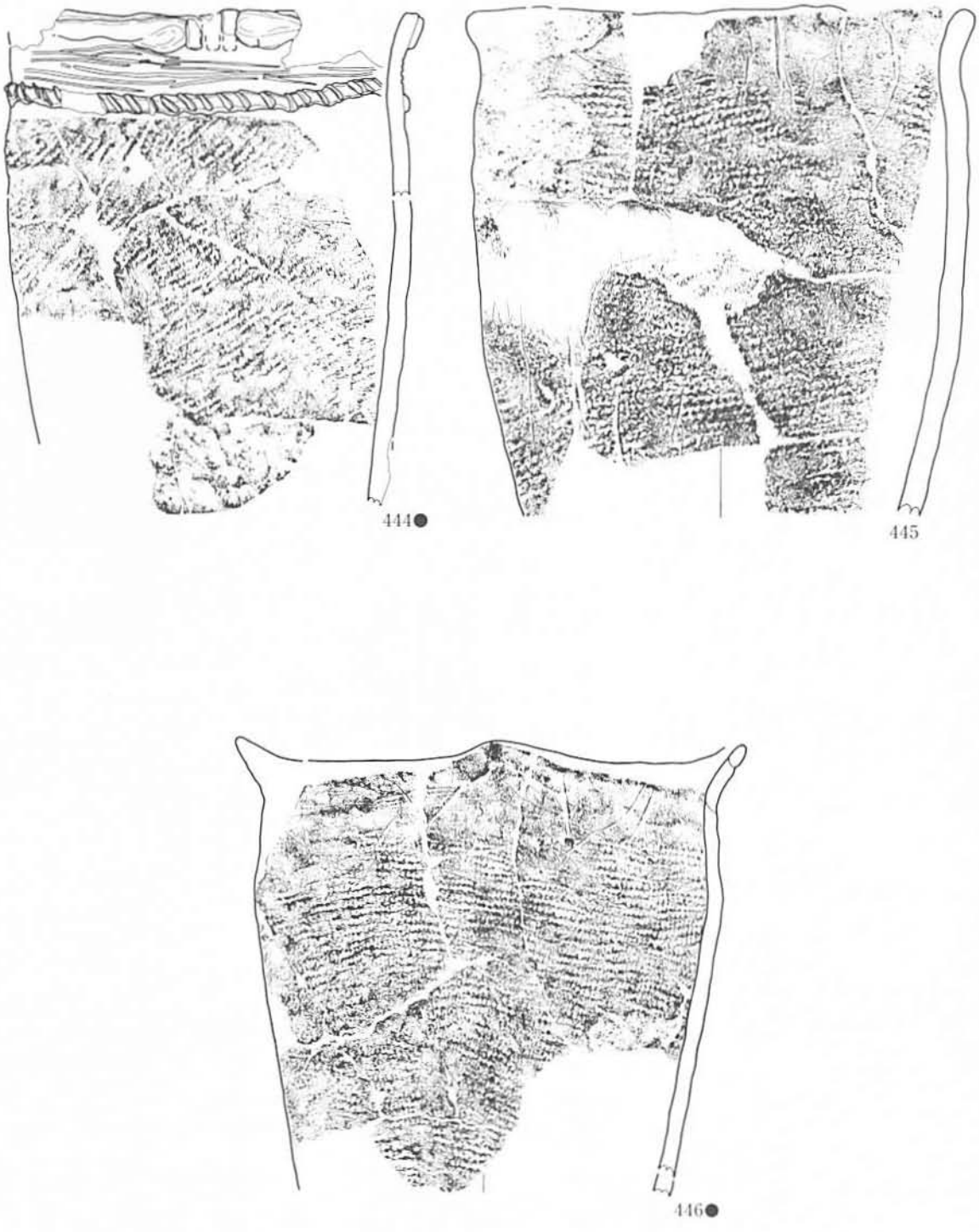
8P①



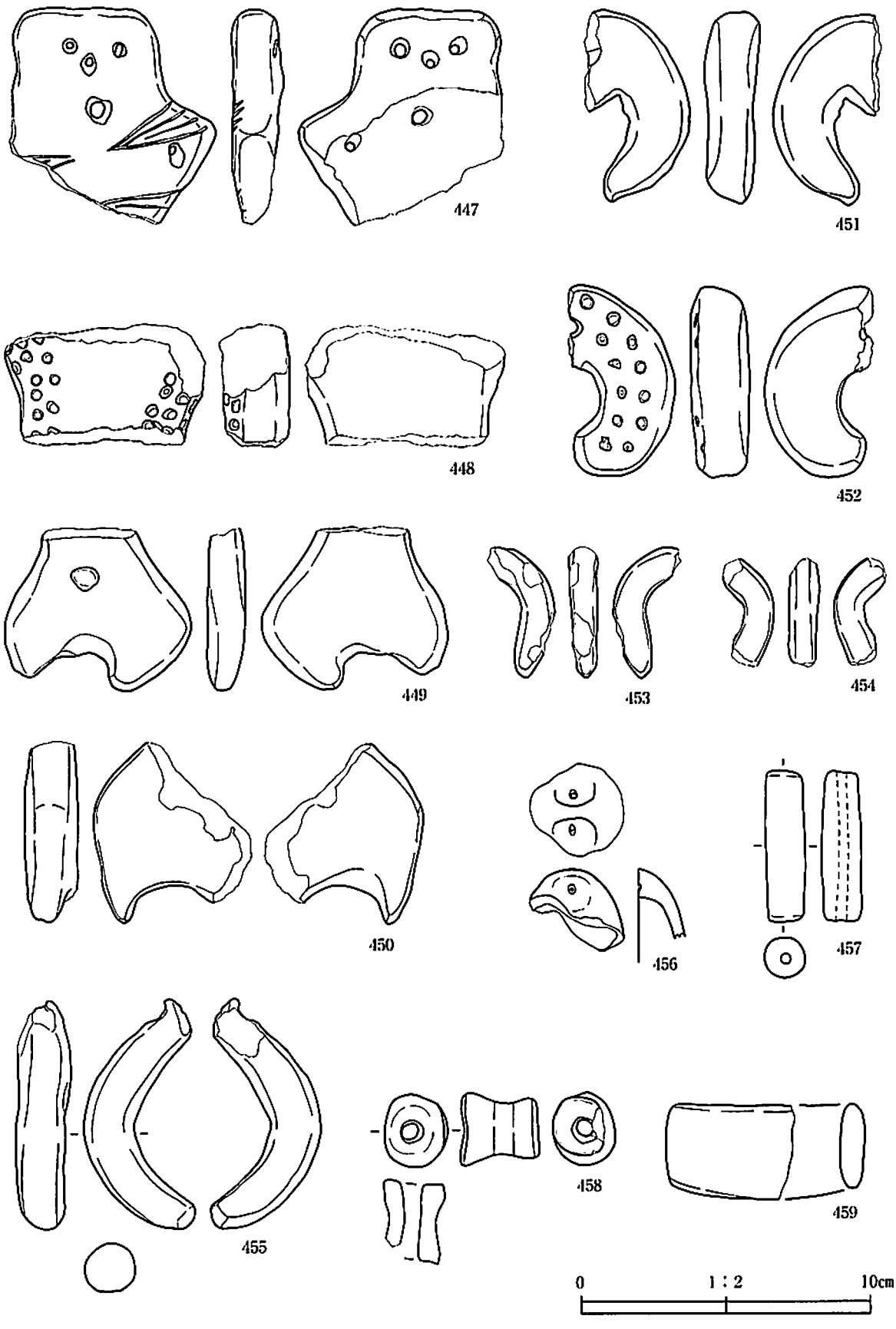
0　1：3　10cm　●＝1：4

第77図　遺構外出土土器（10）

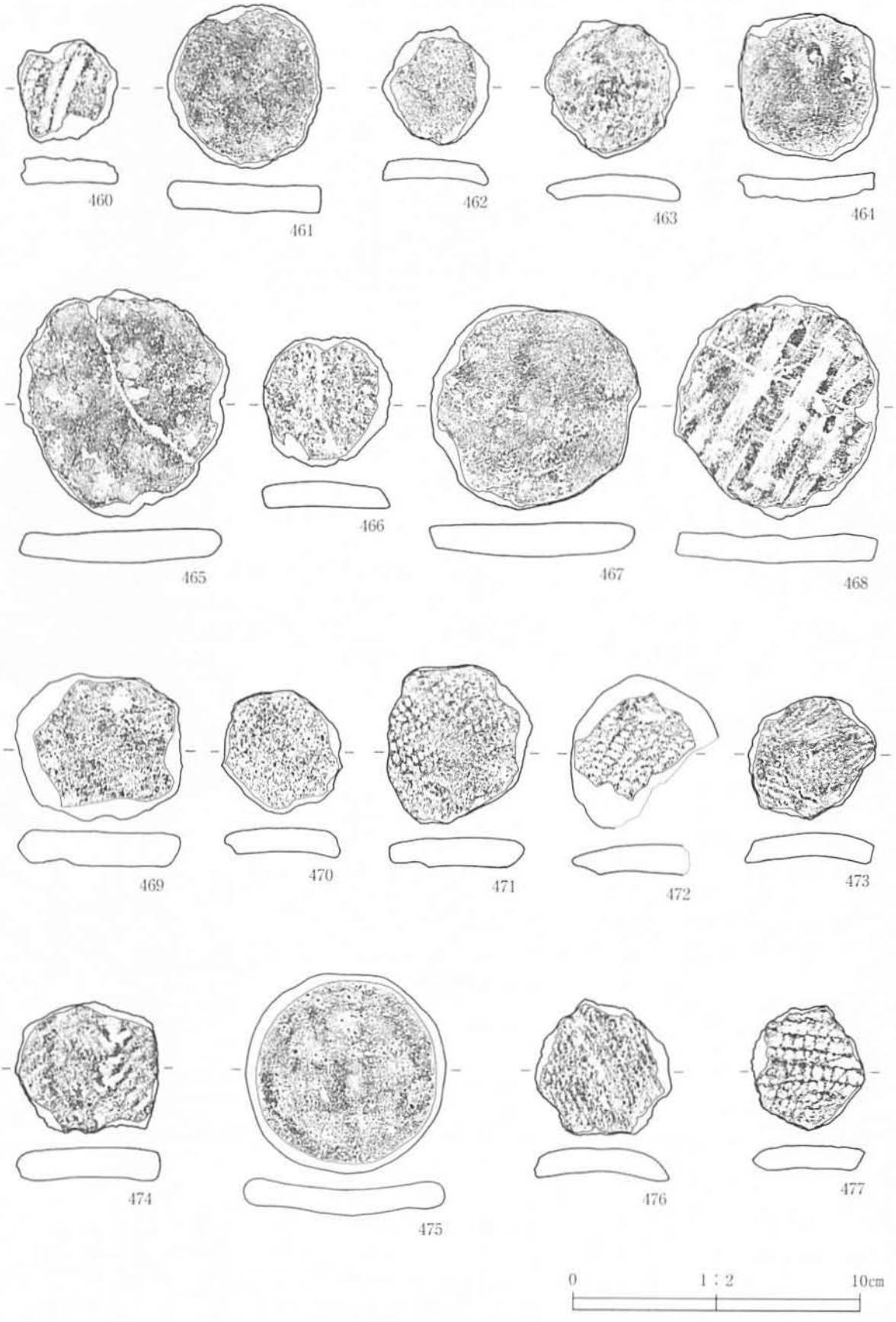
8P②



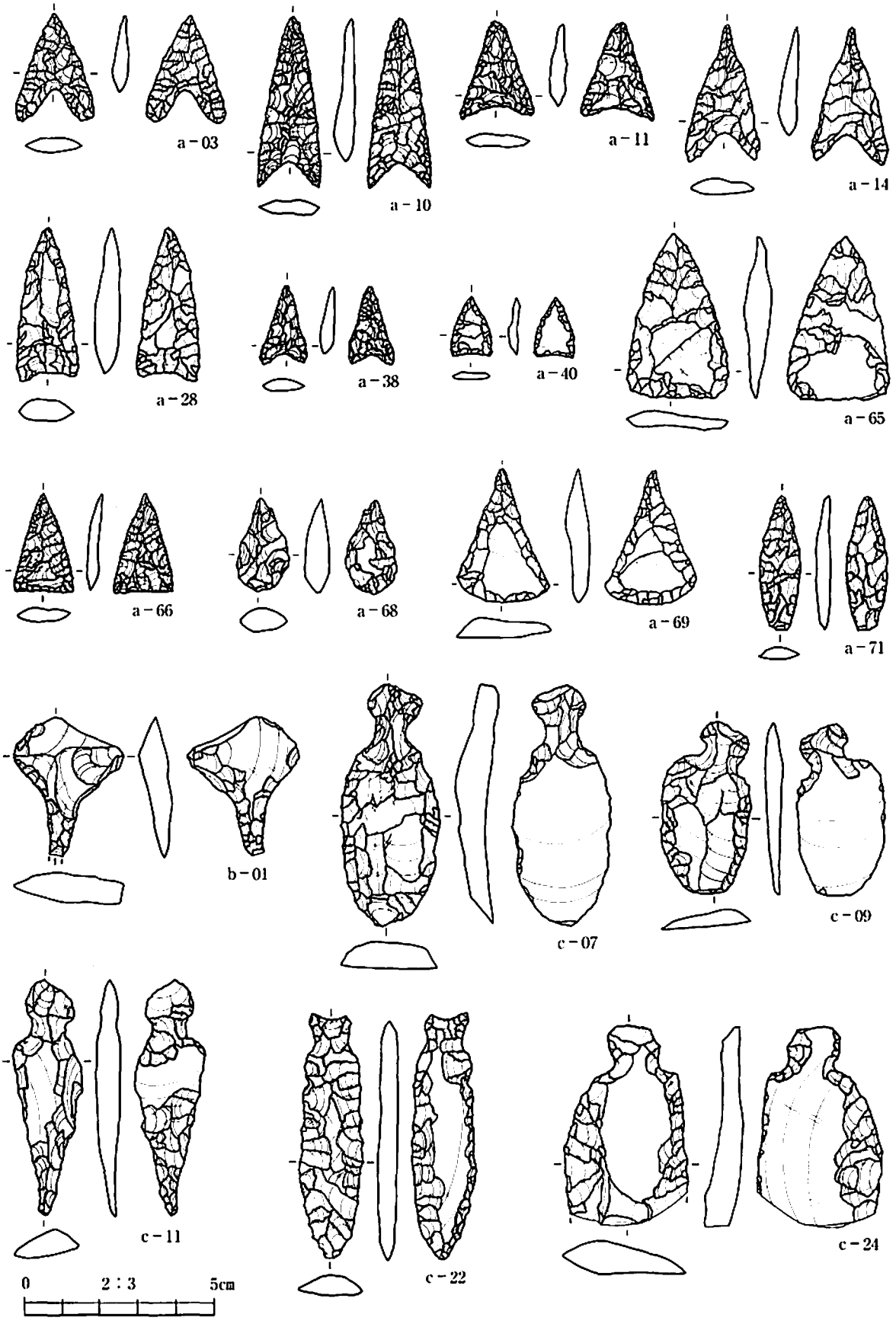
第78図　遺構外出土土器（11）



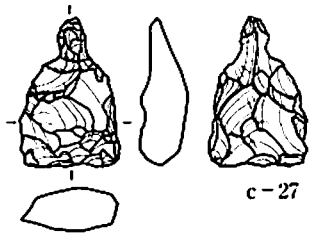
第79図　土製品（1）


460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
0
1：2
10cm

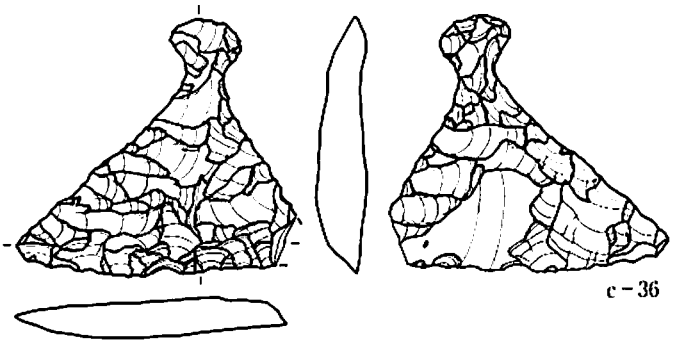
第80図　土製品（2）


a－03
a－10
a－11
a－14
a－28
a－38
a－40
a－65
a－66
a－68
a－69
a－71
b－01
c－07
c－09
c－11
c－22
c－24
0
2：3
5cm

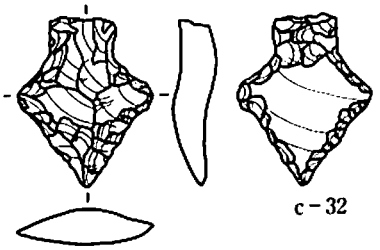
第81図　石器（1）



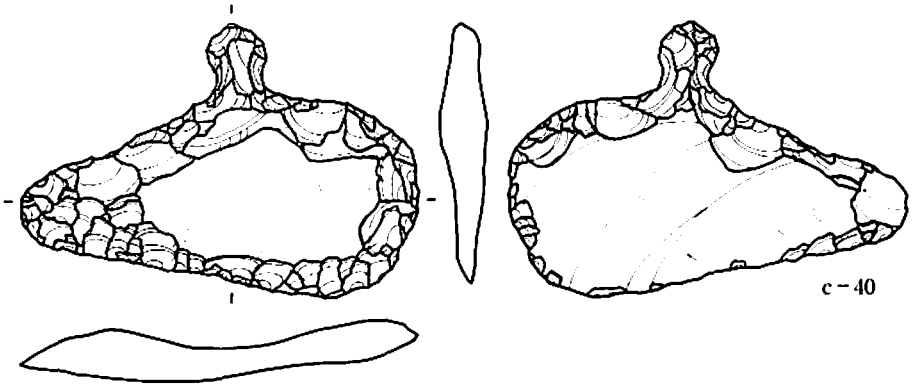
c－27



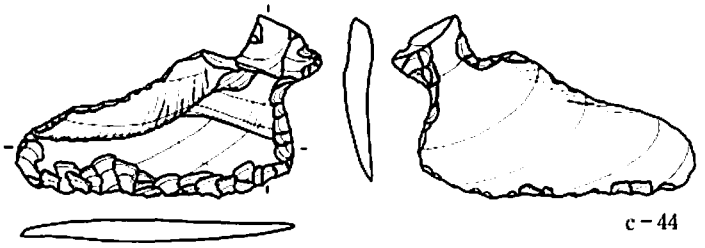
c－36



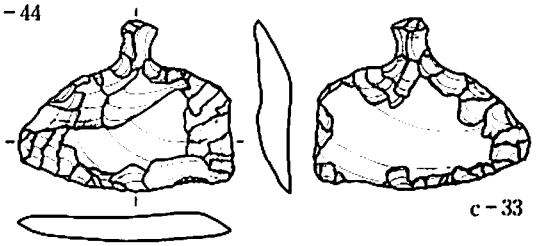
c－32



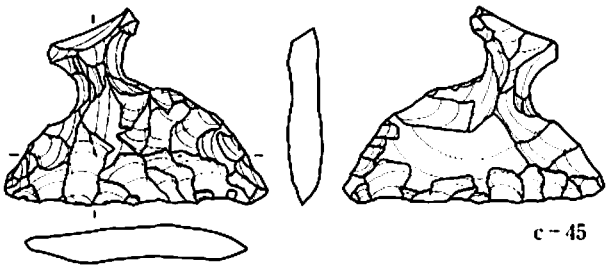
c－40



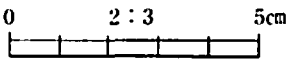
c－44



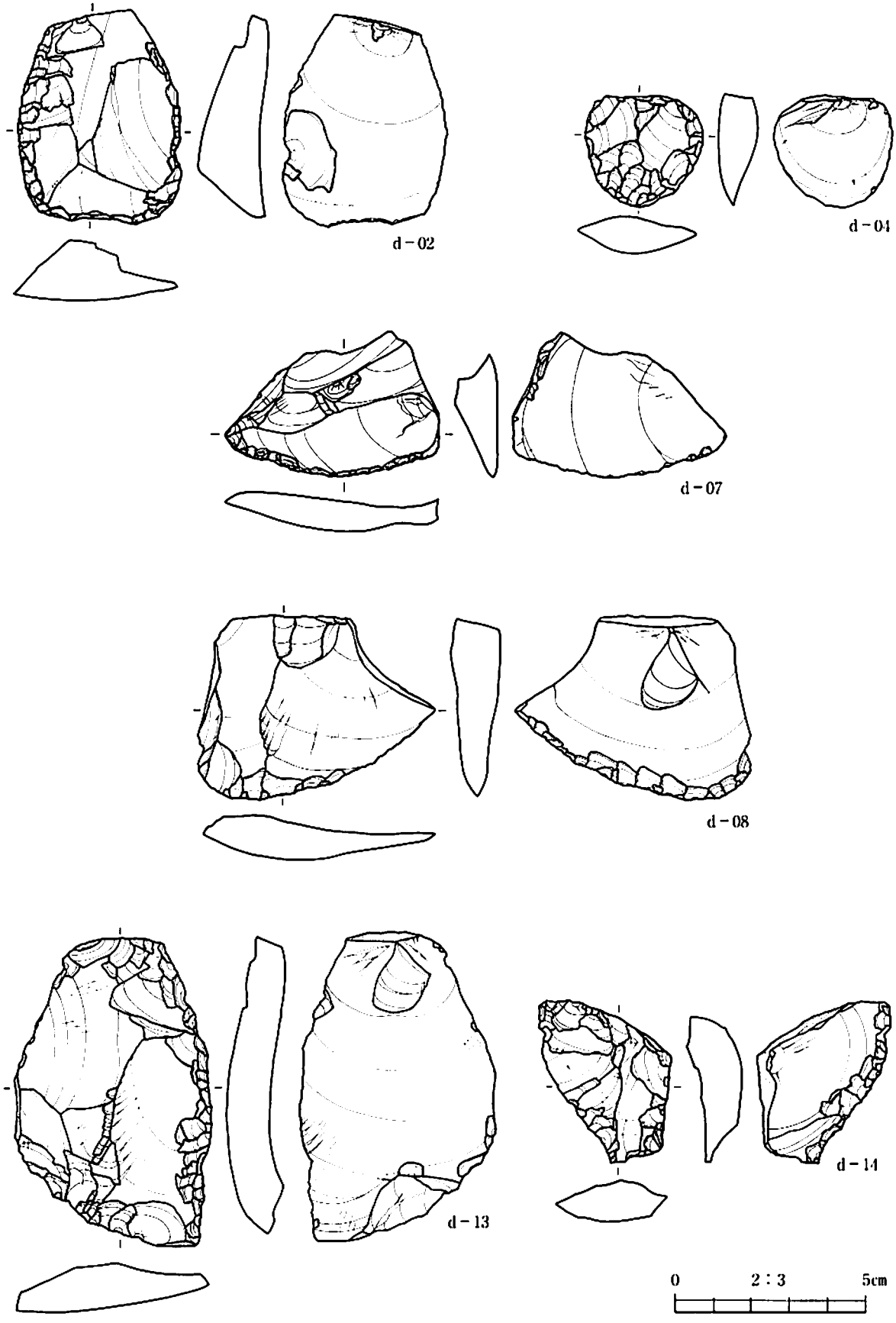
c－33



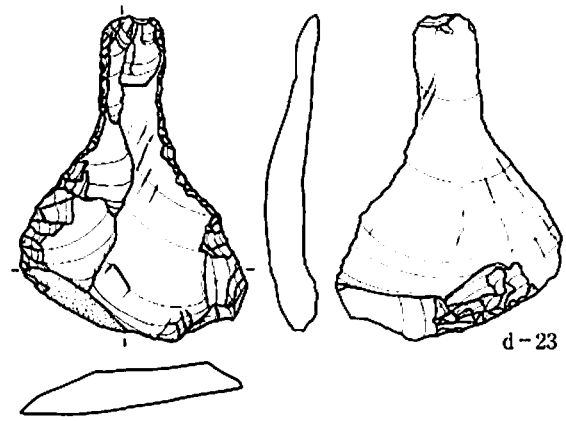
c－45

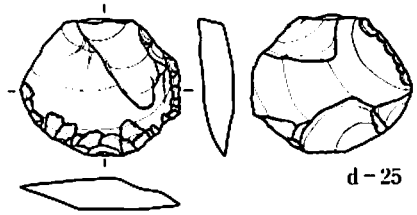


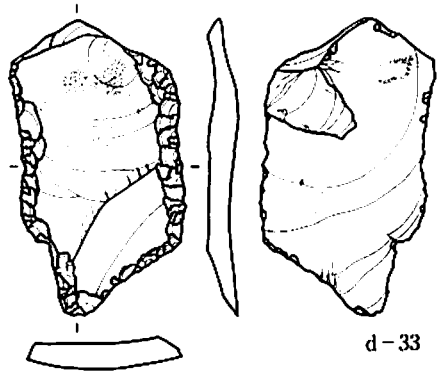
第82図　石器（2）

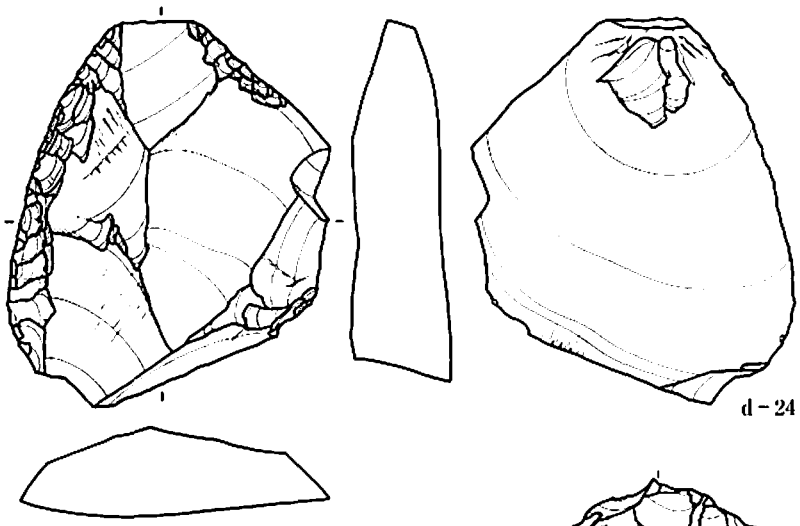


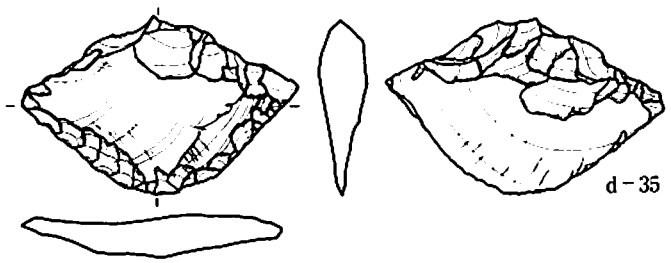
第83図　石器（3）

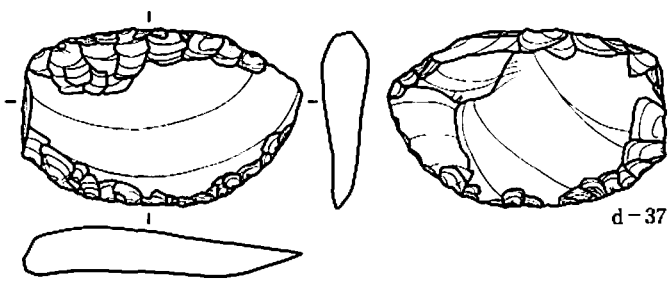


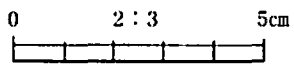




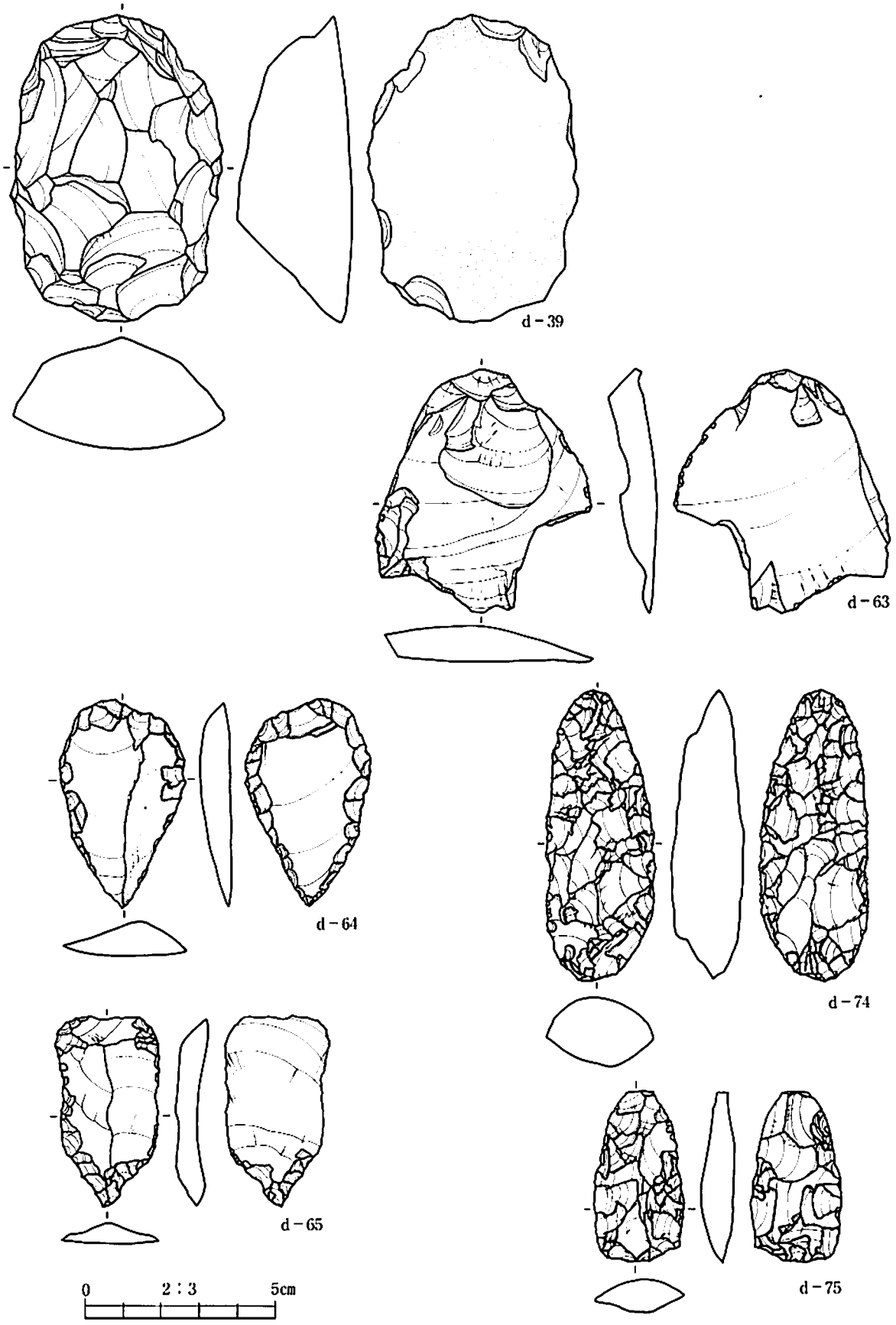




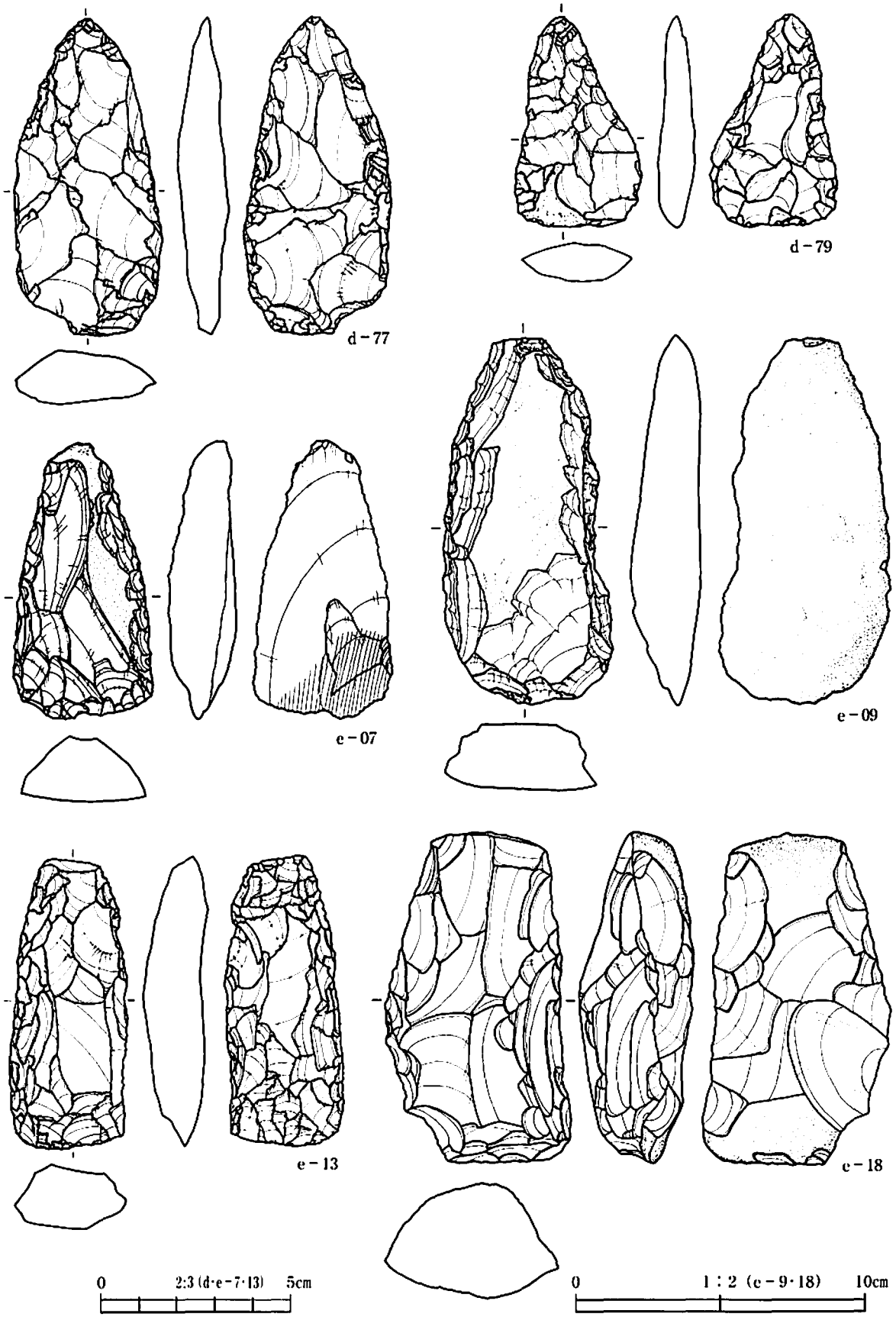




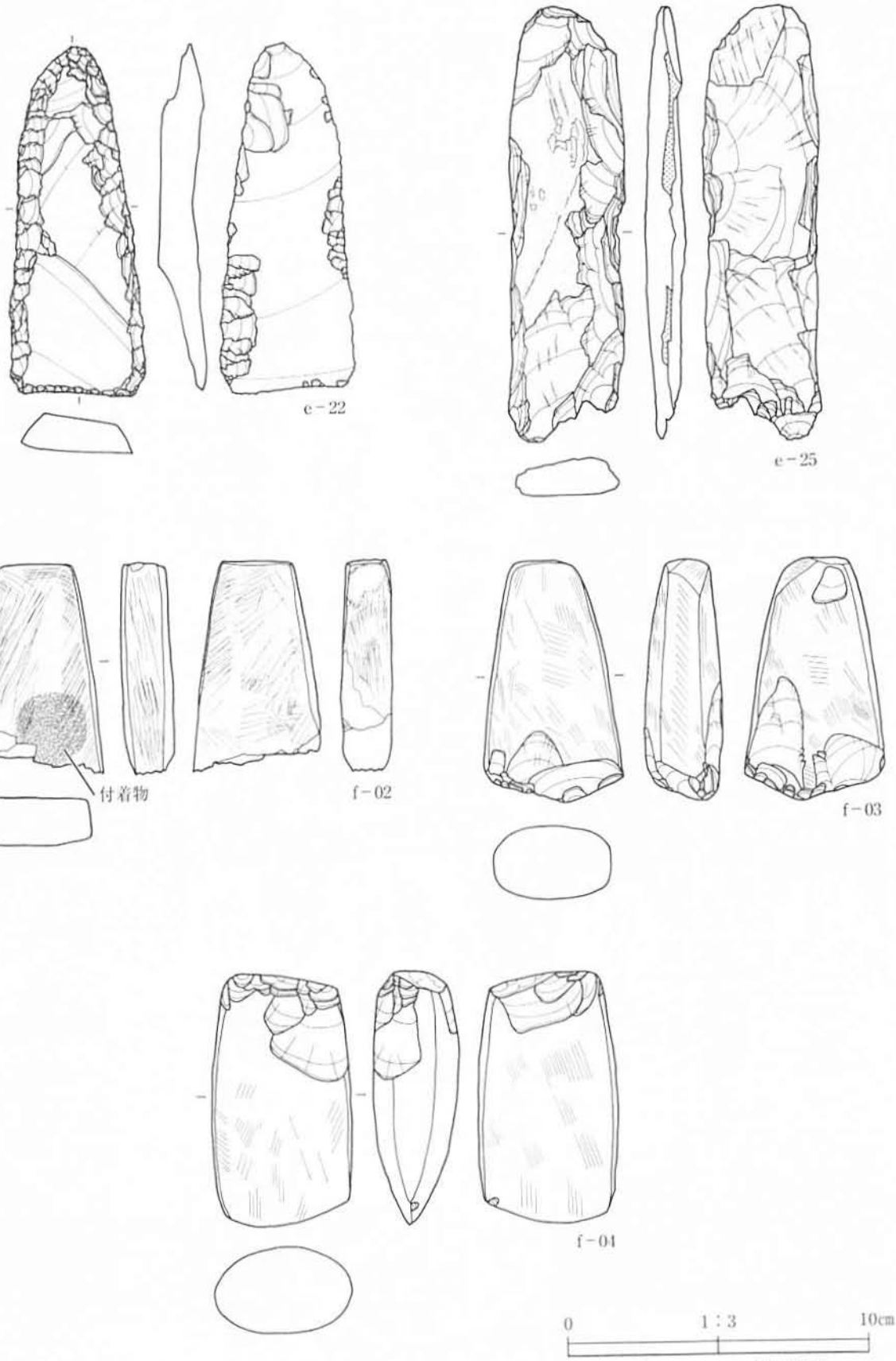
第84図　石器（4）



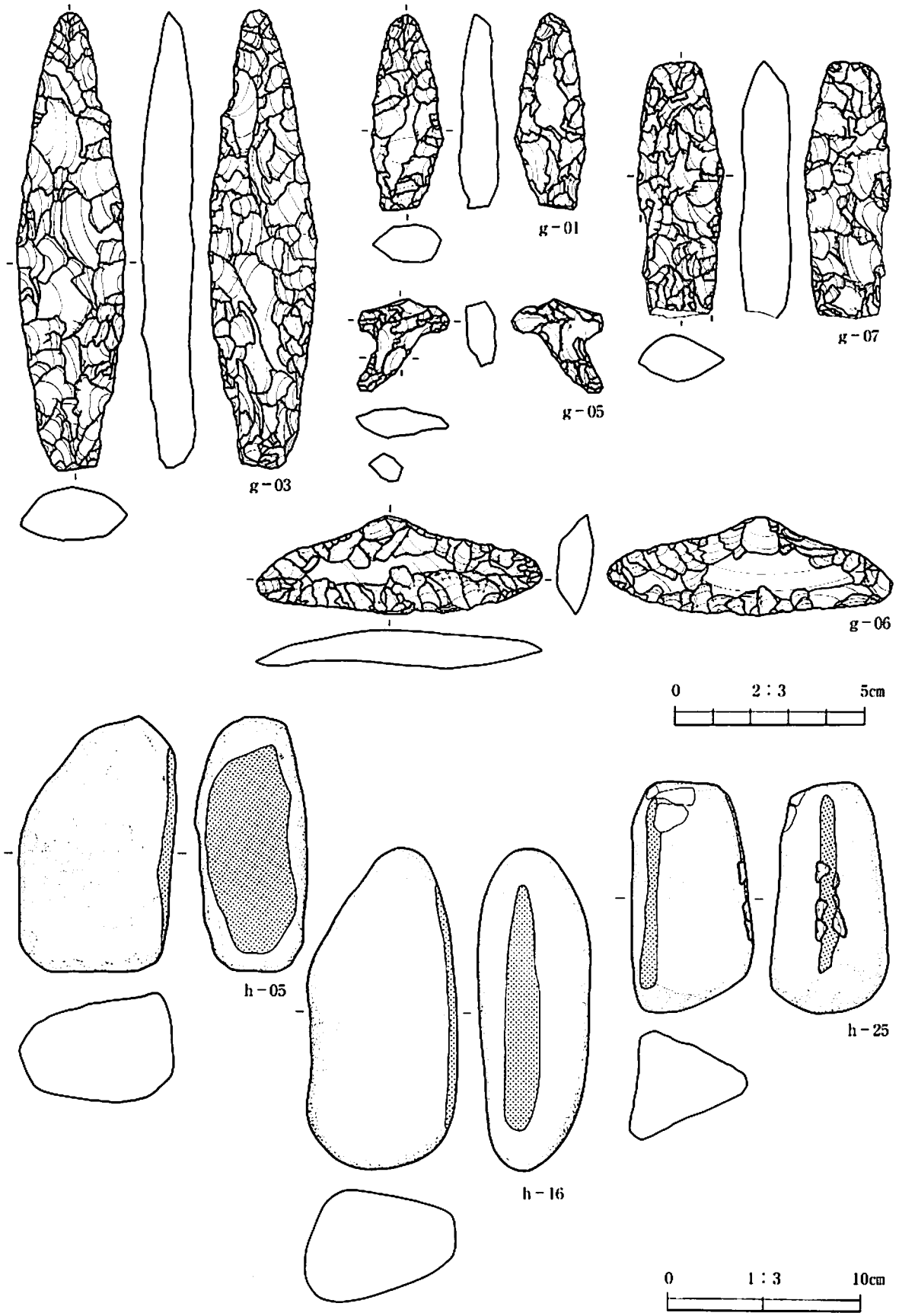
第85図　石器（5）



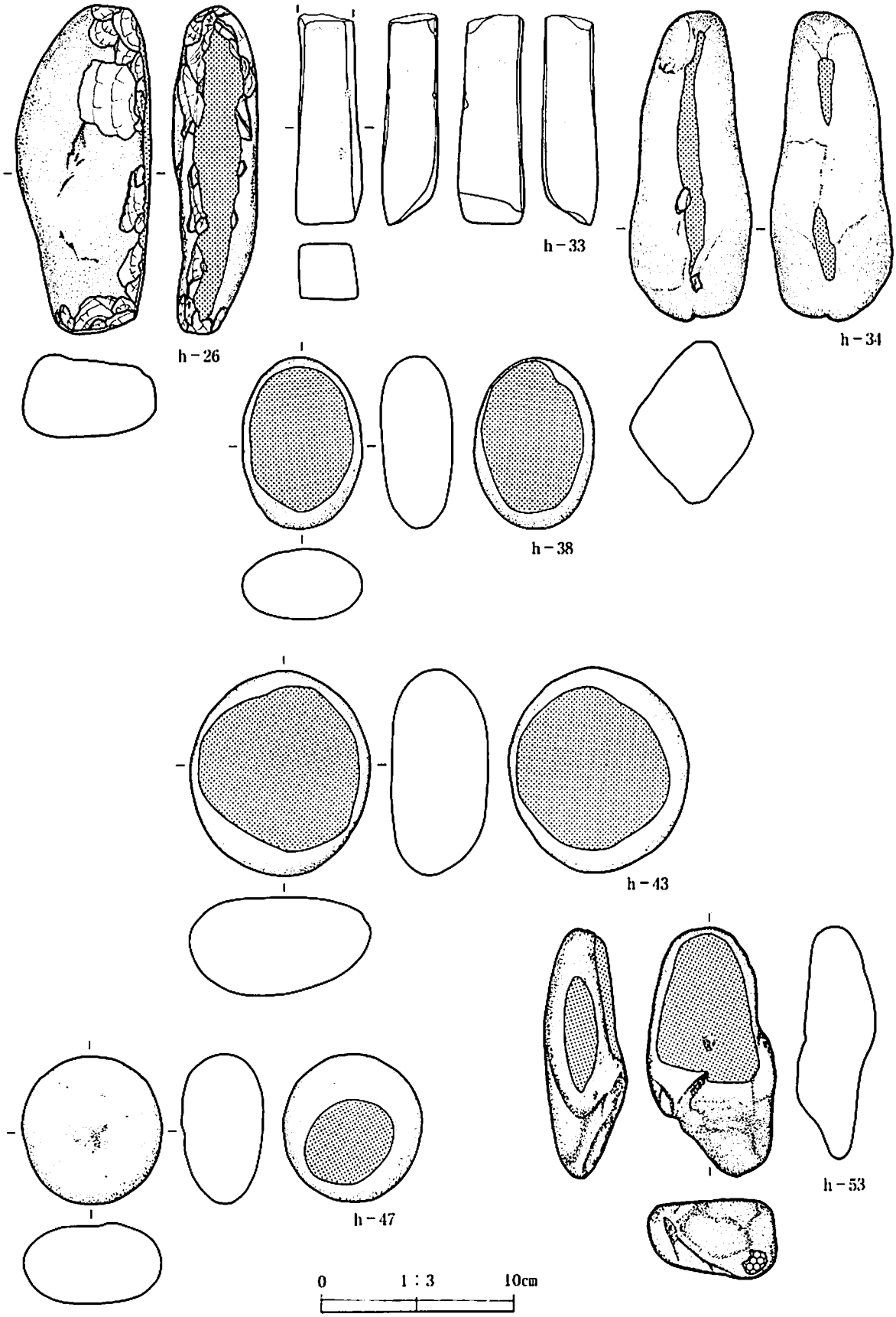
第86図　石器（6）



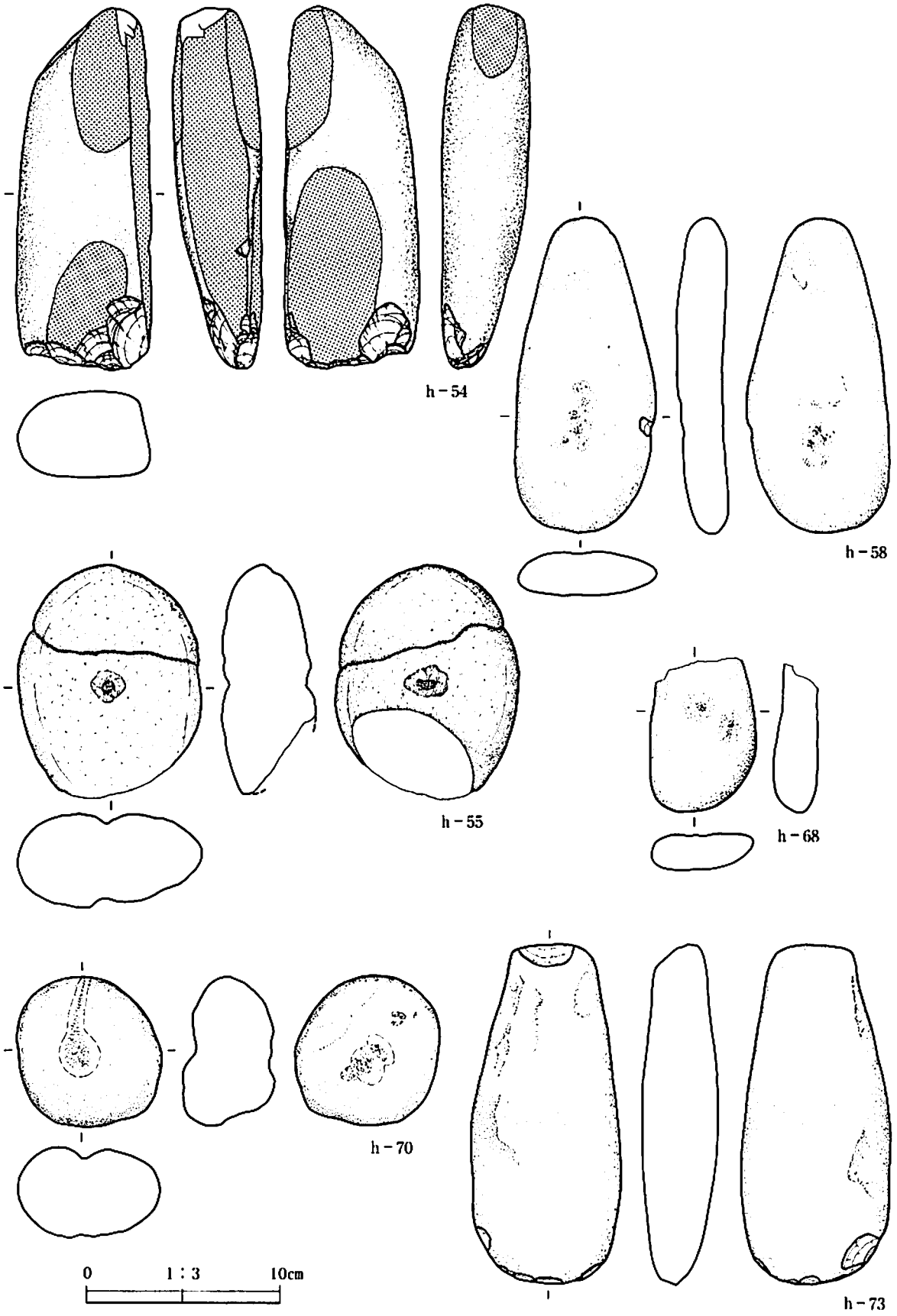
第87図　石器（7）



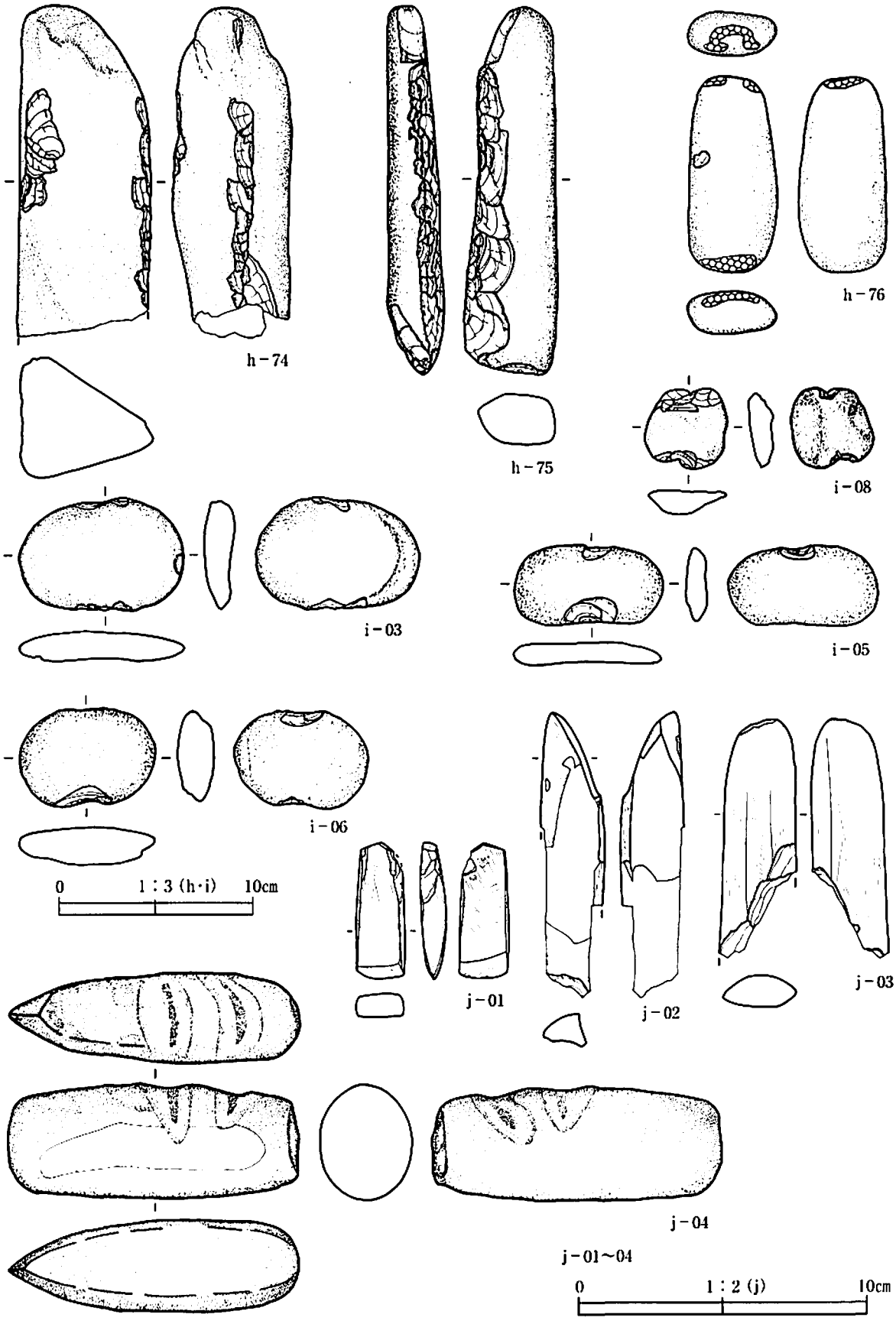
第88図　石器（8）



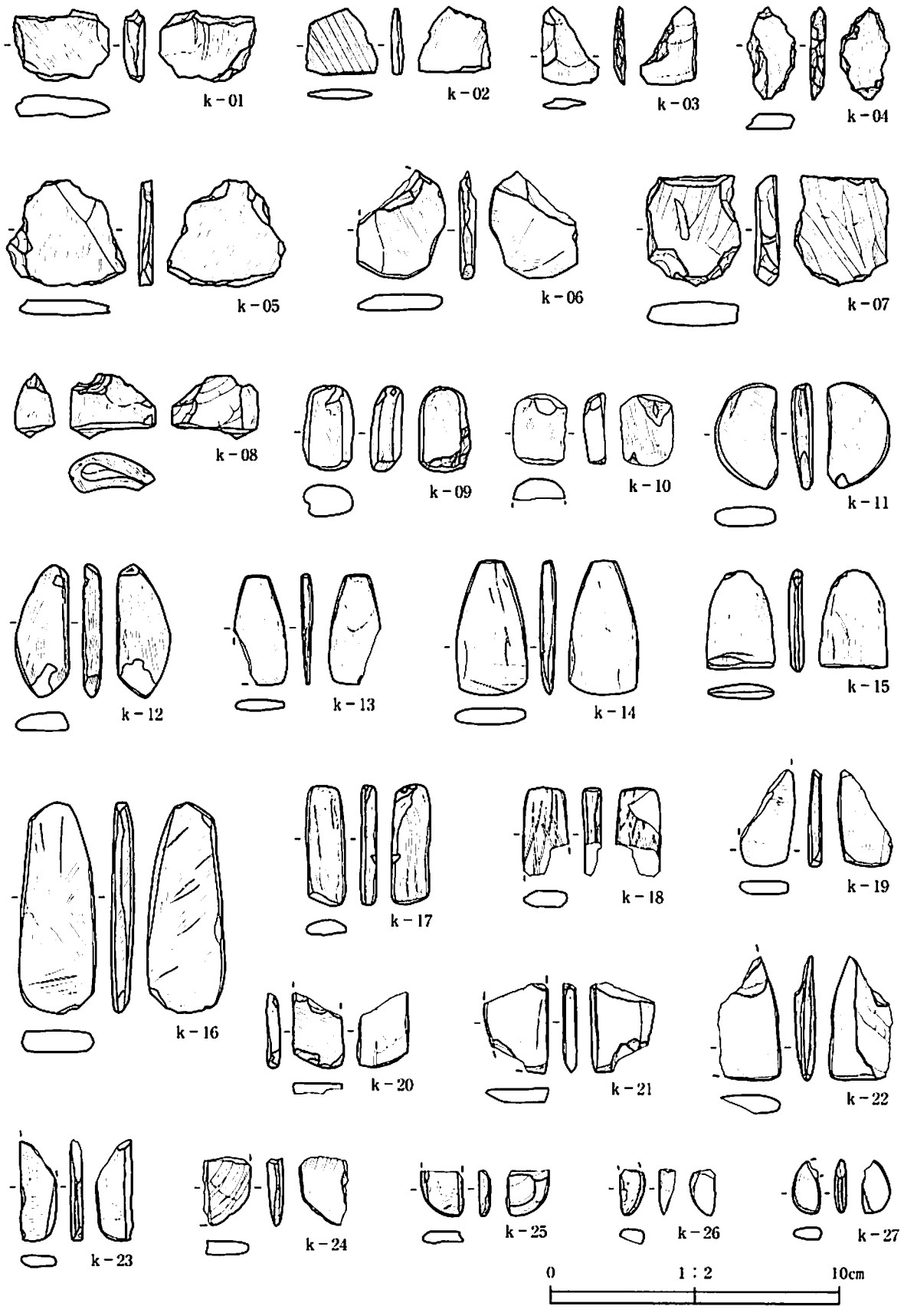
第89図　石器（9）



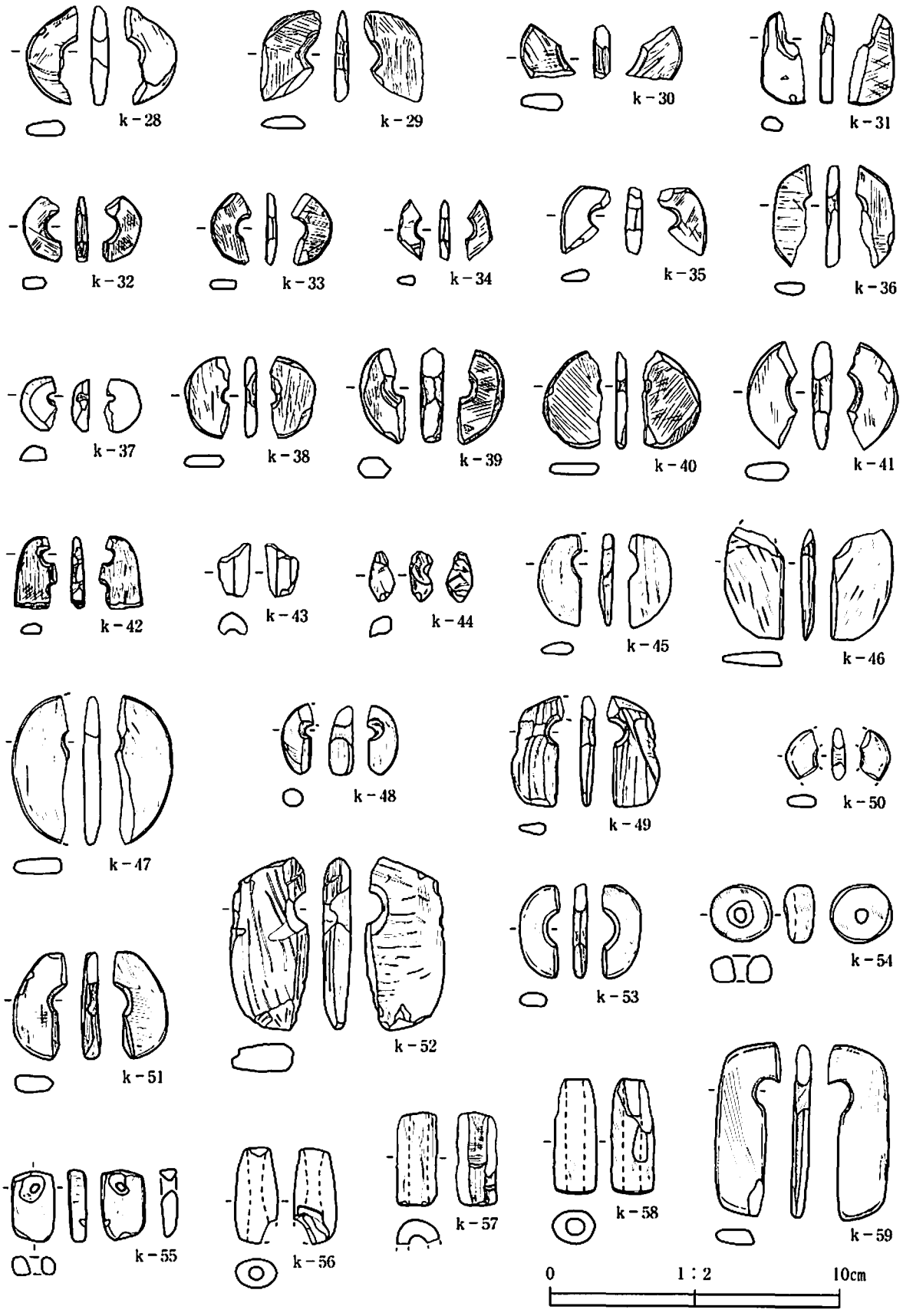
第90図　石器（10）



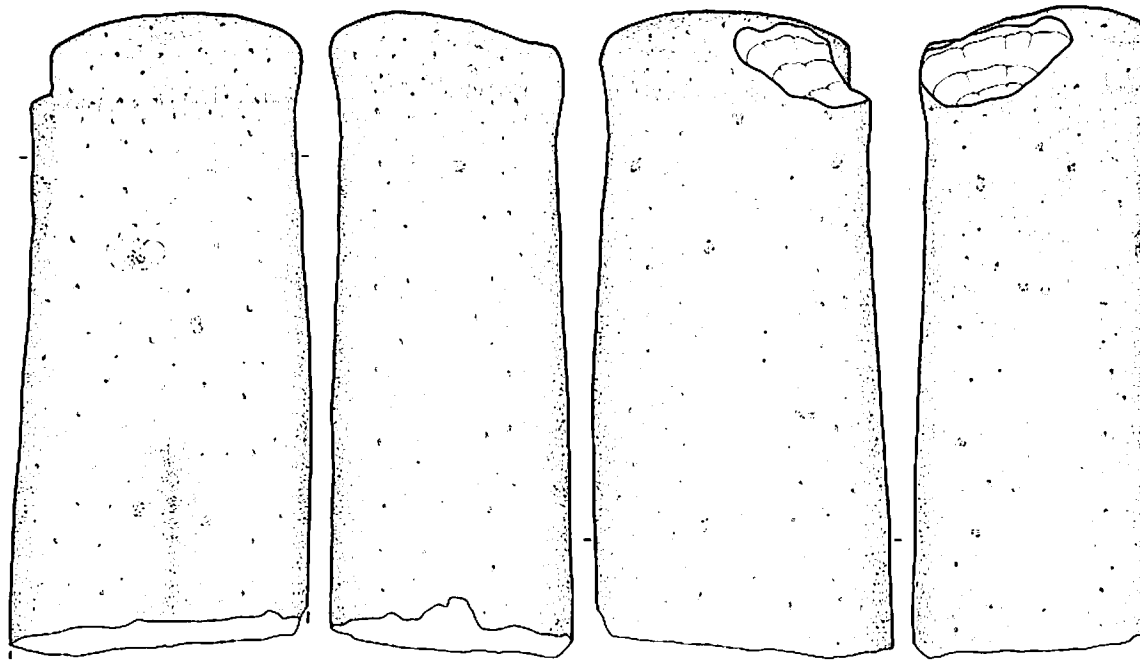
第91図　石器（11）・石製品（1）


k－01
k－02
k－03
k－04
k－05
k－06
k－07
k－08
k－09
k－10
k－11
k－12
k－13
k－14
k－15
k－16
k－17
k－18
k－19
k－20
k－21
k－22
k－23
k－24
k－25
k－26
k－27
0
1：2
10cm

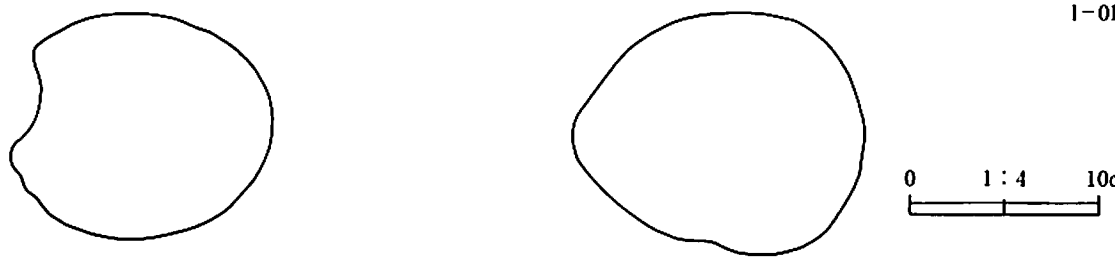
第92図　石製品（2）


k－28
k－29
k－30
k－31
k－32
k－33
k－34
k－35
k－36
k－37
k－38
k－39
k－40
k－41
k－42
k－43
k－44
k－45
k－46
k－47
k－48
k－49
k－50
k－51
k－52
k－53
k－54
k－55
k－56
k－57
k－58
k－59
0
1：2
10cm

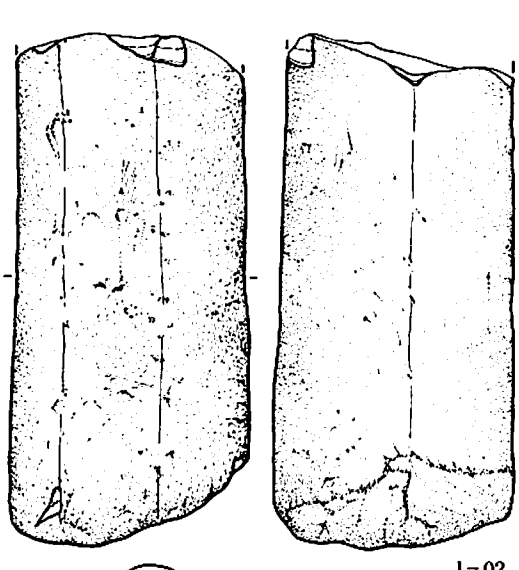
第93図　石製品（3）



1-01

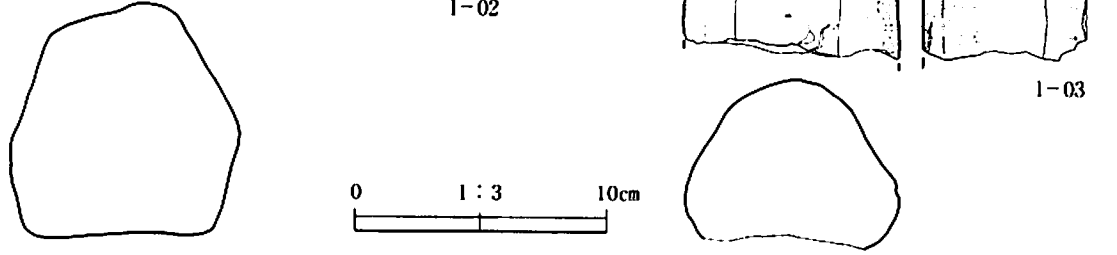


0 1：4 10cm



1-02

1-03



0 1：3 10cm

第94図　石製品（4）

表4　遺物一覧

〈土器〉（1）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
1	1号住	炉内（西側）	胴～底部	-	23.0<	9.0	10YR6/8 明黄褐色			272	42	27
2	1号住	炉内（東側）	口～底部	-	26.6<	9.0	10YR6/6 明黄褐色			309	42	27
3	1号住	炭・焼土層上位	口～胴部	32.3	45.5<	-	7.5YR5/6 明褐色	縄文RL		325	43	28
4	1号住	炭・焼土層上位	ミニチュア	(3.9)	2.8	丸底	7.5YR6/6 橙色	ナデ		291	43	27
5	1号住	0～2層中	口縁							302	43	27
6	1号住	0～2層中	胴部							303	43	27
7	1号住	3層	口縁							313	43	27
8	1号住	炭・焼土層上位	口縁							297	43	27
9	1号住	炭・焼土層上位	胴部							273	43	27
10	1号住	炭・焼土層上位	口縁							319	43	27
11	1号住	炭・焼土層上位	口縁							320	43	27
12	1号住	炭・焼土層上位	胴部							315	43	27
13	1号住	炭・焼土層上位	胴部							284	43	27
14	1号住	炭・焼土層上位	口縁							280	43	27
15	1号住	炭・焼土層上位	口縁							295	43	27
16	1号住	炭・焼土層上位	胴部							276	43	27
17	1号住	炭・焼土層上位	胴部							306	43	27
18	1号住	炭・焼土層上位	胴部							298	43	27
19	1号住	炭・焼土層上位	胴部							304	43	27
20	1号住	一括	口縁							318	43	27
21	1号住	一括	口縁							322	43	27
22	1号住	炭・焼土層より下	口縁							286	43	27
23	1号住	一括	胴部							321	43	27
24	1号住	炭・焼土層より下	口縁							311	43	27
25	1号住	炭・焼土層より下	胴部							287	43	27
26	2号住	上層	口～底部	18.2	19.2	(9.8)	10YR5/6 黄褐色	口唇・口縁：刻目列/縄文LR		247	44	27
27	2号住	一括	口～胴部	(18.9)	21.3<	-	7.5YR5/6 明褐色			310	44	28
28	2号住	1～4層	口縁							267	44	28
29	2号住	1～4層	胴部							271	44	28
30	2号住	1～4層	胴部							269	44	28
31	2号住	検出面より上	口縁							250	44	28
32	2号住	上層	口縁							248	44	28
33	2号住	上層	口縁							249	44	28
34	2号住	一括	口縁							253	44	28
35	2号住	一括	口縁							257	44	28
36	2号住	一括	口縁							255	44	28
37	2号住	一括	口縁							246	44	28

〈土器〉(2)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
38	2号住	一括	口縁							260	44	28
39	2号住	一括	口縁							259	44	28
40	2号住	一括	口縁							254	44	28
41	2号住	一括	口縁							252	44	28
42	3号住	一括	口縁	16.8	8.4<	−		無文		408	44	28
43	3号住	検出面3より上	底部	−	1.9<	3.8		ナデ		433	44	28
44	3号住	一括	口～底部	(35.0)	30.5	16.1		口～胴：半截竹管状工具による文様/縄文LR	a～cあり	443	45	29
45	3号住	1層	口～胴部	(32.3)	37.4<	−	2.5Y7/4 浅黄色	波頂部：刻目/口～頸：隆帯状(沈線・刻目)		345	45	29
46	3号住	1層	口縁							404	45	29
47	3号住	検出面3より上	口縁					棒状工具による刺突		393	45	29
48	3号住	検出面3より上	口縁							419	45	29
49	3号住	検出面3より上	胴部							430	45	29
50	3号住	検出面3	口縁							390	45	29
51	3号住	検出面3より下	口縁							412	45	29
52	3号住	検出面3より下	口縁							369	45	29
53	3号住	検出面3より下	口縁							354	45	29
54	3号住	検出面3より下	口縁							355	45	29
55	3号住	検出面3より下	口縁							368	45	29
56	3号住	検出面3より下	口縁							362	45	29
57	3号住	検出面3より下	胴部							401	45	29
58	3号住	検出面3より下	胴部							348	45	29
59	3号住	上層	口縁							425	46	29
60	3号住	下層	口縁							437	46	29
61	3号住	下層	胴部							380	46	29
62	3号住	下層	口～胴部	(32.7)	36.3<	−	10YR6/6 明黄褐色	縄文LR		438	46	29
63	3号住	A－A'ベルト	口縁							418	46	30
64	3号住	B－B'(Aより西)	胴部							406	46	30
65	3号住	B－B'(Aより東)	胴部							367	46	30
66	3号住	B－B'(Aより東)	口縁							440	46	30
67	3号住	B－B'(Aより東)	胴部							366	46	30
68	3号住	C－C'(Aより東)	口縁							397	46	30
69	3号住	D－D'ベルト	胴部							414	46	30
70	3号住	D－D'ベルト	口縁							420	46	30
71	3号住	一括	口縁							391	46	30
72	3号住	一括	口縁							409	46	30
73	3号住	一括	口縁							417	46	30
74	3号住	一括	口縁							403	46	30
75	3号住	一括	口縁							350	46	30

〈土器〉（3）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
76	3号住	一括	口縁							1643	46	30
77	3号住	一括	胴部							385	46	30
78	3号住	一括	胴部							422	46	30
79	3号住	一括	胴部							376	46	30
80	5号住	1層	口～胴部	(37.8)	36.0<	－	10YR7/6 明黄褐色	口縁：隆帯状（沈線）/縄文LR		527	47	30
81	5号住	1層	胴～底部	－	20.3<	12.8	7.5YR6/8 橙色	底部：ナデ/縄文LR		526	47	30
82	5号住	A－A' ベルト	口～胴部	(21.2)	24.4<	－	10YR6/4 にぶい黄橙色	口唇：刻目列（頸部と同じ？）/口縁：半截竹管状工具による文様/頸部：隆帯状（半截竹管状工具による圧痕）/縄文LR		525	47	30
83	5号住	A－A' ベルト	口縁							518	47	30
84	5号住	A－A' ベルト	口縁							517	47	30
85	5号住	一括	口～胴部	(31.0)	31.5<	－		口縁：隆帯状（刻目列）/縄文LR		524	47	31
86	6号住	上～中層	口～胴部	(24.4)	26.7<	－	2.5Y6/4 にぶい黄色	口唇：刻目列		446	48	31
87	6号住	上～中層	口縁							448	48	31
88	6号住	上～中層	口縁							451	48	31
89	6号住	D－E間	口～胴部	(15.4)	13.4<	－	2.5Y6/4 にぶい黄色	口縁：隆帯状（刻目列）/撚糸文R（？）		447	48	31
90	6号住	B－B' (C－D間)	口～胴部	(33.2)	33.8<	－	7.5YR6/8 橙色	口縁：隆帯状／縄文LR		444	48	31
91	6号住	Eより北Aより西	ミニチュア							469	48	31
92	6号住	E－E' (A－B間)	口縁							466	48	31
93	6号住	Bより北	口縁							467	48	31
94	6号住	一括	胴部							477	48	31
95	7号住	検出面	口縁							493	49	31
96	7号住	検出面	口縁							491	49	31
97	7号住	検出面	口縁							486	49	31
98	7号住	検出面	口縁							485	49	31
99	7号住	検出面	胴部							483	49	31
100	7号住	上～中層	口縁							497	49	32
101	7号住	A－A' (Cより南)	胴～底部	－	6.2<	8.0	10YR5/6 黄褐色	縄文RL/底部ナデ		445	49	32
102	7号住	A－A' (C－D間)	口縁							452	49	32
103	7号住	D－D' (A－B間)	口縁							463	49	32
104	7号住	D－D' (Aより西)	口縁							458	49	32
105	7号住	D－D' (Aより西)	口縁							459	49	32
106	7号住	一括	口～胴部	(32.0)	16.0<	－	2.5Y7/4 浅黄色	口縁：爪形状の刻目/頸～胴：半截竹管状工具による文様		498	49	32
107	7号住	一括	底部	－	5.1<	15.4	2.5Y6/4 にぶい黄色	縄文LR		503	49	32
108	7号住	一括	口縁							496	49	32
109	4・5号住	上～中層	口～底部	(30.0)	14.0<	－	10YR6/4 にぶい黄橙色	縄文（？）摩滅ひどい		500	50	32
110	6・7号住	中層	口～胴部	(36.0)	15.2<	－	10YR6/6 明黄褐色	頸部：隆帯状（刻目列）/撚糸文R		499	50	32

〈土器〉（4）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
111	6・7号住	上～中層	口～胴部	15.3	15.4<	-	7.5YR6/8 橙色	口唇：刻目/口縁：隆帯状/頸部：半截竹管状工具による押引き文/縄文LR		502	50	32
112	6・7号住	上～中層	胴部							513	50	32
113	6・7号住	B－B' (D－E間)	口縁							454	50	32
114	5～7号住	上～中層・一括	口～胴部	(26.4)	23.5<	-	10YR4/4 褐色	口縁：隆帯状（楕位沈線）/頸部：隆帯状（刻目列）/頸～胴：半截竹管状工具による文様・ボタン状貼付け/縄文LR		501・504	50	32
115	1号土坑	1～6層	口縁							538	51	32
116	1号土坑	1～6層	底部	-	3.0<	(19.4)	7.5YR6/8 橙色	底部：ナデ		539	51	32
117	1号土坑	1～6層	口縁							540	51	32
118	1号土坑	一括	底部	-	2.6<	(11.2)	7.5YR5/6 明褐色	底部：ナデ		537	51	32
119	2号土坑	下層	胴部							541	51	32
120	3号土坑	3・4層	胴部							543	51	33
121	3号土坑	3・4層	胴部							34	51	33
122	3号土坑	3・4層	胴部							91	51	33
123	3号土坑	4層	口縁							11	51	33
124	3号土坑	4層	胴部							10	51	33
125	3号土坑	8層	胴部							30	51	33
126	4号土坑	中層	胴部							544	51	33
127	4号土坑	下層	胴部							545	51	33
128	4号土坑	下層	胴部							546	51	33
129	5号土坑	1層中	口縁							557	51	33
130	5号土坑	1層中	口縁							558	51	33
131	5号土坑	4層上位	口縁							555	51	33
132	5号土坑	4層上位	口縁							551	51	33
133	5号土坑	4層上位	口縁							556	51	33
134	5号土坑	4層上位	口縁							550	51	33
135	5号土坑	4層上位	口縁							552	51	33
136	5号土坑	4層上位	口縁							549	51	33
137	5号土坑	4層上位	胴部							553	51	33
138	5号土坑	4層下位	口縁							564	51	33
139	5号土坑	4層下位	口縁							568	51	33
140	5号土坑	4層下位	口縁							563	51	33
141	5号土坑	4層下位	胴部							562	51	33
142	6号土坑	一括	底部	-	1.2<	15.4	7.5YR5/8 明褐色	底部：網代痕		27	51	33
143	7号土坑	上層	口～胴部	(19.8)	14.0<	-	2.5Y6/6 明黄褐色	口縁：隆帯状/縄文LR		589	52	33
144	7号土坑	上層	口～胴部	(17.8)	16.0<	-	10YR4/3 にぶい黄褐色	撚糸文R		588	52	33

〈土器〉（5）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
145	7号土坑	一括	口～胴部	(31.6)	15.3<	-	5YR5/8明赤褐色	波頂部：隆帯状（縦位）剥落か？/2本頸部：隆帯状（刻目列）・縄文LR→半截竹管状工具による文様		590	52	33
146	7号土坑	一括	口～底部	(a18.0)	a13.4< b14.3<	b12.0	10YR4/4 褐色	口縁：隆帯状/頸部：半截竹管状工具による文様/底部：ナデ/縄文LR	a b あり	591	52	33
147	7号土坑	一括	口縁							574	52	33
148	7号土坑	一括	口縁							572	52	33
149	7号土坑	一括	口縁							571	52	33
150	7号土坑	壁際	底部	-	2.8<	22.4	2.5Y7/6 明黄褐色	底部：網代痕		577	52	33
151	8号土坑	一括	口縁							592	53	34
152	9号土坑	一括	胴部							596	53	34
153	9号土坑	一括	胴部							597	53	34
154	10号土坑	上層	胴部							598	53	34
155	12号土坑	ベルト	口～胴部	14.1	13.1<	-	10YR6/6 明黄褐色	口縁：隆帯状（縦位3本）/縄文LR		608	53	34
156	12号土坑	ベルト	胴部					半截竹管状工具による文様（161と同一か？）		617	53	34
157	12号土坑	ベルト	口～胴部							614	53	34
158	12号土坑	ベルト	胴部							622	53	34
159	12号土坑	ベルト	口縁							618	53	34
160	12号土坑	ベルト	胴部							623	53	34
161	12号土坑	一括	胴～底部	-	8.7<	7.4	10YR5/6 黄褐色	胴部：半截竹管状工具による文様/底部：ナデ		609	53	34
162	12号土坑	一括	胴部							600	53	34
163	13号土坑	1～5層	口縁							632	53	34
164	13号土坑	下層	口～胴部	(20.6)	26.0<	-	10YR6/6 明黄褐色	撚糸文R		631	53	34
165	12·13·15号土坑	一括	口～胴部							629	54	34
166	12·13·15号土坑	一括	口縁							610	54	34
167	12·13·15号土坑	一括	口縁							613	54	34
168	12·13·15号土坑	一括	口縁							612	54	34
169	12·13·15号土坑	一括	口縁							606	54	34
170	12·13·15号土坑	一括	口縁							601	54	34
171	16号土坑	3・4層	口縁							644	54	35
172	14号土坑	一括	口～底部	(44.2)	42.9<	(26.0)	10YR6/4 にぶい黄橙色	口唇：刻目列/口～頸：半截竹管状工具による文様・隆帯状（刻目列）/縄文LR	8 p グリッドと接合	633	54	35
173	14号土坑	ベルト	口縁							635	54	35
174	14号土坑	一括	口縁							634	54	35

〈土器〉（6）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
175	14号土坑	一括	口縁							643	54	35
176	14号土坑	一括	胴部							639	54	35
177	14号土坑	ベルト	胴部	－	8.7<	－	10YR3/4 暗褐色	口縁：縦位沈線	8ｐグリッドと接合	637	55	35
178	14号土坑	一括	口～底部	(14.0)	20.1<	－	2.5Y5/4 黄褐色	頸部：半截竹管状工具による文様/縄文L（？）		638	55	35
179	18号土坑	中層	口～底部	15.6	19.0	9.0	10YR5/6 黄褐色	口～底：ナデ	出土地点写真図版に記載	657	55	35
180	18号土坑	中層	口～胴部						出土地点写真図版に記載	645	55	35
181	18号土坑	中層	口縁						出土地点写真図版に記載	655	55	35
182	18号土坑	1～6層	口～胴部							650	55	35
183	18号土坑	1～6層	口縁							651	55	35
184	18号土坑	1～6層	口縁							652	55	35
185	18号土坑	上層	口縁							648	55	35
186	19号土坑	一括	胴部							659	55	36
187	19号土坑	一括	胴部							658	55	36
188	20号土坑	上層	口縁							661	55	36
189	20号土坑	上層	口縁							663	55	36
190	20号土坑	上層	口縁							662	55	36
191	22号土坑	一括	口縁							665	55	36
192	22号土坑	一括	胴部							666	55	36
193	22号土坑	一括	胴部							668	55	36
194	23号土坑	一括	口縁							669	56	36
195	24号土坑	一括	胴部							671	56	36
196	27号土坑	一括	口縁							676	56	36
197	28号土坑	5層以下	口～胴部	(17.6)	8.1<	－	7.5YR6/8 橙色	口縁：円形粘土板、山形突起、隆帯状、/山形粘土貼付、半截竹管状工具による文様/地文なし（ナデ）		680･686	56	36
198	28号土坑	5層以下	口縁							692	56	36
199	28号土坑	中～下層	口～胴部	(29.4)	17.1<	－	10YR4/3 にぶい黄褐色	波頂部：山形突起/波頂間：縦位粘土貼付/口～頸：半截竹管状工具による文様・刺突、沈線		687	56	36
200	28号土坑	中～下層	口縁							689	56	36
201	28号土坑	中～下層	口縁							691	56	36
202	28号土坑	中～下層	口縁							690	56	36
203	28号土坑	中～下層	口縁							678	56	36
204	28号土坑	中～下層	口縁							688	56	36
205	30号土坑	1層中	口～胴部	17.0	15.2<	－	7.5YR6/8 橙色	縄文LR		700	56	36
206	30号土坑	1層中・盛土	口～胴部	22.4	10.1<	－	10YR5/4 にぶい黄褐色	口縁：縦位（2本）粘土貼付（6単位）/縄文LR		698	56	37
207	30号土坑	1層中	口～胴部	(41.2)	30.5<	－	2.5Y7/4 浅黄色	口縁：隆帯状（刻目列）/縄文LR		701	57	36

〈土器〉（7）

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
208	30号土坑	1層中	口～胴部	19.9	29.1<	－	10YR4/4 褐色	縄文LR		697	57	37
209	30号土坑	一括	口縁							710	57	37
210	30号土坑	一括	胴部							713	57	37
211	30号土坑	一括	口縁							709	57	37
212	30号土坑	一括	口縁							708	57	37
213	30号土坑	一括	口縁							712	57	37
214	30号土坑	一括	口～底部	21.1	33.2	(11.9)	7.5YR6/8 橙色	底部：剥落/撚糸文 r		696	57	37
215	30号土坑	一括・盛土	胴～底部	－	11.4<	12.2	7.5YR6/8 橙色	底部：ナデ/縄文LR		699	57	37
216	30号土坑	一括	ミニチュア	(2.8)	2.0<	－		ナデ		704	57	37
217	32号土坑	一括	口～胴部	14.1	19.0<	－	7.5YR5/8 明褐色	口縁：隆帯状/撚糸文R		721	58	37
218	32号土坑	下層	胴部							724	58	37
219	35号土坑	4層	口～胴部	16.0	17.4<	－	2.5Y6/4 にぶい黄色	撚糸文R		733	58	38
220	35号土坑	4層上面	胴～底部	－	33.3<	29.8	7.5YR6/8 橙色	底部：ナデ/縄文LR		727	58	38
221	35号土坑	4層下面	口～胴部	(30.8)	33.3<	－	7.5YR5/8 明褐色	波頂部：内側からの貫通孔、円形貼付文/口～胴：半截竹管状工具による文様/縄文LR		726	58	38
222	35号土坑	4層	底部	－	6.2<	18.0	7.5YR6/8 橙色	底～胴：ナデ		731	58	38
223	35号土坑	4層	口～胴部	34.2	27.1<	－	7.5YR6/8 橙色	口縁：細い沈線（弧状）/縄文LR		740	58	38
224	35号土坑	4層	口～底部	40.3	55.5	20.4	5YR5/8 明赤褐色	口～頸：隆帯状（刻目列）/縄文LR		741	59	39
225	35号土坑	4層	口～胴部	(32.1)	28.5<	－	7.5YR5/8 明褐色	頸部隆帯状（刻目列）/撚糸文R		728	59	39
226	35号土坑	2～4層中	口縁							760	59	38
227	35号土坑	2～4層中	口縁							757	59	38
228	35号土坑	2～4層中	口縁							758	59	38
229	35号土坑	一括	胴部							742	59	39
230	35号土坑	一括	口縁							745	59	39
231	35号土坑	一括	胴部							736	59	39
232	35号土坑	一括	胴部							743	59	39
233	35号土坑	一括	胴部							752	59	39
234	36号土坑	上層	口縁							717	60	39
235	36号土坑	一括	胴部							719	60	39
236	36号土坑	一括	胴部							720	60	39
237	38号土坑	1～2層	胴～底部	－	6.7<	11.4	10YR6/6 明黄褐色	底部：網代痕		762	60	40
238	38号土坑	3～12層	口～胴部	(27.4)	10.0<	－	10YR4/4 褐色	口縁：渦巻状・楕円状（各2単位）→横位→縦位粘土貼付	a bあり	771	60	40
239	38号土坑	1～2層	口～胴部						a bあり	761-783	60	40
240	38号土坑	3～12層	口～底部	(23.0)	35.5	13.7	2.5Y5/4 黄褐色	口～頸：半截竹管状工具による刺突・文様、横位沈線/地文なし（ナデ？）		770	60	40

〈土器〉(8)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
241	38号土坑	ベルト中央3～12層	口～胴部	23.2	21.0<	-		波頂部：頸部に縦位橋状把手/口縁：縦・横位粘土紐貼付/頸部：縦・横位沈線		776	61	40
242	38号土坑	ベルト中央	口～胴部	24.7	44.0<	-	7.5YR6/8 橙色	波頂部：渦巻き状粘土貼付/口～頸：半截竹管状工具による押引文、縦・横位沈線		763	61	41
243	38号土坑	下層・一括	口縁	(26.4)	9.5<	-	7.5YR6/8 橙色	口縁：山形？突起/口～頸：縦・横位沈線		800·806	61	40
244	38号土坑	底面	口～底部	-	7.4<	11.7	7.5YR5/8 明褐色	底部：ナデ		772	61	40
245	38号土坑	一括	口縁							778	61	41
246	38号土坑	3～12層	口～胴部							766	61	41
247	38号土坑	3～12層	口縁							797	61	41
248	38号土坑	3～12層	口縁							833	61	41
249	38号土坑	3～12層	胴部							836	61	41
250	38号土坑	ベルト中央	口縁							793	61	41
251	38号土坑	一括	口～底部	(30.4)	11.5<	-	7.5YR6/8 橙色	口縁：隆帯状/把手（外側からの貫通孔）/紐状粘土貼付		809	61	41
252	38号土坑	一括	口縁							781	61	41
253	38号土坑	一括	口～胴部	22.2	23.8<	-	10YR6/6 明黄褐色	口縁：ボタン状貼付、縦位沈線		764	62	41
254	38号土坑	一括	口～胴部							774	62	41
255	38号土坑	一括	口縁							820	62	41
256	38号土坑	一括	口縁							829	62	41
257	38号土坑	一括	口縁							777	62	41
258	38号土坑	一括	口縁							814	62	41
259	38号土坑	一括	口縁							784	62	41
260	38号土坑	一括	胴部							789	62	41
261	38号土坑	一括	胴部							791	62	41
262	38号土坑	一括	口縁							782	62	41
263	39号土坑	一括	胴部							838	62	42
264	39号土坑	一括	胴部							839	62	42
265	40号土坑	一括	胴部							841	62	42
266	40号土坑	一括	胴部							840	62	42
267	41号土坑	検出面	口～胴部	(26.2)	19.5<	-	10YR6/4 にぶい黄橙色	縄文LR		843	62	42
268	41号土坑	一括	底部	-	5.1<	(15.2)	10YR6/8 明黄褐色	底部：ナデ/縄文LR		846	62	42
269	41号土坑	一括	底部					ナデ		845	62	42
270	41号土坑	一括	口縁							848	62	42
271	42号土坑	一括	胴部							975	62	42
272	43号土坑	底面	口縁							852	63	42
273	43号土坑	底面	胴部							856	63	42
274	43号土坑	底面	口縁							853	63	42

〈土器〉(9)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
275	44号土坑	一括	胴部							859	63	42
276	44号土坑	一括	胴部							858	63	42
277	45号土坑	10層上位	口～底部	(22.8)	33.3	12.9	2.5Y6/6 明黄褐色	口唇：刻目/縄文LR		899	63	42
278	45号土坑	10層上位	口～胴部	(20.2)	28.1<	-		口縁：隆帯状/縄文LR		863	63	42
279	45号土坑	10層上位	口～胴部	(43.0)	25.7<	-	2.5Y6/4 にぶい黄色	口縁：隆帯状（刻目）/頸部：沈線/縄文LR		860	63	43
280	45号土坑	一括	ミニチュア	5.0<	1.8	4.0<	10YR6/4 にぶい黄橙色	外面からの貫通孔		890	63	42
281	45号土坑	一括	口～胴部	(23.8)	30.4<	-	5YR4/6 赤褐色			861	64	43
282	45号土坑	一括	口縁							881	64	42
283	45号土坑	一括	口縁							867	64	42
284	45号土坑	一括	口縁							891	64	42
285	45号土坑	一括	口縁							931	64	42
286	45号土坑	一括	口縁							893	64	42
287	45号土坑	一括	口縁							868	64	42
288	45号土坑	一括	口縁							932	64	42
289	45号土坑	一括	胴部							894	64	42
290	46号土坑	一括	口～胴部	16.3	13.5	-	10YR6/6 明黄褐色	口縁：隆帯状（ボタン状貼付列・刻目列）/頸～胴：半截竹管状工具による文様		896	64	43
291	48号土坑	一括	口～胴部	(19.4)	13.0<	-	10YR3/3 暗褐色			934	64	43
292	48号土坑	8層より上	胴～底部	-	13.3<	25.0	10YR6/6 明黄褐色	底部：網代痕？→ナデ/縄文LR		946	64	43
293	48号土坑	8層以下	口～胴部	(26.4)	20.8<	-	10YR6/6 明黄褐色	波頂部：縦位隆帯状/口～胴：沈線（頸部下端貼付け）		906・938~940・947	65	43
294	48号土坑	8層上位	口縁							926	65	43
295	48号土坑	一括	胴～底部	-	5.4<	(9.8)	7.5YR5/6 明褐色	ナデ		908	65	43
296	48号土坑	一括	ミニチュア	5.1	6.5	2.9	10YR6/6 明黄褐色	口縁：縦位２本粘土貼付け（２単位）/縄文LR		1637	65	43
297	48号土坑	一括	口縁							910	65	44
298	48号土坑	一括	口～胴部							907	65	44
299	48号土坑	一括	口縁							937	65	44
300	48号土坑	一括	口縁							925	65	44
301	48号土坑	一括	口縁							909	65	44
302	48号土坑	一括	胴部							917	65	44
303	48号土坑	一括	口縁							928	65	44
304	48号土坑	一括	胴部							913	65	44
305	48号土坑	一括	胴部							924	65	44
306	48号土坑	一括	口～胴部							912	65	44
307	49号土坑	一括	口縁							953	66	44
308	49号土坑	一括	口縁							951	66	44
309	49号土坑	一括	口縁							952	66	44

〈土器〉(10)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
310	49号土坑	一括	胴部							950	66	44
311	50·54号土坑	一括	口縁							960	66	44
312	50·54号土坑	一括	口縁							961	66	44
313	50·54号土坑	一括	胴部							966	66	44
314	50·54号土坑	一括	口縁							959	66	44
315	50·54号土坑	一括	口縁							955	66	44
316	50·54号土坑	一括	胴部							967	66	44
317	50·54号土坑	一括	胴部							965	66	44
318	51号土坑	一括	口縁							968	66	44
319	51号土坑	一括	口縁							969	66	44
320	p 067	上層	胴部							981	66	44
321	p 083	上層	胴部							983	66	44
322	p 083	上層	底部	-	8.5<	(13.0)	10YR5/4 にぶい黄褐色	底部：ナデ/縄文LR？		984	66	44
323	p 091	一括	胴部							986	66	44
324	p 105	下層	口縁							988	66	44
325	p 105	上層	口縁							989	66	44
326	p 109	下層	胴部							991	66	44
327	p 137	上層	胴部							1000	66	44
328	p 166	上層	口縁							1002	66	44
329	p 168	一括	胴部							1003	66	44
330	p 131	上層	胴～底部	-	12.3<	9.3	7.5YR5/6 明褐色	ナデ		976	67	44
331	p 131	上層	胴～底部	-	7.6<	(8.0)	7.5YR5/8 明褐色	底部：ナデ/縄文LR		997·998	67	44
332	p 159	一括	口～胴部	(24.8)	12.5<	-	10YR6/6 明黄褐色	口縁：小波状/頸部：隆帯状（刻目列）/縄文LR		977	67	45
333	p 159	一括	底部	-	4.0<	12.0	7.5YR5/6 明褐色	ナデ		978	67	45
334	p 195	上層	胴～底部	-	20.5<	(16.6)	7.5YR5/8 明褐色	底部：網代痕/縄文LR		979	67	45
335	p 261	一括	胴部							980	67	45
336	p 261	一括	口縁							1004	67	45
337	p 261	一括	胴部							1005	67	45
338	p 408	一括	底部							1010	67	45
339	p 414	一括	口縁							1012	67	45
340	p 504	一括	口縁							1020	67	45
341	2 d · 3 d	Ⅱ～Ⅲ層	ミニチュア	(7.7)	6.7	5.7	7.5YR5/8 明褐色	ナデ		1025	68	45
342	2 f	2 f (1)床面より上	口～底部	19.6	28.7	(9.6)	2.5Y6/4 にぶい黄色	口唇：刻目列/撚糸文R		141	68	45
343	2 f	2 f (1)床面より上	口縁	(19.8)	13.8<	-	10YR3/3 暗褐色	口唇：刻目列/口～頸：半截竹管状工具による文様/		136	68	45
344	2 f	2 f (1)床面より上	口縁	(26.1)	8.1<	-	7.5YR6/8 橙色	波頂部：円形凹2対/縄文LR		153	68	45
345	2 f	2 f (1)床面より上	口～胴部	11.2	14.2<	-	10YR5/4 にぶい黄褐色	口唇：隆帯状		150	68	46
346	2 f	2 f (1)床面より上	口縁							175	68	45
347	2 f	2 f (1)床面より上	口縁							173	68	45

〈土器〉(11)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
348	2 f	2 f (1)床面より上	口～底部	(14.8)	18.7	10.0	2.5Y6/4 にぶい黄色	無文		140	68	46
349	2 f	2 f (1)床面より上	口縁							167	69	45
350	2 f	2 f (1)床面より上	胴部							226	69	46
351	2 f	2 f (1)床面より上	口縁							334	69	46
352	2 f	2 f (1)床面より上	胴部							214	69	46
353	2 f	2 f (1)床面より下	胴～底部	－	15.8<	(9.4)	10YR5/6 黄褐色	撚糸文R (?)		224·234	69	46
354	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	22.6	23.3<	－	10YR6/4 にぶい黄橙色	縄文LR		163	69	46
355	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							178	69	46
356	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	24.4	28.1<	－	10YR7/4 にぶい黄橙色	口縁：貼り付け4単位・刻目列/縄文LR		147	69	46
357	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	(25.8)	24.1<	－	10YR5/4 にぶい黄褐色	頸部：鋸歯文／撚糸文L (?)		148	70	47
358	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	(15.4)	20.9<	－	7.5YR6/6 橙色	口唇：刻目列／撚糸文R (?)		146	70	47
359	2 f	2 f (3)床面～下層	口～底部	(23.5)	21.3	14.4	10YR6/6 明黄褐色	口縁：中波状		162	70	47
360	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	18.0	20.6<	－	7.5YR4/6 褐色	縄文RL		142	70	47
361	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							180	70	47
362	2 f	2 f (3)床面～下層	胴部							970	70	47
363	2 f	2 f (3)床面～下層	胴～底部	(13.0)	9.9	5.4	10YR5/6 黄褐色	口縁：隆帯状 (?) ／縄文RL		144	70	47
364	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	(26.0)	27.0<	－	7.5YR6/8 橙色			143	71	48
365	2 f	2 f (3)床面～下層	口～底部	(20.6)	39.1	13.0	5 YR6/ 6 橙色	口縁：中波状/撚糸文L		145	71	48
366	2 f	2 f (3)床面～下層	胴部							223	71	47
367	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							184	71	47
368	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							329	71	47
369	2 f	2 f (3)床面～下層	口～胴部	(30.8)	27.1<	－	5 YR6/8橙色	口縁：半截竹管状工具による文様		123	71	48
370	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							336	71	48
371	2 f	2 f (3)床面～下層	口縁							327	71	48
372	2 f	2 f (3)床面	口～底部	(13.2)	9.8	(8.4)	7.5YR5/8 明褐色	ナデ		152	71	48
373	2 f・3 f	A－A' (Cより南)	口～胴部	(27.3)	28.2<	－	10YR5/4 にぶい黄褐色	口縁：隆帯状（頂部縦位3本・頂間刻目列）／半截竹管状の工具による沈線／頸部：隆帯状（原体圧痕）／縄文LR		159	72	48
374	2 f・3 f	A－B間	胴部							228	72	48
375	2 f・3 f	A－B間	口～底部	(19.0)	26.1	10.7	10YR6/6 明黄褐色	縄文LR		122	72	49
376	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口～胴部	(20.8)	13.1<	－	10YR3/3 暗褐色	口縁：隆帯状/頸部：隆帯状（刻目列）、半截竹管状工具による文様		155	72	49
377	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口～底部	(19.1)	14.5<	－				149	72	49
378	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口縁							341	72	49
379	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口縁							191	72	49
380	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口縁							212	72	49
381	2 f・3 f	2 f (3)遺物集中地点	口縁							236	72	49

〈土器〉(12)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
382	2f・3f	2f(3)遺物集中地点	口縁							219	72	49
383	2f・3f	2f(3)遺物集中地点	口縁							193	72	49
384	2f・3f	2f(3)遺物集中地点	口縁							235	72	49
385	2f・3f	2f(3)遺物集中地点	口縁							342	72	49
386	2f・2g・3g	2f(1)床面より上	口縁							137	73	49
387	2f・2g・3g	2f(1)床面より上	胴部							131	73	49
388	2g	2f(1)床面より上	口～胴部	(30.2)	30.6<	-	10YR6/6 明黄褐色	縄文LR		139	73	49
389	2g	2f(3)床面～下層	口～底部	15.1	17.8	(7.6)	7.5YR6/8 橙色	ナデ		151	73	49
390	2g	2f(3)床面～下層	口縁							239	73	49
391	2g	2f(3)床面～下層	胴～底部	-	7.0<	6.9	7.5YR6/8 橙色			156	73	49
392	2g	Ⅳ層上位	口～底部	(17.2)	22.8	8.4	10YR6/8 明黄褐色	縄文LR		1220	73	50
393	2g	Ⅳ層上位	底部	-	4.7<	6.0				1222	73	50
394	2g	焼土より上	胴部							530	73	50
395	3e	一括	口縁							279	73	50
396	3e	Ⅱ～Ⅲ層	口～胴部	19.5	16.6<	-	10YR5/6 黄褐色	口縁：隆帯状/ナデ		1079	73	50
397	3g	≒3号住1層	口～底部	26.6	47.0	17.4	2.5Y6/6 明黄褐色	口縁：隆帯状／縄文LR		111	74	50
398	3g	≒3号住1層	口縁							971	74	50
399	3g	≒3号住1層	口縁							113	74	50
400	3g	≒3号住1層	口縁							116	74	50
401	3g	≒3号住1層	口～胴部	(22.5)	16.4<	-	2.5Y6/4 にぶい黄色	波頂部：刻目列/縄文LR		112	74	50
402	3g	≒3号住1層	口～胴部	23.6	15.5<	-	10YR6/8 明黄褐色	口縁：胴面圧痕（？）/縄文L		170	74	50
403	4d・5d	5dA－A'3層	口～胴部							8	74	51
404	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							49	74	51
405	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							19	74	51
406	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							63	74	51
407	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							40	75	51
408	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							42	75	51
409	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							61	75	51
410	4d・5d	5dA－A'3層	胴部							44	75	51
411	4d・5d	5dA－A'3層	胴部							55	75	51
412	4d・5d	5dA－A'3層	胴部							54	75	51
413	4d・5d	5dA－A'3層	胴部							64	75	51
414	4d・5d	5dA－A'3層	口縁							51	75	51
415	3e・4e	一括	口～胴部	20.8	13.5<	-	2.5Y6/4 にぶい黄色	口縁：沈線（円形・横位）/頸部：半截竹管状工具による文様		1083・1109・	75	51
416	4i	Ⅰ～Ⅲ層	口～胴部	14.5	7.7<	-	10YR5/6 黄褐色	ナデ		1350	75	51
417	5c	5dA－A'3層下位	口縁							74	75	51
418	5c	5dA－A'3層下位	口縁							75	75	51
419	5c	5dA－A'3層	口縁							22	75	51
420	5c・5d	5dA－A'3層	口縁							96	75	51

〈土器〉(13)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
421	5c・5d	5dA－A'3層	胴部							89	75	51
422	5c・5d	5dA－A'3層下位	口縁							72	75	51
423	5d	5dA－A'3層下位	口縁							71	75	51
424	5d	5dA－A'3層下位	口縁							77	75	51
425	5d・6d	5dA－A'3層	口縁							6	76	51
426	5d・6d	5dA－A'3層	胴部							7	76	51
427	5d・6d	5dA－A'3層	胴部							21	76	51
428	5d・6d	5dB－B'11層	口縁							82	76	51
429	5d・6d	一括	胴部							14	76	51
430	5d・6c	5dA－A'3層	口縁							3	76	52
431	5d・6c	一括	胴部							16	76	52
432	5d・6c	一括	胴部							15	76	52
433	5d·6d·6E	5dA－A'3層	口縁							83	76	52
434	5d·6d·6E	5dA－A'3層	胴部							5	76	52
435	5d·6d·6E	5dA－A'3層	胴部							84	76	52
436	5d·6d·6E	一括	口縁							18	76	52
437	5e	5dA－A'1・2層	口縁							28	76	52
438	5i	30号焼土上面	口～胴部	23.5	42.0<	－	5YR5/8 明赤褐色	口縁：刻目列（2列）		1365	76	52
439	6d	5d埋土下層	口～胴部	－	28.8<	(14.5)	10YR5/6 黄褐色	口縁：渦巻状貼付（刻目）・横位沈線/頸部：隆帯状（刻目列）		35	76	52
440	6d	5d埋土下層	胴部							36	76	52
441	6d	5dA－A'3層	口縁							1	76	52
442	8p	焼土形成面？	口～胴部	22.4	27.1<	－	10YR5/6 黄褐色	口縁：隆帯状（山形沈線）/頸部：横位沈線		1452	77	52
443	8p	焼土形成面？	口～胴部	(43.2)	36.8<	－	2.5Y6/6 明黄褐色	口縁：隆帯状（刻目列）		1444	77	53
444	8p	焼土形成面？	口～胴部	(26.6)	31.2<	－	7.5YR6/8 橙色	口縁：隆帯状（縦位粘土貼付3本）/頸部：隆帯状（刻目列）、半截竹管状工具による文様		1445	78	53
445	8p	焼土形成面？	口～胴部	(24.1)	23.9<	－	10YR6/6 明黄褐色	縄文LR		1446	78	53
446	8p	一括	口～胴部	(32.0)	28.4<	－	10YR6/6 明黄褐色	縄文LR		1392	78	53
501	2d	一括	口縁							1027	－	54
502	2d	一括	口縁							1030	－	54
503	2e	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1061	－	54
504	2e	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1063	－	54
505	2e	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1067	－	54
506	2e	一括	胴部							1069	－	54
507	2f	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1170	－	54
508	2f	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1175	－	54
509	2f	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1180	－	54
510	2f	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1181	－	54

〈土器〉(14)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
511	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1149	－	54
512	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1155	－	54
513	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1160	－	54
514	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1161	－	54
515	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1168	－	54
516	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1169	－	54
517	2 f	一括	口縁							1183	－	54
518	2 f	一括	胴部							1184	－	54
519	2 f	撹乱	胴部							1159	－	54
520	2 g	Ⅳ層上位	胴部							1232	－	54
521	2 g	Ⅳ層上位	口縁							1238	－	54
522	2 g	一括	口～胴部							1221	－	54
523	2 g	一括	胴部							1234	－	54
524	2 g	一括	胴部							1236	－	54
525	2 g	一括	胴部							1253	－	54
526	2 g・3 g	一括	口縁							1260	－	54
527	2 h	Ⅳ層上位	口縁							1327	－	54
528	3 d	一括	口縁							1049	－	54
529	3 d・3 e	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1046	－	54
530	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1076	－	54
531	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1096	－	54
532	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1080	－	54
533	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1086	－	54
534	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1088	－	54
535	3 e・4 e	一括	口縁							1101	－	54
536	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1188	－	54
537	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1190	－	54
538	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	口～胴部							1185	－	54
539	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1186	－	54
540	3 f・4 f	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1204	－	54
541	3 f・3～4 g・4～5 h・5～6 i・6 j	一括	口縁							1612	－	54
542	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1273	－	55
543	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1274	－	55
544	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1278	－	55
545	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1330	－	55
546	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1331	－	55
547	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1338	－	55
548	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1120	－	55
549	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1131	－	55

〈土器〉(15)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
550	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1140	－	55
551	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1113	－	55
552	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1132	－	55
553	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1135	－	55
554	4 e・4 f・5 e	一括	胴部							1622	－	55
555	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	口～胴部							1280	－	55
556	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	口～胴部							1281	－	55
557	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1289	－	55
558	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1292	－	55
559	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1303	－	55
560	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1282	－	55
561	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1304	－	55
562	4 g・5 g	Ⅱ～Ⅲ層	口～胴部							1305	－	55
563	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	胴部							1313	－	55
564	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1349	－	55
565	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	口縁							1387	－	55
566	4 j	一括	口縁							1379	－	55
567	4 j	一括	口縁							1388	－	55
568	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1317	－	55
569	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1323	－	55
570	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1324	－	55
571	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1326	－	55
572	7 p	Ⅱ層	口縁							1402	－	55
573	7 p	Ⅱ層又は埋土	口縁							1408	－	55
574	7 p	Ⅱ層又は埋土	口縁							1409	－	55
575	7 p	Ⅱ層又は埋土	口縁							1412	－	55
576	7 p	Ⅱ層又は埋土	胴部							1422	－	55
577	7 p	Ⅱ層又は埋土	胴部							1423	－	55
578	7 p	Ⅱ層又は埋土	口縁							1431	－	55
579	7 p	Ⅱ層又は埋土	口縁							1432	－	55
580	7 p	焼土形成面？	口～胴部							1465	－	55
581	7 p・8 p	一括	口縁							1436	－	55
582	7 p・8 p	一括	口縁							1437	－	55
583	7 p・8 p	一括	口縁							1438	－	55
584	7 p・8 p	一括	胴部							1440	－	55
585	8 p	焼土形成面？	口縁						7 pと接合	1434	－	56
586	8 p	焼土形成面？	口縁							1469	－	56
587	8 p	焼土形成面？	口～胴部							1451	－	56
588	8 p	焼土形成面？	口縁							1462	－	56
589	8 p	焼土形成面？	口縁							1475	－	56

〈土器〉(16)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
590	8 p	焼土形成面？	口縁							1477	－	56
591	8 p	焼土形成面？	口縁							1478	－	56
592	8 p	焼土形成面？	口縁							1461	－	56
593	8 p	焼土形成面？	口縁							1463	－	56
594	8 p	Ⅰ～Ⅲ層	口縁							1459	－	56
595	8 p	Ⅰ～Ⅲ層	胴部							1489	－	56
596	8 p	Ⅰ～Ⅲ層	口～胴部							1570	－	56
597	8 p	Ⅱ層	口縁							1456	－	56
598	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1479	－	56
599	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1480	－	56
600	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1482	－	56
601	8 p	一括	口縁							1496	－	56
602	8 p	一括	口縁							1498	－	56
603	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1499	－	56
604	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1500	－	56
605	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1501	－	56
606	8 p	一括	口縁							1506	－	56
607	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1512	－	56
608	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1518	－	56
609	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1522	－	56
610	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	胴部							1523	－	56
611	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1524	－	56
612	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1525	－	56
613	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1528	－	56
614	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1529	－	56
615	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1531	－	56
616	8 p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1533	－	56
617	8 p	一括	口縁							1548	－	56
618	8 p	一括	口縁							1549	－	56
619	8 p	一括	胴部							1550	－	56
620	8 p	一括	胴部							1551	－	56
621	8 p	一括	口縁							1554	－	56
622	8 p	一括	口縁							1555	－	56
623	8 p	一括	口縁							1558	－	56
624	8 p・8 q	Ⅰ層	口縁							1458	－	56
625	8 p・8 q	Ⅱ～Ⅲ層・埋土？	口縁							1571	－	56
626	8 p・8 q	Ⅰ層	口縁							1575	－	56
627	8 p・8 q	Ⅰ層	口縁							1577	－	56
628	8 p・8 q	Ⅰ層	口縁							1578	－	56
629	8 p・8 q	Ⅰ層	口縁							1579	－	56

〈土器〉(17)

掲載	遺構名	地点・層位	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	色調	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
630	8p・8q	Ⅰ層	口縁							1580	−	56
631	8p・8q	Ⅰ層	胴部							1583	−	56
632	8p・8q	Ⅰ層	口縁							1587	−	56
633	9p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土?	口縁							1565	−	56
634	9p	Ⅱ～Ⅲ層・埋土?	口縁							1566	−	56

〈土製品〉

掲載	遺構名	地点・層位	種別	残存状況	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	文様・特徴	備考	仮番号	図版	写真図版
447	1号住	炭・焼土層上位	土偶	頭～胴上	7.2	7.0	2.8	66.0			1635	79	57
448	4号住	検出面	土偶	胴上	6.7	8.1	2.3	75.0			1283	79	57
449	3号住	検出面3より上	土偶	胴下～脚	5.6	6.4	2.3	36.0			1633	79	57
450	4・5号住	検出面	土偶	脚	6.2	5.3	2.8	53.0			1313	79	57
451	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	土偶	腕	6.5	3.5	1.8	32.0			1634	79	57
452	4 i	41号土坑検出面	土偶	腕	6.5	3.5	2.1	45.0			1342	79	57
453	3号住	1層	土偶？	腕？	4.5	1.1	0.9	5.0			405	79	57
454	6号住	上～中層	土偶？	腕？	3.7	1.0	1.0	5.0			480	79	57
455	12·13·15号土坑	一括	不明	－	8.0	1.7	1.8	30.0			1127	79	57
456	28号	一括	錘形	上半	2.5	3.2	－	9.0			681	79	57
457	p109	上層	土錘	完形	5.3	1.3	(孔) 0.3	11.0			992	79	57
458	3号住	床面	耳栓	一部欠損	2.5	2.5	0.7	10.0			1636	79	57
459	45号土坑	一括	環状	欠損	3.2	7.0	－	－			882	79	57
460	1号住	炭・焼土層上位	円盤状	完形	3.6	3.5	0.9	10.0			290	80	57
461	3号住	検出面3	円盤状	完形	5.6	5.4	1.0	36.0			389	80	57
462	3号住	検出面3より下	円盤状	完形	4.0	3.7	0.6	14.0			423	80	57
463	3号住	一括	円盤状	完形	4.8	4.8	0.7	16.0			439	80	57
464	6号住	E－E′(A－B間)	円盤状	完形	5.0	4.7	0.7	21.0			472	80	57
465	12·13·15号土坑	一括	円盤状	完形	8.0	7.2	1.1	63.0			628	80	57
466	20号土坑	一括	円盤状	完形	4.4	4.5	0.9	19.0			660	80	57
467	38号土坑	一括	円盤状	完形	7.0	7.2	1.0	59.0			824	80	57
468	2 f・3 f	一括	円盤状	完形	7.7	7.0	0.9	61.0			1182	80	57
469	2 h・3 h	一括	円盤状	完形	5.1	5.8	1.2	44.0			1329	80	57
470	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	円盤状	完形	4.2	4.2	0.8	18.0			1100	80	57
471	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	円盤状	完形	5.4	5.0	1.0	29.0			1641	80	57
472	3 f・4 f	Ⅰ～Ⅲ層	円盤状	欠損	5.4	5.1	0.9	22.0			1640	80	57
473	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	円盤状	完形	4.1	4.5	0.8	17.0			1639	80	57
474	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	円盤状	完形	4.5	4.9	1.0	31.0			1638	80	57
475	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	円盤状	完形	7.0	7.0	0.9	51.0			1126	80	57
476	4 i	Ⅱ層	円盤状	完形	4.7	4.8	0.9	22.0			1363	80	57
477	9 p	一括	円盤状	完形	4.1	3.9	0.8	14.0			1642	80	57
478	24号	一括	粘土塊	完形	6.6	4.6	4.1	98.0		他3点有り	675	－	57
479	38号土坑	ベルト中央部	粘土塊	完形	6.2	3.0	2.6	34.0			795	－	57
480	38号土坑	一括	粘土塊	完形	6.9	6.2	4.5	103.0			818	－	57
481	1号住	炭・焼土層上位	粘土塊	完形	4.7	4.8	4.3	32.0			972	－	57
482	p501	一括	粘土塊	完形	6.4	4.1	4.0	54.0			1017	－	57

〈石器・石製品〉（1）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	備　考	版	番　号	図　版	写真図版
a－01	1号住居	炭・焼土層上位	脚	1	3.6	(1.6)	0.4	2.10	頁岩（北上山地？）		a	6	－	58
a－02	1号住居	炭・焼土層上位	完	1	3.4	1.9	0.7	2.69	頁岩（北上山地？）		a	15	－	58
a－03	1号住居	炭・焼土層上位	完	1	2.8	2.1	0.5	1.37	頁岩（奥羽山脈？）		a	52	81	58
a－04	1号住居	炭・焼土層上位	完	1	2.8	1.9	0.4	2.02	頁岩（北上山地？）		a	13	－	58
a－05	1号住居	炭・焼土層上位	脚	1	4.7	2.1	0.6	4.43	頁岩（北上山地？）		a	51	－	58
a－06	7号住居	上～中層	完	1	3.7	1.8	0.4	1.74	頁岩（北上山地？）		a	72	－	58
a－07	2号住居	一括	完	1	3.3	1.9	0.5	2.01	頁岩（北上山地？）		a	26	－	58
a－08	5～7号住居	一括	完	1	4.0	2.5	0.8	5.49	凝灰岩（奥羽山脈）		a	71	－	58
a－09	5号土坑	4層上位	脚	1	(3.3)	(1.6)	0.6	2.00	頁岩（北上山地？）		a	35	－	58
a－10	5号土坑	4層上位	完	1	4.4	1.6	0.5	2.65	頁岩（奥羽山脈？）		a	36	81	58
a－11	12･13･15号土坑	一括	完	1	2.6	1.9	0.3	1.46	頁岩（北上山地？）		a	45	81	58
a－12	28号土坑	Ⅳ層上面より上	完	1	2.9	2.2	0.6	2.28	頁岩（北上山地？）		a	24	－	58
a－13	30号土坑	一括	完	1	2.9	1.8	0.6	1.81	頁岩（北上山地？）		a	75	－	58
a－14	35号土坑	2 e－19	完	1	3.6	2.0	0.5	1.69	頁岩（北上山地？）		a	76	81	58
a－15	35号土坑	2 f－3	完	1	2.6	2.2	0.4	0.93	頁岩（北上山地？）		a	77	－	58
a－16	35号土坑	2 f－4	完	1	3.2	1.8	0.4	1.57	頁岩（北上山地？）		a	78	－	58
a－17	35号土坑	2 f－4	完	1	3.9	2.1	0.9	5.13	頁岩（北上山地？）		a	79	－	58
a－18	35号土坑	一括	先	1	(2.1)	1.4	0.5	1.10	頁岩（北上山地？）		a	29	－	58
a－19	38号土坑	一括	脚	1	(2.7)	(2.3)	0.6	2.27	頁岩（北上山地？）		a	69	－	58
a－20	40号土坑	一括	脚	1	3.9	1.8	0.5	2.19	頁岩（北上山地？）		a	42	－	58
a－21	41号土坑	検出面	完	1	3.5	2.0	0.5	1.78	頁岩（北上山地？）		a	5	－	58
a－22	p92	中層	完	1	2.7	1.7	0.4	1.33	細粒花崗閃緑岩（北上山地）		a	20	－	58
a－23	p131	一括	完	1	3.8	2.2	0.5	3.10	頁岩（北上山地？）		a	25	－	58
a－24	p161	一括	先・脚	1	(3.3)	(2.0)	0.5	2.04	頁岩（北上山地？）		a	9	－	58
a－25	p197	一括	完	1	2.6	1.9	0.7	2.56	頁岩（北上山地？）		a	73	－	58
a－26	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.3	1.9	0.5	2.37	頁岩（奥羽山脈？）		a	3	－	58
a－27	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.6	1.8	0.6	2.80	頁岩（奥羽山脈？）		a	53	－	58
a－28	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	4.0	1.6	0.7	4.03	頁岩（奥羽山脈？）		a	54	81	58
a－29	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.2	1.7	0.6	2.18	頁岩（奥羽山脈？）		a	55	－	58
a－30	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	脚	1	(3.6)	(1.7)	0.4	1.84	頁岩（奥羽山脈？）		a	66	－	58
a－31	2 f・2 g	Ⅱ～Ⅲ層・24号焼土付近	脚・脚	1	(4.2)	(1.8)	0.7	3.29	頁岩（北上山地？）		a	12	－	58
a－32	2 f・2 g	一括	完	1	2.3	1.9	0.5	1.61	頁岩（北上山地？）		a	7	－	58
a－33	2 g	2 f（3）床面～下層	完	1	2.8	1.7	0.7	2.62	頁岩（北上山地？）		a	14	－	58
a－34	2 g	一括	先	1	(3.0)	1.8	0.8	3.47	頁岩（北上山地？）		a	62	－	58
a－35	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.7	2.0	0.4	1.44	頁岩（奥羽山脈？）		a	48	－	58
a－36	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	先・脚	1	(3.1)	(1.7)	0.6	2.49	頁岩（北上山地？）		a	50	－	59

〈石器・石製品〉（2）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	備　　考	版	番　号	図　版	写真図版
a－37	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.0	1.3	0.5	1.51	頁岩（北上山地？）		a	39	－	59
a－38	3 e	一括	完	1	2.0	1.3	0.4	0.54	赤色頁岩（奥羽山脈）		a	49	81	59
a－39	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	脚	1	(4.0)	(2.1)	0.5	2.79	頁岩（奥羽山脈？）		a	17	－	59
a－40	4 d	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	1.6	1.1	0.3	0.39	頁岩（北上山地？）		a	19	81	59
a－41	4 d	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.0	1.0	0.5	0.79	赤色頁岩（奥羽山脈）		a	21	－	59
a－42	4 d	Ⅱ～Ⅲ層	先	1	(2.0)	1.0	0.2	0.48	頁岩（北上山地？）		a	28	－	59
a－43	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	4.0	1.8	0.9	4.50	頁岩（北上山地？）		a	43	－	59
a－44	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.9	2.1	0.5	2.10	頁岩（北上山地？）		a	44	－	59
a－45	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	脚	1	(3.1)	(1.7)	0.4	1.38	頁岩（奥羽山脈？）		a	60	－	59
a－46	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.4	1.9	0.6	2.81	頁岩（奥羽山脈？）		a	23	－	59
a－47	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	2.4	1.8	0.4	1.36	頁岩（北上山地？）		a	4	－	59
a－48	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.3	1.4	0.7	1.04	頁岩（北上山地？）		a	2	－	59
a－49	4 j	Ⅰ～Ⅲ層	脚・脚	1	(2.6)	1.5	0.4	1.05	頁岩（北上山地？）		a	32	－	59
a－50	4 j・4 k	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.1	1.4	0.3	0.63	頁岩（北上山地？）		a	47	－	59
a－51	5 c・5 d	5 dA－A' 3層下位	欠	1	(2.8)	(2.4)	0.6	2.89			d	224	－	59
a－52	5 d	A－A' 3層下位	脚？	1	(2.1)	(1.3)	0.3	0.56	頁岩（北上山地？）		a	64	－	59
a－53	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	完？	1	(2.6)	1.7	0.3	1.48	頁岩（北上山地？）		a	59	－	59
a－54	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.2	1.4	0.4	1.34	頁岩（北上山地？）		a	16	－	59
a－55	6 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.6	1.7	0.5	3.16	頁岩（北上山地？）		a	8	－	59
a－56	6 m	Ⅰ層	脚	1	(3.0)	1.7	0.4	2.01	頁岩（北上山地？）		a	31	－	59
a－57	7 p	一括	完	1	2.1	1.6	0.3	0.51	頁岩（北上山地？）		a	18	－	59
a－58	調査区	一括	脚	1	(3.4)	(2.5)	0.7	3.67	頁岩（北上山地？）		a	63	－	59
a－59	調査区	一括	完	1	2.7	1.8	0.6	2.06	頁岩（北上山地？）		a	65	－	59
a－60	調査区外	一括	完？	1	(2.4)	(1.5)	0.5	1.68	頁岩（北上山地？）		a	68	－	59
a－61	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	完	1？	3.4	2.0	0.7	4.16	頁岩（北上山地？）		a	30	－	59
a－62	5号土坑	4層上位	完	2	3.3	2.4	0.7	4.47	頁岩（北上山地？）		a	37	－	59
a－63	35号土坑	4層上面	完	2	1.9	1.7	0.4	0.88	頁岩（北上山地？）		a	70	－	59
a－64	2 f	遺物集中地点	先	2	3.2	2.8	1.0	7.33	頁岩（北上山地？）		a	40	－	59
a－65	5 c・5 d	5 dA－A' 3層下位	完	2	4.3	2.7	0.8	5.90	頁岩（奥羽山脈？）		a	27	81	59
a－66	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	完	2	2.6	1.5	0.4	1.14	頁岩（奥羽山脈？）		a	10	81	59
a－67	A区	一括	完	2	3.3	1.5	0.6	2.43	頁岩（北上山地？）		a	67	－	59
a－68	3号土坑	5～7層	完	3	2.5	1.4	0.7	2.01	頁岩（北上山地？）		a	56	81	59
a－69	2 e・2 f	一括	完	3	3.5	2.5	0.7	3.68	頁岩（北上山地？）		a	22	81	59
a－70	4 k・5 k	Ⅰ～Ⅲ層	完	3	3.6	2.8	0.7	6.18	頁岩（北上山地？）		a	58	－	59
a－71	2 f	遺物集中地点	完？	3？	3.5	1.1	0.5	1.30	頁岩（北上山地？）		d	250	81	60
a－72	3号住居	一括	脚	？	(2.4)	(2.3)	0.5	2.06	頁岩（北上山地？）		a	34	－	60
a－73	3号住居	一括	脚	？	(4.0)	(1.9)	0.9	5.48	頁岩（北上山地？）		a	33	－	－

〈石器・石製品〉（3）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	備　　考	仮	番　号	図　版	写真図版
a－74	35号土坑	(K) No03・3層	脚	?	(2.0)	(1.9)	0.6	2.28	頁岩（奥羽山脈？）		a	41	－	－
a－75	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	脚	?	(2.9)	(2.0)	0.6	2.51	頁岩（奥羽山脈？）		a	57	－	－
a－76	3 f・4 f	Ⅰ～Ⅲ層	脚	?	(2.8)	(2.5)	0.7	2.99	頁岩（奥羽山脈？）		a	61	－	－
a－77	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	脚？	?	(2.1)	(1.8)	0.4	1.21	赤色頁岩（奥羽山脈）		a	11	－	－
a－78	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	脚	?	(3.3)	1.5	0.4	1.53	頁岩（北上山地？）		a	1	－	－
b－01	1号住居	炭・焼土層上位	欠？	*	3.6	2.9	1.0	4.74	頁岩（北上山地？）		c	17	81	60
b－02	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	欠？	*	(4.7)	1.8	0.9	5.50	頁岩（北上山地？）		d	264	－	60
b－03	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	欠？	*	(6.8)	1.1	0.8	5.70	頁岩（奥羽山脈？）		d	265	－	60
c－01	1号住居	炭・焼土層上位	下？	1	(4.4)	(2.4)	0.8	6.10	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	32	－	60
c－02	1号住居	一括	下	1	(4.0)	2.7	0.5	4.54	頁岩（北上山地？）		c	12	－	60
c－03	3号住居	検出面3より上	下	1	(5.1)	2.4	0.7	8.95	頁岩（北上山地？）		c	24	－	60
c－04	3号住居	検出面3より下	完	1	5.6	2.1	0.4	5.14	頁岩（奥羽山脈？）		c	22	－	60
c－05	3号住居	検出面3より下	完	1	6.5	2.7	2.8	12.06	頁岩（奥羽山脈？）		c	4	－	60
c－06	4・5号住居	検出面	完	1	5.8	2.1	0.8	9.74	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	27	－	60
c－07	6号住居	B－B'より東	完	1	6.4	2.6	1.1	14.32	頁岩（奥羽山脈？）		c	8	81	60
c－08	3号土坑	一括	完	1	4.1	2.9	1.0	10.53	頁岩（北上山地？）		c	1	－	60
c－09	12·13·15号土坑	中～下層	先	1	4.5	2.3	0.5	5.62	頁岩（奥羽山脈？）		c	38	81	60
c－10	28号土坑	Ⅳ層より下	完	1	4.6	2.4	0.7	7.83	頁岩（北上山地？）		c	6	－	60
c－11	35号土坑	(K) No03・3層	完	1	6.1	1.9	0.8	7.86	頁岩（北上山地？）		c	30	81	60
c－12	48号土坑	8層付近	完	1	4.7	2.1	0.3	3.50	メノウ（北上山地？）		c	7	－	60
c－13	48号土坑	一括	完	1	6.4	1.3	0.7	4.95	頁岩（奥羽山脈？）		c	23	－	60
c－14	50号土坑	Ⅳ層より下	完	1	7.2	2.2	0.8	11.85	頁岩（奥羽山脈？）		c	46	－	60
c－15	51号土坑	一括	完	1	6.5	1.3	0.7	5.87	頁岩（奥羽山脈？）		a	74	－	60
c－16	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	下	1	(3.7)	1.8	0.5	3.71	頁岩（奥羽山脈？）		c	2	－	60
c－17	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	完？	1	(4.9)	2.5	1.2	18.03	頁岩（北上山地？）		c	43	－	61
c－18	3 f・3 g	一括	完	1	6.4	2.2	0.8	10.01	頁岩（北上山地？）		c	34	－	61
c－19	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	上	1	4.2	(2.4)	0.6	5.13	頁岩（北上山地？）		c	11	－	61
c－20	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.2	1.6	0.5	1.02	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	10	－	61
c－21	4 d	Ⅱ～Ⅲ層	つまみ・先	1	(4.8)	1.5	0.6	4.79	頁岩（北上山地？）		c	21	－	61
c－22	4 f	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	6.5	1.7	0.6	6.37	頁岩（奥羽山脈？）		c	28	81	61
c－23	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	2.7	1.8	0.6	2.54	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	26	－	61
c－24	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	5.2	3.3	1.0	15.03	頁岩（北上山地？）		c	15	81	61
c－25	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	5.9	1.8	0.6	6.86	頁岩（北上山地？）		c	16	－	61
c－26	5 c・5 d	5 dA－A'3層	完	1	4.0	1.7	0.8	5.17	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	33	－	61
c－27	5 k	一括	完	1	3.0	2.0	1.0	5.18	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	29	82	61
c－28	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	6.1	3.3	0.8	12.19	頁岩（奥羽山脈？）		c	44	－	61
c－29	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	6.8	2.8	1.1	17.97	頁岩（奥羽山脈？）		c	36	－	61

〈石器・石製品〉（4）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	備　　考	版	番　号	図　版	写真図版
c－30	A区	一括	完	1	3.4	2.6	0.9	7.83	頁岩（北上山地？）		c	47	－	61
c－31	A区	一括	完	1	6.0	2.3	0.7	10.31	頁岩（奥羽山脈？）		c	48	－	61
c－32	調査区	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	3.4	2.7	0.9	5.84	赤色頁岩（奥羽山脈）		c	5	82	61
c－33	5号住居	A－A'（Cより南）	完	2	3.5	4.4	0.8	9.03	頁岩（北上山地？）		c	42	82	61
c－34	7号住居	上～中層	完	2	6.6	6.2	0.7	20.61	頁岩（北上山地？）		c	19	－	61
c－35	12号土坑	一括	下	2	(5.2)	6.5	1.5	23.73	頁岩（奥羽山脈？）	欠損後使用？	c	31	－	62
c－36	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	完	2	5.1	5.6	1.1	17.11	頁岩（奥羽山脈？）		c	9	82	62
c－37	5 d	Ⅰ～Ⅲ層	完	2	3.1	3.3	0.8	7.38	頁岩（北上山地？）		c	40	－	62
c－38	5 j	一括	完	2	4.1	6.9	1.2	24.20	頁岩（北上山地？）		c	41	－	62
c－39	5 k・6 k	一括	完？	2	2.9	4.0	0.7	7.81	頁岩（北上山地？）		c	13	－	62
c－40	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	5.4	7.9	1.3	30.69	頁岩（北上山地？）		c	35	82	62
c－41	8 p	一括	完	2	3.1	3.5	0.8	5.48	頁岩（奥羽山脈？）		c	39	－	62
c－42	3号住居	検出面3	完	3	5.5	1.7	0.6	5.61	頁岩（北上山地？）		c	3	－	62
c－43	3号住居	一括	完	3	6.4	2.3	1.1	11.07	頁岩（奥羽山脈？）		c	37	－	62
c－44	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	完	3	3.7	6.1	0.6	8.71	頁岩（北上山地？）		c	25	82	62
c－45	8 p	一括	完	3	3.9	5.3	0.8	11.40	頁岩（北上山地？）		c	14	82	63
c－46	38号土坑	一括	完	3？	6.2	2.8	1.1	18.91	頁岩（奥羽山脈？）		c	45	－	63
c－47	8 p	焼土形成面？	完	4	4.5	3.2	0.6	4.34	頁岩（奥羽山脈？）		a	46	－	63
d－01	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	6.3	4.9	1.6	56.19	頁岩（北上山地？）		d	157	－	63
d－02	5 f	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	5.5	4.3	1.8	37.12	頁岩（北上山地？）		d	329	83	63
d－03	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	5.1	3.4	0.9	17.73	凝灰岩（奥羽山脈）		d	253	－	63
d－01	8 q	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	2.9	3.1	1.1	9.50			d	154	83	63
d－05	A区	一括	完	1？	4.2	1.5	0.4	2.04	頁岩（奥羽山脈？）		d	444	－	63
d－06	1号住居	炭・焼土層上位	完	2①	2.2	1.8	1.0	3.61	黒曜石（不明）		d	275	－	63
d－07	1号住居	炭・焼土層上位	完	2①	3.8	5.6	1.1	20.39	頁岩（北上山地？）		d	131	83	63
d－08	1号住居	一括	完	2①	4.9	6.2	1.3	31.30	頁岩（北上山地？）		d	243	83	63
d－09	3号住居	検出面3より下	完	2①	5.4	3.5	1.3	21.57	頁岩（奥羽山脈？）		d	210	－	64
d－10	7号住居	C－C'（A－B間）	完	2①	6.5	3.6	1.4	29.84	頁岩（北上山地？）		d	155	－	64
d－11	2 e	Ⅰ層	完	2①	7.1	3.7	1.3	38.69	頁岩（北上山地？）		d	436	－	64
d－12	2 e	一括	完	2①	4.3	3.0	0.9	9.23	頁岩（北上山地？）		d	233	－	64
d－13	2 e・2 f	一括	完	2①	8.0	5.2	1.6	58.78	頁岩（北上山地？）		d	134	83	64
d－14	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	完	2①	4.2	3.5	1.3	14.77	頁岩（北上山地？）		d	286	83	64
d－15	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2①	6.0	3.0	0.9	13.52	頁岩（北上山地？）		d	237	－	64
d－16	5 f	Ⅰ～Ⅲ層	完	2①	4.0	3.2	1.6	20.18	頁岩（奥羽山脈？）		d	263	－	64
d－17	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2①	5.2	4.8	1.5	26.36			d	180	－	64
d－18	6 l	Ⅰ層	完	2①	2.1	1.1	0.5	0.91	黒曜石（不明）		d	339	－	64
d－19	A区	一括	完	2①	3.1	1.5	0.8	3.36	黒曜石（不明）		d	240	－	64

〈石器・石製品〉（5）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	備　　考	仮	番　号	図　版	写真図版
d－20	1号住居	炭・焼土層上位	完	2②	5.0	4.4	0.8	19.62	頁岩（北上山地？）		d	32	－	65
d－21	3号住居	検出面3より下	完	2②	3.2	1.8	0.4	2.37	頁岩（北上山地？）		d	202	－	65
d－22	3号住居	一括	完	2②	5.3	3.3	1.2	16.41	頁岩（北上山地？）		d	491	－	65
d－23	7号住居	上～中層	完	2②	6.5	4.5	1.1	19.81	頁岩（奥羽山脈？）		c	18	84	65
d－24	28号土坑	1～4層	完	2②	7.7	6.4	2.0	94.38	頁岩（北上山地？）		d	514	84	65
d－25	p166	1層中	完	2②	2.8	3.2	0.7	5.39			d	181	84	65
d－26	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	2②	5.8	4.3	1.1	23.44	頁岩（北上山地？）		d	412	－	65
d－27	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	完	2②	2.8	1.6	0.6	2.58	頁岩（奥羽山脈？）		b	1	－	65
d－28	4 i	Ⅰ～Ⅲ層・41号土坑？	完	2②	3.6	3.0	0.7	7.38	頁岩（北上山地？）		d	357	－	65
d－29	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2②	6.2	4.3	1.2	39.82	頁岩（北上山地？）		d	464	－	65
d－30	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2②	7.6	4.8	0.8	29.48	頁岩（奥羽山脈？）		d	112	－	65
d－31	5 d・5 e	5 dA－A′3層下位	完	2②	3.9	3.0	1.3	13.07			d	177	－	65
d－32	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	完	2②	6.2	3.5	0.4	6.13	頁岩（奥羽山脈？）		b	2	－	66
d－33	7 p	一括	完	2②	5.8	3.5	0.6	13.92	頁岩（北上山地？）		d	287	84	66
d－34	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	2②	6.2	5.0	2.0	46.13	頁岩（北上山地？）		d	456	－	66
d－35	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	2②	3.5	5.5	1.0	13.29	頁岩（北上山地？）		d	288	84	66
d－36	6号住居	上～中層	完	2③	6.3	4.0	1.4	37.39	頁岩（北上山地？）		d	524	－	66
d－37	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	完	2③	3.6	5.6	1.0	20.30	ホルンフェルス（北上山地）		d	37	84	66
d－38	5 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2③	4.4	3.3	1.3	13.66	頁岩（北上山地？）		d	251	－	66
d－39	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	2④	8.0	5.5	3.0	146.71	ホルンフェルス（北上山地）		d	254	85	66
d－40	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	2④	(3.7)	(2.1)	0.8	6.59			d	454	－	－
d－41	1号住居	0～2層	欠	2	(4.1)	(2.1)	0.9	9.80	頁岩（北上山地？）		d	385	－	－
d－42	1号住居	3層	欠	2	(3.1)	(2.7)	0.3	3.51	頁岩（北上山地？）		d	347	－	－
d－43	1号住居	炭・焼土層上位	欠	2	(3.6)	4.9	1.1	17.00	頁岩（北上山地？）		d	221	－	－
d－44	3号住居	検出面3より下	欠	2	(5.0)	(2.4)	0.6	5.42	頁岩（奥羽山脈？）		d	54	－	－
d－45	3号住居	検出面3より下	欠	2	(3.0)	(2.9)	1.0	7.72	頁岩（北上山地？）		d	543	－	－
d－46	3号住居	一括	欠	2	(3.3)	(1.6)	0.5	1.91			d	114	－	－
d－47	3号住居	一括	欠	2	(2.8)	(2.7)	0.7	4.55	頁岩（北上山地？）		d	200	－	－
d－48	7号住居	検出面	欠	2	(4.0)	3.2	0.6	5.96	頁岩（北上山地？）		d	208	－	－
d－49	35号土坑	一括	欠	2	(5.6)	(2.3)	0.9	10.70	頁岩（北上山地？）		d	484	－	－
d－50	p57	中層	欠	2	6.9	(4.3)	1.0	23.76	頁岩（奥羽山脈？）		d	209	－	－
d－51	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	欠	2	(4.3)	3.1	0.7	11.81	頁岩（北上山地？）		d	311	－	－
d－52	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	欠	2	(5.0)	(2.8)	1.1	21.99	頁岩（北上山地？）		d	312	－	－
d－53	2 f・2 g	2 f（3）床面～下層	欠	2	7.7	3.3	1.7	42.64	凝灰岩（奥羽山脈）	皮	f	20	－	－
d－54	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	2	(2.0)	2.0	0.3	1.15	頁岩（北上山地？）		a	38	－	－
d－55	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	欠	2	(4.5)	(1.7)	0.6	4.27	頁岩（北上山地？）		d	277	－	－
d－56	5 c	Ⅰ～Ⅲ層	欠	2	(4.2)	(3.1)	1.6	18.13	頁岩（北上山地？）		d	380	－	－

〈石器・石製品〉(6)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮	番号	図版	写真図版
d-57	5c・5d	5dA-A'3層下位	欠	2	(4.8)	(2.6)	1.3	15.44	頁岩(北上山地?)		d	4	-	-
d-58	5d	5dA-A'3層下位	欠	2	10.5	5.9	1.4	100.38	凝灰岩(奥羽山脈)		d	90	-	-
d-59	7p・7q	I層	欠	2	(5.9)	(4.3)	0.8	15.46	頁岩(北上山地?)		d	290	-	-
d-60	調査区外	一括	欠	2	(3.9)	(3.4)	1.3	19.45	凝灰岩(奥羽山脈)		d	476	-	-
d-61	1号住居	炭・焼土層上位	欠	3	4.3	(2.4)	0.4	3.63	頁岩(北上山地?)		d	212	-	67
d-62	2f	2f(3)床面~下層	完	3	4.5	2.8	0.6	7.45	頁岩(奥羽山脈?)		d	310	-	67
d-63	2f	遺物集中地点	完	3	6.3	5.7	1.3	32.56	頁岩(奥羽山脈?)		d	248	85	67
d-64	2f	I層	完	3	5.4	3.3	0.9	8.62	凝灰岩(奥羽山脈)		d	220	85	67
d-65	3d	II~III層	完	3	5.0	2.8	0.9	8.94	頁岩(北上山地?)		d	227	85	67
d-66	7p	II~III層	完	3	4.4	2.6	0.7	7.02	頁岩(北上山地?)		d	466	-	67
d-67	7p	一括	完	3	6.5	5.6	1.0	21.47	頁岩(奥羽山脈?)		d	455	-	67
d-68	調査区外	一括	欠	3	(3.7)	(2.8)	0.8	6.24	頁岩(北上山地?)		d	239	-	67
d-69	1号住居	一括	欠	3?	6.7	(3.7)	0.9	22.49	頁岩(北上山地?)		d	242	-	67
d-70	1号住居	3層下位	完	4	4.9	3.2	1.2	17.58	頁岩(北上山地?)		d	345	-	67
d-71	1号住居	炭・焼土層上位	完	4	7.1	3.4	1.8	48.86	頁岩(北上山地?)		d	541	-	68
d-72	2号住居	一括	欠	4	5.3	3.3	1.4	18.99	凝灰岩(奥羽山脈)		d	189	-	68
d-73	7号住居	B-B'(Cより南)	欠	4	(6.9)	(4.7)	2.6	69.21	頁岩(北上山地?)		d	116	-	68
d-74	2号土坑	上層	完	4	7.6	2.9	1.9	38.09	頁岩(奥羽山脈?)		d	309	85	68
d-75	28号土坑	上層	完	4	4.5	2.4	0.9	9.87	頁岩(北上山地?)		d	17	85	68
d-76	35号土坑	2f-4	欠	4	(5.1)	(3.1)	1.5	17.44	頁岩(北上山地?)		d	255	-	68
d-77	p56	上層	完	4	8.3	3.9	1.4	40.86	頁岩(奥羽山脈?)		d	274	86	68
d-78	2f	2f(1)床面~下層	欠	4	(2.6)	(2.0)	0.5	3.29			d	160	-	68
d-79	2f	II~III層	完	4	5.1	3.1	1.0	13.84	頁岩(北上山地?)		d	317	86	68
d-80	2h	II~III層	完	4	3.3	2.7	0.9	7.55			d	146	-	68
d-81	3f	II~III層	完	4	4.7	2.6	1.0	9.41	頁岩(北上山地?)		d	26	-	69
d-82	3i	II~III層	完	4	3.9	1.9	0.7	5.01			d	136	-	69
d-83	4i	I~III層	完	4	6.6	3.6	1.9	41.22	頁岩(北上山地?)		d	150	-	69
d-84	5d	II~III層	完	4	6.4	4.0	1.1	27.80	頁岩(奥羽山脈?)		d	13	-	69
d-85	5d・5e	5dA-A'3層下位	完	4	6.6	3.2	1.1	20.95	頁岩(北上山地?)		n	6	-	69
d-86	6l	I層	欠	4	(3.1)	2.5	0.6	5.43	頁岩(北上山地?)		d	241	-	69
d-87	8p	II~III層	完	4	4.4	3.3	1.0	14.53	頁岩(北上山地?)		d	463	-	69
d-88	30号土坑	盛土	完	6	7.1	4.8	3.9	146.88	頁岩(北上山地?)		d	20	-	69
d-89	8p	II~III層	完	6	5.1	2.9	2.3	29.98	頁岩(北上山地?)		d	217	-	69
d-101	1号住居	0~2層	*	5	(3.0)	2.5	1.0	6.98			d	383	-	-
d-102	1号住居	0~2層	*	5	(4.8)	(2.5)	0.6	5.96			d	384	-	-
d-103	1号住居	0~2層	*	5	(4.0)	(3.8)	1.3	18.05			d	527	-	-
d-104	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(2.8)	(3.2)	0.6	4.10			d	83	-	-

（石器・石製品）（7）

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	備　考	版	番　号	図　版	写真図版
d－105	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(2.9)	(2.4)	0.5	2.82			d	84	－	－
d－106	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	5.4	3.2	1.3	17.02			d	88	－	－
d－107	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(2.3)	(2.8)	0.7	5.04			d	89	－	－
d－108	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	2.4	2.3	0.7	3.26			d	98	－	－
d－109	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	2.1	1.9	0.4	1.16			d	99	－	－
d－110	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	3.8	2.2	0.9	6.22			d	100	－	－
d－111	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(1.8)	(2.1)	0.5	1.35			d	115	－	－
d－112	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(4.5)	(3.7)	1.0	14.79			d	127	－	－
d－113	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	3.9	(2.4)	0.4	3.92			d	141	－	－
d－114	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(5.3)	(3.8)	0.6	15.32			d	199	－	－
d－115	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	1.9	1.4	0.4	0.88			d	211	－	－
d－116	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	3.7	1.7	0.9	7.75	頁岩（北上山地？）		d	213	－	－
d－117	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(3.7)	(3.0)	0.7	4.71			d	219	－	－
d－118	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	3.4	(2.5)	0.9	8.95			d	247	－	－
d－119	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(3.0)	(2.1)	0.7	4.50			d	526	－	－
d－120	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(5.0)	(1.9)	0.6	3.85			d	536	－	－
d－121	1号住居	炭・焼土層上位	*	5	(3.7)	(2.7)	1.8	17.88			d	542	－	－
d－122	1号住居	炭・焼土層より下	*	5	(3.6)	(2.5)	0.5	3.59			d	111	－	－
d－123	1号住居	炭・焼土層より下	*	5	(2.6)	2.7	0.7	5.16			d	133	－	－
d－124	1号住居	炭・焼土層より下	*	5	(4.2)	(3.0)	0.7	6.79			d	342	－	－
d－125	1号住居	炭・焼土層より下	*	5	(4.4)	2.5	0.9	7.34			d	343	－	－
d－126	1号住居	炭・焼土層より下	*	5	(2.5)	(1.6)	0.5	1.57			d	530	－	－
d－127	1号住居	一括	*	5	(3.7)	(1.7)	0.9	4.25			d	139	－	－
d－128	1号住居	一括	*	5	(3.8)	(3.7)	1.4	15.46			d	214	－	－
d－129	1号住居	一括	*	5	(2.1)	(1.7)	0.8	2.27			d	215	－	－
d－130	2号住居	6～16層	*	5	(5.5)	(3.5)	0.7	13.96			d	190	－	－
d－131	2号住居	6～16層	*	5	(6.0)	3.3	1.2	24.08	頁岩（奥羽山脈？）		d	222	－	－
d－132	2号住居	6～16層	*	5	(6.1)	(3.4)	1.2	21.34			d	223	－	－
d－133	2号住居	床面	*	5	(2.7)	0.9	0.5	2.22			d	102	－	－
d－134	2号住居	一括	*	5	(3.0)	(2.3)	0.6	4.31			d	346	－	－
d－135	2号住居	一括	*	5	(6.1)	(2.0)	1.2	11.62			d	538	－	－
d－136	2号住居	一括	*	5	(5.0)	4.7	0.7	13.78			d	539	－	－
d－137	2号住居	一括	*	5	(3.7)	(2.9)	0.6	6.78			d	540	－	－
d－138	3号住居	上層	*	5	(3.9)	(3.0)	1.0	10.35			d	492	－	－
d－139	3号住居	上層	*	5	(4.0)	(3.0)	1.5	13.07			d	493	－	－
d－140	3号住居	上層	*	5	(5.7)	(3.1)	1.1	23.53			d	494	－	－
d－141	3号住居	検出面3より上	*	5	(4.6)	(4.2)	1.0	17.88			d	349	－	－

〈石器・石製品〉(8)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-142	3号住居	検出面3より上	*	5	(5.1)	(4.4)	1.0	22.60			d	496	-	-
d-143	3号住居	検出面3より上	*	5	(3.0)	(2.9)	1.7	11.68			d	497	-	-
d-144	3号住居	検出面3より上	*	5	(4.4)	(3.2)	1.2	14.55			d	498	-	-
d-145	3号住居	検出面3より下	*	5	(5.2)	(4.0)	0.7	11.37			d	203	-	-
d-146	3号住居	検出面3より下	*	5	2.2	1.6	0.3	0.97			d	218	-	-
d-147	3号住居	検出面3	*	5	(5.3)	1.9	0.6	5.04			d	53	-	-
d-148	3号住居	検出面3	*	5	(3.6)	(3.1)	0.8	9.70			d	525	-	-
d-149	3号住居	一括	*	5	(2.8)	(1.5)	0.5	1.56			d	113	-	-
d-150	3号住居	一括	*	5	2.9	2.4	0.8	4.16			d	235	-	-
d-151	3号住居	一括	*	5	(3.0)	3.0	0.5	4.51			d	261	-	-
d-152	3号住居	一括	*	5	(3.8)	2.4	0.3	2.95			d	303	-	-
d-153	3号住居	一括	*	5	(3.9)	5.2	0.9	14.88			d	304	-	-
d-154	3号住居	一括	*	5	4.9	(2.2)	0.5	4.59			d	305	-	-
d-155	3号住居	一括	*	5	6.8	(5.9)	1.4	35.23			d	306	-	-
d-156	3号住居	一括	*	5	5.8	3.6	0.9	11.16			d	307	-	-
d-157	3号住居	一括	*	5	(5.3)	(5.0)	1.0	21.73			d	533	-	-
d-158	3号住居	一括	*	5	(4.0)	(2.0)	0.8	4.78			d	534	-	-
d-159	3号住居	一括	*	5	(4.0)	(2.9)	0.7	5.91			d	535	-	-
d-160	5号住居	A-A' (Cより南)	*	5	(6.6)	2.6	1.0	15.02			d	341	-	-
d-161	5号住居	一括	*	5	(3.3)	(2.5)	0.6	6.85			d	165	-	-
d-162	6号住居	B-B' より東	*	5	(7.3)	(5.2)	1.8	64.00			d	117	-	-
d-163	6号住居	一括	*	5	(5.1)	(4.4)	0.6	14.73			d	519	-	-
d-164	7号住居	上～中層	*	5	(2.6)	(2.2)	0.3	1.55			d	164	-	-
d-165	7号住居	上～中層	*	5	7.1	(5.2)	1.5	56.67			d	350	-	-
d-166	7号住居	上～中層	*	5	(4.7)	(3.4)	0.5	8.10			d	518	-	-
d-167	7号住居	上～中層	*	5	(6.5)	(4.7)	1.3	29.87			d	520	-	-
d-168	7号住居	上～中層	*	5	(4.4)	2.3	0.5	4.44			d	521	-	-
d-169	7号住居	D-D' (Aより西)	*	5	(5.2)	(2.8)	1.0	9.43			d	515	-	-
d-170	7号住居	D-D' (Aより西)	*	5	(5.5)	(4.0)	1.3	17.53			d	516	-	-
d-171	7号住居	一括	*	5	(4.0)	(4.4)	1.3	24.71			d	110	-	-
d-172	5～7号住居	一括	*	5	(7.4)	(4.0)	1.3	35.64			d	480	-	-
d-173	5～7号住居	一括	*	5	(3.3)	(3.1)	1.2	9.80			d	481	-	-
d-174	5～7号住居	一括	*	5	(5.0)	3.5	1.0	11.24			d	482	-	-
d-175	1号土坑	下層	*	5	3.0	2.6	0.5	3.50			d	351	-	-
d-176	3号土坑	3～4層	*	5	3.8	2.9	0.7	7.38			d	352	-	-
d-177	3号土坑	8層	*	5	(4.7)	(4.2)	1.2	20.37			d	495	-	-
d-178	3号土坑	一括	*	5	(4.0)	3.7	1.1	19.69			d	11	-	-

〈石器・石製品〉(9)

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	備　考	仮	番　号	図　版	写真図版
d－179	3号土坑	一括	*	5	(6.0)	(3.7)	1.2	23.49			d	511	－	－
d－180	3号土坑	一括	*	5	(4.5)	(3.8)	1.1	17.76			d	512	－	－
d－181	4号土坑	下層	*	5	(2.9)	2.4	0.6	3.32			d	108	－	－
d－182	5号土坑	4層上位	*	5	(2.8)	2.4	0.8	4.24			d	236	－	－
d－183	5号土坑	4層上位	*	5	(4.1)	3.0	0.7	7.31			d	537	－	－
d－184	7号土坑	一括	*	5	(4.7)	(4.2)	1.0	15.39			d	458	－	－
d－185	7号土坑	一括	*	5	(4.0)	(4.0)	0.7	9.38			d	469	－	－
d－186	8号土坑	一括	*	5	(3.9)	(3.3)	0.9	10.97			d	358	－	－
d－187	12号土坑	中層	*	5	(3.8)	(2.6)	0.8	6.70			d	128	－	－
d－188	12号土坑	中層	*	5	(3.4)	(2.2)	0.5	3.34			d	183	－	－
d－189	12号土坑	中層	*	5	(4.2)	(3.1)	0.9	10.28			d	238	－	－
d－190	13号土坑	中層	*	5	(3.0)	(3.7)	0.6	5.55			d	230	－	－
d－191	12·13·15号土坑	中層	*	5	(4.2)	3.3	1.6	15.51			d	193	－	－
d－192	14号土坑	中層	*	5	(3.9)	3.9	0.9	9.02			d	432	－	－
d－193	14号土坑	一括	*	5	(3.7)	(3.0)	1.2	10.17			d	468	－	－
d－194	18号土坑	上層	*	5	5.0	(2.9)	2.1	21.55			d	38	－	－
d－195	19号土坑	一括	*	5	(5.9)	(4.8)	1.0	20.06			d	467	－	－
d－196	20号土坑	中層	*	5	(2.2)	(1.7)	0.5	1.33			d	28	－	－
d－197	20号土坑	中層	*	5	(3.3)	(2.1)	0.3	2.33			d	29	－	－
d－198	20号土坑	中層	*	5	4.0	(3.1)	0.9	10.75			d	30	－	－
d－199	20号土坑	中層	*	5	(7.3)	(4.2)	1.2	33.61			d	31	－	－
d－200	20号土坑	一括	*	5	(3.3)	1.7	0.5	2.16			d	182	－	－
d－201	23号土坑	一括	*	5	(4.3)	(4.1)	1.6	27.17			d	85	－	－
d－202	25号土坑	中層	*	5	4.5	(3.5)	1.0	18.91			d	192	－	－
d－203	28号土坑	Ⅳ層より下	*	5	(5.5)	(3.9)	1.0	18.57			d	10	－	－
d－204	30号土坑	一括	*	5	(2.6)	2.0	0.4	1.84			d	470	－	－
d－205	30号土坑	盛土	*	5	(5.4)	4.0	0.8	10.12			d	19	－	－
d－206	30号土坑	盛土	*	5	(5.5)	(4.4)	1.0	22.90			d	457	－	－
d－207	32号土坑	一括	*	5	(4.3)	(3.6)	1.5	20.48			d	509	－	－
d－208	35号土坑	(K) Na15	*	5	(3.8)	(2.9)	1.8	15.70			d	544	－	－
d－209	35号土坑	2 e－18	*	5	(4.9)	(4.1)	1.0	18.04			d	386	－	－
d－210	35号土坑	2 e－18	*	5	(4.3)	(3.7)	2.0	32.81			d	387	－	－
d－211	35号土坑	2 e－19	*	5	(3.7)	(1.5)	0.5	1.99			d	132	－	－
d－212	35号土坑	2 e－19	*	5	(3.2)	(2.7)	0.9	8.12			d	532	－	－
d－213	35号土坑	2 e－19	*	5	(2.1)	1.2	0.5	1.05			d	545	－	－
d－214	35号土坑	2 e－19	*	5	(3.6)	(2.7)	0.6	4.37			d	546	－	－
d－215	35号土坑	2 e－19	*	5	(2.1)	(2.1)	0.6	2.45			d	547	－	－

〈石器・石製品〉(10)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-216	35号土坑	2 e - 19	*	5	(2.2)	(2.1)	0.5	1.76			d	548	-	-
d-217	35号土坑	2 e - 19	*	5	(3.4)	(2.9)	0.5	3.66			d	549	-	-
d-218	35号土坑	2 e - 19	*	5	(4.4)	(3.1)	0.9	8.31			d	550	-	-
d-219	35号土坑	2 f - 3	*	5	(5.2)	(4.3)	0.8	10.48			d	488	-	-
d-220	35号土坑	2 f - 3	*	5	(2.9)	(2.6)	0.7	4.97			d	489	-	-
d-221	35号土坑	2 f - 3	*	5	(6.5)	4.1	1.2	30.70			d	490	-	-
d-222	35号土坑	2 f - 3	*	5	(2.6)	(2.3)	0.4	2.14			d	551	-	-
d-223	35号土坑	2 f - 4	*	5	(4.7)	(4.7)	0.9	17.14			d	256	-	-
d-224	35号土坑	2 f - 4	*	5	(2.8)	(2.1)	0.9	5.30			d	552	-	-
d-225	35号土坑	一括	*	5	(3.8)	(3.5)	0.5	6.44			d	485	-	-
d-226	35号土坑	一括	*	5	(5.4)	(3.2)	1.0	17.57			d	486	-	-
d-227	35号土坑	一括	*	5	(3.8)	(3.6)	0.8	10.63			d	487	-	-
d-228	36号土坑	中層	*	5	(4.4)	4.0	1.0	15.11			d	171	-	-
d-229	38号土坑	2層より上	*	5	(3.8)	(2.2)	0.9	7.12			d	388	-	-
d-230	38号土坑	一括	*	5	(3.0)	(2.9)	0.7	7.01			d	513	-	-
d-231	38号土坑	一括	*	5	(3.6)	(3.9)	0.7	5.60			d	522	-	-
d-232	38号土坑	一括	*	5	(4.7)	(3.2)	0.6	8.64			d	523	-	-
d-233	45号土坑	一括	*	5	(4.3)	(3.6)	1.6	13.92			d	483	-	-
d-234	45号土坑	一括	*	5	(3.2)	3.9	1.0	9.47			d	502	-	-
d-235	45号土坑	一括	*	5	(4.5)	3.0	0.4	5.85			d	508	-	-
d-236	48号土坑	8層より上	*	5	(3.0)	(2.6)	0.7	3.88			d	355	-	-
d-237	48号土坑	8層より上	*	5	2.2	1.5	0.5	1.04			d	356	-	-
d-238	48号土坑	一括	*	5	(2.5)	(2.5)	0.5	2.25			d	503	-	-
d-239	49号土坑	一括	*	5	(3.2)	(2.3)	0.6	4.57			d	104	-	-
d-240	49号土坑	一括	*	5	(7.0)	(5.2)	1.4	27.71			d	353	-	-
d-241	49号土坑	一括	*	5	(2.1)	2.0	0.9	2.39			d	354	-	-
d-242	49号土坑	一括	*	5	(3.1)	(2.8)	0.4	2.93			d	531	-	-
d-243	50号土坑	一括	*	5	(4.8)	(6.6)	0.7	19.93			d	103	-	-
d-244	p 073	中層	*	5	(3.1)	(1.9)	0.4	2.54			d	262	-	-
d-245	p 101	中層	*	5	(3.6)	1.5	0.4	1.78			d	174	-	-
d-246	p 115	中層	*	5	(3.5)	(2.7)	1.0	12.36			d	175	-	-
d-247	p 317	一括	*	5	(3.5)	(3.4)	0.5	6.78			d	147	-	-
d-248	p 503	一括	*	5	(4.7)	4.4	1.0	13.97			d	148	-	-
d-249	2 d	I 層	*	5	(3.9)	(3.3)	1.2	15.46			d	376	-	-
d-250	2 d	I ～III層	*	5	(4.6)	3.8	0.8	15.46			d	9	-	-
d-251	2 d	II～III層	*	5	(5.3)	7.1	1.4	37.10			d	142	-	-
d-252	2 d	II～III層	*	5	4.1	2.3	0.9	7.45			d	143	-	-

〈石器・石製品〉(11)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-253	2 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.4	2.8	1.7	18.16			d	144	-	-
d-254	2 d	一括	*	5	(4.1)	2.4	1.1	11.01			d	367	-	-
d-255	2 d・3 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.3)	3.8	1.2	13.29			d	161	-	-
d-256	2 d・3 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(5.0)	1.3	20.23			d	162	-	-
d-257	2 d・3 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.0)	(3.5)	0.8	13.48			d	163	-	-
d-258	2 d・3 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.5)	(3.2)	0.7	7.11			d	270	-	-
d-259	2 d・3 d・3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(2.2)	1.1	4.74			d	506	-	-
d-260	2 d・3 d・4 d	一括	*	5	(3.8)	(2.8)	1.0	7.33			d	366	-	-
d-261	2 e	Ⅰ層	*	5	(2.8)	(2.0)	1.2	4.65			d	327	-	-
d-262	2 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(1.7)	1.4	0.3	0.60			d	403	-	-
d-263	2 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.0)	2.4	1.0	10.28			d	404	-	-
d-264	2 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	(1.8)	0.5	1.77			d	438	-	-
d-265	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.6)	3.7	1.8	32.83			d	49	-	-
d-266	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.3	4.5	0.5	10.39			d	50	-	-
d-267	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.9)	(2.9)	0.5	3.41			d	51	-	-
d-268	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.9)	(2.1)	0.3	1.26			d	52	-	-
d-269	2 e	一括	*	5	(4.3)	(4.0)	0.8	10.63			d	8	-	-
d-270	2 e	一括	*	5	(5.3)	4.5	1.3	29.67			d	234	-	-
d-271	2 e	一括	*	5	(3.6)	(3.0)	1.0	8.52			d	439	-	-
d-272	2 e	一括	*	5	(3.3)	(3.0)	0.8	8.16			d	440	-	-
d-273	2 e	一括	*	5	(2.9)	(2.5)	0.6	3.91			d	441	-	-
d-274	2 e・2 f	一括	*	5	(5.4)	(2.4)	0.4	5.38			d	135	-	-
d-275	2 f	2 f(1)床面～下層	*	5	6.4	4.6	1.6	23.20			d	97	-	-
d-276	2 f	2 f(3)床面～下層	*	5	(6.5)	6.5	1.1	27.01			d	348	-	-
d-277	2 f	2 f(3)床面～下層	*	5	(4.5)	2.9	0.9	10.14			d	507	-	-
d-278	2 f	遺物集中地点	*	5	3.5	(1.7)	0.3	2.34			d	249	-	-
d-279	2 f	2 f(1)床面～下層	*	5	(4.0)	(2.4)	0.6	4.96			d	510	-	-
d-280	2 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.3)	(2.2)	1.1	11.18			d	437	-	-
d-281	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.0	(3.5)	0.3	4.67			d	310	-	-
d-282	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.6)	2.5	0.4	7.42			d	313	-	-
d-283	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.1)	(3.7)	1.0	14.97			d	318	-	-
d-284	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.5)	(2.2)	0.9	7.41			d	319	-	-
d-285	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.5)	(2.6)	1.0	9.35			d	320	-	-
d-286	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.0)	3.1	1.8	17.10			d	322	-	-
d-287	2 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(7.1)	(3.3)	1.9	33.48			d	433	-	-
d-288	2 f	一括	*	5	3.6	(2.1)	0.4	3.36			d	158	-	-
d-289	2 f	一括	*	5	(4.3)	(3.2)	0.6	9.84			d	338	-	-

〈石器・石製品〉(12)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-290	2 f・2 g	一括	*	5	(4.0)	(2.2)	0.7	3.59			d	232	-	-
d-291	2 f・2 g	一括	*	5	(3.0)	(2.4)	0.3	2.74			d	499	-	-
d-292	2 f・2 g	2 f(3)床面～下層	*	5	7.2	5.0	1.5	39.99			d	504	-	-
d-293	2 g	24号焼土付近	*	5	(5.9)	3.5	2.3	31.38			d	105	-	-
d-294	2 g	24号焼土付近	*	5	(2.9)	(2.4)	0.8	4.18			d	106	-	-
d-295	2 g	24号焼土付近	*	5	(3.1)	(2.9)	1.3	9.42			d	107	-	-
d-296	2 g	24号焼土北Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.7	3.8	0.9	19.03			d	472	-	-
d-297	2 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.2)	(3.1)	0.4	5.10			d	196	-	-
d-298	2 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	2.8	0.5	4.58			d	197	-	-
d-299	2 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	3.4	1.6	1.3	4.96			d	198	-	-
d-301	2 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.5)	(2.8)	0.6	3.58			d	321	-	-
d-302	2 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.2)	(3.7)	1.7	32.69			d	335	-	-
d-303	2 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.2)	5.1	1.3	34.07			d	336	-	-
d-304	2 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.7)	(3.0)	1.0	11.56			d	337	-	-
d-305	2 g	一括	*	5	(3.8)	(3.7)	1.0	11.84			d	500	-	-
d-306	2 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(6.9)	(4.2)	1.1	18.80			d	18	-	-
d-307	3 d	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.3)	(3.4)	0.8	15.05	頁岩(北上山地?)		d	269	-	-
d-308	3 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.6)	1.9	0.6	4.13			d	267	-	-
d-309	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	4.2	(2.3)	1.0	8.21			d	12	-	-
d-310	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.7)	(3.3)	1.0	15.89			d	228	-	-
d-311	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	1.5	0.3	0.84			d	271	-	-
d-312	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	2.2	2.0	0.3	1.03			d	272	-	-
d-313	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	1.8	0.6	1.99			d	273	-	-
d-314	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(3.8)	1.3	13.53			d	359	-	-
d-315	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.7)	(4.0)	1.4	22.56			d	378	-	-
d-316	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.4)	(2.0)	1.1	9.12			d	82	-	-
d-317	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	3.8	2.8	0.9	8.41			d	109	-	-
d-318	3 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.8)	(4.3)	0.8	21.39			d	334	-	-
d-319	3 e	一括	*	5	3.2	(1.6)	0.7	3.88	黒曜石(不明)		d	266	-	-
d-320	3 e	一括	*	5	5.8	2.8	1.0	12.82			d	406	-	-
d-321	3 e	一括	*	5	(3.7)	3.5	1.5	18.38			d	407	-	-
d-322	3 e	一括	*	5	(1.5)	1.6	0.2	0.48			d	408	-	-
d-323	3 e・4 d	一括	*	5	5.5	(4.9)	0.9	16.27			d	501	-	-
d-324	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.7)	2.4	0.7	3.94			d	276	-	-
d-325	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.8)	3.1	0.6	4.63			d	278	-	-
d-326	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.6)	3.5	1.1	14.03			d	279	-	-
d-327	3 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.4)	(3.6)	0.6	7.93			d	302	-	-

〈石器・石製品〉(13)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-328	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	3.1	0.8	6.46			d	23	-	-
d-329	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.1)	3.3	0.8	7.53			d	24	-	-
d-330	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.5)	5.9	1.4	38.74			d	25	-	-
d-331	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	(2.0)	1.0	6.18			d	475	-	-
d-332	3 f	一括	*	5	(3.3)	(3.2)	1.1	12.32		50号土坑含む?	d	344	-	-
d-333	3 f・3 g	一括	*	5	7.1	6.1	0.5	20.21			d	206	-	-
d-334	3 f・3 g	一括	*	5	(3.9)	(4.7)	0.9	14.08			d	207	-	-
d-335	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.9)	(2.5)	0.8	4.95			d	62	-	-
d-336	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.9)	(2.7)	0.8	9.09			d	63	-	-
d-337	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	1.9	0.4	1.71			d	64	-	-
d-338	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.0)	(3.1)	1.3	15.73			d	65	-	-
d-339	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	4.3	(3.6)	1.1	18.49			d	66	-	-
d-340	3 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(3.2)	1.3	12.77			d	67	-	-
d-341	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.5)	(5.4)	1.4	27.25			d	68	-	-
d-342	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	(2.0)	0.3	1.53			d	409	-	-
d-343	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(4.3)	1.5	33.04			d	410	-	-
d-344	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.9)	(2.1)	1.1	7.88			d	411	-	-
d-345	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.3	(1.9)	0.8	3.75			d	471	-	-
d-346	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.9)	(2.9)	0.7	5.24			d	124	-	-
d-347	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.1)	(4.8)	1.5	24.28			d	125	-	-
d-348	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(7.1)	(3.7)	1.7	41.32			d	126	-	-
d-349	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.0)	(1.9)	0.8	6.93			d	140	-	-
d-350	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(3.4)	0.4	3.53			d	167	-	-
d-351	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.7)	2.2	0.5	5.41			d	169	-	-
d-352	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.2)	(3.4)	0.9	12.34			d	170	-	-
d-353	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(3.4)	0.8	11.13			d	314	-	-
d-354	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.2)	(3.4)	1.0	18.71			d	315	-	-
d-355	3 h	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	(2.0)	0.8	2.89			d	316	-	-
d-356	3 h	一括	*	5	(2.9)	1.6	0.3	1.20			d	151	-	-
d-357	3 h	一括	*	5	3.5	(2.7)	0.7	4.17			d	152	-	-
d-358	3 h	一括	*	5	(4.2)	5.0	1.2	18.80			d	153	-	-
d-359	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(2.4)	0.5	2.58			d	118	-	-
d-360	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.9)	2.5	0.5	3.50			d	119	-	-
d-361	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(7.0)	(3.2)	1.4	27.82			d	120	-	-
d-362	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(1.8)	(2.2)	0.3	1.06			d	121	-	-
d-363	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(3.4)	0.9	13.65			d	122	-	-
d-364	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	(2.7)	0.6	4.17			d	123	-	-

〈石器・石製品〉(14)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-365	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.3)	(1.9)	0.7	2.18			d	55	-	-
d-366	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.5	3.8	1.7	33.42			d	56	-	-
d-367	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.5)	(3.4)	1.0	18.04			d	57	-	-
d-368	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.0	4.0	1.1	13.95			d	58	-	-
d-369	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	3.9	2.2	0.9	7.00			d	59	-	-
d-370	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.2)	(2.4)	1.1	7.54			d	60	-	-
d-371	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.9)	(3.6)	0.9	15.70			d	61	-	-
d-372	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.7)	(4.6)	1.0	16.08			d	137	-	-
d-373	4 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.7)	(2.8)	0.9	7.58			d	204	-	-
d-374	4 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.0)	(2.9)	0.7	3.41			d	205	-	-
d-375	4 d	一括	*	5	(3.3)	3.8	1.3	18.89			d	173	-	-
d-376	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	(2.1)	0.7	2.69			d	168	-	-
d-377	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	2.1	(1.7)	0.5	1.54			d	172	-	-
d-378	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.6)	(2.3)	0.9	5.69			d	360	-	-
d-379	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(4.1)	1.2	14.72			d	377	-	-
d-380	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.8)	(3.5)	0.6	5.35			d	78	-	-
d-381	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	(2.2)	0.5	2.84			d	79	-	-
d-382	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(2.4)	0.9	6.77			d	80	-	-
d-383	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	(1.6)	0.3	1.14			d	81	-	-
d-384	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.7)	(2.5)	0.5	2.40			d	86	-	-
d-385	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(9.3)	(4.6)	1.7	84.26			d	87	-	-
d-386	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.6	3.6	1.5	15.15			d	280	-	-
d-387	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	2.9	0.4	1.89			d	21	-	-
d-388	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(1.7)	1.4	0.5	0.62			d	22	-	-
d-389	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.8)	3.6	1.0	11.53			d	194	-	-
d-390	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	3.5	2.6	0.8	6.08			d	195	-	-
d-391	4 f	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	3.0	2.8	0.7	5.10			d	424	-	-
d-392	4f·5f·5g·6g·6h	一括	*	5	(3.2)	(2.6)	1.0	7.20			d	361	-	-
d-393	4f·5f·5g·6g·6h	一括	*	5	(3.1)	(1.8)	0.6	2.63			d	362	-	-
d-394	4f·5f·5g·6g·6h	一括	*	5	(3.6)	(2.3)	0.6	4.32			d	363	-	-
d-395	4 f・5 g・6 h	一括	*	5	(6.1)	3.5	0.9	20.75			d	289	-	-
d-396	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.5)	2.6	0.7	2.66			d	257	-	-
d-398	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	4.7	(3.9)	1.1	20.12			d	258	-	-
d-399	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	5.2	(3.4)	1.1	15.18			d	259	-	-
d-400	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	(2.1)	0.4	2.29			d	260	-	-
d-401	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.0)	(1.4)	0.3	1.74			d	421	-	-
d-402	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(1.6)	0.5	1.39			d	422	-	-

〈石器・石製品〉(15)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮	番号	図版	写真図版
d-403	4 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.4)	(4.3)	1.4	20.17			d	423	-	-
d-404	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.1)	(2.4)	0.7	3.74			d	145	-	-
d-405	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.5)	(2.0)	0.7	3.48			d	413	-	-
d-406	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(2.4)	0.4	1.33			d	414	-	-
d-407	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.2)	(2.6)	0.8	6.95			d	415	-	-
d-408	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.7)	(3.0)	0.9	12.71			d	417	-	-
d-409	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	(2.6)	0.8	7.06			d	418	-	-
d-410	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.6)	(2.9)	0.7	6.04			d	419	-	-
d-411	4 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.4)	(2.7)	1.2	12.86			d	420	-	-
d-412	4 g・5 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.4)	(3.1)	0.5	4.07			d	268	-	-
d-413	4 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.6)	(2.2)	0.5	2.85			d	292	-	-
d-414	4 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	3.1	2.1	1.1	7.15			d	149	-	-
d-415	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	5.1	2.9	0.7	10.91			d	39	-	-
d-416	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	2.9	2.1	0.7	2.75			d	40	-	-
d-417	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.0)	(3.2)	0.7	7.02			d	69	-	-
d-418	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.5	2.5	0.5	4.67			d	70	-	-
d-419	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.2)	(2.4)	0.5	4.17			d	72	-	-
d-420	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.1)	(3.0)	1.3	8.15			d	73	-	-
d-421	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(3.2)	1.5	21.28			d	74	-	-
d-422	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.6)	2.3	0.9	6.18			d	91	-	-
d-423	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.9)	(2.9)	0.4	5.12			d	92	-	-
d-424	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.1)	(2.7)	0.9	10.79			d	93	-	-
d-425	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.9)	(2.6)	1.1	10.98			d	94	-	-
d-426	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.2)	(5.9)	1.3	34.07			d	95	-	-
d-427	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(7.3)	4.0	1.0	24.05			d	96	-	-
d-428	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.1)	3.9	1.4	24.55			d	159	-	-
d-429	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(7.3)	(5.1)	1.2	48.30			d	184	-	-
d-430	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.3)	(4.2)	1.2	21.67			d	187	-	-
d-431	4 j	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.3)	(4.3)	0.5	4.50			d	215	-	-
d-432	4 j	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	3.2	2.4	1.2	7.36			d	216	-	-
d-433	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	2.3	1.8	0.3	0.87			d	41	-	-
d-434	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	3.7	2.8	0.5	2.60			d	42	-	-
d-435	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.0	(2.7)	1.0	8.76			d	43	-	-
d-436	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(1.9)	1.7	0.6	2.08			d	44	-	-
d-437	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	3.8	(2.4)	0.6	3.53			d	45	-	-
d-438	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.9	(3.5)	1.5	16.35			d	46	-	-
d-439	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.1)	1.9	0.6	2.89			d	47	-	-

〈石器・石製品〉(16)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-440	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(3.8)	1.1	15.30			d	48	-	-
d-441	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.3)	(3.0)	0.7	10.38			d	453	-	-
d-442	4 j	一括	*	5	(2.4)	(2.1)	0.3	1.40			d	451	-	-
d-443	4 j	一括	*	5	(8.2)	3.6	0.8	22.74			d	452	-	-
d-444	4 j	一括	*	5	6.1	4.0	1.0	14.64			d	473	-	-
d-445	4 k	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.3)	(2.8)	0.7	5.31			d	400	-	-
d-446	5 c	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(4.3)	(3.0)	0.8	7.23			d	379	-	-
d-447	5 c	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	6.0	3.9	1.1	26.11			d	1	-	-
d-448	5 c	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	3.4	2.6	0.7	4.66			d	2	-	-
d-449	5 c	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.1)	2.1	1.1	7.44			d	188	-	-
d-450	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(1.6)	1.3	0.3	0.53			d	14	-	-
d-451	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(5.2)	4.1	1.5	24.55			d	15	-	-
d-452	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(2.2)	(2.1)	0.5	2.39			d	16	-	-
d-453	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.2)	2.7	1.0	8.50			d	178	-	-
d-454	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(5.0)	4.6	1.0	17.90			d	246	-	-
d-455	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.8)	2.8	0.6	7.05			d	308	-	-
d-456	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.1)	(1.9)	0.5	2.72			d	382	-	-
d-457	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(3.2)	(2.3)	0.7	6.54			d	389	-	-
d-458	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(3.7)	(3.4)	0.9	7.12			d	390	-	-
d-459	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.3)	(2.3)	1.0	7.60			d	391	-	-
d-460	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.7)	(4.6)	0.9	22.95			d	392	-	-
d-461	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(5.3)	(5.1)	1.0	21.72			d	393	-	-
d-462	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.5)	(4.1)	1.0	22.34			d	394	-	-
d-463	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(2.6)	2.2	0.6	3.14			d	395	-	-
d-464	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.1)	1.2	1.2	6.28			d	396	-	-
d-465	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.5)	(3.2)	1.7	21.95			d	397	-	-
d-466	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層	*	5	(4.3)	(3.5)	1.5	16.60			d	528	-	-
d-467	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層下位	*	5	(5.3)	(3.4)	0.9	14.93			d	166	-	-
d-468	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層下位	*	5	(3.2)	(2.5)	0.4	3.01			d	225	-	-
d-469	5 c・5 d	5 d A-A' 3 層下位	*	5	(5.0)	(4.8)	0.9	20.61			d	226	-	-
d-470	5 c・5 d	一括	*	5	(5.0)	3.1	1.3	17.94			d	529	-	-
d-471	5 d	A-A' 3 層下位	*	5	(4.2)	(2.5)	1.2	12.35			d	373	-	-
d-472	5 d	A-A' 3 層下位	*	5	(1.9)	1.7	0.5	1.16			d	374	-	-
d-473	5 d	A-A' 3 層下位	*	5	(2.8)	(1.8)	0.4	1.50			d	375	-	-
d-474	5 d	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.2)	(2.8)	0.6	4.81			d	368	-	-
d-475	5 d	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(3.1)	2.4	0.7	4.39			d	369	-	-
d-476	5 d	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.8)	2.8	0.9	9.73			d	179	-	-

〈石器・石製品〉(17)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-477	5d・5e	5dA-A'3層	*	5	2.6	1.4	0.5	1.99			d	3	-	-
d-478	5d・5e	5dA-A'3層	*	5	(3.1)	3.0	1.0	7.41			d	191	-	-
d-479	5d・5e	5dA-A'3層下位	*	5	(4.9)	2.8	0.6	7.47			d	176	-	-
d-480	5d・6c	一括	*	5	(1.9)	(2.8)	0.3	1.40			d	156	-	-
d-481	5d・6d	5dA-A'3層	*	5	(5.4)	(4.0)	1.2	24.28			d	138	-	-
d-482	5d・6d	5dA-A'3層	*	5	(3.1)	2.1	0.6	3.13			d	201	-	-
d-483	5e	I層	*	5	(2.6)	3.1	0.4	3.25			d	129	-	-
d-484	5f	I～III層	*	5	(3.2)	(2.6)	0.6	4.46			d	328	-	-
d-485	5f	I～III層	*	5	4.8	(2.5)	1.5	12.81			d	332	-	-
d-486	5g	I～III層	*	5	(4.7)	(3.7)	0.6	7.36			d	296	-	-
d-487	5g	I～III層	*	5	5.0	(2.7)	0.9	10.04			d	297	-	-
d-488	5g	I～III層	*	5	4.4	(3.3)	1.1	13.67			d	298	-	-
d-489	5g	I～III層	*	5	(2.5)	(2.1)	0.6	2.68			d	402	-	-
d-490	5g	I～III層	*	5	(2.3)	(1.6)	0.2	0.80			d	425	-	-
d-491	5g	I～III層	*	5	(2.8)	(1.7)	0.6	2.49			d	426	-	-
d-492	5g	I～III層	*	5	(3.0)	(1.5)	0.5	1.78			d	427	-	-
d-493	5g	I～III層	*	5	(4.2)	(3.4)	1.0	11.63			d	428	-	-
d-494	5g	I～III層	*	5	(2.2)	(1.5)	0.5	1.54			d	429	-	-
d-495	5g	I～III層	*	5	(3.0)	(2.4)	0.7	3.94			d	430	-	-
d-496	5g	I～III層	*	5	(3.5)	(2.5)	0.4	3.60			d	431	-	-
d-497	5g	I～III層	*	5	(3.7)	3.3	0.8	9.75			d	434	-	-
d-498	5g	I～III層	*	5	(3.7)	(3.2)	0.8	10.99			d	435	-	-
d-499	5g	I～III層	*	5	(2.7)	(2.5)	0.7	4.69			d	465	-	-
d-500	5g	II～III層	*	5	(3.1)	2.2	0.4	2.14			d	283	-	-
d-501	5g	II～III層	*	5	(3.1)	(1.9)	1.2	5.67			d	284	-	-
d-502	5g	II～III層	*	5	(4.1)	(2.5)	0.9	7.39			d	285	-	-
d-503	5g	II～III層	*	5	(2.2)	1.6	0.4	1.16			d	299	-	-
d-504	5g	II～III層	*	5	3.1	(2.5)	0.7	4.02			d	330	-	-
d-505	5g	II～III層	*	5	(3.3)	(2.6)	0.6	4.29			d	331	-	-
d-506	5h	I～III層	*	5	(2.0)	2.2	0.4	2.11			d	333	-	-
d-507	5i	II～III層	*	5	(4.1)	2.0	0.8	3.40			d	252	-	-
d-508	5j・6j	I～III層	*	5	(2.4)	(1.9)	0.4	2.31			d	370	-	-
d-509	5j・6j	I～III層	*	5	(4.4)	(2.6)	0.7	5.88			d	371	-	-
d-510	5j・6j	I～III層	*	5	(4.4)	(4.3)	1.1	17.68			d	372	-	-
d-511	5k	I層	*	5	2.5	2.1	0.4	1.72			d	5	-	-
d-512	5k	I層	*	5	2.3	(1.5)	0.6	1.53			d	6	-	-
d-513	5k	I層	*	5	2.9	2.3	1.0	6.88	頁岩(北上山地?)		d	474	-	-

〈石器・石製品〉(18)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
d-514	5 k	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(6.8)	(4.8)	1.4	50.98			d	185	-	-
d-515	5 k	一括	*	5	(4.5)	(1.9)	0.8	6.74			d	323	-	-
d-516	5 k	一括	*	5	5.5	(3.6)	1.4	24.36			d	324	-	-
d-517	5 k	一括	*	5	(3.4)	(2.4)	1.0	5.97			d	325	-	-
d-518	5 k	一括	*	5	(3.0)	2.5	0.5	2.61			d	401	-	-
d-519	5 l	Ⅰ層	*	5	(4.2)	2.0	0.7	5.70			d	130	-	-
d-520	6 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.0)	(3.8)	1.5	23.57			d	365	-	-
d-521	6 h	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.4)	(2.1)	0.6	2.78			d	291	-	-
d-522	6 j	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.3)	1.7	0.3	1.52			d	398	-	-
d-523	6 j	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(5.0)	4.9	1.6	31.31			d	399	-	-
d-524	6 k	Ⅰ層	*	5	(2.2)	1.2	0.5	1.15			d	7	-	-
d-525	6 k	Ⅰ～Ⅲ層	*	5	(2.3)	(1.4)	0.5	1.92			d	326	-	-
d-526	6 l	Ⅰ層	*	5	3.4	2.9	0.9	5.70			d	186	-	-
d-527	6 m	Ⅰ層	*	5	(2.6)	(1.7)	0.6	2.42			d	214	-	-
d-528	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.8	3.4	0.9	10.24			d	27	-	-
d-529	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.7)	3.0	1.0	12.77			d	33	-	-
d-530	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.0)	4.1	0.7	7.49			d	34	-	-
d-531	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	6.5	5.6	1.3	31.99			d	35	-	-
d-532	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.7)	(2.1)	0.5	2.64			d	36	-	-
d-533	7 p	一括	*	5	(4.9)	3.6	1.4	22.61			d	282	-	-
d-534	7 p	一括	*	5	(4.0)	(6.9)	0.5	9.97			d	300	-	-
d-535	7 p	一括	*	5	(4.9)	(3.9)	0.9	16.93			d	301	-	-
d-536	8 p	一括	*	5	(3.9)	2.9	1.1	10.06			d	450	-	-
d-537	8 p	16号焼土付近	*	5	5.7	2.0	0.8	6.43			d	231	-	-
d-538	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.5)	(3.4)	1.2	19.08			d	459	-	-
d-539	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(4.5)	(3.2)	1.0	13.82			d	460	-	-
d-540	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.8)	(4.9)	0.9	21.37			d	461	-	-
d-541	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(3.0)	(2.6)	0.6	5.40			d	462	-	-
d-542	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(5.5)	3.4	1.2	19.88			d	505	-	-
d-543	8 p	一括	*	5	(1.6)	(1.4)	0.2	0.49			d	293	-	-
d-544	8 p	一括	*	5	(5.3)	(2.2)	0.7	6.17			d	294	-	-
d-545	8 p	一括	*	5	(3.2)	(2.2)	0.6	3.41			d	295	-	-
d-546	A区	一括	*	5	(3.3)	(3.0)	0.7	8.26			d	364	-	-
d-547	A区	一括	*	5	(3.0)	(1.0)	0.4	0.98			d	442	-	-
d-548	A区	一括	*	5	(3.4)	(2.0)	0.3	2.05			d	443	-	-
d-549	A区	一括	*	5	(4.4)	(2.1)	0.6	4.81			d	445	-	-
d-550	A区	一括	*	5	(3.6)	(3.3)	0.7	5.65			d	448	-	-

〈石器・石製品〉(19)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮	番号	図版	写真図版
d-551	B区	一括	*	5	(4.4)	3.3	0.9	9.40			d	101	-	-
d-552	B区	一括	*	5	(3.7)	3.2	0.6	6.30			d	449	-	-
d-553	調査区	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(6.2)	(2.4)	1.3	17.21			d	75	-	-
d-554	調査区	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	(2.0)	(2.0)	0.8	3.03			d	76	-	-
d-555	調査区	Ⅱ～Ⅲ層	*	5	4.4	(4.1)	1.3	12.19			d	77	-	-
d-556	調査区	一括	*	5	(2.7)	3.4	1.0	9.34			d	229	-	-
d-557	調査区	一括	*	5	(3.9)	(2.7)	0.9	9.00			d	477	-	-
d-558	調査区	一括	*	5	(4.0)	3.0	1.2	14.88			d	478	-	-
d-559	調査区	一括	*	5	(3.9)	2.3	0.6	3.50			d	479	-	-
d-560	調査区外	一括	*	5	(3.8)	(2.5)	1.5	7.30			d	446	-	-
d-561	調査区外	一括	*	5	2.8	(2.2)	0.6	4.33			d	447	-	-
e-01	3号住居	1層	完	1	9.3	4.4	2.5	113.63	ホルンフェルス(北上山地)		f	25	-	70
e-02	7号住居	D-D'(Aより西)	完	1	7.3	3.2	1.3	42.53	頁岩(北上山地?)		d	517	-	70
e-03	2 e	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	6.5	3.6	1.5	28.75	頁岩(奥羽山脈?)		d	405	-	70
e-04	3 f・3 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	9.1	4.2	2.0	79.19	ホルンフェルス(北上山地)	皮	f	8	-	70
e-05	3 g	Ⅱ～Ⅲ層	脚	1	6.4	(3.4)	1.4	29.96	頁岩(北上山地?)	皮	f	19	-	70
e-06	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	完	1	6.4	6.5	2.9	134.35	?岩(奥羽山脈)	皮	f	6	-	70
e-07	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	うえ	1	7.2	3.1	1.8	41.27	頁岩(北上山地?)		f	7	86	70
e-08	5 d・5 e	5 dA-A'3層	完	1	7.4	5.0	1.9	77.40	ホルンフェルス(北上山地)		f	11	-	70
e-09	5 d・5 e	5 dA-A'3層下位	完	1	12.7	6.0	2.4	220.80	ホルンフェルス(北上山地)	皮	f	1	86	71
e-10	5d・5e・6d・6e・6f・7f	一括	上・先	1	(8.3)	4.2	1.4	58.25	ホルンフェルス(北上山地)		f	4	-	71
e-11	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	6.6	3.9	1.8	42.92	頁岩(奥羽山脈?)		f	9	-	71
e-12	9 q	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	7.4	3.3	1.6	45.94	ホルンフェルス(北上山地)		f	21	-	71
e-13	1号住居	炭・焼土層上位	完	2	7.5	3.1	1.7	45.23	頁岩(北上山地?)		f	13	86	71
e-14	3号住居	1層	完	2	7.3	3.7	2.4	52.40	ホルンフェルス(北上山地)		f	24	-	71
e-15	5～7号住居	一括	完	2	7.4	3.0	1.6	39.06	頁岩(北上山地?)		f	22	-	71
e-16	28号土坑	Ⅳ層上位	完	2	7.8	4.4	2.2	75.21	頁岩(北上山地?)		f	15	-	71
e-17	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	5.8	2.8	1.2	21.95			d	71	-	71
e-18	4 j	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	11.4	6.5	4.0	320.00	ホルンフェルス(北上山地)	皮	f	14	86	72
e-19	5 c・5 d	5 dA-A'3層	完	2	7.3	3.0	0.9	22.85	頁岩(北上山地?)		d	381	-	72
e-20	5 c・5 d	5 dA-A'3層下位	完	2	5.6	2.7	1.3	19.65	頁岩(北上山地?)		f	12	-	72
e-21	5 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	6.5	3.0	1.6	36.08	頁岩(奥羽山脈?)		f	10	-	72
e-22	5 g	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	8.7	3.4	1.2	32.45	頁岩(北上山地?)		n	7	87	72
e-23	5 k	一括	上	2	(7.5)	5.5	2.4	125.23	ホルンフェルス(北上山地)	皮	f	2	-	72
e-24	5 l	Ⅰ層	完	2	6.8	3.5	1.1	30.55	ホルンフェルス(北上山地)		f	5	-	72
e-25	3 h	Ⅰ～Ⅲ層	完	?	14.4	3.7	1.2	87.02	粘板岩(北上山地)		l	1	87	72

〈石器・石製品〉(20)

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　　質	備　　考	版	番　号	図　版	写真図版
f－01	28号土坑	Ⅳ層より下	先	*	(5.6)	4.6	1.2	53.29	ホルンフェルス（北上山地）		f	3	－	73
f－02	30号土坑	盛土	下	*	(7.0)	(4.3)	1.7	93.83	頁岩（北上山地？）	装着痕？	f	16	87	73
f－03	35号土坑	（K）No70	下	*	(8.1)	4.7	2.6	153.27	頁岩（北上山地？）		f	27	87	73
f－04	38号土坑	一括	下？	*	(8.4)	4.7	2.9	174.24	凝灰岩（奥羽山脈）	欠損もしくは再利用？	f	17	87	73
f－05	2 f・2 g	遺物集中地点	上	*	(9.1)	6.2	(2.3)	253.86	頁岩（北上山地？）		f	26	－	73
f－06	2 f・2 g	遺物集中地点	下	*	(9.1)	6.2	(2.3)	253.86	頁岩（北上山地？）		f	26	－	73
f－07	調査区	一括	上	*	(1.9)	4.8	1.4	11.66			f	28	－	－
f－08	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	上・下	*	(5.6)	(4.1)	1.5	52.41	頁岩（北上山地？）		f	23	－	73
g－01	14号土坑	一括	完	1	5.1	1.9	1.0	9.90	頁岩（北上山地？）		n	3	88	73
g－02	2 e・2 f	一括	下	1	5.5	2.8	0.8	12.12	頁岩（北上山地？）		n	5	－	73
g－03	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	11.9	2.9	1.4	48.26	頁岩（北上山地？）		n	4	88	74
g－04	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	1	5.5	2.2	1.2	14.45	頁岩（北上山地？）		n	2	－	74
g－05	7号住居	検出面	完	2	2.5	2.4	0.8	3.18	赤色頁岩（奥羽山脈）	異形	d	281	88	74
g－06	7号住居	上～中層	完	2	2.6	7.5	1.0	16.95	頁岩（奥羽山脈？）		c	20	88	74
g－07	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	2	(6.7)	2.3	1.4	24.62	頁岩（奥羽山脈？）		n	1	88	74
h－01	1号住居	炭・焼土層より下	*	I	13.4	7.5	5.2	660.00	デサイト（奥羽山脈）		g	42	－	74
h－02	5号住居	一括	*	I	10.7	7.6	4.4	433.00	デサイト（奥羽山脈）		g	53	－	74
h－03	6号住居	A－A'より東	*	I	12.1	6.5	5.4	400.00	デサイト（奥羽山脈）		g	60	－	74
h－04	7号住居	検出面	*	I	15.3	10.4	6.8	1.28	角閃岩（北上山地）		g	84	－	74
h－05	7号住居	検出面	*	I	13.2	7.9	5.3	940.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	85	88	74
h－06	7号住居	検出面	*	I	13.3	6.4	4.4	518.00	角閃岩（北上山地）		g	94	－	74
h－07	36号土坑	中層	*	I	12.0	4.4	3.3	270.00	砂岩（北上山地）		g	73	－	74
h－08	41号土坑	検出面	*	I	14.0	7.4	4.8	584.00	デサイト（奥羽山脈）		g	52	－	74
h－09	50号土坑	一括	*	I	15.0	5.2	3.2	380.00	デサイト（奥羽山脈）		g	46	－	74
h－10	2 f・2 g	2 f（3）床面～下層	*	I	11.7	7.2	6.1	716.00	角閃岩（北上山地）		g	89	－	74
h－11	2 f・2 g	2 f（3）床面～下層	*	I	12.2	7.7	5.7	741.00	安山岩（奥羽山脈）		g	90	－	74
h－12	2 g	2 f（3）床面～下層	*	I	9.5	6.5	4.9	391.00	デサイト（奥羽山脈）		g	56	－	74
h－13	2 g	2 f（3）床面～下層	*	I	15.0	8.5	5.4	1.10	デサイト（奥羽山脈）		g	27	－	74
h－14	2 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	I	14.6	7.0	5.3	516.00	デサイト（奥羽山脈）		g	74	－	74
h－15	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	I	5.9	6.5	4.4	164.00	安山岩（奥羽山脈）		g	51	－	74
h－16	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	I	16.4	7.7	5.8	1.14	砂岩（北上山地）		g	58	88	74
h－17	5 c	5 dA－A' 3層	*	I	11.0	7.8	6.3	792.00	角閃岩（北上山地）		g	17	－	74
h－18	5 c	5 dA－A' 3層	*	I	9.3	6.3	6.8	561.00	斑糲岩（北上山地）		g	18	－	74
h－19	5 c・5 d	5 dA－A' 3層下位	*	I	21.3	9.1	8.0	1.37	デサイト（奥羽山脈）		g	21	－	75
h－20	5 d	5 dA－A' 3層下位	*	I	8.6	6.8	4.4	259.00	凝灰岩（奥羽山脈）		g	31	－	75
h－21	5 d・5 e	5 dA－A' 3層	*	I	6.6	5.1	2.0	85.66	デサイト（奥羽山脈）		g	33	－	75
h－22	5 d・6 d	5 dA－A' 3層	*	I	10.3	7.3	5.1	700.00	デサイト（奥羽山脈）		g	93	－	75

〈石器・石製品〉(21)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
h-23	5 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	Ⅰ	11.4	7.4	5.6	544.00	安山岩（奥羽山脈）		g	20	-	75
h-24	5 g	Ⅱ～Ⅲ層	*	Ⅰ	8.6	6.0	4.3	238.00	デサイト（奥羽山脈）		g	41	-	75
h-25	43号土坑	一括	*	Ⅰ1	11.9	6.3	6.1	529.00	?		g	77	88	75
h-26	1号住居	床面	*	Ⅰ1	16.7	6.9	4.3	718.00	細粒花崗閃緑岩（北上山地）		g	64	89	75
h-27	5 c	5 d A-A' 3層	*	1 1	7.8	6.6	4.2	316.00	安山岩（奥羽山脈）		g	24	-	75
h-28	5号住居	一括	*	Ⅰ1?	17.3	11.2	5.9	1.27	デサイト（奥羽山脈）		g	54	-	75
h-29	5号住居	A-A'	*	Ⅱ	8.6	5.9	5.4	408.00	デサイト（奥羽山脈）		g	71	-	75
h-30	5号住居	A-A'	*	Ⅱ	12.7	7.2	5.9	606.00	デサイト（奥羽山脈）		g	72	-	75
h-31	35号土坑	2 f-4	*	Ⅱ	11.6	6.4	4.0	385.00	安山岩（奥羽山脈）		g	59	-	75
h-32	47号土坑	一括	*	Ⅱ	17.4	8.3	4.2	956.00	砂岩（北上山地）		g	76	-	75
h-33	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	Ⅱ	18.0	3.1	2.8	185.00			g	98	89	75
h-34	4 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	Ⅱ	16.0	6.3	8.3	1.03	閃緑岩（北上山地）		g	16	89	75
h-35	1号住居	炭・焼土層上位	*	Ⅲ	8.5	9.7	6.5	772.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	44	-	75
h-36	3号住居	検出面3より下	*	Ⅲ	10.0	7.0	6.0	645.00	斑糲岩（北上山地）		g	43	-	76
h-37	20号土坑	1～3層	*	Ⅲ	8.6	8.2	6.1	657.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	35	-	76
h-38	2 f・2 g	2 f(3)床面～下層	*	Ⅲ	8.8	6.1	3.6	290.00	安山岩（奥羽山脈）		g	91	89	76
h-39	2 g	一括	*	Ⅲ	10.0	8.0	6.7	651.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	48	-	76
h-40	5 c・5 d	5 d A-A' 3層下位	*	Ⅲ	10.3	6.3	2.5	196.00	砂岩（北上山地）		g	25	-	76
h-41	5 e	3・4号焼土付近	*	Ⅲ	10.1	9.9	6.8	886.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	69	-	76
h-42	6 d	一括	*	Ⅲ	9.6	8.0	7.9	940.00	砂岩（北上山地）		g	62	-	76
h-43	6 d	一括	*	Ⅲ	10.5	9.3	5.0	785.00	安山岩（奥羽山脈）		g	63	89	76
h-44	2 f・2 g	遺物集中地点	*	Ⅲ?	9.3	5.9	5.0	411.00	アプライト（北上山地）		g	78	-	76
h-45	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	Ⅲ?	12.3	5.7	4.7	452.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	39	-	76
h-46	7号土坑	一括	*	Ⅲa	4.6	4.3	3.8	103.53	砂岩（北上山地）		g	97	-	76
h-47	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	*	Ⅲa	7.6	7.2	4.1	315.00	花崗閃緑岩（北上山地）		g	81	89	76
h-48	p 105	上層	*	Ⅲ?a	9.6	7.8	6.0	622.00	安山岩（奥羽山脈）		g	95	-	76
h-49	1号住居	炭・焼土層上位	*	Ⅲa?	8.3	6.6	3.7	322.00	安山岩（奥羽山脈）		g	55	-	76
h-50	6号住居	上～中層	*	Ⅲb?	9.9	8.1	4.7	556.00	デサイト（奥羽山脈）		g	36	-	76
h-51	2 f	2 f(3)床面～下層	*	Ⅲ?Ⅳ?	10.2	7.2	4.5	312.00	安山岩（奥羽山脈）		g	40	-	76
h-52	2 f	2 f(3)床面～下層	*	Ⅳ	4.9	5.1	4.2	80.81	安山岩（奥羽山脈）		g	29	-	76
h-53	3 g	一括	*	Ⅳa1	12.9	6.7	4.1	415.00			g	88	89	76
h-54	1号住居	炭・焼土層上位	*	Ⅳ1	18.7	7.0	4.5	978.00	砂岩（奥羽山脈?）		g	32	90	77
h-55	1号住居	炭・焼土層上位・床面	*	b	12.1	9.5	4.9	385.00	安山岩（溶岩） （奥羽山脈・第四紀火山）		g	30・37	90	77
h-56	35号土坑	2 e-18	*	b	7.9	6.6	5.6	381.00	角閃岩（北上山地）		g	79	-	77
h-57	47号土坑	一括	*	b	12.0	9.6	5.2	910.00	砂岩（北上山地）		g	68	-	77
h-58	2 f	一括	*	b	16.1	7.4	2.5	382.00	砂岩（北上山地）		g	61	90	77

〈石器・石製品〉(22)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮	番号	図版	写真図版
h－59	3 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	b	8.8	5.9	2.6	169.00	砂岩（北上山地）		g	50	－	77
h－60	4 e	Ⅱ～Ⅲ層	*	b	8.5	7.8	2.7	262.00	砂岩（北上山地）		g	57	－	77
h－61	4 f	Ⅱ～Ⅲ層	*	b	11.2	6.3	2.7	272.00	デサイト（奥羽山脈）		g	15	－	77
h－62	4 i	Ⅰ～Ⅲ層	*	b	14.8	8.1	3.7	643.00	礫岩（奥羽山脈）		g	11	－	77
h－63	5 d・5 e	5 dA－A′3層	*	b	9.6	8.9	4.3	409.00	安山岩（奥羽山脈）		g	23	－	77
h－64	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	b	8.2	6.4	5.1	182.00	安山岩（溶岩） （奥羽山脈・第四紀火山）					
h－65	5 g	Ⅰ～Ⅲ層	*	b	13.2	7.5	3.4	493.00	砂岩（北上山地）		g	87	－	78
h－66	3号住居	一括	*	b？	14.8	4.9	4.4	383.00	デサイト（奥羽山脈）		g	26	－	78
h－67	4 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	b	11.8	7.9	3.9	540.00	砂岩（北上山地）		g	49	－	78
h－68	3 i	Ⅱ～Ⅲ層	*	c	(8.0)	5.4	2.2	132.00	砂岩（北上山地）		g	70	90	78
h－69	47号土坑	一括	*	c？	8.7	5.7	1.7	97.24	砂岩（北上山地）		g	67	－	78
h－70	12号土坑	一括	*	d	7.8	7.5	4.7	308.00	安山岩（奥羽山脈）		g	65	90	78
h－71	3 f	一括	*	d？	13.7	7.8	4.8	751.00	？	50号土坑含む？	g	34	－	78
h－72	12号土坑	一括	*	e	10.4	5.7	3.7	165.00	凝灰岩（奥羽山脈）		g	66	－	78
h－73	45号土坑	10層上位	*	l	17.5	7.7	3.9	768.00	細粒花崗閃緑岩（北上山地）		g	96	90	78
h－74	p 133	一括	*	l	(17.0)	6.8	6.2	961.00			g	101	91	78
h－75	2 e	一括	*	l	18.9	4.9	3.0	397.00	ホルンフェルス（北上山地）		l	10	91	78
h－76	35号土坑	2 e－23	*	2	10.1	4.6	2.2	155.00			g	100	91	78
h－77	p 106	上層	*	2	10.8	3.3	1.7	93.57			g	99	－	78
i －01	1号住居	炭・焼土層より下	完	？	6.1	4.3	1.5	52.24	凝灰岩（奥羽山脈）		i	10	－	79
i －02	1号住居	一括	欠	*	7.0	4.6	1.3	50.17	砂岩（北上山地）		i	18	－	79
i －03	7号住居	検出面	完	*	5.8	8.5	1.4	109.88	砂岩（北上山地）		i	16	91	79
i －04	3号土坑	一括	完？	*	8.0	6.2	1.9	100.04	凝灰岩（奥羽山脈）		i	5	－	79
i －05	5号土坑	中層	完	*	3.8	7.6	1.0	62.07	砂岩（北上山地）		i	14	91	79
i －06	8号土坑	一括	完	*	5.0	6.9	1.9	87.46	砂岩（北上山地）		i	7	91	79
i －07	20号土坑	下層	欠	*	(9.6)	(6.1)	1.7	120.55	細粒花崗閃緑岩（北上山地）		i	9	－	79
i －08	23号土坑	一括	完	*	4.2	4.0	1.1	25.95	砂岩（北上山地）		i	11	91	79
i －09	32号土坑	下層	完	*	5.6	5.2	1.6	60.88	ホルンフェルス（北上山地）		i	4	－	79
i －10	37号土坑	中層	完	？	11.1	5.4	2.2	169.53	デサイト（奥羽山脈）		i	17	－	79
i －11	48号土坑	8層より下	完	？	9.2	7.5	1.9	155.44	ホルンフェルス（北上山地）		i	8	－	79
i －12	2 e	Ⅱ～Ⅲ層	完	*	9.5	5.9	1.7	119.34			i	19	－	－
i －13	2 g	Ⅰ～Ⅲ層	完	*	9.3	6.3	1.9	135.91	砂岩（北上山地）		i	1	－	79
i －14	3 i	Ⅰ～Ⅲ層	完	*	9.9	6.7	1.8	145.06	砂岩（北上山地）		i	2	－	79
i －15	4 e	Ⅰ～Ⅲ層	欠	*	8.7	5.7	0.9	59.43	ホルンフェルス（北上山地）		i	12	－	79
i －16	5 c・5 d	5 dA－A′3層	完	？	6.7	4.9	0.9	43.31	砂岩（北上山地）		i	6	－	79
i －17	7 p・7 q	Ⅰ層	完？	*	9.8	4.9	2.2	142.15	ホルンフェルス（北上山地）		i	15	－	79

〈石器・石製品〉(23)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮番号	図版	写真図版
i-18	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	*	8.2	6.8	1.8	149.53	礫岩（奥羽山脈）		i	3	-	79
i-19	A区	一括	完	*	10.9	5.9	2.4	170.02	砂岩（北上山地）		i	13	-	79
j-01	3号住居	一括	完	*	4.7	1.7	0.9	10.65	粘板岩（北上山地）		m	3	91	80
j-02	3号住居	検出面3より下	欠	*	(9.9)	(2.3)	1.2	15.64	粘板岩（北上山地）		l	3	91	80
j-03	7 p	Ⅱ～Ⅲ層	欠	*	(8.3)	(2.7)	1.2	31.41	粘板岩（北上山地）		l	2	91	80
j-04	8 p	Ⅱ～Ⅲ層	完	独鈷石	10.1	4.0	3.1	196.77	砂岩（北上山地）		f	18	91	80
k-01	35号土坑	(K) No17・2 e-24	*	a	2.5	3.3	0.8	7.82	滑石（北上山地）		k	45	92	80
k-02	35号土坑	(K) No18・2 e-24	*	a	2.2	2.5	0.4	2.53	滑石（北上山地）		k	46	92	80
k-03	35号土坑	(K) No23・2 f-4	*	a	2.7	2.0	0.4	1.72	滑石（北上山地）		k	48	92	80
k-04	35号土坑	A-A'東	*	a	3.1	1.7	0.5	3.55	滑石（北上山地）		k	20	92	80
k-05	35号土坑	A-A'東	*	a	3.7	4.1	0.5	11.03	滑石（北上山地）		k	17	92	80
k-06	35号土坑	(p) No03・2 f-3	*	b	(3.7)	3.1	0.6	8.17	滑石（北上山地）		k	26	92	80
k-07	35号土坑	(K) No02・2 e-24	*	b	3.8	3.3	0.8	16.25	滑石（北上山地）		k	40	92	80
k-08	2 e・2 f	一括	*	b	2.2	2.9	1.4	9.25	滑石（北上山地）		k	11	92	80
k-09	1号住居	炭・焼土層上位	*	b	2.9	1.7	1.1	8.56	滑石（北上山地）		k	3	92	80
k-10	35号土坑	(K) No66・2 e-18	*	b	2.4	(1.9)	(0.8)	4.70	滑石（北上山地）		k	55	92	80
k-11	2 e	一括	*	b	3.6	2.1	0.7	8.32	滑石（北上山地）	35号土坑含む？	k	13	92	80
k-12	35号土坑	(K) No73・2 e-23	*	b	4.6	1.8	0.7	7.91	滑石（北上山地）		k	61	92	80
k-13	35号土坑	(K) No48・2 e-19	*	b	3.8	(1.8)	0.4	3.35	滑石（北上山地）		k	52	92	80
k-14	35号土坑	(K) No58・2 e-18	*	b	4.6	2.4	0.5	10.44	滑石（北上山地）		k	53	92	80
k-15	5～7号住居	一括	*	b	3.4	2.3	0.5	6.44	滑石（北上山地）		k	7	92	80
k-16	35号土坑	2 e-19	*	b	7.2	2.6	0.8	26.06	滑石（北上山地）		k	33	92	80
k-17	3 e	Ⅰ～Ⅲ層	*	b	4.1	1.4	0.6	5.63	滑石（北上山地）		k	15	92	80
k-18	35号土坑	(K) No06・2 e-18	*	b	(3.0)	1.6	0.7	3.88	滑石（北上山地）		k	42	92	80
k-19	35号土坑	(K) No68・2 e-24	*	b	(3.3)	(1.9)	0.5	3.81	滑石（北上山地）		k	59	92	80
k-20	35号土坑	A-A'東	*	b	(2.5)	1.7	0.5	2.58	滑石（北上山地）		k	25	92	80
k-21	35号土坑	(K) No69・2 e-24	*	b	(3.0)	(2.2)	0.5	5.02	滑石（北上山地）		k	60	92	80
k-22	35号土坑	A-A'東	*	b	(4.2)	(2.1)	0.7	6.32	滑石（北上山地）		k	23	92	80
k-23	35号土坑	2 f-3	*	b	(3.4)	1.2	0.4	2.82	滑石（北上山地）		k	27	92	81
k-24	35号土坑	(K) No62・2 e-19	*	b	(2.3)	(1.7)	0.6	3.05	滑石（北上山地）		k	54	92	81
k-25	35号土坑	2 e-24	*	b	(1.6)	1.5	0.4	1.44	滑石（北上山地）		k	29	92	81
k-26	35号土坑	2 f-3	*	b	(1.6)	0.9	0.5	0.89	滑石（北上山地）		k	28	92	81
k-27	35号土坑	(K) No21・2 f-4	*	b	(1.7)	(0.9)	0.5	0.93	滑石（北上山地）		k	47	92	81
k-28	2号住居	一括	*	c①	(3.3)	(1.8)	0.5	3.94	滑石（北上山地）		k	2	93	81
k-29	35号土坑	(K) No16・2 e-24	*	c①	(3.1)	(2.0)	0.5	3.64	滑石（北上山地）		k	44	93	81
k-30	35号土坑	(K) No31・2 f-3	*	c①	(1.8)	(1.9)	0.6	2.30	滑石（北上山地）		k	49	93	81
k-31	35号土坑	(K) No67・2 e-24	*	c①	(3.1)	(1.5)	0.5	2.97	滑石（北上山地）		k	58	93	81

〈石器・石製品〉(24)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	版	番号	図版	写真図版
k－32	35号土坑	(K) No74・2e－22	*	c①	(2.2)	(1.4)	0.4	1.51	滑石(北上山地)		k	62	93	81
k－33	35号土坑	2e－24	*	c①	(2.4)	(1.4)	0.4	1.48	滑石(北上山地)		k	30	93	81
k－34	35号土坑	2f－4	*	c①	(2.0)	(0.8)	0.3	0.68	滑石(北上山地)		k	34	93	81
k－35	35号土坑	2f－4	*	c①	(2.4)	(1.9)	0.6	2.47	滑石(北上山地)		k	35	93	81
k－36	35号土坑	2f－4	*	c①	(2.5)	(1.3)	0.5	2.53	滑石(北上山地)		k	37	93	81
k－37	35号土坑	2f－4	*	c①	(1.8)	(1.2)	(0.6)	1.55	滑石(北上山地)		k	38	93	81
k－38	35号土坑	A－A'東	*	c①	(2.8)	(1.5)	0.4	2.70	滑石(北上山地)		k	18	93	81
k－39	35号土坑	A－A'東	*	c①	(3.2)	(1.6)	0.7	4.70	滑石(北上山地)		k	22	93	81
k－40	35号土坑	A－A'東	*	c①	(3.3)	(2.0)	0.4	4.15	滑石(北上山地)		k	24	93	81
k－41	3f	Ⅱ～Ⅲ層	*	c①	(3.6)	(1.8)	0.7	5.35	滑石(北上山地)		k	16	93	81
k－42	35号土坑	(K) No07・2e－18	*	c①	2.5	(1.5)	0.5	2.22	滑石(北上山地)		k	43	93	81
k－43	35号土坑	2e－19	*	c③	(1.8)	1.1	0.6	1.69	滑石(北上山地)		k	32	93	81
k－44	A区	一括	*	c①	1.7	0.9	0.8	1.30	滑石(北上山地)		k	14	93	81
k－45	35号土坑	(K) No01・2e－24	*	c②	(3.1)	(1.5)	0.5	2.71	滑石(北上山地)		k	39	93	81
k－46	35号土坑	(K) No37・2f－3	*	c②	(3.8)	(2.1)	0.5	5.68	滑石(北上山地)		k	50	93	81
k－47	35号土坑	(K) No46・2e－19	*	c②	(5.1)	(2.0)	0.6	7.97	滑石(北上山地)		k	51	93	81
k－48	35号土坑	(K) No67・2e－24	*	c②	(2.4)	(1.1)	0.8	2.37	滑石(北上山地)		k	56	93	81
k－49	35号土坑	(K) No67・2e－24	*	c②	(3.7)	(1.6)	0.5	4.55	滑石(北上山地)		k	57	93	81
k－50	35号土坑	2f－4	*	c①	(1.7)	(1.1)	0.5	1.29	滑石(北上山地)		k	36	93	81
k－51	35号土坑	A－A'東	*	c②	(3.7)	(1.9)	0.6	5.54	滑石(北上山地)		k	21	93	81
k－52	35号土坑	A－A'東	*	c②	(5.9)	(2.7)	1.0	24.38	滑石(北上山地)		k	19	93	81
k－53	38号土坑	19層	*	d	(3.2)	(1.3)	0.5	3.09	滑石(北上山地)		k	9	93	81
k－54	3号住居	床直	*	d	2.0	2.2	1.0	5.82	滑石(北上山地)		k	5	93	81
k－55	3号住居	3層下面	*	d	(2.4)	(1.5)	(0.6)	3.57	滑石(北上山地)		k	6	93	81
k－56	2号住居	検出面	*	c③	3.3	1.4	1.0	6.17	滑石(北上山地)		k	1	93	81
k－57	52号土坑	検出面	*	c③	(3.2)	(1.4)	0.5	5.45	滑石(北上山地)		k	10	93	81
k－58	2f	2f(3)床面～下層	*	d	3.9	1.5	1.2	9.95	滑石(北上山地)		k	4	93	81
k－59	28号土坑	底面	*	d	(5.9)	(2.1)	0.5	9.94	滑石(北上山地)		k	8	93	81
k－101	3号住居	床直	*	e	1.6			0.46	滑石(北上山地)	1点(古)	k	106	－	82
k－102	3号住居	一括	*	e	1.4			0.67	滑石(北上山地)	1点	k	105	－	82
k－103	12･13･15号土坑	中層	*	e	2.7			2.20	滑石(北上山地)	1点	k	107	－	82
k－104	2e	Ⅱ～Ⅲ層	*	e	1.7			0.33	滑石(北上山地)	1点	k	101	－	82
k－105	2e	一括	*	e	0.9～3.5			10.21	滑石(北上山地)	8点。35号土坑含む？	k	104	－	82
k－106	2f	2f(1)床面～下層	*	e	1.0～1.6			2.14	滑石(北上山地)	9点・35号土坑含む？	k	102	－	82
k－107	35号土坑	(K) No02・2e－24	*	e	1.1～2.6			13.71	滑石(北上山地)	11点	k	116	－	82
k－108	35号土坑	(K) No03・3層・(2e－24)	*	e	1.2			0.32	滑石(北上山地)	1点	k	117	－	82
k－109	35号土坑	(K) No04・2e－23	*	e	1.6			0.90	滑石(北上山地)	1点	k	41	－	82

〈石器・石製品〉(25)

掲載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	備考	仮	番号	図版	写真図版
k－110	35号土坑	(K) No05・2e－18	*	e	2.5			1.08	滑石（北上山地）	1点	k	118	－	82
k－111	35号土坑	(K) No08・2e－18	*	e	1.2			0.30	滑石（北上山地）	1点	k	119	－	82
k－112	35号土坑	(K) No09・2e－18	*	e	3.0			4.94	滑石（北上山地）	1点	k	120	－	82
k－113	35号土坑	(K) No10・2e－18	*	e	0.75～2.6			6.32	滑石（北上山地）	7点	k	121	－	82
k－114	35号土坑	(K) No11・3層・2e－18	*	e	1.5			0.30	滑石（北上山地）	1点	k	122	－	82
k－115	35号土坑	(K) No11・4層・2e－18	*	e	1.8			0.34	滑石（北上山地）	1点	k	123	－	82
k－116	35号土坑	(K) No13・2e－24	*	e	2.7			2.37	滑石（北上山地）	1点	k	124	－	82
k－117	35号土坑	(K) No14・2e－24	*	e	1.9			1.22	滑石（北上山地）	1点	k	125	－	82
k－118	35号土坑	(K) No17・2e－24	*	e	0.7～1.7			2.13	滑石（北上山地）	6点	k	126	－	82
k－119	35号土坑	(K) No20・3層・2e－23	*	e	5.3			28.60	滑石（北上山地）	1点	k	127	－	82
k－120	35号土坑	(K) No22・2f－4	*	e	3.6			3.80	滑石（北上山地）	1点	k	128	－	82
k－121	35号土坑	(K) No24・2f－4	*	e	3.1			10.74	滑石（北上山地）	1点	k	129	－	82
k－122	35号土坑	(K) No25・2f－4	*	e	1.2			0.31	滑石（北上山地）	1点	k	130	－	82
k－123	35号土坑	(K) No26・2f－4	*	e	3.1			1.95	滑石（北上山地）	1点	k	131	－	82
k－124	35号土坑	(K) No27・2f－4	*	e	2.9			4.19	滑石（北上山地）	1点	k	132	－	82
k－125	35号土坑	(K) No28・2f－3	*	e	3.7			8.14	滑石（北上山地）	1点	k	133	－	82
k－126	35号土坑	(K) No29・2f－3	*	e	1.6			0.50	滑石（北上山地）	1点	k	134	－	82
k－127	35号土坑	(K) No30・2f－3	*	e	2.3			0.93	滑石（北上山地）	1点	k	135	－	82
k－128	35号土坑	(K) No31・2f－3	*	e	0.8			0.23	滑石（北上山地）	1点	k	136	－	82
k－129	35号土坑	(K) No32・2f－3	*	e	3.1			3.62	滑石（北上山地）	1点	k	137	－	82
k－130	35号土坑	(K) No33・2f－3	*	e	3.2			4.15	滑石（北上山地）	1点	k	138	－	82
k－131	35号土坑	(K) No34・2f－3	*	e	1.7・1.75			2.62	滑石（北上山地）	2点	k	139	－	82
k－132	35号土坑	(K) No35・2f－3	*	e	0.9・0.95			0.50	滑石（北上山地）	2点	k	140	－	82
k－133	35号土坑	(K) No36・2f－3	*	e	2.6			0.73	滑石（北上山地）	1点	k	141	－	82
k－134	35号土坑	(K) No38・2f－3	*	e	1.8			0.71	滑石（北上山地）	1点	k	142	－	82
k－135	35号土坑	(K) No39・2e－23	*	e	1.1			0.26	滑石（北上山地）	1点	k	143	－	82
k－136	35号土坑	(K) No40・2f－3	*	e	1.1			0.81	滑石（北上山地）	1点	k	144	－	83
k－137	35号土坑	(K) No41・3層・2e－23	*	e	2.7			3.27	滑石（北上山地）	1点	k	145	－	83
k－138	35号土坑	(K) No42・3層・2e－23	*	e	3.6			12.55	滑石（北上山地）	1点	k	146	－	83
k－139	35号土坑	(K) No43・3層・2e－22	*	e	2.6			1.49	滑石（北上山地）	1点	k	147	－	83
k－140	35号土坑	(K) No45・2e－19	*	e	8.1			41.43	滑石（北上山地）	1点	k	148	－	83
k－141	35号土坑	(K) No47・2e－19	*	e	2.4～4.9			16.07	滑石（北上山地）	2点	k	149	－	83
k－142	35号土坑	(K) No49・2e－19	*	e	7.6			55.72	滑石（北上山地）	1点	k	150	－	83
k－143	35号土坑	(K) No50・2e－19	*	e	6.4			51.77	滑石（北上山地）	1点	k	151	－	83
k－144	35号土坑	(K) No51・2e－19	*	e	2.8			12.42	滑石（北上山地）	1点	k	152	－	83
k－145	35号土坑	(K) No52・2e－19	*	e	2.8			3.48	滑石（北上山地）	1点	k	153	－	83
k－146	35号土坑	(K) No53・2e－19	*	e	1.1・3.45			2.48	滑石（北上山地）	1点	k	154	－	83

〈石器・石製品〉(26)

掲　載	遺構名	地点・層位	欠損	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　質	備　考	版	番　号	図　版	写真図版
k－147	35号土坑	(K) No54・2 e －19	*	e	1.4			2.03	滑石（北上山地）	1点	k	155	－	83
k－148	35号土坑	(K) No55・2 e －19	*	e	2.05・2.15			5.71	滑石（北上山地）	2点	k	156	－	83
k－149	35号土坑	(K) No56・2 e －22	*	e	3.1			13.63	滑石（北上山地）	1点	k	157	－	83
k－150	35号土坑	(K) No57・2 e －22	*	e	1.7～3.0			9.39	滑石（北上山地）	2点	k	158	－	83
k－151	35号土坑	(K) No59・2 e －19	*	e	1.1～1.7			0.88	滑石（北上山地）	2点	k	159	－	83
k－152	35号土坑	(K) No60・2 e －19	*	e	1.8～2.0			3.36	滑石（北上山地）	2点	k	160	－	83
k－153	35号土坑	(K) No61・2 e －19	*	e	0.9～3.65			7.40	滑石（北上山地）	6点	k	161	－	83
k－154	35号土坑	(K) No63・2 e －19	*	e	0.9～1.25			0.43	滑石（北上山地）	2点	k	162	－	83
k－155	35号土坑	(K) No64・2 e －19	*	e	3.3			1.57	滑石（北上山地）	1点	k	163	－	83
k－156	35号土坑	(K) No65・2 e －19	*	e	1.7			0.53	滑石（北上山地）	1点	k	164	－	83
k－157	35号土坑	(K) No67・2 e －24	*	e	0.9～2.45			4.18	滑石（北上山地）	8点	k	165	－	83
k－158	35号土坑	(K) No69・2 e －24	*	e	0.9～1.05			0.35	滑石（北上山地）	2点	k	166	－	83
k－159	35号土坑	(K) No71・2 e －18	*	e	3.8			2.92	滑石（北上山地）	1点	k	167	－	83
k－160	35号土坑	(K) No72・2 f －4	*	e	4.7			8.65	滑石（北上山地）	1点	k	168	－	83
k－161	35号土坑	(K) No75・2 e －23	*	e	5.0			32.43	滑石（北上山地）	1点	k	169	－	83
k－162	35号土坑	(K) No76・2 e －23	*	e	2.25～2.85			4.23	滑石（北上山地）	1点	k	170	－	83
k－163	35号土坑	(K) No77・2 e －23	*	e	5.9			14.27	滑石（北上山地）	1点	k	171	－	83
k－164	35号土坑	2 e －13	*	e	1.1～1.7			1.44	滑石（北上山地）	3点	k	110	－	83
k－165	35号土坑	2 e －19	*	e	2.4			2.05	滑石（北上山地）	1点	k	31	－	83
k－166	35号土坑	2 e －19	*	e	0.45～7.3			158.97	滑石（北上山地）	53点	k	115	－	83
k－167	35号土坑	2 e －23	*	e	0.5～2.1			3.56	滑石（北上山地）	8点	k	111	－	83
k－168	35号土坑	2 e －24	*	e	0.8～1.9			2.65	滑石（北上山地）	5点	k	112	－	83
k－169	35号土坑	2 f －3	*	e	0.95～2.6			8.17	滑石（北上山地）	9点	k	113	－	83
k－170	35号土坑	2 f －4	*	e	0.7～2.45			10.05	滑石（北上山地）	15点	k	114	－	83
k－171	35号土坑	一括	*	e	0.8～2.45			4.38	滑石（北上山地）	14点	k	103	－	83
k－172	p276	一括	*	e	2.6			3.44	滑石（北上山地）	1点	k	108	－	83
k－173	p276	一括	*	e	1.2～2.2			4.86	滑石（北上山地）	3点	k	109	－	83
k－174	3 e・4 d	一括	*	e	3.1			4.60	滑石（北上山地）	1点。35号土坑含む？	k	12	－	83
l－01	48号土坑	3層	*	*	(33.7)	15.7	12.7	10.2	デサイト（奥羽山脈）	石棒	l	7	94	84
l－02	28号土坑	1～4層	*	*	(20.3)	9.5	9.3	2.25	デサイト（奥羽山脈）		l	4	94	84
l－03	28号土坑	5層より下	*	*	(24.2)	8.6	6.8	2.65	デサイト（奥羽山脈）		l	5	94	84
m－1	1号住居	炭・焼土層上位	*	有孔礫	4.2	4.1	2.5	42.70	凝灰岩（奥羽山脈）		m	2	－	84
m－2	5号住居	一括	*	有孔礫	15.9	10.8	9.5	2.30	閃緑岩（北上山地）		m	1	－	84

付篇　分析・鑑定

大中田遺跡のテフラ分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

岩手県江刺市に所在する大中田遺跡は、北上山地南西部を流れる北上川の支流である伊手川左岸の段丘上に位置する。今回の発掘調査では、縄文時代前期後葉～中期初頭を中心とする集落跡が確認されている。検出された主な遺構は、竪穴住居跡や土坑および焼土遺構などであり、これらの遺構からは縄文土器や石器が多量に出土している。また、滑石製垂飾具の未製品が一つの遺構からまとまって出土しており、貴重な資料として注目されている。

今回の分析調査では、発掘調査の際に遺構の埋積土中に認められた火山灰（テフラ）と考えられる堆積物について、その砕屑物の性状を明らかにし、テフラであれば、その給源と噴出年代の特定を行う。これにより、遺構の年代に関わる資料の作成を目的とするものである。

1．試料

試料は、縄文時代前期後葉とされる50号土坑の埋積土中にブロック状の堆積物として含まれていた黄褐色を呈するシルト質砂である。なお、遺跡の立地する段丘表層の土壌層は、後世の水田耕作時に削平されており、試料と同様の堆積物は遺構周囲の土壌層中には認められていない。

2．分析方法

試料約20ｇを蒸発皿に取り、水を加え泥水にした状態で超音波洗浄装置により粒子を分散し、上澄みを流し去る。この操作を繰り返すことにより得られた砂分を乾燥させた後、実体顕微鏡下にて観察する。観察は、テフラの本質物質であるスコリア・火山ガラス・軽石を対象とし、その特徴や含有量の多少を定性的に調べる。火山ガラスについては、その形態によりバブル型と中間型、軽石型に分類する。各型の形態は、バブル型は薄手平板状あるいは泡のつぎ目をなす部分であるＹ字状の高まりを持つもの、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは塊状のもの、軽石型は表面に小気泡を非常に多く持つ塊状および気泡の長く延びた繊維束状のものとする。

また砕屑物中に火山ガラスが含まれる場合は、火山ガラスの屈折率の測定を行い、テフラの同定をより確実なものとする。測定は、古澤（1995）のMAIOTを使用した温度変化法を用いた。

3．結果

処理後の砂分は、細粒の火山ガラスにより構成される。火山ガラスは、無色透明であり、軽石型が多く、少量のバブル型が混在する。火山ガラスの屈折率測定結果を図１に示す。レンジは、ｎ1.510～1.514を示し、モードはｎ1.512～1.513である。

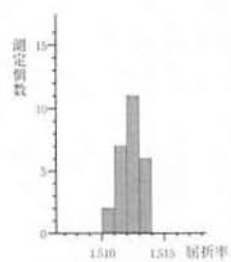


図1　火山ガラスの屈折率

4．考察

試料中に認められた火山ガラスは、形態および屈折率と東北地方におけるテフラ

の産状（例えば、町田ほか（1981；1984）、Arai et al.（1986）、町田・新井（1992）など）および本遺跡の地理的位置から、十和田カルデラを給源とする十和田中掫テフラ（To-Cu：Hayakawa, 1985）に由来すると考えられる。To-Cuの噴出年代は、約5500年前頃とされ、東北地方における縄文時代中期の指標とされている（福田, 1986）。また、その分布軸は南東方向にあるとされ、給源から200km以上遠方の気仙沼付近でも確認されている（町田ほか, 1984）。

なお、同じ十和田カルデラを給源とし、分布軸も南方にあり、やはり東北地方一帯で分布が確認されている十和田aテフラ（To-a：町田ほか, 1981）というテフラがある。To-aの噴出年代は、平安時代のA.D.915年とされており（早川・小山, 1998）、To-Cuの噴出年代とは4000年以上の開きがある。また、給源より遠隔地においては、To-aもTo-Cuと類似した細粒の火山ガラスからなるが、To-aの火山ガラスの屈折率はn 1.496～1.504（町田・新井, 1992）であり、両者は屈折率により明瞭に区別できる。

ここで、遺構覆土中にテフラが含まれていた場合の、テフラの年代と遺構の年代との関係について考えてみたい。まず、遺構が廃棄された後の埋積時にテフラが降下堆積し、そのまま覆土中にテフラ層として保存されたという場合、当然のことながら、遺構の構築年代はテフラの降下堆積年代よりも以前である。次に、遺構廃棄後の埋積時に、遺構周囲の土壌が風化による崩壊や降雨などの一時的な流水により遺構内に流れ込んだという場合。この際に遺構周囲の土壌層中にテフラ層が堆積していれば、テフラも同時に遺構内に流れ込むことになる。この場合は、遺構の構築年代とテフラの降下堆積年代との関係は一定ではない。すなわち、遺構構築時にすでに土壌層中にテフラが堆積していても、遺構構築後にテフラが降下堆積しても、結果として覆土中に含まれる状況にはなるからである。なお、遺構構築後にテフラが降下すれば、遺構内に降下時の堆積物が形成されるので、後から流れ込んだものとの区別が可能とも考えられるが、遺構が溝などの場合には、遺構構築後にテフラが降下しても遺構内には残らない可能性も高い。いずれにしても、その場所のテフラの降灰層準を含めた土層の層序と遺構の検出面との層位関係や、覆土内におけるテフラの産状により、検出されたテフラと遺構との年代の前後関係は異なる。

今回は、遺構覆土より縄文時代中期を噴出年代とするTo-Cuを検出したが、遺構の構築年代とTo-Cuの噴出年代との前後関係については、遺跡周辺域における土層中のテフラの産状を確認した上で検討する必要がある。例えば、周辺域において段丘の土壌層中にTo-Cuは含まれるもののそれがブロック状の堆積物となっている状況が全く認められないようであれば、今回検出されたTo-Cuのブロックは、周囲の土壌から流れ込んだものではなく、土坑埋積時に降下堆積したものすなわち、遺構の構築はTo-Cuの降灰以前ということになる。今後の周辺域における調査事例を待ちたい。

引用文献

Arai, F.・Machida, H.・Okumura, K.・Miyauchi, T.・Soda, T.・Yamagata, K（1986）Cataalog for late quaternary marker-tephras in JapanⅡ－Tephras occurring in Northeast Honshu and Hokkaido－. Geographical reports of Tokyo Metropolitan University No.21, p.223－250.

福田友之（1986）考古学からみた「中掫浮石」の降下年代. 弘前大学考古学研究, 3, p.4-15.

吉澤　明（1995）火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的な解析に基づくテフラの識別. 地質学雑誌, 101, p.123－133.

HAYAKAWA, Y.（1985）Pyroclastic Geology of Towada Volcano. Bulletin of The Earthquake Reserch Institute University of Tokyo, vol.60 p.507－592.

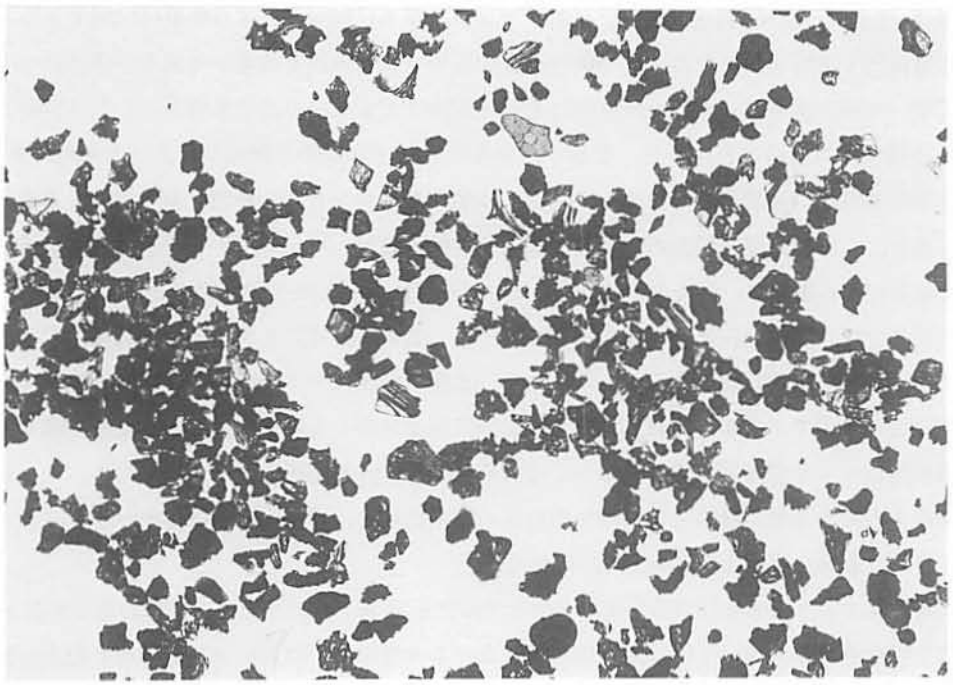
早川由紀夫・小山真人（1998）日本海をはさんで10世紀に相次いで起こった二つの大噴火の年月日－十　和田湖と白頭山－．火山，43，p.403－407．

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．276p．東京大学出版会．

町田　洋・新井房夫・森脇　広（1981）日本海を渡ってきたテフラ．科学，51，p.562－569．

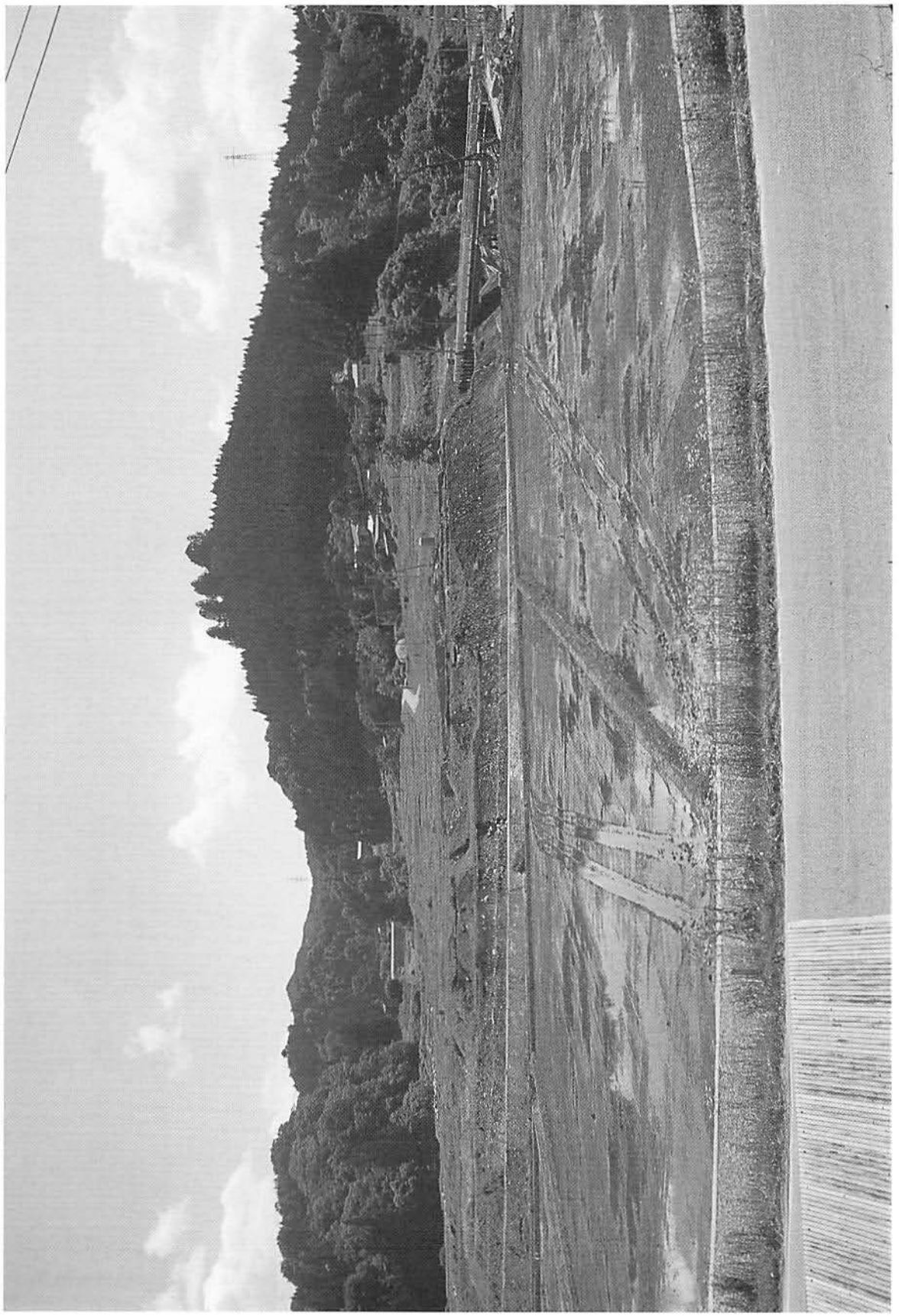
町田　洋・新井房夫・杉原重夫・小田静夫・遠藤邦彦（1984）テフラと日本考古学－考古学研究と関連　するテフラのカタログ－．渡辺直経編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」，p.865－928．

図版1　火山ガラス



1．Ｔｏ-Ｃｕの火山ガラス　50号土坑　火山灰サンプル

0.5mm

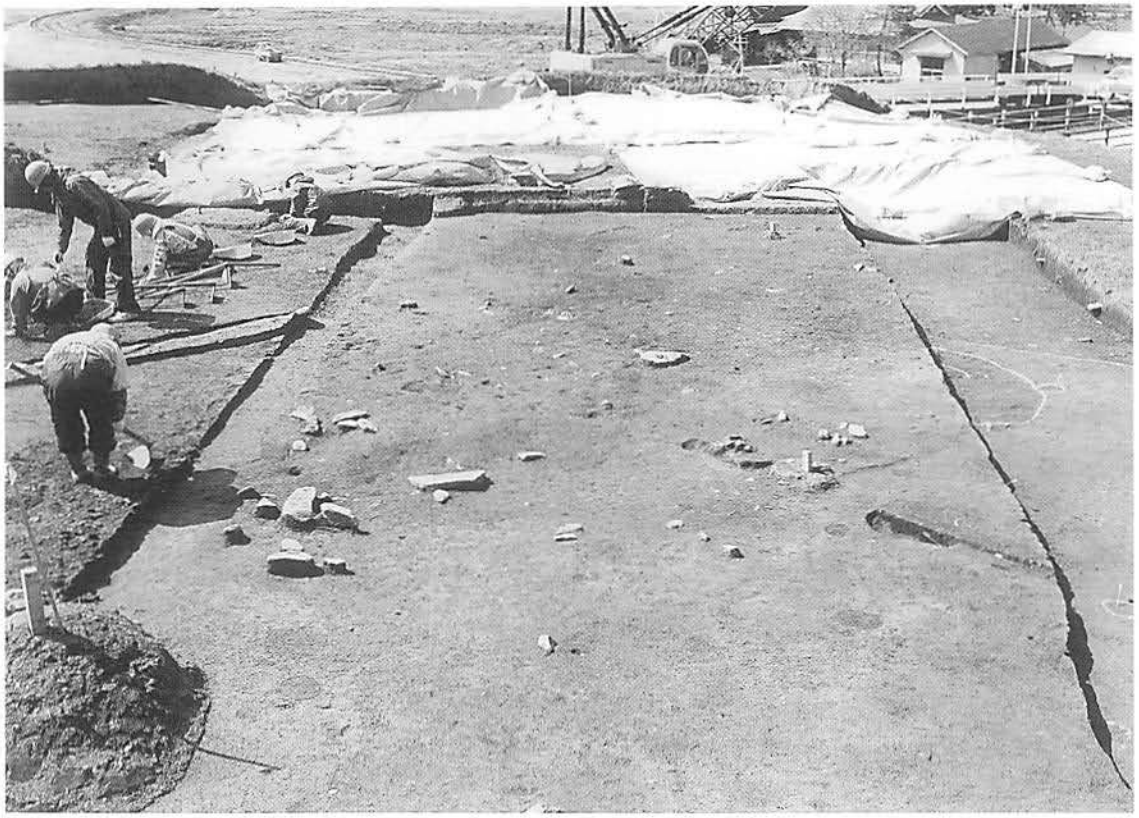


写真図版１　遺跡遠景

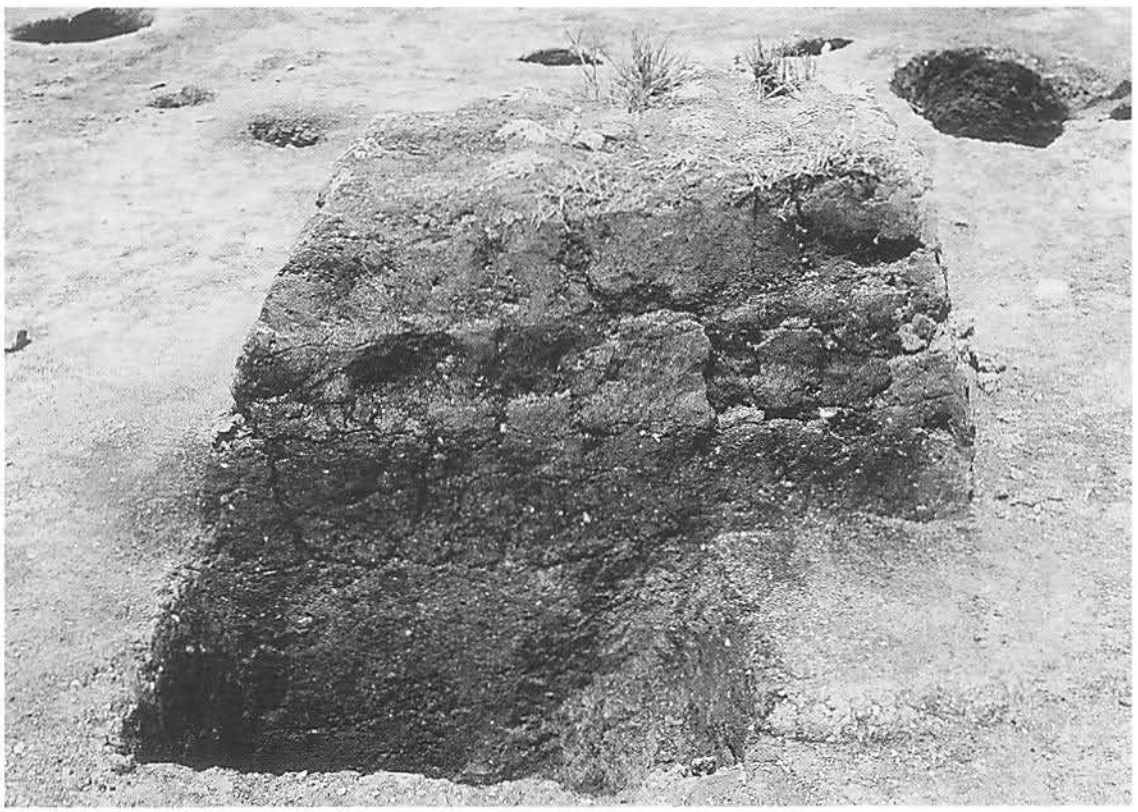
遺跡全景（真上から）

調査前風景（東から）

写真図版２　調査区全景・調査前風景

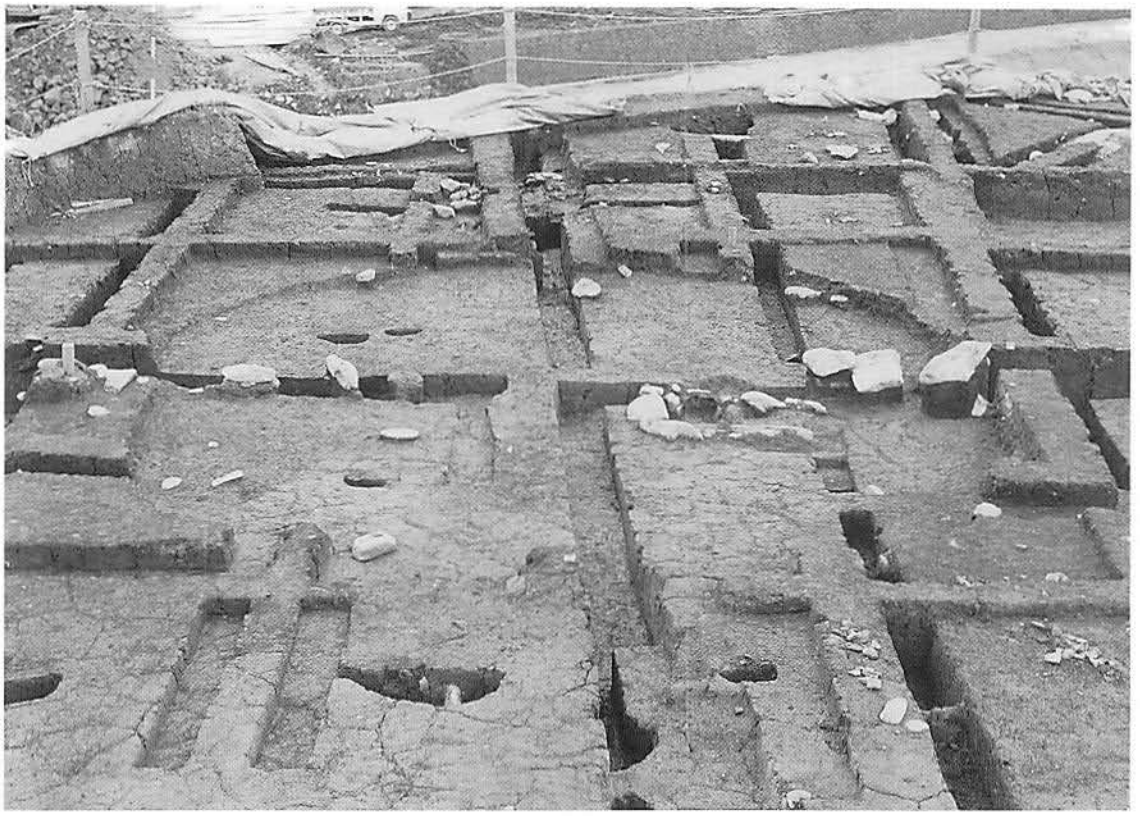


検出（4～7号住居跡付近・東から）



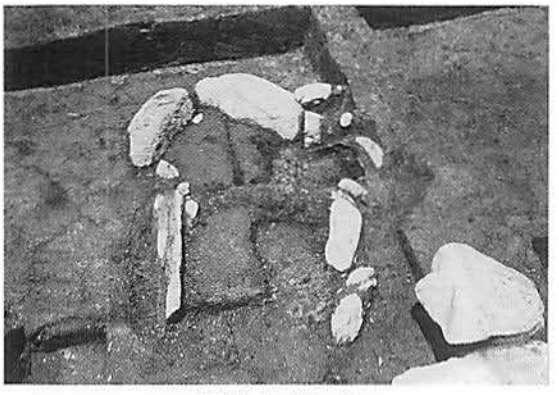
基本層序（東から）

写真図版3　遺構検出・基本層序

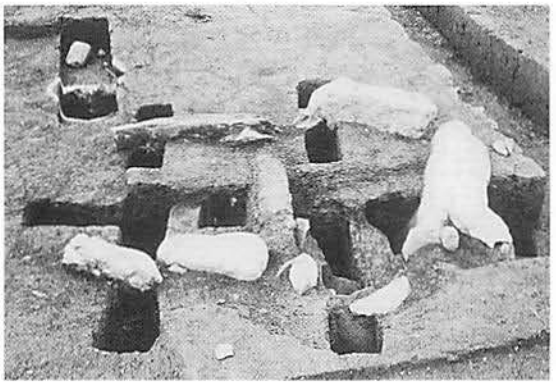


全景（南から）

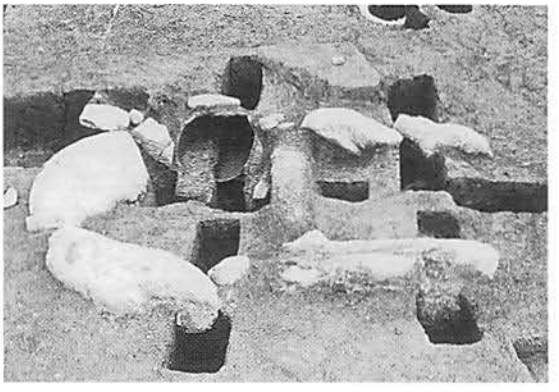
断面（南東から）



炉跡全景（東から）



炉断面（北から）

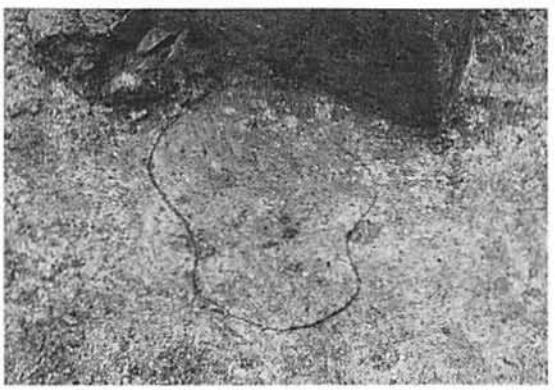


炉体土器（南から）

写真図版 4　1 号住居跡

全景（南から）

断面（南から）



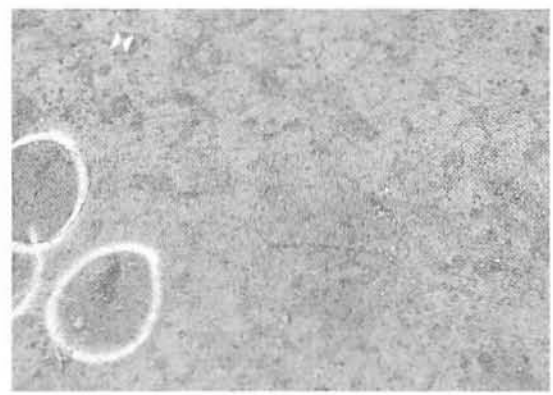
炉全景（北から）

滑石製垂飾具出土状況（西から）

写真図版５　２号住居跡

全景（南東から）

断面（北東から）

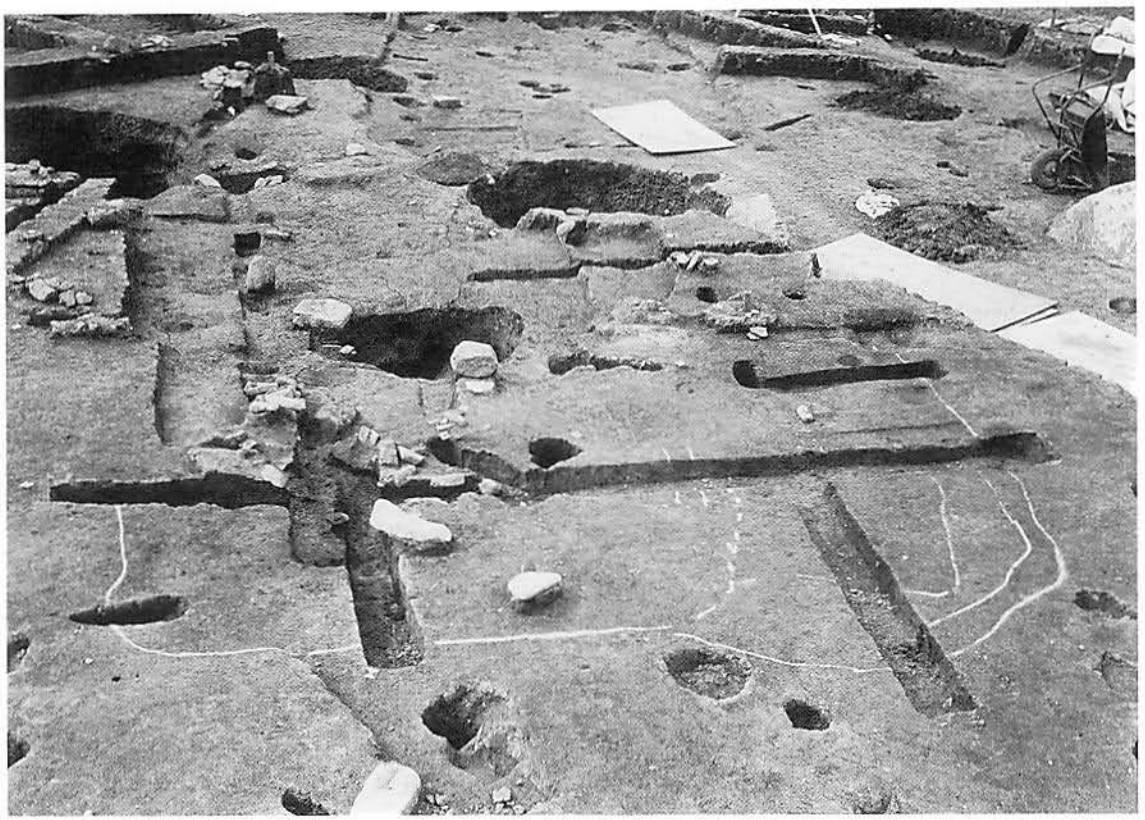


炉全景（南から）

遺物出土状況（北東から）

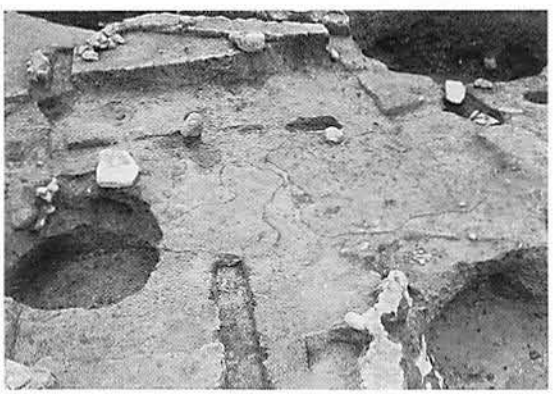
遺物出土（滑石製垂飾具・西から）

写真図版 6　3 号住居跡



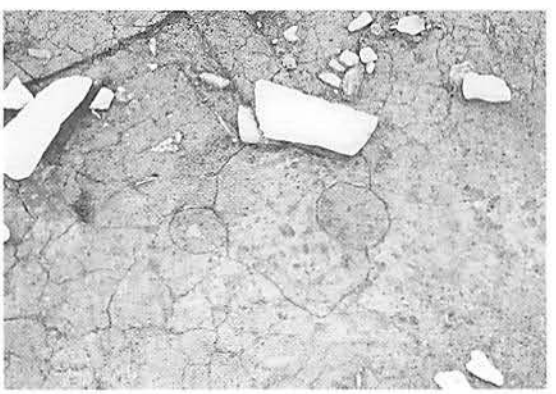
全景（南東から）

全景（38号焼土）（南東から）



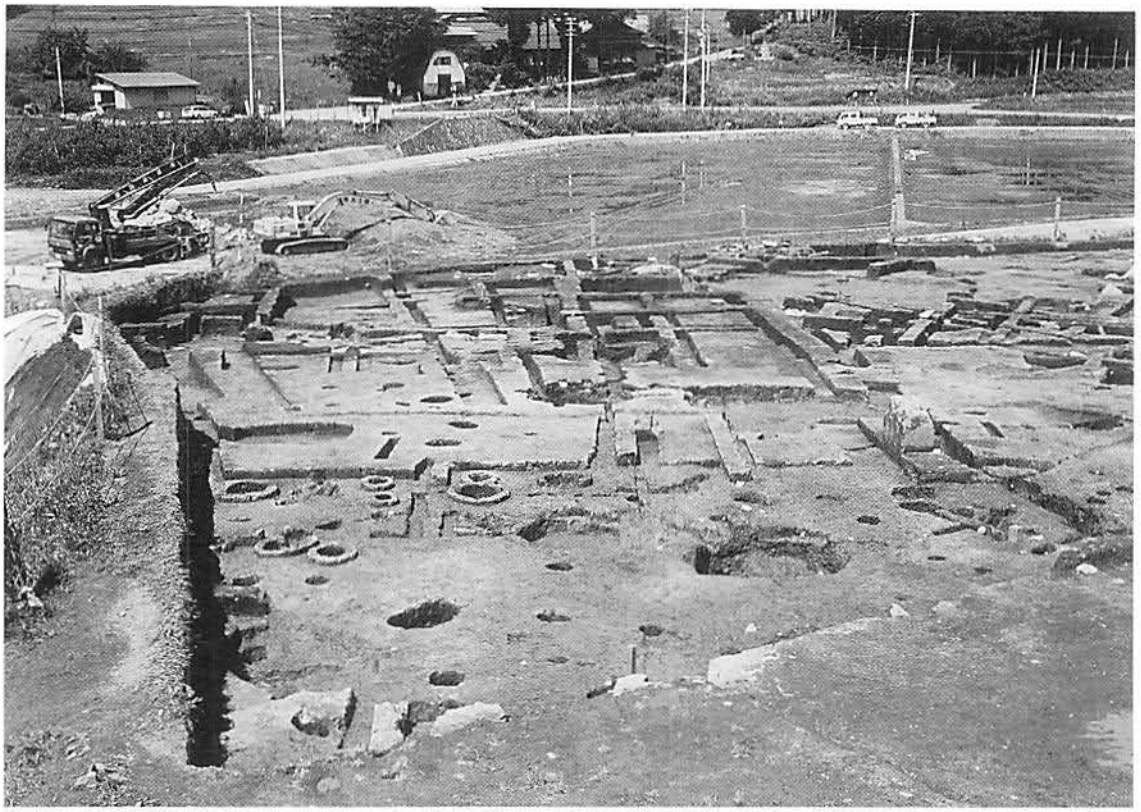
33～35号焼土（北東から）

25号焼土（南から）



26号焼土（南東から）

写真図版７　４～７号住居跡



5 d・4 d付近（南から）

遺物出土状況（南から）

同左（南から）

断面（南西から）

同左（南東から）

写真図版8　5 dグリッド周辺

2ｆ（1）遺物出土状況（南から）

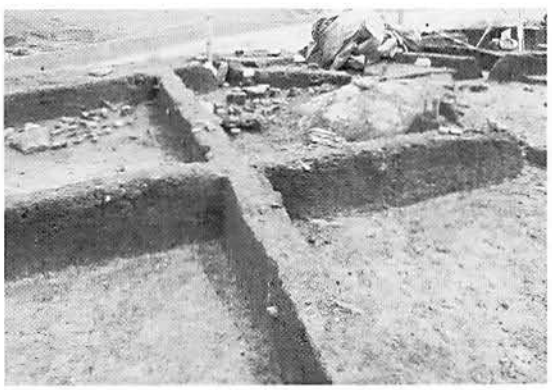
3ｇ周辺遺物出土状況（東から）

写真図版9　2ｆ・3ｇグリッド周辺

2ｆ（3）付近遺物出土状況（南から）

2ｆ（3）付近遺物出土状況（南東から）

2ｆ（2）（3）断面（西から）



2ｆ（2）（3）断面（南から）

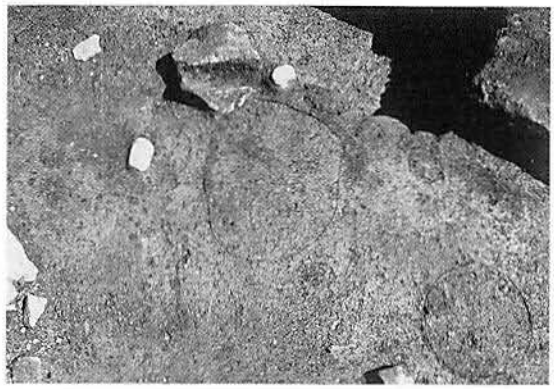
写真図版10　2ｆグリッド周辺

5ｋ付近全景（南から）

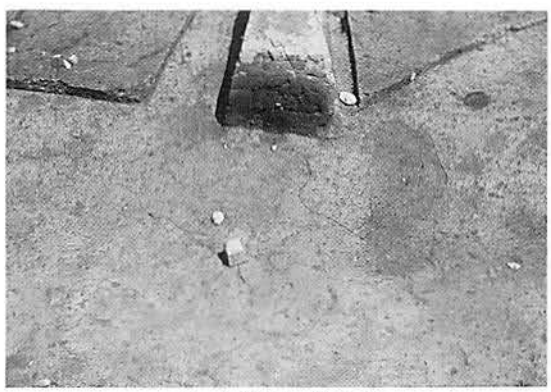
同上全景（南西から）

写真図版11　A区南西部

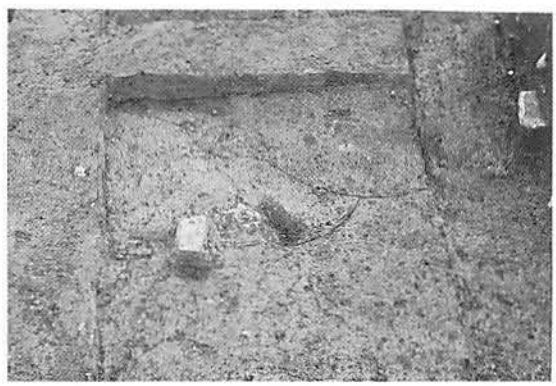
1号焼土（南から）



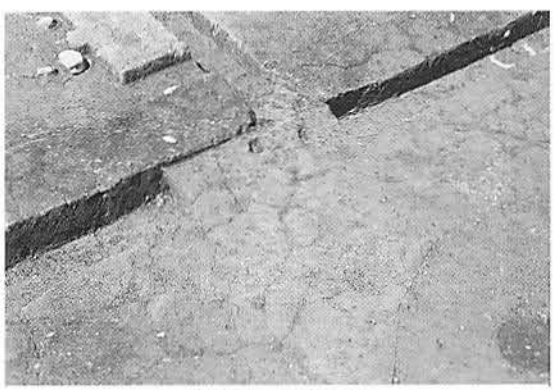
2号焼土（南から）



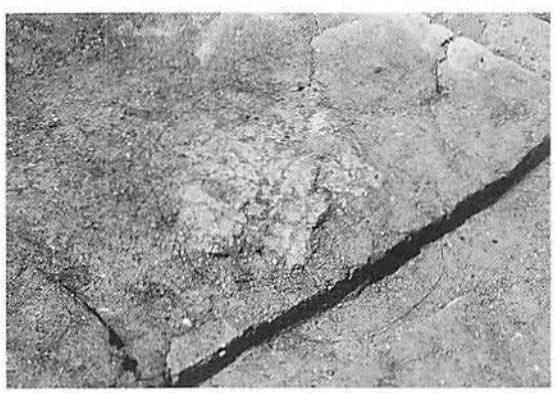
3・4号焼土（南から）



5号焼土（北から）



6号焼土（北東から）

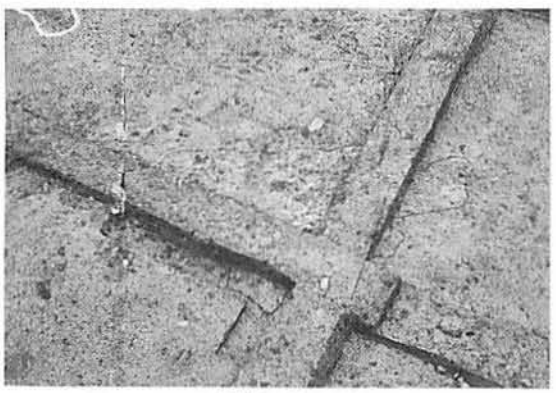


7号焼土（北東から）

8号焼土（南から）

9・10号焼土

写真図版12　炉跡・焼土遺構（1）



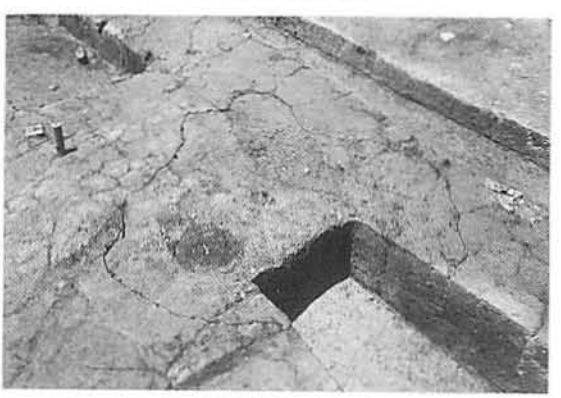
11号焼土（南から）

12号焼土（南から）

13・14号焼土（南西から）

15号焼土（南から）

16・17号焼土（北から）

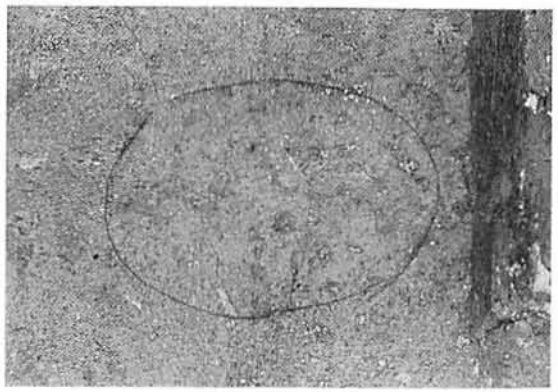


18号焼土（北東から）

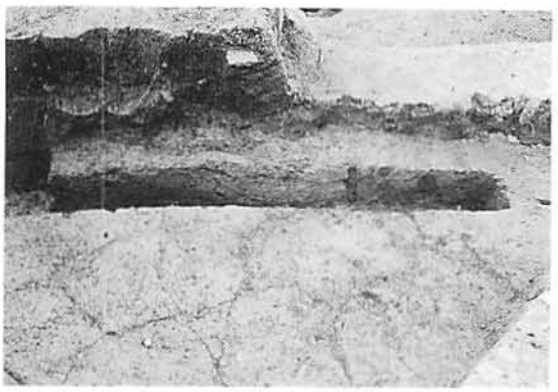
19号焼土（南から）

20号焼土（南から）

写真図版13　炉跡・焼土遺構（２）

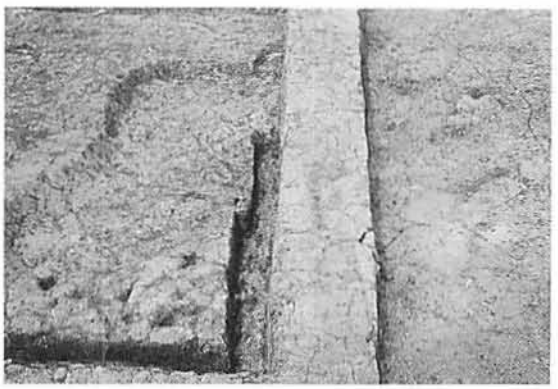


21号焼土（南から）

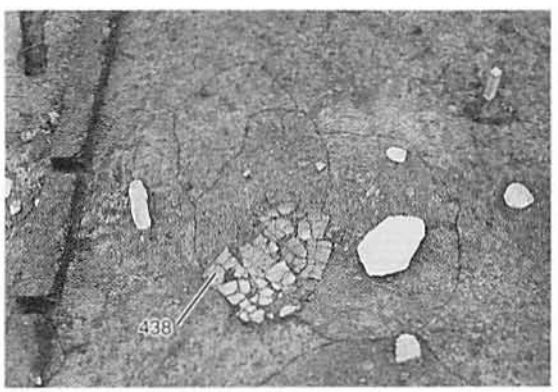


24号焼土（北から）

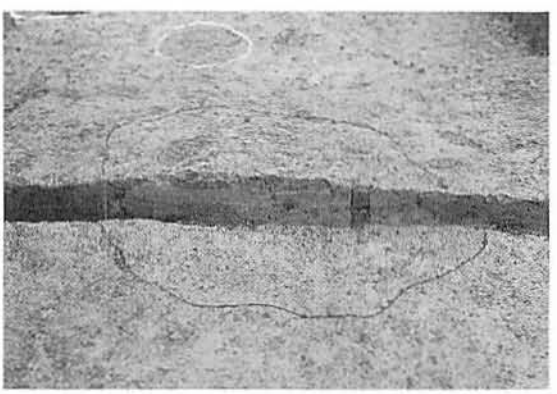
22号焼土（西から）



23号焼土（西から）

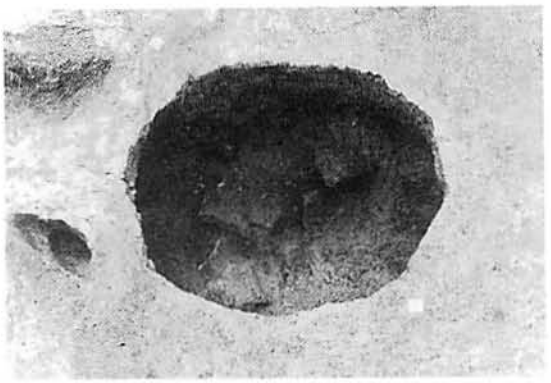


30号焼土（南西から）

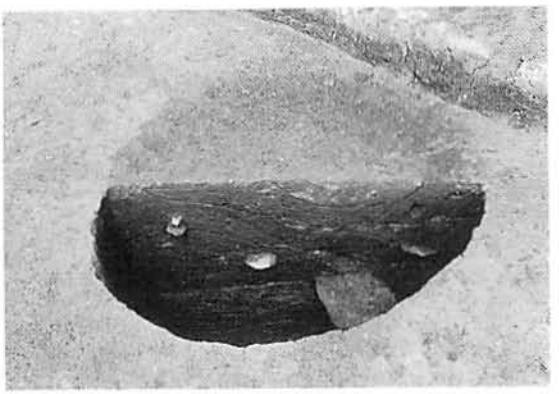


32号焼土（南から）

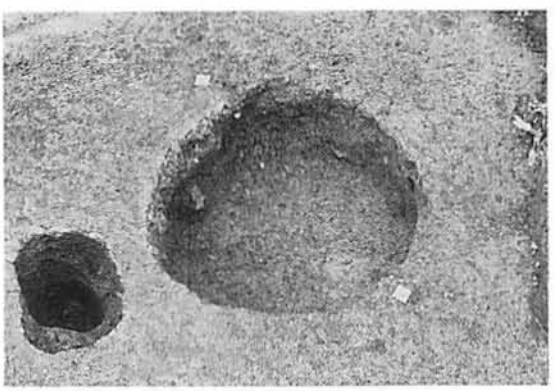
写真図版14　炉跡・焼土遺構（３）



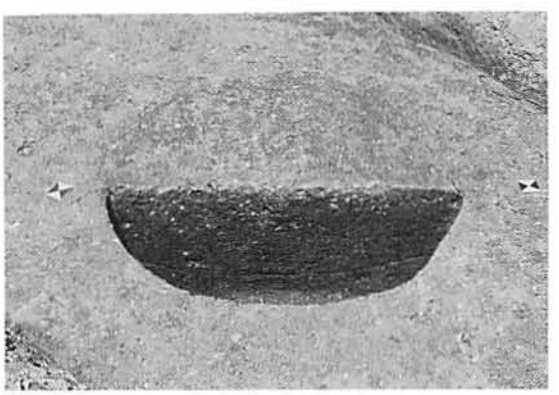
1号土坑全景（西から）



同左断面（南から）



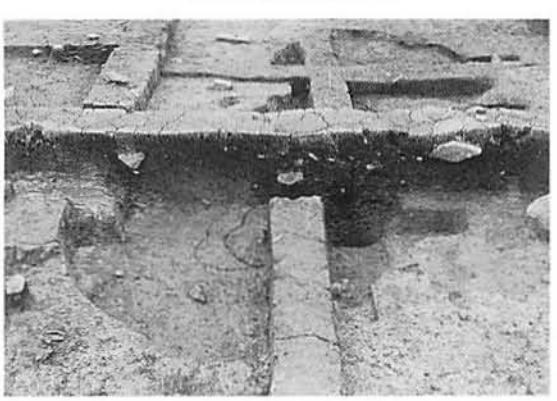
2号土坑全景（西から）



同左断面（南から）

3号土坑全景（南西から）

同左断面（西から）

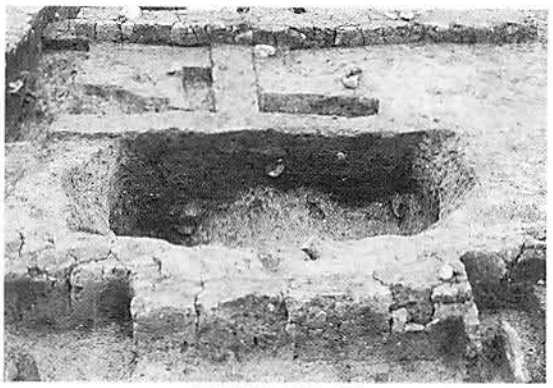


同上焼土検出（西から）

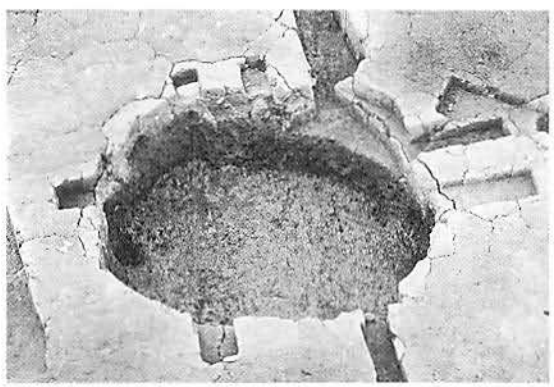
4号土坑焼土検出（南から）

写真図版15　土坑（1）

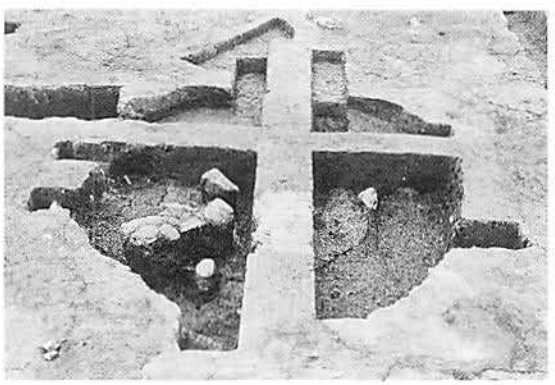
4号土坑全景（南西から）



同左断面（南から）



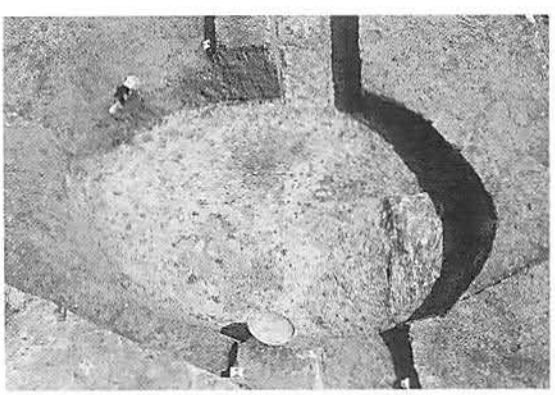
5号土坑全景（南から）



同左焼土検出（西から）

同上断面（南から）

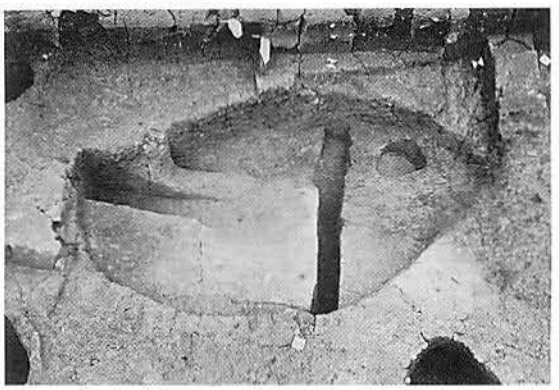
6号土坑全景（北から）



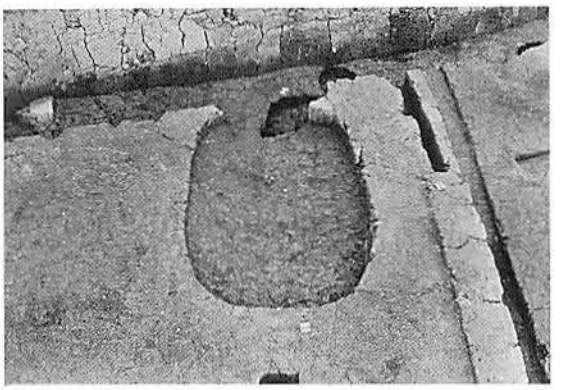
7号土坑全景（南から）

同左断面（西から）

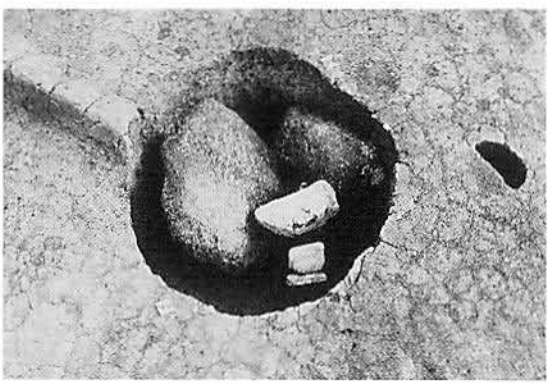
写真図版16　土坑（2）



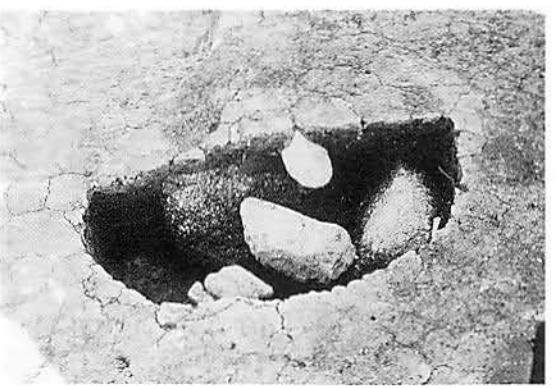
8号土坑全景（東から）



9号土坑全景（南東から）



10号土坑全景（北から）

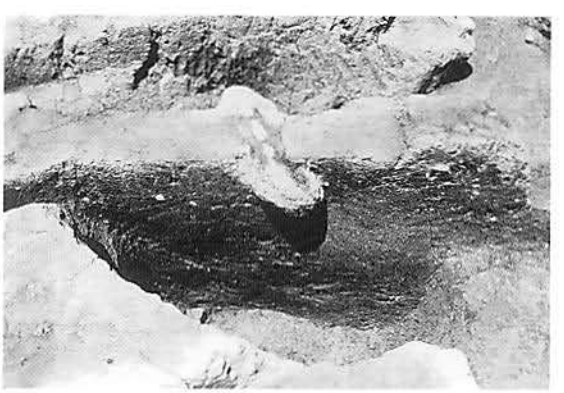


同左断面（西から）

12・13・16号土坑全景（南西から）

12号土坑断面（南から）

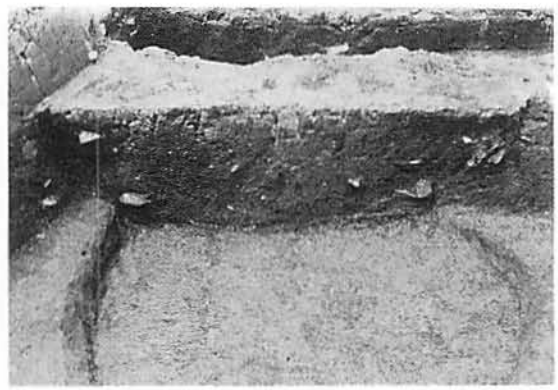
13号土坑断面（南から）



16号土坑断面（東から）

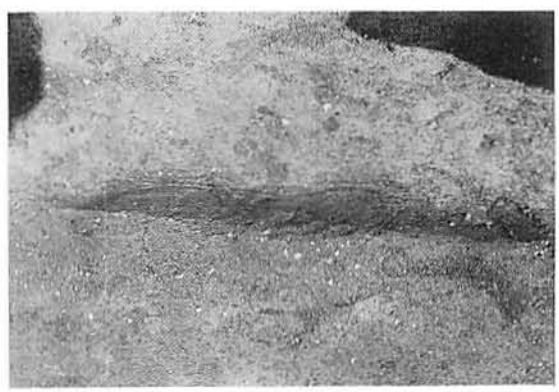
写真図版17　土坑（３）

14号土坑全景（東から）



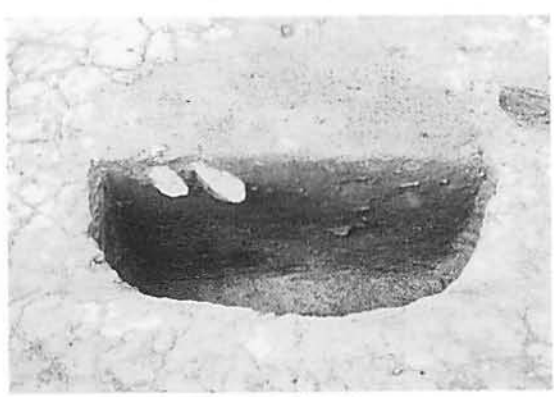
同左断面（東から）

17号土坑全景（南から）



同左断面（南から）

18号土坑全景（北東から）



同左断面（南から）

同上遺物出土（東から）

19号土坑断面（南から）

写真図版18　土坑（4）

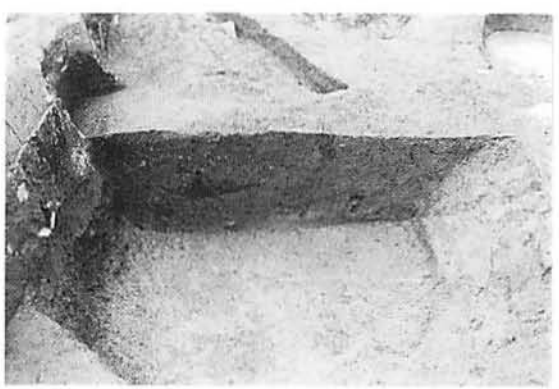
20号土坑断面（西から）

21号土坑断面（南から）

22号土坑全景（北から）

同左断面（西から）

23号土坑全景（東から）

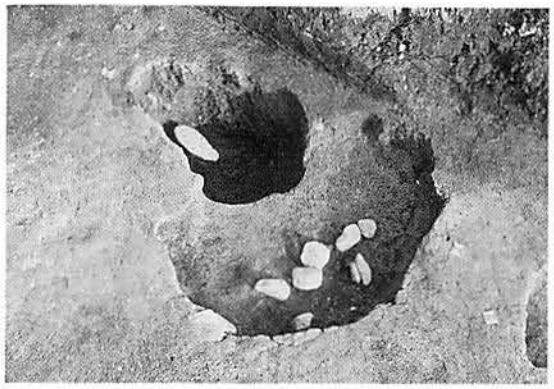


同左断面（東から）

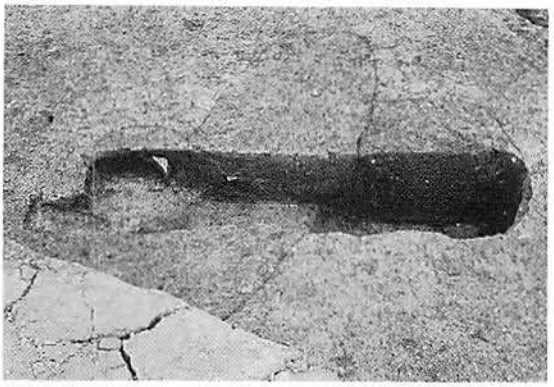
24号土坑全景（西から）

同左断面（東から）

写真図版19　土坑（５）



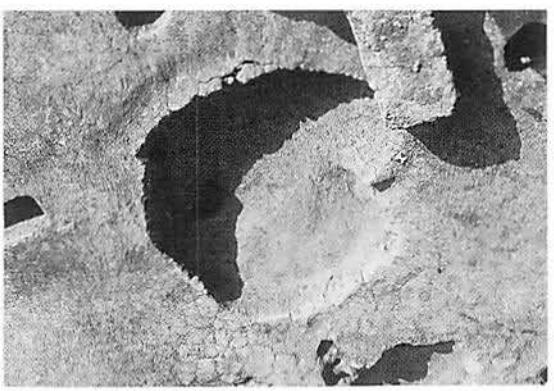
25・26号土坑全景（西から）



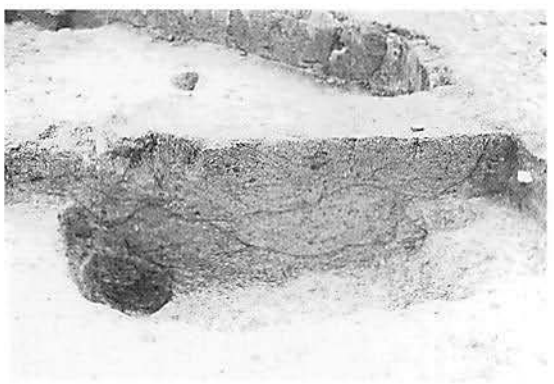
同左断面（南から）

28号土坑全景（北西から）

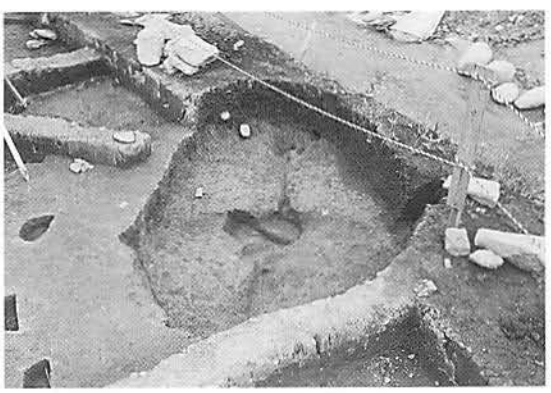
同左断面（西から）



29号土坑全景（西から）



同左断面（東から）



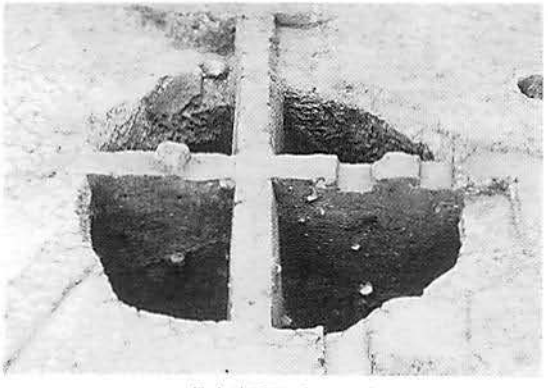
30号土坑全景（南東から）

同左遺物出土状況（南西から）

写真図版20　土坑（6）

30号土坑断面（北西から）

32号土坑全景（南東から）



32号土坑断面（西から）

同左（南から）

33号土坑全景（西から）

同左断面（南から）

34号土坑全景（南から）

同左断面（西から）

写真図版21　土坑（7）

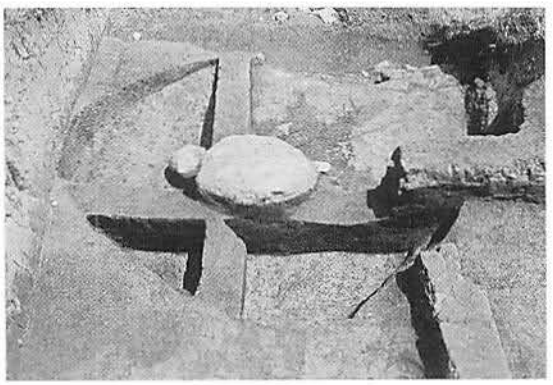
35号土坑滑石製垂飾具出土状況（南から）

同左（近景）（南から）

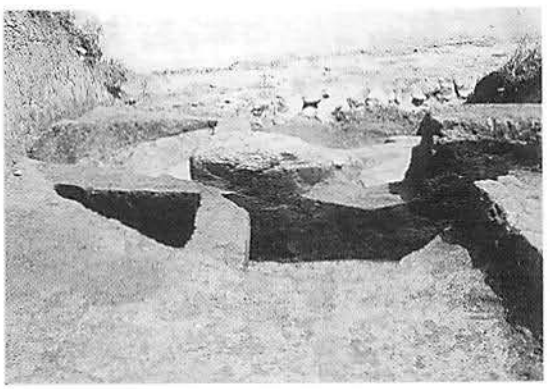
同上土器出土状況（南東から）

同左断面（南東から）

36号土坑全景（西から）



37号土坑全景（南から）



37号土坑断面（南から）

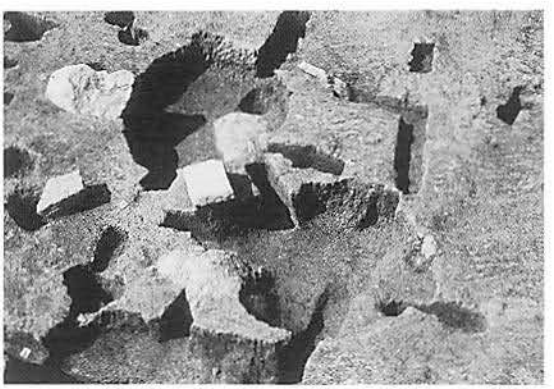
同左底面溝（東から）

写真図版22　土坑（８）

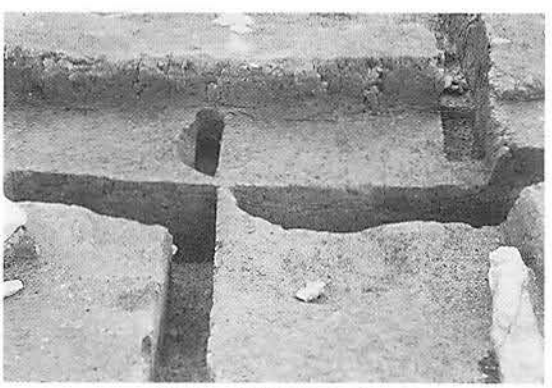
38号土坑全景（北から）

同左焼土検出（西から）

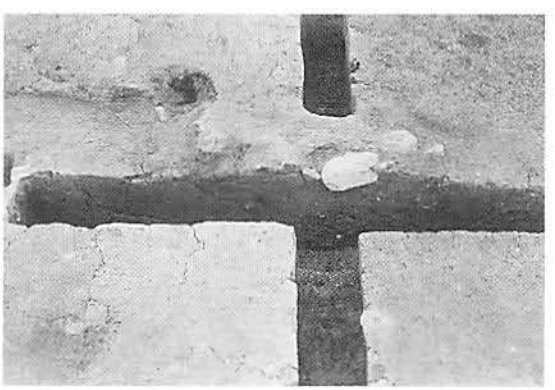
同上断面（北から）



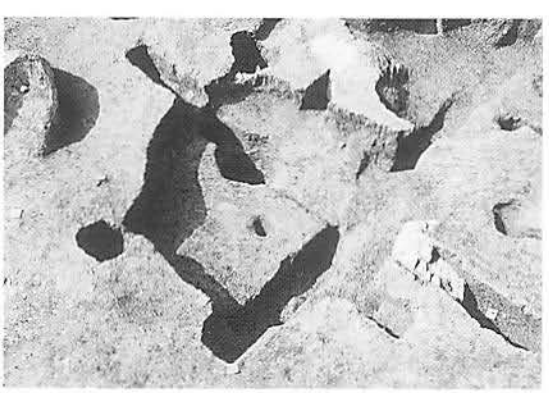
39・40号土坑全景（南から）



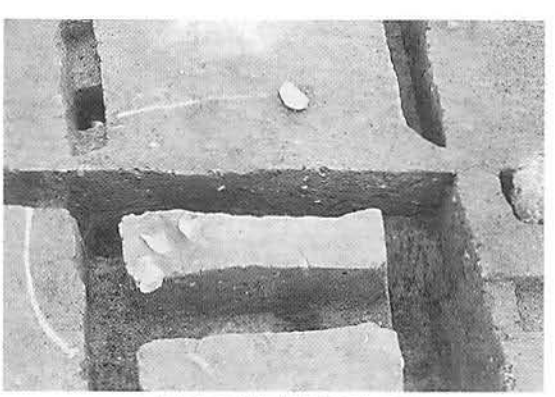
39号土坑27号焼土断面（東から）



40号土坑28号焼土断面（西から）

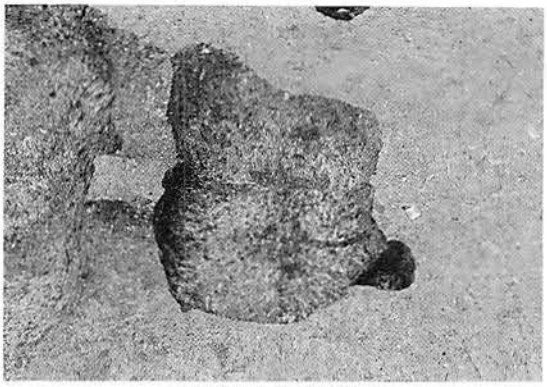


41号土坑全景（南から）

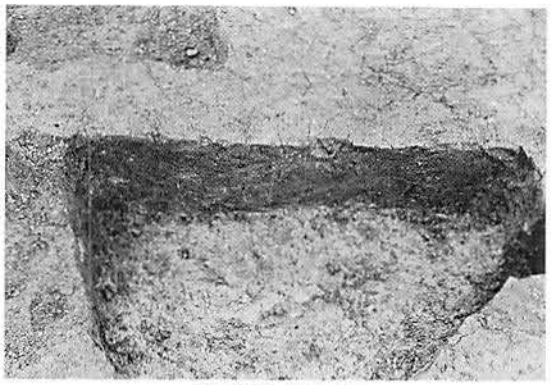


41号土坑29号焼土断面（南から）

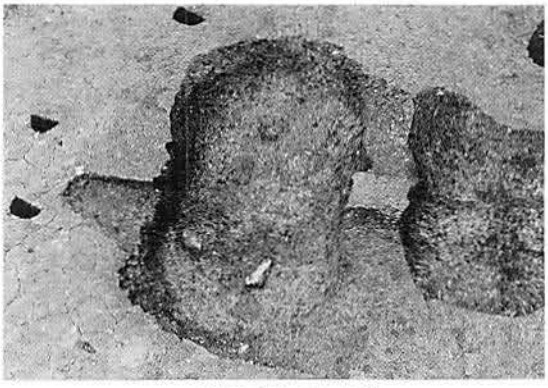
写真図版23　土坑（９）



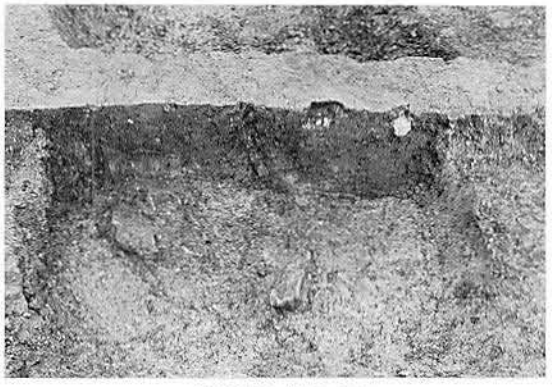
42号土坑全景（南から）



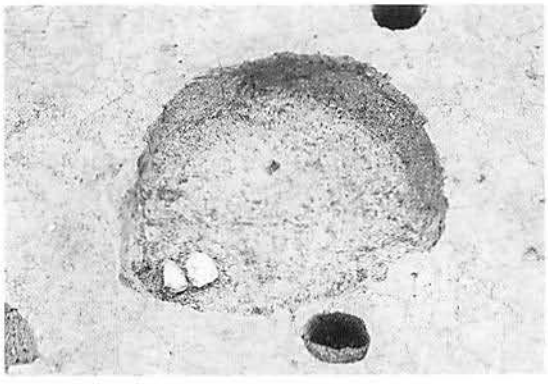
同左断面（南から）



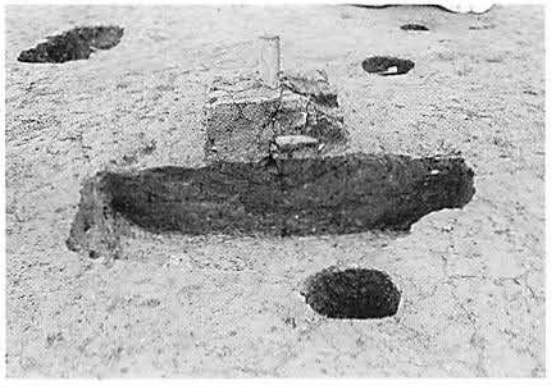
43号土坑全景（南から）



同左断面（南から）



44号土坑全景（北東から）

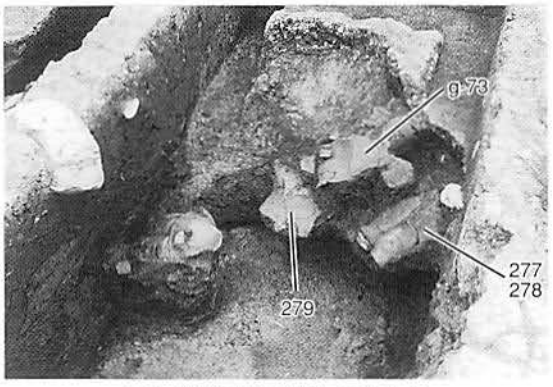


同左断面（北東から）

45号土坑全景（南東から）

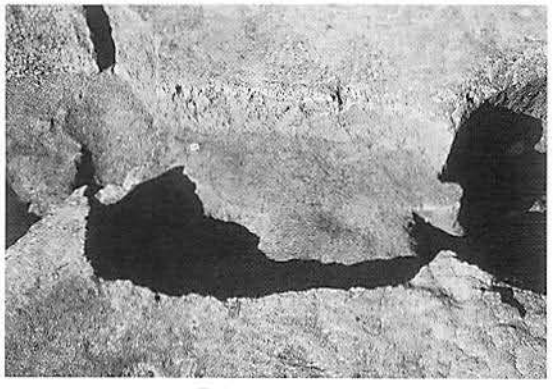
同左断面（東から）

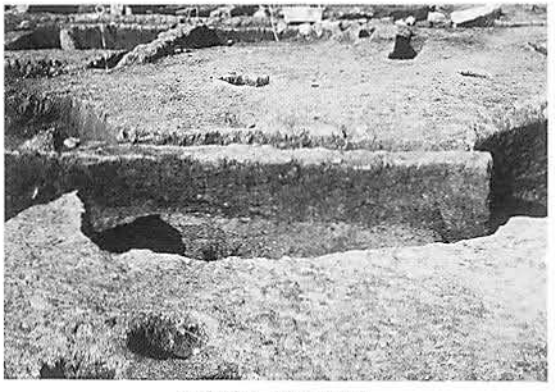
写真図版24　土坑（10）



45号土坑遺物出土状況（南東から）

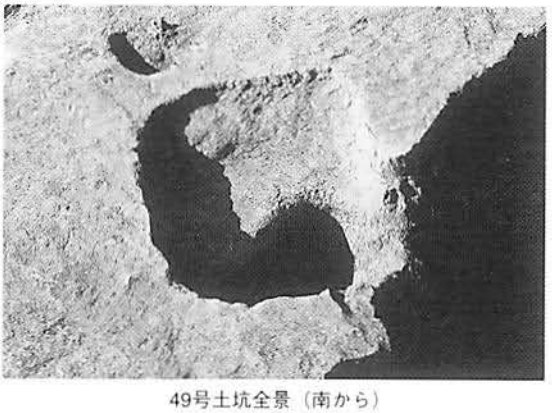
46号土坑全景（北から）


47号土坑全景（南から）


同左断面（南西から）

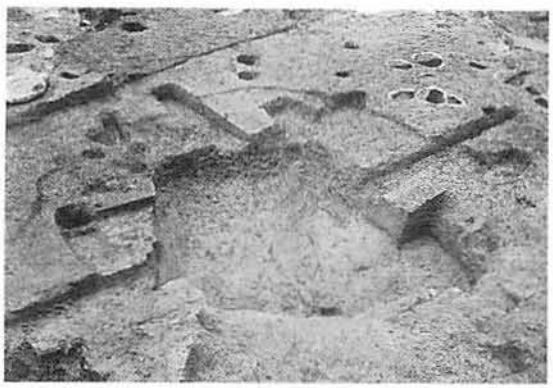
48号土坑全景（南東から）

同左断面（北から）


49号土坑全景（南から）

32・47～49号土坑全景（南東から）

写真図版25　土坑（11）

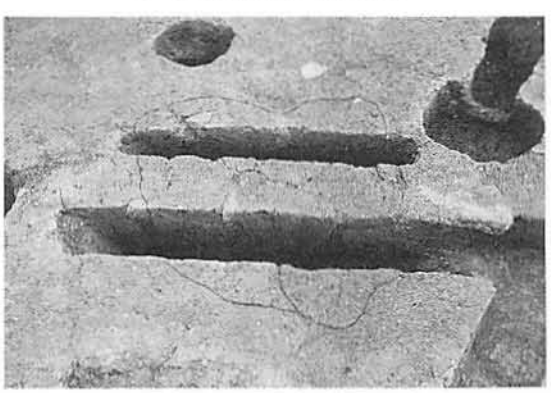


50・54号土坑全景（南から）

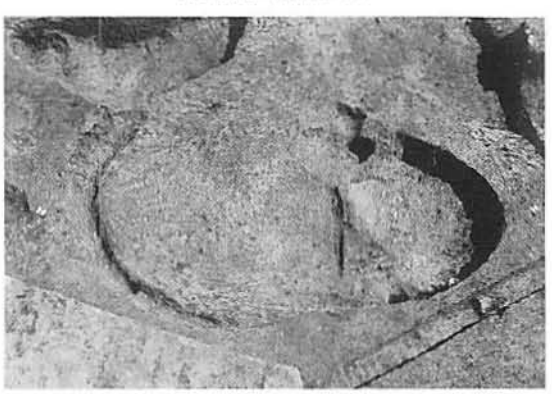
同左断面（北西から）

51・52号土坑全景（南西から）

同左断面（南東から）

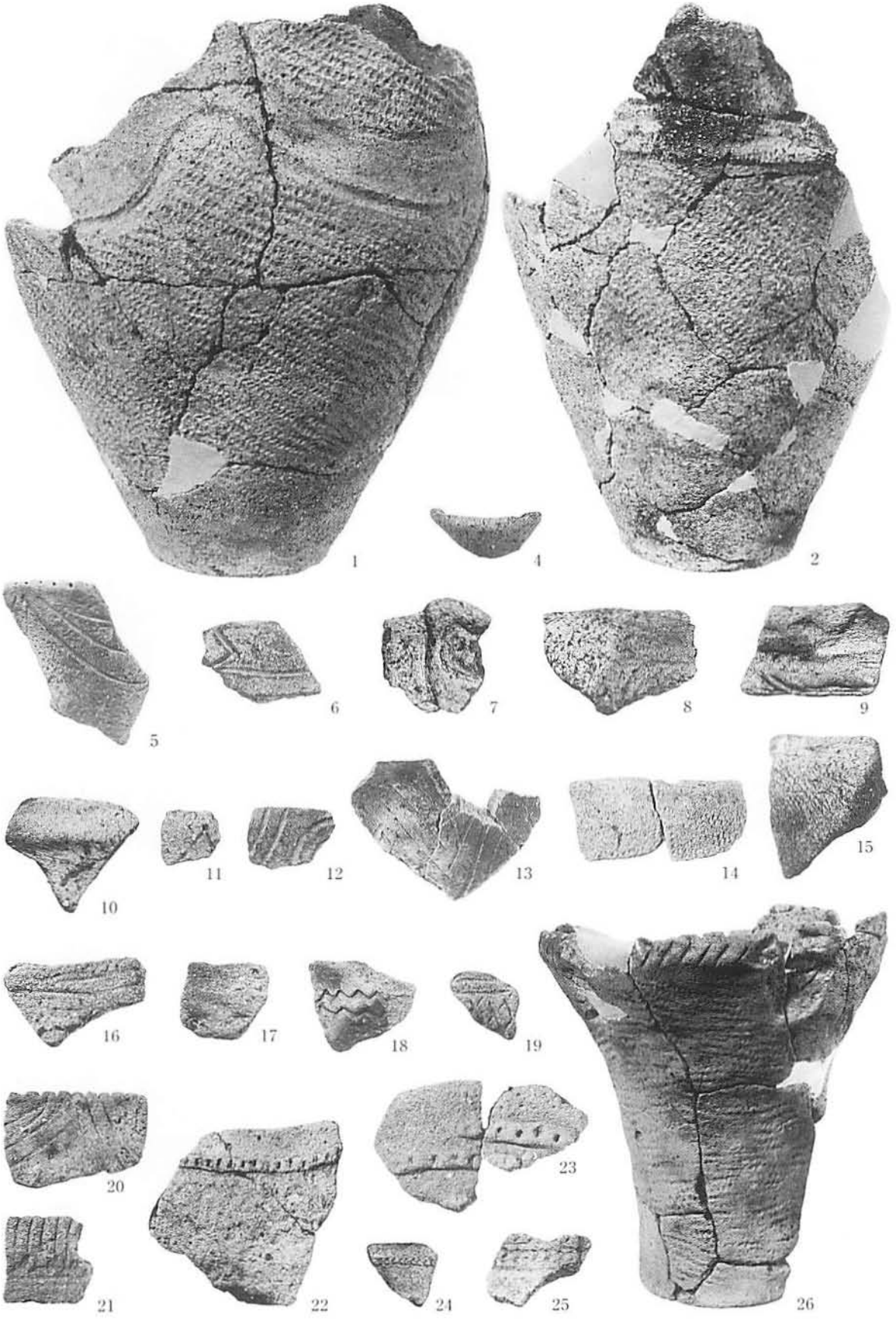


51号土坑・31号焼土（南西から）

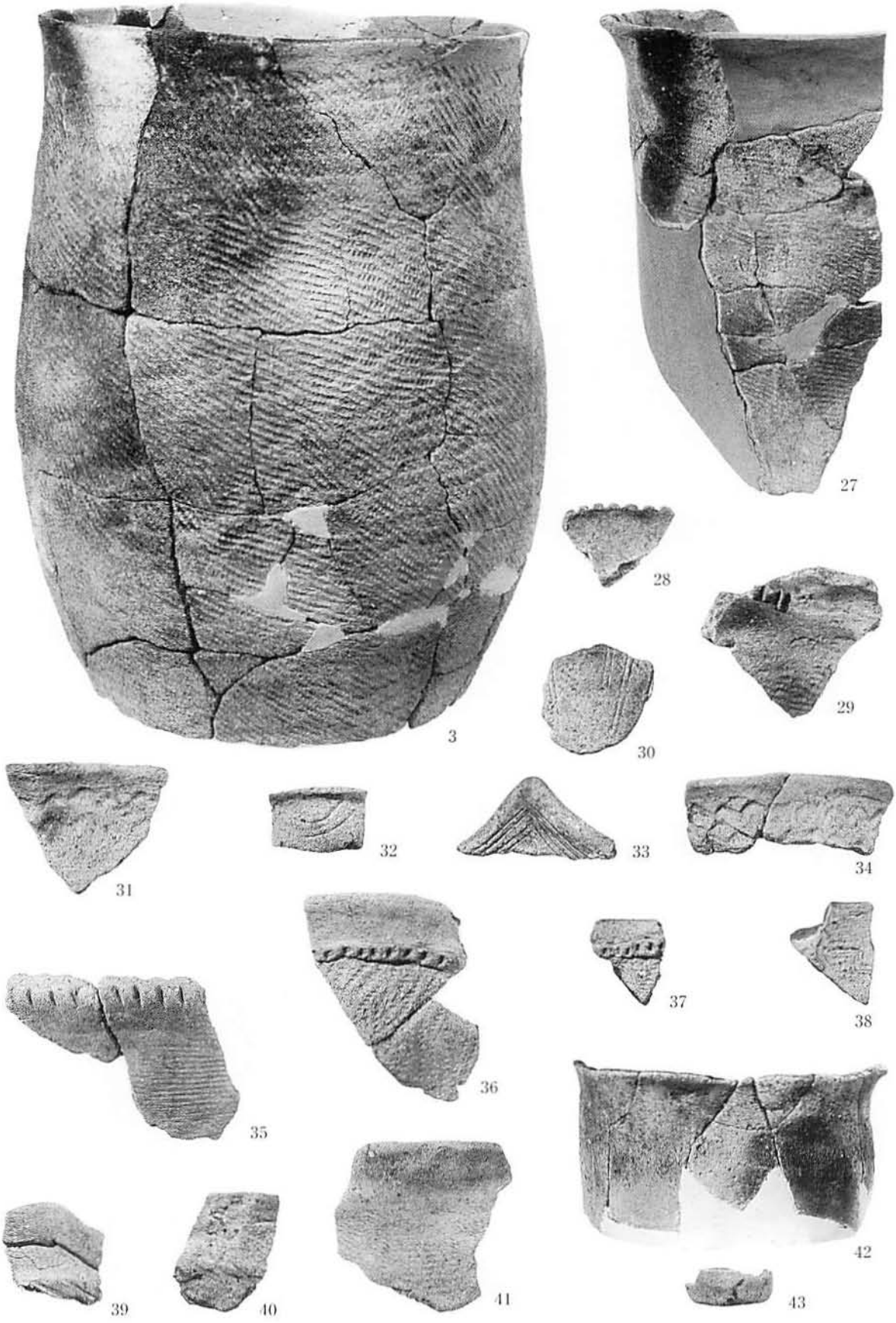


55号土坑（南から）

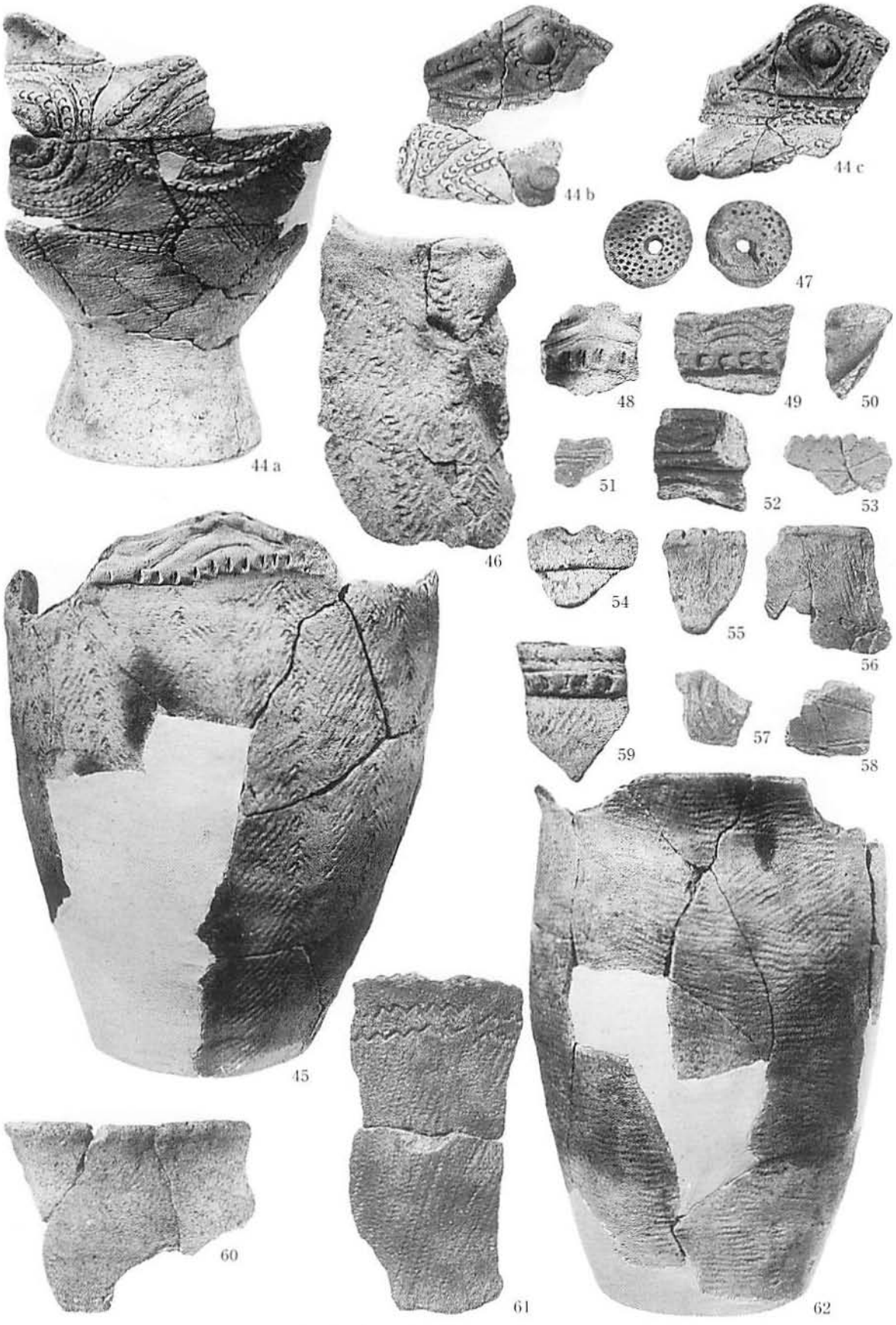
写真図版26　土坑（12）



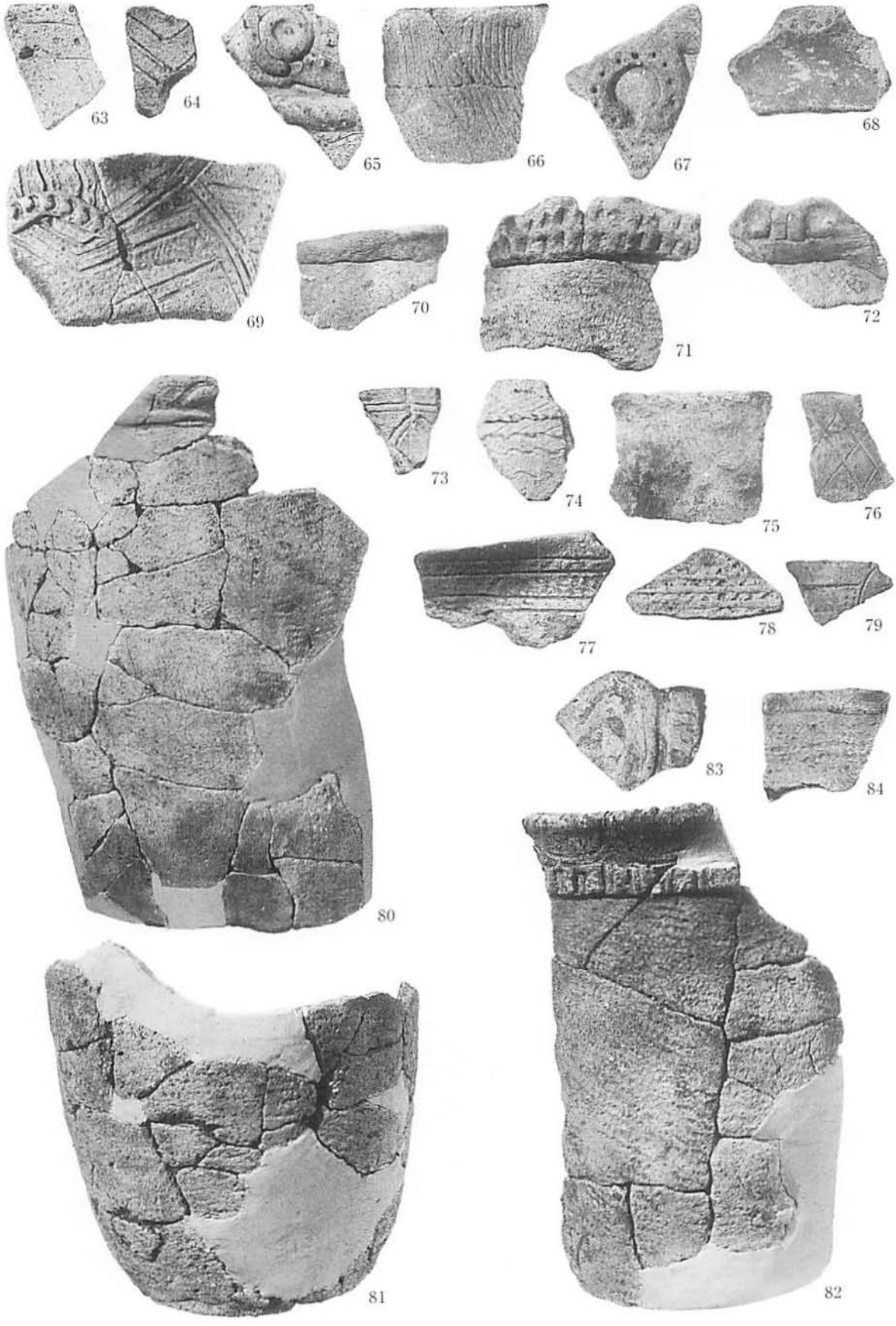
写真図版27　遺構内出土土器（1）



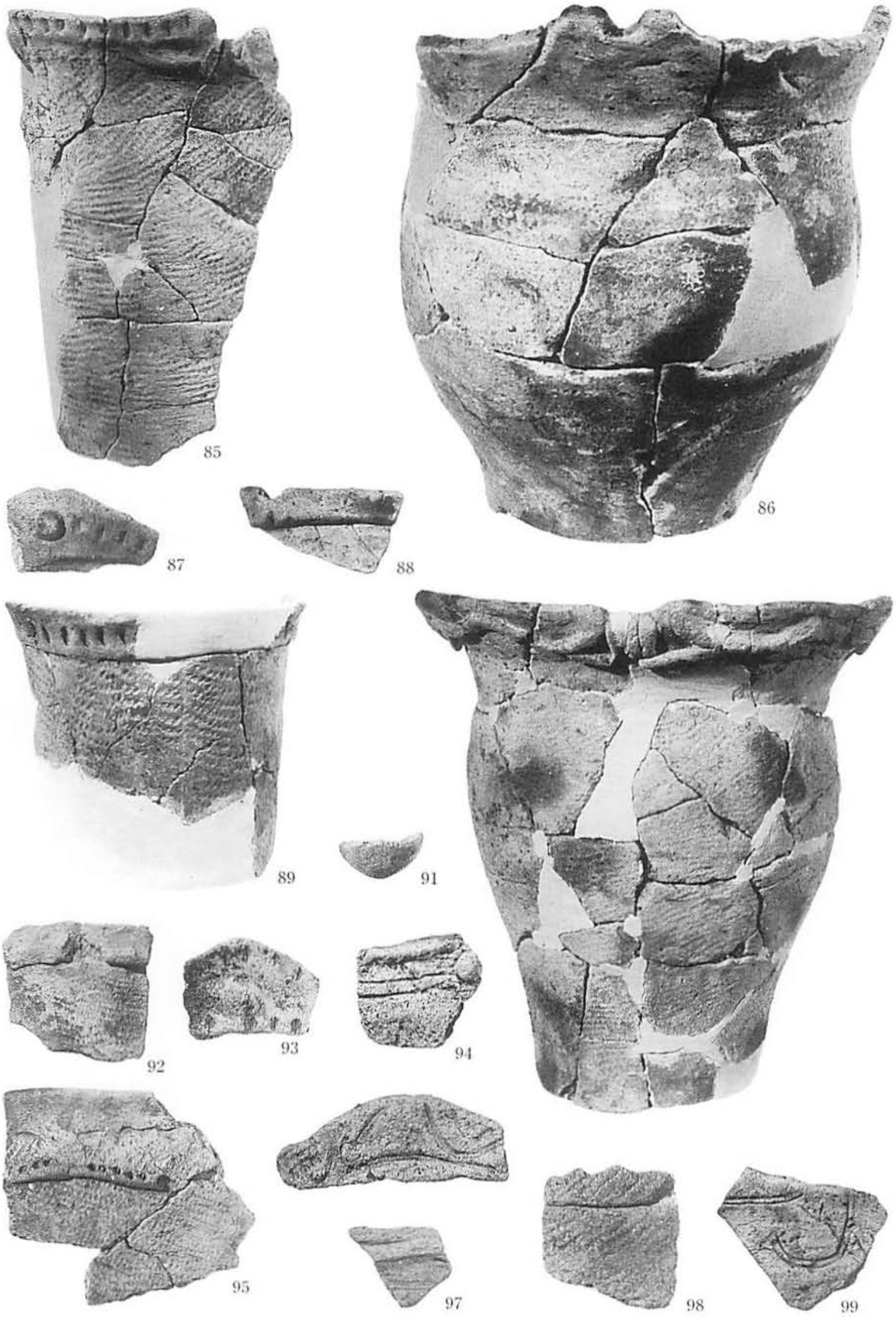
写真図版28　遺構内出土土器（2）



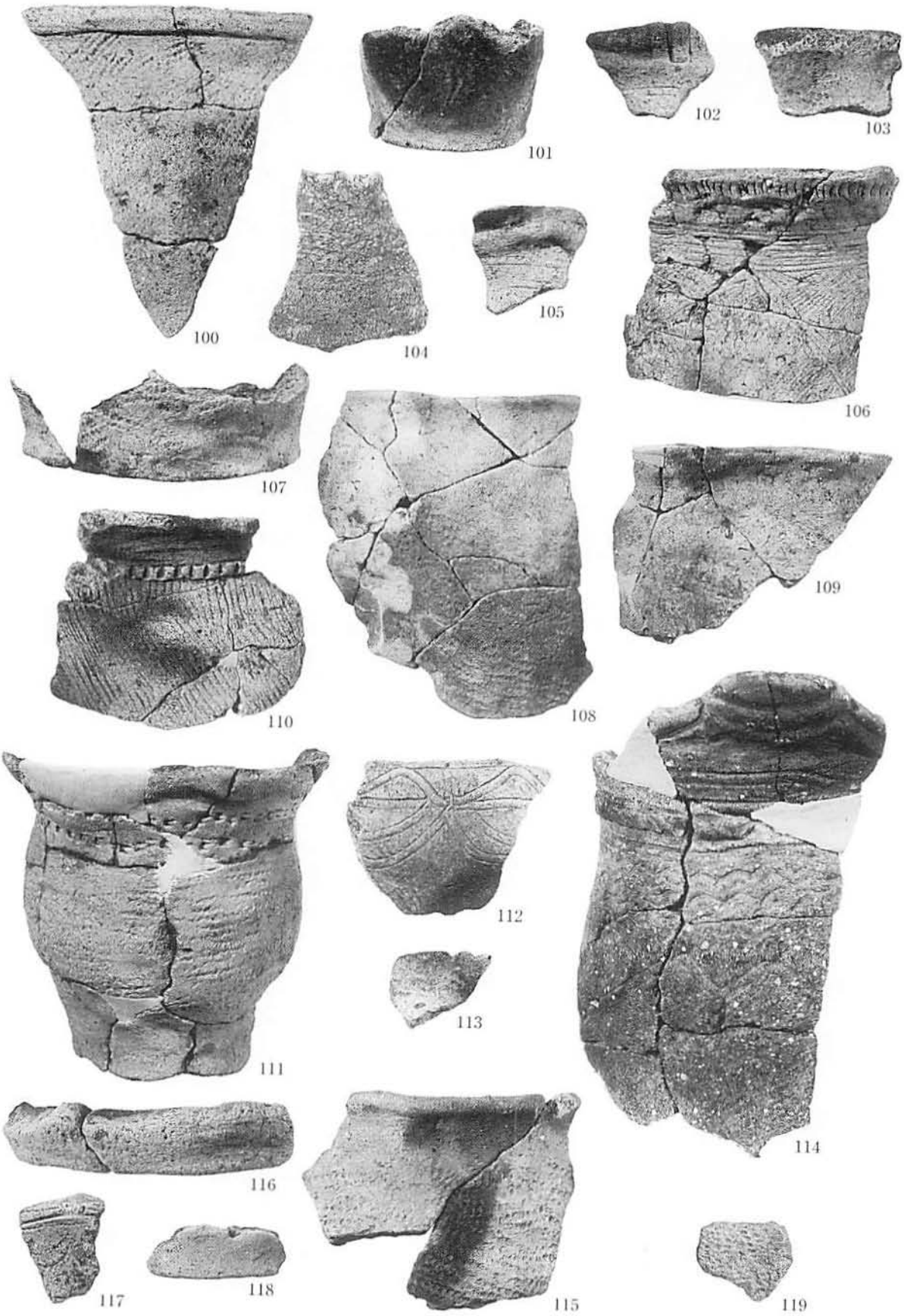
写真図版29　遺構内出土土器（3）



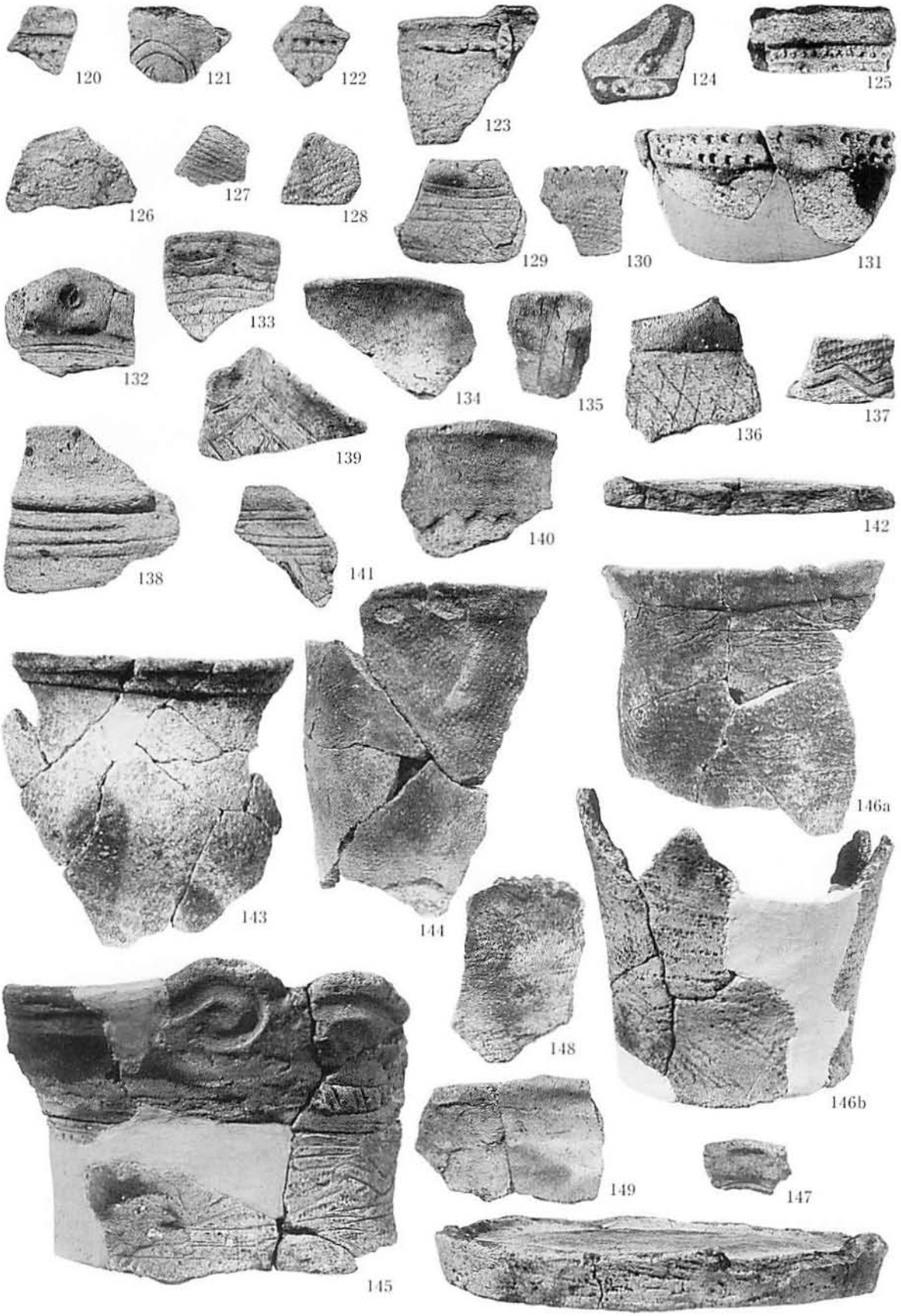
写真図版30　遺構内出土土器（4）



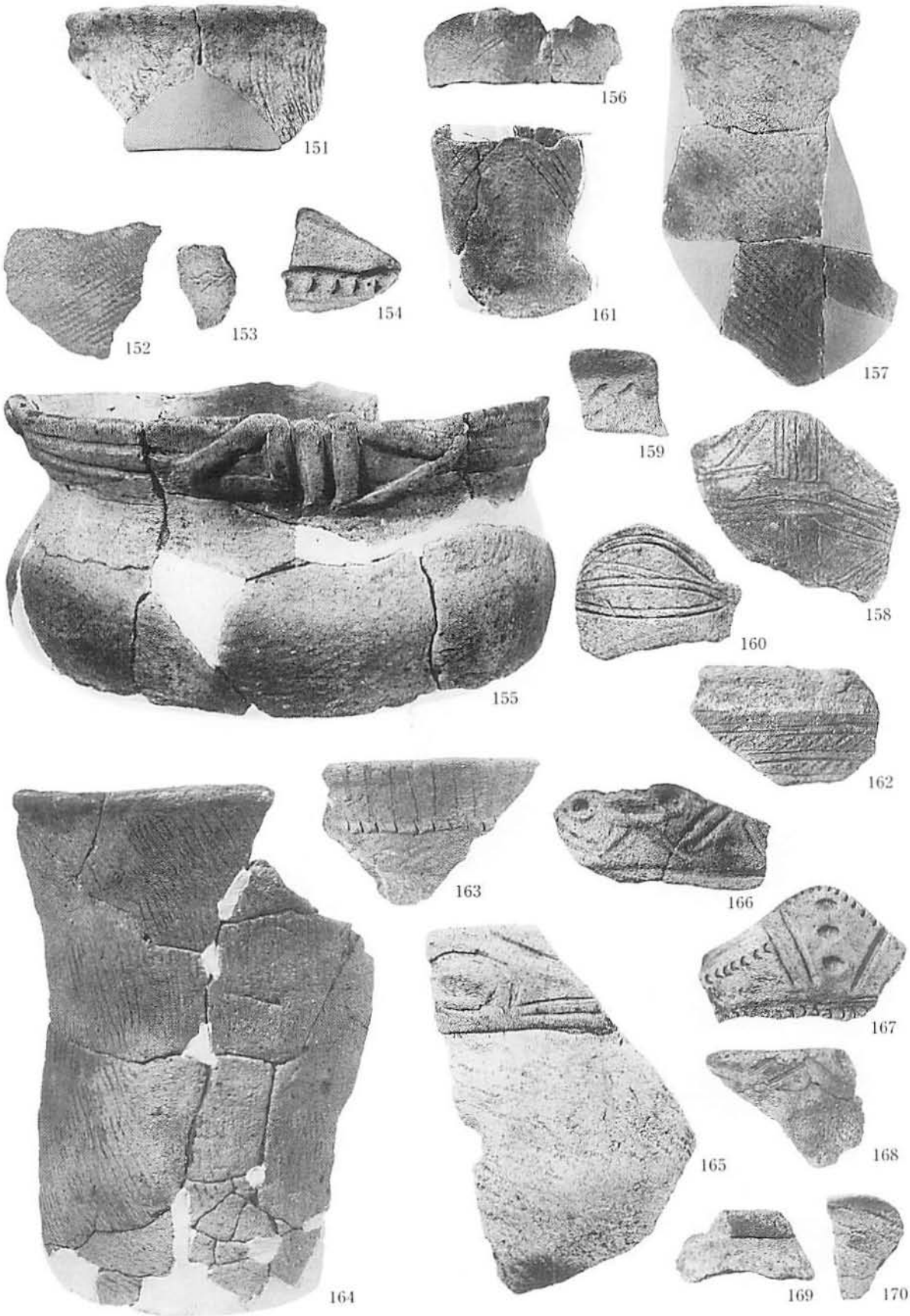
写真図版31　遺構内出土土器（5）



写真図版32　遺構内出土土器（6）



写真図版33　遺構内出土土器（7）



写真図版34　遺構内出土土器（8）

171

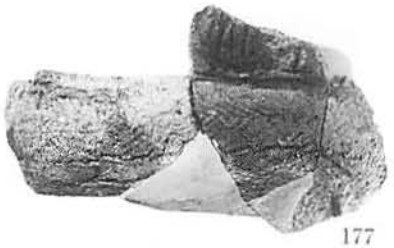
173

174

175

172

176

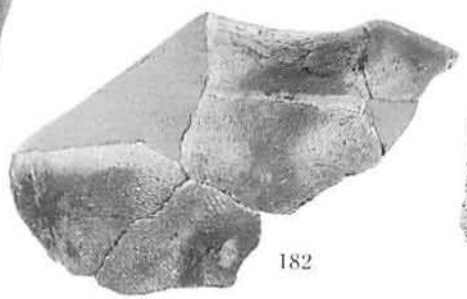

177

178

179

180

181


182

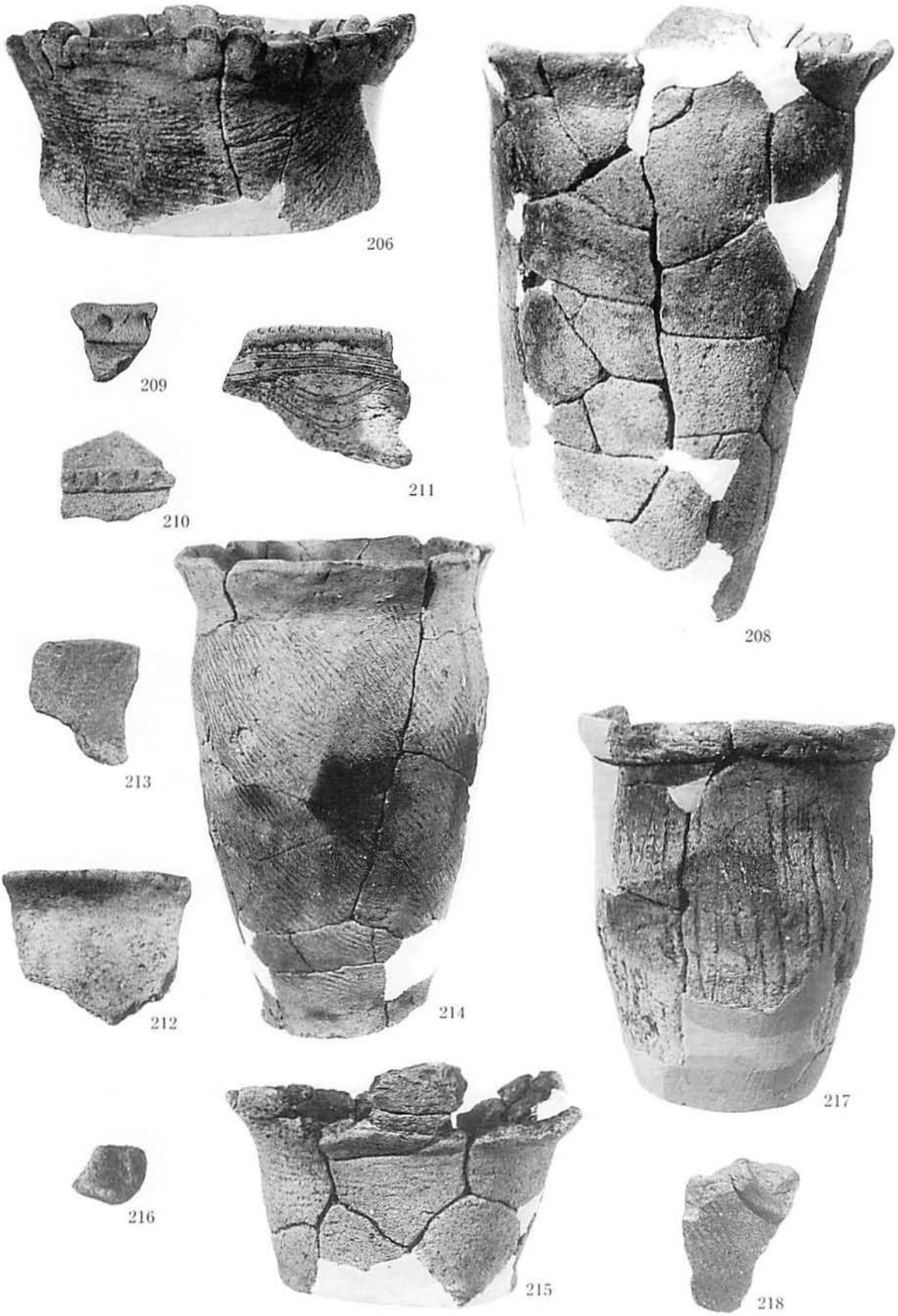
183

184

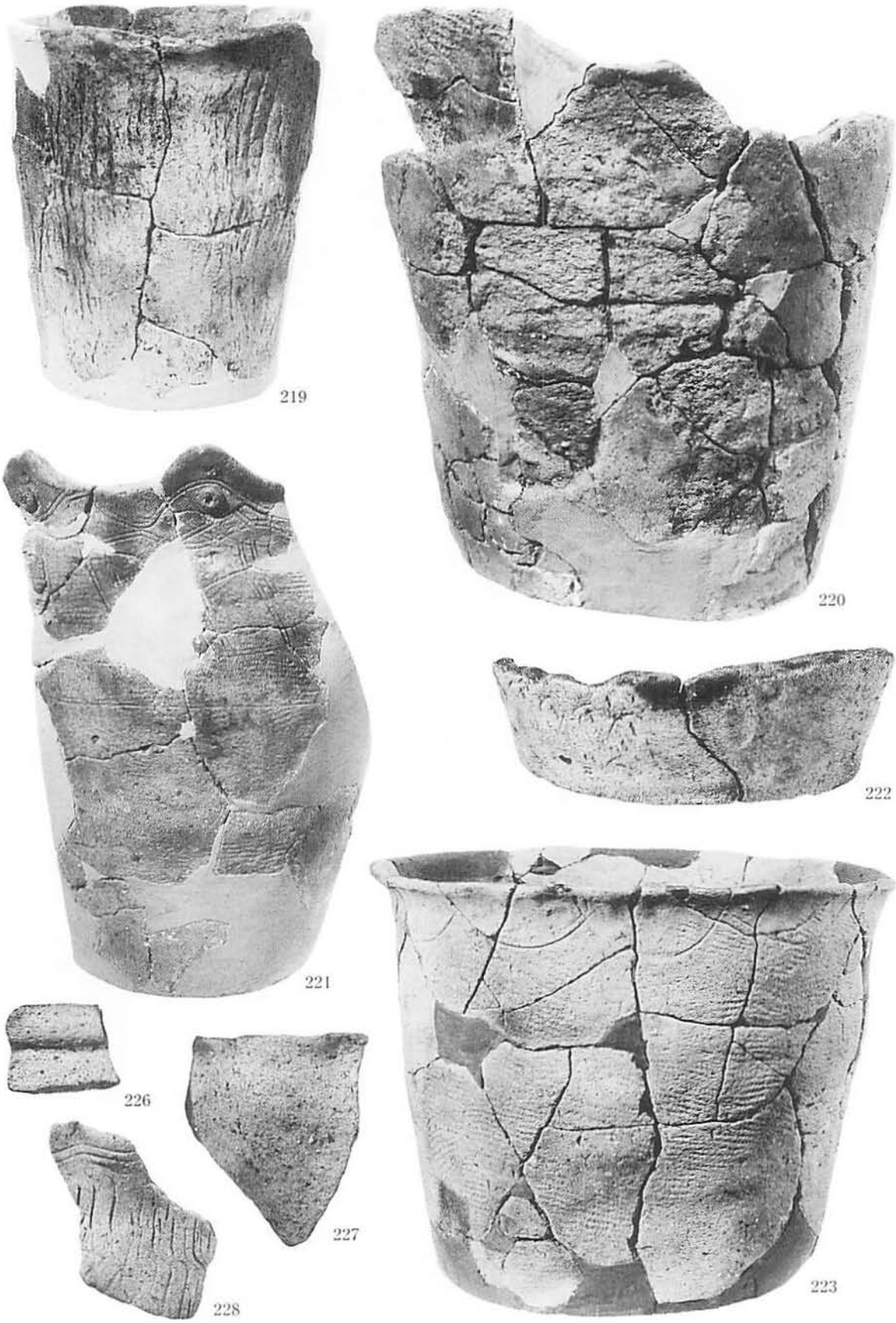
185

写真図版35　遺構内出土土器（9）

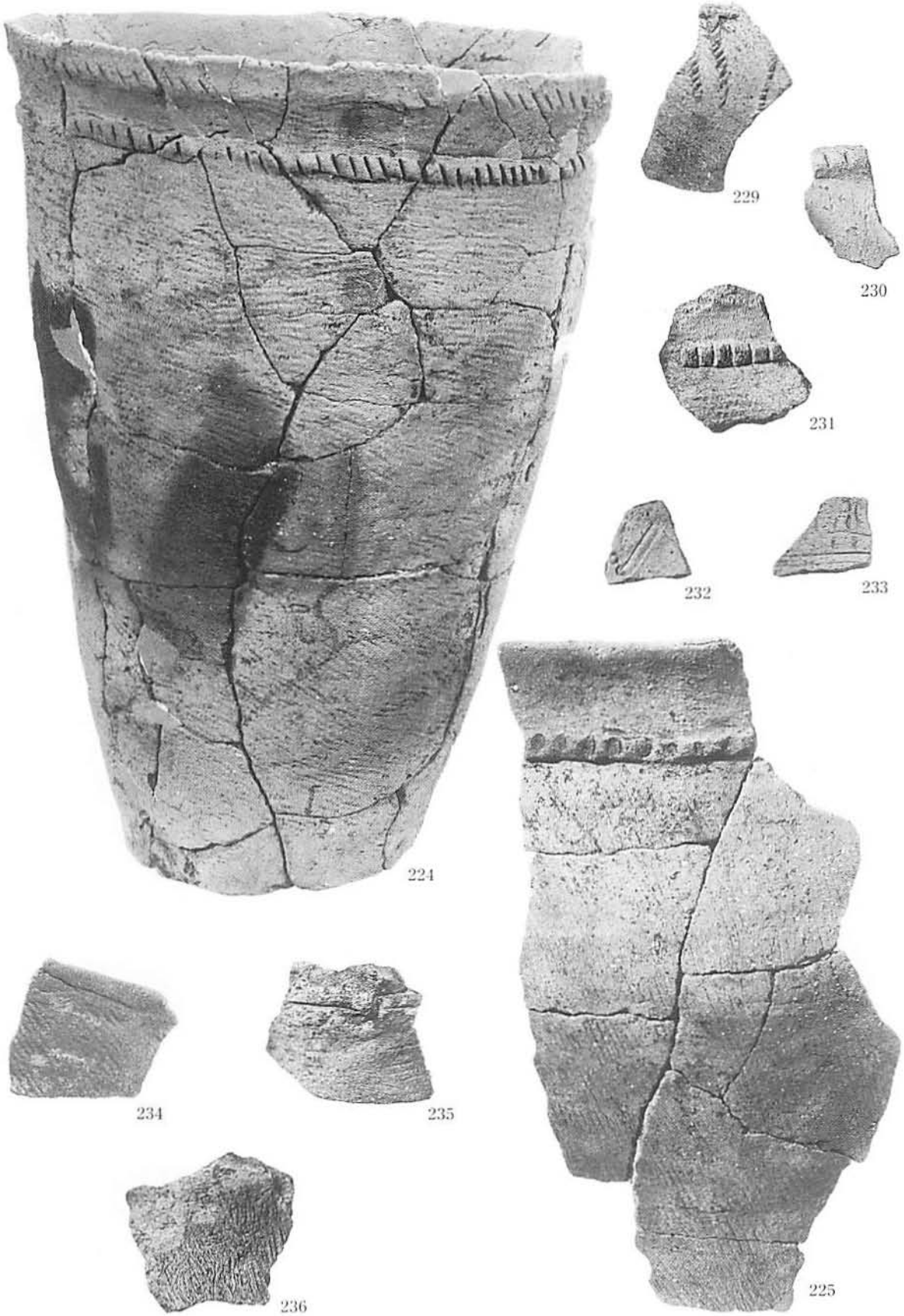
写真図版36　遺構内出土土器（10）



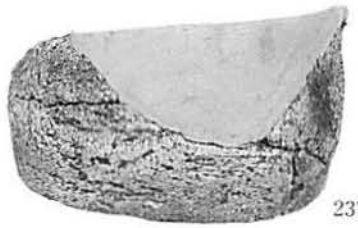
写真図版37　遺構内出土土器（11）



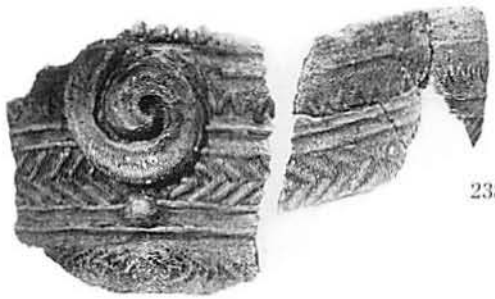
写真図版38　遺構内出土土器（12）



写真図版39　遺構内出土土器（13）



237



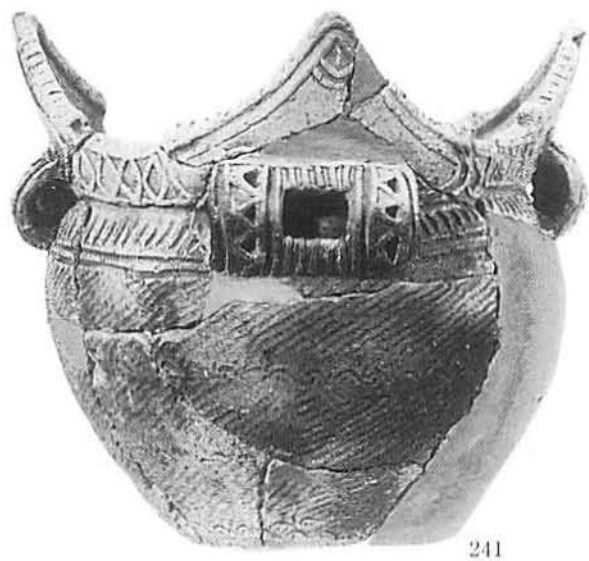
238 a

238 b

239 a

239 b

240

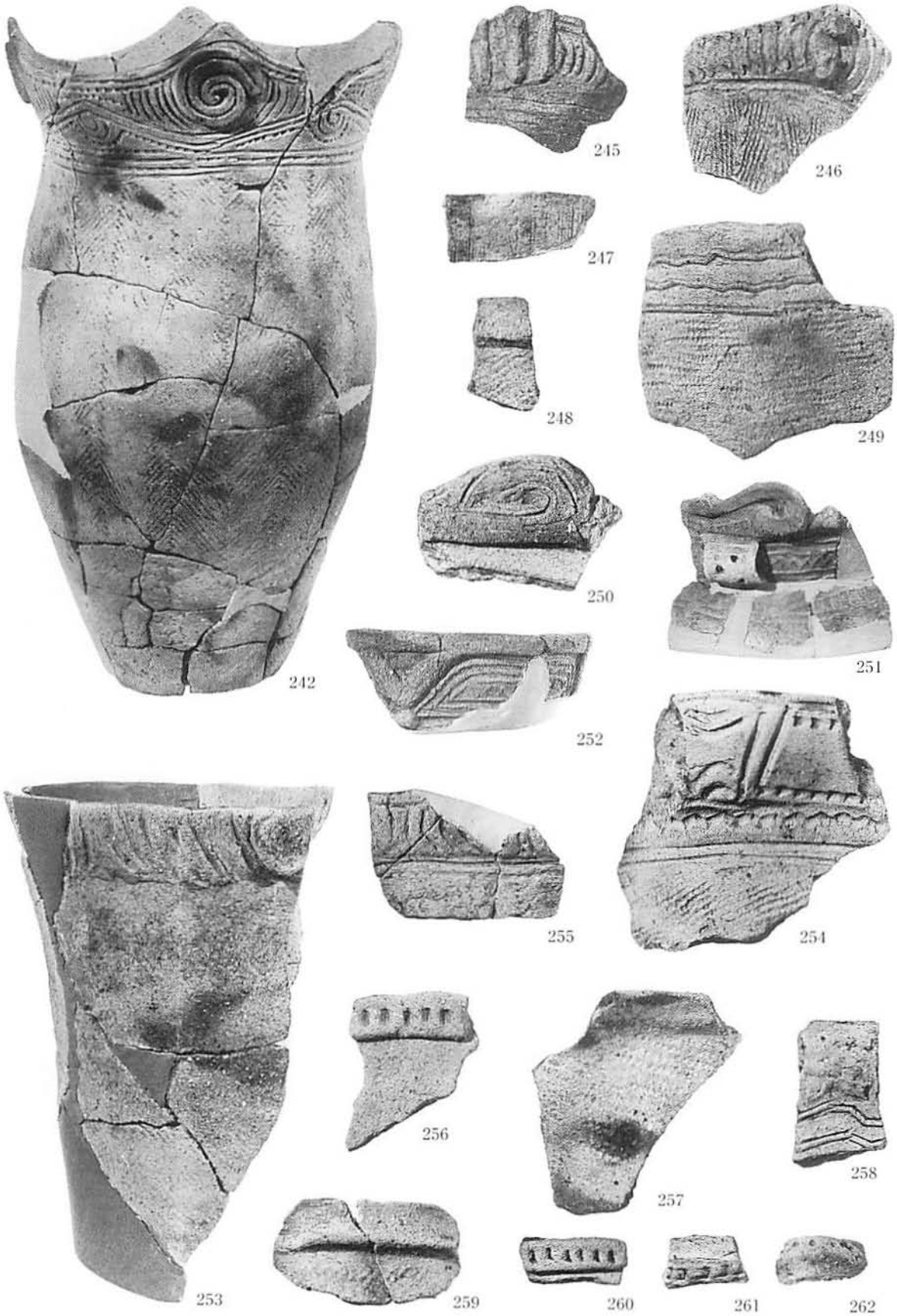


241

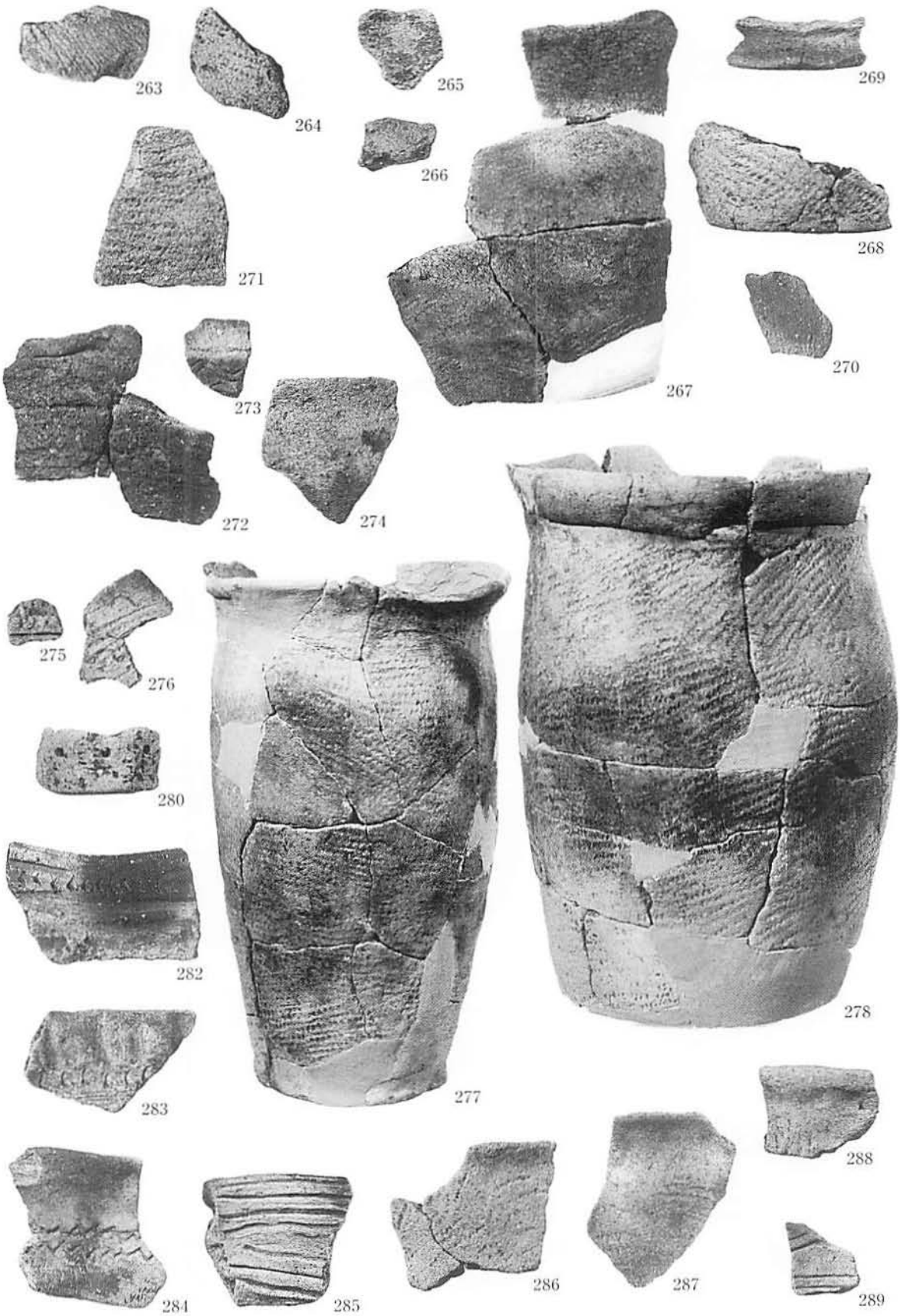
243

244

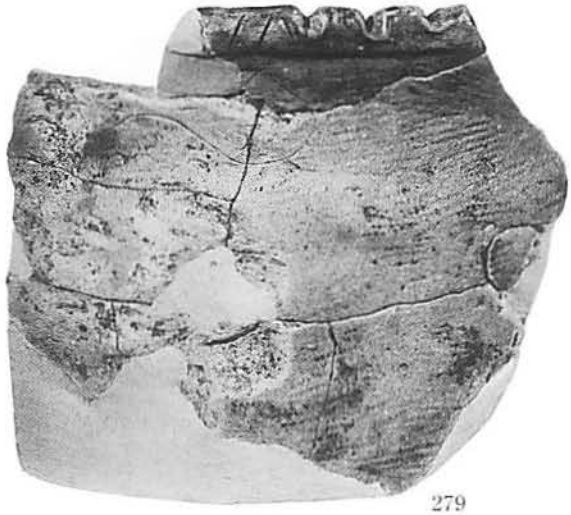
写真図版40　遺構内出土土器（14）



写真図版41　遺構内出土土器（15）



写真図版42　遺構内出土土器（16）


279

281

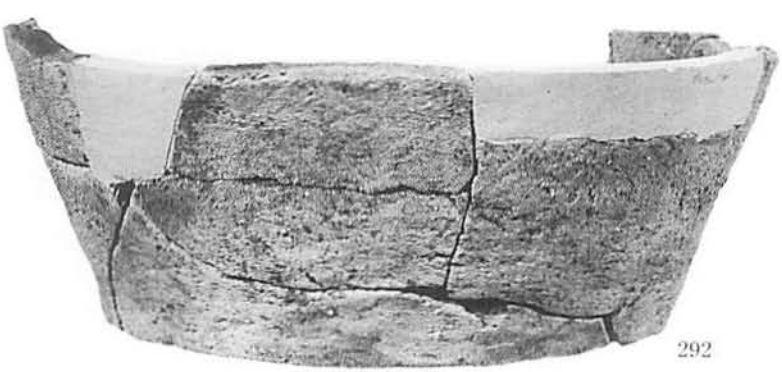
290

293

294

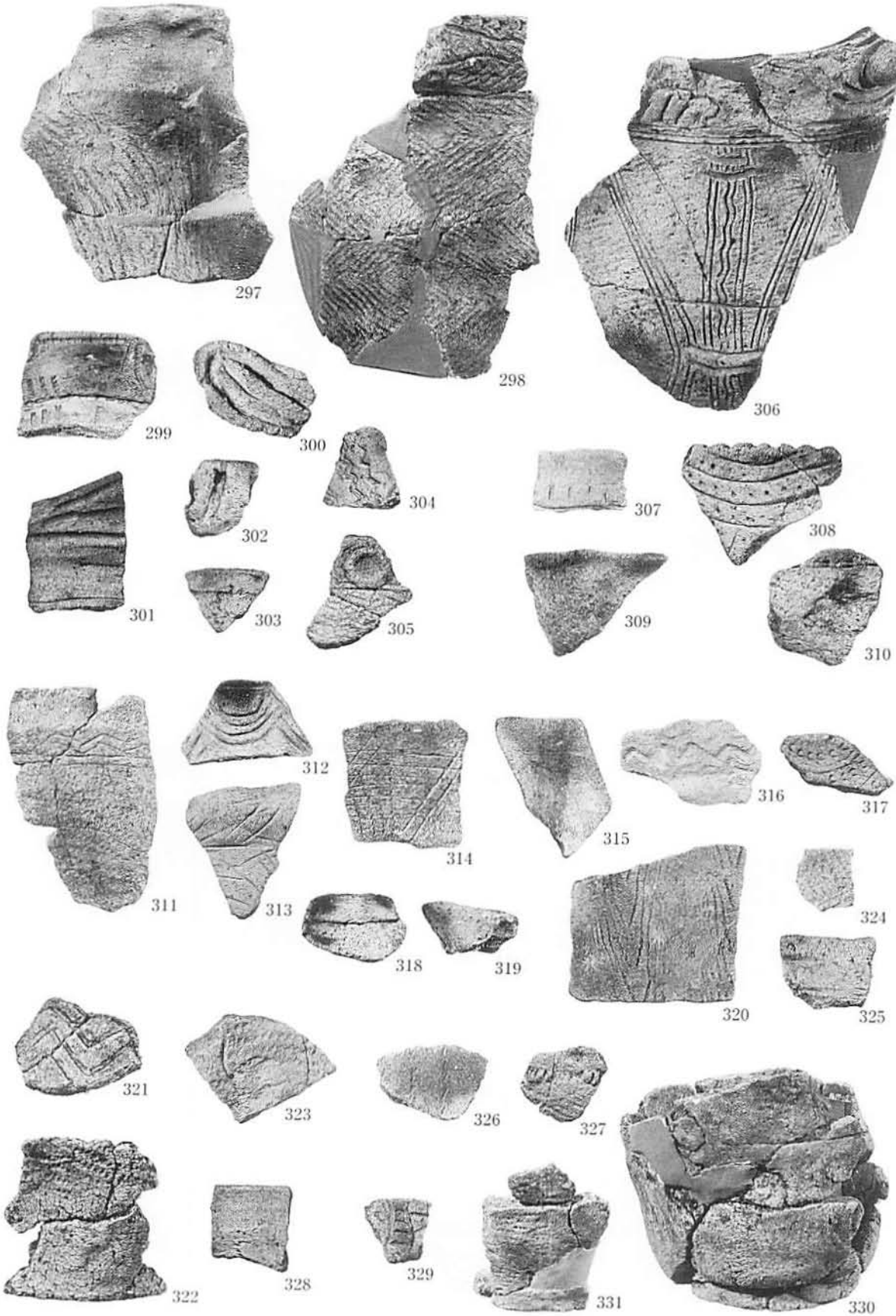
291

295

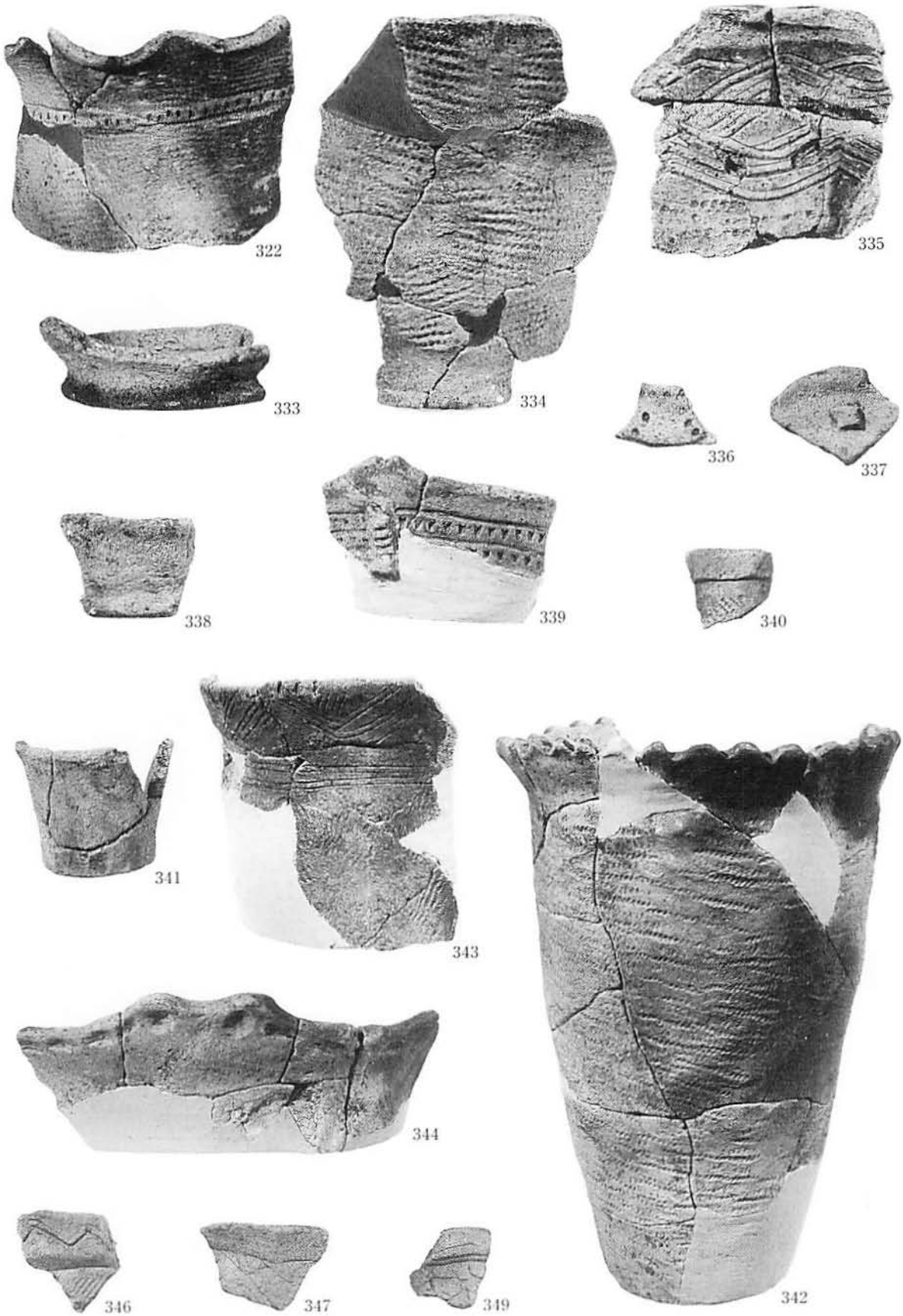

292

296

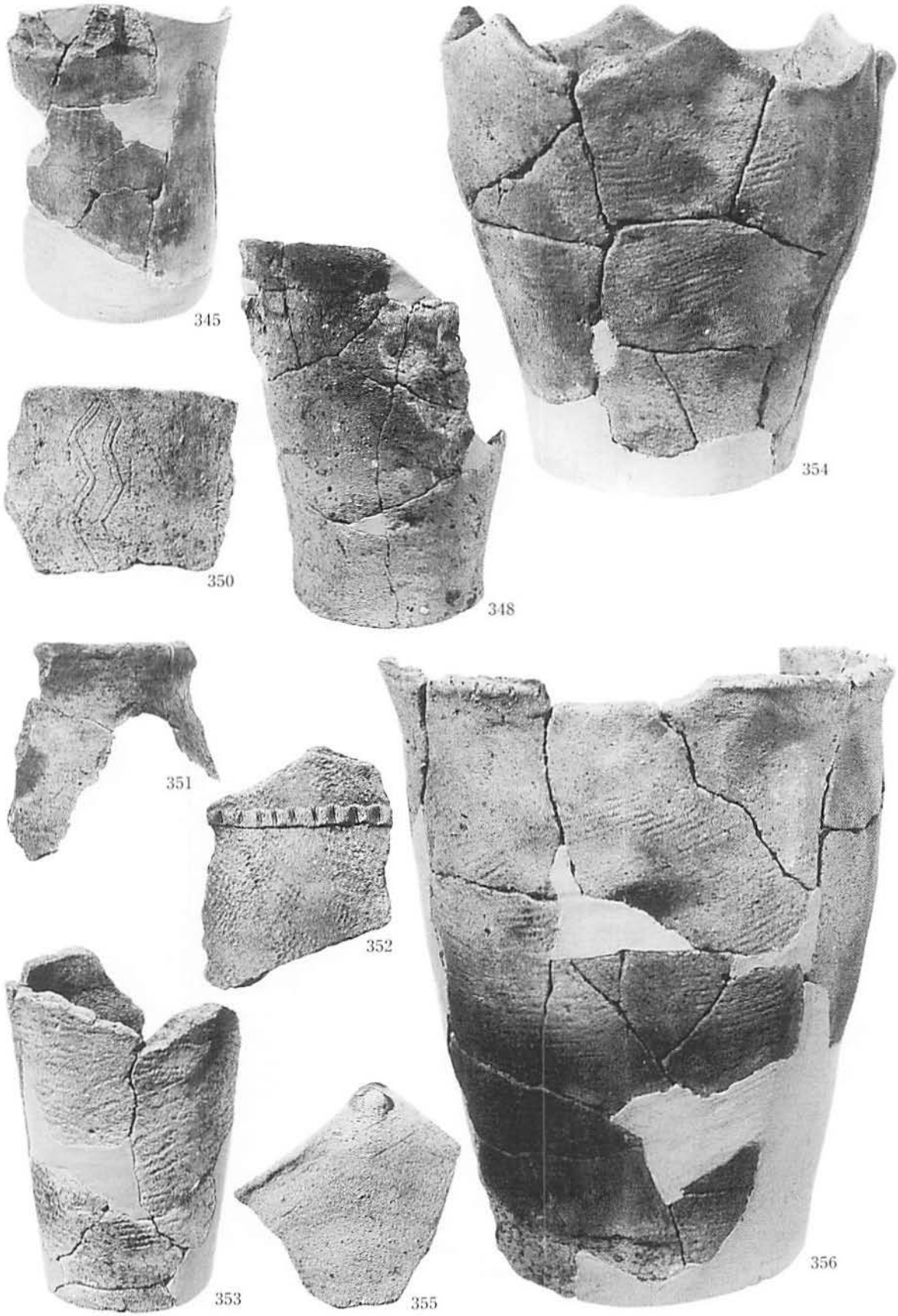
写真図版43　遺構内出土土器（17）



写真図版44　遺構内出土土器（18）



写真図版45　遺構内（19）・遺構外（1）出土土器



写真図版46　遺構外出土土器（2）

357

359

360

358

361

363

367

362

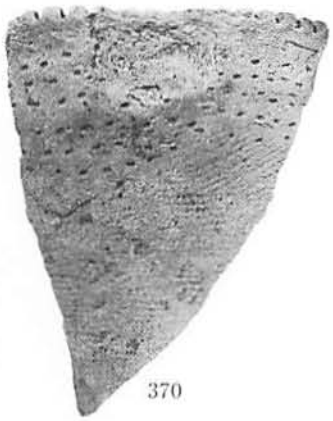
366

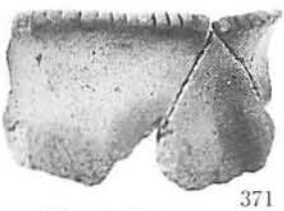
368

写真図版47　遺構外出土土器（３）

364

365


370


371

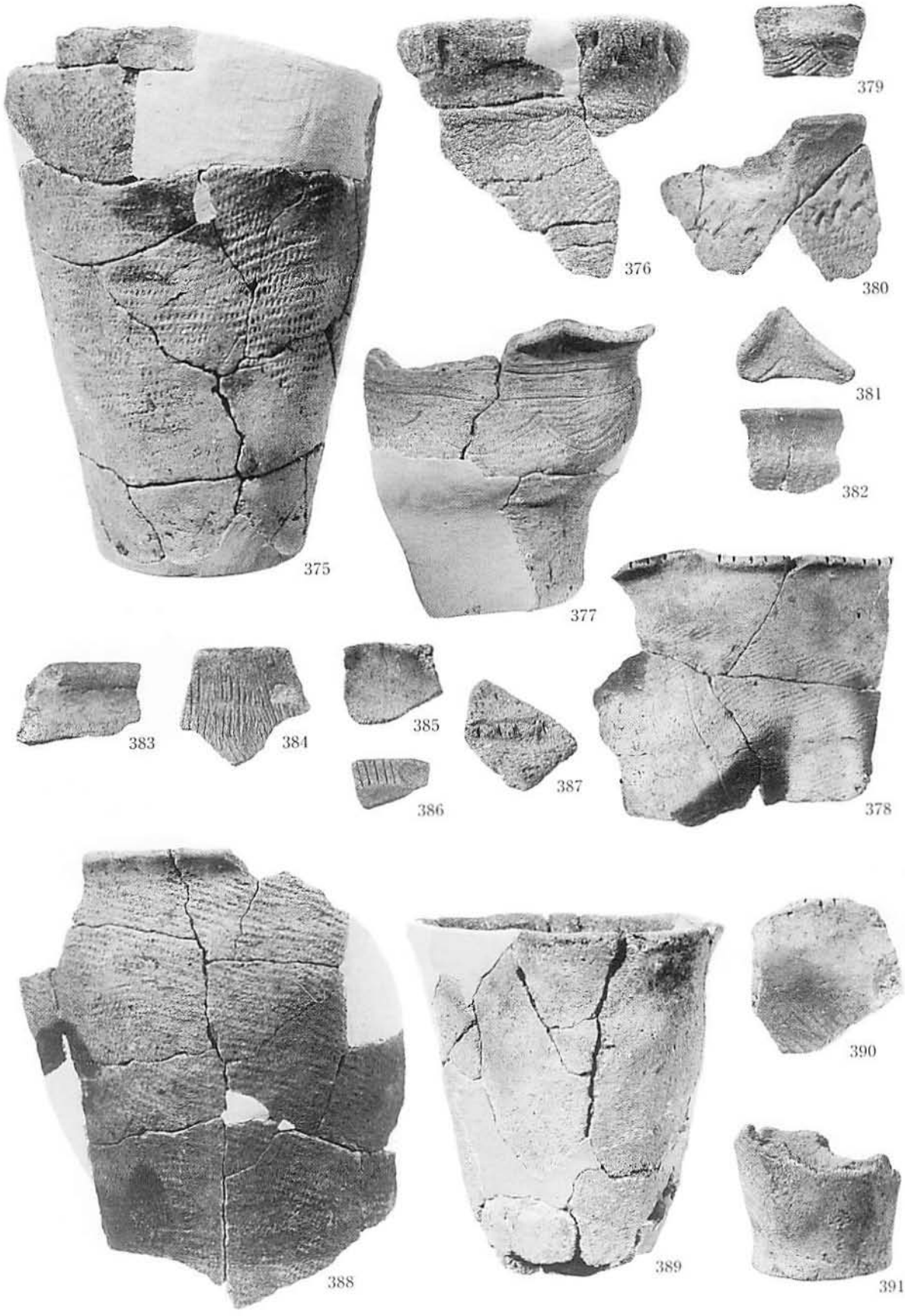
372

369

373

374

写真図版48　遺構外出土土器（４）



写真図版49　遺構外出土土器（5）

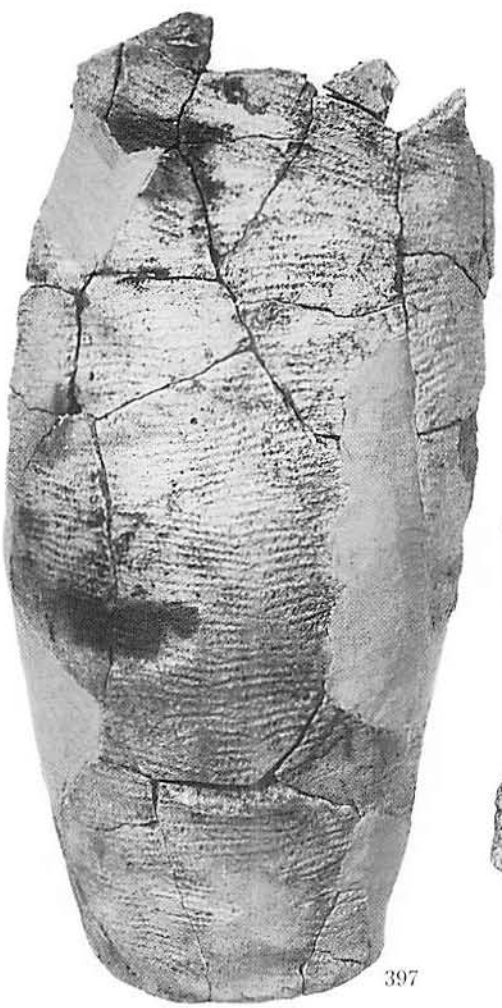
392

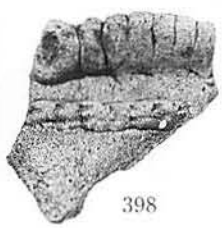
393

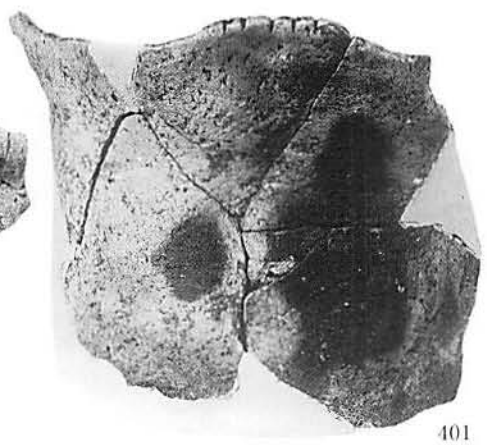
394

396

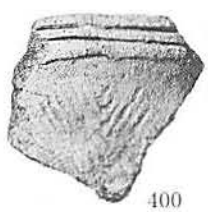
395

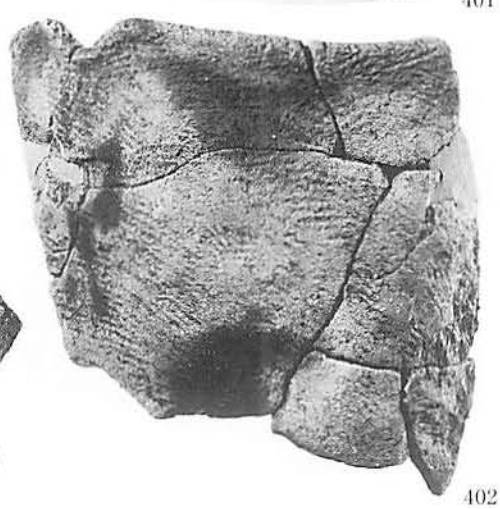

397


398

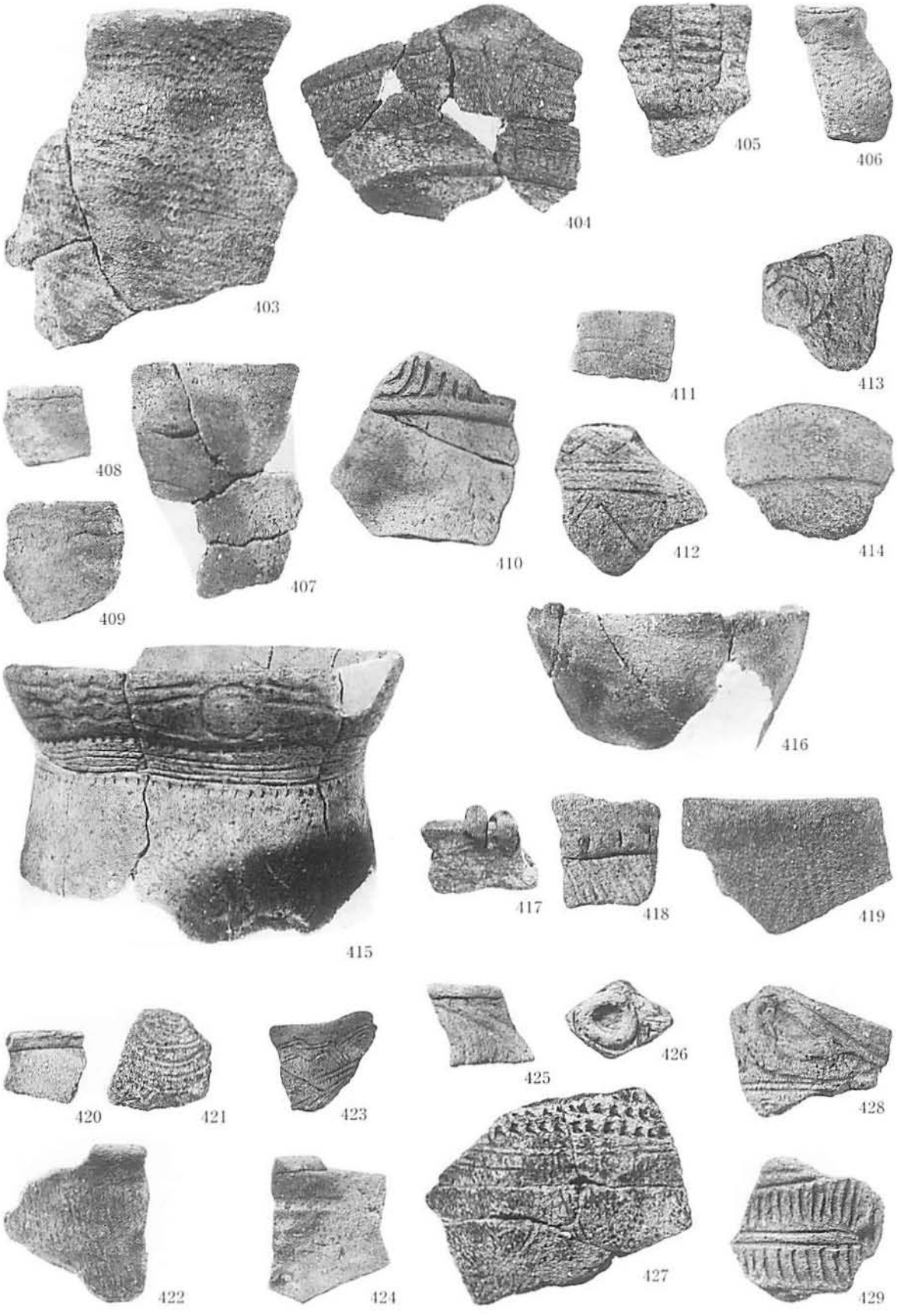

401

399


400


402

写真図版50　遺構外出土土器（6）



写真図版51　遺構外出土土器（7）

430

431

432

433

434

439

435

436

437

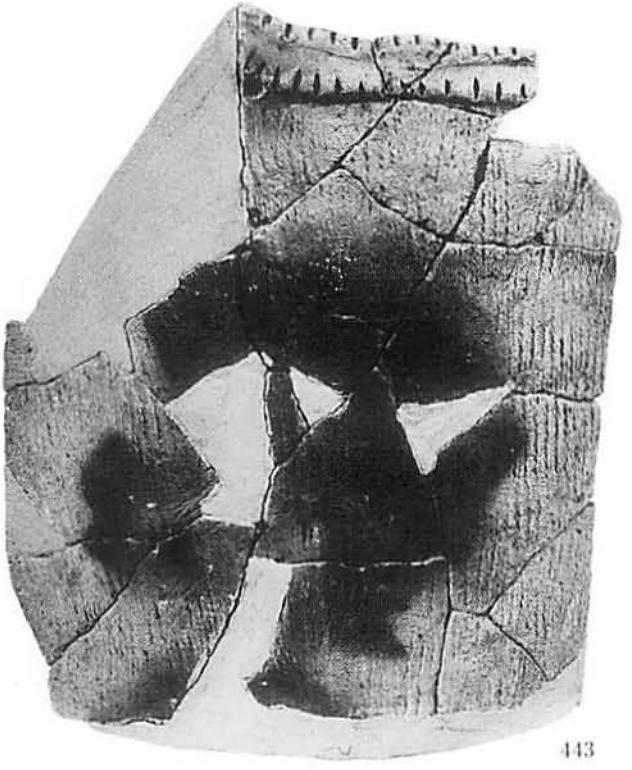
440

441

438

442

写真図版52　遺構外出土土器（8）



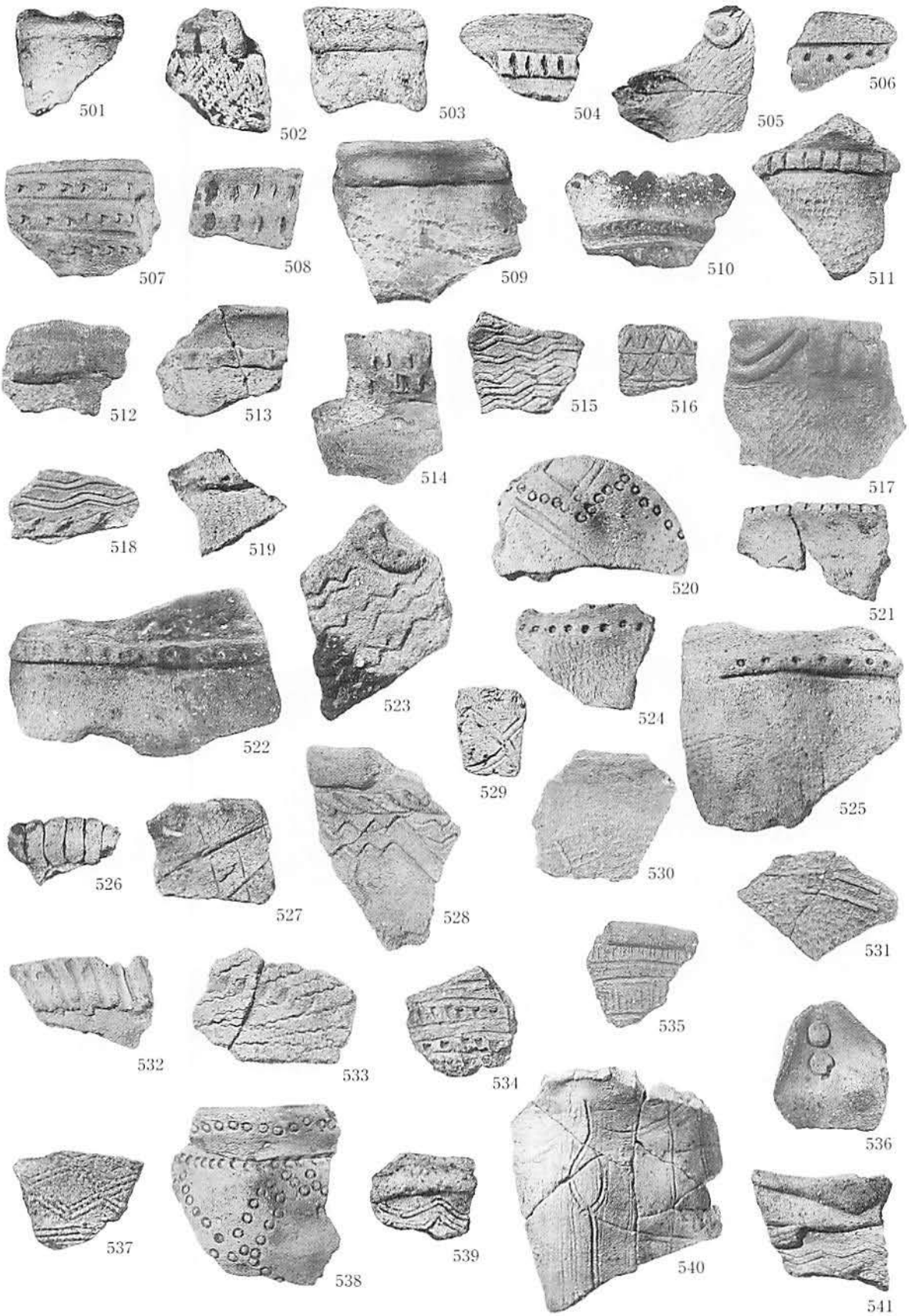
443

444

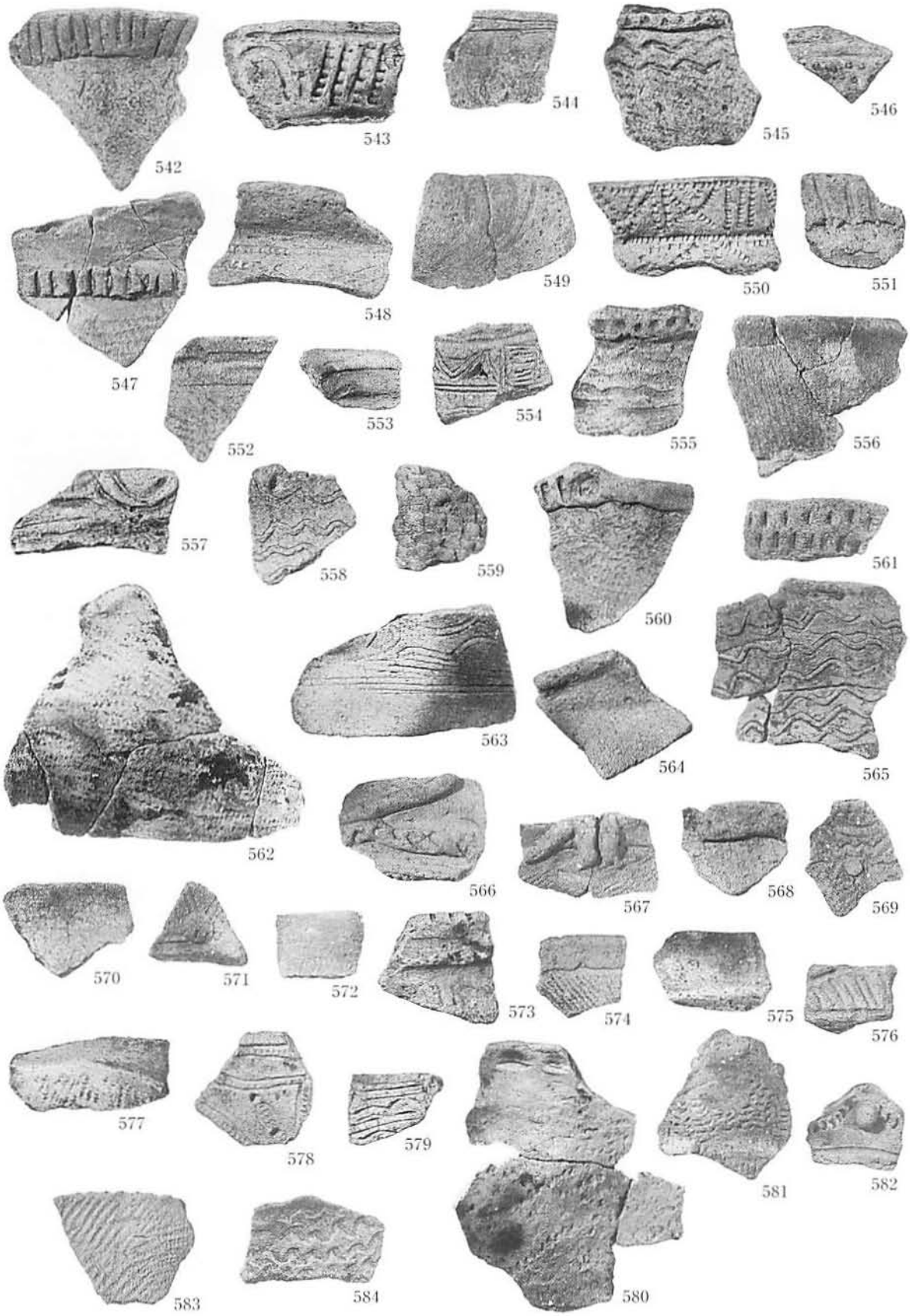
446

445

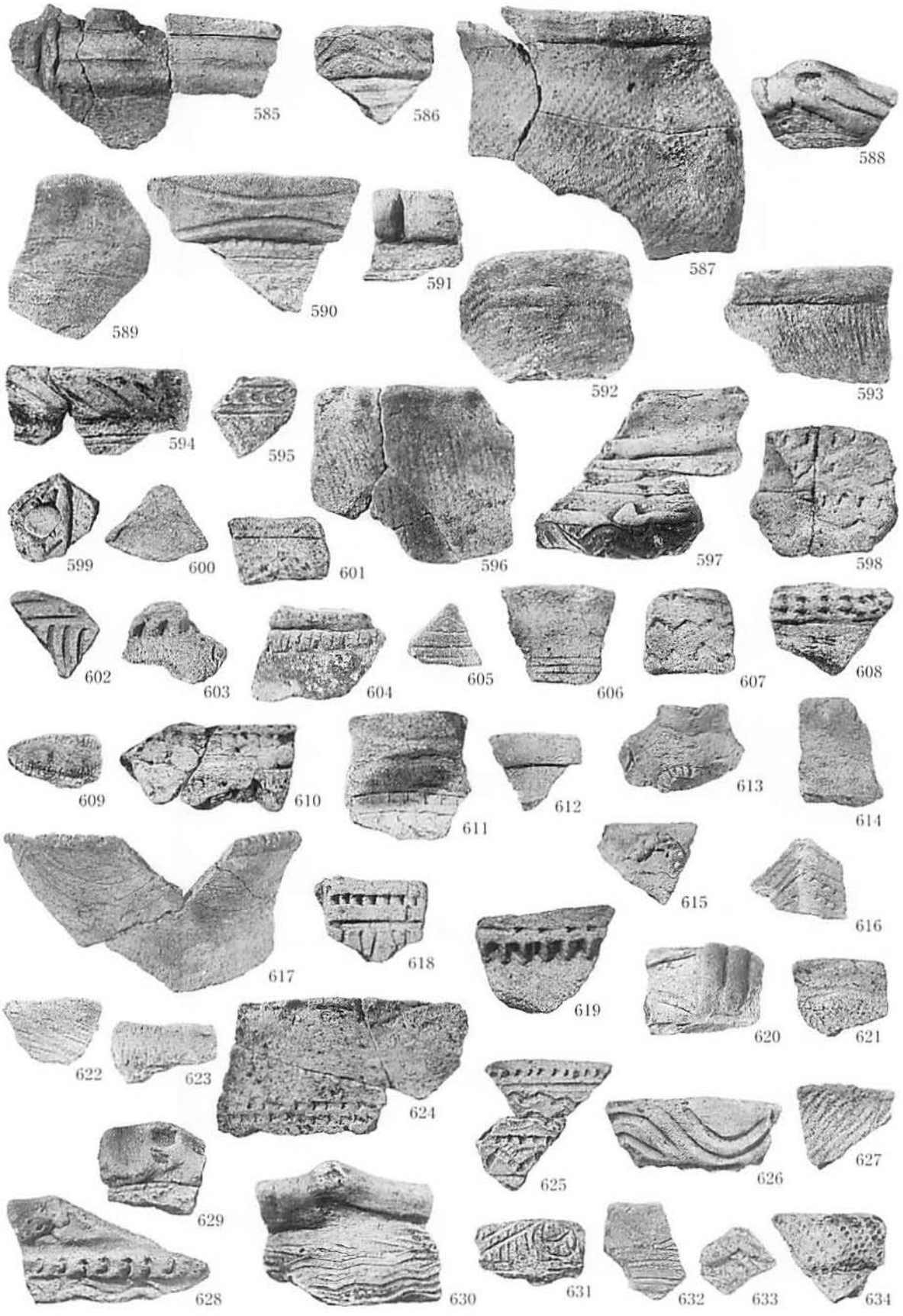
写真図版53　遺構外出土土器（9）



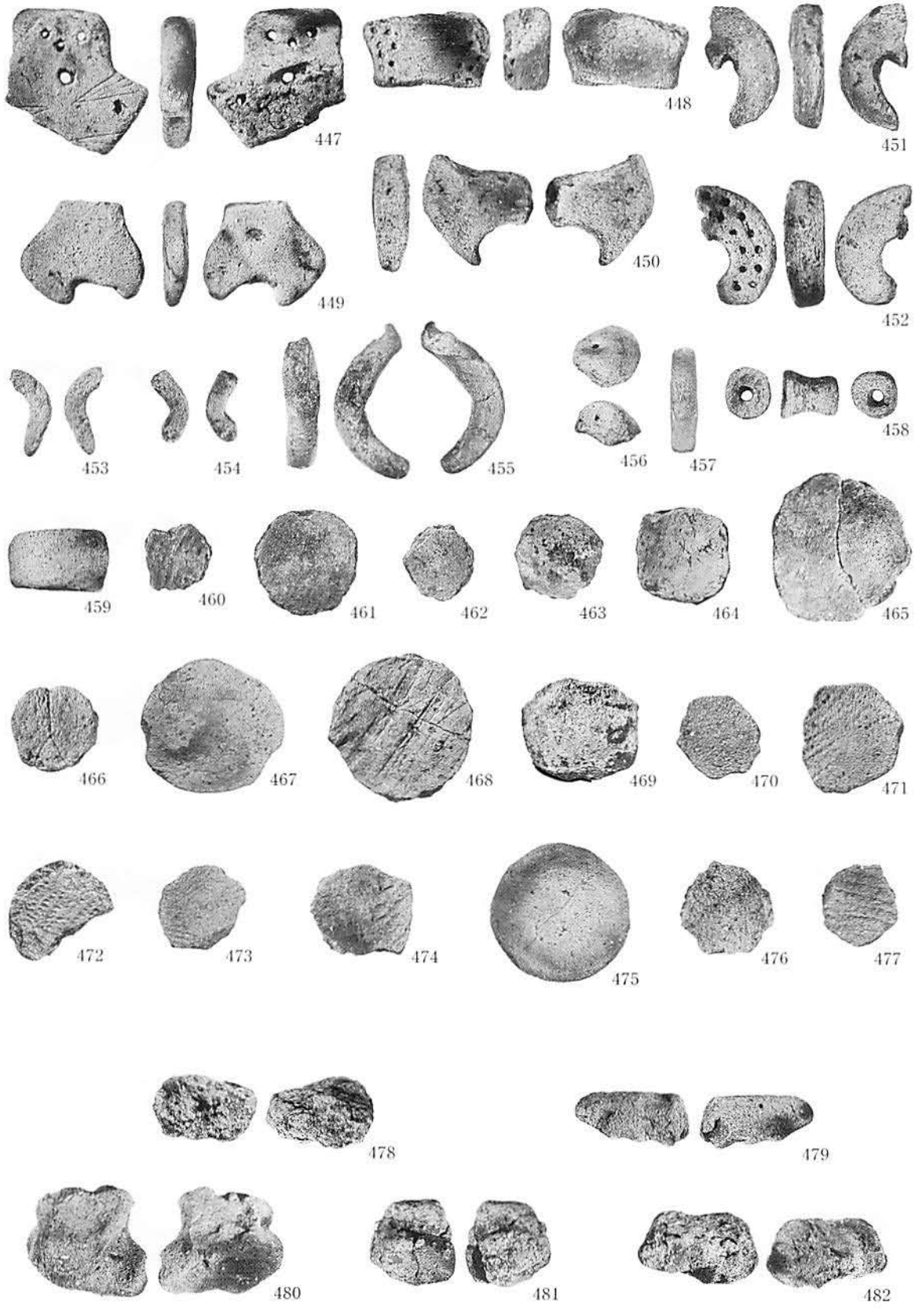
写真図版54　遺構外出土土器（10）



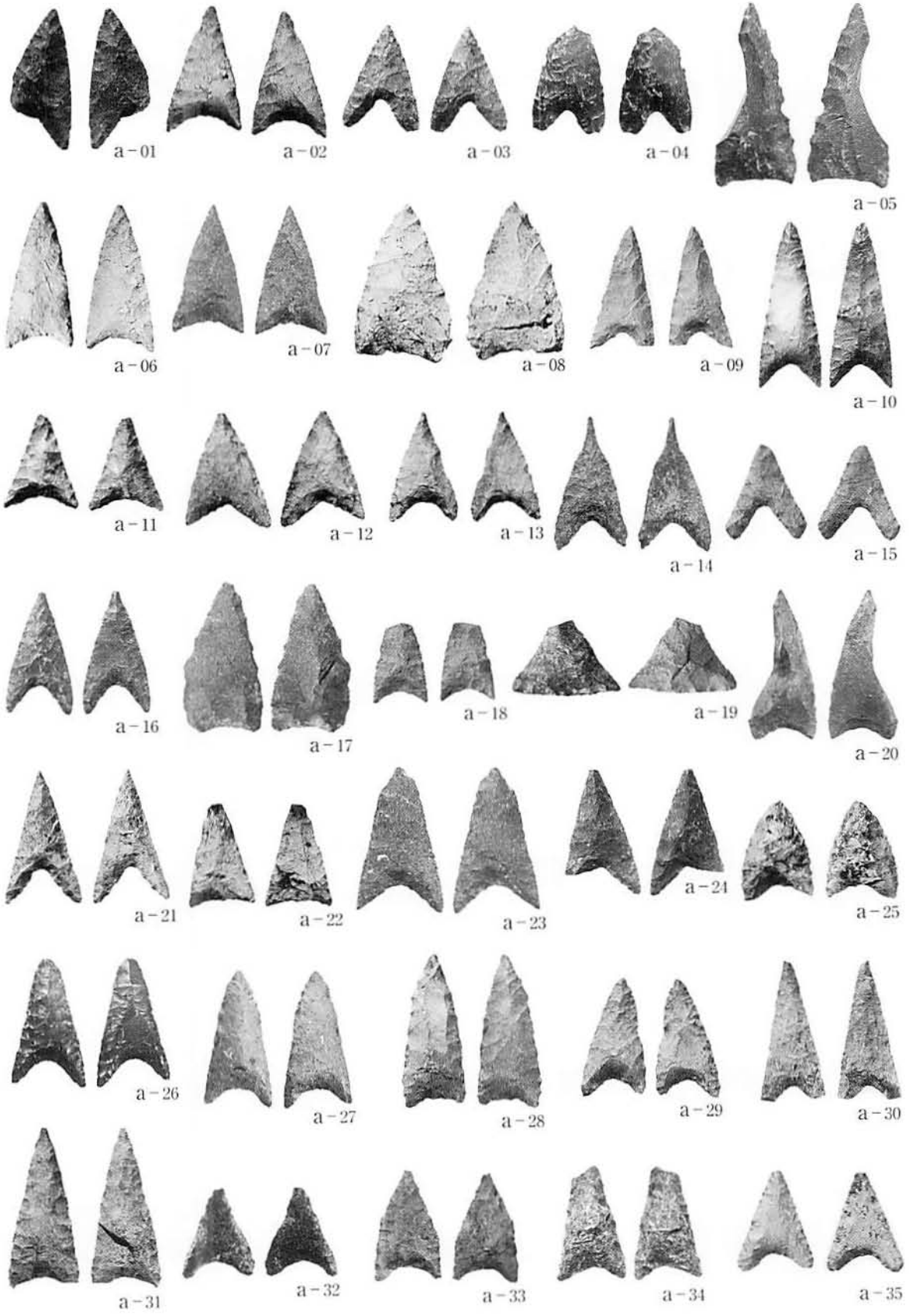
写真図版55　遺構外出土土器（11）



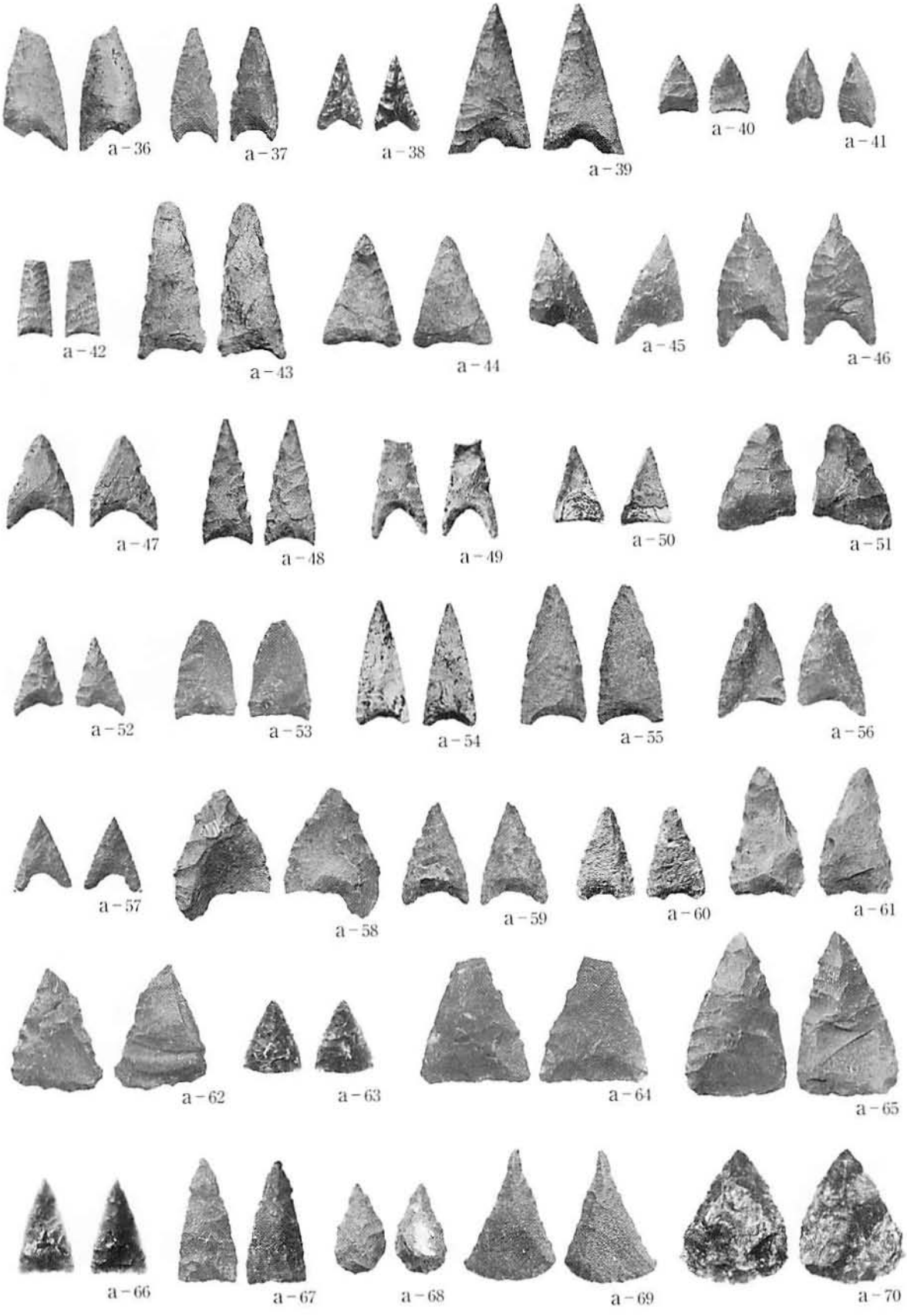
写真図版56　遺構外出土土器（12）


447
448
451
449
450
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482

写真図版57　土製品


a－01
a－02
a－03
a－04
a－05
a－06
a－07
a－08
a－09
a－10
a－11
a－12
a－13
a－14
a－15
a－16
a－17
a－18
a－19
a－20
a－21
a－22
a－23
a－24
a－25
a－26
a－27
a－28
a－29
a－30
a－31
a－32
a－33
a－34
a－35

写真図版58　石器（1）


a－36
a－37
a－38
a－39
a－40
a－41
a－42
a－43
a－44
a－45
a－46
a－47
a－48
a－49
a－50
a－51
a－52
a－53
a－54
a－55
a－56
a－57
a－58
a－59
a－60
a－61
a－62
a－63
a－64
a－65
a－66
a－67
a－68
a－69
a－70

写真図版59　石器（2）

a－71

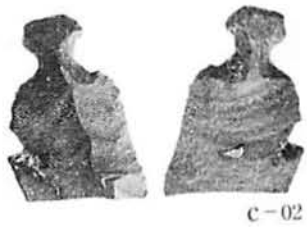
a－72

b－01

b－02

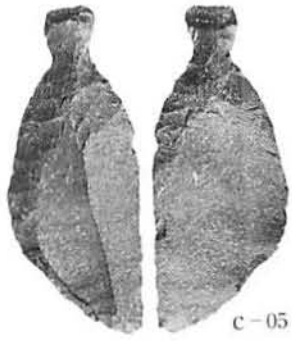
b－03

c－01


c－02

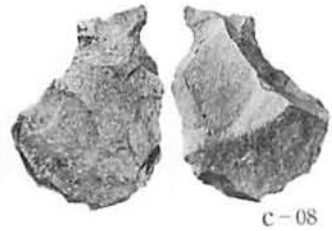
c－03

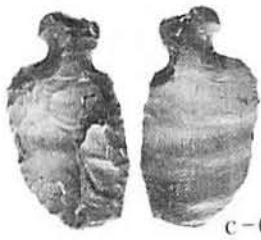
c－04


c－05

c－06

c－07


c－08


c－09

c－10

c－11

c－12

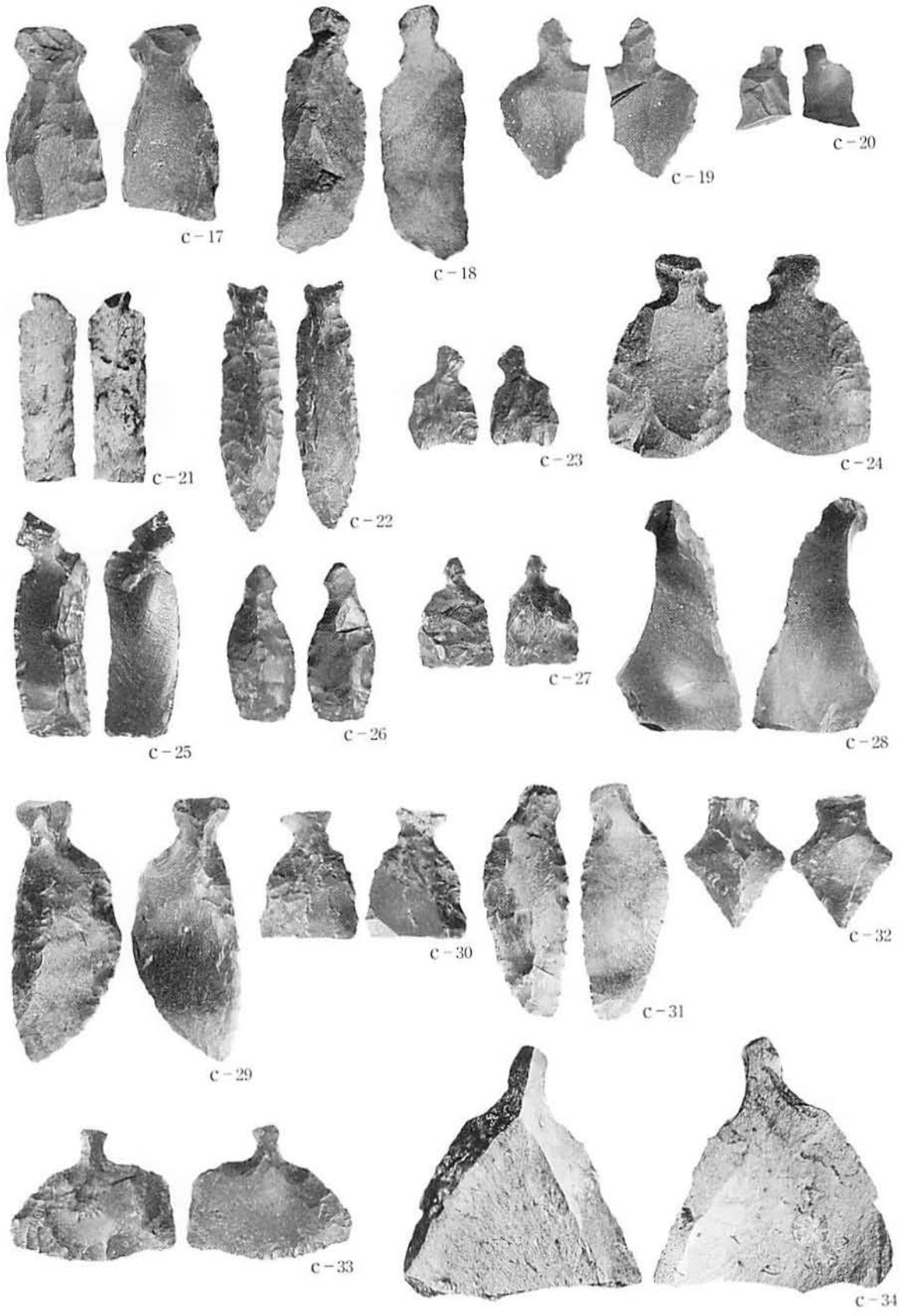
c－13

c－14

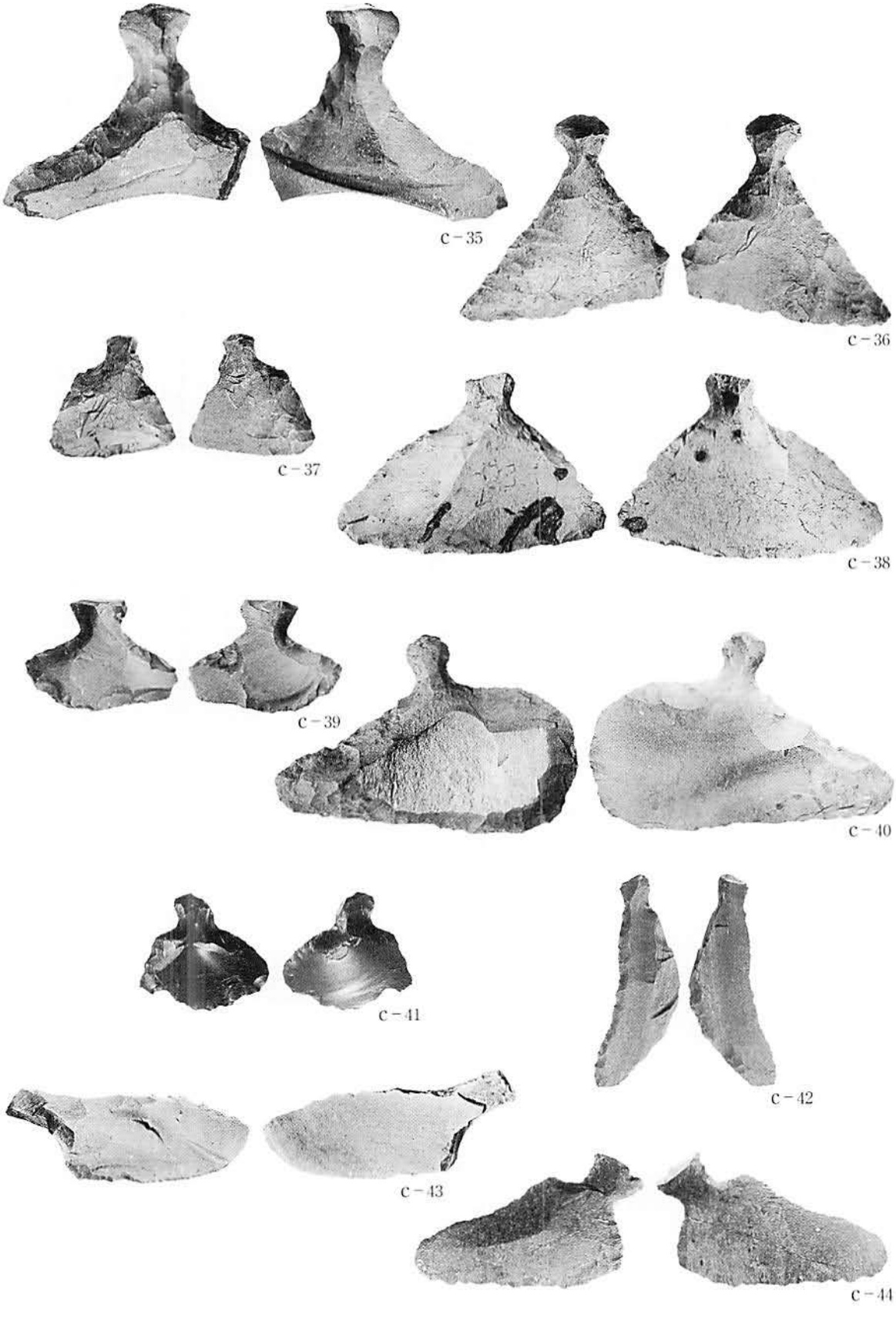
c－15

c－16

写真図版60　石器（3）


c－17
c－18
c－19
c－20
c－21
c－22
c－23
c－24
c－25
c－26
c－27
c－28
c－29
c－30
c－31
c－32
c－33
c－34

写真図版61　石器（4）

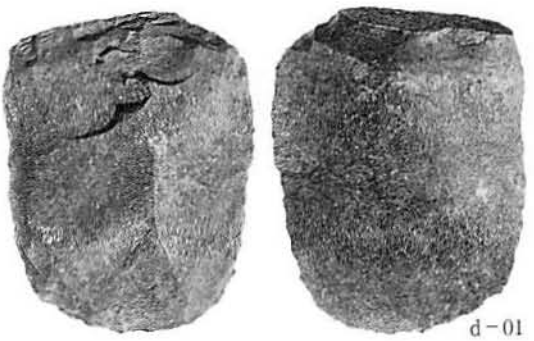


写真図版62　石器（5）

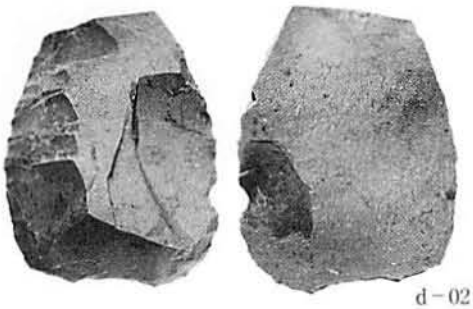
c－45

c－46

c－47



d－01



d－02

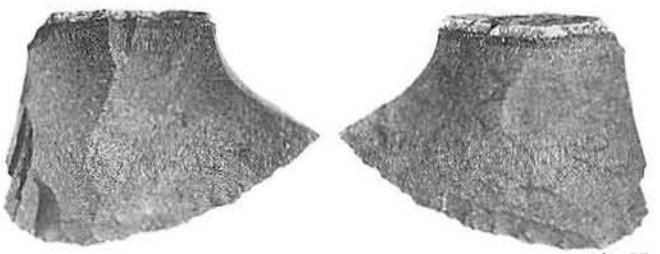
d－03

d－04

d－05

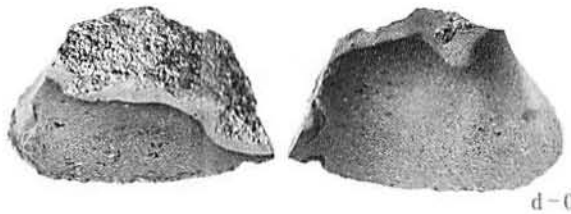
d－06

d－07

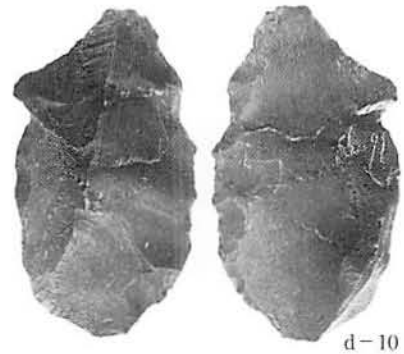


d－08

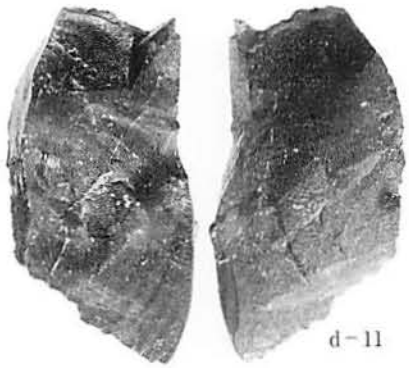
写真図版63　石器（6）



d－09

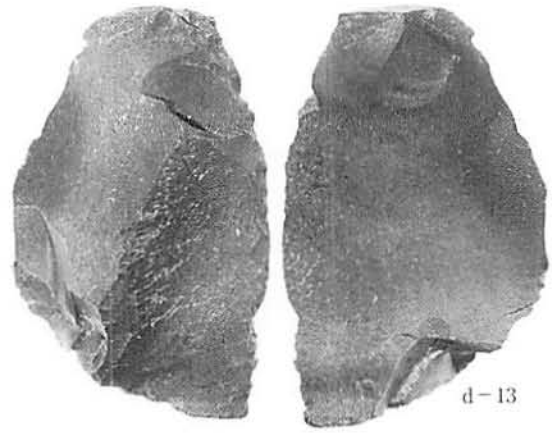


d－10

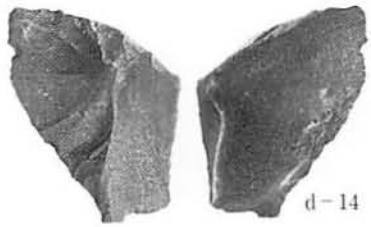


d－11

d－12



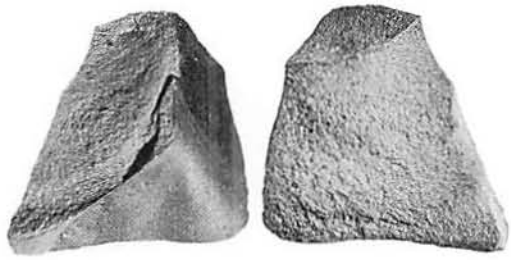
d－13



d－14

d－15

d－16

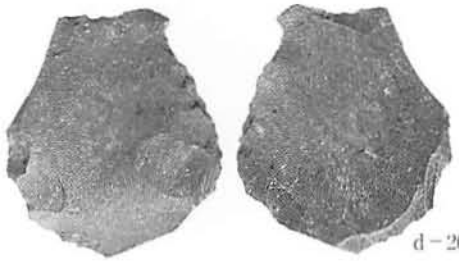


d－17

d－18

d－19

写真図版64　石器（7）



d－20

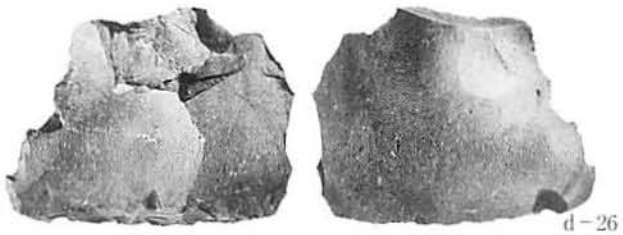
d－21

d－22

d－23

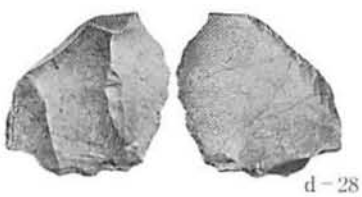
d－24

d－25

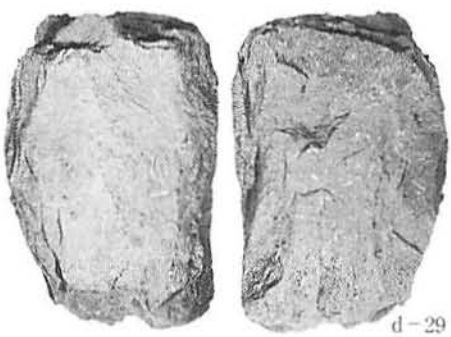


d－26

d－27



d－28



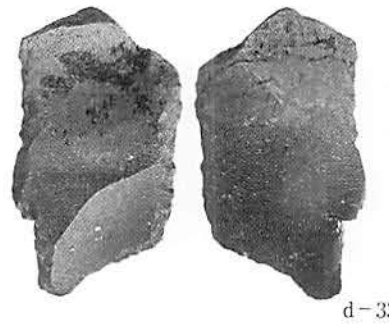
d－29

d－30

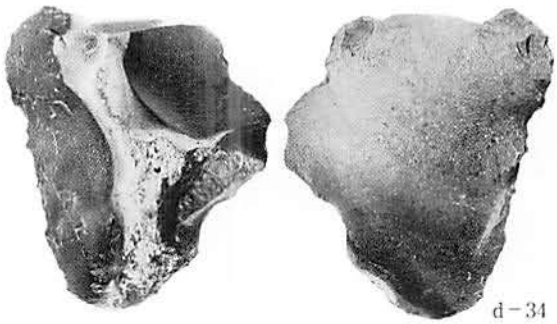
d－31

写真図版65　石器（8）

d－32

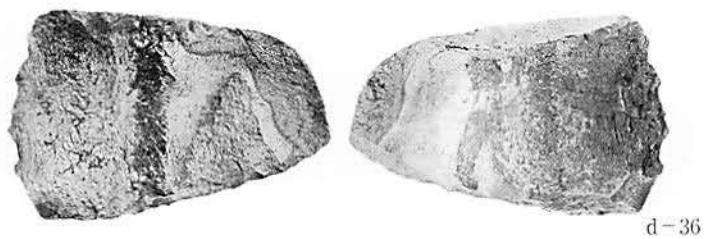


d－33

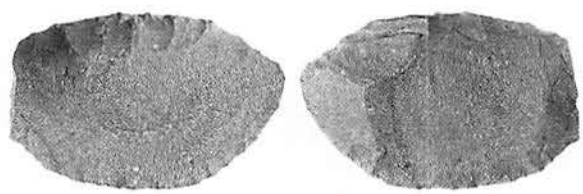


d－34

d－35

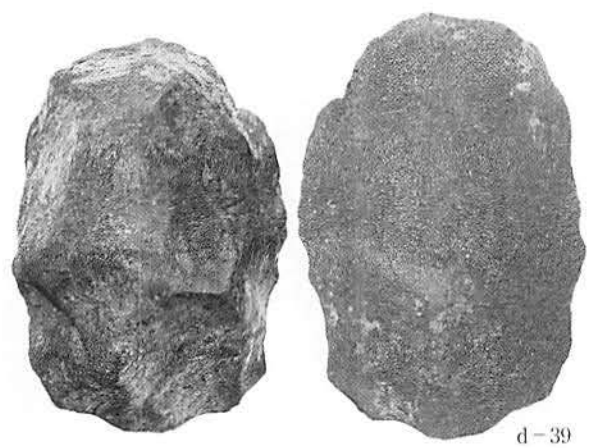


d－36



d－37

d－38

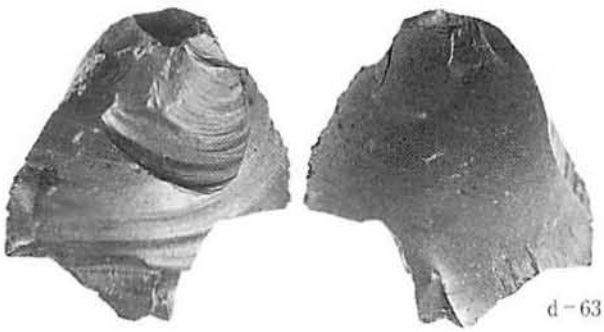


d－39

写真図版66　石器（9）

d－61

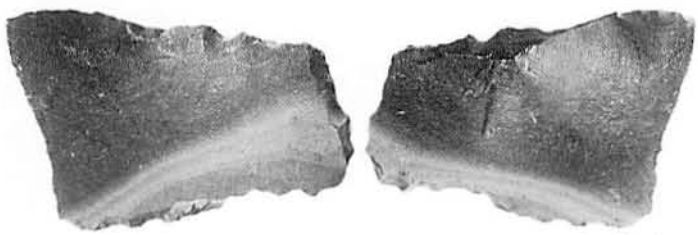
d－62


d－63

d－64

d－65

d－66


d－67

d－68

d－69

d－70

写真図版67　石器（10）

d－71

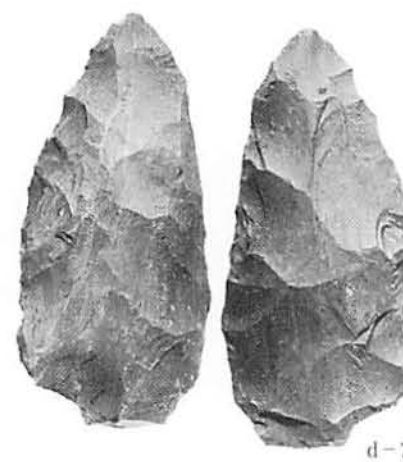
d－72

d－73

d－74

d－75

d－76



d－77

d－78

d－79

d－80

写真図版68　石器（11）

d－81

d－82

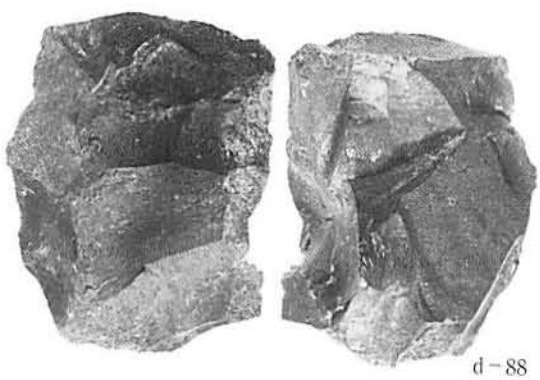
d－83

d－84

d－85

d－86

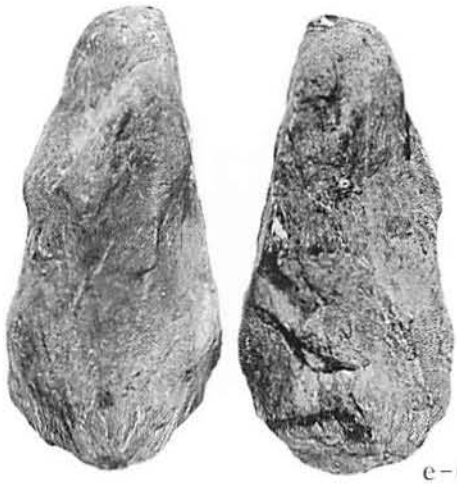
d－87



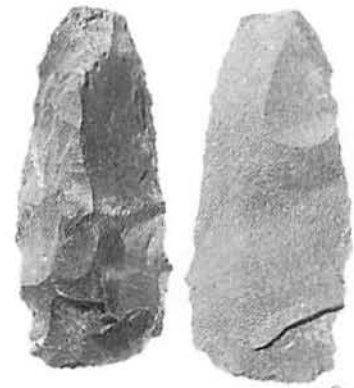
d－88

d－89

写真図版69　石器（12）

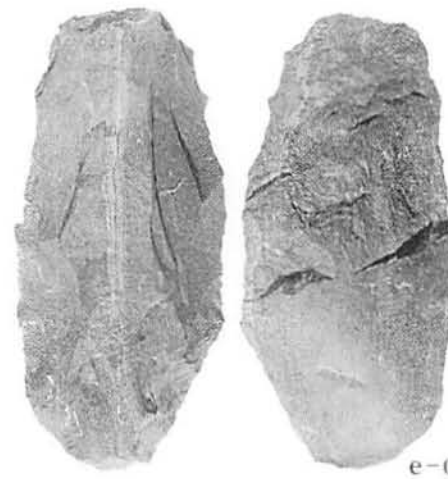


e－01



e－02

e－03

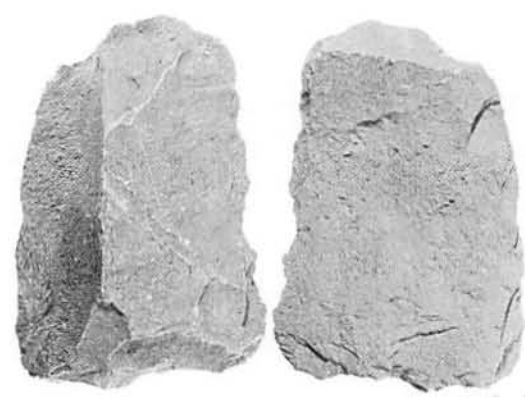


e－04

e－05

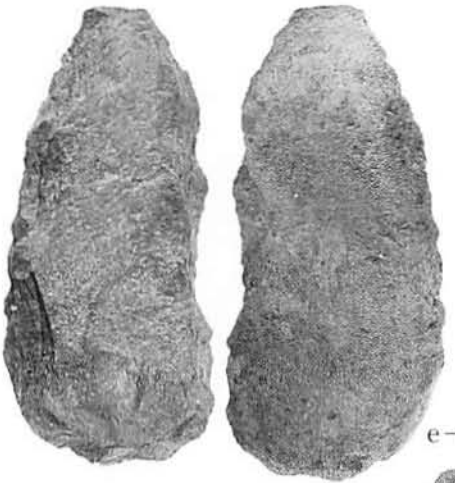
e－06

e－07



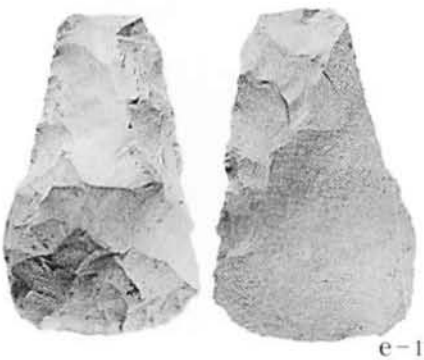
e－08

写真図版70　石器（13）

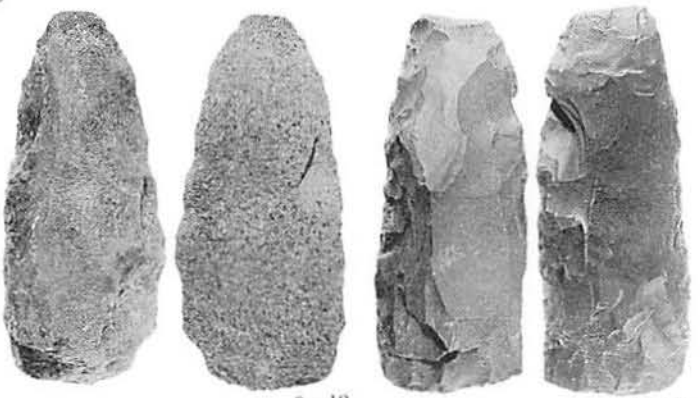


e－09

e－10



e－11

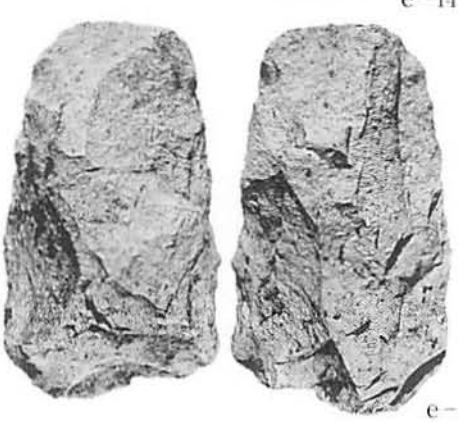


e－12

e－13

e－14

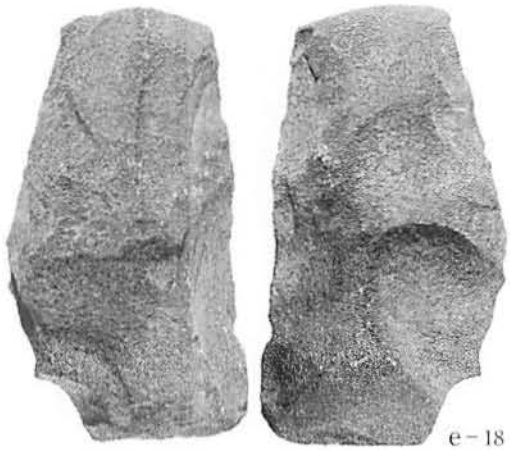
e－15



e－16

e－17

写真図版71　石器（14）



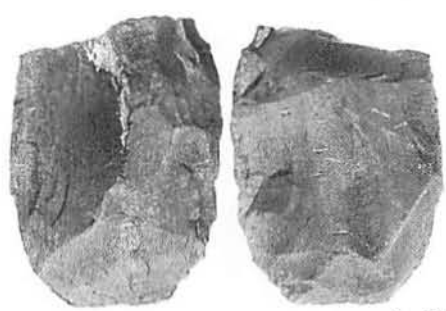
e－18

e－19

e－20

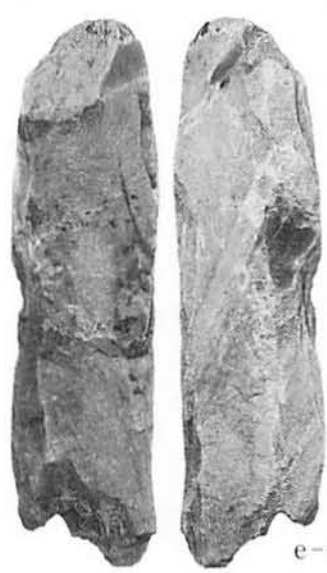
e－21

e－22



e－23

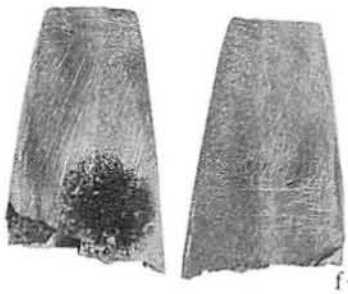
e－24



e－25

写真図版72　石器（15）

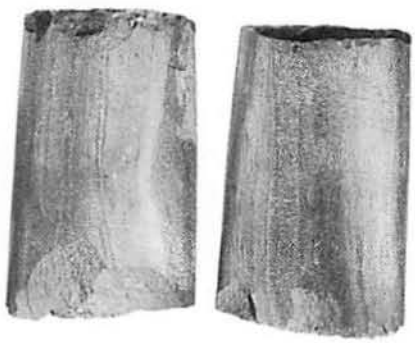
f－01



f－02

f－03

f－04



f－05

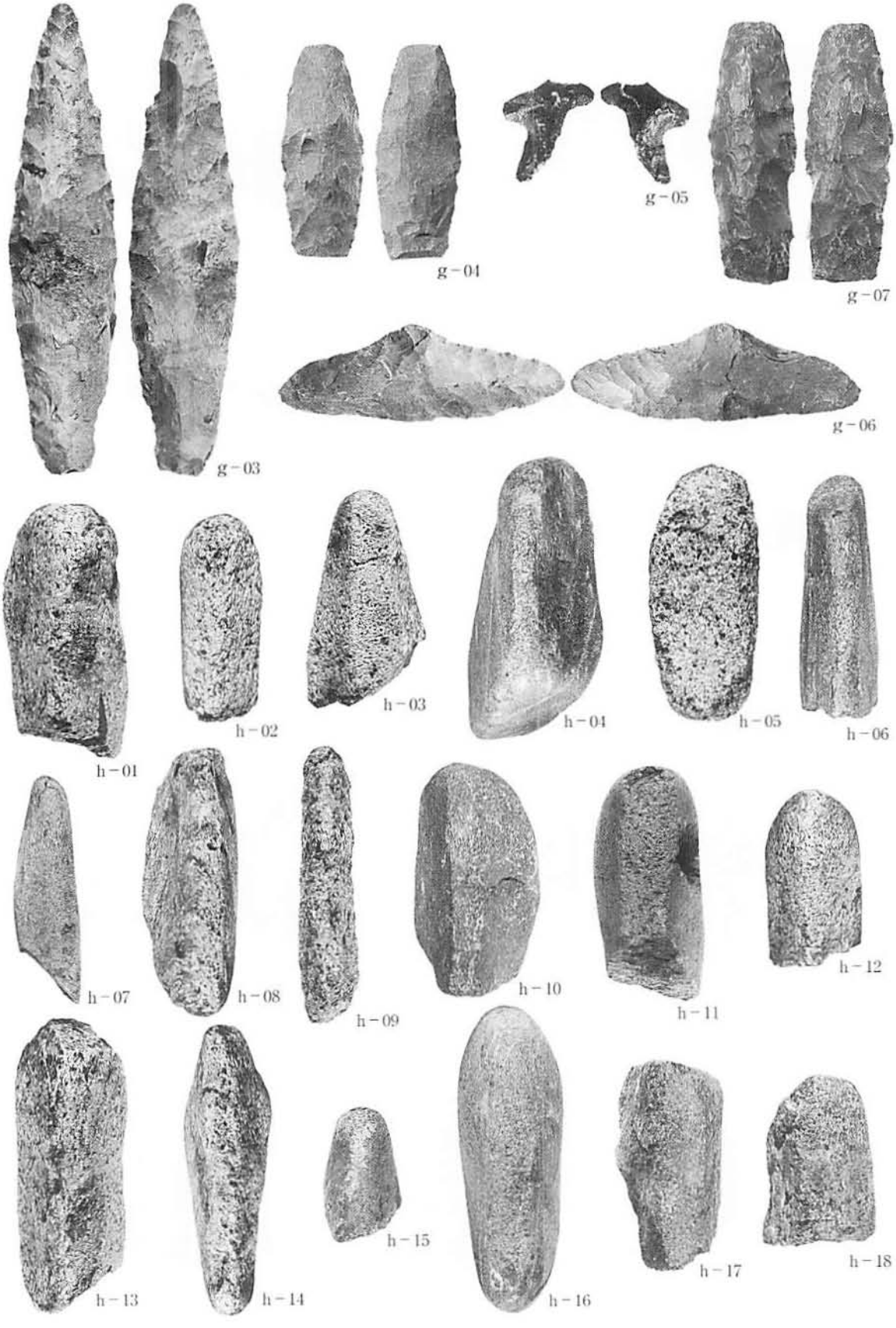
f－06

f－07

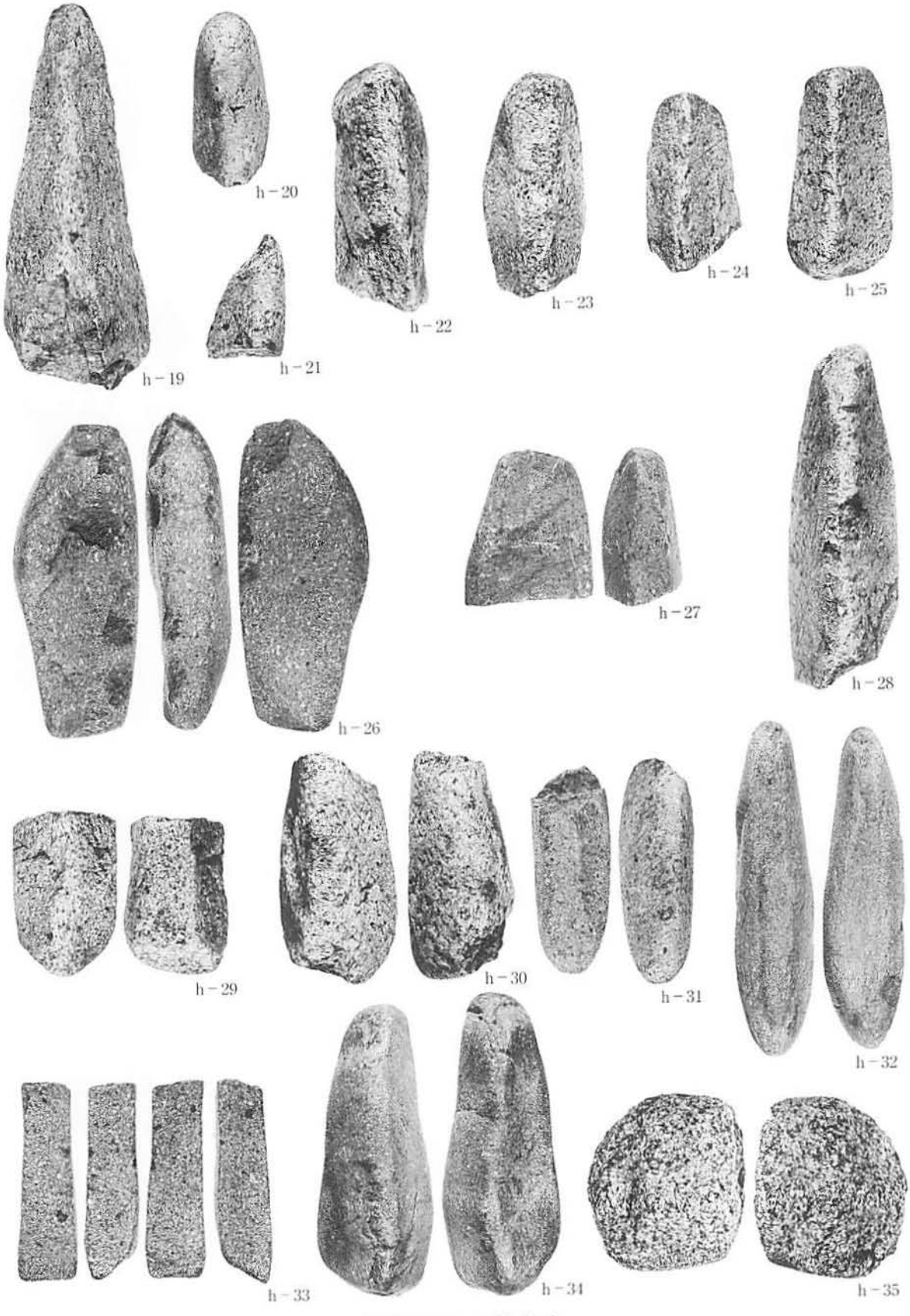
g－01

g－02

写真図版73　石器（16）


g－03
g－04
g－05
g－07
g－06
h－01
h－02
h－03
h－04
h－05
h－06
h－07
h－08
h－09
h－10
h－11
h－12
h－13
h－14
h－15
h－16
h－17
h－18

写真図版74　石器（17）


h－19
h－20
h－21
h－22
h－23
h－24
h－25
h－26
h－27
h－28
h－29
h－30
h－31
h－32
h－33
h－34
h－35

写真図版75　石器（18）

h－36

h－37

h－38

h－39

h－40

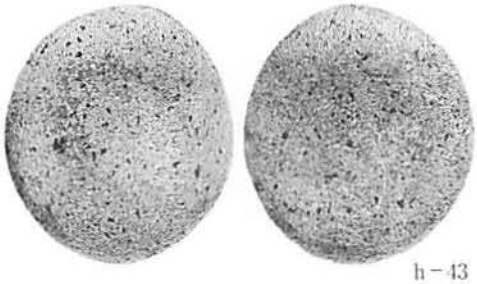
h－41

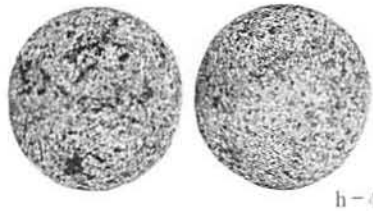
h－42

h－44

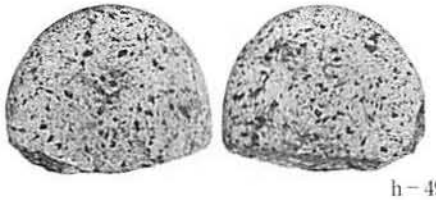
h－45

h－46

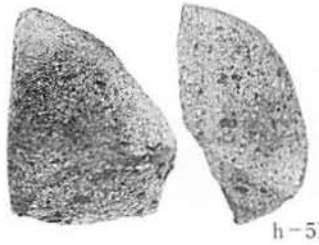

h－43


h－47

h－48


h－49

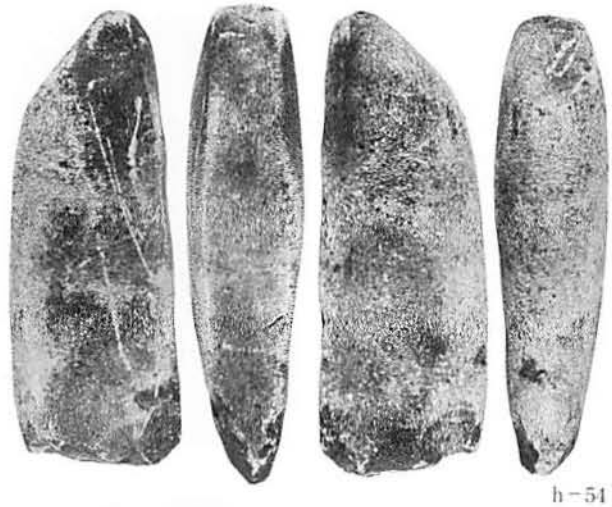
h－50


h－51

h－52

h－53

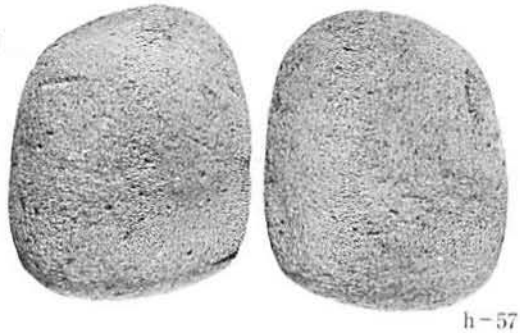
写真図版76　石器（19）



h－54

h－55

h－56

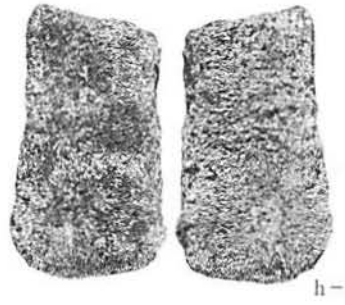


h－57

h－58

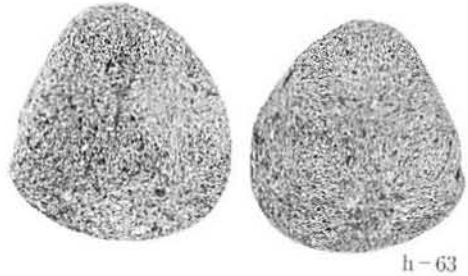
h－59

h－60



h－61

h－62



h－63

写真図版77　石器（20）

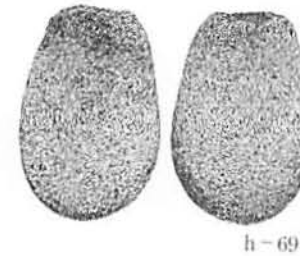
h－64

h－65

h－66

h－67

h－68

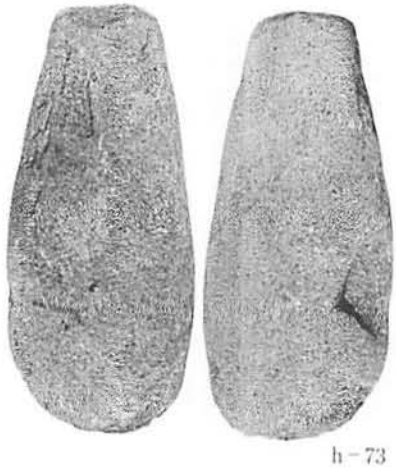


h－69

h－70

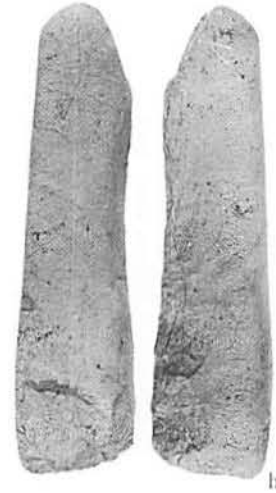
h－71

h－72



h－73

h－74



h－75

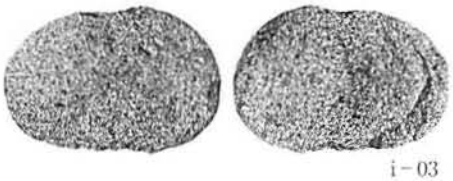
h－76

h－77

写真図版78　石器（21）

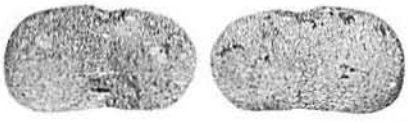
i－01

i－02



i－03

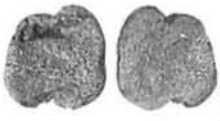
i－04



i－05

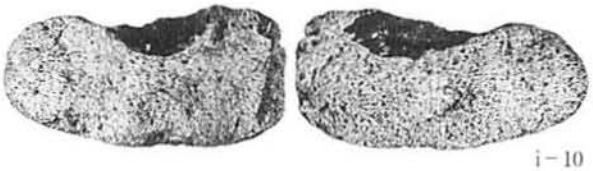
i－06

i－07



i－08

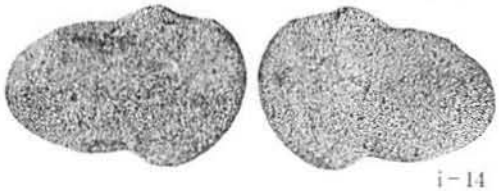
i－09



i－10

i－11

i－13

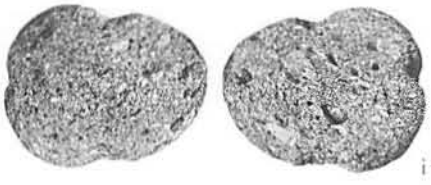


i－14

i－15

i－16

i－17

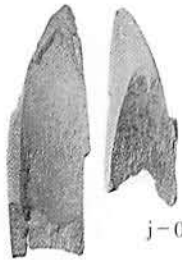


i－18

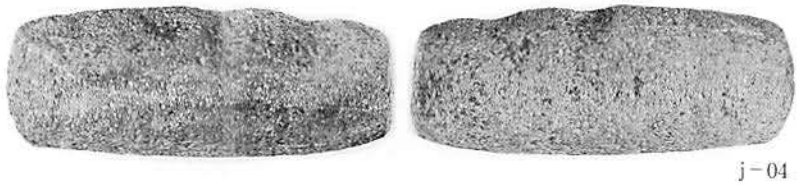
i－19

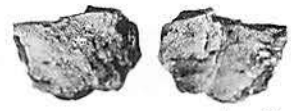
写真図版79　石器（22）

j－01


j－02

j－03

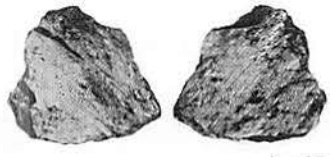

j－04

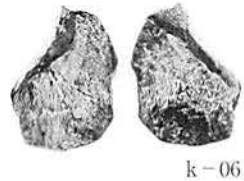

k－01

k－02

k－03

k－04


k－05

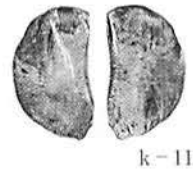

k－06

k－07

k－08

k－09

k－10


k－11

k－12

k－13

k－14

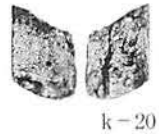
k－15

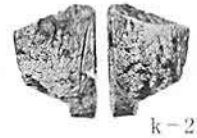
k－16

k－17

k－18

k－19

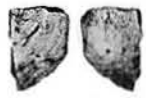

k－20

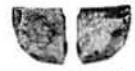

k－21

k－22

写真図版80　石製品（１）

k－23


k－24


k－25

k－26

k－27

k－28

k－29

k－30

k－31

k－32

k－33

k－34

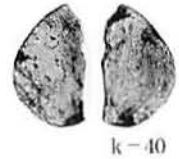
k－35

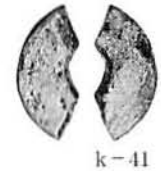
k－36

k－37

k－38

k－39


k－40

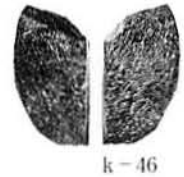

k－41

k－42

k－43

k－44

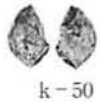
k－45


k－46

k－47

k－48

k－49


k－50

k－51

k－52

k－53

k－54

k－55

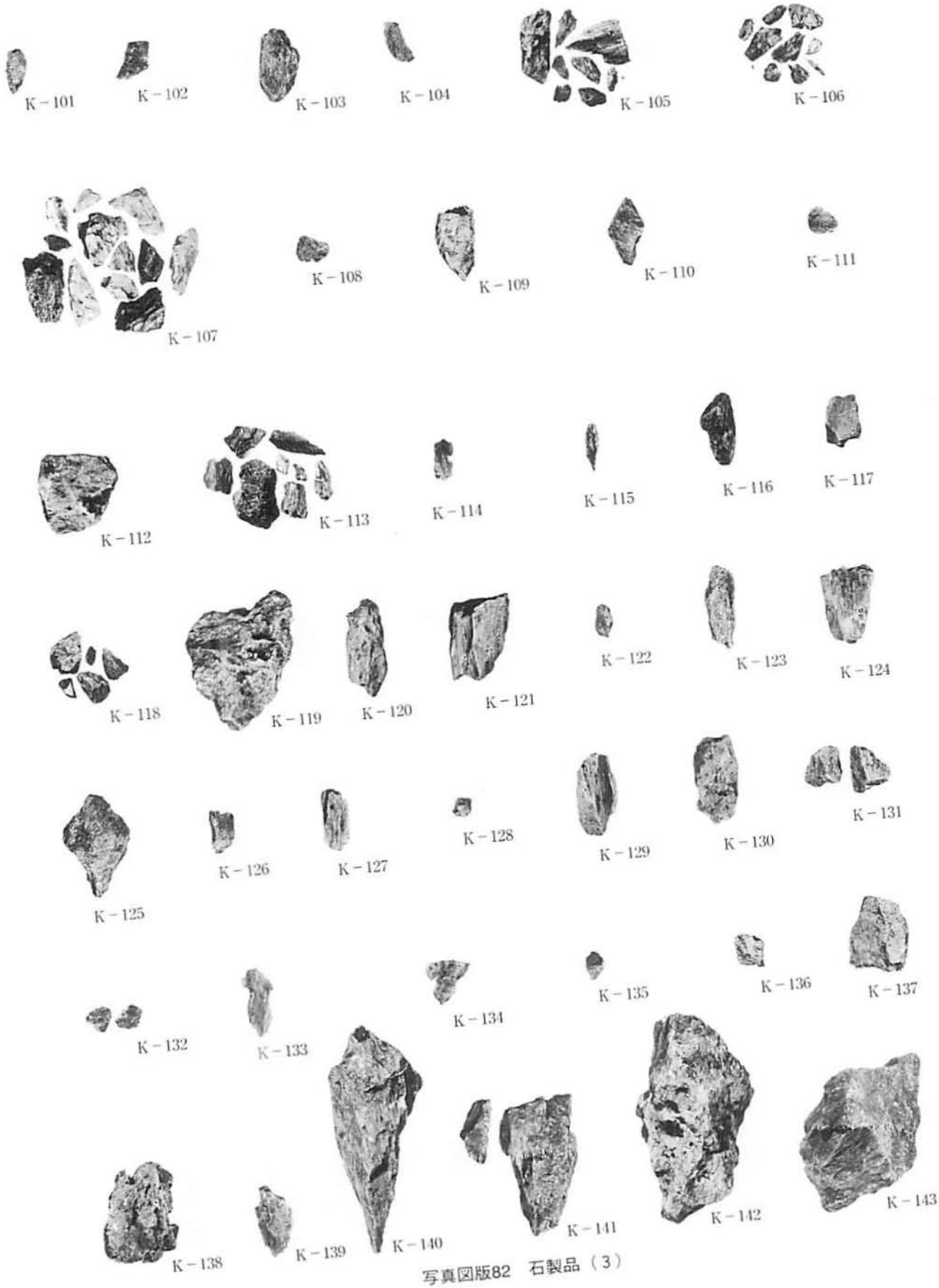
k－56

k－57

k－58

k－59

写真図版81　石製品（２）


K－101
K－102
K－103
K－104
K－105
K－106
K－107
K－108
K－109
K－110
K－111
K－112
K－113
K－114
K－115
K－116
K－117
K－118
K－119
K－120
K－121
K－122
K－123
K－124
K－125
K－126
K－127
K－128
K－129
K－130
K－131
K－132
K－133
K－134
K－135
K－136
K－137
K－138
K－139
K－140
K－141
K－142
K－143

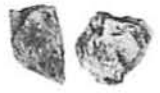
写真図版82　石製品（3）

K－144

K－145

K－146

K－147


K－148

K－149

K－150

K－151

K－152

K－153

K－154

K－155

K－156

K－157

K－158

K－159

K－160

K－161

K－162

K－163

K－164

K－165

K－166

K－167

K－168

K－169

K－170

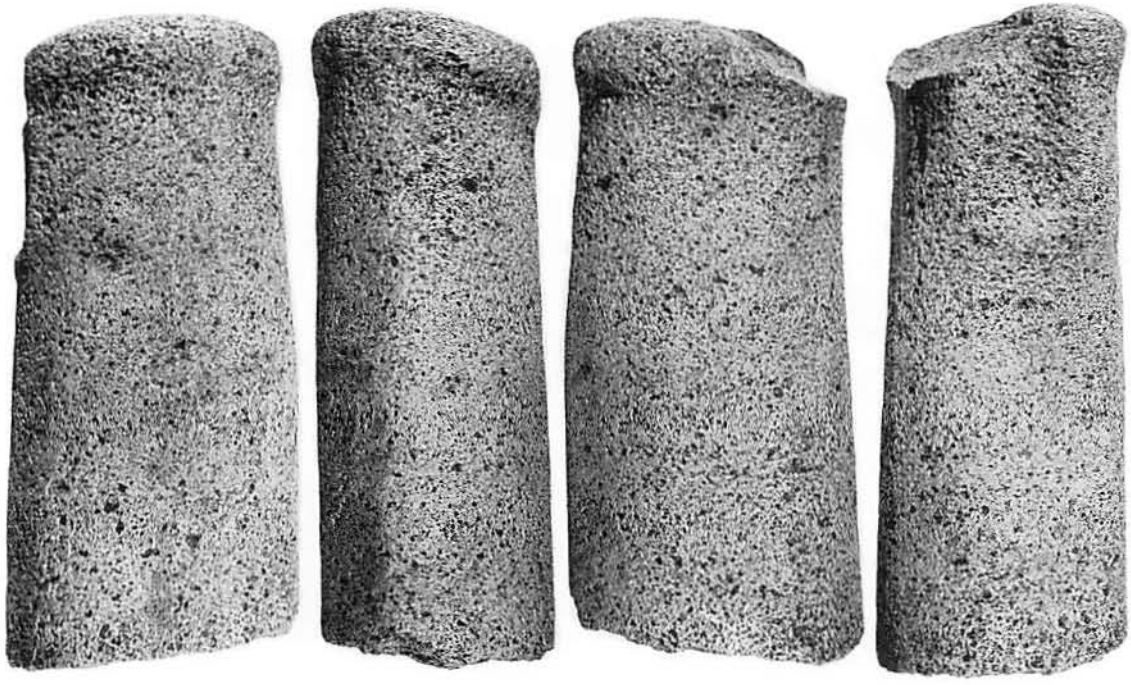
K－171

K－172

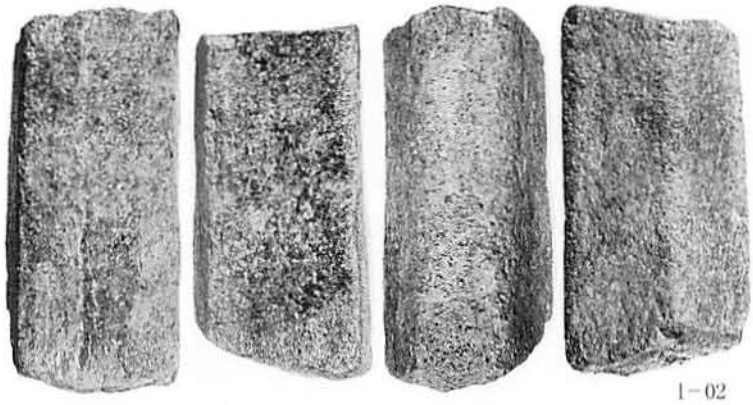
K－173

K－174

第83図　石製品（4）

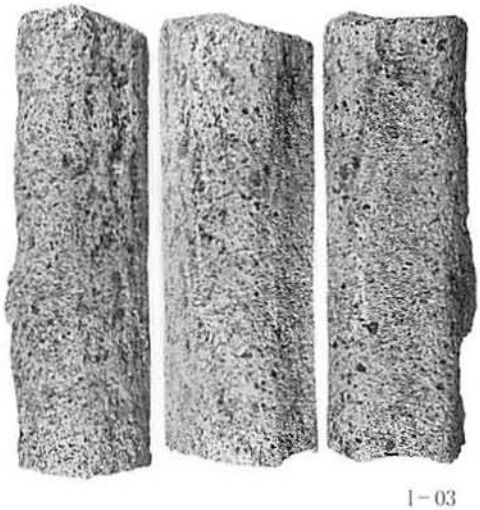


l－01



l－02

m－01



l－03

m－02

写真図版84　石製品（５）

報告書抄録

ふりがな	おおなかたいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	大中田遺跡発掘調査報告書
副書名	伊手川河川改修事業関連遺跡発掘報告書
巻次	
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第429集
編集者名	中村絵美
編集機関	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
所在地	〒020－0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185　TEL　019－638－9001
発行年月日	西暦2004年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
大中田遺跡	岩手県江刺市伊出字小中田4番地の1ほか	03212	OF00-2003	39度10分24秒	141度17分42秒	2002.04.09～2002.07.17	1,100㎡	河川改良事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大中田遺跡	集落跡	縄文時代前期後葉～中期初頭	竪穴住居跡 6 炉跡・焼土 33 土坑 51	土器 石器 滑石製垂飾具	滑石製垂飾具の未製品がまとまって出土
	集落跡	縄文時代中期末葉	竪穴住居跡 1 土坑 1	土器・石器	

平成15年度（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所長	木村　昇	副所長	平野允苗
〔管理課〕			
管理課長	韮沢正吾	嘱託	高橋照雄
管理課長補佐	山岸直美	〃	湯沢邦子
主査	中嶋賢一	〃	沼田テル子
主事	猿橋幸子	〃	伊藤滋子
〔調査第一課〕			
調査第一課長	佐々木勝	文化財調査員	北村忠昭
課長補佐	佐々木清文	〃	八木勝枝
文化財専門員	金子昭彦	〃	丸山浩治
文化財調査員	吉田充	〃	北田勲
〃	亀大二郎	〃	鳥原弘征
〃	野中真盛	期限付調査員	坂部恵造
〃	新妻伸也	〃	小林弘卓
〃	阿部勝則	〃	藤原大輔
〃	杉沢昭太郎	〃	小針大志
〃	西澤正晴	〃	太田代一彦
〃	村木敬	〃	新井田えり子
〔調査第二課〕			
調査第二課長	三浦謙一	文化財調査員	星雅之
課長補佐	中川重紀	〃	佐藤淳一
〃	高橋義介	〃	星幸文
文化財専門員	小山内透	〃	溜浩二郎
〃	金子佐知子	〃	本多準一郎
〃	濱田宏	〃	丸山直美
文化財調査員	赤石登	〃	福島正和
〃	阿部眞澄	〃	米田寛
〃	水上明博	〃	須原拓
〃	阿部憲	〃	中村絵美
〃	早坂淳	〃	川又晋
〃	小松則也	〃	村田淳
〃	阿部徳幸	〃	（村上拓）
〃	窓岩伸吾	期限付調査員	吉田里和
〃	亀澤盛行	〃	江藤敦
〃	飯坂重	〃	齋藤麻紀子
〃	鈴木裕明	〃	駒木野智寛
〃	林勲	〃	立花裕
〃	阿部孝明	〃	石崎高臣
〃	羽柴直人		

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書429集

大中田遺跡発掘調査報告書

伊手川河川改修事業関連遺跡発掘調査

印刷　平成16年３月15日

発行　平成16年３月25日

発　行　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020－0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185

TEL (019) 638－9001

FAX (019) 638－8563

印　刷　河北印刷株式会社

〒020－0015　岩手県盛岡市本町通２丁目８－７

TEL (019) 623－4256

FAX (019) 623－0976

©(財)岩手県文化財振興事業団埋蔵文化財センター　2004